令和７年度

市　政　年　報

栃　木　市

ご　あ　い　さ　つ

令和７年度市政年報を発行するに当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

このたび、市民の皆様のご信託をいただき、栃木市長の重責を担わせていただくことになりました。「暮らしやすさ日本一の栃木市」を目指して、栃木市の未来をひらくための市政運営に、全力で取り組んでまいります。

さて、この市政年報は、市政の概要を記録し市民の皆様に提供するとともに、市政運営の成果を後世に伝えるために作成しております。

令和７年度を振り返りますと、大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の放送に併せて、９月には歌麿役の俳優・染谷将太さんをお招きしての「トーク＆パブリックビューイング」、１０月には「歌麿まつり」を開催し、本市ゆかりの浮世絵師喜多川歌麿と栃木市の関わりを全国に広く周知するとともに、市内外から多数のお客様をお迎えすることができました。

また、戦後８０年の節目の年であり、戦争を直接体験された方々の体験と記憶を次世代へ継承していくことが課題となる中、非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、改めて戦争の悲惨さや核兵器のおそろしさを伝えるとともに、命の尊さや平和について考える機会を提供するため、広島平和記念式典に中学生を派遣する「広島平和記念式典中学生派遣」、市民団体との共催による「とちぎ非核平和展～ヒカリから光へ～２０２５」、戦争体験の語り部による「戦争体験を聞く会」等を実施いたしました。

今後におきましても、栃木市にお住まいの方やこれから本市に住みたいと思っている方にとって暮らしやすい、誇りに思えるまちづくりを進めるため、市民一人ひとりの声を大切にし、各種施策の推進に取り組んでまいりますので、皆様の更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和８年８月

栃木市長　琴　寄　昌　男

大河ドラマ
「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」
トーク＆パブリックビューイング

歌麿まつり

広島平和記念式典
中学生派遣

戦争体験を聞く会

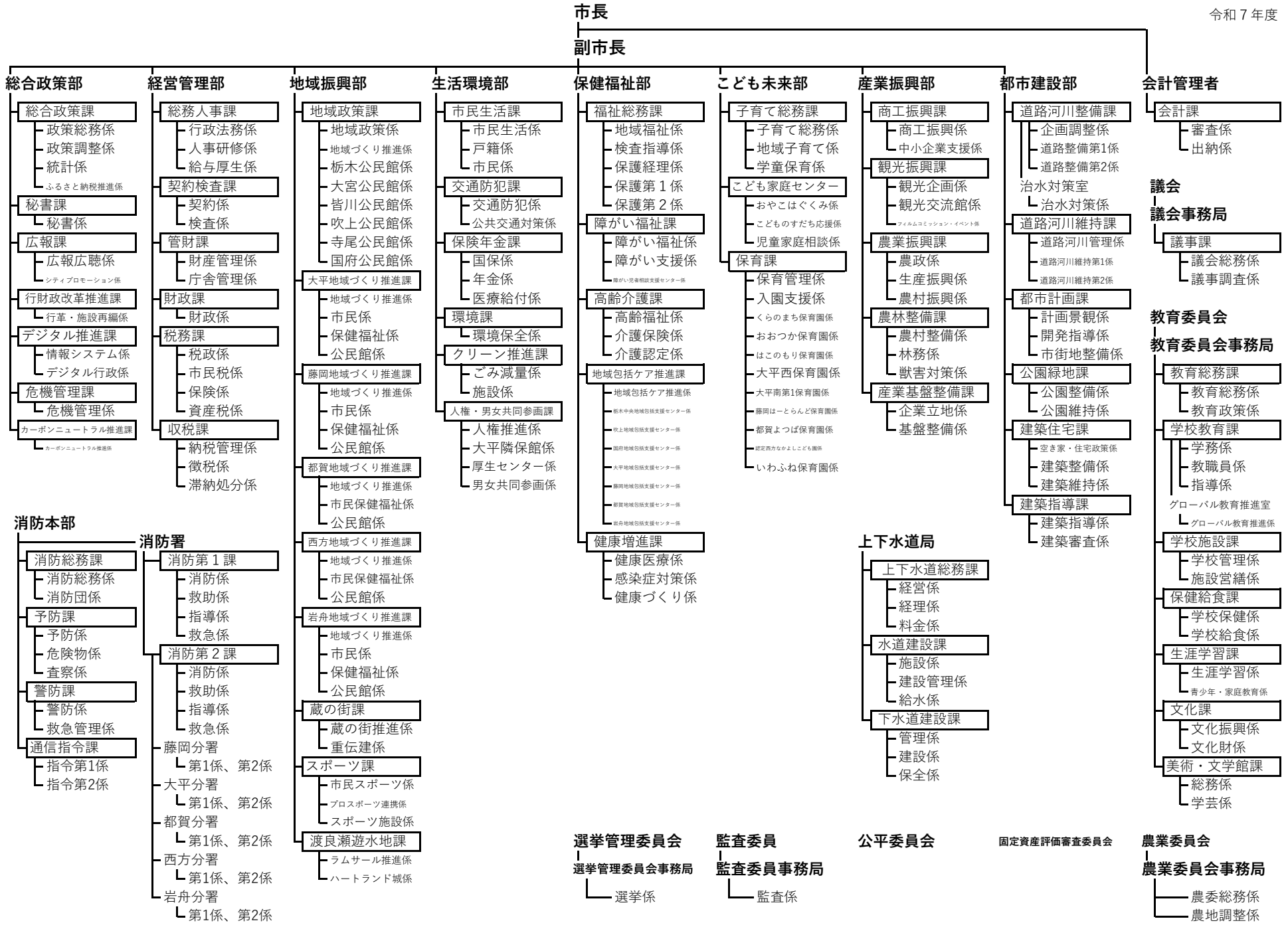
目　　次

組 織 図

第１章　　総合政策部
　第1節　　総　合　政　策　課…… 1
　第2節　　秘　　書　　課…… １０
　第3節　　広　　報　　課…… １４
　第4節　　行財政改革推進課…… ２２
　第5節　　デ ジ タ ル 推 進 課…… ２６
　第6節　　危　機　管　理　課…… ３３
　第7節　　ｶｰﾎﾞﾝﾆｭｰﾄﾗﾙ推進課…… ３８
第２章　　経営管理部
　第1節　　総　務　人　事　課…… ４２
　第2節　　契　約　検　査　課…… ６６
　第3節　　管　　財　　課…… ７０
　第4節　　財　　政　　課…… ７６
　第5節　　税　　務　　課…… ８２
　第6節　　収　　税　　課…… ９３
第３章　　地域振興部
　第1節　　地　域　政　策　課…… ９９
　第2節　　大平地域づくり推進課……１３４
　第3節　　藤岡地域づくり推進課……１５８
　第4節　　都賀地域づくり推進課……１８１
　第5節　　西方地域づくり推進課……２０３
　第6節　　岩舟地域づくり推進課……２２５
　第7節　　蔵　　の　　街　　課……２５０
　第8節　　ス　ポ　ー　ツ　課……２５７
　第9節　　渡 良 瀬 遊 水 地 課……２７０
第４章　　生活環境部
　第1節　　市　民　生　活　課……２７７
　第2節　　交　通　防　犯　課……２９４
　第3節　　保　険　年　金　課……３０４
　第4節　　環　　境　　課……３１５
　第5節　　ク リ ー ン 推 進 課……３２２
　第6節　　人権・男女共同参画課……３３２
第５章　　保健福祉部
　第1節　　福　祉　総　務　課……３５０
　第2節　　障 が い 福 祉 課……３６１
　第3節　　高　齢　介　護　課……３７５
　第4節　　地域包括ケア推進課……３９０
　第5節　　健　康　増　進　課……４０９

第６章　こども未来部
第１節　子育て総務課……４３８
第２節　こども家庭センター……４５９
第３節　保育課……４７３
第７章　産業振興部
第１節　商工振興課……４８１
第２節　観光振興課……５０４
第３節　農業振興課……５１９
第４節　農林整備課……５３４
第５節　産業基盤整備課……５４９
第８章　都市建設部
第１節　道路河川整備課……５５７
第２節　道路河川維持課……５６４
第３節　都市計画課……５６８
第４節　公園緑地課……５８０
第５節　建築住宅課……５８９
第６節　建築指導課……５９６
第９章　会計課……６０１
第10章　議会事務局
第１節　議事課……６１２
第11章　上下水道局
第１節　上下水道総務課……６３２
第２節　水道建設課……６３７
第３節　下水道建設課……６４３
第12章　消防本部
第１節　消防総務課……６５９
第２節　予防課……６６７
第３節　警防課……６７２
第４節　通信指令課……６７８
第５節　消防署……６８２
第13章　教育委員会事務局
第１節　教育総務課……６９１
第２節　学校教育課……６９７
第３節　学校施設課……７１４
第４節　保健給食課……７２４
第５節　生涯学習課……７３３
第６節　文化課……７５４
第７節　美術・文学館課……７６８
第14章　選挙管理委員会事務局……７７７
第15章　監査委員事務局……７８８
第16章　公平委員会……７９２
第17章　固定資産評価審査委員会……７９３
第18章　農業委員会事務局……７９４

令和７年度


市長
副市長
総合政策部
総合政策課
政策総務係
政策調整係
統計係
ふるさと納税推進係
秘書課
秘書係
広報課
広報広聴係
シティプロモーション係
行財政改革推進課
行革・施設再編係
デジタル推進課
情報システム係
デジタル行政係
危機管理課
危機管理係
カーボンニュートラル推進課
カーボンニュートラル推進係
経営管理部
総務人事課
行政法務係
人事研修係
給与厚生係
契約検査課
契約係
検査係
管財課
財産管理係
庁舎管理係
財政課
財政係
税務課
税政係
市民税係
保険係
資産税係
収税課
納税管理係
徴税係
滞納処分係
地域振興部
地域政策課
地域政策係
地域づくり推進係
栃木公民館係
大宮公民館係
皆川公民館係
吹上公民館係
寺尾公民館係
国府公民館係
大平地域づくり推進課
地域づくり推進係
市民係
保健福祉係
公民館係
藤岡地域づくり推進課
地域づくり推進係
市民係
保健福祉係
公民館係
都賀地域づくり推進課
地域づくり推進係
市民保健福祉係
公民館係
西方地域づくり推進課
地域づくり推進係
市民保健福祉係
公民館係
岩舟地域づくり推進課
地域づくり推進係
市民係
保健福祉係
公民館係
蔵の街課
蔵の街推進係
重伝建係
スポーツ課
市民スポーツ係
プロスポーツ連携係
スポーツ施設係
渡良瀬遊水地課
ラムサール推進係
ハートランド城係
生活環境部
市民生活課
市民生活係
戸籍係
市民係
交通防犯課
交通防犯係
公共交通対策係
保険年金課
国保係
年金係
医療給付係
環境課
環境保全係
クリーン推進課
ごみ減量係
施設係
人権・男女共同参画課
人権推進係
大平隣保館係
厚生センター係
男女共同参画係
保健福祉部
福祉総務課
地域福祉係
検査指導係
保護経理係
保護第１係
保護第２係
障がい福祉課
障がい福祉係
障がい支援係
障がい児者相談支援センター係
高齢介護課
高齢福祉係
介護保険係
介護認定係
地域包括ケア推進課
地域包括ケア推進係
栃木中央地域包括支援センター係
吹上地域包括支援センター係
国府地域包括支援センター係
大平地域包括支援センター係
藤岡地域包括支援センター係
都賀地域包括支援センター係
岩舟地域包括支援センター係
健康増進課
健康医療係
感染症対策係
健康づくり係
こども未来部
子育て総務課
子育て総務係
地域子育て係
学童保育係
こども家庭センター
おやこはぐくみ係
こどものすだち応援係
児童家庭相談係
保育課
保育管理係
入園支援係
くらのまち保育園係
おおつか保育園係
はこのもり保育園係
大平西保育園係
大平南第1保育園係
藤岡はーとらんど保育園係
都賀よつば保育園係
認定西方なかよしこども園係
いわふね保育園係
産業振興部
商工振興課
商工振興係
中小企業支援係
観光振興課
観光企画係
観光交流館係
フィルムコミッション・イベント係
農業振興課
農政係
生産振興係
農村振興係
農林整備課
農村整備係
林務係
獣害対策係
産業基盤整備課
企業立地係
基盤整備係
都市建設部
道路河川整備課
企画調整係
道路整備第1係
道路整備第2係
治水対策室
治水対策係
道路河川維持課
道路河川管理係
道路河川維持第1係
道路河川維持第2係
都市計画課
計画景観係
開発指導係
市街地整備係
公園緑地課
公園整備係
公園維持係
建築住宅課
空き家・住宅政策係
建築整備係
建築維持係
建築指導課
建築指導係
建築審査係
会計管理者
会計課
審査係
出納係
議会
議会事務局
議事課
議会総務係
議事調査係
教育委員会
教育委員会事務局
教育総務課
教育総務係
教育政策係
学校教育課
学務係
教職員係
指導係
グローバル教育推進室
グローバル教育推進係
学校施設課
学校管理係
施設営繕係
保健給食課
学校保健係
学校給食係
生涯学習課
生涯学習係
青少年・家庭教育係
文化課
文化振興係
文化財係
美術・文学館課
総務係
学芸係
消防本部
消防総務課
消防総務係
消防団係
予防課
予防係
危険物係
査察係
警防課
警防係
救急管理係
通信指令課
指令第1係
指令第2係
消防署
消防第１課
消防係
救助係
指導係
救急係
消防第２課
消防係
救助係
指導係
救急係
藤岡分署
第1係、第2係
大平分署
第1係、第2係
都賀分署
第1係、第2係
西方分署
第1係、第2係
岩舟分署
第1係、第2係
上下水道局
上下水道総務課
経営係
経理係
料金係
水道建設課
施設係
建設管理係
給水係
下水道建設課
管理係
建設係
保全係
選挙管理委員会
選挙管理委員会事務局
選挙係
監査委員
監査委員事務局
監査係
公平委員会
固定資産評価審査委員会
農業委員会
農業委員会事務局
農委総務係
農地調整係

第１章　総合政策部

第１節　総合政策課

〔総括概要〕

総合政策課の主な分掌事務は、市政の総合的な企画調整、総合計画の進行管理、特命事業の企画調整、国際及び国内交流事業、及び各種統計調査の実施等である。

市政運営の最上位計画である第2次栃木市総合計画については、栃木市自治基本条例に基づき、令和5年3月に策定し、これを計画的に推進するため、令和8年度、令和9年度の実施計画を定めた。

行政評価については、第2次栃木市総合計画の義務的事業を除く事務事業を対象に、栃木市行政評価制度に基づき、内部評価の後、栃木市市民会議委員による外部評価を実施し、ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理を行った。また、併せて、第2次栃木市総合計画に位置付けている基本方針を横断する4つのプロジェクトについても評価を実施した。

庁議、部長会議等については、政策、施策等の決定、全庁的な意見調整等、重要案件の審議を行う場として、定期的に開催した。

国際交流事業については、栃木市国際交流協会への委託事業として、外国人住民向けに外国語による相談窓口の開設や生活情報の提供等を行ったほか、市長を代表とする訪問団を金華市に派遣し、友好交流の推進に関する確認書に調印した。また、本市の多文化共生の指針となる栃木市多文化共生推進プランを策定した。

国内交流事業についても、友好親善都市である北海道滝川市で開催された「たきかわ菜の花まつり」への出展や、「栃木市の産業と物産展」への滝川市の出展など交流を継続した。また、鹿児島県奄美市と文化・経済交流に関する協定書を締結した。

統計関係では、学校基本調査、国勢調査の基幹統計調査のほか、県単統計調査として毎月人口調査を実施した。

政策総務係

1　国際交流関係

(1)　友好・姉妹都市との交流

ア　中国浙江省金華市

金華市に訪問団を派遣し、友好交流の推進に関する確認書に調印した。

・実施日　10月29日(水)～10月31日(金)

・訪問者　栃木市長、栃木市議会議長、随行者2名

・訪問先　金華市、義烏市、杭州市

イ　米国インディアナ州エバンズビル市

姉妹都市留学プログラムの参加者募集を継続した。

(2)　外国人住民支援事業

ア　栃木市国際交流協会及び市役所において、外国人相談窓口の開設、外国語による生活情報の提供を行った。

・相談内容内訳　　（単位：件）

相談内容	件数
税金・年金・社会保険	365
通訳・翻訳依頼	398
福祉・医療費・生活費	352
入管手続	66
学校教育	64
その他	609
合　　計	1,854

イ　多言語による情報提供

広報とちぎの一部を抜粋し、翻訳したものを発行した。また、ＦＭくららにおいて、多言語による情報の提供を行った。（毎月1回）

・対応言語：7か国語（英語、中国語、スペイン語、フィリピン語、ネパール語、ベトナム語、シンハラ語）

2　多文化共生関係

日本人住民と外国人住民とが、互いの文化や考え方の違いを理解し、尊重し合い、ともに歩むまちづくりを推進するため、本市の多文化共生の指針となる栃木市多文化共生推進プランを策定した。

策定にあたっては、庁内関係課による検討会議を3回、多文化共生に関する有識者及び公募の参加者による策定懇談会を2回開催し、パブリックコメントを1回実施した。また、多文化共生に関する現状と課題を把握してプランに反映させるため、アンケート調査を実施し、日本人住民658人、外国人住民280人から回答を得た。

基本理念を「ともにつくる　多文化共生のまち　栃木市」として、4つの基本目標、17の施策の方向を定め、令和12年度までの5年間で、プランに掲載した各種事業・取組を推進し、本市の多文化共生社会の実現を図っていく。

3　国内交流関係

(1)　北海道滝川市

友好親善都市である滝川市と交流を行った。

ア　2025たきかわ菜の花まつり

・実施日　5月17日(土)、18日(日)

・会　場　道の駅たきかわ

・内　容　副市長、総合政策部長、職員1名参加（物産販売、観光ＰＲ）

イ　第46回栃木市の産業と物産展

・実施日　10月18日(土)、19日(日)

・会　場　蔵の街第一駐車場

・内　容　滝川市職員2名、地域おこし協力隊1名参加（物産販売、観光ＰＲ）

(2)　鹿児島県奄美市

10月10日（金)、田中一村の生誕及び終焉の地として交流のあった奄美市と文化・経済交流に関する協定書を締結した。

4　両毛線整備促進期成同盟会（高崎市、前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、足利市、佐野市、栃木市、小山市）

両毛線の施設整備等の促進を図るため､両毛線整備促進期成同盟会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所
4月23日（水）	第1回担当者会議	美喜仁桐生文化会館 （桐生市市民文化会館）
6月16日（月）	第2回担当者会議	美喜仁桐生文化会館 （桐生市市民文化会館）
8月7日（木）	総会	美喜仁桐生文化会館 （桐生市市民文化会館）
11月上旬	チラシ配布	各市町内中学3年生に配布
1月22日（木）	第3回担当者会議	美喜仁桐生文化会館 （桐生市市民文化会館）
2月25日（水）	要望活動	ＪＲ東日本株式会社 高崎支社

5　宇都宮線・両毛線・水戸線・真岡鐵道沿線地域活性化推進協議会（旧名：東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会）（結城市、筑西市、足利市、栃木市、佐野市、小山市、真岡市、下野市）

小山駅に接続する宇都宮線、両毛線、水戸線沿線地域の発展と地域住民の利便性の向上を図るため、宇都宮線・両毛線・水戸線・真岡鐵道沿線地域活性化推進協議会の活動に参加した。

ＪＲ東日本大宮支社において実施した首都圏重点宣伝地域キャンペーンと連携し、沿線地域の魅力を発信するためデジタルスタンプラリーとなる「北関東ローカル線　東西スタンプラリー」を開催した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所	備考
4月25日（金）	第1回幹事会	小山市役所	
5月28日（水）	第2回幹事会	小山市役所	
8月19日（火）	総会	小山市役所	
9月　9日（火）	第3回幹事会	文書による承認	
12月20日（土）～ 2月28日（土）	北関東ローカル線 東西スタンプラリー	駅周辺の各市イチ推しスポット （全12か所）	

3月19日（木）	要望活動	文書による実施	

6　北関東・新潟地域連携軸推進協議会（新潟市、加茂市、長岡市、柏崎市、湯沢町、沼田市、渋川市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、玉村町、みなかみ町、足利市、佐野市、小山市、栃木市、水戸市、茨城町、ひたちなか市）

北関東及び新潟地域との連携を図るため、北関東・新潟地域連携軸推進協議会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所	備考
5月16日（金）	総会	文書による承認	
8月 7日（木）	第1回担当課長会議	文書による承認	
3月11日（水）	第2回担当課長会議	文書による承認	

7　関東どまんなかサミット会議（古河市、加須市、野木町、板倉町、栃木市、小山市）

茨城県、埼玉県、群馬県及び栃木県の県境に位置する隣接地方自治体が相互に協力して、魅力ある圏域の形成を目指す関東どまんなかサミット会議の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所	備考
8月8日（金）	第1回幹事会	古河市役所	
10月6日（月）	サミット会議 （古河歴史博物館等視察）	古河歴史博物館等	

8　マイナンバーカード普及促進事業に関すること

マイナンバーカードの普及を促進するため、昨年度から引き続き、市内郵便局29局（簡易郵便局は除く）において申請受付を実施した。また、市の窓口まで足を運ぶことが難しい方を対象として、市職員及び委託業者が自宅や福祉施設等に訪問して申請を受け付け、後日マイナンバーカードを交付する出張申請受付事業を実施した。

(1)　市内郵便局

月	受付件数（件）
4月	145
5月	128
6月	138
7月	297
8月	438
9月	311
10月	442
11月	491
12月	413

1月	260
2月	217
3月	259
合計	3,539

(2)　マイナンバーカード出張申請受付

月	受付件数（件）
5月	4
6月	11
7月	20
8月	16
9月	7
10月	11
11月	14
12月	18
1月	9
2月	14
3月	10
合計	134

政策調整係

1　第2次栃木市総合計画

本市の自治の最高規範である「栃木市自治基本条例」の規定に基づき、市の最上位計画としての総合計画を策定し､これに基づき総合的かつ計画的な行政運営を行っている。

総合計画は、本市の10年後の目指すべき将来像を定め、その実現を図っていく基本構想と、5年間の部門ごとの現状と課題、施策の方向性を取りまとめた基本計画で構成し、市の将来都市像として「豊かな自然と共生し　優しさと強さが調和した　活力あふれる栃木市」を定めた。

また、総合計画の進捗管理は、栃木市行政評価制度により行い、栃木市市民会議委員による外部評価も併せて実施した。更に、第2次栃木市総合計画に位置付けている基本方針を横断する4つのプロジェクトについても評価を実施した。実施計画については、令和8年度・令和9年度分を策定し、実施する事務事業を明らかにした。

2　庁議

市長が主宰し、市政の基本方針等の審議または協議を行った。

・開催回数　25回

・内　　容　審議事項　　115件
　　報告事項　　44件
　　連絡事項　　21件

3　部長会議

副市長が主宰し、重要な事業等の審議または協議を行った。

・開催回数　12回

・内　　容　審議事項　　50件

　　報告事項　　1件

　　連絡事項　　3件

4　幹事課長会議

総合政策部長が主宰し、業務の調整及び報告を行った。

・開催回数　12回

・内　　容　審議事項　　66件

　　報告事項　　14件

　　連絡事項　　1件

5　土地利用対策に関すること

土地利用の諸問題を、総合的に検討、調整し、本市の総合的かつ計画的な土地利用を図るため、栃木市土地利用対策委員会において協議を行った。

(1)　大規模開発事業について

・会議開催　1回

(2)　廃棄物処理施設設置等について

・文書照会　7件

6　栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関すること

まち・ひと・しごと創生法に基づき国が定めた総合戦略を踏まえながら人口減少問題に取り組むため、平成27年10月に「栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。その後、国の総合戦略の改訂を踏まえ、令和2年3月に「第2期栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和6年3月に第2期「栃木市デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略」として改訂を行い、人口の将来展望を達成するための施策を実施している。

施策の実施に当たっては、進捗管理を行うとともに、その進捗状況や地方創生関連交付金を活用した事業に対し、栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会を開催して意見を聴取した。

7　定住自立圏構想に関すること

定住自立圏構想は、圏域ごとに「集約とネットワーク」の考えに基づき、相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体で必要な生活機能を確保し、地域圏への人口定住を促進する政策であり、平成27年3月に「中心市宣言」を行い、平成27年6月議会において「定住自立圏形成方針」を定めた後、平成28年3月の定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催等を経て、平成28年8月に「栃木市定住自立圏共生ビジョン」を策定した。

平成31年3月には、ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理を行っていくための成果指標（ＫＰＩ）を設定するため、「栃木市定住自立圏共生ビジョン」を改訂し、令和3年3月には「第2期栃木市定住自立圏共生ビジョン」を策定した。

令和7年1月に国の定住自立圏構想推進要綱の一部が改正されたことから、これを踏まえ「定住自立圏形成方針」を見直し、令和8年3月議会において議決を経て変更した。また、この見直しに併せ、「第3期栃木市定住自立圏共生ビジョン」を策定した。

8　小平浪平翁顕彰に関すること

平成30年10月5日に、栃木市出身で株式会社日立製作所の創業者である小平浪平氏の生家の土地、建物が市に寄贈され、令和4年10月から施設見学の受入れを実施している。

また、同氏の功績を顕彰することや、郷土への愛着と気運の醸成を図るため、小平浪平顕彰基金を活用した、生誕地及び関連施設である日立オリジンパーク等を巡る顕彰ツアーを計6回実施したほか、令和8年2月21日には、生誕記念事業として『栃木で生まれた偉人 小平浪平』を開催し、第1部では同氏の生涯を描いた映像作品の上映会、第2部では株式会社日立製作所名誉会長による講演会を行った。

(1)　基金の額　（単位：円）

令和6年度末現在高	令和7年度中増減高	令和7年度末現在高
38,329,419	5,268,000	43,597,419

(2)　運用の状況　（単位：円）

種　別	金　額
ふるさと応援寄附	10,823,000
企業版ふるさと納税	5,000,000

(3)　小平浪平生誕地見学者数　（単位：人）

種　別	人　数
見学者数	389

(4)　小平浪平生顕彰ツアー参加者数　（単位：人）

種　別	人　数
参加者数	200

(5)　小平浪平翁生誕記念事業『栃木で生まれた偉人 小平浪平』観覧者数　（単位：人）

種　別	人　数
参加者数	300

9　蔵の街市民ギャラリーに関すること

令和3年3月に閉館した蔵の街美術館を、総合政策課に所管替えし、令和3年11月1日に蔵の街市民ギャラリーとしてリニューアルオープンした。内部にはギャラリーの展示室として3部屋、チャレンジショップのブースとして1部屋を設置し、貸出しを行った。

・利用状況

種　別	利用件数	利用日数	使用料

展示室	20件	125日	208,000円
チャレンジショップ	2件	9か月	60,000円

10　栃木市政策フェローに関すること

本市における政策を推進するに当たり、陳内裕樹氏、渡邉賢一氏、相川七瀬氏、小出泰久氏の4名を栃木市政策フェローとして委嘱し、各分野において専門的な立場からの支援、助言をいただいた。

11　栃木市東京サテライトオフィスに関すること

令和5年度から東京都港区虎ノ門ヒルズビジネスタワーのCIC Tokyo内に栃木市のサテライトオフィスを設置している。東京圏の人や企業に対して本市の魅力を発信するとともに、新たな関係を構築しながら、市内企業と東京圏企業との事業連携や企業誘致、本市への移住促進などに取り組んだ。

統計係

1　基幹統計調査

(1)　学校基本調査（文部科学省）

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項（学校数、学級数、在学者数、教職員数、施設等）を明らかにするため、調査を実施した。

・調査期日　5月1日

・調査校

区　分	対象数
小学校	29校
中学校	14校
幼稚園	5園
幼保連携型認定こども園	13園
専修学校	4校
各種学校	2校

(2)　国勢調査（総務省）

5年ごとに実施される国の最も基本的な統計調査で、日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象に、最新の人口・世帯の実態を明らかにするため、調査を実施した。

・調査期日　10月1日

・調査対象　すべての人及び世帯

・調査区数　1,086調査区

・調査員　　711人

・指導員　　109人

2　県単統計調査

(1)　栃木県毎月人口調査

国勢調査の実施間における県下の常住人口と世帯数を推計し、その動向を明らかにするための調査で、市民生活課の資料を基に、本市における毎月1日から末日までの出生・死亡・転入・転出者数及び世帯の増減数を加減し推計した人口調査票を作成し、報告した。

3　その他の事業

(1)　統計調査員確保対策事業

指定統計調査を円滑に行うため、県の指導の下、統計調査員の募集、登録を行った。また、統計調査員の各種表彰の推薦を行った。

・統計調査員数　298人

(2)　市統計データ作成事業

市政の現状とその推移を明らかにするため、市に関する基本的な統計資料を収集し、ホームページ上に「令和7年度版統計データ」として掲載した。

(3)　令和8年版県民手帳の周知

県統計協会からの依頼を受け、一部市内コンビニエンスストア及び一部書店にて販売される旨を周知した。

ふるさと納税推進係

1　栃木市ふるさと応援寄附（個人版ふるさと納税）に関すること

市ホームページ及びふるさと納税ポータルサイトへの情報掲載やインターネット広告などを通して、ＰＲに努めた。また、返礼品提供事業者の新規開拓に努め、返礼品の拡充を図った。

内　容	数　量
寄附件数	43,408件
寄附金額	1,509,627,000円
返礼品数	約870品

2　栃木市企業版ふるさと納税に関すること

令和2年11月6日に地域再生計画の認定を受け、寄附の受付を開始した。また、市ホームページに情報を掲載し、ＰＲに努めた。

内　容	数　量
寄附件数	11件※
寄附金額	2,600,000円※

※非公開希望分は除く

第２節　秘書課

〔総括概要〕

秘書課の主な分掌事務は、秘書関係業務である。

秘書関係業務として、市長のトップマネジメントが十分に発揮できる環境を常に整えるため、庁内各課と緊密な連携を図るとともに、課内職員間の確認・連絡・報告を徹底し、秘書機能の充実に努めた。

また、市政功労者等表彰式を挙行し、本市に対して功績が顕著であった個人や団体を顕彰するとともに、その活動等の社会的な認知の浸透に努めた。さらに、市内各界の方々との相互交流を通じて、未来に向けたまちづくりへの連帯感の醸成を図ることを目的として、関係団体との協力のもと新春賀詞交歓会を開催した。

秘書係

1　市長のホームページの管理

・市長のメッセージの更新　　随時
・市長の主な動きの更新　　月１回（各月ごとにその翌月に写真で紹介）
・市長の交際費支出状況の更新　月１回（各月ごとにその翌月１日頃）

2　下野新聞社への市長日程の提供

毎月下旬に翌月分の市長日程の抜粋を報告した。

3　表彰

市政功労者等の表彰式を開催した。

・実施日　11 月 11 日（火）
・場　所　市役所　正庁
・市政功労表彰（敬称略）

表彰条例第３条第１項による表彰（各種委員等における永年在職者）

農業委員	在職 15 年 4 月	柴 賢一郎
自治会長	在職 16 年 7 月	澤井 康男
民生委員児童委員	在職 16 年 5 月	稲川 由紀
民生委員児童委員	在職 17 年 11 月	上野 知哉
民生委員児童委員	在職 17 年 11 月	熊倉 とし
民生委員児童委員	在職 17 年 11 月	桑原 ウタ子
民生委員児童委員	在職 17 年 11 月	毛塚 勝行
民生委員児童委員	在職 16 年 2 月	小林 一男
民生委員児童委員	在職 17 年 11 月	野口 邦子
民生委員児童委員	在職 17 年 11 月	真瀬 洋子

民生委員児童委員	在職 19 年 7 月	森谷　和子
学校医	在職 15 年 7 月	青木　真祐
学校医	在職 19 年 2 月	青木　虎男
学校医	在職 18 年 7 月	秋元　明彦
学校医	在職 18 年 4 月	大家　準
学校医	在職 19 年 7 月	川田　浩
学校医	在職 20 年 7 月	関口　弘道
学校医	在職 19 年 8 月	髙田　良久
学校医	在職 15 年 7 月	髙橋　直人
学校医	在職 17 年 7 月	中村　昭彦
学校医	在職 19 年 7 月	野﨑　泰宏
学校医	在職 15 年 7 月	芳賀　雅士
学校医	在職 16 年 0 月	長谷川　秀実
学校医	在職 15 年 7 月	松永　安優美
学校医	在職 18 年 7 月	森川　丘道
学校医	在職 15 年 7 月	盛川　宏
学校医	在職 16 年 4 月	山田　吾郎
学校歯科医	在職 19 年 7 月	小荷田　祐介
学校薬剤師	在職 18 年 7 月	山中　好夫
スポーツ推進委員	在職 17 年 7 月	秋山　光江
スポーツ推進委員	在職 19 年 7 月	大阿久　誠
スポーツ推進委員	在職 18 年 7 月	大島　美恵子
スポーツ推進委員	在職 17 年 7 月	柏崎　忠敏
スポーツ推進委員	在職 19 年 7 月	権守　みどり
スポーツ推進委員	在職 16 年 7 月	田中　宜夫
予防接種委員	在職 15 年 8 月	岸本　恭紀
障害者支援施設代表	在職 24 年 0 月	新井　忠孝
障害者支援団体代表	在職 23 年 0 月	小島　幸子
障害者支援団体代表	在職 25 年 0 月	佐藤　寿美
障害者支援団体代表	在職 29 年 0 月	中山　全央
皆川地区 安全パトロール隊長	在職 16 年 7 月	青木　茂
消防団員	在職 18 年 7 月	生澤　章倫
消防団員	在職 17 年 7 月	酒井　高宏
消防団員	在職 17 年 7 月	坂田　和亮
消防団員	在職 18 年 7 月	関口　徹也
消防団員	在職 32 年 9 月	関口　康博
消防団員	在職 17 年 7 月	高岡　健一郎

消防団員	在職 18 年 7 月	田口 充
消防団員	在職 26 年 7 月	長 一幸
消防団員	在職 16 年 7 月	蒔田 浩忠
消防団員	在職 20 年 7 月	柳谷 良宗
消防団員	在職 17 年 7 月	山崎 正史
消防団員	在職 18 年 7 月	山本 佳一
消防団員	在職 18 年 7 月	渡邉 明

※本人の希望により、2 名掲載なし

・徳行表彰（敬称略）

表彰条例第 4 条第 1 項による表彰

徳行	社会貢献活動	下枝 順子
徳行	社会貢献活動	田沼 常宣
徳行	多額寄附	薄井 勝
徳行	多額寄附	川島 重雄
徳行	多額寄附	五月女 博勇
徳行	多額寄附	(有)セキグチ工業 代表取締役会長 関口 利男
徳行	多額寄附	中野 冨美子
徳行	多額寄附	中野 好雄
徳行	多額寄附	半井 勉

※本人の希望により、3 名掲載なし

・市民栄誉賞（敬称略）

表彰条例第 5 条による表彰

市民栄誉賞	柔道グランドスラム・バクー2025 100kg 超級 優勝	太田 彪雅
市民栄誉賞	2024 全日本ジュニア体操競技選手権大会 女子 C クラス ゆかの部 優勝	佐藤 唯蘭
市民栄誉賞	令和 6 年度 全日本ラージボール卓球 選手権大会 混合ダブルス 150 の部 優勝	塩田 武志 塩田 秀子
市民栄誉賞	令和 6 年度 全日本学生馬術 女子選手権大会 優勝	鈴木 美咲
市民栄誉賞	令和 6 年度 全日本ターゲット・バードゴルフ 全国大会 in みえ 個人戦男子一般の部 優勝	関口 政明
市民栄誉賞	令和 6 年度 全日本ターゲット・バードゴルフ 全国大会 in みえ 個人戦男子一般の部 準優勝	溝井 代次

市民栄誉賞	USA All Star Nationals2025 全国選手権大会 Junior 編成 Cheerleading 部門 優勝	青鹿 圭菜 岩崎 唯乃 茅島 舞衣 坂本 陽 佐藤 実郷 早川 あさひ
市民栄誉賞	USA All Star Nationals2025 全国選手権大会 Junior 編成 Cheerleading 部門 準優勝	大類 莉々花

4　新春賀詞交歓会

・実 施 日　1月6日（火）

・場　　所　サンプラザ

・主催団体　市・市議会・栃木商工会議所・大平町商工会・藤岡町商工会・都賀町商工会・西方商工会・岩舟町商工会・下野農業協同組合・上都賀農業協同組合・栃木市自治会連合会

・参加者数　293人

（市154人、市議会26人、商工会議所68人、
商工会24人（大平8人、藤岡6人、都賀4人、西方3人、岩舟3人）、
ＪＡしもつけ10人、ＪＡかみつが3人、自治会連合会8人）

第３節　広報課

〔総括概要〕

広報課の主な分掌事務は、広報業務、広聴業務、シティプロモーション業務及びマスコットキャラクター活用業務である。

広報業務については、市民への市政情報の提供及び市外に向けての情報発信を目的として、広報紙の発行、公式ホームページ等への掲載、報道機関への情報提供等、積極的な広報活動を展開した。

広報紙については、紙面の充実を図りながら、毎月１回発行した。また、ホームページの内容の充実をはかるとともに、ＳＮＳを活用した広報活動として、公式Ｘ（旧 Twitter)、公式 Fecebook 及び公式 LINE による広報を行った。更に、栃木市コミュニティＦＭ「ＦＭくらら 857」を活用し、身近な地域情報や災害・防災情報の配信を行った。

広聴業務については、それぞれの地域ごとのニーズや意見等を市の施策に活かすとともに､本市の進めるまちづくりについて理解を深めてもらうことを目的として、まちづくり懇談会ふれあいトークを開催した。

令和７年度は、懇談会参加者と市が抱える特定の課題を共有し、いただいたご意見等を市政の参考とすることを目的に、テーマトークを導入し､「女性も活躍する地域について」をテーマに実施した。

また､「経営者と市長との意見交換会」及び「若者世代と市長との意見交換会」を実施し、市が抱える課題の洗い出しや認識の共有を図った。

シティプロモーション業務については､平成 28 年度に作成した栃木市シティプロモーション計画｢Tochigi City Promotion Design｣の第３期行動計画｢Tochigi City Promotion Creation 3rd」に伴うシティプロモーションアンケートを実施した。また、市民によるシティプロモーションを推進するため、本市の魅力的な「自然」「歴史」「食」等の様々な写真を Instagram で募集する「栃木市フォトフェス 2025」を実施し、宇都宮大学地域プロジェクト演習を活用し啓発を行った。

マスコットキャラクター活用業務については､平成 26 年４月５日に誕生した栃木市マスコットキャラクター「とち介」の 11 周年を祝い開催した「とち介マルシェ 2025」ほか、広くとち介をＰＲすることで、市民の一体感の醸成や本市の知名度の向上に努めた。また、とち介の派遣業務やデザイン申請の受付及び承認のほか、とち介を活用した主催事業を行い、積極的に本市の情報発信に努めた。

広報広聴係

1　広報業務

(1)　広報紙等による広報

市政全般について掲載した広報紙を、特集記事の構成を工夫するなど内容の充実を図りながら毎月発行し、市政のＰＲに努めた。

ア　広報とちぎ

・発行回数　定期12回（毎月1回）

・発行部数　52,500部

・仕　　様　Ａ4判（4色フルカラー・32頁）

イ　広報とちぎ点字版

・発行回数　定期6回（2か月に1回）

・発行部数　24部

・仕　　様　Ｂ5判点字用紙（約30ページ）

ウ　声の広報とちぎ

朗読ボランティア「あかり」の協力を得て発行

・発行回数　定期12回（毎月1回）

・仕　　様　ＣＤ・ＳＤカード・カセットに音声収録

(2)　ホームページによる広報

市政情報やイベント、観光案内、生活ガイドや災害情報等の内容の充実化と積極的な市内外への発信を行った。

・アクセス件数（ページビュー数）6,892,322件

(3)　ＳＮＳを活用した広報

ＳＮＳによる広報を行うことで、多様な媒体を通じての情報発信強化に努めた。

・投稿内容　行政情報、観光情報、災害情報等

・投稿数　Facebook　382件　Ｘ（旧Twitter）　1,053件　LINE　208件

(4)　テレビ・ラジオ等による広報

ア　ＣＡＴＶコミュニティチャンネル

広報とちぎの内容や市政情報等について、ケーブルテレビ(株)に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル（デジタル111チャンネル）で放送した。

・Report Tochigi

職員による市政情報発信番組として､イベント情報や市政情報の発信を行った。併せて、市の施設の紹介も実施した。

5分番組で、月毎にテーマを変えて放送した。（1日3回程度放送）

・生活文字情報

文字情報を全画面で表示する3分番組として、1日6回、毎日放送した。

・エリア便

イベント等の告知情報で、毎週月～木曜日に約1分間放送した。

・新春特別番組「新年のご挨拶／テレビ年賀状」

市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

15分番組で、1月1日（木）～4日（日）に放送した。

イ　とちぎテレビ

市政のＰＲを行うため、(株)とちぎテレビに番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

・新春特別番組「2026年　わが街発！」

30分番組のうち10分間で、1月1日（木）、3日（土）に放送した。

ウ　栃木放送（ＣＲＴ）

市政のＰＲを行うため、(株)栃木放送に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

・新春特別番組「新しい年を迎えて　栃木市長に聞く」
10分番組で、1月1日（木）、3日（土）に放送した。

エ　エフエム栃木

市政のＰＲを行うため、(株)エフエム栃木に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

・オールとちぎ首長新春挨拶ＣＭ
60秒ＣＭで、1月1日（木）～15日（木）の間に10回放送した。

(5)　コミュニティＦＭ

栃木市コミュニティＦＭ「ＦＭくらら857」を活用し、災害情報・防災情報の配信や、身近な地域情報を発信することで、市民が豊かで安心して暮らせるまちづくりの推進を図った。

ア　市の広報番組

・「とち介Ｐ（プロデュース）のＨＡＰＰＹ　ＴＯＷＮ」平日の11時～11時55分
各課からのお知らせなどを放送した。
・インフォマーシャル　市からのお知らせを生放送で、毎日4回放送した。
・ＣＭ　市からのお知らせを録音し、毎日6回放送した。

イ　災害放送

・災害発生時に備えるため、毎週木曜日11時に緊急割込み放送の試験放送を行った。

(6)　報道機関等への情報提供

ア　記者会見

・定例記者会見　毎月1回
・予算記者会見　年1回
・臨時記者会見　随時(令和7年度0回)

イ　市政情報の提供（メール・ＦＡＸにより随時）

・情報提供件数　480件

(7)　広報活動推進員による活動

各課で1名広報活動推進員（庶務担当係長）を選任し、広報活動の円滑な事務を行うための広報活動推進員研修会を実施した。

・日時　7月4日（金）（参加者70名）
・演題　「伝わるプレスリリースとは」
・講師　下野新聞社　栃木支局長　佐野　恵　氏

2　広聴業務

(1)　まちづくり懇談会ふれあいトーク

市長をはじめとする市執行部が、市民の市政に対する意見、提案等を直接聴くことにより、課題等を共有し、市政に反映することを目的に実施した。

また、市の重要施策を市長等から直接市民に説明することにより、事業の周知を図った。

さらに、「女性も活躍する地域について」をテーマに、20歳から39歳の女性の提出する割合が高い市の課題について、参加者と意見交換を行った。

ア　懇談会

・栃木地域

実施日	出席者（人）	会場
7月15日（火）	78	国府公民館
7月18日（金）	109	寺尾公民館
7月24日（木）	76	皆川公民館
7月30日（水）	73	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）
8月 1日（金）	57	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）
8月 6日（水）	67	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

・大平地域

実施日	出席者（人）	会場
6月27日（金）	69	大平健康福祉センター
7月 1日（火）	55	大平健康福祉センター

・藤岡地域

実施日	出席者（人）	会場
6月24日(火)	60	藤岡文化会館

・都賀地域

実施日	出席者（人）	会場
7月 9日（水）	110	都賀公民館

・西方地域

実施日	出席者（人）	会場
7月 4日(金)	68	北部健康福祉センター

・岩舟地域

実施日	出席者（人）	会場
6月20日(金)	94	CITY GYM & SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）

(2)　経営者と市長との意見交換会

ふれあいトークのテーマトークにて、女性の働き方に関する意見が多数寄せられたことから、「女性が働きたい職場」について、（若手・女性）経営者と意見交換を行い、「女性活躍社会」の議論を深めるとともに、各施策やまちづくりに活かすことを目的として実施した。

実施日	出席者（人）	会場
10月 8日(水)	14	栃木市役所 本庁舎

(3) 若者世代と市長との意見交換会

ふれあいトークのテーマトークと同じく「女性も活躍する地域について」をテーマに若者と意見交換を行い、若者の意見やニーズを把握するとともに、各施策やまちづくりに活かすことを目的として実施した。

実施日	出席者（人）	会場
11月15日(土)	11	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

(4) 市政メール箱（電子メール）

インターネットを利用した広聴活動として、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を設け、投書受付を実施した。

・件数 260件

(5) 投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

・件数 41件

(6) 郵送及びＦＡＸによる市政に関する意見の受付

・件数 10件

(7) 来庁や電話による市政に関する意見の受付

・件数 16件

(8) パブリックコメント

重要な施策の策定過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参画を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、栃木市パブリックコメント手続条例に基づき、パブリックコメント（市民意見提出制度）を実施した。

・実施件数 17件

シティプロモーション係

1 シティプロモーション業務

(1) シティプロモーション事業

ア 栃木市シティプロモーション計画の第3期行動計画である「Tochigi City Promotion Creation 3rd」に伴う、シティプロモーションアンケートを実施した。

・対象 栃木県内市、関東主要都市、全国主要都市在住者

・件数 8,000件

・期間 10月2日（木）～11月4日（火）

イ 日常の中の栃木市の魅力をSNSを活用して発信する「栃木市フォトフェス2025」を実施した。

・実施期間 前期（春夏の画像）：5月1日（木）～9月30日（火）

後期（秋冬の画像）：10月1日（水）～2月28日（土）

・応募作品数　前期：221点（55人）

後期：209点（34人）

ウ　栃木市の農産物のブランドイメージをより強固にするとともに、農産物をきっかけに栃木市の魅力を発信する場として、シティプロモーションイベント「いちご市（いち）～栃木市産いちご直売会～」を開催した。

・開催日　3月25日（水）

・開催場所　（一財）地域活性化センター　日本橋イベントスペース

・協力　農業振興課、地域政策課、蔵の街課、渡良瀬遊水地課、観光振興課、栃木市観光協会、下野農業協同組合

・参加者　500人

エ　宇都宮大学地域プロジェクト演習を活用した情報発信

・フォトフェスを周知するため、市内イベントでの広報活動を実施した。

・栃木市魅力発信特使の田村律之助顕彰会と連携した二条大麦のPRのためのワークショップを開催した。

(2)　栃木市ふるさと大使

ア　本市の魅力を広く効果的に情報発信することにより、本市の知名度及びイメージの向上を図るとともに市民の一体感及び郷土愛を醸成することを目的とした「栃木市ふるさと大使」制度を設け、全国的に活躍する本市ゆかりの方に委嘱している。

・栃木市ふるさと大使　30名（28名、2団体）　（委嘱順）

氏名	プロフィール	氏名	プロフィール
春風亭柳橋	落語家	間中　利美	モンキーエンターテイメント代表
栃木シティFC	プロサッカークラブ	武井　択也	元プロサッカー選手
吉川　真	宇宙航空研究開発機構（JAXA）准教授	茂手木　章	中華料理人
山田　昌彦	元富士通スーパーコンピュータ「京」プロジェクト責任者	桂小南	落語家
澤村　拓一	元プロ野球選手	雲田　はるこ	漫画家
寺内　崇幸	元プロ野球選手	蜂須賀　孝治	元プロサッカー選手
富田　晋伍	元プロサッカー選手	八津　弘幸	脚本家
山田　五郎	評論家	富山　貴光	元プロサッカー選手
渡辺　俊介	元プロ野球選手	上原　チョー	お笑い芸人
石川　恋	俳優、モデル	大谷　桃子	車いすテニス選手
冬木　れい	料理研究家	小林　美貴	ショコラティエール
菊池　優	フリーアナウンサー	植野　広生	元「danchu」編集長
MAGIC OF LiFE	ロックバンド	黒川　伊保子	人工知能研究者、随筆家
古川　登志夫	声優	古今亭志ん丸	落語家

赤荻　一也	ピザ職人	平山　花羽	演歌歌手

イ　栃木市ふるさと大使の活動を広く周知するため、広報とちぎ令和8年4月号にインタビュー記事を掲載した。（吉川真氏）

(3)　栃木市魅力発信特使

ア　令和2年度より「栃木市魅力発信特使」制度を設け、本市の明るい未来を築いていこうという志を持って、それぞれの分野で市内を中心に活躍し、本市の魅力を積極的に発信している個人及び団体等を認定している。

・栃木市魅力発信特使　17名（16名、1団体）　（認定順）

氏名	プロフィール	氏名	プロフィール
伊吹　和矢	歌手	平泉　由実	デザイナー
神戸　明	地域コーディネーター	坂本　絵津子	シンガーソングライター
倉持　雅代	パーソナルトレーナー	髙橋　由起	フルート奏者
田村　愛	ラジオパーソナリティ	遠藤　翼	蔵の街遊覧船最年少船頭
山田　かかし	タレント	遠藤　百合子	NPO法人事務局員
小林　美香	ぶどう園三代目	田村律之助顕彰会	ビール麦栽培を広めた田村律之助の顕彰団体
佐沼　理衣	動画クリエイター	アラタケンジ	カメラマン
桜祐	声優、イラストレーター	角田　恵美	フリーアナウンサー
落合　義人	柔道整復師		

イ　魅力発信特使に「栃木市フォトフェス2025」の審査を依頼し、各賞を決定した。（審査委員長：アラタケンジ氏、審査委員：神戸明氏）

2　マスコットキャラクター活用業務

(1)　とち介派遣事業

栃木市マスコットキャラクター「とち介」を市主催のイベントや学校行事、キャラクターイベント等に派遣し、とち介及び栃木市のＰＲと共に市民の一体感の醸成に努めた。

・派遣回数　118回　（市内104回、市外14回）　月平均　約9.8回

(2)　デザイン申請・承認手続

とち介のデザインを用いた商品等の、デザイン使用申請の受付及び承認（更新申請も含む）を行った。

・承認件数　178件　（販売品77件、非売品101件）

・商品　タオル、缶バッチ、クリアファイル、Ｔシャツ、エコバック等

(3)　とち介公式ＳＮＳによる情報発信

各ＳＮＳの特徴や、ターゲット層等に着目し、それぞれ使い分けながら、本市の情報等を継続的に発信した。

ア　とち介目線のゆるやかな言葉で、本市の情報等を継続的に発信した。

・X（旧Twitter）　フォロワー数　14,408人

・Instagram　フォロワー数　5,923人

イ　スタッフ目線で、より詳細な情報を継続的に発信した。

・Facebook　フォロワー数　2,290人

(4)　とち介主催事業

とち介を活用し、本市の魅力を積極的に発信するため、各主催事業を実施した。

ア　とち介マルシェ2025

・開催日　4月12日（土）

・開催場所　栃木市立美術館・文学館ひろば

・参加者　700人

イ　とち介のクリスマス会2025

・開催日　12月25日（木）

・開催場所　市役所1階市民スペース

・参加者　50人

ウ　とち介謹賀新年グリーティング2026

・開催日　1月6日（火）

・開催場所　大神神社

・参加者　30人

(5)　マスコットキャラクター応援基金

マスコットキャラクター活用推進の財源確保のため、栃木市ふるさと応援寄附（ふるさと納税）の「マスコットキャラクター活動支援事業」コースにて寄附を募った。

・受入件数　253件

・受入額　6,515,000円

(6)　とち介商標権存続期間更新登録

特許庁へマスコットキャラクター商標権登録の更新を行った。

・更新登録日　6月26日（木）

・期間　10年（令和17年6月26日まで）

・分類　第14類、第24類、第25類、第30類、第31類

第４節　行財政改革推進課

〔総括概要〕

行財政改革推進課の主な分掌事務は、行財政改革、指定管理者制度、公共施設の再配置等について、庁内の調整を図る業務である。

行財政改革については、令和4年度に策定した第3次行政改革大綱・財政自立計画に基づき、実施計画の進捗管理に努め、行財政の健全化に向けた取組みを行った。

指定管理者制度については､全ての制度導入施設について管理状況評価を行った。

公共施設の再編については、公共施設のあり方ガイドラインにおいて、30 年間で延床面積を 25%削減する目標を掲げており、目標達成に向けた取組みを行った。

また、公共施設のあり方等を検討するため設置している、公共施設適正配置計画推進会議において、取組み内容の確認や進捗管理等を行った。

令和 7 年度の施設カルテについては、各施設の基本情報、今後の方向性、課題等を取りまとめ、市ホームページに公表した。

未利用公共施設の処分等については、皆川中学校及び寺尾中学校の廃校後の利活用等に関して検討を行った。

行革・施設再編係

1　行財政改革

令和4年度に策定した第3次行政改革大綱・財政自立計画に基づき、実施計画の進捗管理に努めた。

なお、栃木市市民会議が次のとおり開催され、行政改革大綱・財政自立計画に対する意見書が提出された。

・総合計画部会　7月29日（火）、7月30日（水）、8月5日（火）
・全体会　　9月24日（水）

2　指定管理者制度

(1)　指定管理者選定委員会の開催

開催日	内容
5 月 15 日（木）	管理状況評価

(2)　選定委員会による管理状況評価（3 次評価）を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称	評価
1	岩舟健康福祉センター	宮ビルサービス株式会社・株式会社日本理化シェアードソリューションズ共同事業体	A
2	大平まちづくり交流センター	株式会社大高商事	B
3	栃木勤労青少年ホーム	環境整備・いすゞビルメンテナンス	A

		共同企業体	
4	大平勤労青少年ホーム	環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体	B
5	勤労者体育センター	環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体	A

※評価はＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４段階評価

※上記施設以外は、指定管理者による自己評価（第１次評価）及び施設所管課による評価（第２次評価）を実施

(3)　公募外により選定を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称
1	栃木地区急患センター	一般社団法人下都賀郡市医師会
2	栃木勤労青少年ホーム	環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体
3	大平勤労青少年ホーム	環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体
4	勤労者体育センター	環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体

(4)　公募外（優良管理者更新制度）により選定を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称
1	岩舟健康福祉センター	宮ビルサービス株式会社・株式会社日本理化シェアードソリューションズ共同事業体
2	大平まちづくり交流センター	株式会社大高商事

３　栃木市公共施設適正配置計画関係

(1)　栃木市公共施設適正配置計画推進会議

公共施設適正配置計画に定める取組みの実施等について、庁内の合意形成を図るための協議を行った。

開催日	内容
8月12日（火）	・施設カルテについて ・取組状況等について ・計画の改訂及び策定について

(2)　藤岡総合支所複合化専門部会

藤岡総合支所複合化整備に向け、整備場所、スケジュール等について審議を行った。

開催日　　11月27日（木）

(3)　施設カルテの作成

市内の全ての公共施設（472施設）について、利用状況等をとりまとめた施設カルテを作成し、ホームページで公表した。

4　未利用公共施設に関する取組状況等

(1)　学校施設跡地の利活用に関するサウンディング型市場調査

皆川中学校及び寺尾中学校の廃校後の校舎等の利活用について、市場性の有無や利活用アイデア等を把握するため、民間事業者との個別対話によるサウンディング型市場調査を行った。

開催日　　5月19日（月）、5月20日（火）、5月21日（水）

(2)　栃木市未利用公共施設処分方針検討委員会

皆川中学校及び寺尾中学校の廃校後の利活用等に関して検討を行った。

開催日　　7月9日（水）、8月28日（木）、12月18日（木）

(3)　皆川中学校の活用

皆川中学校の利活用の方向性について、「皆川中学校の廃校後の校舎等利用事業者審査委員会」を設置し、公募により事業者の募集を行うこととし、募集を開始した。

開催日　　10月1日（水）、1月19日（月）

(4)　寺尾中学校の活用

寺尾中学校の利活用の方向性について、市の施設として、国が進める「小さな拠点」づくり事業の導入を検討する方向とした。

(5)　その他

・旧いまいずみ保育園　→　R7解体（保育課）
・川原田東市営住宅　→　R7解体（建築住宅課）
・旧藤岡地区公民館　→　R7解体（管財課）
・旧都賀総合支所　→　R7解体（都賀地域づくり推進課）
・旧都賀公民館　→　R7解体（都賀地域づくり推進課）
・旧都賀地域活動支援センター　→　R7解体（障がい福祉課）
・旧西方ふれあいプラザ　→　R7解体（管財課）
・旧社会福祉協議会西方支所　→　R7解体（管財課）
・旧小野寺ふれあい館　→　公売中（管財課）
・旧こどもサポートセンター　→　R8公売予定（管財課）
・旧斎場　→　R8解体予定（環境課）
・旧デイサービスセンター真名子→　R8解体予定（管財課）
・旧真名子農産加工所　→　R8解体予定（農業振興課）
・消防団器具置場　→　廃止となった施設を随時解体（消防総務課）

5　公共施設のＬＥＤ化

施設の維持管理費の縮減のため、リース契約による照明器具のＬＥＤ化を進めた。

対象施設：大宮公民館、皆川公民館、寺尾公民館、国府公民館、栃木第三地区コミュニティセンター、栃木第四地区コミュニティセンター、大平西地区公民館、大平南地区公民館、大平東地区公民館、藤岡総合体育館、藤岡弓道場、都賀南部コミュニティセンター、木コミュニティセンター、つがスポーツ公園管理棟、岩舟公民館、藤岡遊水池会館、栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター、藤岡保健福祉センター、岩舟健康福祉センター、宮の子

学童保育、いとひば学童保育、大平中央子どもの家、大平西子どもの家、げんきっこ児童クラブ、キッズ学童クラブ、大平南第１保育園、認定西方なかよしこども園、とちぎ蔵の街観光館、とちぎ山車会館、かかしの里、倭町小江戸ひろば南蔵、倭町駐車場、道の駅みかも、岩舟町ふるさとセンター、都賀総合支所別館（旧都賀図書館）、おおひら郷土資料館「白石家戸長屋敷」、おおひら歴史民俗資料館、郷土参考館、星野遺跡地層たんけん館

第５節　デジタル推進課

〔総括概要〕

デジタル推進課の主な分掌事務はデジタル化施策、行政デジタル化の推進、地域デジタル化の推進、情報システム及びネットワークの管理運営、情報セキュリティ対策である。

令和7年度は、ＲＰＡ（ロボティック・プロセス・オートメーション）やＡＩ－ＯＣＲ（人工知能による光学式文字読取）、ＡＩ音声認識による自動文字起こしツール、ノーコードツール（データベース作成システム）の活用に加え、ビジネスチャットツール及び生成ＡＩを導入し、行政デジタル化の推進に努めた。

また、老朽化したサーバ及びパソコン等機器の更新を行ったほか、Ｗｅｂ会議システム及び会議のペーパレス化を進めるためのタブレット利用を推進した。

さらに、基幹系20業務に係る情報システムについて、標準準拠システム及びガバメントクラウド等のクラウド環境への移行を完了した。

地域情報化の推進では、電子申請システムや公共施設案内・予約システム、栃木市LINE公式アカウント、キャッシュレス決済に対応したセミセルフレジの利用を促進するとともに、書かない窓口を市民生活課及び各総合支所に導入した。

また、栃木市ＤＸ推進計画の策定に向けて、その基礎資料とするため、市民のデジタルサービスの利用実態やデジタル活用に関する幅広い意見を把握することを目的に市民アンケートを実施した。

情報セキュリティ対策では、高度化・巧妙化するセキュリティリスクに対応するため、栃木県及び県内市町と共同で運用する栃木県情報セキュリティクラウドに参加し、セキュリティの向上を図った。

情報システム係

1　パソコンの配備状況

情報系、基幹系、インターネット系のネットワークを分離するとともに、専用パソコンを配備することで、情報セキュリティの向上を図った。　（単位：台）

設置場所	情報系 ネットワーク	基幹系 ネットワーク	インターネット系 ネットワーク
総合政策部	173	29	60
経営管理部	144	108	19
地域振興部	198	64	35
生活環境部	115	40	13
保健福祉部	160	34	22
こども未来部	191	45	21

産業振興部	70	1	8
都市建設部	112	1	19
会計課	11	1	1
議会事務局	11	0	2
上下水道局	56	3	8
消防本部及び消防署	113	2	14
教育委員会事務局	166	3	15
選挙管理委員会事務局	5	2	1
監査委員事務局	6	0	2
農業委員会事務局	10	2	1
合計	1,541	335	241

2　電算処理業務の委託契約

電算処理委託契約を、(株)ＴＫＣと締結した。

課　　名	業　務　名
税務課	住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税
収税課	収税消込
地域政策課	二十歳の集い開催
市民生活課	住民情報管理
保険年金課	医療費助成、国保レセプト
高齢介護課	介護保険
子育て総務課	児童手当、児童扶養手当
保育課	保育料
上下水道総務課	下水道受益者負担金
選挙管理委員会	選挙処理

3　統合型地理情報システム

市が保有する既存の地図情報を統合して管理し、全庁的に利用・共有化することで事務の効率化を図るとともに、一部情報をインターネットに公開することで、市民の利便性の向上を図った。

・都市計画図、認定路線網図、自治会区、小中学校区、防災ハザードマップ、浸水想定区域、指定道路図、景観情報、屋外広告物規制図、立地適正化計画、都市計画法第34条第11号に基づく指定区域

4　職員研修

システムの活用と情報セキュリティ意識の醸成を図るため、職員を対象に研修を実施

した。

名称	開催回数（回）	受講者数（人）
新採用職員研修（情報セキュリティ）	2	41
リモートラーニング デジタル人材育成研修	10	142
テーマ別集合研修（電子申請、RPA・AI-OCR、生成AI）	11	192

5　標準準拠システム・ガバメントクラウドへの移行

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、住民記録や税情報など標準化対象20業務に係るシステムについて、標準準拠システムへの移行を完了した。

あわせて、クラウドサービス基盤であるガバメントクラウド等への移行も完了した。

デジタル行政係

1　ＲＰＡ（ロボティック・プロセス・オートメーション）

定型的なパソコン操作を自動化することにより、業務の効率化を図った。

課名	対象業務
デジタル推進課 市民生活課	リース料など例月支払伝票
総務人事課	辞令交付メール自動送信
契約検査課	契約管理システムへの入力
保険年金課	国民年金システムへの入力
地域政策課 子育て総務課 保育課 健康増進課 学校教育課	報酬・費用弁償など支払伝票

2　ＡＩ－ＯＣＲ（人工知能による光学式文字読取）

ＡＩを活用して手書きの文書をデータ化することにより、業務の効率化を図った。

課名	対象業務
高齢介護課	敬老祝金口座振込申請処理 （申請書PDFのExcelデータ化）
障がい福祉課	福祉タクシー料金助成申請処理 （申請書 PDF の Excel データ化）
地域包括ケア推進課	地域支え合い活動要支援者調査票処理 （調査票 PDF の Excel データ化）

税務課	還付請求書データ化処理 （請求書PDFのExcelデータ化）

3　ＡＩ音声認識による文字起こしツール

ＡＩを活用して音声から自動で文字を起こすことにより、業務の効率化を図った。

	令和6年度	令和7年度
会議数(件)	603	699
利用時間(時間)	515	533

4　ノーコードツール

プログラミングの知識がなくても視覚的な操作によりアプリを作れるノーコードツールを活用することにより、業務の効率化を図った。　　（単位：件）

	令和6年度	令和7年度
データベース数	37	127

5　ビジネスチャットツール

ビジネスチャットツールの利用により、職員間のコミュニケーションの活性化や業務の効率化を図った。　　（単位：人）

	令和6年度	令和7年度
月平均利用者数	－	332

6　チャット型生成AIツール

チャット型生成AIツールを活用することにより、業務の効率化を図った。

（単位：回）

	令和6年度	令和7年度
利用回数	－	2,989

7　電子申請システム

自宅のパソコンやスマートフォン等から、インターネットを通して、各種申請や届出が行えるシステムにより、市民の申請等における利便性の向上及び職員の受付事務の負担軽減を図った。

(1)　対象手続　　（単位：件）

	令和6年度	令和7年度
申請・届出	312	431
ダウンロード可能様式	131	131

(2)　利用状況　　（単位：件）

	令和6年度	令和7年度
電子申請受付件数	11,316	11,935

様式ダウンロード件数	11,419	13,778

8　公共施設案内・予約システム

自宅のパソコンやスマートフォン等から、インターネットを通して、市内のスポーツ施設や公民館等の施設の空き状況照会、予約申込みが行えるシステムにより、市民の施設利用における利便性向上及び職員の受付事務の負担軽減を図った。

(1)　対象施設

ア　文化施設　34施設

栃木市民交流センター、大宮公民館、皆川公民館、吹上公民館、寺尾公民館、国府公民館、大平公民館、大平西地区公民館、大平東地区公民館、大平南地区公民館、藤岡公民館、部屋地区公民館、赤麻地区公民館、三鴨地区公民館、都賀公民館、西方公民館、岩舟公民館、小野寺地区公民館、静和地区公民館、第三地区コミュニティセンター、第四地区コミュニティセンター、第五地区コミュニティセンター、第六地区コミュニティセンター、栃木文化会館、大平文化会館、藤岡文化会館、岩舟文化会館、大平隣保館、大平健康福祉センター、北部健康福祉センター、岩舟健康福祉センター、藤岡遊水池会館、真名子夢ホール、渡良瀬遊水地ハートランド城

イ　スポーツ施設　21施設

総合運動公園、アルレクスパークとちぎ（屋内運動場）、大平運動公園、大平体育館、大平南体育館、大平武道館、藤岡渡良瀬運動公園、藤岡総合体育館、都賀市民運動場、都賀体育センター、つがスポーツ公園運動場、都賀南部コミュニティセンター、木コミュニティセンター、つがの里、西方総合公園、関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）、西方南グラウンド、西方北グラウンド、真名子運動広場、岩舟総合運動場、勤労者体育センター

(2)　利用状況　（単位：件）

	令和6年度	令和7年度
アクセス件数	60,688	64,755
予約件数	2,815	3,573

9　栃木市LINE公式アカウント

LINE公式アカウントを通じて、生活に役立つ情報や機能を提供し、住民サービスの向上を図るため、各種機能の構築や運用保守を行った。

(1)　機能

・お知らせ配信（市政情報、ごみの日お知らせ）
・避難所検索
・損傷通報（市道・河川・市営墓地）
・ごみ分別検索
・リッチメニュー

(2)　情報提供

・くらしの情報
・公共交通（ふれあいバス・蔵タク・シェアサイクル）
・図書館
・公共施設案内
・ごみの出し方、ごみカレンダー
・子育て情報（各種支援、妊娠・出産、子どもの健康・医療、講座、イベント）
・子育てガイドブック
・教育情報（保育・幼児教育、学童保育、小中学校、奨学金・就学援助）
・休日当番医

10　セミセルフレジ

キャッシュレス決済に対応したセミセルフレジを活用し、支払い方法の多様化と窓口利用者の利便性向上を図った。

（単位：件）

	令和6年度		令和7年度	
	決済件数	内キャッシュレス決済件数	決済件数	内キャッシュレス決済件数
税務課	5,736	816	21,097	3,609
市民生活課	16,761	3,386	49,081	10,725
合計	22,497	4,202	70,178	14,334

11　書かない窓口システム

書かない窓口システムを活用した書かない窓口サービスを提供することにより、マイナンバーカード関連手続きの申請書記入の負担を軽減するとともに、申請情報をデジタル化することで、申請受付処理に係る事務の省力化を図った。

（単位：件）

	令和6年度	令和7年度
書かない窓口による申請件数	－	5,199

12　オープンデータ

市が保有するデータを、誰もがインターネットを通じて容易に利用できるよう、以下のオープンデータをホームページに公開した。

・公共施設一覧
・子育て施設一覧
・オープンデータ一覧
・ＡＥＤ設置箇所一覧
・介護サービス事業所一覧
・医療機関一覧

・観光施設一覧
・オストメイト対応トイレ一覧
・公衆無線LANアクセスポイント一覧
・地域年齢別人口
・指定緊急避難場所一覧
・栃木市コミュニティバス情報データ

第６節　危機管理課

〔総括概要〕

危機管理課の主な分掌事務は、危機事案発生時における管理体制の整備、自衛官募集事務、地域防災計画及び水防計画に基づく防災対策、指定緊急避難場所等の指定、災害対策本部の運営、防災無線の管理、自主防災組織の育成である。

自衛官募集事務については、防衛省自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所と協力し、自衛官募集や自衛隊家族会に関する事務を行った。

防災対策については、災害時に避難指示や気象警報等の緊急情報をいち早く市民に提供するコミュニティＦＭとの連携を行い、緊急時に自動で電源が入る防災ラジオを希望する市民へ有償配布した。

防災訓練については、警察、消防、自衛隊、自主防災組織などと連携し、栃木市総合防災訓練を実施した。

防災無線などの管理については、災害時の適正な稼働を確保するため保守点検を行った。

自主防災組織の育成については、自治会や市民等への出前講座などを実施し、防災意識の向上を図ったところ、新たに自主防災組織が2件設立された。また、令和6年度に新設した防災士資格取得費補助金により、新たに4名が、地域で活動することを目的に防災士資格を取得した。

危機管理係

1　コミュニティＦＭ事業

市民への防災ラジオの普及促進を図るため、希望する市民へ有償配布した。

2　自衛官募集事務

(1)　自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

・入隊者数　９人

(2)　自衛隊家族会

栃木市自衛隊家族会の事務局として、家族会活動を支援した。

・役員会において協議を行い、自衛隊入隊入校者激励会を開催した。

・北方領土返還要求促進署名運動の取りまとめを行った。

3　東日本大震災に伴う避難状況管理

原発避難者特例法関係

東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律に基づき、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、通常の行政サービスの提供が困難な指定市町村から

避難している住民に対して、特例事務として指定市町村に代わって特定の行政サービスを提供した。

・対象者　74 人

・指定市町村

福島県	市	いわき市、田村市、南相馬市
	町	川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町
	村	川内村、葛尾村、飯舘村

・特例事務

分　野	根拠法令	事　務
医療・福祉関係	介護保険法	要介護認定等に関する事務
	介護保険法	介護予防等のための地域支援事業に関する事務
	老人福祉法	養護老人ホーム等への入所措置に関する事務
	児童福祉法	保育所入所に関する事務
	予防接種法	予防接種に関する事務
	児童扶養手当法	児童扶養手当に関する事務
	特別児童扶養手当等の支給に関する法律	特別児童扶養手当等に関する事務
	母子保健法	乳幼児、妊産婦等への健康診査、保健指導に関する事務
	障害者総合支援法	障害者､障害児への介護給付費等の支給決定に関する事務
教育関係	学校教育法、学校保健安全法	児童生徒の就学等に関する事務
	学校教育法、学校保健安全法	義務教育段階の就学援助に関する事務

4　防災対策

(1)　防災備蓄倉庫

地域	設　置	位　置
栃木地域	栃木保健福祉センター倉庫	今泉町 2-1-40
	マルワ・アリーナとちぎ（総合運動公園総合体育館）	川原田町 760
	皆川中学校体育館	皆川城内町 1856
	大宮公民館	大宮町 422-1
	老人福祉センター福寿園	千塚町 210
	寺尾公民館	梅沢町 1183
	国府公民館	惣社町 228-1
	出流ふれあいの森	出流町 417
	旧消防団栃木方面隊消防器具置場（第 11 分団第 5 部）	出流町 159-2

	栃木中央小学校体育館	入舟町 13-3
	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館(市民交流センター)	入舟町 6-8
大平地域	旧消防団大平方面隊車庫（第 3 分団第 2 部）	大平町西野田 169-2
	大平中学校	大平町蔵井 2026-1
藤岡地域	部屋地区公民館	藤岡町部屋 454-1
	藤岡公民館	藤岡町藤岡 810
	赤麻地区公民館	藤岡町赤麻 1737-1
	三鴨地区公民館	藤岡町甲 436-2
	藤岡総合支所	藤岡町藤岡 1022
	藤岡中学校体育館	藤岡町藤岡 10
都賀地域	都賀防災倉庫	都賀町原宿 573
西方地域	西方総合支所	西方町本城 1
岩舟地域	岩舟総合支所	岩舟町静 5133-1

(2)　主な各種災害時用備蓄品等内訳

大　項　目	中　項　目	備　蓄　数
非　常　食	アルファ化米	18,300食
	乾パン	16,270食
	菓子パン	5,360食
	アレルギー対応食品	1,483食
	液体ミルク	192本
非常用飲料水	水（500ml）	42,481本
毛　　布	―	4,676枚

(3)　災害時応援協定

大規模災害の発生に備え、民間企業との間で3本を締結した。

協定の名称	締結先	締結日
災害時における建築物等の解体撤去の実施に関する協定	株式会社岡安興業	8 月 4 日
災害時等における太陽光発電設備等の活用に係る協定	森ビル株式会社	11 月 20 日
災害時における空調設備等の応急対策の協力に関する協定	株式会社シェノンテック	12 月 17 日

(4)　被災者住宅復旧支援事業費補助金

令和7年2月及び8月に発生した強風により被害を受けた者に、その復旧費用の一部を補助することにより早期再建を支援した。

・一部損壊世帯 2件

5　防災訓練

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化を目的に、地震による災害を想定し、栃木市総合防災訓練を実施した。

日　時　10月4日（土）8時30分～11時30分

場　所　藤岡渡良瀬運動公園

参加者　訓練参加者約200名、見学者約200名

6　防災無線等

(1)　IP無線

各総合支所との通信訓練を毎月行ったほか、10月の総合防災訓練では情報伝達班が通信訓練を行った。

(2)　同報系防災行政無線

避雷導線の修繕1箇所、オートリセットブレーカー4箇所の交換を行った。

7　自主防災組織

(1)　栃木市自主防災組織育成補助金

地域防災の中核となる自主防災組織に対して、地域防災力の向上を図るため、補助金を交付した。

補助金の名称	補助金（円）	交付団体数
栃木市自主防災組織設立補助金	200,000	1
栃木市自主防災組織活動補助金	1,065,050	38

(2)　自主防災組織数

自主防災組織全体数	年度内新規設立数
70	1

(3)　防災士資格取得費補助金

補助金（円）	交付人数
16,000	1

8　地区防災計画策定支援

災害時の迅速な避難行動の実現や地域での防災意識の高揚に有効な地区防災計画を地域住民で構成する自主防災組織等が策定することを促進し、地域防災力の強化を図ることを目的として地区防災計画策定および自主防災組織の設立の支援を行った。

支援団体	対象自治会数
静和まちづくり協議会、田代自治会	28

9　土砂災害防止関係

土砂災害のおそれがある箇所について、令和7年6月に県土木事務所をはじめとした関係機関と現地の確認・点検を行った。

10　諸計画の改訂

令和８年３月に、栃木市国民保護計画、栃木市地域防災計画、栃木市水防計画、栃木市国土強靱化地域計画の改訂を行った。

11　国民保護図上訓練

他国から発射された弾道ミサイルに対し、栃木県上空で破壊措置が実施され、弾道ミサイルの破片が市内に落下したことにより、直接的な被害に加え、火災も複数発生したことを想定し、国・栃木県・栃木市国民保護共同図上訓練を実施した。

日時　１月 22 日（木）13 時～17 時

場所　栃木市役所、栃木県庁

第７節　カーボンニュートラル推進課

〔総括概要〕

カーボンニュートラル推進課の主な分掌事務は、カーボンニュートラルの推進を図る業務である。

令和７年度は、脱炭素に向けた取組のひとつとして、多様な業種の積極的な参画や連携による「栃木市脱炭素促進プラットフォーム」の運営委員会を開催し、脱炭素に関する意見交換や情報共有、普及啓発活動を通して、市全体の脱炭素に関する機運の醸成に努めた。

各市民団体の会議や研修会に出向き、脱炭素に取り組む必要性についての説明や、各種イベント等でEV車を活用したデモンストレーションを実施するなど、地球温暖化対策への理解を深める啓発活動を実施した。

再生可能エネルギー普及促進のため、市民に対して太陽光発電をエネルギー源とする定置型蓄電池及び電気自動車充給電システムの設置費の一部補助を行ったほか、太陽光発電を推進するため市有施設の屋根貸出しを継続実施している。

カーボンニュートラル推進係

1　栃木市脱炭素促進プラットフォーム

多様な業種の積極的な参画や連携により脱炭素の取組を促進するため、事業を実施した。

(1)　会員（令和8年3月31日現在）　　（単位：団体）

市　内	県　内	県　外	計
46	8	3	57

(2)　運営委員会

期　日	会　場	内　容
7月 4日（金）	501会議室 （本庁舎5階）	・栃木市脱炭素促進プラットフォーム設置要領の改定について ・総会・講演会の開催について ・プラットフォームの今後の進め方について
9月17日（水）	402会議室 （本庁舎4階）	・総会・講演会・交流会の開催について ・アンケートの結果について ・栃木市再エネ普及促進プロジェクトの解散について
11月 7日（金）	正　庁 （本庁舎3階）	・エコライフinとちぎへの出展について ・今後のプロジェクトの検討について ・令和７年度総会時のアンケート結果について

2月 9日（月）	正　庁 （本庁舎 3 階）	・今後の栃木市脱炭素促進プラットフォームの取り組みについて ・「エコライフ in とちぎ」について

(3)　再エネ普及促進プロジェクト

期　日	会　場	内　容
8月29日（金）	201 会議室 （本庁舎 2 階）	・栃木市再エネ普及促進プロジェクトの解散について

(4)　総会・講演会・交流会

期　日	会　場	内　容
10月 2日（木）	正　庁 （本庁舎 3 階）	1 総会 ①活動報告 ②事業案内 2 講演会 「本当に自社のためになる脱炭素の取り組みとは？ 様々な情報がある中で選ぶ力をつけよう」 公益財団法人自然エネルギー財団 シニアマネージャー（気候変動） 博士（環境）　高瀬 香絵 氏 3 交流会 ・会員による事業紹介及び交流

(5)　エコライフinとちぎへの出展

期　日	会　場	内　容
2月 7日（土）	とちぎ岩下の 新生姜ホール （栃木文化会館）	事業者との連携による、環境保全への取組や環境に配慮した製品の展示及び紹介（5社出展）

2　地球温暖化に対する理解促進活動

市民、事業者、市それぞれが、環境問題を地球規模で捉え、日常生活や事業活動の影響が地球環境にまで及ぶことを認識してもらうための普及啓発活動を実施した。

実施日	実施団体・イベント	参加人数（人）
7月 3日（木）	市内小学 5 年生へチラシ配布	1,191
7月19日（土）	″なつこい″ Sound Stage TOCHIGI 2025 with とちぎ盆祭り	1,500
10月 2日（木）	栃木市脱炭素促進プラットフォーム講演会	47
12月 6日（土）	アグリフェスタ	260
2月 7日（土）	エコライフ in とちぎ	800

3　市職員の意識向上のための活動

各部署の省エネ、グリーン購入等の意識向上及び課題解決を促進するため、エコオフィス推進員研修会を開催した。

期　日	会　場	内　容
8月27日（水）	正　庁 （本庁舎3階）	・講演会 「″じぶんごと″としての脱炭素 ～職員の皆様こそできる＋″トクする″カーボンニュートラルへの具体策～」 一般財団法人省エネルギーセンター 省エネ技術本部技術支援センター技術普及部 マネージャー　鈴木 伸隆 氏 ・栃木市の現在の状況とカーボンニュートラルに向けた今後の取組について

4　栃木市役所地球温暖化対策実行計画

・計画期間　令和5(2023)年度～令和9(2027)年度

・削減実績

削減項目	基準値(H26)	実績値(R7)	増減率
温室効果ガス排出量	26,635 t-CO2	20,091t-CO2	▲24%
廃棄物処理量	43,342 t	37,505t	▲13%

5　栃木市役所グリーン購入調達方針

行政事務事業活動から生じる環境負荷を低減し、持続可能な社会の形成に資することを目的として、市役所内におけるグリーン購入の推進を図った。

・対 象 範 囲　市のすべての機関。ただし、指定管理者施設については、方針の趣旨を踏まえ、グリーン購入の推進に努めることとする。

・特定調達品目　閣議決定物品のうち22項目280品、本市独自物品を2項目4品、計24項目284品

・調達実績(平均)　66.0%

6　出前講座

地球温暖化に関する啓発を行い、気候変動への対策を実践してもらうため、市民に対して出前講座を実施した。

実施日	場　所	講座名	参加人数（人）
6月 5日（木）	赤津小学校	地球を温暖化から守ろう！	39 人
2月17日（火）	サンプラザ栃木	地球沸騰化防止のススメ！	19 人

7　バルクリースによる低炭素設備賃貸借業務

平成30年度に「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金既存建築物等における省ＣＯ2

改修支援事業・地方公共団体所有施設の省ＣＯ2 改修支援事業(バルクリース)」を活用し、市有施設の設備を省エネ性能の高い高効率機器に一括で改修した。

(1)　対象施設及び改修設備

ア　改修設備　　照明　5,107台　空調　27基

イ　改修対象施設　　35施設

(2)　契約相手方

三菱ＨＣキャピタル株式会社　執行役　安栄　香純

（東京都港区西新橋1丁目3番1号）

(3)　リース期間

平成31年3月1日～令和11年2月28日までの10年間

(4)　契約金額　　190,654,560円（税込）

8　住宅用低炭素設備設置費補助事業

地球温暖化防止対策の一環として、定置型蓄電池及び電気自動車充給電システムの設置費に対し一部補助を行った。

(1)　定置型蓄電池

・補　助　額　　補助対象費用の10％

・補助限度額　　50,000円

・補 助 件 数　　119件

・補 助 総 額　　5,950,000円

(2)　電気自動車充給電システム

・補　助　額　　一律40,000円

・補 助 件 数　　1件

・補 助 総 額　　40,000円

9　市有施設屋根貸出事業

太陽光発電を促進するため、市有施設の屋根部分を民間事業者に有償で貸出すことで財源確保に努めた。

・施設数　21施設

・使用料　年間2,846,691円

第２章　経営管理部

第１節　総務人事課

〔総括概要〕

総務人事課の主な分掌事務は、自治基本条例の運用、組織の見直し、市民憲章の周知啓発、非核平和の推進、情報公開、個人情報保護、文書管理、条例・規則等の制定・改廃、市議会との連絡調整、人事、職員研修及び職員厚生業務である。

組織の見直しについては、新たな行政課題に的確に対応するとともに、効率的に業務を遂行するため、庁議等における審議を経て実施した。

非核平和の推進については、栃木市非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、戦争の悲惨さや核兵器のおそろしさを伝えるとともに、命や平和の大切さについて考える機会を提供するため、各種事業を行った。

情報公開及び個人情報保護については、栃木市情報公開条例及び個人情報の保護に関する法律の円滑な運用に努めた。

文書管理については、文書の収受、配付及び発送の迅速かつ的確な処理を行うとともに、栃木市文書管理マニュアルに基づき、適正な文書管理に努めた。

条例、規則及び訓令については、114件の制定及び改廃を行った。

市議会については、定例会を4回、臨時会を2回招集し、173件の議案等を提出した。

職員の人事については、総合計画の将来都市像の実現に向け、栃木市の職員としての一体感の醸成を図りながら、個々の職員が意欲をもって、その能力を最大限発揮できるよう、「適材適所の配置」、「女性・若手職員の登用」、「人材育成」の視点から人事異動を行った。

職員研修については、職員の意識改革及び資質と能力の向上を目的として、全職員を対象に各種研修を計画的に実施した。

職員厚生事業については、職員厚生会を主体として各種事業を実施した。また、職員の安全衛生管理については、栃木市安全衛生管理委員会で協議するとととともに、ストレスチェックや各種健康診断を実施した。

行政法務係

1　自治基本条例

自治の基本理念及び基本原則並びに行政運営のルールを定めた自治基本条例の市民への周知を図るため、ホームページでの情報提供、新たに転入してきた世帯に対するパンフレットの配布等により、周知を行った。

2　市民会議

自治基本条例の実効性を高めるとともに適切な運用を図るため、同条例第 44 条に基

づく市民会議を開催した。

(1)　委員の構成

・公募による者　　11人
・関係団体を代表する者　24人
・学識経験を有する者　　3人
・市職員　　2人　　合計40人

(2)　会議の開催

ア　全体会

開催日時 会場	参加者数 （人）	主な議案等
5月20日（火） 午後7時～ 市役所正庁	34	・令和7年度のスケジュールについて ・会長・副会長の選任について ・部会員の決定について
9月24日（水） 午後7時～ 市役所正庁	30	・総合計画部会の総合計画外部評価実施結果について

イ　自治基本条例部会

開催日時 会場	参加者数 （人）	主な議案等
5月20日（火） 全体会議終了後 市役所301会議室	9	・自治基本条例部会の進め方及びスケジュールについて
8月1日（金） 午後7時～ 市役所201会議室	10	・自治基本条例の検証・見直しの進め方 ・自治基本条例の検討について（前半）
10月1日（水） 午後7時～ 市役所302会議室	9	・前半の意見照会の結果について ・自治基本条例の検討について（後半）
12月17日（水） 午後7時～ 市役所302会議室	10	・意見に対する対応方針案について
令和8年 2月19日（木） 午後7時～ 市役所302会議室	10	・栃木市自治基本条例の見直しに関する報告書(案)について ・報告書の全体会発表者について

ウ　総合計画部会

総合政策課が事務局として運営した。

3　組織の見直し

(1)　令和8年4月の組織見直しに関する基本方針

ア　現行組織の定着を踏まえ、最小限の見直しとする。

イ　現行組織の課題を検証し、解決に向けた見直しを行う。

ウ　新たな行政課題には、人的な配置を含め、的確に対応できる体制を整える。

(2)　令和8年4月の組織見直しの概要

ア　総合政策部

・総合政策課のふるさと納税推進係を廃止し、公共施設マネジメント係を新設

・広報課にふるさと納税推進係を新設

・行財政改革推進課を廃止し、総合政策課・総務課へ事務を移管

・カーボンニュートラル推進課を廃止し、環境課へ事務を移管

イ　経営管理部

・総務人事課を総務課に課名変更し、行政管理係を新設

・人事課を新設

ウ　地域振興部

・地域政策課に移住定住促進係を新設

・スポーツ課のスポーツ連携係をスポーツツーリズム推進係に係名変更

エ　生活環境部

・保険年金課の国保係と年金係を統合し、係名を国保年金係に変更し、保健事業係を新設

・環境課にカーボンニュートラル推進係を新設

オ　保健福祉部

・地域包括ケア推進課の国府地域包括支援センター係を廃止

カ　教育委員会事務局

・教育総務課に学校再編推進室を新設

4　市政年報

令和6年度の栃木市政の大要を収録した市政年報を作成し、閲覧用に市政情報センターや各地域図書館等に設置したほか、市のホームページに掲載した。なお、市議会議員に対しては、タブレット端末で閲覧できるよう議会事務局へデータを配付した。

・冊子及びデータ配付部数

配付先	冊子（冊）	データ（件）
市長､副市長､教育長	3	－
総務人事課	2	2
図書館	6	－
市議会議員	－	1
監査委員（議員を除く）	1	－
議事課	1	－
合　　計	13	3

5　市の木・花・鳥・歌の普及啓発

市民の一体感の醸成に寄与することを目的に制定した、市の木「トチノキ」・市の花「アジサイ」・市の鳥「カモ」・市の歌「栃木市民の歌～明日への希望～」の普及啓発活動を行った。

(1)　市の木・花・鳥

・市封筒及び市広報紙に市の木・花・鳥のイラスト等を掲載

(2)　市の歌

・カラオケによる配信
・本庁舎の電話保留音
・本庁舎での定時放送
・FMくらら857での定時放送
・防災行政無線での定時放送
・庁内でのCDの貸出
・JR栃木駅の発車メロディ

6　市民憲章の普及啓発

まちづくりをする上での市民の心構えや、行動指針として制定された市民憲章の普及啓発を行った。

・市内の小中学校にチラシを配布
・広報とちぎ10月号に記事を掲載
・庁内での音声放送（毎週水曜日）

7　非核平和事業

栃木市非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、戦争の悲惨さや核兵器のおそろしさを伝えるとともに、命の貴さや平和について考える機会を提供するため、各種事業を行った。

(1)　とちぎ平和展

ア　開催状況

開催期間	会場	折鶴回収数(羽)
8月4日（月）～8月15日（金）	市役所本庁舎4階	194
8月1日（金）～8月31日（日）	栃木図書館	265
	大平図書館	202
	藤岡図書館	105
	都賀図書館	175
	図書館西方館	100
	図書館岩舟館	101
合　　計		1,142

イ　内容

(ｱ)　全会場で実施

・原爆投下後の惨状を収めた写真パネル等の展示

・折鶴作製スペースの設置
（次年度の広島平和記念式典中学生派遣において奉納予定）
※図書館での開催は、各図書館の平和に関する企画とのコラボレーション開催とした。

(ｲ) 市役所本庁舎4階のみ実施
・「原爆の図」の作者である丸木位里・俊夫妻が絵付けしたみかも焼の展示
・総務人事課所有の従軍時に使用されていた上着や水筒等の現物資料の展示
・文化課所有の飛行服の展示

(2) とちぎ非核平和展＝ヒカリから光へ＝2025【賢二版画絵巻プロジェクトとの共催】

ア 開催状況

開催期間	会場	折鶴回収数(羽)
8月14日（木）～8月17日（日）	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）展示室	129

イ 内容

(ｱ) 栃木市が実施
・原爆の図丸木美術館所蔵の「原爆の図」（作：丸木位里・俊）複製画の展示
原寸大…「火」
小パネル…「母子像」「とうろう流し」
・原爆投下後の惨状を収めた写真パネル等の展示
・折鶴作製スペースの設置
（次年度の広島平和記念式典中学生派遣において奉納予定）

(ｲ) 賢二版画絵巻プロジェクトが実施
・市ゆかりの彫刻家、版画家である鈴木賢二氏制作の版画絵巻「平和を世界に」などの展示
・朗読劇「泰山木の木の下で」の実施 ※16日（土）・17日（日）のみ

(3) 戦争体験を聞く会

ア 日 時 8月16日（土）午前10時30分～
場 所 とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）展示室
講 師 山口スミ氏 「宇都宮空襲や戦時中の生活について」
小倉久吾氏 「学童集団疎開について」
来場者 107人

(4) 広島平和記念式典中学生派遣
・派遣団員 市立中学校2年生26人
・随 行 中学校長（派遣団長）1人、学校教育課職員1人、総務人事課職員2人 計5人

	開催日時	会場	内 容
説明会	7月4日（金）午後6時30分～	市役所正庁	団長挨拶、団員自己紹介、事業内容・行程等説明

事前学習会	7月 4日（金） 説明会終了後	市役所 正庁	広島への原爆投下等に関する事前学習
壮行会	7月 28日（月） 午後6時25分～	市役所 正庁	市長、教育長、団長挨拶、団員代表挨拶及び記念撮影、非核平和都市宣言唱和
広島派遣	8月 5日（火） ～7日（木）	広島市 ほか	広島平和記念式典参列 広島平和記念資料館及び平和記念公園見学 元安川灯ろう流し 平和学習の集い参加　ほか
報告会準備	8月 18日（月） 午後6時～	市役所 正庁	報告会の準備、リハーサル
戦後８０年中学生広島派遣報告・昭和館次世代の語り部講話会	8月 23日（土） 午後2時30分～	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館小ホール	市長挨拶、派遣団長挨拶、活動報告、講評（教育長） 昭和館次世代の語り部講話

8　後援事業

「栃木市の後援等に係る事務取扱要綱」、「栃木市イベント開催時の安全管理方針」及び「栃木市の後援等受付マニュアル」に基づき、各種団体等の主催する事業の後援等申請に対し、承認又は不承認の決定を行った。

・後援等申請件数　20件（内　承認件数19件）

9　市章

栃木市章を適正かつ慎重に取り扱うため、栃木市章の使用に関する事務取扱要綱に基づき、市章を使用しようとする者から使用承認申請を受け、承認又は不承認の決定を行った。

・使用承認申請件数　9件（内承認件数7件）

10　行政手続制度

行政手続法等による審査基準等の公表

各申請に対する審査基準及び不利益処分基準について、市として統一的に公開するため、各申請窓口への備付け及び市ホームページへの掲載を行った。

11　情報公開・個人情報保護関係

(1)　市政情報センターの管理・運営等

市政情報センター内の市政情報コーナーにおいて各種行政資料を常時公開した。また、情報公開の総合窓口として市民の相談に応じた。

(2)　情報公開請求・保有個人情報開示請求の状況

・請求件数及び公開等の決定状況

（単位：件）

情報公開請求件数	公開等の決定状況		
	公開	部分公開	非公開
109	97	31	10

（単位：件）

保有個人情報開示請求件数	開示等の決定状況		
	開示	部分開示	非開示
47	18	27	2

※情報公開請求件数及び保有個人情報開示請求件数とそれぞれの決定状況の合計の数に差があるのは、1件の請求に対して複数の決定をする場合があるため。

(3)　情報公開・個人情報保護審査会開催状況

議題なしのため、開催なし。

12　告示

・件数　412件

13　栃木市公報の発行

・年12回発行　第181号（4月15日）～第192号（3月16日）

14　文書管理関係

・文書取扱件数　（単位：件）

区　分	郵便文書
収受文書	160,574
発送文書	973,225

15　文書印刷

(1)　印刷機年間利用枚数　2,438,230枚

(2)　コピー機年間利用枚数　3,679,014枚

(3)　カラーコピー機年間利用枚数　77,392枚

16　市議会関係

招　集　日	会議別	提　出　議　案　等
6月6日（金）	定例会	議案第75号～議案第117号 報告第　3号～報告第12号
7月24日（木）	臨時会	副議長の選挙
8月29日（金）	定例会	議案第118号～議案第135号 報告第13号～報告第16号 認定第　1号～認定第　9号

11月28日（金）	定例会	議案第136号～議案第162号 報告第 17号～報告第 18号
1月26日（月）	臨時会	議案第　1号～議案第　7号 報告第　1号
2月20日（金）	定例会	議案第　8号～議案第 57号 報告第　2号～報告第　3号

17　条例、規則等の審査、制定及び改廃

(1)　例規審査委員会

本市において制定する条例等の適正を期するため、条例等を審査し、立案を指導・助言する栃木市例規審査委員会を開催した。

・委員会の開催　35回

・審議件数　　219件

(2)　法令の制定・改廃等に伴い、本市の条例・規則等を整備した。（番号は暦年）

ア　条例

番号	題　　名	公布年月日	施行年月日
42	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例等の一部を改正する条例	令和7年6月25日	令和7年6月25日
43	栃木市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	令和7年6月25日	令和7年6月25日
44	栃木市皆川中学校及び寺尾中学校の廃校後の校舎等利用事業者審査委員会条例	令和7年9月29日	令和7年9月29日
45	栃木市行政手続における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	令和7年9月29日	令和7年9月29日
46	栃木市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	令和7年9月29日	令和7年9月29日
47	栃木市税条例の一部を改正する条例	令和7年9月29日	令和8年1月1日
48	栃木市障がい福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び栃木市指定障がい福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	令和7年9月29日	令和7年10月1日
49	栃木市文化会館条例の一部を改正する条例	令和7年9月29日	令和8年4月1日
50	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	令和7年9月29日	令和7年9月29日

51	栃木市議会政治倫理条例の一部を改正する条例	令和7年9月29日	令和7年9月29日
52	栃木市教職員人材育成・確保基金条例	令和7年12月17日	令和7年12月17日
53	栃木市文化財等収蔵庫条例	令和7年12月17日	令和8年4月1日
54	栃木市手数料条例の一部を改正する条例	令和7年12月17日	令和8年4月1日
55	栃木市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	令和7年12月17日	令和7年12月17日
56	栃木市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	令和7年12月17日	令和7年12月17日
57	栃木市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	令和7年12月17日	令和7年12月17日
58	栃木市立小中学校施設の開放に関する使用料条例の一部を改正する条例	令和7年12月17日	令和8年4月1日
59	栃木市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	令和7年12月17日	令和7年12月17日
60	栃木市火災予防条例の一部を改正する条例	令和7年12月17日	令和8年1月1日
61	栃木市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例の一部を改正する条例	令和7年12月17日	令和8年4月1日
1	栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	令和8年1月26日	令和8年1月26日
2	栃木市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	令和8年1月26日	令和8年1月26日
3	栃木市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例の一部を改正する条例	令和8年1月26日	令和8年1月26日
4	栃木市火災予防条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	令和8年2月20日	令和8年2月20日
5	栃木市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
6	栃木市再生可能エネルギー普及促進基金条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年3月24日
7	栃木市行政手続条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年5月21日
8	栃木市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
9	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び栃木市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
10	栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等	令和8年3月24日	令和8年4月1日

	に関する条例の一部を改正する条例		
11	栃木市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
12	栃木市議員報酬及び特別職給料審議会条例及び栃木市皆川中学校及び寺尾中学校の廃校後の校舎等利用事業者審査委員会条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
13	栃木市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
14	栃木市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年3月24日
15	栃木市老人福祉センター条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
16	栃木市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
17	栃木市介護保険条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
18	栃木市遺児手当支給条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
19	栃木市赤ちゃん誕生祝金条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
20	栃木市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年3月24日
21	栃木市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年4月1日
22	栃木市公園有料公園施設に関する条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年5月1日
23	栃木市水道事業給水条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年3月24日
24	栃木市下水道条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年3月24日
25	栃木市農業集落排水処理施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例	令和8年3月24日	令和8年3月24日
26	栃木市税条例の一部を改正する条例	令和8年3月31日	令和8年4月1日
27	栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例	令和8年3月31日	令和8年4月1日
28	栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	令和8年3月31日	令和8年4月1日

イ　規則

番号	題　　名	公布年月日	施行年月日
39	栃木市税に関する文書の様式を定める規則の一部を改正する規則	令和7年4月23日	令和7年4月23日
40	栃木市自動車の臨時運行の許可に関する規則等の一部を改正する規則	令和7年5月26日	令和7年6月1日
41	栃木市予防接種事故災害補償規則の一部を改正する規則	令和7年6月24日	令和7年6月24日
42	栃木市保育所等の設置認可等事務取扱規則の一部を改正する規則	令和7年6月24日	令和7年6月24日
43	栃木市建築基準法施行細則の一部を改正する規則	令和7年6月24日	令和7年7月1日
44	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則等の一部を改正する等の規則の一部を改正する規則	令和7年6月25日	令和7年6月25日
45	栃木市財務規則の一部を改正する規則	令和7年7月23日	令和7年9月1日
46	栃木市会計年度任用職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則	令和7年7月28日	令和7年7月28日
47	栃木市勤労者体育センター条例施行規則の一部を改正する規則	令和7年7月30日	令和7年7月30日
48	栃木市介護保険規則の一部を改正する規則	令和7年7月30日	令和7年8月1日
49	栃木市指定障がい福祉サービス事業者等の指定等に関する規則の一部を改正する規則	令和7年8月22日	令和8年4月1日
50	栃木市職員の特殊勤務手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和7年9月29日	令和7年9月29日
51	栃木市技能労務職員の特殊勤務手当に関する規則の一部を改正する規則	令和7年9月29日	令和7年9月29日
52	栃木市行政手続における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例施行規則の一部を改正する規則	令和7年9月29日	令和7年9月29日
53	栃木市国民健康保険規則の一部を改正する規則	令和7年10月20日	令和7年10月20日
54	栃木市税に関する文書の様式を定める規則の一部を改正する規則	令和7年11月18日	令和7年12月1日
55	栃木市印鑑条例施行規則の一部を改正する規則	令和7年11月19日	令和7年12月1日
56	栃木市後期高齢者医療に関する文書の様式を定める規則の一部を改正する規則	令和7年11月26日	令和7年12月1日
57	栃木市建築基準法施行細則の一部を改正する	令和7年11月27日	令和7年11月27日

	規則		
58	栃木市保育の利用に関する規則の一部を改正する規則	令和7年11月27日	令和7年12月1日
59	栃木市子ども・子育て支援法施行細則の一部を改正する規則	令和7年11月27日	令和7年12月1日
60	栃木市国民健康保険税に関する文書の様式を定める規則の一部を改正する規則	令和7年11月28日	令和7年12月1日
61	栃木市介護保険規則の一部を改正する規則	令和7年11月28日	令和7年12月1日
62	栃木市国民健康保険規則の一部を改正する規則	令和7年11月28日	令和7年12月1日
63	栃木市職員の特殊勤務手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和7年12月17日	令和7年12月17日
64	栃木市火災予防条例施行規則の一部を改正する規則	令和7年12月17日	令和7年12月17日
65	栃木市消防本部の組織に関する規則の一部を改正する規則	令和7年12月17日	令和7年12月17日
66	栃木市個人情報の保護に関する法律施行細則の一部を改正する規則	令和7年12月22日	令和8年1月1日
1	栃木市子ども・子育て支援法施行細則の一部を改正する規則	令和8年1月23日	令和8年1月23日
2	栃木市職員の給料等の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和8年1月26日	令和8年1月26日
3	栃木市技能労務職員の給与に関する規則の一部を改正する規則	令和8年1月26日	令和8年1月26日
4	特定非営利活動促進法施行条例施行規則の一部を改正する規則	令和8年2月2日	令和8年4月1日
5	栃木市財務規則の一部を改正する規則	令和8年2月19日	令和8年2月19日
6	栃木市火災予防条例施行規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則	令和8年2月20日	令和8年2月20日
7	栃木市地域子育て支援センター条例施行規則の一部を改正する規則	令和8年2月24日	令和8年4月1日
8	栃木市予防接種に関する規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
9	栃木市行政手続条例施行規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年5月21日
10	栃木市健康診査等実施規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
11	栃木市顧問弁護士設置規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日

12	栃木市公報発行規則等の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
13	栃木市遺児手当支給条例施行規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
14	栃木市職員の地域手当の支給に関する規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
15	栃木市職員の扶養手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
16	栃木市職員の給料等の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
17	栃木市職員の通勤手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
18	栃木市職員の初任給調整手当の支給に関する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
19	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
20	栃木市職員の育児休業等に関する規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
21	栃木市会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
22	栃木市会計年度任用職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則	令和8年3月24日	令和8年4月1日
23	栃木市営住宅条例施行規則の一部を改正する規則	令和8年3月27日	令和8年4月1日
24	栃木市小集落改良住宅条例施行規則及び栃木市特定公共賃貸住宅条例施行規則の一部を改正する規則	令和8年3月27日	令和8年4月1日
25	栃木市藤岡遊水池会館条例施行規則の一部を改正する規則	令和8年3月31日	令和8年4月1日
26	栃木市渡良瀬遊水地ハートランド城条例施行規則の一部を改正する規則	令和8年3月31日	令和8年4月1日

ウ　訓令

番号	題　　名	公布年月日	施行年月日
4	栃木市職員人事評価実施規程の一部を改正する規程	令和7年6月25日	令和7年6月25日
5	栃木市建設工事検査規程等の一部を改正する規程	令和7年7月30日	令和7年9月1日
6	栃木市公印規程の一部を改正する規程	令和7年9月1日	令和7年9月1日
7	栃木市戸籍情報システム処理データ保護管理規程を廃止する規程	令和7年9月2日	令和7年9月2日

8	栃木市戸籍事務取扱規程の一部を改正する規程	令和7年9月2日	令和7年9月2日
9	栃木市文書取扱規程の一部を改正する規程	令和7年12月19日	令和7年12月19日
1	栃木市入札適正化委員会運営要領の一部を改正する要領	令和8年1月14日	令和8年1月14日
2	栃木市工事成績評定要領の一部を改正する要領	令和8年2月25日	令和8年4月1日
3	栃木市建設工事検査規程及び栃木市工事検査要領の一部を改正する規程	令和8年2月25日	令和8年4月1日
4	栃木市防災対策推進委員会規程及び栃木市危機管理対策会議規程の一部を改正する規程	令和8年3月24日	令和8年3月24日
5	栃木市事務決裁規程等の一部を改正する等の規程	令和8年3月24日	令和8年4月1日
6	栃木市職員服務規程の一部を改正する規程	令和8年3月24日	令和8年4月1日

18　顧問弁護士

市長その他市の執行機関の相談に応じ、行政執行上の問題について顧問弁護士(1人)から意見、助言等を受けた。

・相談件数　　50件

19　特定任期付職員（弁護士）

令和７年度は、特定任期付職員（弁護士）の採用なし。

人事研修係

1　職員数

(1)　部局別職員数　　（4月1日現在　単位：人）

区　　分	職員数	男	女
市長の事務部局の職員	862	478	384
議会の事務部局の職員	10	5	5
選挙管理委員会の事務部局の職員	3	1	2
監査委員の事務部局の職員	5	3	2
公平委員会の事務部局の職員	－	－	－
教育委員会の事務部局の職員	104	61	43
農業委員会の事務部局の職員	8	7	1
上下水道局の職員	48	37	11
消防職員（※）	199	193	6
合計	1,239	785	454

※消防職員の人事に関しては消防本部消防総務課を参照

(2)　級別職員数（教育長、消防吏員を除く）

ア　行政職給料表　（単位：人）

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
男	14	66	55	74	168	88	65	28	558
女	2	14	37	44	129	98	89	29	442
合計	16	80	92	118	297	186	154	57	1,000

イ　技能労務職給料表　（単位：人）

区分	5級	4級	3級	2級	1級	合計
男	17	5	10	－	－	32
女	1	－	4	－	－	5
合計	18	5	14	－	－	37

ウ　市費負担教職員給料表　（単位：人）

区分	1級
男	4
女	1
合計	5

(3)　職種別職員数(教育長を除く)　（単位：人）

区　分	事　務	技　術	技　労	消　防	合計
男	476	86	32	191	785
女	385	58	5	6	454
合計	861	144	37	197	1,239

2　人事

(1)　行政委員等の就任

職　　名	氏　　名	就任年月日
教育委員会委員	五十嵐　幸　男	令和7年5月19日
	岩　崎　好　宏	
固定資産評価審査委員	諏　訪　　晃	令和7年5月18日
	高　際　悦　子	
	綾　部　一　成	
	松　島　　誠	

(2)　職員の採用　（単位：人）

職　　種	人　員	男	女
一般事務	25	11	14
保健師	4	1	3
保育士（幼稚園教諭）	5	－	5
社会福祉士	3	2	1
土木	2	2	－
建築	2	1	1

学芸員	－	－	－
小計	41	17	24
県等からの採用職員	4	2	2
合計	45	19	26

(3)　職員の退職　　（単位：人）

職　　種	人　員
行政職	31（ 4）
技能労務職	2（ 0）
合計	33（ 4）

※（　）内は再任用職員の退職者数

(4)　職員の再任用　　（単位：人）

区　分	常時勤務職員	短時間勤務職員	計
人数	15	44	59

(5)　職員採用試験の実施状況

ア　前期試験

・試験実施状況

実施日	内　容
5月31日(土)	第一次試験①（教養、適正、作文試験）実施
6月1日(日)	第一次試験②（集団面接試験）実施
7月5日(土)、6日(日)	第二次試験（個別面接試験）実施

・受験状況

区　　分	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			倍率（倍）
			男	女	計	
保健師	10	10	－	2	2	5.0
社会福祉士	8	8	－	3	3	2.6
土木	1	0	－	－	－	－
建築	2	2	1	1	2	1.0

※保健師の最終合格者数には補欠合格者を含まない

イ　10月1日採用試験（実務経験者対象）

・試験実施状況

実施日	内　容
7月5日(土)、6日(日)	適性検査、個別面接試験実施

・受験状況

区　　分	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			倍率（倍）
			男	女	計	
一般事務	84	60	7	7	14	4.3
土木	2	2	1	－	1	2.0
建築	1	－	－	－	－	－
学芸員	1	－	－	－	－	－

ウ　後期試験

・試験実施状況

実施日	内　容
9月7日(日)	第一次試験（教養試験）実施
10月17日(金)～20日(月)	第二次試験（適性、作文、集団面接、個別面接（障がい者）試験）実施
11月17日(月)～18日(火)	第三次試験（個別面接試験）実施

・受験状況

区　　分	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			倍率（倍）
			男	女	計	
一般事務	172	133	9	7	16	8.3
一般事務（高校生枠）	9	6	－	2	2	3.0
一般事務（障がい者対象）	10	10	－	－	－	－
土木	3	1	－	－	－	－
土木（高校生枠）	3	－	－	－	－	－
建築	2	2	－	1	1	2.0
建築（高校生枠）	－	－	－	－	－	－

エ　追加試験

・土木技師及び学芸員において募集を行ったが、応募無し

3　職員研修

(1)　一般研修

ア　栃木市主催単独自主研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
4月1日(火)、2日(水)	新採用職員研修	新採用職員	27
4月14日(月)	新任課長級研修	新任課長級職員	18
5月	ビジネスマナー研修（eラーニング）	希望者	42
5月～8月	ハラスメント研修（eラーニング）	主査以上未受講者	54
6月～7月	新採用職員フォローアップ前期研修	新採用職員	26
7月～8月	人事評価制度評価者研修（eラーニング）	評価者	285
8月～12月	課長級ハラスメント研修（eラーニング）	課長級職員	75
8月5日(火)	コンプライアンス研修	主事以上未受講者	61

8月5日(火)	実務研修（法制執務）	主事以上未受講者	34
8月21日(木)	副市長との意見交換会	新採用職員	24
8月21日(木)	実務研修（財務会計事務）	主事（採用1年目）	21
10月1日(水)、2日(木)	新採用職員研修（10/1採用）	10/1新採用職員	14
10月9日(木)	課長級研修	課長級職員	72
11月～1月	デジタル人材育成研修（eラーニング）	10/1新採用職員	14
12月～1月	新採用職員フォローアップ後期研修	新採用職員	26
1月	新採用職員フォローアップ研修（10/1採用）	10/1新採用職員	14
2月	初級職員フォローアップ研修	主事（採用2年目）	26

イ　栃木地区職員研修協議会主催広域自主研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
4月8日（火）～11日（金）	新採用職員前期研修	新採用職員	27
4月24日(木)	メンタルヘルス(ラインケア）研修	副主幹、係長級	28
4月25日(金)	メンタルヘルス(セルフケア）研修	主事（採用3年目）	28
5月15日(木)	接遇研修	主事（採用2年目）	23
5月28日(水) 6月24日(火) 9月30日(火)	政策課題立案研修	主査（2年目）	17
6月	情報発信力向上研修(オンデマンド型)	主事以上未受講者	51
6月10日(火)～12日(木) 9月24日(水)～26日(金)	初級職員研修	主事（採用2年目）	27
6月18日(水)	データ利活用研修	主査（1年目）	20
6月19日(木)	交渉力研修	主査（3年目）	25
7月9日(水)	タイムマネジメント研修	主事（採用4年目）	19
7月23日(水)	マネジメント研修	係長級	45
7月30日(水)	後輩指導・育成研修	後輩指導者等	24
7月31日(木)	クレーム対応研修	主任（1年目）	17

8月20日(水)、 10月21日(火)～24日(金)	新採用職員後期研修	新採用職員前期研修修了者	28
10月8日(水)～9日(木)	問題解決研修	主事（採用６年目）	18
11月5日(水)～18日(火)	民法講座（ｅラーニング）	主事（採用５年目）	20
11月6日(木)	キャリアデザイン研修	主事（採用４年目）	17
1月26日(月)	小山・栃木地区合同研修	希望者	7

ウ　栃木県市町村振興協会主催市町村広域研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
5月9日(金)	ＯＪＴ研修	一般職員	1
5月13日(火)～14日(水)	民法講座Ⅰ（財産法）	一般職員	1
5月19日(月)	民法講座Ⅱ（家族法）	一般職員	1
5月26日(月)～28日(水)	地方自治法指導者養成研修	一般職員	2
6月23日(月)	課長級マネジメント研修	課長～係長級	1
6月25日(水)	ＤＸ研修	一般職員	1
7月3日(木)	広聴広報力向上研修	一般職員	1
7月7日(月)	ダイバーシティ時代の管理職研修	課長～係長級	1
7月10日(木)	パワーハラスメント防止研修	課長～係長級	1
7月17日(木)～18日(金)	職場リーダー研修	課長～係長級	2
7月31日(木)	折衝・交渉研修	一般職員	1
8月28日(木)～29日(金)	住民との協働講座	係長級	2
9月11日(木)～12日(金)	接遇レベルアップ講座	若手職員	26
9月24日(水)～25日(木)	コミュニケーション・カウンセリング講座	課長～係長級	1
10月21日(火)	組織内リスク管理講座	課長～係長級	2
10月30日(木)～31日(金)	情報活用力向上講座	一般職員	1
11月25日(火)～26日(水)	プレゼンテーション講座	一般職員	1
11月27日(木)～28日(金)	ファシリテーション講座	一般職員	1
12月11日(木)～12日(金)	法務基礎養成講座	中堅職員	14

(2)　派遣研修

実施日	研修内容	派遣先	派遣者数(人)

4月22日(火)	土木工事設計積算研修～基礎編～	とちぎ建設技術センター	1
4月23日(水)	土木工事設計積算研修～基礎編～	とちぎ建設技術センター	1
5月8日(木)～15日(木)	受益者負担金（仕組・法令編）	日本下水道事業団	1
5月8日(木)～15日(木)	受益者負担金（実務編）	日本下水道事業団	1
5月8日(木)～15日(木)	受益者負担金（徴収編）	日本下水道事業団	1
5月12日(月)～31日(土)	建築基準法（単体規定と集団規定）	全国建設研修センター	1
5月16日(金)	土木工事設計積算研修～実践編～	とちぎ建設技術センター	2
5月21日(水)～22日(木)	新任担当者のための社会福祉法・指導監査ガイドラインの解説と監査実務のポイント	日本経営協会	1
5月22日(木)	ＣＡＤ操作研修～基礎編～	とちぎ建設技術センター	1
5月22日(木)	開削工法の監督員業務	日本下水道事業団	1
5月23日(金)	ＣＡＤ操作研修～基礎編～	とちぎ建設技術センター	1
5月22日(木)～23日(金)	新任担当者のための法令・例規の実務	日本経営協会	2
5月27日(火)	災害査定研修	とちぎ建設技術センター	2
5月27日(火)	下水道入門	日本下水道事業団	1
5月27日(火)～6月6日(金)	消防職員のための外国人とのコミュニケーション	市町村国際文化研修所	1
6月3日(火)	下水道財政と公営企業	日本下水道事業団	1
6月3日(火)～6日(金)	都市再開発	全国建設研修センター	1
6月4日(水)	丁張り研修	とちぎ建設技術センター	3
6月10日(火)～13日(金)	建築確認実務Ⅰ	全国建設研修センター	1
6月16日(月)～18日(水)	土地区画整理入門	日本経営協会	1
6月18日(水)～27日(金)	建築設備改修（基礎講座）	全国建設研修センター	1
6月26日(木)～27日(金)	問題ある職員への法的対応策と分限処分・懲戒処分のポイント	日本経営協会	1
7月2日(水)	ＣＡＤ操作研修～実践編～	とちぎ建設技術センター	1

7月2日(水)～3日(木)	政策形成能力向上講座	日本経営協会	1
7月4日(金)	ＣＡＤ操作研修～実践編～	とちぎ建設技術センター	2
7月8日(火)	建築工事設計図書確認基礎研修	とちぎ建設技術センター	2
7月11日(金)	指定管理で失敗しないための管理術	日本経営協会	1
7月15日(火)	電気機械設備工事基礎研修	とちぎ建設技術センター	2
7月17日(木)～18日(金)	道路計画・設計基礎研修	とちぎ建設技術センター	1
7月24日(木)～25日(金)	道路土工・構造物基礎研修	とちぎ建設技術センター	2
7月24日(木)～25日(金)	戸籍実務の基本と窓口対応事例検討講座	日本経営協会	1
7月30日(水)	道路排水施設設計研修	とちぎ建設技術センター	1
7月31日(木)～8月1日(金)	外国人に対する住民税とその他の重点項目に関する課税実務	日本経営協会	1
8月4日(月)～5日(火)	初心者のための複式簿記入門	日本経営協会	1
8月22日(金)	盛土規制法基礎研修	とちぎ建設技術センター	5
8月26日(火)～28日(木)	建築改修積算の基本	全国建設研修センター	2
8月28日(木)	電気機械設備工事施工管理研修	とちぎ建設技術センター	1
9月1日(月)～11日(木)	住民税課税事務	市町村アカデミー	1
9月2日(火)	土木施工管理基礎研修	とちぎ建設技術センター	2
9月4日(木)～5日(金)	土地の課税と評価実務	日本経営協会	1
9月4日(木)～5日(金)	人事･労務担当者のための労働基準法セミナー	日本経営協会	1
9月10日(水)～11日(木)	舗装実務基礎研修	とちぎ建設技術センター	1
10月7日(火)	公共土木工事検査業務研修	とちぎ建設技術センター	1
10月16日(木)～17日(金)	道路管理の基本と管理瑕疵対応の実務	日本経営協会	1
10月17日(金)	自治体での運用に特化した生成AIの活用と法的リスク対策	日本経営協会	1

11月17日(月)～18日(火)	基礎から学ぶ地方自治体における契約事務(工事契約コース)	日本経営協会	1
11月21日(金)	鉄筋構造物と杭基礎のチェックポイント	日本下水道事業団	1
11月25日(火)～12月5日 (金)	市町村税徴収事務	市町村アカデミー	1
11月26日(水)～28日 (金)	選挙管理事務の実務	日本経営協会	1
1月19日(月)～23日 (金)	児童虐待防止対策	市町村アカデミー	1
2月13日(金)	管路施設の包括的民間委託	日本下水道事業団	1

(3) その他派遣研修

実施日	研修内容	派遣先	派遣者数(人)
4月1日(火)～3月31日(火)	県派遣研修	栃木県産業労働観光部観光交流課	1
		栃木県県土整備部栃木土木事務所	2
		栃木県経営管理部栃木県税事務所	1

(4) 資格取得補助

職員の資格取得への意欲を高めるとともに、より専門性を高めた市民サービスを行うことを目的とし、資格取得補助金の交付を行った。

・対　象　者　全職員（希望者）

・件　　数　5件

給与厚生係

1　職員厚生

(1) 安全衛生管理関係

ア　健康診断の実施状況（消防・短時間再任用職員及び会計年度任用職員除く）

検　診　名	対　象　者	受診者数(人)
一般健康診断	全職員	513
歯科健康診断（来院型）	〃	5
胃がん検診（Ｘ線）	〃	98
胃リスク検診（ＡＢＣ検診）	胃がん検診を受診しない者	194
肺がん検診（胸部Ｘ線撮影）	全職員	483
大腸がん検診	〃	307
前立腺がん検診	50歳以上	39
乳がん検診	女性職員	207
子宮頸がん検診	女性職員	144
人間(脳)ドック	30歳以上	454

ＰＥＴ検査	〃	1

イ　ストレスチェックの実施状況

（消防・短時間再任用職員及び会計年度任用職員除く）

受検者数　990人

(2)　市職員厚生会関係

ア　掛金事業

(ｱ)　厚生給付事業

区　　分	件数(件)	金額(円)
病気見舞金	17	135,000
休業者掛金免除	73	－
弔慰金	36	1,065,950
災害見舞金	－	－
褒章祝金	－	－
合計	126	1,200,950

(ｲ)　各種厚生事業

区　　分	件数(件)	金額(円)
イベント等参加経費助成	－	－
スポーツ・文化活動助成	174	344,500
合計	174	344,500

イ　負担金事業

(ｱ)　健康増進事業

・メンタルヘルスＤＶＤ貸出　　0回

(ｲ)　福利厚生事業

・ライフプランセミナー（30代、50代）　各1回

(3)　栃木県市町村職員共済組合関係

ア　組合員数　1,236人（一般組合員のみ）

イ　貸付事業利用者数　46人

ウ　物資事業利用者数　31人

エ　遺族付加年金加入者数　508人

(4)　その他

ア　全国市長会任意共済加入状況

・加入者数　83人

イ　全国市長会個人年金共済加入状況

・加入者数　238人

ウ　全国都市職員災害共済会火災共済加入状況

・加入者数　59人

エ　全国都市職員災害共済会自動車共済加入状況

種　　類	契約台数（台）

普通及び小型乗用車	98
軽四輪自動車	73
自動二輪車	20

オ　財形貯蓄

・加入実人員　362人

・積　立　額

区　　分	金 額 （ 円 ）
毎月	4,538,000
6月賞与	11,101,000
12月賞与	11,434,000

2　公務災害

(1)　公務災害認定　　8件

(2)　通勤災害認定　　1件

3　退隠料及び扶助料

該当なし

第２節　契約検査課

〔総括概要〕

契約検査課の主な分掌事務は、市が発注する建設工事、建設工事関連業務委託及び物品購入などに係る入札の執行（一般競争入札、指名競争入札）、選考委員会の開催並びに建設工事の検査業務である。

入札、契約事務の適正な執行により競争性、公正性、透明性の向上を目指すとともに、地元業者の健全な発展と公共工事等の品質確保のため、制度の改善に取り組み、公共工事等に従事する者の賃金その他労働条件の改善、安全対策の徹底、手抜き工事や下請け業者へのしわ寄せの防止に努めた。

主なものとして、令和元年６月の「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の一部改正に伴い、公共工事等の実施時期の平準化を図ることが発注者の責務とされたことから、発注者が指定する一定期間内で、受注者が工事開始日を柔軟に選択できる余裕期間の設定を行っている。また、中長期的な担い手の確保・育成を図るため、「栃木市土木工事における週休２日制工事実施要領」及び「栃木市営繕工事における週休２日制工事実施要領」並びに「栃木市建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」の制定、「栃木市ウィークリースタンス実施要領」の改定を行った。そのほか、工事受注者の熱中症対策に係る取り組みを促進し、熱中症による労働災害を防止するため、「栃木市熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」を令和７年６月より実施した。

工事検査では、建設工事検査規程に基づき、発注工事が契約内容どおりに適正に施工されたか、技術的な面から工事の施工管理、出来形、品質、出来ばえ、施工体制及び安全対策等について検査を実施した。

契約係

1　入札件数

原則として130万円超（令和7年9月以降においては200万円超）の建設工事、50万円超（令和7年9月以降においては100万円超）の工事関連業務委託、総額80万円超（令和7年9月以降においては総額150万円超）の建設資材・物品の購入、単品で50万円以上の物品購入及び総額130万円以上（令和7年9月以降においては総額200万円以上）の印刷物について入札を執行した。なお、予定価格130万円超（令和7年9月以降においては200万円超）の建設工事及び予定価格50万円超（令和7年9月以降においては100万円超）の建設工事関連業務委託の入札については、電子入札によるものである。

・入札状況　（単位：件）

入札内容	電子入札		郵便入札		計
	一般競争	指名競争	一般競争	指名競争	
建設工事	80	128	－	－	208

工事関連業務委託	5	113	－	－	118
物品購入(建設資材含む)	－	－	3	32	35
印　　刷　　物	－	－	－	1	1
合　計	85	241	3	33	362

2　見積合せ件数

3万円以上130万円未満、令和7年9月以降においては5万円以上200万円以下の印刷物について見積合せを実施した。

・件数　147件

3　建設工事等請負者選考委員会

事後審査型条件付き一般競争入札により執行する建設工事、工事関連業務委託の入札参加資格要件の設定、予定価格1,000万円以上（随意契約については500万円以上）の建設工事、建設工事関連業務委託の指名業者選考等について審議した。

・開催回数　18回

・審議件数　167件

4　物品購入等業者選考委員会

予定価格1,000万円以上（随意契約については500万円以上）の物品購入・役務提供の指名業者選考等について審議した。

・開催回数　13回

・審議件数　206件

5　入札参加資格者登録

令和8年度分として入札参加資格審査申請のあった者について､建設工事等請負者選考委員会及び物品購入等入札参加者資格審査委員会に諮った上、登録を行った。

・令和8年度入札参加資格者登録数　　（単位：者）

建　設　工　事	818
工事関連業務委託	650
物　品・役　務	1,285
合　計	2,753

6　小規模工事等契約希望者登録

契約予定金額が50万円以下の小規模な工事の受注を希望する業者の登録を行った。

・登録業者数　68者

7　小規模物品等契約希望者登録

契約予定金額が50万円未満の小規模な物品購入・役務提供を希望する業者の登録を行った。

・登録業者数　225者

8　入札・契約制度の改善

(1)　入札適正化委員会の開催

建設工事に係る入札・契約の適正化を図るため、学識経験者4人で構成する入札適正化委員会を2回開催した。入札及び契約手続の運用状況の報告と、委員が抽出した案件に関して、一般競争入札の参加資格設定の経緯及び指名競争入札の指名の経緯に係る審議を行った。

・第1回目　8月20日（水）、審議対象：1月～6月入札執行分

・第2回目　2月 9日（月）、審議対象：7月～12月入札執行分

検査係

1　工事検査

令和7年度に完成した請負額500万円以上の建設工事について、次のとおり実施した。

・事業主管課別検査件数　（単位：件）

事業主管課	完成検査	中間検査	出来形検査	工事担当課及び担当件数
行財政改革推進課	1			建築住宅課　1
管財課	5			建築住宅課　5
都賀地域づくり推進課	4			道路河川整備課　1 建築住宅課　2 公園緑地課　1
岩舟地域づくり推進課	1			建築住宅課　1
スポーツ課	2			建築住宅課　2
クリーン推進課	1			
障がい福祉課	1			建築住宅課　1
健康増進課	2			建築住宅課　2
子育て総務課	1			建築住宅課　1
保育課	1			建築住宅課　1
観光振興課	3			建築住宅課　3
農林整備課	6			
産業基盤整備課	7			
道路河川整備課	9			
道路河川維持課	26			
公園緑地課	4			建築住宅課　3

建築住宅課	4			
水道建設課	30			
下水道建設課	28			
消防総務課	3			公園緑地課　1 建築住宅課　2
学校施設課	11			建築住宅課　11
保健給食課	1			建築住宅課　1
文化課	4			建築住宅課　4
合　計	155	0	0	43 内訳　道路河川整備課　1 公園緑地課　2 建築住宅課　40

・工種別検査件数　（単位：件）

工　種	土　木	建　築	舗　装	管	電　気	水　道	その他	合計
件　数	46	17	33	11	11	21	16	155

2　優良建設業者表彰

市が発注した建設工事のうち、令和6年度に完成した請負金額が500万円以上の建設工事を優秀な成績で完成した建設業者を、優良建設業者として表彰した。

・開　催　日　8月7日（木）
・会　　場　市役所3階正庁
・対象業者数　11業者、4特定建設工事共同事業体
・対象工事数　19件
・対象工種数　土木9件、建築3件、舗装1件、管1件、電気2件、水道3件

第３節　管財課

〔総括概要〕

管財課の主な分掌事務は、普通財産の調査・管理及び処分に関する事務、財産区及び財産区議会に関する事務、庁舎・附属施設及び自動車等の管理に関する事務である。

普通財産の貸付けについては、事業用定期借地権を設定し貸付けを行うなど、未利用市有地の有効活用に努め、市内及び東京都内の土地 41 件、26,164.10 ㎡を 20,121,540 円で有償貸付けした。

普通財産の処分については、未利用市有地等の売却を積極的に行い、未利用市有地等 37 件、16,437.77 ㎡の土地を 81,877,659 円で売却した。

また、大澤基金・皆川地区振興基金・小野寺地区市有林管理基金については、設置目的事業への充当と、利子収入等の積立てを行い、確実かつ有利な方法による基金運用に努めた。

財産区については、11 月 20 日に寺尾財産区議会の定例会を開催し、令和６年度寺尾財産区特別会計歳入歳出決算を審議した。2 月 17 日の定例会では、令和８年度寺尾財産区特別会計予算を審議した。計２回開催した全員協議会では、寺尾財産区所有地の無償譲渡、貸付け、立木の切り出し、基金の運用等について審議した。

庁舎等の管理については、本庁舎の宿直・警備等業務、清掃業務、設備・環境管理業務、受付等業務等各種管理業務を実施し、良好な職場環境の維持に努めた。

防火防災面では、消防法に基づく消防計画の作成及び設備維持管理業務を行うとともに、消防訓練及び災害時避難訓練を１階商業事業者と合同で実施した。施設の維持補修や工事関係では、本庁舎エレベータ（3・4 号機）の改修工事及び本庁舎直流電源装置鉛蓄電池更新工事を施工した。その他、適宜庁舎の維持補修を行い、庁舎の機能維持及び利便性向上に努めた。

市有車については、運行の安全確保のため適切な維持管理に努めた。老朽化した車両８台（消防車３台、バス１台、ダンプ３台、ローラー車１台）については、インターネット公有財産売却システムを利用し売却した。

市有資産を活用した財源涵養策として、庁舎の一部を、自動販売機・証明写真機・広告付庁舎案内看板・パネル広告・デジタルサイネージ広告併設タッチパネル情報端末の設置場所として貸し出す事業を実施した。

財産管理係

1　普通財産の貸付け

区　　分	件数(件)	面　積(㎡)	収入金額(円)
市内市有地（旭町　ほか）	28	23,819.28	13,449,356
都内市有地（渋谷区、大田区）	13	2,344.82	6,672,184

合　　計	41	26,164.10	20,121,540

2　普通財産の処分

区　　分	件数(件)	面　積(㎡)	売却価格(円)
普通財産（一般競争入札）	3	4,279.36	32,660,000
普通財産（市内・随意契約）	4	4,350.99	16,238,300
普通財産（都内・随意契約）	2	144.90	21,580,000
旧道水路敷（用途廃止）	28	7,662.52	11,399,359
合　　計	37	16,437.77	81,877,659

※普通財産（都内・随意契約）の一部は持分の売却であり、面積は持分割合で按分して算出した。

3　都内市有地（大澤財産）処分状況　　（単位：㎡）

寄附受入面積	地積更正等	令和6年度末までの処分	令和7年度中の処分	令和7年度末の保有面積	
				全体	貸付地
7,928.44	7,982.17	5,549.91	144.90	2,287.36	2,229.40

※令和７年度中の処分の一部は持分の売却であり、面積は持分割合で按分して算出した。

※宅地以外は通路として保有しており、隣接する宅地の購入者に併せて売却しているため、宅地を処分する過程で通路も全て処分する計画である。

4　大澤基金に関すること　　（単位：円）

令和6年度末現在高	令和7年度中増減高	令和7年度末現在高
1,074,706,822	△4,861,307	1,069,845,515

5　皆川地区振興基金に関すること　　（単位：円）

令和6年度末現在高	令和7年度中増減高	令和7年度末現在高
33,511,712	171,093	33,682,805

6　小野寺地区市有林管理基金に関すること　　（単位：円）

令和6年度末現在高	令和7年度中増減高	令和7年度末現在高
1,000	0	1,000

7　財産区関係

(1)　寺尾財産区議会の招集

招　集　日	会　議　別	提　案　議　案　等
8月26日(火)	全員協議会	財産区財産の無償譲渡について 財産区財産の貸付けについて

		立木の切り出しについて 財産適正管理に係る費用について 寺尾財産区基金の運用について
8月26日(火)	臨時会	財産区財産の無償譲渡について
11月20日(木)	定例会	令和6年度特別会計歳入歳出決算の認定について
1月22日(木)	全員協議会	令和8年度特別会計予算(案)の概要について
1月22日(木)	勉強会	寺尾財産区森林経営計画について 令和8年度切り出し事業の概要について (出流町観音入)
2月17日(火)	定例会	令和8年度特別会計予算について

(2) 令和7年度寺尾財産区特別会計歳入歳出決算 (単位：円)

歳入	予算現額	収入済額
	15,381,000	15,335,739
歳出	予算現額	支出済額
	15,381,000	13,804,139
差引残額		1,531,600

(3) 寺尾財産区有山林貸付状況

貸付件数(件)	面積(㎡)	収入金額(円)
4	297,293.05	13,204,830

(4) 寺尾財産区運営基金状況 (単位：円)

令和6年度末現在高	令和7年度中増減高	令和7年度末現在高
335,074,696	7,805,000	342,879,696

庁舎管理係

1 本庁舎等の業務委託

庁舎管理上の必要から、次のとおり業務委託を実施した。

業務名	委託金額(円)
本庁舎宿直・警備等業務委託	20,592,000
本庁舎清掃業務委託	11,800,261
本庁舎設備・環境管理業務委託	32,490,348
本庁舎受付等業務委託	7,243,500
本庁舎電話交換設備等保守点検業務委託	1,584,000
本庁舎管理業務委託	2,455,574
その他業務委託 5件	739,134
合計	76,904,817

2　本庁舎等の工事

本庁舎エレベータ（3・4号機）の改修工事及び本庁舎直流電源装置鉛蓄電池更新工事を施工した。

工　　事　　名	工事金額（円）
本庁舎エレベータ改修工事（3・4号機）	64,647,000
本庁舎エレベータ改修関連工事　1件	132,000
本庁舎直流電源装置鉛蓄電池更新工事	8,767,000
合　　計	73,546,000

3　本庁舎及び立体駐車場等の修繕工事

市役所本庁舎及び立体駐車場等において必要な修繕工事を施工した。

工　　事　　名	工事金額（円）
立体駐車場地下室　除砂装置修繕	870,760
東武栃木市役所店No.6系統冷蔵機　冷媒ガス漏洩修繕	439,406
本庁舎4階記者室1空調機修繕	382,800
東武栃木市役所店鮮魚冷凍庫ユニットクーラードレンパン交換	106,150
本庁舎冷却塔電動ボールバルブ交換修繕	512,600
本庁舎冷却水系水処理薬品投入工事	217,800
本庁舎冷却塔コントローラ交換修繕	207,900
東武栃木市役所店フードコート系統排水管詰り修繕	148,830
本庁舎4階防火シャッター修繕	114,620
本庁舎火災報知設備感知器取替	217,690
本庁舎自動ドア消耗品部品交換工事	211,530
本庁舎誘導灯蓄電池交換	127,270
本庁舎消火器交換	275,000
本庁舎自動火災報知設備　蓄電池交換	222,750
本庁舎電話機移設及び増設工事	539,000
その他維持補修等　13件	627,209
合　　計	5,221,315

4　庁舎の有効活用状況

庁舎の一部を貸し出し、財源涵養に努めた。

(1)　庁舎貸付状況

貸　付　物　件	貸付収入（円）
自動販売機（6台）	3,386,547
証明写真機	274,660
広告付本庁舎案内看板	594,000
本庁舎パネル広告事業	1,036,200

本庁舎デジタルサイネージ広告併設タッチパネル情報端末	1,210,000
本庁舎1階商業施設貸付収入	15,907,537
合　　計	22,408,944

(2)　自動販売機入札実施状況

入札実施日	入札実施台数	落札件数	最高貸付料率（%）
1月29日（木）	27台	16件	39.5

5　市有建物損害共済委託状況

全国市有物件災害共済会

・件　　数　　481件

・共済責任額　8,842,253万円

・共済分担金　10,000,875円

6　共用車管理状況

本庁所管の共用車について、状態を良好に保つよう維持管理に努めた。

【令和8年3月末現在】

区　　分	数　　量（台）
普通乗合（大型バス　席数53(補助席8含む)・ガイド席1)	1
普通乗用	11
小型乗用	14
軽乗用	8
小型貨物	13
軽貨物	21
合　　計	68

7　市有自動車損害共済委託状況

全国市有物件災害共済会

・件　　数　自動車及びバイク　376台

・共済分担金　5,643,661円

・契約内容（自動車等）　対物　1事故につき　無制限

対人　1人につき　無制限

8　消防訓練及び災害時避難訓練実施状況

回数	実施日	内容	参加者
第1回	6月11日（水）	総合訓練	136人（内、市職員 132人）
第2回	10月22日（水）	避難訓練	26人（内、市職員　25人）
第3回	11月12日（水）	総合訓練	218人（内、市職員 212人）

9　特定規模電気事業者との電力需給契約（新電力）

高圧施設 72 施設の内、本庁舎については、とちぎクリーンプラザの余剰電力を扱うホームタウンエナジー(株)と契約し、ごみの焼却熱を利用して発電した電気を使うことで、電気料金の削減とともに、脱炭素化に寄与した。また、栃木保健福祉センター等 33 施設及び小・中学校 38 校については、令和 5 年度から継続して東京電力エナジーパートナー(株)から供給を受けている。

第４節　財政課

〔総括概要〕

令和7年度の当初予算については、安定した行政サービスや、地域の資源・魅力を次の世代にも引き継いでいける強固な行財政基盤を有した「持続可能な自治体」の構築を目指し、第2次総合計画に掲げる6つの基本方針の実現に資する事業に経営資源を集中するとともに、行財政改革を着実に推進することとし、予算編成を行った。

一方、長引く物価上昇に対応するため国の交付金を活用し、民間保育所や中小企業者等に対する光熱費等の支援として実施に必要な予算編成を行った。

また、財政の透明性や市民への説明責任を果たすため、当初予算の概要について広報とちぎに記事を掲載するとともに、ホームページに「予算のあらまし」及び当初予算の編成過程、決算等の情報を掲載した。

令和8年度の当初予算についても、引き続き積極的に行財政改革を着実に進めることで、総合計画に掲げる本市の将来像「豊かな自然と共生し　優しさと強さが調和した　活力あふれる栃木市」の実現に向けた予算編成を行った。

財政係

1　令和7年度歳入歳出予算

(1)　一般会計　（単位：千円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	令和7年　3月26日	－	74,830,000
補正第　1号	〃　6月25日	811,585	75,641,585
〃　2号	〃　6月25日	940	75,642,525
〃　3号	〃　6月25日	57,082	75,699,607
〃　4号	〃　9月29日	1,026,056	76,725,663
〃　5号	〃　12月17日	2,785,970	79,511,633
専決処分補正第6号	令和8年　1月19日	85,451	79,597,084
補正第　7号	〃　1月26日	1,823,479	81,420,563
〃　8号	〃　3月24日	104,713	81,525,276

(2)　特別会計

ア　国民健康保険　（単位：千円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	令和7年　3月26日	－	16,670,229
補正第　1号	〃　9月29日	△1,383	16,668,846
〃　2号	〃　12月17日	306,720	16,975,566
〃　3号	令和8年　3月24日	△6,500	16,969,066

イ　後期高齢者医療　（単位：千円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	令和7年　3月26日	－	2,531,503
補正第　1号	〃　9月29日	3,960	2,535,463
〃　2号	〃　12月17日	245,538	2,781,001
〃　3号	令和8年　3月24日	19,358	2,800,359

ウ　介護保険（保険事業勘定）　（単位：千円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	令和7年　3月26日	－	15,781,649
補正第　1号	〃　12月17日	407,140	16,188,789
〃　2号	令和8年　3月24日	46,486	16,235,275

エ　介護保険（介護サービス事業勘定）　（単位：千円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	令和7年　3月26日	－	81,758
補正第　1号	〃　12月17日	4,478	86,236

オ　栃木インター西産業団地　（単位：千円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	令和7年　3月26日	－	143,720
補正第　1号	〃　9月29日	3,460	147,180
〃　2号	〃　12月17日	616	147,796
〃　3号	令和8年　3月24日	△43,000	104,796

カ　平川産業団地　（単位：千円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	令和7年　3月26日	－	681,322
補正第　1号	〃　9月29日	20,000	701,322
〃　2号	〃　12月17日	1,872	703,194
〃　3号	令和8年　3月24日	△190,625	512,569

(3)　水道事業会計　（単位：千円）

区　　分	議決等年月日	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
		収　　入	支　　出	収　　入	支　　出
当 初 予 算	令和7年3月26日	2,827,575	2,769,911	1,089,503	1,967,515
補正第　1号	〃　12月17日	－	－	－	－
合　計		2,827,575	2,769,911	1,089,503	1,967,515

(4)　下水道事業会計　（単位：千円）

区　　分	議決等年月日	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
		収　　入	支　　出	収　　入	支　　出

当初予算	令和7年3月26日	4,248,923	4,170,165	1,311,628	2,673,340
補正第　1号	〃　9月29日	－	－	149,560	149,560
合　計		4,248,923	4,170,165	1,461,188	2,822,900

2　令和7年度決算状況

(1)　一般会計及び特別会計　　（単位：千円）

区　分	予算現額	決算額			翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
		歳　入	歳　出	差引額		
一般会計	85,125,075	80,023,138	76,550,943	3,472,195	290,840	3,181,355
国民健康保険特別会計	16,969,066	16,248,431	15,859,295	389,136	0	389,136
後期高齢者医療特別会計	2,800,359	2,732,186	2,693,475	38,711	0	38,711
介護保険特別会計(保険事業勘定)	16,235,275	16,054,888	15,540,612	514,276	0	514,276
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	86,236	87,988	83,756	4,232	0	4,232
栃木インター西産業団地特別会計	104,796	105,253	99,646	5,607	0	5,607
平川産業団地特別会計	739,020	604,975	602,586	2,389	100	2,289
計	122,059,827	115,856,859	111,430,313	4,426,546	290,940	4,135,606

(2)　水道事業会計　　（単位：千円）

区　分	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
	収　入	支　出	収　入	支　出
予算現額	2,871,124	2,796,311	1,313,280	2,526,643
決算額	2,984,940	2,512,320	1,132,832	2,225,306
決算額－予算額	113,816		△180,448	
繰越額		5,027		148,137
不用額		278,964		153,200

(3)　下水道事業会計　　（単位：千円）

区　分	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
	収　入	支　出	収　入	支　出
予算現額	4,288,928	4,170,165	2,091,218	3,457,478
決算額	4,234,846	3,986,318	1,801,669	2,935,114
決算額－予算額	△54,082		△289,549	
繰越額		0		328,079
不用額		183,847		194,285

3　地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、自動車税環境性能割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の収入　　（単位：千円）

区　分		交付月	期　間	交　付　額
地方譲与税	地方揮発油譲与税	6月	令和7年　3月～　5月	40,968
		11月	〃　6月～　10月	55,225
		3月	〃　11月～令和8年　2月	44,116
		計		140,309
	自動車重量譲与税	6月	令和7年　3月～　5月	125,096
		11月	〃　6月～　10月	192,735
		3月	〃　11月～令和8年　2月	148,362
		計		466,193
	森林環境譲与税	9月	令和7年　3月～　8月	18,371
		3月	〃　9月～令和8年　2月	20,664
		計		39,035
	小　計			645,537
利子割交付金		8月	令和7年　3月～　7月	11,233
		12月	〃　8月～　11月	20,212
		3月	〃　12月～令和8年　2月	4,825
		計		36,270
配当割交付金		8月	令和7年　3月～　7月	26,842
		12月	〃　8月～　11月	5,096
		3月	〃　12月～令和8年　2月	125,937
		計		157,875
株式等譲渡所得割交付金		3月	令和7年　3月～令和8年　2月	254,161
法人事業税交付金		8月	令和7年　3月～　7月	182,545
		12月	〃　8月～　11月	81,714
		3月	〃　12月～令和8年　2月	122,413
		計		386,672
地方消費税交付金	地方消費税交付金	6月	令和7年　3月～　5月	553,281
		9月	〃　6月～　8月	593,970
		12月	〃　9月～　11月	282,884
		3月	〃　12月～令和8年　2月	551,057
		計		1,981,192
	社会保障財源交付金	6月	令和7年　3月～　5月	693,001
		9月	〃　6月～　8月	743,911
		12月	〃　9月～　11月	356,283
		3月	〃　12月～令和8年　2月	688,964

		計			2,482,159
	小		計		4,463,351
ゴルフ場利用税交付金	8月	令和7年	3月～	7月	148,678
	12月	〃	8月～	11月	115,329
	3月	〃	12月～令和8年	2月	90,372
	計				354,379
自動車税環境性能割交付金	8月	令和7年	4月～	7月	31,249
	12月	〃	8月～	11月	29,175
	3月	〃	12月～令和8年	3月	26,223
	計				86,647
地方特例交付金	4月				72,689
	9月				67,415
	3月				7,300
	計				147,404
交通安全対策特別交付金	9月	令和7年	3月～	8月	7,756
	3月	〃	9月～令和8年	2月	7,124
	計				14,880
合			計		6,547,176

4　地方交付税

(1)　令和7年度算定額　　（単位：千円）

区　分	算定額
基準財政需要額 ①	32,857,977
基準財政収入額 ②	22,328,886
交付基準額 ③（①－②）	10,529,091
調整額 ④	－
普通交付税 ⑤（③－④）	10,529,091
特別交付税 ⑥	1,295,205
合　計（⑤＋⑥）	11,824,296

※算定額①②には、算定において措置すべき錯誤額を含む

(2)　収入額　　（単位：千円）

区　分	交付月	交付額	区　分	交付月	交付額
普通交付税	4月	2,508,100	特別交付税	9月（震災復興特別交付税）	91
	6月	2,508,100		12月	103,305
	9月	2,332,386		3月	1,191,694
	11月	2,332,385		3月（震災復興特別交付税）	115
	12月追加	848,120			
小　計		10,529,091	小　計		1,295,205

合　　計	11,824,296

5　市債の状況（一般会計）　　（単位：千円）

借　入　日	借　入　先	借入年数	借　入　額	年利率(%)
令和8年3月25日	財務省	10年	25,300	1.800
〃	〃	20年	896,800	2.100
〃	公益社団法人 全国市有物件災害共済会	5年	23,300	1.350
〃	鹿沼相互信用金庫	10年	1,001,400	1.274
〃　3月31日	栃木県	10年	61,300	1.500
〃	〃	10年	26,000	1.700
〃	〃	15年	234,200	2.100
〃　5月26日	財務省	10年	21,300	2.100
〃　5月27日	株式会社足利銀行	5年	26,800	1.540
〃	〃	10年	1,971,000	1.830
〃	〃	20年	383,000	2.050
〃　5月28日	地方公共団体金融機構	10年	180,900	2.100
〃	〃	20年	313,900	2.300
〃	〃	30年	644,800	2.400
合　　計			5,810,000	

6　財政状況の公表

告示番号	告示年月日	内　　容
第178号	令和7年 6月 6日	令和6年度下半期予算執行状況等
第340号	〃 12月 1日	令和7年度上半期予算執行状況及び令和6年度決算状況等

7　水道事業及び下水道事業業務状況の公表

告示番号	告示年月日	内　　容
第186号	令和7年 6月 16日	令和6年度下半期分
第341号	〃 12月 1日	令和7年度上半期分及び令和6年度決算

第５節　税務課

〔総括概要〕

自立的な行財政運営を実現するうえで、自主財源である市税の重要性は非常に高く、常に厳正な税務行政の執行が求められることから、租税の原則に基づき、公平・明確な租税賦課業務に努めた。

具体的な取組みとして、市民税関係では、課税客体の適正把握のため、個人住民税未申告者に対する申告の催告等を実施した。また、より一層の税収確保に向けて、未申告法人の活動状況調査や申告指導を行った。

保険税（料）関係では、転入者等に対する適正な賦課を行うため、簡易申告等を実施した。

軽自動車税関係では、車両の現況調査等を通じて、課税客体の適正把握に努めた。

資産税関係では、土地と家屋の税務通知書を電子データ化し、固定資産税システムに取り込むことにより、精度の向上と業務の効率化に努めた。償却資産についてはｅＬＴＡＸの推進、新規事業者の捕捉及び申告書の送付、未申告事業者に対する催告等の申告指導を継続して行った。

税政係

1　調定額　　（単位：千円）

区分 / 税目	本年度	前年度
市民税	10,279,170	9,305,385
軽自動車税	584,181	569,909
市たばこ税	1,173,741	1,176,441
鉱産税	4,414	4,333
入湯税	18,616	18,659
国民健康保険税	3,593,222	3,756,662
後期高齢者医療保険料	2,016,698	1,848,206
介護保険料	3,635,383	3,582,866

2　賦課状況

(1)　軽自動車税（4月1日現在）　　（令和7年度課税状況調より）

区分 / 車種		総台数（台）	課税外台数（台）		課税台数（台）	税額（千円）
			非課税	減免		
原動機付	50cc以下	4,285	36	－	4,249	8,498
	特定小型	25	－	－	25	50
	51cc～90cc	541	1	－	540	1,080

自転車	91cc～125cc				1,286	13	－	1,273	3,055
	ミニカー				119	－	－	119	441
	小　計				6,256	50	－	6,206	13,124
軽自動車及び小型特殊自動車	軽自動車	二輪車			2,270	2	3	2,265	8,154
		三輪車			2	－	1	1	5
		四輪車	乗用	営業用	3	－	－	3	17
				自家用	7,736	13	186	7,537	54,266
			貨物	営業用	30	－	1	29	87
				自家用	1,627	10	24	1,593	6,372
		新税率適用分	乗用	営業用	5	－	－	5	35
				自家用	20,779	31	417	20,331	219,575
			貨物	営業用	172	－	－	172	654
				自家用	4,876	47	69	4,760	23,800
		重課適用分	乗用	営業用	9	－	－	9	74
				自家用	10,532	33	305	10,194	131,503
			貨物	営業用	55	－	－	55	248
				自家用	5,754	43	89	5,622	33,732
		75%軽課適用分	乗用	営業用	－	－	－	－	－
				自家用	27	2	－	25	68
			貨物	営業用	－	－	－	－	－
				自家用	7	2	－	5	7
		50%軽課適用分	乗用	営業用	－	－	－	－	－
				自家用	－	－	－	－	－
			貨物	営業用	－	－	－	－	－
				自家用	－	－	－	－	－
		25%軽課適用分	乗用	営業用	1	－	－	1	5
				自家用	－	－	－	－	－
			貨物	営業用	－	－	－	－	－
				自家用	－	－	－	－	－
	小型特殊		農耕作業用		5,874	20	3	5,851	14,043
			フォークリフト等		540	3	－	537	3,169
	小　計				60,298	206	1,098	58,994	495,809
二輪の小型自動車					3,154	19	7	3,128	18,768
合　計					69,708	275	1,105	68,328	527,701

(2)　市たばこ税

区　分	課税標準数量（本）	返還控除数量（本）	差引数量（本）	申告納付額（円）
たばこ税	179,929,496	787,171	179,142,325	1,173,740,508

手持ち品	－	－	－	－
合　計	179,929,496	787,171	179,142,325	1,173,740,508

※税率の改正がなかったため、手持ち品課税はなし。

(3)　鉱産税

区　分	数量(ｔ)	価格(円)	課税標準額(千円)	税額(円)
石灰石 第1類	26,638	7,991,400	－	－
ドロマイト	166,460	66,584,000		
石灰石 第2類	1,352,913	338,228,250		
珪　石	64,516	32,257,920		
合　　計	1,610,527	445,061,570	445,045	4,414,100

(4)　入湯税

区　分	税率(円/人)	人数(人)	税額(円)
日帰り	50	362,987	18,149,350
宿　泊	150	3,110	466,500
合　計		366,097	18,615,850

3　諸証明等の交付（栃木地域分）

区　分	件・冊・枚数		摘　　要
	有　料	無料(公用等)	
諸 証 明	25,032	255	・納税、所得及びその他の証明　1件につき300円 ・土地及び建物の評価証明　1件につき300円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 ・住宅用家屋証明　1件につき1,300円
公簿閲覧	2,809	332	・資産台帳の閲覧　1冊につき300円 ・公簿等の写し　1枚につき300円 ・航空写真の写し　1枚につき600円
合　計	27,841	587	

市民税係

1　個人市民税賦課状況(7月1日現在)　　(令和7年度課税状況調より)

(1)　所得区分別市民税額調　　(単位：千円)

区　分		金　額	所得区分別金額				
			給　与	営　業	農　業	その他	分離譲渡
所得金額		237,796,561	199,727,951	8,996,062	3,052,454	19,936,721	6,083,373
所	雑　損	2,417	2,105	312	-	-	-
	医療費	1,393,352	753,329	91,368	57,138	402,833	88,684

所得控除額	社会保険料	42,249,899	37,566,117	1,162,263	326,700	2,585,748	609,071
	小規模企業共済等掛金	1,191,503	788,192	231,857	28,746	73,340	69,368
	生命保険料	2,676,656	2,297,057	98,966	27,369	212,622	40,642
	地震保険料	123,307	82,076	6,053	5,961	25,232	3,985
	障害者	704,160	479,940	31,280	15,100	157,980	19,860
	寡婦	156,260	86,840	5,200	1,560	57,200	5,460
	ひとり親	309,600	292,200	8,100	300	7,500	1,500
	勤労学生	1,040	1,040	-	-	-	-
	配偶者	4,254,710	2,630,720	106,370	50,980	1,401,180	65,460
	配偶者特別	1,036,260	786,320	30,900	9,500	194,380	15,160
	扶養	5,493,340	4,844,530	260,410	88,700	216,420	83,280
	同居特別障害者	133,170	102,580	7,130	3,910	16,100	3,450
	基礎	32,300,690	26,037,690	1,007,080	274,200	4,586,380	395,340
	計	92,026,364	76,750,736	3,047,289	890,164	9,936,915	1,401,260
課税標準額		150,509,417	122,977,215	5,948,773	2,162,290	9,999,806	9,421,333
税額	算出税額	8,888,212	7,376,099	356,824	129,712	599,553	426,024
	調整控除額	153,260	118,334	5,179	1,499	26,574	1,674
	配当控除額	15,116	1,945	37	17	5,489	7,628
	住宅借入金等特別税額控除	128,507	122,994	4,475	140	472	426
	寄附金税額控除	308,130	259,129	13,990	1,156	7,450	26,405
	外国税額控除	106	6	9	－	51	40
	税額調整額	610	405	63	－	105	37
	配当割額等控除額	30,993	1,006	56	8	3,180	26,743
	定額による特別控除額	2,010	1,428	30	30	90	162
	減免税額	－	－	－	－	－	－
	所得割額	8,249,750	6,870,852	332,985	126,862	556,142	362,909
	均等割額	250,431	195,135	8,505	2,157	44,634	－
	市民税額合計	8,500,181	7,065,987	341,490	129,019	600,776	362,909
市民税負担割合(%)		100	83.1	4.0	1.5	7.1	4.3
納税義務者数(人)		83,477	64,672	2,805	714	14,281	1,005
所得割人数(人)		75,385	60,692	2,372	641	10,675	1,005

(2)　課税標準額段階別市民税所得割額調

課税標準額の段階	納税義務者数(人)	所得金額(千円)	課税標準額(千円)	算出税額(千円)	所得割額(千円)
10万円以下	3,026	2,236,598	1,152,408	38,775	34,750
10万円を超え 100万円以下	25,291	37,115,866	14,971,506	870,318	792,462
100 〃 200 〃	21,842	56,931,254	32,550,140	1,933,331	1,793,335
200 〃 300 〃	12,815	49,434,643	31,733,788	1,888,655	1,759,077
300 〃 400 〃	5,964	30,940,551	21,109,848	1,250,398	1,180,731
400 〃 550 〃	3,710	24,306,493	17,216,794	1,027,806	973,892
550 〃 700 〃	1,120	9,227,244	6,949,513	414,134	388,827
700 〃 1,000 〃	805	8,376,598	6,873,179	405,042	375,282
1,000 〃 2,000 〃	586	9,218,313	8,110,716	479,083	435,991
2,000 〃 5,000 〃	190	6,117,508	5,815,931	345,409	309,001
5,000 〃 1億円 〃	26	1,698,193	1,720,443	100,620	91,208
1億円を超える金額	10	2,193,300	2,305,151	134,641	115,194
合　　計	75,385	237,796,561	150,509,417	8,888,212	8,249,750

※「課税標準額の段階」には分離譲渡所得は含まれない。

(3)　課税標準額段階別控除対象配偶者、扶養控除に関する調　　(単位：人)

課税標準額の段階	控除対象配偶者		扶養控除人員	扶養控除人員の内訳		
		うち老人配偶者		老人扶養	同居老親扶養	その他の扶養
1万円以下の金額	35	19	47	1	12	34
1万円を超え 2万円以下	17	12	27	1	9	17
2 〃 3 〃	20	9	33	1	6	26
3 〃 4 〃	21	10	50	3	8	39
4 〃 5 〃	28	16	43	1	7	35
5 〃 6 〃	20	13	38	5	9	24
6 〃 7 〃	29	18	48	3	10	35
7 〃 8 〃	38	24	45	－	8	37
8 〃 9 〃	40	26	46	3	12	31
9 〃 10 〃	32	20	36	2	13	21
10 〃 15 〃	209	147	198	12	40	146
15 〃 20 〃	280	211	218	15	45	158
20 〃 25 〃	342	231	238	16	49	173
25 〃 30 〃	289	206	238	12	62	164
30 〃 40 〃	590	386	416	20	88	308
40 〃 60 〃	986	572	871	57	207	607
60 〃 80 〃	834	393	881	38	234	609
80 〃 120 〃	1,435	522	1,432	68	445	919
120 〃 160 〃	1,221	253	1,352	56	416	880

160 〃 200 〃	1,070	148	1,296	90	382	824
200万円を超える金額	4,902	268	6,585	348	1,331	4,906
合　　計	12,438	3,504	14,138	752	3,393	9,993

2　法人市民税賦課状況（7月1日現在）

均等割別納税義務者数

区　　分		均等割額(千円)	法人数(人)
資本金の額等	① 1千万円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	60	3,292
	② 1千万円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	144	34
	③ 1千万円を超え1億円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	156	572
	④ 1千万円を超え1億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	180	60
	⑤ 1億円を超え10億円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	192	134
	⑥ 1億円を超え10億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	480	30
	⑦ 10億円を超え、市内の従業者数が50人以下の法人	492	138
	⑧ 10億円を超え50億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	2,100	10
	⑨ 50億円を超え、市内の従業者数が50人を超える法人	3,600	24
合　　計			4,294

保険係

1　国民健康保険税賦課状況（7 月 1 日現在）

(1)　医療保険分の状況

ア　税率及び課税内訳

・賦課限度額　650,000円

・所得割　6.0/100

・均等割　19,600円

・平等割　17,700円

・課税内訳

区分	所得割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	12,829	28,685	19,331
退職世帯	0	0	0
合　計	12,829	28,685	19,331

イ　軽減世帯及び限度額世帯　（単位：世帯）

区分	低所得者等軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	5,051	2,785	2,180	10,016	197
退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	5,051	2,785	2,180	10,016	197

ウ　調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	19,331	28,685	1,763,893,400	91,246	61,491
退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	19,331	28,685	1,763,893,400	91,246	61,491

(2)　後期高齢者支援金分の状況

ア　税率及び課税内訳

・賦課限度額　240,000円

・所得割　2.6/100

・均等割　10,200円

・平等割　7,500円

・課税内訳

区分	所得割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	12,829	28,685	19,331
退職世帯	0	0	0
合　計	12,829	28,685	19,331

イ　軽減世帯及び限度額世帯　（単位：世帯）

区分	低所得者等軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	5,051	2,785	2,180	10,016	301
退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	5,051	2,785	2,180	10,016	301

ウ　調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	19,331	28,685	787,579,100	40,741	27,456
退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	19,331	28,685	787,579,100	40,741	27,456

(3)　介護保険分の状況

ア　税率及び課税内訳

・賦課限度額　170,000円

・所得割　2.1/100

・均等割　11,100円

・平等割　6,100円

・課税内訳

区分	所得割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	3,982	8,879	7,649
退職世帯	0	0	0

イ　軽減世帯及び限度額世帯　（単位：世帯）

区分	低所得者等軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	1,828	968	689	3,485	174
退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	1,828	968	689	3,485	174

ウ　調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	7,649	8,879	257,878,700	33,714	29,043
退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	7,649	8,879	257,878,700	33,714	29,043

(4)　国民健康保険税調定額

区分	世帯数(世帯)	調定額(円)
普通徴収対象世帯	17,229	2,412,144,800
特別徴収対象世帯	5,145	397,206,400
合　計	22,374	2,809,351,200

2　後期高齢者医療保険料賦課状況（7月1日現在）

(1)　後期高齢者医療保険料の算定料率

・賦課限度額　800,000円

・所得割　8.84/100

・均等割　45,600円

均等割低所得者軽減額（円）		
7割軽減	5割軽減	2割軽減
31,920	22,800	9,120

(2)　保険料軽減区分別被保険者数

区分	内容	被保険者数（人）	
		普通徴収	特別徴収
一般	（前年の所得金額-基礎控除額）×8.84%+45,600円	2,450	7,759
7割軽減	同一世帯の被保険者全員と世帯主の前年の総所得金額等の合計額が43万円+10万円×{給与所得者等の数-1}以下の被保険者は均等割額を7割軽減。	1,703	9,794
5割軽減	同一世帯の被保険者全員と世帯主の前年の総所得金額等の合計額が43万円+10万円×{給与所得者等の数-1}+(30.5万円×被保険者数)以下の被保険者は、均等割額を5割軽減。	558	4,350
2割軽減	同一世帯の被保険者全員と世帯主の前年の総所得金額等の合計額が43万円+10万円×{給与所得者等の数-1}+(56万円×被保険者数)以下の被保険者は、均等割額を2割軽減。	322	3,310

被用者保険の被扶養者軽減	所得割額を免除、均等割額を5割（加入した月から2年間）軽減。	（内361）	
合　計		5,033	25,213

(3)　後期高齢者医療保険料調定額（現年度分）

区分	被保険者数(人)	調定額(円)
普通徴収	5,033	649,753,100
特別徴収	25,213	1,302,843,400
合　計	30,246	1,952,596,500

3　介護保険料賦課状況（7月1日現在）

(1)　介護保険料段階別保険料等

段　階	対象者	被保険者数(人)		年間保険料(円)
		普通徴収	特別徴収	
第1段階	・老齢福祉年金受給者 ・生活保護の受給者 ・世帯全員が市民税非課税で本人の前年の課税年金収入額＋その他の合計所得金額が80万9,000円以下の方	733	5,637	20,270
第2段階	・世帯全員が市民税非課税で本人の前年の課税年金収入額＋その他の合計所得金額が80万9,000円を超え120万円以下の方	25	3,774	28,449
第3段階	・世帯全員が市民税非課税で本人の前年の課税年金収入額＋その他の合計所得金額が120万円を超える方	20	3,189	48,719
第4段階	・市民税が課税されている世帯員がいるが本人は市民税非課税で本人の前年の課税年金収入額＋その他の合計所得金額が80万9,000円以下の方	417	5,509	64,011
第5段階	・市民税が課税されている世帯員がいるが本人は市民税非課税で本人の前年の課税年金収入額＋その他の合計所得金額が80万9,000円を超える方	32	8,136	71,124
第6段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が120万円未満の方	274	7,825	85,348
第7段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満の方	356	7,407	92,461
第8段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満の方	283	3,145	106,686
第9段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が320万円以上420万円未満の方	157	1,187	120,910
第10段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が420万円以上520万円未満の方	78	574	135,135
第11段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が520万円以上620万円未満の方	44	260	149,360

第12段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が620万円以上720万円未満の方	31	156	163,585
第13段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が720万円以上900万円未満の方	39	175	170,697
第14段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が900万円以上1,000万円未満の方	13	57	177,810
第15段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が1,000万円以上1,200万円未満の方	19	92	184,922
第16段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が1,200万円以上の方	75	261	195,591
合　計		2,596	47,384	

(2)　介護保険料調定額

区分	被保険者数(人)	調定額(円)
普通徴収対象者	2,596	240,058,927
特別徴収対象者	47,384	3,349,306,772
合　計	49,980	3,589,365,699

資産税係

1　調定額　　（単位：千円）

区分／税目	本年度	前年度
固定資産税	11,191,292	11,110,414
特別土地保有税	12,535	13,198
都市計画税	823,285	817,623

2　固定資産税評価状況（令和7年1月1日現在）

(1)　土地

地目		筆数（筆）	地積（㎡）	決定価格（千円）
田	一般田	53,976	76,711,701	8,743,045
	宅地介在田等	3,029	1,948,192	9,007,395
畑	一般畑	29,240	19,636,358	1,206,249
	宅地介在畑等	2,987	1,616,589	7,039,142
宅地		149,171	40,813,629	429,423,845
鉱泉地		2	4	388
池沼		270	139,140	5,304
山林		21,239	51,703,038	2,068,018
牧場		13	6,751	317
原野		2,948	810,835	17,460
雑種地		29,761	25,909,928	53,385,201

合　　計	292,636	219,296,165	510,896,364

3　固定資産税評価状況（令和7年1月1日現在）

(1)　木造家屋

種　　類	棟　数（棟）	床　面　積（㎡）	決定価格（千円）
戸建形式住宅	59,565	5,925,202	164,455,556
集合形式住宅	1,029	257,848	10,855,831
併用住宅	3,544	387,427	5,810,495
ホテル・旅館	116	4,980	57,187
事務所・店舗	1,728	128,573	3,277,280
劇場・病院	88	16,360	602,635
工場・倉庫	3,022	191,962	668,741
附属家	22,620	919,058	3,261,399
合　　計	91,712	7,831,410	188,989,124

(2)　非木造家屋

種　　類	棟　数（棟）	床　面　積（㎡）	決定価格（千円）
事務所・店舗	1,917	742,837	39,995,796
住宅用建物	8,062	1,352,431	50,096,830
病院・ホテル	135	127,501	11,006,262
工場・倉庫	6,346	2,905,680	75,888,670
その他	9,948	616,974	4,762,902
合　　計	26,408	5,745,423	181,750,460

(3)　償却資産　　（単位：千円）

区　　分		決　定　価　格	課税標準額
市長が価格等を決定したもの	構築物	28,859,803	28,469,807
	機械及び装置	113,002,288	111,747,471
	船舶	11,653	11,653
	航空機	－	－
	車両及び運搬具	1,729,763	1,729,763
	工具・器具及び備品	17,101,951	17,066,831
	小　　計	160,705,458	159,025,525
総務大臣が価格等を決定し配分したもの		35,210,094	34,759,161
県知事が価格等を決定し配分したもの		－	－
小　　計		35,210,094	34,759,161
合　　計		195,915,552	193,784,686

第６節　収税課

〔総括概要〕

歳入の根幹である市税収入については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、納税管理関係では、市民の納税における利便性及び納税意識の向上を図るため、様々な納税方法を用意し、日々収入金の管理をするとともに、口座振替に関するPR活動を積極的に行った。

収税関係では、市税等の収入率向上のため、財産調査及び滞納処分を行うとともに、市税等収納員による臨戸訪問や電話催告員による電話催告を実施し、税収確保へ向けた取組を展開した。更に、滞納処分係において、公売を積極的に行った。

また、市の債権を適正に管理回収するため、債権管理に関する職員研修や弁護士による法律相談を実施するとともに、栃木市債権回収対策本部会議を開催し、未収債権の回収計画を策定した。

更に、現年度の滞納者がそのまま翌年度以降の滞納者に直結することから、これまで以上に現年度分を中心に、県と共同で滞納整理に取り組んだ。

納税管理係

1　口座振替状況

税　　目	件　　数（件）	金　　額（円）
市・県民税・森林環境税	12,057	924,376,711
固定資産税・都市計画税	74,682	5,206,251,600
軽　自　動　車　税	14,663	111,411,200
国　民　健　康　保　険　税	35,763	1,025,552,700
介　護　保　険　料	3,153	38,761,585
後期高齢者医療保険料	9,022	311,079,900
計	149,340	7,617,433,696

2　コンビニ等納付状況

税　　目	件　　数（件）	金　　額（円）
市・県民税・森林環境税	19,531	619,859,667
固定資産税・都市計画税	42,895	1,370,794,650
軽　自　動　車　税	28,661	247,696,950
国　民　健　康　保　険　税	29,055	631,698,647
介　護　保　険　料	9,338	133,587,979
後期高齢者医療保険料	7,842	131,508,889
計	137,322	3,135,146,782

3　地方税共通納税システム利用納付状況

税　　目	件　　数（件）	金　　額（円）
市・県民税・森林環境税	12,717	927,407,062
固定資産税・都市計画税	33,201	4,659,950,200
軽　自　動　車　税	16,173	134,649,214
国　民　健　康　保　険　税	21,337	626,966,041
計	83,428	6,348,972,517

徴税係　滞納処分係

1　市税等徴収状況

市税等徴収状況については【別表】市税等徴収状況のとおり。

2　不納欠損

税　　目	人　数（人）	金　　額（円）
市　　税	1,260	62,694,586
国　民　健　康　保　険　税	818	107,555,434
介　護　保　険　料	157	7,248,101
後期高齢者医療保険料	48	1,581,468
計	2,283	179,079,589

3　執行停止

税　　目	人　数（人）	金　　額（円）
市　　税	661	60,886,679
国　民　健　康　保　険　税	289	41,038,610
介　護　保　険　料	116	7,322,453
後期高齢者医療保険料	51	1,315,838
計	1,117	110,563,580

4　差押及び参加差押　　（単位：件）

差押物件	差押件数	参加差押件数
不　動　産	9	8
自　動　車	4	0
債権その他	1,050	1
計	1,063	9

5　公売

・公売換価件数　7件（動産 0件、自動車 2件、土地建物 5件）

6　交付要求

・交付要求件数　181件

7　督促状発送状況　（単位：件）

税目	件数
市税	39,746
国民健康保険税	22,812
介護保険料	4,720
後期高齢者医療保険料	3,670
計	70,948

8　催告書発送及び納付状況

月日	発送人数（人）	納付件数（件）	納付額（円）
10月17日（金）	3,299	1,654	49,592,907
12月5日（金）	1,576	711	31,899,461
3月6日（金）	1,470	690	28,004,740
計	6,345	3,055	109,497,108

9　国民健康保険税徴収指導員による指導・助言や研修の実施

職員のスキルアップや人材の育成を図ることにより円滑な滞納処分を実施するため、徴収指導員による指導及び助言を受けた。

・徴収指導員　　県派遣　佐藤知章氏

・実施日　　6月27日（金）、7月15日（火）、8月6日（水）、10月31日（金）、11月28日（金）、12月24日（水）、1月30日（金）、2月12日（木）

・内容　　個別案件の相談、捜索

10　市税等収納員による徴収事業

市税等の収入率向上のため、市税等収納員3人による臨戸徴収訪問を実施した。

訪問世帯数(件)	徴収金額(円)	納付指導(件)
4,067	26,139,849	784

11　債権管理職員研修の実施

債権管理に関する正確な法的知識を習得し、実務における職員のスキルアップを図るため、債権管理に携わる他課の職員も交えて研修を実施した。

・講師　弁護士　鎌田博徳氏、弁護士　須田徹氏

・実施状況

実施日	会　場	内　　容	参加人数（人）
9月29日（月）	本庁舎 402会議室	1 債権の意義と区分 2 任意の履行を求める措置 3 時効 4 強制的に履行を求める措置 5 徴収困難者に対する措置 6 不納欠損処理	16

12　弁護士法律（メール）相談の実施

債権に関する法律上の問題や実務上の問題の解決を図るため、自治体の債権管理に精通した弁護士に委託して、メールによる法律相談を実施した。

・相談件数　6件

13　栃木市債権回収対策本部会議の開催

市が保有する債権の適切な管理と、市税をはじめとする自主財源を確保するため、副市長を本部長とし、各部長を本部員とする「栃木市債権回収対策本部会議」を開催し、未収債権の回収計画の策定や債権管理の総合調整を行った。

実施日	内　　容	会　場
7月16日（水）	(1) 債権について (2) 令和7年度債権管理事業計画について (3) 債権管理プランの策定について	本庁舎 庁議室
3月17日（火）	(1) 令和7年度分債権放棄案件の審議について (2) 令和7年度分不納欠損報告について (3) 令和8年度債権管理事業計画について (4) 令和8年度債権管理プランについて	本庁舎 庁議室

【別表】市税等徴収状況

税目				A 予算額(円)	B 調定額(円)	C 収入済額(円)	D 収入未済額(円)	E 不納欠損(円)	C/B=F 収入率 %
普通税	市民税	個人	普通徴収	1,795,737,000	1,977,918,377	1,893,035,719	83,034,219	1,848,439	95.7
			特別徴収	6,168,649,000	6,554,503,889	6,544,666,837	9,829,640	7,412	99.8
			過年度随時	27,953,000	79,789,556	69,808,600	9,980,956	0	87.5
			小 計	7,992,339,000	8,612,211,822	8,507,511,156	102,844,815	1,855,851	98.8
			滞納繰越分	66,780,000	265,925,030	67,013,612	168,437,822	30,473,596	25.2
			計	8,059,119,000	8,878,136,852	8,574,524,768	271,282,637	32,329,447	96.6
		法人	現年課税分	1,454,643,000	1,382,329,824	1,377,025,124	5,304,700	0	99.6
			滞納繰越分	3,093,000	18,703,190	6,352,195	10,528,279	1,822,716	34.0
			計	1,457,736,000	1,401,033,014	1,383,377,319	15,832,979	1,822,716	98.7
		合 計		9,516,855,000	10,279,169,866	9,957,902,087	287,115,616	34,152,163	96.9
	固定資産税	現年課税分		10,280,647,000	10,712,048,200	10,625,570,244	81,250,537	5,227,419	99.2
		過年度随時					0		―
		小 計		10,280,647,000	10,712,048,200	10,625,570,244	81,250,537	5,227,419	99.2
		滞納繰越分		79,725,000	271,447,644	62,849,193	184,472,274	24,126,177	23.2
		計		10,360,372,000	10,983,495,844	10,688,419,437	265,722,811	29,353,596	97.3
		交付金		206,919,000	207,796,300	207,796,300	0	0	100.0
		計		206,919,000	207,796,300	207,796,300	0	0	100.0
		合 計		10,567,291,000	11,191,292,144	10,896,215,737	265,722,811	29,353,596	97.4
	軽自動車税	現年課税分		508,480,000	527,745,700	520,192,770	7,182,730	370,200	98.6
		過年度随時					0		―
		小計		508,480,000	527,745,700	520,192,770	7,182,730	370,200	98.6
		滞納繰越分		5,628,000	22,837,192	4,199,763	15,014,740	3,622,689	18.4
		環境性能割		26,400,000	33,598,600	33,598,600	0	0	100.0
		合 計		540,508,000	584,181,492	557,991,133	22,197,470	3,992,889	95.5
	たばこ税	現年課税分		1,148,446,000	1,173,740,508	1,173,740,508	0	0	100.0
		滞納繰越分		0	0	0	0		―
		合 計		1,148,446,000	1,173,740,508	1,173,740,508	0	0	100.0
	鉱産税	現年課税分		4,000,000	4,414,100	4,414,100	0	0	100.0
		滞納繰越分		1,000	0	0	0	0	―
		合 計		4,001,000	4,414,100	4,414,100	0	0	100.0
	保有税	現年課税分					0		―
		滞納繰越分		1,000	12,534,962	120,000	12,414,962	0	1.0
		合 計		1,000	12,534,962	120,000	12,414,962	0	1.0
	計	現年課税分		21,621,874,000	22,653,885,054	22,449,848,802	196,582,782	7,453,470	99.1
		滞納繰越分		155,228,000	591,448,018	140,534,763	390,868,077	60,045,178	23.8
		合 計		21,777,102,000	23,245,333,072	22,590,383,565	587,450,859	67,498,648	97.2
目的税	入湯税			19,000,000	18,615,850	18,615,850	0	0	100.0
	都市計画税	現年課税分		775,386,000	802,980,196	796,101,517	6,505,679	373,000	99.1
		過年度随時					0		―
		計		775,386,000	802,980,196	796,101,517	6,505,679	373,000	99.1
		滞納繰越分		6,255,000	20,305,111	5,415,152	12,240,551	2,649,408	26.7
		合 計		781,641,000	823,285,307	801,516,669	18,746,230	3,022,408	97.4
	計	現年課税分		794,386,000	821,596,046	814,717,367	6,505,679	373,000	99.2
		滞納繰越分		6,255,000	20,305,111	5,415,152	12,240,551	2,649,408	26.7
		計		800,641,000	841,901,157	820,132,519	18,746,230	3,022,408	97.4
総計		現年課税分		22,416,260,000	23,475,481,100	23,264,566,169	203,088,461	7,826,470	99.1
		滞納繰越分		161,483,000	611,753,129	145,949,915	403,108,628	62,694,586	23.9
		合 計		22,577,743,000	24,087,234,229	23,410,516,084	606,197,089	70,521,056	97.2

【別表】市税等徴収状況

税		目	A 予算額(円)	B 調定額(円)	C 収入済額(円)	D 収入未済額(円)	E 不納欠損(円)	C/B=F 収入率 %
目的税	国民健康保険料	一般	現年分(医)特徴	1,582,359,000	269,131,000	269,344,121	−213,121		100.1
			現年分(医)普徴		1,489,083,200	1,387,186,245	101,729,255	167,700	93.2
			過年度(医)		27,086,800	19,805,799	7,281,001		73.1
			計	1,582,359,000	1,785,301,000	1,676,336,165	108,797,135	167,700	93.9
			現年分(後支)特徴	668,866,000	123,000,100	123,041,079	−40,979		100.0
			現年分(後支)普徴		661,021,300	612,838,035	48,106,465	76,800	92.7
			過年度(後支)		11,203,800	8,227,388	2,976,412		73.4
			計	668,866,000	795,225,200	744,106,502	51,041,898	76,800	93.6
			現年分(介)特徴	226,390,000	3,400	3,400	0		100.0
			現年分(介)普徴		254,411,500	232,735,122	21,621,678	54,700	91.5
			過年度(介)		4,185,600	2,474,728	1,710,872		59.1
			計	226,390,000	258,600,500	235,213,250	23,332,550	54,700	91.0
			小 計	2,477,615,000	2,839,126,700	2,655,655,917	183,171,583	299,200	93.5
			滞納繰越(医)	95,237,000	484,528,686	122,636,417	290,001,536	71,890,733	25.3
			滞納繰越(後支)	35,434,000	181,871,381	47,765,786	111,160,715	22,944,880	26.3
			滞納繰越(介)	18,266,000	85,569,052	21,342,322	52,966,483	11,260,247	24.9
			小 計	148,937,000	751,969,119	191,744,525	454,128,734	106,095,860	25.5
			合 計	2,626,552,000	3,591,095,819	2,847,400,442	637,300,317	106,395,060	79.3
		退職	現年分(医)特徴	1,000	0	0	0		−
			現年分(医)普徴		0	0	0		−
			過年度(医)		0	0	0		−
			計	1,000	0	0	0	0	−
			現年分(後支)特徴	1,000	0	0	0		−
			現年分(後支)普徴		0	0	0		−
			過年度(後支)		0	0	0		−
			計	1,000	0	0	0	0	−
			現年分(介)特徴	1,000	0	0	0		−
			現年分(介)普徴		0	0	0		−
			過年度(介)		0	0	0		−
			計	1,000	0	0	0	0	−
			小 計	3,000	0	0	0	0	−
			滞納繰越(医)	123,000	1,375,522	428,466	16,739	930,317	31.1
			滞納繰越(後支)	31,000	402,712	117,439	6,749	278,524	29.2
			滞納繰越(介)	29,000	348,009	90,552	6,724	250,733	26.0
			小 計	183,000	2,126,243	636,457	30,212	1,459,574	29.9
			合 計	186,000	2,126,243	636,457	30,212	1,459,574	29.9
		総計	現年分(医)特徴	1,582,360,000	269,131,000	269,344,121	−213,121	0	100.1
			現年分(医)普徴		1,489,083,200	1,387,186,245	101,729,255	167,700	93.2
			計	1,582,360,000	1,758,214,200	1,656,530,366	101,516,134	167,700	94.2
			現年分(後支)特徴	668,867,000	123,000,100	123,041,079	−40,979	0	100.0
			現年分(後支)普徴		661,021,300	612,838,035	48,106,465	76,800	92.7
			計	668,867,000	784,021,400	735,879,114	48,065,486	76,800	93.9
			現年分(介)特徴	226,391,000	3,400	3,400	0	0	100.0
			現年分(介)普徴		254,411,500	232,735,122	21,621,678	54,700	91.5
			計	226,391,000	254,414,900	232,738,522	21,621,678	54,700	91.5
			過年度(医)	0	27,086,800	19,805,799	7,281,001	0	73.1
			過年度(後支)	0	11,203,800	8,227,388	2,976,412	0	73.4
			過年度(介)	0	4,185,600	2,474,728	1,710,872	0	59.1
			小 計	2,477,618,000	2,839,126,700	2,655,655,917	183,171,583	299,200	93.5
			滞納繰越(医)	95,360,000	485,904,208	123,064,883	290,018,275	72,821,050	25.3
			滞納繰越(後支)	35,465,000	182,274,093	47,883,225	111,167,464	23,223,404	26.3
			滞納繰越(介)	18,295,000	85,917,061	21,432,874	52,973,207	11,510,980	24.9
			小 計	149,120,000	754,095,362	192,380,982	454,158,946	107,555,434	25.5
			合 計	2,626,738,000	3,593,222,062	2,848,036,899	637,330,529	107,854,634	79.3
後期高齢者医療保険料			現年(特徴)	1,276,680,000	1,274,961,700	1,279,089,200	−4,127,500	0	100.3
			現年(普徴)	793,930,000	722,829,000	715,956,681	6,872,319	0	99.0
			過年度		7,521,800	7,264,900	256,900		96.6
			小 計	2,070,610,000	2,005,312,500	2,002,310,781	3,001,719	0	99.9
			滞納繰越	5,233,000	11,385,162	5,669,899	4,133,795	1,581,468	49.8
			合 計	2,075,843,000	2,016,697,662	2,007,980,680	7,135,514	1,581,468	99.6
介護保険料			現年(特徴)	3,290,414,000	3,303,842,433	3,309,971,240	−6,128,807	0	100.2
			現年(普徴)	230,329,000	294,578,348	279,859,104	14,719,244		95.0
			過年度		4,371,518	3,980,827	390,691		91.1
			小 計	3,520,743,000	3,602,792,299	3,593,811,171	8,981,128	0	99.8
			滞納繰越	9,162,000	32,590,904	8,960,663	16,382,140	7,248,101	27.5
			合 計	3,529,905,000	3,635,383,203	3,602,771,834	25,363,268	7,248,101	99.1

第３章　地域振興部

第１節　地域政策課

〔総括概要〕

地域政策課の主な分掌事務は、地域自治の推進、地域会議の運営、地域会議連絡調整会議の開催、まちづくり実働組織の認定支援、定住促進、自治会との連絡調整、市民活動の推進、ＮＰＯ法人の認証、市民活動推進事業費補助金の交付、くららフェスタの開催支援、公民館・市民交流センター及びコミュニティセンターの管理運営、社会教育関係団体の活動支援、とちぎ未来アシストネットの推進などである。

地域自治の推進については、多様な地域の課題を効率的に解決するため、地域の住民が一定の枠内で予算の使い道を考える仕組みである「地域予算提案制度」により、今年度は当課所管の栃木地域の3つの地域会議から、12事業を市長へ提案した。

定住促進関係については、人口流入数を増加させるとともに、流出数を抑制するため「とちぎで暮らそＩＪＵ支援補助金」や「東京都通勤者支援補助金」等の補助金を交付した。

さらに、栃木市での暮らしを体感できる移住体験施設を適正に管理するとともに、栃木市移住定住支援コーディネーターによる移住相談や、ふるさと回帰支援センター（東京都有楽町）での移住出張相談会等を行った。

また、庁内連携による移住定住施策を推進するため、令和8年度から3年間の「栃木市移住定住施策中期経営戦略」を策定した。

自治会については、栃木市自治会連合会の事務局として、自治会運営の円滑化を図った。

市民活動の推進については、市民活動推進の拠点であるとちぎ市民活動推進センター「くらら」において、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を行うとともに、庁内における市民との協働を推進するため、全課に市民協働推進員を設置し、研修会等を開催した。また、きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）において、市民活動団体・生涯学習活動団体等が一斉に集まり、「こども」と「アート」をテーマに、第２回目となる「くららフェスタ 2026」を開催した。

市民団体の主体的、公益的な市民活動の支援については、市民協働まちづくりファンド（基金）を設け、ＮＰＯ団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化を促進するため、市民活動推進補助金“とちぎ夢ファーレ”事業を実施した。

公民館事業については、地域における生涯学習の拠点施設として、住民のニーズを捉え、地域の実情に応じた各種講座等を開設することによる学習の場の提供や教育、文化、スポーツ等の活動を行い、生涯学習の振興を図った。

また、趣味や教養に関する講座を通して、市民一人ひとりの自己実現を図るとともに、講座をきっかけとした学習の継続（サークル活動等）を促し、学習成果の地域への還元を図るため、各公民館が連携し、市民全体を対象とする「栃木市公民館

教養講座」を開設した。

社会教育関係団体支援事業については、各地域において活動している子ども会育成会や地区女性会等の団体と連携を図りながら、団体等の育成・支援、青少年教育の充実、コミュニティ活動の推進等に努めた。

とちぎ未来アシストネット事業の推進については、地域住民と小中学校の交流を深め、地域全体の活性化を図るため、各学校と地域教育協議会を開催し、地域の教育力向上に努めた。

支所・出張所業務については、大宮、皆川、吹上、寺尾及び国府の５つの公民館において、支所・出張所としての事務を行い、行政サービスの向上を図った。

地域政策係

1　地域会議連絡調整会議

(1)　地域会議連絡調整会議

各地域会議の会長を構成員とする地域会議連絡調整会議により、地域会議の活動等に関する調整及び連絡を行った。

・構成員

会　長	飯塚　和男	（藤岡地域会議会長）
副会長	峰岸　晃一	（栃木西部地域会議会長）
構成員	下枝　順子	（栃木中央地域会議会長）
	柏崎　桂二	（栃木東部地域会議会長）
	藤倉　竜広	（大平地域会議会長）
	辻原　正信	（都賀地域会議会長）
	青木　利男	（西方地域会議会長）
	髙久　厚子	（岩舟地域会議会長）

(2)　栃木市地域自治交流会

地域会議と認定まちづくり実働組織相互の情報交換と地域間の交流を促進し、地域づくり活動の活性化を図るため、地域会議連絡調整会議の主催による地域自治交流会を計画していたが、都合により中止となった。

2　まちづくり実働組織

まちづくり実働組織は、地域内の各種団体や住民等が構成員となり、地域会議と連携しながら、地域の課題解決や地域活性化のための実践活動に取り組む組織である。

また、一定の要件を満たすことで、市長の認定を受け、市の助成を受けることが可能となる。

・認定まちづくり実働組織数　13団体

3　移住定住施策

移住定住人口増加促進のため、様々な補助金の交付、移住体験施設の管理運営、移住

定住支援コーディネーターによる移住相談やオンラインイベント等を行った。

(1)　とちぎで暮らそＩＪＵ支援補助制度

年度	件数（件）	金額（円）
令和5年度	34	12,050,000
令和6年度	110	36,750,000
令和7年度	121	42,450,000
計	265	91,250,000

(2)　結婚新生活支援補助制度

年度	件数（件）	金額（円）
令和5年度	63	14,370,000
令和6年度	51	8,837,000
令和7年度	38	8,324,000
計	152	31,531,000

(3)　東京都通勤者支援補助制度

年度	件数（件）	金額（円）
令和5年度	55	3,993,430
令和6年度	55	4,500,710
令和7年度	48	3,918,275
計	158	12,412,415

(4)　通学者定期券購入費補助制度

年度	件数（件）	金額（円）
令和5年度	197	3,918,210
令和6年度	208	4,118,700
令和7年度	220	4,355,180
計	625	12,392,090

(5)　地方就職支援補助制度

年度	件数（件）	金額（円）
令和6年度	0	0
令和7年度	0	0
計	0	0

(6)　移住体験施設

ア　万町移住体験施設「ＩＪＵテラス蔵人館」

年度	利用件数（組）	利用者数（人）
令和5年度	15	33
令和6年度	24	55
令和7年度	17	39
計	56	127

イ　入舟町移住体験施設「蔵の街やどかりの家」

年度	利用件数（組）	利用者数（人）
令和5年度	12	32
令和6年度	16	63
令和7年度	13	50
計	41	145

(7)　栃木市移住定住支援コーディネーター

移住相談窓口、情報発信、定住相談体制をより強化するため、移住定住支援コーディネーターを配置し、移住定住の促進を行った。

ア　移住定住相談

令和7年度相談件数　130件

内訳　オンライン37件　電話1件　市役所6件　移住体験施設31件
イベント等55件

イ　イベントの開催

実施日	イベント名	会　　場
9月27日	移住交流会～発酵でゆるくつながる～	share kitchen & space CHIDORI
1月25日	3市（日光市・鹿沼市・栃木市）合同イベント ジブンスタイルでゆるやかにつながる 地方移住のリアルMeet up in有楽町 ～話し合える仲間をみつけよう～	ふるさと回帰支援センター
2月12日	栃木市移住オンラインセミナー	オンライン会場
2月25日	栃木市×佐野市　となりまち移住相談イベント 地方暮らし、ちょっとのぞいてみようin有楽町	ふるさと回帰支援センター
3月15日	栃木市をもっと楽しむ！「いまさら」ツアー	栃木市内

4　あるが嬉しい花やか事業

「自然と伝統を大切にし、美しい環境をつくります」という市民憲章の精神を実践するため、美しい花のあるまちづくりと花を育て地域コミュニティづくりを行う団体を募集し、花のある魅力ある場の提供と地域活性化を促進した。

また、開花時期に合わせ、市ホームページやＳＮＳに開花情報を掲載し、本市の魅力及びあるが嬉しい花やか事業の情報発信を行った。

・参加団体　9団体

5　あるが嬉しい街かどピアノ設置事業

栃木駅の南北連絡通路に、令和4年3月に閉校した栃木市立藤岡第二中学校で使用していたグランドピアノを設置し、あらゆる世代の市民や市内を訪れる方に、いつでも気軽にピアノを弾いてもらえる交流の場として、「栃木駅街かどピアノ」を設置した。

10月に、ピアノに親しむ機会や交流の場の確保、駅前の賑わいを創出するため、蔵なびと連携し「栃木駅街かどピアノマラソン2025～演奏も鑑賞も楽しもう～」を開催した。

「全日本ピアノ指導者協会」に所属する演奏者と公募の演奏者によるピアノマラソンを行った。

開 催 日　10月18日

演奏者数　14人（全日本ピアノ指導者協会からの演奏者5人　公募の演奏者9人）

6　集落支援員事業

過疎地域等の集落の維持・活性化のため、地域の実情に詳しく集落対策の推進に関して知見を有する人材が、集落の巡回・状況把握、住民同士の話し合いの促進、これらを通じ必要とされた具体的な取組やその取組の主体となる地域運営組織のサポートなどを行う。

(1)　地区内の空き家の情報収集や利活用促進に向けた活動

寺尾地区内の巡回や住民へのヒアリングを通して、空き家の状況把握を実施。併せて、空き家の利活用促進を目的とした空き家個別相談会を寺尾公民館で開催した。

(2)　関係人口創出に向けた取組

地域づくりインターンの会から4名の学生を受け入れ、8月4日から19日までの期間、寺尾地区を中心に実施した地域づくり活動を支援した。

(3)　コミュニティの維持・活性化

寺尾地区内の各種行事や寺尾まちづくり協議会のサポートと併せて同地区のPRを目的に以下のイベントを企画・開催した。

実施日	内　　容	会　　場
6月 1日	テラオ「ピクニック」マルシェVol.4	寺尾ふれあい水辺の広場
12月13日	テラオ「キッカケ」マルシェ　Vol.5	とちぎ山車会館前広場

地域づくり推進係

1　自治会関係

栃木市自治会連合会の事務局を担っており、市全域の自治会相互の連絡調整を図るとともに、地域間の情報交換を行った。また、自治会組織の強化を図るため、地域住民の福祉の向上に寄与する各種活動への助成手続きや市政への協力を得るための連絡調整を行った。

(1)　自治会活動の推進

ア　単位自治会の把握

次年度自治会長名簿の取りまとめ

・期　間　令和７年２月～４月

・対　象　171自治会（栃木地域）

イ　自治会報償金の支出

・各単位自治会の世帯数調査（基準日４月１日）

・報償金の支出

２月12日　支払い　468件

(2)　栃木市自治会連合会

ア　組織構成

・組　織　　市内全地域の 17 地区、468 単位自治会が加入

・役　員　　会長 1 人、副会長 3 人、会計 1 人、監事 2 人、理事 10 人

イ　会議等

(ｱ)　通常総会

・実施日　5 月 23 日

・会　場　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）小ホール

・出席自治会　203 自治会（市内全自治会数　468）

・内　容　栃木市自治会連合会通常総会　議事

・表　彰

特別功労者表彰 5 人

功労者表彰 8 人

会長特別表彰 40 人

(ｲ)　役員会

回数	開催日	内容
第 1 回	5 月 9 日	・令和 7 年度通常総会について ・役員の選出について ・令和 7 年度通常総会資料の確認について ・各種委員会委員等の推薦状況について
第 2 回	6 月 19 日	・自治会連合会だよりについて ・会費の納入について ・地区連合会運営推進費について ・自治会長研修大会について ・自治会で募金等を集める際の注意点について
第 3 回	9 月　4 日	・市自治会連合会会長代理の選任について ・市自治会長研修大会アンケートの中間報告について ・県自治会連合会県南ブロック会議について
第 4 回	12 月　4 日	・ＤＸ化の支援について ・市自治会連合会会長特別表彰候補者の推薦依頼について ・県自治会連合会研修大会について ・市自治会連合会副会長の増員について
第 5 回	3 月　6 日	・令和 8 年度通常総会の開催について ・令和 8 年度通常総会資料（案）について ・市自治会連合会表彰候補者の選考について ・自治会運営ＤＸ化の今後の進め方について

(ｳ)　まちづくり懇談会ふれあいトーク（栃木地域）

開催日	会場
7月15日	国府公民館（大宮・国府地区）
7月18日	寺尾公民館（吹上・寺尾地区）
7月24日	皆川公民館（皆川地区）
7月30日	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター） （栃木第1・5地区）
8月1日	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター） （栃木第2・3・4地区）
8月6日	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター） （栃木第6・7地区）

(ｴ) 自治会長研修大会

・実施日　7月26日

・会　場　都賀公民館

・内　容　基調講演　自治会デジタル化に向けて

・演題　デジタルツール(自治会アプリ)で何ができるの？

単位自治会による事例紹介

デジタルツール開発業者3社によるアプリ機能の説明

・講師　大平町下皆川第1自治会

小田急電鉄株式会社

株式会社ワンベルウッズ

CiPPo株式会社

・参加者　自治会長等　107人

(ｵ) 栃木県自治会連合会事業への参加

a　常任理事会・定期総会

・実施日　6月27日

・会　場　茂木町　茂木町民センターゆずもホール

・内　容　令和6年度事業報告及び収支決算報告について

令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

役員改選（案）について

・参加者　会長　1名

b　県南ブロック会議

・実施日　10月3日

・会　場　佐野市　日本料理　吾妻　2階宴の間

・内　容

議　事　令和7年度栃木県自治会連合会の主な日程について

栃木県自治会連合会　総会・会長研修大会の開催地について

研修会　意見交換会

・参加者　役員　3人

c　会長研修大会

・実施日　1月30日
・会　場　足利市　あしかがフラワーパークプラザ文化ホール
・内　容　表彰式　栃木県自治会活動功労者知事表彰
栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰
研修会　演題　災害から地域住民を守る自治会活動
講師　小野関芳美　氏(榛東村社会福祉協議会事務局長)
・参加者　役員　9人、受賞者　1人

(ｶ)　新春賀詞交歓会
・実 施 日　1月6日
・会　　場　サンプラザ
・主催団体　当連合会、市、市議会、商工会議所、下野農業協同組合、
ほか6団体

2　社会教育関係団体等関係

地域のコミュニティ活動の活性化を図り、真の連帯感と相互扶助に根ざしたよりよい地域づくりの推進と育成を図った。

・対象団体　栃木第三地区コミュニティ推進協議会、栃木第四地区コミュニティ推進協議会、栃木第五地区コミュニティ推進協議会、栃木第六地区コミュニティ推進協議会

3　市民活動の推進

市民による公益的な社会貢献活動を支援するため、次の事業を行った。

(1)　市民活動推進センター

とちぎ市民活動推進センター「くらら」の管理運営業務を、特定非営利活動法人ハイジに委託し、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を実施した。

ア　登録数
・団体　250団体

イ　運営委員会の開催

開催日	場所	出席者（人）
3月23日	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	8

ウ　利用状況

来館者(人)	会議室使用		作業室使用		相談件数(件)	掲示物受付(件)
	団体数	人数	団体数	人数		
13,753	431	3,378	494	3,545	98	612

エ　ＳＮＳ発信回数　165件

オ　情報紙発行　毎月　1,150部発行

カ　広報とちぎ（7月号）へ情報紙折込み　全戸配布

(2)　特定非営利活動法人の認証等

栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき、平成 19 年度から権限移譲を受け、特定非営利活動促進法及び県の特定非営利活動促進法施行条例に基づく特定非営利活動法人の設立、解散及び合併の認証等の事務を行っている。

・取扱件数　（単位：件）

設立	解散	合併	定款変更	役員変更受付	事業報告書等受付
1	0	0	2	2	37

(3)　市民協働推進員の設置及び研修会等の開催

庁内における市民との協働を推進するため、各課に市民協働推進員を設置するとともに、行政と市民との協働に関する意識の更なる向上を目指し、研修会等を開催した。

対象者	実施日	内容	出席者
市民・職員	8 月 4 日	『誰も孤立しない地域をめざした居場所づくりとつながりづくり～「目の前の人を笑顔にする」活動と協働の実践から～』	61 人
市民・職員	3 月 16 日	『伝統行事「お別火」による協働の地域づくり』	40 人

(4)　市民活動支援事業

ＮＰＯ団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化を更に促進するため、市民協働まちづくりファンド（基金）を設け、主体的・公益的な活動を行う市民団体に市民活動推進事業費補助金“とちぎ夢ファーレ”事業により活動経費の一部を助成した。また、本活動実績を広く市民に報告するため前年度補助を受けた団体を対象に実績報告会を実施した。

・助成団体数　12 団体
・助 成 総 額　1,653,000 円
・寄 附 件 数　1 件（このほかにふるさと応援寄附あり）
・ファンド（基金）への積立額　2,757,500 円
・実績報告会　令和 7 年 6 月 28 日（土）開催　7 団体出席

(5)　くららフェスタ 2026

きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）の全館を利用し、市民活動団体・生涯学習団体等 50 団体が集まり、「こども」と「アート」をテーマに、日頃の活動を市民の方々に広く知ってもらうため、展示・体験・発表・販売を行った。

・開催日時　　3 月 8 日（日）10 時～15 時 30 分
・出展団体数　　50 団体　　142 人
・来場者数　　約 2,000 人

4　市民総合賠償補償保険制度の実施

市民総合賠償補償保険制度とは、市が所有、使用、管理する施設の瑕疵及び市の業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を総合的に補てんする賠償責任保険並びに市が主催する行事等に参加している住民の急激かつ偶然な外来の事故について、法律上の損害賠償責任の有無に関係なく、市が支払う補償金（見舞金）を補てんする補償保険により構成されている制度であり、全国市長会が加入市を被保険者

とする団体保険契約を損害保険会社と締結して実施した。

・支払状況

保険の種類	支払件数（件）	支払金額（円）
損害賠償請求	2	1,057,364
補償金	0	0

5　市民活動補償制度の実施

市民活動補償制度とは、市民により自主的に構成された市民団体やその指導者が行う地域住民活動、青少年育成活動、社会福祉・社会奉仕活動、社会教育活動等で、本来の職場を離れて基本的に無報酬で行う継続的、計画的及び臨時的な実践活動中の事故について、指導者が賠償責任を負う場合の損害を補てんする賠償責任保険及び指導者等や参加者の活動中に発生した急激かつ偶然な外来の事故について見舞金を支給する制度であり、市が保険会社と締結して実施した。

・支払状況

保険の種類	支払件数（件）	支払金額（円）
損害賠償請求	1	163,231
補償金	3	147,000

栃木公民館係

1　公民館の総合調整

(1)　栃木市公民館運営審議会

市内公民館における事業等について審議した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月30日	令和6年度 公民館利用状況について　他	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	32
9月30日	公民館点検評価について	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	30
3月17日	令和7年度 公民館事業実施状況について	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	31

(2)　公民館等使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	7,735	73,906	5,284,620
大宮公民館	1,156	17,528	308,405
皆川公民館	505	7,673	194,730
吹上公民館	1,022	20,673	341,450

寺尾公民館	482	10,518	81,350
国府公民館	1,384	17,875	594,290
大平公民館	1,291	21,247	257,815
大平西地区公民館	306	3,565	59,370
大平南地区公民館	320	3,354	54,915
大平東地区公民館	100	800	12,090
藤岡公民館	1,480	16,759	246,495
三鴨地区公民館	83	1,252	22,650
部屋地区公民館	175	1,854	57,590
赤麻地区公民館	204	2,129	48,520
都賀公民館	913	21,129	550,470
西方公民館	868	10,968	93,205
岩舟公民館	1,168	24,081	383,005
静和地区公民館	841	13,485	366,480
小野寺地区公民館	132	2,265	6,595
合計	20,165	271,061	8,964,045

2　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者学級（蔵の街シルバー楽習塾）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月10日	開講式・講話「栃木市における学童集団疎開」～戦後80年に想う～	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	127
8月 7日	市内中学生広島派遣報告・音楽コンサート「ニッポン・歌の花籠」	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	138
9月18日	映画上映・街頭紙芝居他	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	117
10月 2日	暮らしのセミナー 「人生100年時代、今を生きる」	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	115
10月28日	音楽コンサート「栃木県警察音楽隊」 ※栃木地区女性学級と共催	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	267 全体 297

イ　教養講座

(ｱ)　カルチャースクール（栃木公民館）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月5日 ～11月12日	子育て応援カフェ （全2回）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	延べ 41
9月17日 ～10月8日	講話　栃木の城 （全4回）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	延べ 43

10月20日 ～11月17日	楽々ストレッチ体操教室 （全4回）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	延べ72
10月22日 ～11月5日	花と香りを楽しむ教室 （全3回）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	延べ44

(ｲ) 栃木市公民館教養講座（公民館連携講座）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月 4日 10月11日	栃木シティーフットボールクラブ全力応援！講座パート2(2回)	CITY FOOTBALL STATION	延べ15
11月19日	栃木の子どもまんなかフォーラム	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	46
12月 6日	栃木北中学校開校記念講座	吹上公民館	40

(2) 女性教育関係

女性学級（栃木地区女性学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月27日	講話「戦後80年対馬丸事件を語る」	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	37
9月10日	季節の花の寄せ植え	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	36
9月24日	出前講座　楽しく学ぶ！認知症予防講座」～今から知る・今から始まる介護の備え～	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	39
10月 9日	秋の「小江戸川越」を訪ねる	埼玉県川越市	33
10月28日	音楽コンサート「栃木県警察音楽隊」 ※蔵の街シルバー楽習塾と共催	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	30 全体297
11月19日	美術館企画展 ～喜多川歌麿と栃木の狂歌～	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）・栃木市立美術館	33

(3) 二十歳の集い関係（栃木会場）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月 9日	第1回二十歳の集い実行委員会	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	32
10月 5日	第2回二十歳の集い実行委員会	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	28
1月11日	令和8年二十歳の集い	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	575

(4) 青少年教育関係

少年少女学級（こどもサークル）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月21日	友だちづくり	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	38
7月30日	ニュースポーツ「ボッチャ」に挑戦	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	41
8月 8日	「いいもの発見隊Ⅳ」 ～佐野市・館林市の三ツ星　☆☆☆をさがせ～	佐野市・館林方面	43
8月20日	「世界で一つだけの工作」 ～夏休みの作品はこれ！！～	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	45
8月23日	「駄菓子屋楽校」を開こう 「おおひら歴史民俗資料館見学」	おおひら歴史民族資料館	40

(5)　家庭教育学級

栃木市栃木家庭教育オピニオンリーダー会CARPA（カルパ）主催の親子での体験学習による交流とふれあいを目的とした講座を実施した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月25日	親子ふれあい事業 茶道体験	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	11
12月13日	親子ふれあい事業 ボッチャ体験	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	8

3　地域会議関係（栃木中央地域会議）

栃木中央地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和7年4月1日～令和9年3月31日）

区　分	No.	氏　　名	備　　考
1号	1	有馬　小枝子	栃木中央実働組織「うずま協力隊」
	2	大塚　未来	特定非営利活動法人ハイジ
	3	市川　彩乃	栃木市商工会議所女性経営者会
	4	堀越　元樹	栃木市商店会連合会
	5	平本　重子	栃木市文化団体連絡協議会
	6	下枝　順子	栃木中央アシストネット地域教育協議会
	7	水越　房代	栃木地区子ども会育成会連合会
	8	小林　孝司	第5地区自治会連合会
	9	大沢　佳子	第6区民生委員児童委員協議会
2号	10	岡田　真由美	学識経験を有する者
	11	松本　真由美	

	12	羽石　昌弘	
3号	13	宇佐美　沙弥香	公募に応じた者
	14	岩出　律子	
	15	浅野　暖斗	

※委員は令和8年3月31日時点

(2)　地域会議の開催内容

回数	開催日時・場所	内　　容
第1回	4月15日午後6時00分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・各種委員の推薦について ・地域予算提案事業計画書にかかる予算措置の結果について
第2回	5月20日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・地域予算提案事業について
第3回	6月17日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・栃木市観光・交流施設整備基本計画について ・栃木市自治公民館建築費等補助金交付要綱の一部改正について ・地域課題の抽出について
第4回	7月15日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・地域課題の抽出について ・地域課題の選定について
第5回	9月9日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・栃木市子ども・子育て会議委員の推薦について ・地域課題の選定及び検討について
第6回	10月14日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・地域課題の選定及び検討について
第7回	11月11日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・地域予算提案事業の検討について
第8回	1月27日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・文化財保存活用地域計画（素案）について ・蔵の街広場観光案内板の移設について ・地域予算提案事業の検討について

第9回	3月10日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・地域予算提案事業の検討について

(3)　地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
7月	第20号	A3判両面カラー刷り
3月	第21号	A4判両面カラー刷り

※14,100部発行

4　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　栃木市子ども会育成会連絡協議会、栃木地区子ども会育成会連絡協議会、栃木地区女性会、栃木市栃木家庭教育オピニオンリーダー会CARPA、栃木県女性教育推進連絡協議会栃木支部「路の会」

5　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・栃木中央地域教育協議会　2回

・アシストネットだより回覧　（2月）

6　蔵の街大通り“花”やか事業（栃木中央地域会議提案事業）

地域予算提案制度に基づく栃木中央地域会議からの提案により、「蔵の街とちぎ」の玄関口となる蔵の街大通り沿道の景観の向上や賑わいの創出等を目的に実施した。

・場所　主要地方道栃木藤岡線ほか（室町交差点から栃木駅前付近）

・内容　植栽の整備（アジサイ　計76本）

大宮公民館係

1　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

高齢者学級（大宮地区シルバー教室）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月24日	特殊詐欺関係講話	大宮公民館	60
7月23日	防火講話	大宮公民館	46
8月19日	コタコタ体操	大宮公民館	47

9月 2日	美術鑑賞入門	大宮公民館	36
11月20日	手軽にできるやさしい運動講座 【包括支援センター共催】	大宮公民館	13
12月 4日	大人の社会科見学	渡良瀬遊水地	25
1月22日	輪投げに挑戦	大宮公民館	38
2月24日	みんなで歌おう	大宮公民館	55

(2) 女性教育関係

ア 女性学級（さわやかレディース学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月25日	人権講話	大宮公民館	16
7月 8日	減塩をテーマにした講話と実習	大宮公民館	15
7月30日	タルトのブローチを作ろう	大宮公民館	14
9月10日	運動教室①【包括支援センター共催】	大宮公民館	18
10月 8日	運動教室②【包括支援センター共催】	大宮公民館	20
11月26日	くらしのセミナー【国府公民館共催】	大宮公民館	18
12月17日	音楽コンサート「ギター」	大宮公民館	16

イ 女性会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月28日	視察研修会	埼玉県深谷市内	20

(3) 青少年教育関係

ア 少年少女学級（のびのび体験広場）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月28日	ディンプルアート 【国府公民館共催】	大宮公民館	25
7月25日	化石教室 【国府公民館共催】	国府公民館	12
7月29日	社会科見学【国府公民館共催】	茨城県	12
8月 8日	大宮公民館サマーフェス	大宮公民館	110
8月27日	親子でピラティス体験 【国府公民館共催】	大宮公民館	4
10月25日	親子でインディアカ体験 【国府公民館共催】	栃木市勤労者体育センター	14
11月29日	ジュニアトレーニング講座	栃木市勤労者体育センター	20
12月20日	しめなわづくり教室	大宮公民館	34

イ 関係行事

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月 1日	子ども寺子屋	大宮公民館	45

1月31日	開運だるま絵付けと畳コースター作り	大宮公民館	38

(4)枠内に収まるように表の幅を狭くしました。　社会体育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
9月28日	大宮地区体育祭	大宮運動広場	300
3月 1日	大宮地区輪投げ大会	大宮公民館	108

(5)　その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月 3日	大宮地区まつり	大宮公民館	1,500
12月12日	大宮地区世代間交流イベント	大宮公民館	100

・公民館だよりを年2回発行し、大宮地区内を対象に班内回覧した。

2　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　大宮地区自治会連合会、大宮地区まちづくり協議会、交通安全協会大宮支部、交通安全協会大宮支部高齢者部会、交通安全協会大宮支部女性部、大宮地区子ども会育成会連絡協議会、大宮地区女性会、大宮地区体育部、地域クリーン推進員連合会大宮支部、大宮運動広場管理運営委員会

3　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月24日	第１回東陽地域教育協議会	国府公民館	26
1月23日	第２回東陽地域教育協議会	大宮公民館	20

・東陽地域アシストネットだよりを1回発行し、東陽地域内に全戸配布した。

4　大宮出張所業務

(1)　原動機付自転車等標識交付申請及び廃車申告等状況

区　　分			件　数（件）
標識交付申請	原動機付自転車	第1種	7
		第2種　（甲）	1
		第2種　（乙）	0
	小型特殊（農耕用）		0
廃車申告			6
名義・車台変更届			0
合　　計			14

(2)　出納事務取扱状況

区　　分	件　　数（件）	金　　額（円）
市　　税	1,394	32,969,982
そ の 他	481	6,425,319
合　　計	1,812	39,395,301

(3)　戸籍関係取扱状況

ア　戸籍届出受付

区　　分	件　数(件)	区　　分	件　数(件)	区　　分	件　数(件)
出 生 届	－	死 亡 届	－	転 籍 届	－
婚 姻 届	－	養子縁組届	－	そ の 他	－
		合　計			0

イ　戸籍謄抄本等交付件数　　473件　　264,050円

(4)　住民基本台帳関係事務取扱状況

ア　住民基本台帳届出受付

区　　分	件　数（件）	区　　分	件　数（件）
転 入 届	2	婚 姻 届	－
転 居 届	6	離 婚 届	－
転 出 届	14	転 籍 届	－
世帯主変更届	1	錯　　誤	－
世帯分離届	－	国保得喪届	8
世帯合併届	－	国年得喪届	3
出 生 届	－	そ の 他	3
死 亡 届	－	合　　計	37

イ　住民票写し等交付件数　　908件　　272,400円

ウ　印鑑証明関係

区　　分	件　数（件）	金　額（円）
印 鑑 登 録	47	14,100
印 鑑 証 明	673	201.900
印 鑑 廃 止 届	15	－
合　　計	735	216,000

エ　身分証明交付件数　　22件　　6,600円

オ　諸証明交付件数　　10件　　900円（内、労基証明7件）

(5)　税務諸証明交付件数　　381件　　98,700円（内、車検用納税証明57件）

皆川公民館係

1　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　成人学級（皆川学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月26日	運動講座～夜ねる前にからだを癒す体操～	皆川公民館	18
7月10日	見直そう生活習慣！ ～いつまでも健康でいるために～	皆川公民館	5
8月 4日	スライドで見る！栃木市の観光	皆川公民館	5
8月30日	浮世絵を摺る	皆川公民館	10
9月 2日	スマホ教室～活用編～	皆川公民館	11
9月25日	音楽講座～心も体もリフレッシュ！～	皆川公民館	12
10月 6日	刺繍枠のリース	皆川公民館	5
10月21日	ポーセラーツ	皆川公民館	10
11月10日	運動講座～足腰しっかり健康体操！～	皆川公民館	9
11月18日	おたのしみバスツアー	さいたま市方面	29
12月 2日	季節の寄せ植え	皆川公民館	19
12月13日	紅茶講座	皆川公民館	10

(2)　女性教育関係

女性会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月 3日 ～12月 4日	ストレッチ講座（全６回）	皆川公民館	延べ65
12月4日	公民館花いっぱい運動	皆川公民館	4
3月4日～6日	花いっぱい運動	皆川地区内	38

(3)　青少年教育関係

ア　少年少女学級（チャレンジキッズ）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月 6日	とちぎ子どもの未来創造大学「手作りカメラをつくろう」	皆川公民館	10
8月13日	日本画絵の具でうちわづくり	皆川公民館	13
8月20日	夏休みマジックショー	皆川公民館	8
11月29日	とちぎ子どもの未来創造大学「まが玉をつくろう」	皆川公民館	9
3月 7日	親子で体幹トレーニング	皆川公民館	14

イ　関係行事

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月23日	皆川地区育成会ボウリング大会	サンプラザボウル	58
10月18日	あんどん・缶バッジワークショップ	皆川公民館	50
3月20日	皆川地区育成会ボウリング大会	サンプラザボウル	70

(4)　社会体育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月18日	皆川中学校最後の体育祭協力	皆川中学校	29
6月15日	ソフトバレーボール交流会	皆川中学校	29
6月22日	ソフトボール大会	皆川中学校	2チーム
9月13日	健康講座・ヨガ教室①	皆川公民館	23
10月11日	ヨガ教室②	皆川公民館	26
11月22日	皆川ぶらり歴史探訪ハイキング	皆川地区内	17
12月 2日	皆川地区ゴルフ大会	栃木カントリークラブ	23
1月18日	ヨガ教室③（新春ヨガ教室）	皆川公民館	23

(5)　その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月10日	自治会長及び各種団体長研修会(生活習慣病)	皆川公民館	20
9月12日～9月14日	敬老記念品配布	皆川地区内	348
10月18日	皆川城址まつり	皆川公民館 皆川城址公園	2,500
12月 2日	自治会長及び各種団体長等視察研修会（那須まちづくり広場・もみじ谷大吊橋）	那須塩原市方面	24
1月 1日	初日の出を見よう	皆川公民館	250
2月14日	元気な森づくり事業	皆川公民館	24

2　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　皆川地区自治会連合会、皆川地区公民館連絡協議会、交通安全協会皆川支部、交通安全協会皆川支部高齢者部会、交通安全協会皆川支部女性部会、皆川地区子ども会育成会連絡協議会、皆川地区女性会、皆川地区スポーツ協会、地域クリーン推進員連合会皆川支部、皆川地区街づくり協議会、皆川地域安全パトロール隊

3　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・皆川地域教育協議会　2回

・アシストネットだより全戸配布（3月）

4　皆川出張所業務

(1)　原動機付自転車等標識交付申請及び廃車申告等状況

区分			件数（件）
標識交付申請	原動機付自転車	第1種	2
		第2種　（甲）	－
		第2種　（乙）	－
	小型特殊（農耕用）		3
廃車申告			2
名義・車台変更届			－
合計			7

(2)　出納事務取扱状況

区分	件数（件）	金額（円）
市税	825	18,116,447
その他	55	1,478,296
合計	880	19,594,743

(3)　戸籍関係取扱状況

ア　戸籍届出受付

区分	件数(件)	区分	件数(件)	区分	件数(件)
出生届	－	死亡届	－	転籍届	－
婚姻届	－	養子縁組届	－	その他	－
		合計			－

イ　戸籍謄抄本等交付件数　　157件　　86,750円

(4)　住民基本台帳関係事務取扱状況

ア　住民基本台帳届出受付

区分	件数（件）	区分	件数（件）
転入届	0	婚姻届	－
転居届	1	離婚届	－
転出届	0	転籍届	－
世帯主変更届	－	錯誤	－
世帯分離届	1	国保得喪届	3
世帯合併届	－	国年得喪届	－
出生届	－	その他	－
死亡届	－	合計	5

イ　住民票写し等交付件数　　269件　　80,700円

ウ　印鑑証明関係

区分	件数（件）	金額（円）

印　鑑　登　録	12	3,600
印　鑑　証　明	216	64,800
印 鑑 廃 止 届	－	－
合　　計	228	68,400

エ　身分証明交付件数　　7件　　2,100円

オ　諸証明交付件数　　1件　　300円

(5)　税務諸証明交付件数　　113件　　30,300円（内、車検用納税証明14件）

吹上公民館係

1　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　成人対象講座（いきいき学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月30日	おいしいコーヒーの淹れ方講座	吹上公民館	20
7月31日	運動講座【吹上地域包括支援センター共催】	吹上公民館	21
8月22日	茜染め体験	吹上公民館	16
9月26日	腸からちょう元気生活	吹上公民館	25
11月11日	バス研修	矢板市・大田原市	27
11月22日	さしも草うどん作り体験講座【少年少女学級と共催】	吹上公民館	16
12月 9日	運動講座【吹上地域包括支援センター共催】	吹上公民館	16
12月23日	調理実習	吹上公民館	15

イ　文化祭

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月 2日	吹上地区文化祭	吹上公民館	500

(2)　女性教育関係

女性会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月20日	吹上地区女性会バス研修	塩谷町方面	18
11月15日 ～11月16日	吹上地区女性会研修旅行	茨城県方面	14

(3)　青少年教育関係

ア　少年少女学級（わくわく教室いぶき）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月29日	土器(いぶき焼)体験講座	吹上公民館	15

8月 2日	世界のボードゲーム大集合	吹上公民館	11
8月24日	ネパール料理入門（カレー）	吹上公民館	17
8月31日	ギニアの太鼓体験	吹上公民館	8
11月22日	さしも草うどん作り体験講座【成人対象講座と共催】	吹上公民館	8
1月10日	世界のボードゲーム大集合	吹上公民館	12
1月24日	クマについて学ぼう・ナチュラルリース作り体験	吹上公民館	5
2月 1日	ネパール料理入門入門２（モモ）	吹上公民館	15

イ　関係行事

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月 5日	いぶき屋	吹上公民館	156

(4)　社会体育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
4月13日	吹上地区春季ソフトボール大会	総合運動公園	雨天中止
5月31日	第３回吹上地区ぶらぶら春さんぽ	吹上地内	雨天中止
6月22日	吹上地区春季自治会対抗野球大会	総合運動公園	中止※
10月 5日	第１回吹上地区スポーツレクリエーション大会	吹上公民館	延 200
10月19日	吹上地区秋季自治会対抗野球大会	総合運動公園	31
11月23日	吹上地区秋季自治会対抗 ソフトボール大会	総合運動公園	57
12月11日	第 20 回吹上地区自治会対抗 グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	52
3 月 28 日 ・29 日	第 13 回いぶきの里さくらまつり モルック・わなげ体験	宮町	1,000

※参加者が集まらなかったため。

・体協だよりを年2回発行し、吹上地区内を対象に全戸配布した。

2　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　吹上地区自治会連合会、吹上地区公民館連絡協議会、交通安全協会吹上支部、交通安全協会吹上支部高齢者部会、交通安全協会吹上支部女性部会、吹上地区子ども会育成会連絡協議会、吹上地区女性会、吹上地区体育協会、地域クリーン推進員連合会栃木地域第10支部、吹上地区まちづくり協議会、吹上地区安全・安心な街パトロール隊、栃木遺族会第八遺族会、吹上地区長寿会、吹上地区社会福祉協議会

3　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・吹上アシストネット地域教育協議会　2回

・アシストネットだより全戸配付　（3月）

4　吹上出張所業務

(1)　原動機付自転車等標識交付申請及び廃車申告等状況

区分			件数（件）
標識交付申請	原動機付自転車	第1種	6
		第2種　（甲）	1
		第2種　（乙）	0
	小型特殊（農耕用）		0
廃車申告			8
名義・車台変更届			1
合計			16

(2)　出納事務取扱状況

区分	件数（件）	金額（円）
市税	1,972	49,503,760
その他	369	4,576,290
合計	2,341	54,080,050

(3)　戸籍関係取扱状況

ア　戸籍届出受付

区分	件数(件)	区分	件数(件)	区分	件数(件)
出生届	－	死亡届	－	転籍届	－
婚姻届	－	養子縁組届	－	その他	－
		合計			0

イ　戸籍謄抄本等交付件数　　617件　　365,550円

(4)　住民基本台帳関係事務取扱状況

ア　住民基本台帳届出受付

区分	件数（件）	区分	件数（件）
転入届	22	婚姻届	－
転居届	12	離婚届	－
転出届	28	転籍届	－
世帯主変更届	－	錯誤	－
世帯分離届	1	国保得喪届	16
世帯合併届	－	国年得喪届	－

出　生　届	－	そ　の　他	－
死　亡　届	－	合　　計	79

イ　住民票写し等交付件数　　762件　　228,600円

ウ　印鑑証明関係

区　　分	件　数（件）	金　額（円）
印　鑑　登　録	42	12,600
印　鑑　証　明	650	195,000
印　鑑　廃　止　届	1	－
合　　計	693	207,600

エ　身分証明交付件数　　31件　　9,300円

オ　諸証明交付件数　　3件　　900円

(5)　税務諸証明交付件数　　294件　　70,400円（内、車検用納税証明63件）

5　地域会議関係（栃木西部地域会議）

栃木西部地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和７年４月１日～令和９年３月31日）

区 分	No.	氏　名	備　考
1号	1	早乙女　利春	皆川地区自治会連合会
	2	宇賀神　一成	吹上地区自治会連合会
	3	蓼沼　善雄	寺尾地区自治会連合会
	4	宇佐見　まり子(～11月) 坂本　キクエ（12月～）	栃木市第11区民生委員児童委員協議会
	5	小澤　敏子	吹上地区女性会
	6	寺内　浩一	栃木地区交通安全協会皆川支部
	7	飯塚　知実	栃木商工会議所
	8	大橋　利一郎	栃木市認定農業者協議会栃木支部
	9	赤羽根　則男	吹上地区体育協会
	10	篠﨑　正直	栃木市PTA連合会栃木西部ブロック
2号	11	中村　絹江	学識経験を有する者
	12	酒巻　幸夫	
	13	峰岸　晃一	
3号	14	鈴木　加織	公募に応じた者
	15	門沢　イミ子	

(2)　地域会議の開催内容

回数	開催日時・場所	内　　容

第1回	4月15日午後7時～ 吹上公民館大交流室	協議事項等 ・地域会議委員の手引き「栃木市の地域自治制度」について ・各種委員の推薦について
第2回	5月20日午後7時～ 寺尾公民館大交流室	協議事項等 ・令和8・9年度実施　地域予算提案事業案について
第3回	6月17日午後7時～ 皆川公民館大研修室	協議事項等 ・令和8・9年度実施　地域予算提案事業案について
第4回	7月15日午後7時～ 吹上公民館大交流室	協議事項等 ・皆川中学校及び寺尾中学校の利活用について ・令和8・9年度実施　地域予算提案事業案について ・令和7年度　栃木西部熟くり塾の事業内容について
第5回	9月16日午後7時～ 寺尾公民館大交流室	協議事項等 ・令和8・9年度実施　地域予算提案事業案について ・令和7年度　栃木西部熟くり塾の事業内容について
第6回	中止	協議事項・付議案件等がないため
第7回	11月18日午後6時30分～ 吹上公民館大交流室	協議事項等 ・令和8・9年度実施　地域予算提案事業案について
第8回	1月20日午後6時30分～ 寺尾公民館大交流室	協議事項等 ・栃木市文化財保存活用地域計画（素案）について ・令和7年度　栃木西部熟くり塾の事業内容について
第9回	3月17日午後7時～ 皆川公民館大研修室	協議事項等 ・令和7年度　栃木西部熟くり塾について ・令和8年度　栃木西部熟くり塾事業内容について

(3)　地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
7月	第20号	A4判両面カラー刷り

3月	第21号	A4判両面カラー刷り

※各号5,000部発行

(4)　地域予算提案事業の概要

事業名	事業費（千円）
まちづくり塾開催事業	300

寺尾公民館係

1　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

高齢者対象講座（いきがい学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月23日	人権講座	寺尾公民館	38
8月28日	映画鑑賞	寺尾公民館	48
9月17日	輪投げゲーム	寺尾公民館	37
10月30日	現地学習会	日立市方面	34
11月27日	肩こり予防健康体操	寺尾公民館	22
1月15日	日赤健康支援講習	寺尾公民館	27
1月29日	うたごえ喫茶	寺尾公民館	47

(2)　女性教育関係

成人対象講座（ふれあい学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月23日	人権講座	寺尾公民館	8
8月21日	フェイクスイーツ作り	寺尾公民館	14
9月26日	脳活教室①認知症の基礎知識　脳の健康チェック	寺尾公民館	5
10月10日	脳活教室②運動で頭と体を活性化	寺尾公民館	10
10月24日	脳活教室③認知症予防と食事	寺尾公民館	9
11月 5日	現地学習会	那須方面	15
11月 7日	脳活教室④認知症予防と口腔ケア	寺尾公民館	10
1月29日	うたごえ喫茶	寺尾公民館	8

(3)　青少年教育関係

ア　少年少女学級（仲良し寺尾サークル）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月25日	寺尾米作り体験教室（田植え）	寺尾公民館	14
7月29日	映画鑑賞	寺尾公民館	23
8月 5日	寺尾 de 寺子屋	寺尾公民館	41
9月28日	寺尾米作り体験教室（稲刈り）	寺尾公民館	※中止

10月 4日	フェイクスイーツ作り	寺尾公民館	※中止
12月20日	クリスマスケーキ作り	寺尾公民館	24
2月28日	子ども総合科学館　「サイエンスショー＆工作」	寺尾公民館	7

※参加者が集まらなかったため。

イ　関係行事

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月 5日	てらおこども縁日	寺尾公民館	41
7月22日 ～8月29日	夏休み、公民館で勉強しよう！	寺尾公民館	延べ 10

(4)　社会体育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月11日	第 76 回野球大会	総合運動公園	40
5月18日	第 74 回卓球大会	寺尾小体育館	60
6月 8日	第 10 回ソフトバレーボール大会	寺尾中体育館	80
6月22日	第 42 回ゲートボール大会	寺尾公民館	45
6月29日	第 11 回グラウンドゴルフ大会	水辺の広場	71
9月 5日	第 22 回輪投げ大会	寺尾公民館	70
10月 5日	第 53 回ソフトボール大会	総合運動公園	50
10月 5日	第 64 回ソフトテニス大会	総合運動公園	52
10月26日	第 76 回寺尾地区スポーツフェスティバル	寺尾中校庭	雨天中止

(5)　その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月14日	サマーフェスティバルイン寺尾	寺尾中校庭	約 1,200

・公民館だよりを年4回発行し、寺尾地区内を対象に全戸配布した。

2　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　寺尾地区自治会連合会、交通安全協会寺尾支部、交通安全協会高齢者部会寺尾支部、交通安全協会女性部寺尾支部、寺尾地区子ども会育成会連絡協議会、寺尾地区スポーツ協会、地域クリーン推進員連合会寺尾支部、寺尾まちづくり協議会、寺尾財産区議会、栃木市消防団第11分団、寺尾地区寿クラブ連絡協議会、寺尾地区社会福祉協議会、寺尾地区民生委員児童委員協議会、寺尾地区文化協会、寺尾地区ゲートボール協会、寺尾地区いきいきスポーツクラブ、寺尾学校給食農産物供給会

3　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・寺尾地域教育協議会　6月5日、1月22日

4　寺尾支所業務

(1)　原動機付自転車等標識交付申請及び廃車申告等状況

区分			件数（件）
標識交付申請	原動機付自転車	第1種	8
		第2種　（甲）	－
		第2種　（乙）	3
	小型特殊（農耕用）		2
廃車申告			17
名義・車台変更届			2
合計			32

(2)　出納事務取扱状況

区分	件数（件）	金額（円）
市税	835	21,927,787
その他	37	289,985
合計	872	22,217,772

(3)　戸籍関係取扱状況

ア　戸籍届出受付

区分	件数(件)	区分	件数(件)	区分	件数(件)
出生届	－	死亡届	－	転籍届	－
婚姻届	－	養子縁組届	－	その他	－
		合計		－	

イ　戸籍謄抄本等交付件数　　224件　　130,200円

(4)　住民基本台帳関係事務取扱状況

ア　住民基本台帳届出受付

区分	件数（件）	区分	件数（件）
転入届	2	婚姻届	－
転居届	1	離婚届	－
転出届	3	転籍届	－
世帯主変更届	－	錯誤	－
世帯分離届	－	国保得喪届	3
世帯合併届	－	国年得喪届	－
出生届	－	その他	1
死亡届	－	合計	10

イ　住民票写し等交付件数　　249件　　74,700円

ウ　印鑑証明関係

区　　分	件　数（件）	金　額（円）
印　鑑　登　録	12	3,600
印　鑑　証　明	246	73,800
印 鑑 廃 止 届	9	－
合　　計	267	77,400

エ　身分証明交付件数　　9件　　2,700円

オ　諸証明交付件数　　0件　　0円

(5)　税務諸証明交付件数　　96件　　24,000円（内、車検用納税証明16件）

国府公民館係

1　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者学級（いきいき学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月17日	地域包括ケア「終活について」	国府公民館	27
7月 9日	笑いヨガ	国府公民館	25
8月20日	折り紙講座など【少年少女学級合同】	国府公民館	14
10月22日	昔語り	国府公民館	14
11月19日	輪投げ大会	国府公民館	15
12月16日	しめ縄づくり【成人学級共催】	とちぎ花センター	中止※
1月19日	ギター鑑賞会	国府公民館	15

※参加者が集まらなかったため。

イ　成人学級（ゆうゆう学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月23日	手軽にできるやさしい運動講座～体も脳も活性化～	国府公民館	13
7月18日	いぶき焼き	国府公民館	4
8月26日	ハーバリウム作り	国府公民館	7
9月24日	オカリナコンサート	国府公民館	25
10月15日	転倒予防の運動講座～転ばないための身体づくり～	国府公民館	11
11月26日	消費生活講座【大宮地区女性学級共催】	大宮公民館	5
12月16日	しめ縄づくり【高齢者学級共催】	とちぎ花センター	中止※

1月15日	アフリカンダンス	国府公民館	4

※参加者が集まらなかったため。

(2) 青少年教育関係

ア 少年少女学級（わくわく学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月28日	ディンプルアート体験【大宮公民館共催】	大宮公民館	6
7月25日	化石教室【大宮公民館共催】	国府公民館	19
7月29日	社会科見学【大宮公民館共催】	茨城県つくば市	12
8月 2日	夏休み書道・書き方教室	国府公民館	6
8月20日	折り紙教室【高齢者学級共催】	国府公民館	8
8月27日	ピラティス体験【大宮公民館共催】	大宮公民館	9
10月25日	インディアカ体験【大宮公民館共催】	勤労者体育センター	0※
12月20日	クリスマス料理（ピザ作り）	国府公民館	17

※運動会と重なったため

イ 関係行事

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
4月 6日	東部地区女子ﾌｯﾄﾍﾞｰｽﾎﾞｰﾙ大会（春）	大塚運動広場	2チーム
2月 1日	子どもレクリエーション大会	国府公民館	120
3月22日	東部地区女子ﾌｯﾄﾍﾞｰｽﾎﾞｰﾙ大会（秋）	大塚運動広場	2チーム

(3) 社会体育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月11日	ソフトボール大会	大塚運動広場	44
5月11日	フットベースボール大会	大塚運動広場	中止※
5月28日	グラウンドゴルフ夏季大会	大塚運動広場	53
8月17日	国府地区卓球・ボッチャ大会	国府公民館	23
10月 5日	国府地区スポーツフェスティバル	大塚運動広場	300
1月18日	国府地区ソフトバレーボール大会	総合体育館	54
2月26日	グラウンドゴルフ春季大会	大塚運動広場	58

※参加者が集まらなかったため。

(4) その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
9月15日	地区敬老行事 （記念品の配布のみ実施）	国府公民館	995
9月28日	大塚運動広場一斉清掃	大塚運動広場	100
11月 2日	国府地区ふるさとまつり	国府公民館	1,500
3月 1日	下野国庁まつり	下野国庁跡 農村広場	1,000

2　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　国府地区自治会連合会、国府地区町内公民館連絡協議会、交通安全協会国府支部、交通安全協会高齢者部会国府支部、交通安全協会国府支部女性部会、国府地区子ども会育成会連絡協議会、栃木市スポーツ協会第12支部、地域クリーン推進員連合会栃木地域第12支部、国府地区まちづくり協議会、国府地区遺族会、国府地区シニアクラブ連絡協議会、国府地区社会福祉協議会、国府地区子どもを守る会、下野国庁跡・地区文化財整備委員会、大塚運動広場運営委員会

3　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・東陽地域教育協議会【大宮公民館共催】

4　国府支所業務

(1)　原動機付自転車等標識交付申請及び廃車申告等状況

区分			件数（件）
標識交付申請	原動機付自転車	第1種	3
		第2種　（甲）	2
		第2種　（乙）	0
	小型特殊（農耕用）		4
廃車申告			19
名義・車台変更届			1
合計			29

(2)　出納事務取扱状況

区分	件数（件）	金額（円）
市税	1,277	36,282,698
その他	242	3,248,724
合計	1,519	39,531,422

(3)　戸籍関係取扱状況

ア　戸籍届出受付

区分	件数(件)	区分	件数(件)	区分	件数(件)
出生届	－	死亡届	－	転籍届	1
婚姻届	－	養子縁組届	－	その他	－
		合計		－	

イ　戸籍謄抄本等交付件数　　531件　　304,950円

(4)　住民基本台帳関係事務取扱状況

ア　住民基本台帳届出受付

区　　分	件　数（件）	区　　分	件　数（件）
転　入　届	8	婚　姻　届	－
転　居　届	8	離　婚　届	－
転　出　届	19	転　籍　届	1
世帯主変更届	－	錯　　誤	1
世帯分離届	2	国保得喪届	13
世帯合併届	－	国年得喪届	4
出　生　届	－	そ　の　他	－
死　亡　届	－	合　　計	56

イ　住民票写し等交付件数　　686件　　205,800円

ウ　印鑑証明関係

区　　分	件　数（件）	金　額（円）
印　鑑　登　録	51	15,300
印　鑑　証　明	531	159,300
印 鑑 廃 止 届	20	－
合　　計	602	174,600

エ　身分証明交付件数　　31件　　9,300円

オ　諸証明交付件数　　3件　　900円

(5)　税務諸証明交付件数　　350件　　82,900円（内、車検用納税証明84件）

5　地域会議関係（栃木東部地域会議）

栃木東部地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和７年４月１日～令和９年３月31日）

区 分	No.	氏　名	備　　考
1号	1	浅野　菜津子	大宮地区子ども会育成会
	2	出井　康夫	国府地区自治会連合会
	3	岩間　靖子	栃木市PTA連合会栃木東部ブロック
	4	大島　定男	栃木市認定農業者連絡協議会
	5	熊倉　京子	栃木地区交通安全協会国府支部女性部会
	6	早乙女　次男	大宮地区まちづくり協議会
	7	森谷　芳子	第12区民生委員児童委員協議会
	8	松本　博	大宮地区自治会連合会
	9	藤本　和夫	栃木市スポーツ協会第12支部
	10	梁島　あけみ	栃木市第８区民生委員児童委員協議会
	11	和久井　賢司	栃木商工会議所　青年経営者会

2号	12	大橋　哲夫	地域有識者
	13	柏崎　桂二	
3号	14	島田　　研	公募に応じた者
	15	森　　寛	

(2)　地域会議の開催内容

回数	開催日時・場所	内　　容
第1回	4月24日午後7時～ 国府公民館大交流室	協議事項等 ・各種委員の推薦について ・地域予算提案事業計画書にかかる予算措置の結果について
第2回	5月29日午後6時30分 ～ 大宮公民館大交流室	協議事項等 ・地域包括支援センターの設置体制の見直しについて【情報提供】 ・地域未来ビジョン・地域会議委員の手引きについて ・地域予算提案事業における地域課題の提案シートの提出について
第3回	6月26日午後6時30分 ～ 国府公民館大交流室	協議事項等 ・令和８年度実施分栃木市地域予算事業計画書について ・地域予算提案事業について
第4回	7月31日午後6時30分 ～ 大宮公民館大交流室	協議事項等 ・令和８年度実施分栃木市地域予算事業計画書について【報告】 ・地域予算提案事業について
第5回	8月28日午後6時30分 ～ 国府公民館大交流室	協議事項等 ・栃木市子ども・子育て会議委員の推薦について ・地域予算提案事業について ・R7年度執行分地域予算提案事業について
第6回	9月25日午後6時30分 ～ 大宮公民館大会議室	協議事項等 ・地域予算提案事業について
第7回	11月27日午後6時30分～ 国府公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算提案事業について
第8回	1月22日午後6時30分 ～ 大宮公民館大交流室	協議事項等 ・栃木市文化財保存活用地域計画（素案）について ・栃木市子ども・子育て会議委員候補者の推薦について

		・地域予算提案事業について
第9回	3月26日午後6時30分 ～ 国府公民館大交流室	協議事項等 ・栃木市市民会議委員の継続確認について ・地域予算提案事業について

(3)　地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
12月	第12号	A4判両面カラー刷り

※6,900部発行

(4)　地域予算提案事業の概要

事業名	事業費（千円）
地域活性化交流イベント	340

第２節　大平地域づくり推進課

〔総括概要〕

大平地域づくり推進課は、地域づくり推進係、市民係、保健福祉係、公民館係の4係体制である。

地域づくり推進係では、地域まちづくりセンターとして、地域会議の事務局を担当し、「地域予算提案制度」において継続事業としての交通事故防止対策事業を提案したほか、まちづくり実働組織「大平わいわいテラス」の活動支援等を行った。

広聴事業については、市政に対する市民の声を行政に反映するため、直接対話によるまちづくり懇談会ふれあいトークを開催した。

自治会事業については、大平地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援したほか、「つながるネット」の活用により自治会からの相談に対し、適切な対応を行った。

交通安全対策事業については、交通安全運動における啓発や周知を強力に推進した。また、栃木地区交通安全協会大平支部の事務局として運営支援を行った。

窓口対応業務については、本庁関係課と連携し、農業関係や交通防犯関係の書類受付などを行い、市民サービス向上に努めた。

市民係では、戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑証明書、マイナンバーカード等の交付を行った。

国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金事業については、各種申請書を受付し関連事務処理や相談業務等を行った。

医療費助成事業については、各種医療費助成の申請受付や受給資格者の登録及び変更などの受付を行った。

税務関係業務については、市税関係証明書交付、名寄帳等の閲覧、原動機付自転車等の標識交付・返納のほか、市税等の収納を行った。

なんでも相談については、窓口を設置し市民に寄り添った支援を行った。

保健福祉係では、民生委員児童委員、日本赤十字社、遺族会に関する事務のほか、障がい者手帳、障がい福祉サービス、福祉タクシー、高齢者関係、介護給付等に関する申請受付事務等を行った。

また、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行うとともに、予防接種事業の案内を行った。

公民館係では、各種講座を開設し生涯学習の振興に努め、社会教育関係団体、芸術文化団体の支援を行った。また、青少年健全育成の推進及び、とちぎ未来アシストネット事業により地域住民と小中学校の交流を深め地域全体の活性化を図った。

生涯スポーツの振興としては、ふる里大平スポーツフェスタ2025を開催した。

また、公民館・社会体育施設の管理運営においては、安心して施設を利用いただけるよう施設の適正管理に努めた。

地域づくり推進係

1　地域会議関係

大平地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和7年4月1日～令和9年3月31日）

区　分	No.	氏　名	備　考
1号委員	1	小堀　和子	栃木市大平地区スポーツ協会
	2	清水　泰子	大平地区社会福祉協議会
	3	柳田　和子 (令和７年５月 13 日委嘱)	大平地域自治会連合会
	4	青木　晴美	栃木市女性団体連絡協議会
	5	毛塚　高章	栃木市ＰＴＡ連合会大平ブロック
	6	青木　理恵	大平わいわいテラス
	7	仲三河　マコト	栃木市大平文化協会
	8	津布楽　俊夫	栃木市認定農業者協議会大平支部
	9	田村　誠志	大平町商工会
	10	川井　正枝	栃木市大平地区民生委員児童委員協議会
2号委員	11	藤倉　竜広	学識経験を有する者
	12	三井　健	
	13	川田　健太郎	
3号委員	14	植原　瑞恵	公募に応じた者
	15	富田　昌敏	

(2)　開催内容

回数	開催日時・場所	内　容
第1回	4月24日（木） 午後6時30分～ プラッツおおひら 2階多目的ルームA	・各種委員の推薦について ・地域予算提案事業計画書にかかる予算措置の結果について ・大平総合支所期日前投票所の変更のお知らせ ・その他
第2回	5月29日（木） 午後6時30分～ プラッツおおひら 2階多目的ルームA	・大平文化会館の休館日の変更について ・地域予算提案制度(地域会議委員の手引き)について ・地域予算提案スケジュールについて

		・その他
第3回	6月26日（木） 午後6時30分～ プラッツおおひら 2階多目的ルームA	・令和８年度実施分地域予算提案事業計画書(案)について ・令和９年度実施分地域予算提案事業について ・栃木市自治会公民館建築費等補助金交付要綱の一部改正について ・令和７年度実施分地域予算提案事業の事業経過について(大平西地区公民館調理設備改修事業) ・その他
第4回	7月31日（木） 午後6時30分～ 大平総合支所新館 2階 第1.2会議室	・大平運動公園整備構想(素案)について〔情報提供〕(公園緑地課) ・認定まちづくり実働組織の活動について〔意見交換〕（大平わいわいテラス） ・令和９年度実施分地域予算提案事業の提案アイディアについて ・第１回栃木市地域会議連絡調整会議について ・その他
第5回	8月28日（木） 午後6時30分～ 大平総合支所新館 2階 第1.2会議室	・令和９年度実施分地域予算提案事業について ・令和８年度実施分地域予算事業計画書の提出について ・その他
第6回	9月25日（木） 午後6時30分～ 大平総合支所新館 2階 第1.2会議室	・令和９年度実施分地域予算提案事業について ・令和７年度実施分地域予算提案事業の事業経過について(交通事故防止対策事業、かかしの里活性化事業) ・その他
第7回	11月27日（木） 午後6時30分～ 大平総合支所新館 2階 第1.2会議室	・大平運動公園整備構想の策定について〔情報提供〕(公園緑地課) ・令和９年度実施分地域予算提案事業について ・その他
第8回	1月29日（木） 午後6時30分～ 大平総合支所新館 2階 第1.2会議室	・栃木市文化財保存活用地域計画(素案)について〔情報提供〕(文化課) ・令和９年度実施分地域予算提案事業について ・その他
第9回	3月19日（木） 午後6時30分～ 大平総合支所新館 2階 第1.2会議室	・大平体育館・大平公民館の今後の利用について〔情報提供〕（大平地域づくり推進課） ・令和９年度実施分地域予算提案事業について ・その他

(3)　地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体裁
8月	第21号	A3判二つ折り両面カラー刷り
3月	第22号	A4判両面カラー刷り

※各号9,550部発行

(4)　地域予算提案事業の概要

事業名	事業費（千円）
大平地域交通事故防止対策事業	374

2　まちづくり実働組織関係

地域の課題解決や地域活性化のために平成29年9月に設立された実働組織「大平わいわいテラス」の活動支援を行なった。

3　広聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見、提案等を聴き、市民の声を今後の市の行政経営に活かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数(件)	テーマ・フリートーク数(人)	対象自治会数	参加者数(人)
1	6月27日(金)	ゆうゆうプラザ大会議室	大平中学校区内の自治会	21	9	26	32
2	7月1日(火)	ゆうゆうプラザ大会議室	大平南中学校区内の自治会	7	8	20	20
合　計				28	17	46	52
				45			

4　自治会関係

自治会については、大平地域自治会連合会の事務局として各種事案を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1)　自治会活動の推進

ア　自治会長名簿の作成

次年度の自治会長及び自治会内の班及び戸数等を記載した名簿を作成

・受付期間　2月～3月

・対象自治会　46自治会

(2)　大平地域自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ) 組織

・単位自治会　46自治会

(ｲ) 役員

・会長1人、副会長2人、幹事1人、監事2人、顧問2人

イ　会議

(ｱ) 定期総会

令和7年4月24日（木）大平公民館にて　対面での総会を実施

・内　容　令和６年度事業報告・決算報告並びに監査報告について
令和７年度事業計画・収支予算について
役員の選出について等

(ｲ) 役員会

回　数	開　催　日	内　　容
第１回	6月19日(木)	・役員会について ・研修会について　ほか
第２回	8月7日(木)	・講演会について ・自主事業について
第３回	9月11日（木）	・講演会について
第４回	3月12日（木）	・令和８年度総会について ・顧問について　ほか

ウ　主な事業

(ｱ) 大平地域自治会研修会

・講演会の開催

令和７年 11 月 22 日（土）　栃木市大平文化会館

講演　落語で笑って学ぶまちづくり

出演　春風亭柳橋師匠、江戸屋まねき猫先生

展示　大平地域内の自治会等活動紹介

(ｲ) 自主事業

・自治会活動円滑化支援事業

全自治会に住宅地図 の配付

・草刈機等貸出事業

自走式草刈機1台・手押し草刈機1台を購入し自治会へ貸し出し

操作説明会の開催

(ｳ) 栃木市自治会連合会関係

自治会長及び役員が総会、役員会等に出席し、各地域連合会との連絡調整を図った。

5　文書発送関係

郵便物の発送、収受業務、本庁支所間の書類の発送を行った。

後納郵便発送件数　64,163件

6　支所庁舎内及び市有施設の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）
大平総合支所清掃業務（常駐・定期）	1,714,130
大平総合支所機械警備業務	1,069,200
大平総合支所庁舎内電話交換設備保守業務	488,400
大平総合支所自家用電気工作物保安管理業務	257,400
その他業務委託件数　5件	784,405
合　　計	4,313,535

7　支所庁舎内及び市有施設の修繕工事等

工　　事　　名　　等	工事金額（円）
大平総合支所仮駐車場内の外灯不点修繕工事	55,000
大平総合支所自立サイン改修工事	112,200
大平総合支所受電室パス更新工事	787,600
大平総合支所高圧ケーブル更新工事	550,000
大平総合支所消火栓水槽ボールタップ及び仕切弁更新工事	119,570
合　　計	1,624,370

8　共用車管理状況

区　　分	数　　量（台）
普通乗合（中型バス　42人）	1
普通乗用	4
軽乗用	3
小型貨物	1
軽貨物	1
合　　計	10

9　市有バスの運行　　（単位：回）

区　分	日帰り運用	宿泊運用	合　　計
市　内	60	－	60
市　外	32	－	32
県　外	13	－	13
合　計	105	－	105

10　防犯関係

防犯活動

・地域安全防犯防火診断の実施

日　時　12月5日（金）

診断者　栃木警察署、栃木市消防本部消防総務課、栃木市消防団、
大平地域づくり推進課

11　交通関係

(1)　交通安全運動等

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭啓発活動、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出等

・実施期間　4月6日(日)～15日(火)

イ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭啓発活動、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出等

・実施期間　9月21日(日)～30日(火)

ウ　交通安全市民大会

交通事故等現況報告、交通安全に関する作文朗読、大会宣言

・実施日　9月27日（土）

・場　所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）

エ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭啓発活動

・実施期間　12月11日(木)～31日(水)

(2)　その他の交通安全対策

・交通指導員の設置　大平地域内5人委嘱

12　環境関係

環境保全に係る初動対応として、市民から野焼きや草木の繁茂等に関する苦情があった際は、現地に急行し状況確認等を行った。

犬の登録及び注射済票の受付及び交付に関する事務を行った。

13　観光振興

豊かな自然と歴史のある観光資源を生かすために、観光パンフレット等の制作・配布を行った。

(1)　観光パンフレット等の制作・配布

太平山&晃石山を歩こう！！（ハイキングマップ）

(2)　観光キャンペーン等

ぶどう狩りキャンペーン

・実施日　　6月21日（土）

・会　場　　太平山あじさいまつり会場内ぶどう試食配布

山の日制定10周年記念　缶バッチ配布

・実施日　　8月11日(祝・月)
・会　場　　晃石山神社境内前

14　観光行事

大平地域を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施した。

(1)　おおひら桜まつり（桜のライトアップ）
・実施期間　3月27日（金）～4月12日（日）　午後6時～午後9時
・場　　所　大平運動公園前さくら通り・大平運動公園内さくらの森
・主　　催　おおひら桜まつり実行委員会
・共　　催　栃木市

(2)　光と音のページェント
・実施期間　12月2日（火）～1月12日（月・祝）午後5時～午後9時
・場　　所　新大平下駅東口・プラッツおおひら周辺
・主　　催　光と音のページェント実行委員会
・共　　催　栃木市
・来 場 者　約12,306人

15　農業関係

農業団体育成事業

・栃木市認定農業者協議会大平支部

大平地域の農業を担う認定農業者が経営改善に必要な知識・技術の研鑽に努め、会員の経営改善計画の実現を目指すことを目的に、会員相互の連携を図るため、会員相互交流事業や新年会を実施した。また、栃木市認定農業者協議会の講演会及び情報交換会等へ参加した。

16　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。　　（単位：件）

件　　名	件　　数
耕作証明書	26
農家基本台帳の写し	5
農家証明書	4

市民係

1　戸籍・住民基本台帳関係届出処理件数　　（単位：件）

処　理　事　項	件数	処　理　事　項	件数
戸籍届(出生、死亡、婚姻等)	269	死体埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	3
住民異動届	2,348		

小　計		2,617	死胎埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	－
印鑑	登　録	636		
	廃　止	79	死産届	5
小　計		715	小　計	8
			合　計	3,340

2　謄抄本証明書等交付件数

種　別		件数(件)	金額(円)	種　別		件数(件)	金額(円)
戸籍証明書	全部事項証明	1,842	828,900	住民票	世帯全員	2,060	618,000
	個人事項証明	335	150,750		個　人	3,163	948,900
	除籍謄本	1,700	1,275,000		証　明	146	43,800
	除籍抄本	19	14,250		年金現況証明	－	－
	広域戸籍全部事項証明	280	126,000		戸籍の附票	306	91,800
	広域除籍全部事項証明	85	63,750		広　域	24	7,200
	広域除籍謄本	412	309,000		小　計	5,699	1,709,700
	戸籍証明	25	8,750	その他	印鑑登録	636	190,800
	受理証明	45	15,750		印鑑登録廃止	79	－
	廃棄証明	－	－		臨時運行許可証	288	216,000
	出産証明	－	－		労基証明	29	－
	戸籍電子証明書提供用識別符号	2	800		人口統計	－	－
	除籍電子証明書提供用識別符号	－	－		マイナンバーカード(有料)	377	301,600
	不受理証明	－	－		マイナンバーカード(無料)	3,645	－
	小　計	4,745	2,792,950		特急発行マイナンバーカード(有料)	1	1,800
証明書	印鑑証明	3,296	988,800		特急発行マイナンバーカード(無料)	48	－
	諸 証 明	53	15,900		電子証明書(有料)	378	75,600
	身分証明	107	32,100		小　計	5,481	785,800
	市町村合併証明	9	－	合　計		19,390	6,325,250
	選挙証明	－	－				
	小　計	3,465	1,036,800				

3　斎場及び霊きゅう車等使用許可件数

栃木市斎場

種　類	区　分	件　数(件)	金　額(円)

斎　　場	市　内	大　人	45	50	－
		小　人	－		
		死産児	5		
	市　外	大　人	－	－	－
		小　人	－		
		死産児	－		
合　　計				50	－

4　中長期在留者住居地届出等事務

各種申請書受理件数　（単位：件）

件　　名	件数	件　　名	件数
新規上陸後の居住地届出	221	居住地の変更届出(転入)	219
資格変更等に伴う居住地届出	84	居住地の変更届出(転居)	192
特別永住者の居住地届出	－	特別永住者居住地の変更届出(転入)	－
特別永住者証明書の交付	－	特別永住者居住地の変更届出(転居)	－
市町村通知	－	法務省通知	－
		合　　計	716

5　国民健康保険の給付等に係る申請の受付事務

(1)　高額療養費の受付状況

・高額療養費受付件数　578件

・限度額適用認定証　64件

(標準負担額減額認定証を含む)

(2)　療養費の受付状況

・療養費受付件数　61件

(3)　出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数　-件

(4)　葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数　25件

(5)　移送費の受付状況

・移送費受付件数　-件

6　後期高齢者の給付等に係る申請の受付事務

各種申請書等受付件数　（単位：件）

申請書種類	件　　数
資格関係届出	219
高額療養費申請	537
その他の療養費申請	100
葬祭費申請	207

被保険者証等再交付申請	63
合　　計	1,126

7　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付事務

資格関係等受付件数　（単位：件）

種　　別	件　　数
重度心身障がい者医療費助成	64
こども医療費助成	531
妊産婦医療費助成	31
ひとり親家庭医療費助成	39

8　国民年金に係る申請等受付事務

(1)　諸届の受理件数　（単位：件）

種　別	件　数	種　別	件　数
新規取得届	222	訂正・取消・不在	－
新規取得申出	－	付加年金取得届	10
再取得届	298	付加年金喪失届	－
再取得申出	－	法定免除該当届	5
資格喪失届	21	法定免除消滅届	－
資格喪失申出	2	通知書再交付届	－
種別変更届	48	そ　の　他	2
		合　　計	608

(2)　免除申請受理件数　（単位：件）

種　類	件　数
免除・納付猶予申請	71
学生納付特例申請	38

(3)　国民年金請求受理件数　（単位：件）

給付種類	件　数
老齢基礎年金	2
障害基礎年金	－
遺族基礎年金	－
寡婦年金	－
死亡一時金	4
未支給年金	2
老齢福祉年金	－
合　　計	8

(4)　相談件数　（単位：件）

相談の内訳	件数

来訪相談	846
電話相談	10
文書相談	－
合　　計	856

9　税務関係証明書等交付件数　　（単位：件）

区　　分	有料件数	無料件数
諸 証 明	4,394	251
公簿閲覧	44	236
合　　計	4,438	487

10　原動機付自転車等の標識交付事務　　（単位：件）

区 分	取 得	廃 車	変 更
件 数	116	113	15

11　市税等の収納事務

区　　分	件　数(件)	金　額（円）
市 税 等	5,457	80,867,777
水　道	309	4,423,698
合　　計	5,766	85,291,475

12　延長窓口処理件数（1～11の内数）　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	4
住民票写し等交付	32
印鑑登録証明書交付	10
印鑑登録	3
戸籍届	－
住民異動届	12
斎場使用許可証交付	－
臨時運行許可証交付	2
個人番号カードの交付	56
国民健康保険関係	16
後期高齢者医療費関係	－
医療費助成関係	8
税務関係証明書交付	40
その他	56
窓口及び電話による相談、問合せ等	9

合　　計	248

13　なんでも相談窓口相談件数　　（単位：件）

区　　分	件　　数
税	11
保険・年金	4
交通・防犯	6
ごみ・環境	57
人権	1
福祉	22
健康・医療	2
子ども・子育て	1
観光	1
農業・商業	21
道路	10
土地	5
住宅	17
上下水道	9
消防・防災	1
教育・文化	2
その他	56
合　　計	226

保健福祉係

1　民生委員・児童委員関係

民生委員・児童委員67人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、うち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
9	7	3	7	0	2
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
2	90	13	79	212	3.16

(2)　調査等状況　　（単位：件）

調　　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
289	6	566	4,994	12,723	18,578	277.3

(3)　ふれあい館作品展示交流会

実施日　5月24日（土）～25日（日）

場　所　ふるさとふれあい館

2　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金や災害救護を実施した。

(1)　赤十字活動資金（社資）募集実績額

目　標　額	実　績　額	達　成　率
3,096,450円	2,750,500円	88.8%

(2)　災害による救援品配付状況

区　分	世帯数（世帯）	家族数（人）	毛布（枚）	布団（組）	緊急セット（個）
火　災	－	－	－	－	－

(3)　災害見舞金給付状況　（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
－	－	－	－	－

3　身体障がい者の現況（身体障害者手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　　分	申請受付件数
視　覚　障　が　い	11
聴覚・平衡障がい	14
音声・言語・そしゃく障がい	0
肢体不自由障がい	21
内　部　障　が　い	43
複　合　障　が　い	1
合　　計	90

4　知的障がい者(児）の現況(療育手帳の申請受付状況）

知的障がい者(児）の支援を目的に療育手帳の申請受付を行い18人に手帳を交付した。

5　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
1　級	11
2　級	55
3　級	24

合　計	90

(2)　自立支援医療費（精神通院）申請受付状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、397件の申請があった。

6　身体障がい者（児）の補装具等の申請受付状況

(1)　補装具交付及び修理の申請件数（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	48
身体障害児	3
合　計	51

(2)　日常生活用具の申請件数　　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	54
身体障がい児	－
合　計	54

7　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）申請受付件数

（単位：件）

種　別	申請受付件数
視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	－
免疫機能障がい	2
肢体不自由	－
心臓機能障がい	2
腎臓機能障がい	58
合　計	62

8　自立支援医療（育成医療）申請受付件数

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度で、1人が申請した。

9　各種手当の状況　　（単位：件）

種　別	新規申請受付件数
特定疾患者介護手当	34
重度心身障がい児扶養手当	4

特別障がい者等手当	特別障がい者手当	0
	障がい児福祉手当	4
	福祉手当（経過的）	－
特別児童扶養手当		2

10　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」を交付しタクシー料金を助成した。　（単位：人）

区　　分	交付者数
高齢者（80歳以上）	500
高齢者（65～79歳）	154
障がい者	113
合　　計	767

11　学童保育事業

小学校の児童で家族が仕事や傷病等の理由により、家庭において安全な保育を受けられない児童を対象に、学童保育利用を希望する保護者からの利用申込書の申請受付等を行った。

・学童保育受付件数　196件

12　児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に対し、児童手当の相談・申請受付事務を行った。

・児童手当受付件数　139件

13　赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化及び子育て支援対策に資することを目的に、誕生祝金の申請受付事務を行った。

事　業　名	祝　金　額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　　10,000円	20
	第三子以降　20,000円	15

14　児童扶養手当・遺児手当

父母の離婚や死亡等により、父または母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的に児童扶養手当や遺児手当の申請受付事務を行った。

（単位：件）

種別	受付件数

児童扶養手当	211
遺児手当	－

15　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減、子育ての孤立化等による不安や悩みを抱える保護者の早期支援を行うために、お子様の出生時とおおむね生後４か月時に紙おむつとおしりふきの配布を行った。

・紙おむつとおしりふき配布件数　54件

16　保育園事業

保護者の就労や疾病等の理由により、家庭において安全な保育を受けられない乳幼児を対象に、保育園の利用を希望する保護者からの入園申請受付等を行った。

・入園受付件数　47 件

17　高齢者関係の申請受付状況

高齢者関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
老人福祉センター等団体送迎利用申請	－
敬老会事業補助金申請	63
緊急通報装置貸与申請	3
高齢者日常生活用具購入費補助金申請	24
高齢者日常生活用具レンタル料助成申請	8
健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成券交付申請	33
在宅寝たきり老人等介護手当申請	251
紙おむつ給付申請	64
戦没者の遺族に対する弔慰金請求書	－
合　計	446

18　介護保険業務各種受付件数

介護関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
介護保険負担限度額認定申請	153
高額介護サービス費支給申請	80
介護保険居宅介護サービス費支給申請書	－
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	3
介護予防サービス計画作成依頼（変更）届出書	－
短期入所連続利用等申請の受付	－
軽度者に対する福祉用具貸与の特例申請	－
福祉用具購入費支給申請	1

住宅改修費支給申請	－
被保険証等再交付申請	96
住所地特例適用・変更・終了届	7
受給資格証明書	－
障がい者控除対象者認定申請書	1
おむつ使用証明書	3
医療費控除（おむつ代）に係る主治医意見書内容確認書交付申請書	－
転送希望届・転送解除届	12
合　計	356

19　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種の予診票の配布を実施した。

公民館係

1　公民館等使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
大平公民館	1,291	21,247	257,815
大平西地区公民館	306	3,565	59,370
大平南地区公民館	320	3,354	54,915
大平東地区公民館	100	800	12,090
合計	2,017	28,966	384,190

2　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月19日（月）	やさしい人権教室	大平公民館	中止
5月27日（火） ～6月17日（火）	手作りパン教室（全4回）	大平公民館	中止
6月 4日（水） ～6月25日（水）	やさしい手芸教室（全4回）	大平公民館	延べ64
6月 6日（金） ～6月20日（金）	はつらつ体操（全3回）	大平公民館	延べ90
6月 9日（月） ～7月23日（水）	歴史探訪講座（全3回）	大平公民館	延べ66
6月16日（月） ～6月23日（月）	骨盤ストレッチ＆ズンバ（全2回）	大平公民館	延べ22

6月26日（木）	公民館校外学習	茨城県牛久市	21
6月30日（月） ～ 7月14日（月）	オカリナ演奏と合唱（全3回）	大平公民館	延べ33
7月 3日（木）	大人の社会科見学	茨城県日立市	22
7月10日（木） ～ 7月22日（火）	ライフアップ講座（全3回）	大平公民館	延べ66
10月 3日（金） ～10月20日（月）	折り紙教室（全3回）	大平公民館	延べ45
10月16日（木） ～11月28日（金）	歴史探訪講座（全3回）	大平公民館	延べ66
10月17日（金） ～12月 5日（金）	さわやかヨガ（全5回）	大平公民館	延べ120
10月23日（木） 10月27日（月）	スマートフォン教室（全2回）	大平公民館	延べ47
10月28日（火）	珈琲教室	大平公民館	14
11月 6日（木）	街なかウォッチング	益子方面	26
11月 4日（火） ～12月 3日（水）	ライフアップ講座（全4回）	大平公民館	延べ31
11月10日（月） ～12月 1日（月）	スローエアロビ教室（全4回）	大平公民館	延べ81
12月 9日（火）	大人の社会科見学	群馬県館林市 埼玉県羽生市	28
12月16日（火） 12月23日（火）	手作りケーキに挑戦（全2回）	大平公民館	延べ15

(2) 二十歳の集い関係（大平会場）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月 9日（土）	第1回二十歳の集い実行委員会	大平公民館	11
11月22日（土）	第2回二十歳の集い実行委員会	大平公民館	9
1月10日（土）	二十歳の集いリハーサル	大平文化会館	12
1月11日（日）	令和8年二十歳の集い	大平文化会館	244

(3) 青少年教育関係

ア リーダー研修

各単位子ども会育成会より推薦された子ども会リーダーが、集団体験活動を通し、子ども会リーダーとしての知識や技術を学び、併せて協調性・連帯性を養うことを目的とした、リーダー養成のための研修会を企画した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月30日（水）	大平子ども会リーダー研修会	みかも自然の家	71

～7月31日（木）			

イ　冒険遊び場（ねずみもちパーク）の活動支援

「自分の責任で自由に遊ぶ」をテーマにしたプレイパークを会場に、大平子ども会育成会連絡協議会が行う様々な事業活動に対して支援を行った。

実施日等	内　　容	参加人数(人)
4月12日（土）	楽器遊び、泥遊び	44
4月26日（土）	ピザづくり	65
5月10日（土）	科学遊び	16
5月24日（土）	さつま芋苗植え	78
6月14日（土）	しゃぼん玉	41
6月28日（土）	泥遊び・水遊び	82
7月12日（土）	ウォータースライダー、水遊び	46
7月26日（土）	ウォータースライダー	80
8月 9日（土）	ウォータースライダー	49
8月23日（土）	夏休みイベント、ウォータースライダー	77
9月13日（土）	ウォータースライダー	17
9月27日（土）	ネイチャークラフト	25
10月11日（土）	宝探し　（悪天候で中止）	－
10月25日（土）	木工	24
11月 8日（土）	芋づるのリース	26
11月22日（土）	焼き芋	38
12月13日（土）	リース作り	39
1月10日（土）	凧作り・凧揚げ	43
1月24日（土）	楽器遊び・ベーゴマ	40
2月14日（土）	昔遊び	35
2月28日（土）	木工	62
3月14日（土）	「子ども食堂」とコラボ	95
3月28日（土）	春休みイベント	66

ウ　子どもフェスティバル

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月23日（日）	子どもフェスティバル	中央公園	82

エ　青少年育成市民会議「おおひらっ子ネットワーク」事業

おおひらっ子ネットワークでは、7月と11月の子ども・若者育成支援強調月間に合わせ、大平地域の各小学校において、朝のあいさつ運動を実施した。また、大平地域の幼・保育園、小・中学校が花を購入する費用に対して補助金を交付することにより、花の育成を通して子どもたちの豊かな心を育む活動を支援した。

(ｱ)　朝のあいさつ運動

実施日等	場　　所	参加人数(人)

7月 8日（火） 11月11日（火）	大平地域内各小学校	47

（ｲ） 花購入費補助金の交付

・交付団体　8団体

3　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　大平地域女性の会、栃木市大平町家庭教育オピニオンリーダー会、大平町リーダースクラブ

4　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・大平地域教育協議会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数（人）
6月17日（火）	第１回地域教育協議会	大平公民館	28
1月28日（水）	第２回地域教育協議会	大平公民館	26
3月	大平アシストネットだより回覧	―	-

5　子育て支援関係

子育て支援として家庭教育の推進を図るため、子育て中の保護者を対象に親学習プログラム等を活用して講座を開催した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月26日（水） 1月28日（水） 2月 4日（水）	子育て講座「もうすぐわが子も一年生、トークしよう！」	大平西小学校	57
		大平東小学校	31
		大平中央小学校	59
		大平南小学校	38

6　文化振興関係

広く文化への意識高揚と、市民の文化・芸能活動への参加意欲を高めるとともに、生涯学習の成果を発表し、参加者相互の交流発展に貢献することを目的に、各種文化団体の作品展示、芸能発表を行った。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月1日（土）、2日（日）、3日（月）、9日(日)、15日(土)、16日（日）	栃木市大平文化祭【栃木市大平文化祭実行委員会、栃木市大平文化協会主催】	大平公民館、大平文化会館	延べ 1,300

7　生涯スポーツ推進関係

(1)　地区スポーツ協会関係

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	場　　所
10月12日（日）	ふる里大平スポーツフェスタ2025	457	大平運動公園
1月31日（土） ～3月 7日（土）	寒さに負けない体力づくり ソフトテニス教室（一般）	10	大平運動公園
1月31日（土） ～3月 7日（土）	寒さに負けない体力づくり ソフトテニス教室（小学生）	4	大平運動公園
1月25日（日） ～3月 8日（日）	寒さに負けない体力づくり テニス教室（一般）	7	大平運動公園
1月25日（日） ～3月 8日（日）	寒さに負けない体力づくり テニス教室（小学生）	0	大平運動公園
1月28日（水） ～3月11日（水）	寒さに負けない体力づくり 卓球教室（小学生～一般）	12	大平南体育館

(2)　専門部関係

ア　剣道

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	会　　場
8月23日（土）	第46回栃木地区少年剣道錬成大会	100	藤岡総合体育館

イ　柔道

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	会　　場
4月～3月 （通年）	大平町少年柔道教室	30	大平武道館
11月 9日（日）	大平町少年柔道クラブ柔道大会	60	大平武道館
11月23日（日）	第41回栃木市少年柔道大会	100	大平武道館

ウ　バレーボール

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	会　　場
9月 7日（日）	第3回おおひら混合バレーボール大会	130	大平南体育館

エ　スキー

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	会　　場
2月21日（土） ～ 22日（日）	おおひらスキースクール	12	福島県ネコママウンテン
2月28日（土）	おおひらスキー祭	41	福島県だいくらスキー場

オ　ソフトボール

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	会　　場
4月 6日（日） ～ 13日（日）	第41回大平壮年ソフトボール大会	120	大平運動公園
6月 8日（日）	第21回大岩藤ソフトボール大会	210	大平運動公園

～ 15日（日）			
7月20日（日） ～ 27日（日）	第16回大平協会長杯ソフトボール大会	120	大平運動公園
8月24日（日） ～8月31日（日）	第22回大岩藤ソフトボール大会	210	大平運動公園
9月28日（日） ～10月5日（日）	第41回大平シリーズソフトボール大会	120	大平運動公園

カ　レクリエーション

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	会　　場
1月18日（日）	新春大ドッジボール大会	26	大平南体育館

8　社会体育施設

(1)　施設の種類

施　　設　　名	建設年	面　　積　（㎡）		備　　考
		敷　　地	建　　物	
大平体育館	昭和49年	7,180.04	1,779.46	鉄筋コンクリート造 ※敷地は公民館等含む
大平南体育館	昭和59年	7,300.14	1,162.31	鉄筋コンクリート造
大平武道館	昭和55年	1,698.97	842.00	鉄筋造(平成元年増築)

(2)　利用状況　（単位:人）

施設	人数
大平体育館（休館中）	0
大平南体育館	23,297
大平武道館	6,529
合計	29,826

9　学校体育施設開放関係

(1)　利用状況

ア　学校体育施設(体育館)　（単位:人）

学校名	利用人数
大平東小	4,545
大平南小	6,378
大平西小	4,627
大平中央小	11,324
大平中	4,117
大平南中	4,707
合計	35,698

イ　学校体育施設(運動場)　　(単位:人)

学校名	利用人数
大平東小	1,840
大平南小	4,199
大平西小	1,032
大平中央小	8,310
大平中	765
大平南中	0
合計	16,146

ウ　学校体育施設(武道場)　　(単位:人)

学校名	利用人数
大平南中	6,180
合計	6,180

第３節　藤岡地域づくり推進課

〔総括概要〕

藤岡地域づくり推進課は、地域づくり推進係、市民係、保健福祉係、公民館係の4係体制である。

地域づくり推進係の主な分掌事務は、地域づくりの推進、自治会、総合支所庁舎及び公用車の維持管理並びに交通安全の推進等である。

地域づくりの推進に関しては、地域まちづくりセンターとして地域会議の事務局を担当し、地域会議において「地域予算提案制度」による事業計画策定に対する支援を行った。また、まちづくり実働組織「ハートランドまちづくり隊」の運営支援を行った。

自治会事業については、藤岡地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援した。また「つながるネット」の活用により自治会からの相談に対し、適切な対応を行った。

交通安全対策事業については、交通安全運動における啓発や周知を行った。また、交通安全協会藤岡支部の事務局として、円滑な運営支援を行った。

防犯対策事業については、藤岡駅前にて警察と共同で啓発活動を行った。

藤岡総合支所複合化整備事業については、栃木市公共施設適正配置計画に基づき、藤岡地域の公共施設の統廃合を行い、総合支所、公民館等の複数の施設の機能を集約した新たな複合施設を整備するため作業を開始した。

窓口対応業務については、農業関係の届出書類、防犯灯設置の申請書類の受付など本庁関係課と連携し、市民サービス向上に努めた。

市民係の主な分掌事務として、戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付、戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑証明書、マイナンバーカード等の交付を行った。

国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金事業については、各種申請書を受付し関連事務処理や相談業務等を行った。

医療費助成事業については、申請、登録、変更などの受付を行った。

税務関係業務については、市税関係証明書交付等及び市税等の収納を行った。

なんでも相談窓口を設置し、市民に寄り添った支援を行った。

保健福祉係では、民生委員児童委員、日本赤十字社、遺族会に関する事務の他、障害者手帳や福祉サービス等の各種申請受付等を行った。

また、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付を行うとともに、予防接種や集団検診の受付等を行った。

公民館係は主に、公民館事業、スポーツ事業及び各施設の維持管理等である。“地域づくり”につながるよう、高齢者学級、成人学級、青少年教育学級などの各種講座や地域教育関係、学校開放等の事業を推進した。

また、文化団体連絡協議会の芸術文化団体の支援、子ども会育成会連絡協議会の支援、社会教育団体の支援、こどもネットワーク、とちぎ未来アシストネット事業により地域住民と小中学校の交流を深め地域全体の活性化を図った。

更に、社会体育施設の管理運営において、身近にスポーツを楽しみ様々なスポーツイベントが開催できるよう、施設の利便性向上及び適正管理に努めた。

地域づくり推進係

1　地域会議関係

藤岡地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和7年4月1日～令和9年3月31日）

区　　分	No.	氏　　名	備　　考
1号委員	1	瀬下　整（5月13日委嘱）	藤岡地域自治会連合会
	2	石川　裕章	栃木市ＰＴＡ連合会藤岡ブロック
	3	前田　智史	ハートランドまちづくり隊
	4	葛生　明雄	藤岡町商工会
	5	五月女　政子	藤岡文化団体連絡協議会
	6	青山　桂子	藤岡地区社会福祉協議会
	7	櫻井　康人	栃木市認定農業者協議会
	8	長竹　香織	藤岡地区スポーツ協会
	9	横田　敦子	民生委員児童委員協議会
2号委員	10	阿部　多佳子	学識経験を有する者
	11	飯塚　和男	
	12	川田　優子	
	13	高際　はま子	
3号委員	14	高橋　梨沙	公募に応じた者
	15	池田　奨平	

(2)　開催内容

ア　会議

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	4月22日（火） 午後6時00分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・令和7年度藤岡地域会議開催日程について ・藤岡第2投票所の変更のお知らせ
第2回	5月27日（火） 午後6時30分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・藤岡第2投票所の変更のお知らせ ・地域会議委員の手引き・栃木市地域未来ビジョンについて ・地域予算提案事業について

第3回	7月1日（火） 午後6時30分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・栃木市自治会公民館建築費等補助金交付要綱の一部改正について ・地域予算提案事業について
第4回	7月29日（火） 午後6時30分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・地域予算提案事業について
第5回	8月26日（火） 午後6時30分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・栃木市子ども・子育て会議委員の推薦について ・地域予算提案事業について
第6回	10月28日（火） 午後6時30分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・令和7年度栃木市地域自治交流会の開催について ・地域予算提案事業について
第7回	11月25日（火） 午後6時30分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・地域予算提案事業について
第8回	1月27日（火） 午後6時30分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・栃木市文化財保存活用地域計画（素案）について ・地域予算提案事業について
第9回	3月24日（火） 午後6時30分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・栃木市市民会議委員について ・ハートランドまちづくり隊との意見交換について ・地域予算提案事業について

イ　部会

地域会議の内部組織として第1部会及び第2部会が設置されたが単独での部会開催は実施なし。

(3)　藤岡地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
8月	第31号	A3版両面カラー刷り
3月	第32号	A4版両面カラー刷り

※各号4,800部発行

2　まちづくり実働組織関係

藤岡地域全域を活動対象とし、地域の特色を活かした活動に自主的に取組むまちづくり実働組織「ハートランドまちづくり隊」の活動支援を行った。

3　広聴関係

(1)　まちづくり懇談会ふれあいトーク

市政に対する市民の声を行政に反映させるため、直接対話によるまちづくり懇談会を実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数（件）	フリートーク数（人）	自治会数	参加者数（人）
1	6月24日(火)	藤岡文化会館多目的ホール	藤岡地域の全自治会	12	6	103	40

(2)　投書箱

藤岡総合支所玄関に「みんなの声」投書箱を設置し、投書受付を実施したが、意見はなかった。

4　自治会関係

自治会相互の円満な運営と、住みよい環境づくり、地域住民の福祉の増進に寄与することを目的とした藤岡地域自治会連合会の各種活動を支援した。

(1)　自治会活動の推進

ア　単位自治会の把握

(ｱ)　自治会役員名簿

次年度役員名簿（自治会長、クリーン推進員）の取りまとめ

・受 付 期 間　2月～3月

・対象自治会　103自治会

(ｲ)　班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

・受 付 期 間　2月～3月

・対象自治会　103自治会

(2)　藤岡地域自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・地区連合会(部屋地区・藤岡地区・赤麻地区・三鴨地区)

・単位自治会　103自治会

(ｲ)　役員

・会長1人、副会長3人、理事4人、会計2人、監事2人

イ　会議

開催日	名　称	内　容
4月15日(火)	第1回役員会	・令和7年度藤岡地域自治会連合会総会について ・令和7年度役員選出について
4月29日(火)	総会	・令和6年度事業報告について ・令和6年度収支決算について ・令和7年度事業計画（案）について ・令和7年度収支予算（案）について ・令和7年度役員選出について

6月26日(木)	第2回役員会	・令和7年度市自治会連合会費納入について ・令和7年度各地区自治会連合会運営推進費について ・令和7年度事業計画について

ウ　主な事業

実施日	内　容
9月	物品配布事業 ・班長用（広報）受取ボックスの配布

5　文書管理関係

適正な文書管理のため、2月に移し換え、廃棄作業を行った。

6　文書発送関係

郵便物の発送、収受業務、本庁支所間の書類の送達を行った。

後納郵便発送件数　10,186件

7　支所庁舎内及び市有施設の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）
支所庁舎警備業務委託	864,600
支所庁舎構内電話交換設備保守委託	303,600
自家用電気工作物保安管理業務委託	279,840
その他業務委託件数 8件	376,670
合　　計	1,824,710

8　支所庁舎内及び市有施設の修繕工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
別館3階サーバー室空調機器取替工事	231,000
本館1階窓口蛍光灯修繕	9,900
消防団詰所トイレタンク修繕	19,800
本館通用口水道破裂修繕	8,800
本館1階及び別館1階蛍光灯修繕	19,800
合　　計	289,300

9　共用車管理状況

区　　分	数　　量（台）
普通乗合（中型バス39人）	1
小型乗用	2
小型貨物	4

軽貨物	3
合　　計	10

10　市有バスの運行状況　　（単位：回）

	日帰り運用	宿泊運用	合　　計
市　内	55	－	55
市　外	30	－	30
県　外	6	－	6
合　計	91	－	91

11　ＯＡ機器等の管理

藤岡総合支所内における事務用ＯＡ機器等の賃貸借契約及び維持管理を行った。

・複合機　3台

・印刷機　1台

12　防犯関係

(1)　防犯灯設置要望の現地調査　3件

(2)　防犯活動

栃木警察署管内1市1町で組織する栃木地区防犯協会（本市が事務局）において実施した次の事業に参画した。

・防犯防火診断。12月5日（金）に藤岡駅前における広報啓発活動等を行った。

13　交通関係

(1)　交通安全運動等

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭立哨指導、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出等

・実施期間　4月6日(日)～15日(火)

イ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭立哨指導、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出、藤岡中学校生徒自転車点検等

9月27日にとちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）において、開催された交通安全市民大会に参加した。

・実施期間　9月21日(日)～30日(火)

ウ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車、広報紙等による広報

・実施期間　12月11日(木)～31日(水)

(2)　その他の交通安全対策

・藤岡地域小中学校通学路の安全点検

14　観光振興

(一社)栃木市観光協会藤岡支部として藤岡地域の魅力を市内外に発信するため次の事業に取り組んだ。

渡良瀬遊水地フェスティバル2025における地場産品販売

・実施期間　12月13日(土)

・場　　所　藤岡渡良瀬運動公園

・実施主体　（一社）栃木市観光協会藤岡支部

15　観光行事

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、次の行事を実施した。

第32回藤岡さくらまつり

・日　　時　3月30日（月）～4月5日（日）

　　桜並木のライトアップ18時～21時

・場　　所　藤岡渡良瀬運動公園

・主　　催　（一社）栃木市観光協会藤岡支部

16　農業関係

栃木市認定農業者協議会藤岡支部

藤岡地域の認定農業者で構成される栃木市認定農業業者協議会藤岡支部の活動支援を行った。

・8月　　物品配布（刈払い機用チップソー）

・2月6日（金）　意見交換会

17　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。　（単位：件）

件　　名	件　数
耕作証明書	19
農家証明書	1
農家基本台帳の写し	13
合　　計	33

18　藤岡総合支所複合化整備事業

事業実施の基本的な方針を定めるため、次のとおり、「藤岡総合支所複合化整備基本計画」の策定に取り組んだ。

(1)　会議の開催

・藤岡地域会議藤岡総合支所複合化検討部会

（5/27、7/1、7/29、8/26、1/27 の 5 回開催）

・地域施設再編モデル事業専門部会　（11 月 27 日開催）

・藤岡総合支所複合化作業チーム会議　（9月19日、12月1日（書面）開催）

(2)　藤岡総合支所複合化整備基本計画策定業務委託

ア　委託業者

・株式会社渡辺有規建築企画事務所　　宇都宮市中今泉三丁目7番16号

イ　委託期間

・令和8年1月9日から令和9年3月9日まで

ウ　基本計画の内容

・藤岡地域の公共施設の現状と課題を踏まえ、施設の建設場所、規模、導入機能等の整備方針を定め、概算工事費及びスケジュールを検討・整理する。

(3)　住民への情報提供等

・地域会議だより第31号紙面掲載：8月　（藤岡地域内全世帯配布）

・地域会議だより第32号紙面掲載：3月　（藤岡地域内全世帯配布）

市民係

1　戸籍・住民基本台帳関係届出処理件数　　（単位：件）

処理事項		件数	処理事項	件数
戸籍届(出生、死亡、婚姻等)		283	死体埋火葬許可 (栃木市斎場なし 2件)	210
住民異動届		858		
小計		1,141	死胎埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	－
印鑑	登録	330		
	廃止	86	死産届	－
小計		416	小計	210
			合計	1,767

2　謄抄本証明書等交付件数

種別		件数(件)	金額(円)	種別		件数(件)	金額(円)
戸籍証明書	全部事項証明	1,146	515,700	住民票	世帯全員	592	177,600
	個人事項証明	177	79,650		個人	1,689	506,700
	除籍謄本	1,198	898,500		証明	71	21,300
	除籍抄本	－	－		年金現況証明	-	-
	広域戸籍全部事項証明	115	51,750		戸籍の附票	212	63,600
	広域除籍全部事項証明	20	15,000		広域	-	-
	広域除籍謄本	244	183,000		小計	2,564	769,200
	戸籍証明	3	1,050	その他	印鑑登録	330	99,000
	受理証明	18	6,300		印鑑登録廃止	86	-
	廃棄証明	4	-		臨時運行許可証	130	97,500
	出産証明	1	-		労基証明	6	-

	戸籍電子証明書提供用識別符号	-	-	その他	人口統計	-	-
	除籍電子証明書提供用識別符号	-	-		マイナンバーカード(有料)	117	93,600
	不受理証明	-	-		マイナンバーカード(無料)	1,522	-
	小　　計	2,926	1,750,950				
証明書	印鑑証明	1,782	534,600		特急発行マイナンバーカード(有料)	14	22,400
	諸 証 明	24	7,200				
	身分証明	133	39,900		特急発行マイナンバーカード(無料)	28	-
	市町村合併証明	5	-				
	選挙証明	-	-		電子証明書(有料)	131	26,200
	小　　計	1,944	581,700		小　　計	2,364	338,700
				合　　計		9,798	3,440,550

3　斎場使用許可件数

栃木市斎場

種　　類	区　　分		件　数(件)		金　額(円)
斎　　場	市　内	大　人	208	208	-
		小　人	-		
		死産児	-		
	市　外	大　人	-	-	-
		小　人	-		
		死産児	-		
小　　計				208	-

4　中長期在留者住居地届出等事務

各種申請書受理件数　　（単位：件）

件　　名	件数	件　　名	件数
新規上陸後の居住地届出	61	居住地の変更届出(転入)	32
資格変更等に伴う居住地届出	5	居住地の変更届出(転居)	14
特別永住者の居住地届出	-	特別永住者居住地の変更届出(転入)	-
特別永住者証明書の交付	-	特別永住者居住地の変更届出(転居)	-
法務省通知	-	市町村通知	-
		合　　計	112

5　国民健康保険の給付等に係る申請の受付事務

(1)　高額療養費の受付状況

・高額療養費受付件数　　543 件

・限度額適用認定証　　74件
（標準負担額減額認定証を含む）

(2)　療養費の受付状況

・療養費受付件数　　23件

(3)　出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数　　－件

(4)　葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数　　34件

(5)　移送費の受付状況

・移送費受付件数　　－件

6　後期高齢者の給付等に係る申請の受付事務

各種申請書等受付件数　　（単位：件）

申請書種類	件　数
資格関係届出	3
高額療養費申請	194
高額療養費事前申請	-
その他の療養費申請	345
葬祭費申請	155
被保険者証等再交付申請	34
合　計	731

7　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付事務

資格関係等受付件数　　（単位：件）

種　別	件　数
重度心身障がい者医療費助成	84
こども医療費助成	186
妊産婦医療費助成	7
ひとり親家庭医療費助成	17

8　国民年金に係る申請等受付事務

(1)　諸届の受理件数　　（単位：件）

種　別	件　数	種　別	件　数
新規取得届	16	訂正・取消・不在	－
新規取得申出	－	付加年金取得届	3
再取得届	145	付加年金喪失届	－
再取得申出	1	法定免除該当届	3
資格喪失届	6	法定免除消滅届	－
資格喪失申出	1	通知書再交付届	2

種別変更届	25	その他	-
		合計	202

(2) 免除申請受理件数 (単位：件)

種類	件数
免除・納付猶予申請	48
学生納付特例申請	16

(3) 国民年金請求受理件数 (単位：件)

給付種類	件数
老齢基礎年金	-
障害基礎年金	-
遺族基礎年金	-
寡婦年金	-
死亡一時金	2
未支給年金	1
老齢福祉年金	-
合計	3

(4) 相談件数 (単位：件)

相談の内訳	件数
来訪相談	191
電話相談	38
文書相談	-
合計	229

9 税務関係証明書等交付件数 (単位：件)

区分	有料件数	無料件数
諸証明	1,353	160
公簿閲覧	135	26
合計	1,488	186

10 原動機付自転車等の標識交付事務 (単位：件)

区分	取得	廃車	変更
件数	88	102	56

11 市税等の収納事務

区分	件数(件)	金額(円)
市税等	4,975	85,322,217
水道	289	2,485,304
合計	5,264	87,807,521

12　延長窓口処理件数(1～11の内数)　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	18
住民票写し等交付	20
印鑑登録証明書交付	11
印鑑登録	2
戸籍届	－
住民異動届	1
斎場、霊きゅう車使用許可証交付	－
臨時運行許可証交付	－
個人番号カードの交付	32
国民健康保険関係	5
後期高齢者医療費関係	1
医療費助成関係	4
国民年金関係	
税務関係証明書交付	－
市税等の収納	
その他	21
窓口及び電話による相談、問合せ等	11
合　　計	126

13　なんでも相談窓口相談件数　　（単位：件）

区　　分	件　　数
税	1
保険・年金	1
交通・防犯	8
ごみ・環境	76
人権	－
福祉	5
健康・医療	－
子ども・子育て	－
観光	－
農業・商業	41
道路	47
土地	5
住宅	17
上下水道	3
消防・防災	－

教育・文化	1
その他	20
合　　計	225

14　部屋出張所処理件数（1～11の内数）　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	312
住民票写し等交付	310
印鑑登録証明書交付	275
印鑑登録	22
印鑑登録廃止	10
諸証明交付	37
市税等収納	853
税諸証明交付	162
合　　計	1,981

保健福祉係

1　民生委員・児童委員関係

民生委員・児童委員42人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
110	4	17	52	1	9
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
1	15	12	175	396	9.4

(2)　調査等状況　　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
206	32	2,196	2,827	5,667	10,928	260.2

2　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金や災害救護を実施した。

(1)　赤十字活動資金（社資）募集実績額

目安額	実績額	達成率
1,534,400円	1,406,320円	91.7%

(2)　災害による救援品配布状況

区　分	世帯数（世帯）	家族数（人）	毛布（枚）	布団（組）	緊急セット（個）
火　災	1	3	3	3	1

(3)　災害見舞金給付状況　（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
―	1	―	―	-

3　身体障がい者の現況（身体障害者手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視　覚　障　が　い	2
聴覚・平衡障がい	9
音声・言語・そしゃく障がい	2
肢体不自由障がい	8
内　部　障　が　い	21
複　合　障　が　い	―
合　計	42

4　知的障がい者(児）の現況(療育手帳の申請受付状況）

知的障がい者（児）の支援を目的に療育手帳の申請受付を行い、6人に手帳を交付した。

5　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
1　級	8
2　級	32
3　級	10
合　計	50

(2)　精神自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、213人が受給した。

6　身体障がい者（児）の補装具等の申請受付状況

(1)　補装具交付及び修理の申請件数（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	22
身体障がい児	3

合　計	25

(2)　日常生活用具の申請件数　　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	27
身体障がい児	2
合　計	29

7　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）の申請受付件数

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	1
免疫機能障がい	－
肢体不自由	－
心臓機能障がい	4
腎臓機能障がい	47
合　計	52

8　自立支援医療（育成医療）の申請受付件数

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度で、令和7年度は申請者なし。

9　各種手当の状況　　（単位：件）

種　別		新規申請受付件数
特定疾患者介護手当		12
重度障がい児支援手当		－
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	－
	障がい児福祉手当	1
	福祉手当（経過的）	－
特別児童扶養手当		1

10　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」を交付しタクシー料金を助成した。　　（単位：人）

区　分	交付者数
高齢者（80歳以上）	147
高齢者（65～79歳）	12

障がい者	21
合　計	180

11　学童保育事業

保護者の就労等により、放課後に家庭での保護指導を充分に受けることができない児童を対象として実施している、学童保育の利用を希望する保護者からの利用申請受付等を行った。

・学童保育受付件数　62件

12　児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

・児童手当受付件数　61件

13　赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、第2子以降が誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

（単位：件）

事業名	祝金額	件　数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　10,000円	6
	第三子以降　20,000円	2

14　児童扶養手当・遺児手当

父母の離婚や死亡等により、父又は母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的に児童扶養手当や遺児手当の申請受付事務を行った。

（単位：件）

種　別	受付件数
児童扶養手当	79
遺児手当	1

15　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減、子育ての孤立化等による不安や悩みを抱える保護者の早期支援を行うため、お子様の出生時とおおむね生後4か月時に紙おむつとおしりふきの配布を行った。

・紙おむつとおしりふき配布件数　20件

16　保育園事業

保護者の就労や疾病等の理由により、家庭において安全な保育を受けられない乳幼児

を対象に、保育園の利用を希望する保護者からの入園申込等受付を行った。

・入園申込等受付件数　15 件

17　高齢者関係の申請受付状況

高齢者関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
老人福祉センター等団体送迎利用申請	－
敬老会事業補助金申請	41
緊急通報装置貸与申請	5
高齢者日常生活用具購入費補助金申請	9
高齢者日常生活用具レンタル料助成申請	6
健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成券交付申請	19
在宅寝たきり老人等介護手当申請	159
紙おむつ給付申請	31
戦没者の遺族に対する弔慰金請求書	30
合　計	300

18　介護保険業務各種受付件数

介護関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	受付件数
介護保険負担限度額認定申請	108
高額介護サービス費支給申請	77
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	52
介護予防サービス計画作成依頼（変更）届出書	54
短期入所連続利用等申請の受付	2
軽度者に対する福祉用具貸与の特例申請	－
福祉用具購入費支給申請	3
住宅改修費支給申請	14
被保険証等再交付申請	32
住所地特例適用・変更・終了届	25
受給資格証明書	2
障がい者控除対象者認定申請書	6
おむつ使用証明書	－
医療費控除（おむつ代）に係る主治医意見書内容確認書交付申請書	－
転送希望届	4
合　計	379

19　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種の予診票の配布を行った。

公民館係

1　公民館の使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
藤岡公民館	1,480	16,759	246,495
三鴨地区公民館	83	1,252	22,650
部屋地区公民館	175	1,854	57,590
赤麻地区公民館	204	2,129	48,520
合計	1,942	21,994	375,255

2　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者学級（わたらせ大学）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月 1日(木)	講話「心豊かに生きるために」	藤岡公民館	27
6月 5日(木) 6月12日(木) 6月19日(木)	実技「春の花の寄せ植え講座」	群馬県板倉町	延べ 29
7月 9日(水)	講話「オーラルフレイル対策で健口に！」	藤岡公民館	21
9月10日(水)	実技「シニアのための軽運動」	藤岡公民館	24
10月 3日(金)	館外学習	埼玉方面	21
11月 5日(水)	講話 学校給食理解	藤岡公民館	23
12月 3日(水)	閉校式・講話・笑いヨガ	藤岡公民館	22

イ　成人講座

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月20日(火) 5月27日(火) 6月10日(火)	コーヒー講座	珈琲音アトリエ	延べ 30
5月22日(木)	春の花の寄せ植え講座	群馬県板倉町	14
5月23日(金)	ハンキングバスケット講座	群馬県板倉町	12
6月 8日(日) 6月15日(日) 6月22日(日) 6月29日(日)	クラフトアート講座	藤岡公民館	延べ 32

7月 3日(木) 7月 4日(金)	学校給食理解講座	藤岡給食センター	延べ 17
7月 6日(日)	藤岡小カヌー教室安全講習会	藤岡小学校	24
7月10日(木)	素敵な写真の撮り方講座	藤岡公民館	10
7月20日(日)	カヌー・カヤック教室	藤岡公民館	19
7月26日(土)	淡水パールとビーズで作るアクセサリー講座	藤岡公民館	中止
9月 5日(金) 19日(金)	歴史講座	藤岡公民館	延べ 52
9月11日(木) 9月18日(木)	切り絵講座	藤岡公民館	延べ 14
10月 6日(火)	座禅講座	足利市	16
11月 4日(火) 11月 11日(火) 11月 18日(火) 11月 25日(火) 12月 2日(火) 12月 9日(火)	フォークダンス教室	渡良瀬遊水地会館	延べ 104
11月27日(木)	秋・冬の花の寄せ植え講座	群馬県板倉町	9
11月28日(金)	ハンギングリース講座	群馬県板倉町	6
12月12日(金)	アロマ講座「アロマで美肌作り」	藤岡公民館	5
12月12日(火)	ドローン教室	藤岡公民館	中止

(2) 二十歳の集い関係（藤岡会場）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月 9日 (土)	第1回二十歳の集い実行委員会	藤岡公民館	13
9月20日 (土)	第2回二十歳の集い実行委員会	藤岡公民館	13
11月15日 (土)	第3回二十歳の集い実行委員会	藤岡公民館	10
1月10日 (土)	二十歳の集いリハーサル	藤岡文化会館	15
1月11日 (日)	令和8年二十歳の集い	藤岡文化会館	96

(3) 青少年教育関係

将来を担う子どもたちの地域との関わりや暮らしに深く関わる行事を取り入れた事業を中心に行った。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月12日(土) ～7月23日(水)	子どもカヌー教室（全4回）	藤岡地域各小中学校	延べ 33

3　社会教育関係団体等関係

事業計画から実施まで助言等を行い、団体活動の促進のために援助、協力を行った。

(1)　青少年育成市民会議「藤岡こどもネットワーク」事業

新学期を迎えた4月と11月の子ども・若者育成支援強調月間に合わせ、藤岡地域の各小中学校において朝のあいさつ運動を実施した。

また、10月には青少年健全育成見守り活動の一環として、渡良瀬遊水地フェスティバル巡回活動及び12月には青少年地域交流活動として「こどもたいけんフェスタinふじおか」を実施した。更に「藤岡こどもネットワークだより」を発行し、広報とちぎ4月号にあわせて全戸配布した。

ア　4月の朝のあいさつ運動

実　施　日	会　　場	参加人数(人)
4月11日(木)	赤麻小	延べ47
4月16日(水)	部屋小	
4月17日(木)	藤岡中	
4月25日(金)	三鴨小	
4月30日(水)	藤岡小	

イ　11月の朝のあいさつ運動

実　施　日	会　　場	参加人数(人)
11月 5日(火)	部屋小	延べ44
11月 7日(金)	藤岡中	
11月11日(火)	三鴨小	
11月12日(水)	赤麻小	
11月 5日(木)	藤岡小	

ウ　青少年健全育成巡回活動の実施

実　施　日	内　　容	会　　場	参加人数(人)
12月13日(土)	渡良瀬遊水地フェスティバル巡回活動	渡良瀬遊水地子供広場ゾーン及び谷中湖北ブロック	8

エ　青少年地域活動

実　施　日	内　　容	会　　場	参加人数(人)
12月 7日(日)	こどもたいけんフェスタ inふじおか	藤岡公民館	382

(2)　家庭教育オピニオンリーダー会との共催により、主に暮らしに深く関わる行事を取り入れた事業と、親子での体験学習による交流とふれあいを目的とした講座を企画した。

実 施 日	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月30日(日)	どーなつクラブのクリスマス会	藤岡文化会館	61

(3)　藤岡子ども会育成会連絡協議会事業

実 施 日	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月24日(金)	みんなで花火を楽しもう！	藤岡公民館第二駐車場	100

4　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

藤岡公民館が本部となり藤岡地域の各小中学校と地域のつなぎ役である地域コーディネーターと学校支援ボランティアの支援を行うとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・藤岡地域教育協議会

実 施 日	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月17日(火)	(1) 各学校における今年度の取り組みについて (2) これまでの成果や課題等について意見交換	藤岡公民館2階大会議室2	24
2月 3日(火)	(1) 令和7年度事業について ア　藤岡地域各小・中学校の今年度の活動の成果と課題等について イ　次年度における事業、課題等について	藤岡公民館2階大会議室2	21

5　文化振興関係

栃木市藤岡文化祭

広く文化への意識の高揚と、市民の文化・芸能活動への参加意欲を高めるとともに、生涯学習の成果を発表し、参加者相互の交流発展に貢献することを目的とした、栃木市藤岡文化祭を実施した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月26日(日) 11月 1日(土) 11月 2日(日)	栃木市藤岡文化祭【栃木市藤岡文化団体連絡協議会共催】	藤岡公民館、藤岡文化会館	600

6　社会体育施設

(1)　施設の種類

施　設　名	建設年	面　積　(㎡)		備　　考
		敷　地	建　物	
藤岡渡良瀬運動公園	昭和55年	283,249		
藤岡総合体育館	昭和61年	29,149	3,334	鉄筋コンクリート造

藤岡弓道場	平成 6年	256	236	鉄骨・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造
三鴨スポーツ広場	平成14年	5,319		簡易水洗式トイレ

(2) 利用状況 (単位:人)

施設名	利用者数
藤岡渡良瀬運動公園	26,007
藤岡総合体育館	27,149
藤岡弓道場	1,275
三鴨スポーツ広場	2,231
合　　計	56,662

7 学校体育施設開放関係

(1) 利用状況

ア 学校体育施設(体育館) (単位:人)

学　　校　　名	人　　数
部屋小	1,102
赤麻小	3,380
三鴨小	1,664
藤岡中	3,540
合　計	9,686

イ 学校体育施設(武道場) (単位:人)

学　校　名	人　　数
藤岡中　格技場	4,881
藤岡中　弓道場	2,142

ウ 学校体育施設(運動場) (単位:人)

学　　校　　名	人　　数
藤岡小	0
部屋小	460
赤麻小	0
三鴨小	910
藤岡中	0
合　計	1,370

エ 学校体育施設(夜間照明) (単位:人)

学　　校　　名	人　　数
部屋小	575
三鴨小	0
藤岡中	0
合　計	575

8　地域活性化事業関係

地域から提案された種々の内容を精査し、藤岡公民館パワーアップ事業として伝統文化として「落語」を実施した。まず、公民館で開催している講座等に鑑み、市民活動への意欲の向上、利用者間の交流の仕組みの方向として、世代間交流の場として、藤岡中学校へ働きかけ、全校生徒が参加した結果、地域とのつながりをもつ機会の提供及び地域活性化事業としての目的を達成することができた。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月30日(金)	わたらせ寄席	藤岡文化会館	703

第４節　都賀地域づくり推進課

〔総括概要〕

都賀地域づくり推進課は、地域づくり推進係、市民保健福祉係、公民館係の3係体制である。

地域づくり推進係の主な分掌事務として、地域まちづくりセンターについては、地域会議の事務局を担当し、地域会議からは、「地域予算提案制度」により1つの事業を市長に提案した。また、まちづくり実働組織「まちづくりネットワーク『つが』」の運営支援を行った。

自治会事業については、都賀地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、「つながるネット」の活用により自治会からの相談に対し、適切な対応を行った。

交通安全対策事業については、交通安全運動における啓発や周知を行った。また、交通安全協会都賀支部の事務局として円滑な運営支援を行った。

窓口対応業務については、農業関係の届出書類、防犯灯や狂犬病予防法による犬の登録及び注射済票の交付の申請書類の受付など本庁関係課と連携し、市民サービス向上に努めた。

都賀総合支所複合化整備事業については、新しい都賀総合支所が令和7年2月25日に開庁したため、旧都賀総合支所解体工事や旧都賀公民館解体工事等を行った。

市民保健福祉係の主な分掌事務として、戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付、戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑証明書、マイナンバーカード等の交付を行った。

国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金事業については、各種申請書を受付し関連事務処理や相談業務等を行った。

医療費助成事業については、申請、登録及び変更などの受付を行った。

税務関係業務については、市税関係証明書交付等及び、市税等の収納を行った。

また、なんでも相談窓口を設置し、市民に寄り添った支援を行った。

保健福祉業務については、民生委員児童委員、日本赤十字社、遺族会に関する事務のほか、障がい者手帳や福祉サービス、福祉タクシー、高齢者関係、介護保険業務に関する各種申請受付等の事務を行った。

また、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請業務を行うとともに、予防接種事業等の案内を行った。

公民館係の主な分掌事務として、各種講座を開設し生涯学習の振興に努め、社会教育団体の支援、文化協会等の芸術文化団体の支援や青少年健全育成の推進、とちぎ未来アシストネット事業により地域住民と小中学校の交流を深め地域全体の活性化を図った。

生涯スポーツの振興については、都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバルを実施したほか、モルック大会、ターゲットバードゴルフ大会、自治会対抗ソフトボール大会を開催した。

また、身近にスポーツを楽しみ、様々なスポーツイベントが開催できるよう各施

設の利便性向上や適正管理に努めた。

地域づくり推進係

1　地域会議関係

都賀地域会議は、14人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和７年４月１日～令和９年３月31日）

区分	No.	氏名	備考
1号委員	1	茅島　淳二	都賀地域自治会連合会
	2	郡司　敦	都賀町商工会
	3	篠原　義雄	民生委員児童委員協議会
	4	大森　明美	都賀地域女性会
	5	狐塚　和義	ＰＴＡ連合会都賀・西方ブロック
	6	直井　茂	都賀地区スポーツ協会
	7	相田　美由紀	都賀文化協会
	8	青木　民夫	認定農業者協議会
	9	石本　俊光	まちづくりネットワーク『つが』
2号委員	10	辻原　正信	学識経験者
	11	大山　和昭	
	12	大橋　智	
3号委員	13	山本　文彦	公募に応じた者
	14	田島　富美子	

(2)　開催内容

ア　会議

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	4月22日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 各種委員の推薦について (2) 大柿西運動広場の用途廃止について（報告） 【担当課：都賀地域づくり推進課】 (3) その他
第2回	5月27日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 地域予算提案制度の検討について (2) その他
第3回	6月24日（火） 午後8時10分から 都賀総合支所 大会議室	(1)栃木市自治会公民館建築費等補助金交付要綱の一部改正について【情報提供:地域政策課】 (2) 地域予算提案制度の検討について (3) その他

第4回	7月22日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 令和7年度（R8.2～3月実施）申告受付の会場変更について【情報提供：税務課】 (2) 地域予算提案制度の検討について (3) その他
第5回	8月26日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 地域予算提案事業の検討について (2) その他
第6回	9月24日（水） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 地域予算提案制度の検討について (2) その他
第7回	11月25日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 地域予算提案事業の検討について (2) その他
第8回	1月27日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 栃木市文化財保存活用地域計画（素案）について（情報提供）【担当課：文化課】 (2) 地域予算提案制度の検討について (3) その他
第9回	※3月10日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室 ※悪天候のため中止	(1) 地域予算提案制度の検討について (2) その他

イ　部会

都賀地域会議には2つの部会があり、下記の内容で実施した。

(ｱ)　総務・産業・建設部会

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	11月25日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 地域予算提案制度の検討について

(ｲ)　民生・教育部会

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	11月25日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 地域予算提案制度の検討について

(3)　都賀地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「都賀地域会議だより」を各号4,050部発行した。

発行月	発行号数	体　裁
8月	第28号	A4判・両面・カラー刷り
3月	第29号	A4判・両面・カラー刷り

(4)　地域予算提案事業の概要　　（単位：千円）

事業名	事業費
都賀地域交通事故防止対策事業【継続】	434

2　まちづくり実働組織関係

地域の課題解決や活性化のために平成29年3月に設立されたまちづくり実働組織「まちづくりネットワーク『つが』」に、事業計画や補助金申請の手続きに関し支援を行った。

3　広聴関係

(1)　まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見や提案などを聴き、市民の声を今後の市政に活かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数(件)	フリートーク数(人)	自治会数	参加者数(人)
1	7月9日(水)	都賀公民館多目的室	都賀地域の自治会全て	11	7	30	49

4　自治会関係

自治会については、都賀地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1)　自治会活動の推進

自治会長名簿、班数及び世帯数の把握

・受付期間　3月～4月

・対象自治会　30自治会

(2)　都賀地域自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・単位自治会　30自治会

(ｲ)　役員

・会長1人、副会長3人、監事2人（総会で選出、任期1年）

イ　会議

開催日	名　称	内　容
4月14日（月）	役員選出	役員選出、各種委員の推薦
4月24日（木）	総会	役員選出、事業計画及び予算
5月29日（木）	第1回役員会	実施事業について
3月24日（火）	第2回役員会	総会について

ウ　主な事業

・災害時用の簡易土嚢（水嚢袋）の配布を行った。

5　文書発送関係

郵便物の発送、収受業務、本庁支所間の書類の発送を行った。

後納郵便発送件数　48,708件

6　支所庁舎内及び市有施設の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）
都賀総合支所エレベーター保守点検業務委託	810,480
総合支所空調設備・受水槽設備等点検業務委託	715,000
その他業務委託件数8件	2,994,622
合　計	4,520,102

7　支所庁舎内及び市有施設の修繕工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
都賀総合支所庁舎受水槽凍結漏水修繕工事	198,000
合　計	198,000

8　共用車管理状況

区　　分	数　量（台）
普通乗用（EV車）	1
小型乗用	1
軽乗用	1
軽貨物	1
合　計	4

9　行政財産使用料

区　　分	件数（件）	数　　量	収入金額（円）
東京電力㈱（電柱）	1	12本	18,000
東日本電信電話㈱（電柱）	1	7本	12,000
駐車場用地	1	5台	21,550
合　　計	3		51,550

10　行政財産等の管理に関する事務

行政財産等の貸付

区　　分	件　数	収入金額（円）
職員駐車場利用料	24人	140,920

合　　計		140,920

11　都賀総合支所複合化整備事業

合併後の公共施設再編モデル事業として、総合支所、公民館、図書館の機能を集約した施設として令和4年12月から工事を進め、令和7年2月9日の落成式を経て、2月25日に無事開庁することができた。

また、カーボンニュートラルを推進するため太陽光発電設備、蓄電池や電気自動車を購入し、再生可能エネルギーを活用した非常用電源設備であるV2Xシステムを導入した。

旧都賀総合支所跡地については、今後の利活用を考慮し、旧都賀総合支所解体工事後、隣接する市道43110号線・43118号線の道路整備工事を行った。

旧都賀公民館跡地については、隣接する市民運動場の駐車所用地として利用するため、旧都賀公民館解体工事後、外構工事を行った。

(1)　主要事業

ア　市道43110号線・43118号線整備に伴う用地測量業務委託

工　　事　　名	委託金額（円）
市道43110号線･43118号線整備に伴う用地測量業務委託	220,000
合　計	220,000

イ　旧都賀公民館跡地外構工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
旧都賀公民館跡地外構工事	27,698,000
市道 43110 号線・43118 号線　道路整備工事	19,910,000
その他都賀総合支所外構工事件数 11 件	7,691,860
合　計	55,299,860

ウ　旧都賀総合支所・旧都賀公民館解体工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
旧都賀総合支所解体工事	67,287,000
旧都賀公民館解体工事	70,323,000
その他付帯工事件数 4 件（旧公民館操作盤移設工事、総合支所南側敷地防護柵設置など）	2,948,000
合　計	140,558,000

12　防犯関係

防犯関係については、年末に防犯防火診断を実施し、都賀地域内の企業や公共施設を見回り、戸締り点検を実施した。

13　交通関係

(1)　交通安全運動等

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出等

・実施期間　4月6日(日)～15日(火)

イ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出等

・実施期間　9月21日(日)～30日(火)

ウ　交通安全市民大会

・開催日　9月27日（土）　栃木市文化会館

エ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出等

・実施期間　12月11日(木)～19日(金)

(2)　その他の交通安全対策

ア　交通指導員の設置　5名委嘱(都賀地域)

14　環境関係

環境保全に係る初動対応として、市民から野焼きや草木の繁茂等に関する苦情があった際は、現地に急行し状況確認や指導を行った。

栃木市地域クリーン推進員都賀支部

地域クリーン推進員の協力を得て、美化キャンペーン等を実施した。

・不法投棄監視及びごみ収集ステーションの管理

・地域クリーン推進員の嘱託状況32人

15　観光振興

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源のＰＲ、観光行事の充実等、観光関連事業を積極的に展開し、観光誘客と地域の活性化に努めた。

観光協会関係

観光資源を活かした観光行事の実施、(一社)栃木市観光協会都賀支部が実施する観光行事や観光ＰＲ事業等に対し補助金を交付した。

・つがまち観光協会事業補助金　271,000円

・主催事業　つがの里ハスまつり、つが花火大会

16　観光行事

(1)　第32回つがの里花まつり“花彩祭”

・実 施 日　　4月5日（土）～4月13日(日)

・主　　催　　つがの里花まつり実行委員会

・後　　援　　栃木市

・つがの里山桜開花期のみライトアップ

・イベント開催は期間中の土日のみ

(2)　第17回つがの里ハスまつり

・実 施 日　　6月

・主　　催　　（一社）栃木市観光協会都賀支部

・オンライン開催（インスタグラム、フォトコンテスト）

(3)　つが花火大会（第 25 回）

・実 施 日　　8 月 2 日（土）

・主　　催　　つが市民盆踊り大会実行委員会

・共　　催　　（一社）栃木市観光協会都賀支部

(4)　まるつがまつり 2025

・実 施 日　　11 月 16 日(日)

・主　　催　　まるつがまつり実行委員会

・共　　催　　栃木市

17　農業関係

農業経営改善計画書、利用権設定関係の申出書、農地利用最適化推進委員の活動報告書、農地の合意解約書などの受理。獣害対策設備設置補助申請書、鳥獣の捕獲等の許可申請書の受理及び添付資料の作成補助を行い担当課へ送付した。

また、認定農業者協議会都賀支部の支部活動を支援した。

18　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明書発行等の事務を行った。

件　　名	件　数(件)
耕作証明書	7
農家証明書	1
農家基本台帳の写し	2
合　　計	10

市民保健福祉係

1　戸籍・住民基本台帳関係届出処理件数　　（単位：件）

処　理　事　項		件　数	処　理　事　項	件　数
戸籍届（出生、死亡、婚姻等）		249	死体埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	－
住民異動届		827		
小　計		1,076	死胎埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	－
印鑑	登　録	222		
	廃　止	75	死産届	－
小　計		297	小　計	－
			合　計	1,373

2　謄抄本証明書等交付件数

種　　別		件数(件)	金額(円)	種　　別		件数(件)	金額(円)
	全部事項証明	887	399,150		世帯全員	596	178,800

戸籍証明書	個人事項証明	169	76,050	住民票	個　　人	1,479	443,700
	除籍謄本	1,012	759,000		証　　明	68	20,400
	除籍抄本	11	8,250		年金現況証明	−	−
	広域戸籍全部事項証明	71	31,950		戸籍の附票	186	55,800
	広域除籍全部事項証明	14	10,500		広　　域	2	600
	広域除籍謄本	113	84,750		小　　計	2,331	699,300
	戸籍証明	6	2,100	その他	印鑑登録	222	66,600
	受理証明	10	3,500		印鑑登録廃止	75	−
	廃棄証明	−	−		臨時運行許可証	207	155,250
	出産証明	−	−		労基証明	4	−
	戸籍電子証明書提供用識別符号	−	−		人口統計	−	−
	除籍電子証明書提供用識別符号	−	−		マイナンバーカード(有料)	78	62,400
	不受理証明	−	−		マイナンバーカード(無料)	1,366	−
	小　　計	2,293	1,375,250		特急発行マイナンバーカード(有料)	7	12,600
証明書	印鑑証明	1,424	427,200		特急発行マイナンバーカード(無料)	26	−
	諸 証 明	36	10,800		電子証明書(有料)	85	17,000
	身分証明	73	21,900		小　　計	2,070	313,850
	市町村合併証明	2	−	合　　計		8,229	2,848,300
	選挙証明	−	−				
	小　　計	1,535	459,900				

3　中長期在留者住居地届出等事務

各種申請書受理件数　　（単位：件）

件　　名	件数	件　　名	件数
新規上陸後の居住地届出	80	居住地の変更届出(転入)	59
資格変更等に伴う居住地届出	−	居住地の変更届出(転居)	22
特別永住者の居住地届出	−	特別永住者居住地の変更届出(転入)	−
特別永住者証明書の交付	−	特別永住者居住地の変更届出(転居)	−
法務省通知	−	市町村通知	−
		合　　計	161

4　国民健康保険の給付等に係る申請の受付事務

(1)　高額療養費の受付状況

・高額療養費受付件数　　505 件

・限度額適用認定証　　48 件

（標準負担額減額認定証を含む）

(2)　療養費の受付状況

・療養費受付件数　　25 件

(3)　出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数　　-件

(4)　葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数　　16 件

(5)　移送費の受付状況

・移送費受付件数　　-件

5　後期高齢者の給付等に係る申請の受付事務

各種申請書等受付件数　　（単位：件）

申請書種類	件　数
資格関係届出	130
高額療養費申請	286
その他の療養費申請	35
葬祭費申請	113
被保険者証等再交付申請	-
合　計	564

6　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付事務

資格関係等受付件数　　（単位：件）

種　別	件　数
重度心身障がい者医療費助成	26
こども医療費助成	174
妊産婦医療費助成	6
ひとり親家庭医療費助成	6

7　国民年金に係る申請等受付事務

(1)　諸届の受理件数　　（単位：件）

種　別	件　数	種　別	件　数
新規取得届	11	訂正・取消・不在	-
新規取得申出	-	付加年金取得届	4
再　取　得　届	109	付加年金喪失届	-
再取得申出	-	法定免除該当届	-
資格喪失届	5	法定免除消滅届	-
資格喪失申出	-	通知書再交付届	-
種別変更届	24	そ　の　他	1
		合　計	154

(2)　免除申請受理件数　　（単位：件）

種　　類	件　　数
免除・納付猶予申請	22
学生納付特例申請	18

(3)　国民年金請求受理件数　　（単位：件）

給付種類	件　　数
老齢基礎年金	－
障害基礎年金	－
遺族基礎年金	－
寡婦年金	－
死亡一時金	1
未支給年金	－
老齢福祉年金	－
合　　計	1

(4)　相談件数　　（単位：件）

相談の内訳	件　　数
来訪相談	130
電話相談	－
文書相談	－
合　　計	130

8　税務関係証明書等交付件数　　（単位：件）

区　　分	有料件数	無料件数
諸証明	1,534	162
公簿閲覧	61	16
合　　計	1,595	178

9　原動機付自転車等の標識交付事務　　（単位：件）

区　　分	取　得	廃　車	変　更
件　　数	55	78	30

10　市税等の収納事務

区　　分	件　数(件)	金　額（円）
市税等	4,959	76,150,148
水　　道	214	2,007,902
合　　計	5,173	78,158,050

11　延長窓口処理件数（1～11の内数）　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	2
住民票写し等交付	6
印鑑登録証明書交付	5
印鑑登録	5
戸籍届	－
住民異動届	1
臨時運行許可証交付	－
個人番号カードの交付	17
国民健康保険関係	2
後期高齢者医療費関係	1
医療費助成関係	－
税務関係証明書交付	2
その他	27
窓口及び電話による相談、問合せ等	－
合　　計	68

12　赤津郵便局証明発行委託件数（1～9の内数）（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	15
住民票写し等交付	20
印鑑登録証明書交付	43
税務関係証明書交付	2
合　　計	80

13　なんでも相談窓口相談件数　　（単位：件）

相 談 の 内 訳	件　　数
税	7
保険・年金	1
交通・防犯	－
ごみ・環境	8
人権	－
福祉	3
健康・医療	－
子ども・子育て	1
観光	－
農業・商業	3

道路	7
土地	1
住宅	7
上下水道	1
消防・防災	1
教育・文化	2
その他	5
合　　計	47

14　民生委員・児童委員関係

民生委員・児童委員28人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
4	7	1	11	2	－
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
－	4	17	191	237	8.5

(2)　調査等状況　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
252	31	544	1,855	3,264	5,946	212.3

15　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金や災害救護を実施した。

(1)　赤十字活動資金（社資）募集実績額

目標額（円）	実績額（円）	達成率（%）
1,235,150	899,403	72.8

(2)　災害による救援品配布状況

区　分	世帯数（世帯）	家族数（人）	毛布（枚）	布団（組）	緊急セット（個）
火　災	－	－	－	－	－

(3)　災害見舞金給付状況　（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
－	－	－	－	－

16　身体障がい者の現況（身体障害者手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視　覚　障　が　い	2

聴覚・平衡障がい	4
音声・言語・そしゃく障がい	2
肢体不自由障がい	7
内　部　障　が　い	25
複　合　障　が　い	－
合　　計	40

17　知的障がい者(児）の現況（療育手帳の申請受付状況）

知的障がい者(児）の支援を目的に療育手帳の申請受付を行い2人に手帳を交付した。

18　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
1　級	11
2　級	20
3　級	9
合　計	40

(2)　自立支援医療費（精神通院）申請受付状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、159件の申請があった。

19　身体障がい者（児）の補装具等の申請受付状況

(1)　補装具交付及び修理の申請件数　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	13
身体障がい児	1
合　計	14

(2)　日常生活用具の申請件数　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	35
身体障がい児	2
合　計	37

20　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）の申請受付件数

（単位：件）

区　分	申請受付件数

視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	－
免疫機能障がい	－
肢体不自由	－
心臓機能障がい	4
腎臓機能障がい	42
肝臓機能障がい	1
合計	47

21　自立支援医療（育成医療）の申請受付件数

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度。申請者なし。

22　各種手当の状況　（単位：件）

種別		新規申請受付件数
特定疾患者介護手当		13
重度障がい児支援手当		1
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	3
	障がい児福祉手当	－
	福祉手当（経過的）	－
特別児童扶養手当		－

23　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。　（単位：人）

区分	交付者数
高齢者（80歳以上）	264
高齢者（65～79歳）	74
障がい者	52
合計	390

24　学童保育事業

保護者の就労等により、放課後に家庭での保護指導を充分に受けることができない児童を対象として実施している、学童保育の利用を希望する保護者からの利用申請受付等を行った。

・学童保育受付件数　107件

25　児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

・児童手当受付件数　64件

26　赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、第2子以降が誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

（単位：件）

事業名	祝金額	件　数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　　10,000円	10
	第三子以降　20,000円	8

27　児童扶養手当・遺児手当

父母の離婚や死亡等により、父又は母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的に児童扶養手当や遺児手当の申請受付事務を行った。

（単位：件）

種　別	申請受付件数
児童扶養手当	74
遺児手当	1

28　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減、子育ての孤立化等による不安や悩みを抱える保護者の早期支援を行うために、お子様の出生時とおおむね生後4か月時に紙おむつとおしりふきの配布を行った。

・紙おむつとおしりふき配布件数　26件

29　保育園事業

保護者の就労や疾病等の理由により、家庭において安全な保育を受けられない乳幼児を対象に、保育園の利用を希望する保護者からの入園申請受付等を行った。

・保育園受付件数　17件

30　高齢者関係の申請受付状況

高齢者関係の各種申請受付等を実施した。

（単位：件）

種　別	件　数
老人福祉センター等団体送迎利用申請	－
敬老会事業補助金申請	29

緊急通報装置貸与申請	2
高齢者日常生活用具購入費補助金申請	19
高齢者日常生活用具レンタル料助成申請	3
健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成券交付申請	31
在宅寝たきり老人等介護手当申請	157
紙おむつ給付申請	42
戦没者の遺族に対する弔慰金請求書	23
合　計	306

31　介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
介護保険負担限度額認定申請	82
高額介護サービス費支給申請	58
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	－
介護予防サービス計画作成依頼（変更）届出書	－
短期入所連続利用等申請の受付	－
軽度者に対する福祉用具貸与の特例申請	－
福祉用具購入費支給申請	－
住宅改修費支給申請	－
被保険証等再交付申請	22
住所地特例適用・変更・終了届	1
受給資格証明書	6
障がい者控除対象者認定申請書	2
おむつ使用証明書	1
医療費控除（おむつ代）に係る主治医意見書内容確認書交付申請書	－
転送希望届	5
合　計	177

32　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種の予診票の配布を実施した。

公民館係

1　公民館使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
都賀公民館	913	21,129	550,470

2　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者学級（ふれあい大学）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月21日（水）	ピアノ＆マリンバコンサート	都賀公民館	22
6月19日（木）	現地研修	カゴメ那須工場 那須高原友愛の森	13
7月17日（木）	交通安全に関する講話	都賀公民館	21
8月 7日（木）	人権講話とマジックショー	都賀公民館	11
9月10日（水）	3B 体操	都賀公民館	29
10月23日（木）	視察研修	ガトーハラダ 読売新聞群馬工場	12
10月22日（水）	今、西方城が熱い	西方公民館	2
11月19日（水）	焼き絵体験	都賀公民館	15
12月10日（水）	多肉植物の寄せ植え	都賀公民館	12
1月21日（水）	美術鑑賞入門	都賀公民館	13

イ　成人学級（成人セミナー）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月21日（水）	ピアノ＆マリンバコンサート	都賀公民館	40
6月19日（木）	現地研修	カゴメ那須工場 那須高原友愛の森	25
7月31日（木）	スマホ基礎講座（午前、午後の２回）	都賀公民館	延べ 16
8月 7日（木）	人権講話とマジックショー	都賀公民館	27
9月18日（木）	秋の花の寄せ植え	都賀公民館	22
10月23日（木）	視察研修	ガトーハラダ 読売新聞群馬工場	26
11月 6日（木） 23日（木）	健康体操（全２回）	都賀公民館	延べ 43
11月22日（土）	楽しい音楽会 PartⅢin 西方文化祭	西方公民館	5
12月 4日（木）	ミニシクラメンを植えかえて春まで楽しもう	都賀公民館	17
1月21日（水）	美術鑑賞入門	都賀公民館	32

ウ　女性会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月21日（水）	視察研修	茨城県日立方面	18
6月2日（水）	会員研修　マドレーヌづくり	都賀公民館	14
7月27日（日）	環境美化(都賀市民運動場除草作業)	都賀市民運動場	21
8月 2日（土）	つが市民盆踊り大会協力	都賀市民運動場	17

11月16日（日）	まるつが出店協力	都賀総合支所	7
12月17日（水）	寄せ植え講座	都賀公民館	23

(2)　二十歳の集い関係（都賀会場）

二十歳の集い

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月 9日（土）	令和８年二十歳の集い実行委員会	都賀公民館	7
1月11日（日）	令和８年二十歳の集い	都賀公民館	87

(3)　青少年教育関係

青少年の健全育成のため、子どもふれあい楽習教室を開催した。

都賀町のこどもを育む会等が実施する自然の中で体験学習を行う事業を支援することで、地域の自然及び自然愛護を知り、自然愛護の心を培い、豊かな人間性を養った。

ア　少年少女学級（子どもふれあい楽習教室）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月17日（土）	ニュースポーツを楽しもう	都賀体育センター	27
6月14日（土）	「昔語り」で学ぶふるさと栃木	都賀公民館	16
7月 5日（土）	おこづかいゲームでお金について知ろう	都賀公民館	17
8月21日（木）	校外学習	茨城空港 他	26
9月20日（土）	３Ｂ体操ってどんなことをするの？	都賀公民館	19
10月18日（土）	顕微鏡をつくろう	都賀公民館	17
11月15日（土）	ユニホック	都賀体育センター	18
12月20日（土）	焼き絵に挑戦しよう	都賀公民館	23
1月24日（土）	餅つき＆バルーンアート	都賀公民館	22

イ　都賀町のこどもを育む会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月 3日（土）	タケノコ掘り体験	木地区ほ場	43
5月24日（土）	ホタルナイトウォッチング	大柿ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ他	36
6月 1日（日）	さつまいも苗植え	木地区ほ場	37
11月 2日（日）	さつまいも掘り体験	木地区ほ場	40
1月24日（日）	餅つき＆バルーンアート	都賀公民館	44
2月21日（土）	小鳥の巣箱作り	つがの里	18

ウ　都賀町子ども会育成会連絡協議会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月26(土)～27日(日)	都賀防災リーダー研修会	大柿ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	24
8月 2日（土）	つが市民盆踊り大会協力	都賀市民運動場	5,000
12月 6日（土）	カルタ大会	都賀公民館	68

エ　ジュニアリーダースクラブ

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
12月24日（水）	サンタの宅配サービス	都賀地域全域	10

(4)　その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月 2日（土）	つが市民盆踊り大会	都賀市民運動場	5,000

3　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　都賀地域女性会、家庭教育オピニオンリーダー会、都賀町のこどもを育む会、子ども会育成会連絡協議会、ジュニアリーダースクラブ、青年団

4　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・都賀地域教育協議会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月12日（木）	第1回都賀アシストネット地域教育協議会	都賀公民館	13
1月19日（月）	第2回都賀アシストネット地域教育協議会	都賀公民館	13

5　子育て支援関係

子育て中の保護者を対象に親学習プログラム等を活用し、家庭教育の推進を図る。

子育て支援講座等

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
9月9日(火)	就学時健康診断を活用した親学習プログラム 仲間づくり「入学に向けて話し合ってみよう!」	赤津小学校	12
11月12日(金)	ハッピー子育て講座 テーマ「家庭で読書をすすめてみませんか?」	真名子小学校	30
11月16日(日)	まるつが出展協力「松ぼっくりを使ったミニクリスマスツリーづくり」	都賀総合支所	90
12月 5日(金)	ハッピー子育て講座 テーマ「家庭で読書をすすめてみませんか?」	皆川城東小学校	25

1月20日(火)	一日入学を活用した親学習プログラム 親学習プログラム　仲間づくり「入学に向けて話し合ってみよう!」	合戦場小学校	63
1月 21日(水)	一日入学を活用した親学習プログラム 親学習プログラム　仲間づくり「入学に向けて話し合ってみよう!」	家中小学校	22

6　文化振興関係

・芸能文化団体関係

市民の自主的で創造的な文化芸術活動の成果の発表を通じて、身近に文化に触れる機会をつくり、文化芸術の振興発展、地域や世代を越えた市民相互の交流とともに活力あるまちづくりを目指して、芸能文化団体の発表を行った。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月30日（木） ～11月9日（日）	都賀町菊花展	都賀総合支所 入口付近	200
11月8日（土） ～11月23（日）	都賀文化祭 作品展示「ギャラリー・ロビー」	都賀総合支所ロビー	450
11月 9日（日）	歌謡部門発表	都賀公民館	170
11月 9日（日）	フラワーアレンジメント体験教室	都賀総合支所ロビー	30
11月21日（金）	囲碁大会	都賀公民館	5
11月23日（日）	芸能・音楽部門発表	都賀公民館	200

7　社会体育施設

(1)　施設の種類

施　設　名	建設年	面　積（㎡）		備　考
		敷　地	建　物	
都賀市民運動場	平成11年	15,537.06	－	
都賀体育センター	昭和50年	2,413.00	999.91	鉄骨平屋、瓦棒葺
つがスポーツ公園多目的広場	平成11年	48,500.00	－	
つがスポーツ公園ﾃﾆｽｺｰﾄ	平成 4年	4,017.00	－	
都賀南部コミュニティセンター	平成 8年	9,064.86	935.11	鉄骨造
木コミュニティセンター	平成 5年	7,677.31	821.40	鉄骨造
大柿コミュニティセンター	昭和60年	4,013.00	517.63	鉄骨造

(2)　利用状況　　（単位：人）

施設	人数
都賀市民運動場	16,431
都賀体育センター	14,354
つがスポーツ公園多目的広場	7,019

つがスポーツ公園テニスコート	5,896
都賀南部コミュニティセンター	18,544
木コミュニティセンター	17,462
大柿コミュニティセンター	1,681
合　　計	81,387

8　学校体育施設開放関係

(1)　利用状況

ア　学校体育施設（体育館）　　（単位：人）

学校名	利用人数
合戦場小	6,972
家 中 小	11,570
赤 津 小	40
都 賀 中	10,516
合　計	29,098

イ　学校体育施設（運動場）　　（単位：人）

学校名	利用人数
合戦場小	2,940
家 中 小	3,930
赤 津 小	7,454
都 賀 中	620
合　計	14,944

ウ　学校体育施設（夜間照明）　　（単位：人）

学校名	利用人数
合戦場小	7,076
家 中 小	9,566
赤 津 小	5,292
合　計	21,934

第５節　西方地域づくり推進課

〔総括概要〕

西方地域づくり推進課は、地域づくり推進係、市民保健福祉係、公民館係の３係体制である。

地域づくり推進係の主な分掌事務として、地域まちづくりセンターとして地域会議の事務局を担当し、地域会議からは、「地域予算提案制度」により３つの事業を市長に提案した。また、まちづくり実働組織「にしかたわくわく隊」の運営支援を行った。

自治会事業については、西方地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、「つながるネット」の活用により自治会からの相談に対し、適切な対応を行った。

交通安全対策事業については、交通安全運動における啓発や周知を行った。また、交通安全協会西方支部の事務局として円滑な運営支援を行った。

窓口対応業務については、農業関係の届出書類、防犯灯やカーブミラー設置の申請書類の受付など本庁関係課と連携し、市民サービス向上に努めた。

市民保健福祉係の主な分掌事務として、戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑証明書、マイナンバーカード等の交付を行った。

国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金事業については、各種申請書を受付し関連事務処理や相談業務等を行った。

医療費助成事業については、各種医療費助成の申請受付や受給資格者の登録及び変更などの受付を行った。

税務関係業務については、市税関係証明書交付、名寄帳等の閲覧、原動機付自転車等の標識交付・返納のほか、市税等の収納を行った。

保健福祉関係業務については、民生委員・児童委員、日本赤十字社、遺族会に関する事務、障がい者手帳、障がい福祉サービス、福祉タクシー、高齢者関係、介護保険業務に関する各種申請受付事務等を行うとともに、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務並びにすくすく子育て応援事業における紙おむつ等の配付を行ったほか、集団検診の予約受付及び予防接種事業の案内を行った。

また、なんでも相談窓口を設置し、市民に寄り添った支援を行った。

真名子出張所においては、戸籍、住民基本台帳、税関係の証明、資格確認書等の交付、医療費助成の申請受付、市税等の収納のほか、真名子夢ホールの利用承認及び維持管理を行った。

公民館係の主な分掌事務として、各種講座を開設し生涯学習の振興に努め、社会教育団体の支援、文化協会等の芸術文化団体の支援や青少年健全育成の推進、とちぎ未来アシストネット事業により地域住民と小中学校の交流を深め地域全体の活性化を図った。

また、生涯スポーツの振興については、モルックやボッチャ、ピックルボールをはじめとしたニュースポーツ体験を中心とした「第３回にしかたニュースポーツフェス！」（旧西方地域体育祭）や地域住民の健康維持に寄与するするため、ストレッチを

中心とした健康教室「ぴんぴん体操」を開催した。さらに施設の適正管理を行い、身近にスポーツを楽しめる環境づくりに努めた。

地域づくり推進係

1　地域会議関係

西方地域会議は、14名の委員により下記の内容で開催した。

(1)　委員（任期　令和7年4月1日～令和9年3月31日）

区　　分	No.	氏　　名	備　　考
1号委員	1	大柿　忍	栃木市西方地区スポーツ協会
	2	早乙女　公子	西方商工会
	3	村上　隆一	西方地区民生委員児童委員協議会
	4	山ノ井　雄平	西方地域自治会連合会
	5	長島　寿幸	西方地区社会福祉協議会
	6	福田　くみ子	西方文化協会
	7	木村　勇雄	栃木市認定農業者協議会西方支部
	8	増田　尚久	栃木市ＰＴＡ連合会都賀・西方ブロック
2号委員	9	青木　利男	学識経験を有する者
	10	青木　彩季	
	11	針谷　伸一	
	12	渡邊　隆夫	
3号委員	13	天海　伸拓	公募に応じた者
	14	荒木　正孝	

(2)　開催内容

ア　会議

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	4月24日(木) 午後6時30分～ 西方公民館2階大会議室	委嘱状交付 情報提供 ・地域未来ビジョン、地域会議の手引きについて 協議事項 ・各種委員の推薦について ・地域予算提案事業計画書にかかる予算措置の結果について ・西方地域会議年間予定について
第2回	5月22日（木） 午後6時30分 西方公民館2階大会議室	委嘱状交付 協議事項 ・地域未来ビジョン、地域会議の手引きの質疑について ・令和8年度地域予算提案事業の検討について

第 3 回	6 月 26 日（木） 午後 6 時 30 分 西方公民館 2 階大会議室	情報提供 ・栃木市自治会公民会建築費等補助金交付要綱の一部改正について 協議事項 ・令和 8 年度地域予算提案事業の検討について
第 4 回	7 月 24 日（木） 午後 6 時 30 分 西方公民館 2 階大会議室	情報提供 ・令和 7 年度市民税県民税申告受付の会場変更について 協議事項 ・令和 8 年度地域予算提案事業の検討について
第 5 回	8 月 28 日（木） 午後 6 時 30 分 西方公民館 2 階大会議室	協議事項 ・令和 8 年度地域予算提案事業について ・栃木市子ども」子育て会議委員候補者の推薦について
第 6 回	11 月 27 日（木） 午後 6 時 30 分 西方公民館 2 階大会議室	協議事項 ・各地域会議から提出された令和 8 年度実施地域予算事業計画書について ・令和 7 年度栃木市地域自治交流会の開催について
第 7 回	1 月 22 日（木） 午後 6 時 30 分 西方公民館 2 階大会議室	情報提供 ・栃木市文化財保存活用地域計画（素案）について

イ　部会

部会の構成

総務産業建設部会、教育民生部会

(3)　西方地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
8 月	第 32 号	A3 版二つ折両面カラー刷り
2 月	第 33 号	A4 版両面カラー刷り

※各号2,000部発行

(4)　地域予算提案事業の概要　　（単位：千円）

事業名	事業費
西方地域案内マップ作成事業	198
西方地域案内板修繕事業	652
西方ふれあいパーク管理事業【継続】	1,478

2　まちづくり実働組織関係

地域の課題解決や活性化のために平成28年8月に設立されたまちづくり実働組織「にしかたわくわく隊」に、事業計画や補助金申請の手続に関し支援を行った。

3　広聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見や提案などを聴き、市民の声を今後の市政運営に活かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数(件)	テーマトーク数（人）	フリートーク数（人）	自治会数	参加者数（人）
1	7月4日(金)	ゆったり～な（栃木市北部健康福祉センター)	西方地域の自治会全て	6	5	5	39	51

4　自治会関係

自治会については、西方地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1)　自治会活動の推進

ア　単位自治会の把握

(ｱ)　自治会長名簿

次年度自治会長名簿の取りまとめ

・受　付　期　間　1月～3月

・対　象　自　治　会　39自治会

(ｲ)　班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

・受　付　期　間　3月～4月

・対　象　自　治　会　39自治会

イ　自治会長等報償金の支出

(ｱ)　各自治会の報償金振込先調査

・調　査　時　期　11月

・対　象　自　治　会　39自治会

・支　払　時　期　2月

(2)　西方地域自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・単位自治会　39自治会

(ｲ)　役員

・会長1人、副会長1人、理事3人、会計1人、監事2人（総会で選出、任期1年）

イ　会議

(ｱ)　総会

文書総会とし、議事についての表決書により過半数の承認をもって可決された。

・実施日　4月24日(木)

・内　容　役員の選出、事業計画及び予算について

(ｲ)　第1回役員会

・実施日　4月9日(水)

・内　容　役員の選出、各種委員の推薦について

(ｳ)　第2回役員会

・実施日　6月17日(火)

・内　容　令和7年度事業計画について

(ｴ)　第3回役員会

・実施日　2月24日(火)

・内　容　令和7年度西方地域自治会連合会定期総会について

ウ　主な事業

(ｱ)　ごみ減量啓発関連用品として、全世帯に啓発シラシと燃やすごみ袋を配布した。

(ｲ)　防災啓発のため、防災対策についての栃木市出前講座を開催した。

5　文書発送関係

郵便物の発送、収受業務、本庁支所間の書類の発送を行った。

後納郵便発送件数　15,275件

6　支所庁舎内及び市有施設の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）
庁舎夜間警備保守業務委託	450,996
その他の業務委託件数　15件	2,711,774
合　　計	3,162,770

7　支所庁舎内及び市有施設の修繕工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
支所内自動ドア装置修繕工事	429,000
その他の修繕件数　3件	355,300
合　　計	784,300

8　共用車管理状況

区　　分	数　量（台）
普通乗合（マイクロバス　25人）	1
小型乗用	2
軽乗用	1
小型貨物	3
軽貨物	2
合　計	9

9　行政財産使用料

区　　分	件数（件）	数　　量	収入金額（円）
東京電力パワーグリッド（株）（電柱、支線）	1	8本	12,000
東日本電信電話（株）（電話柱等）	1	7本	10,500
日本郵便（株）鹿沼郵便局(郵便ポスト)	1	1基	380
（株）オリエンタルトラスト（温泉給水管埋設）	1	10.12㎡	5,819
庁舎内自動販売機（1社）	0	0台	0
駐車場(職員用)	1	18台	112,320
その他（庁舎1階廊下等）	1	1日	100
合　　計	7	－	225,980

10　市営金崎有料駐車場利用状況

区　　分	件数（件）	収入金額（円）
年額利用	7	252,000
月額利用	3	17,500
合　　計	10	269,500

11　防犯関係

防犯関係については、防犯防火診断を実施し、巡回パトロール及び啓発物品の配布を行った。

・日　時　12月5日（金）

12　交通関係

交通安全運動等

(1)　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗掲出等

・実施期間　4月5日(土)～15日(火)

(2)　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗掲出等

・実施期間　9月21日(日)～30日(火)

(3)　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報

・実施期間　12月11日(木)～31日(水)

13　環境関係

(1)　美しいまちづくりの日（一斉清掃）の実施

西方地域は地域クリーン推進員の協力を得て、6月と11月の第3日曜日を「美しいまちづくりの日」として、全戸参加による自主的な清掃活動を自治会単位で実施した。

・地域クリーン推進員の委嘱状況　39人
・実 施 日　6月15日（日）、11月16日（日）
・場　　所　西方地域内各地
・内　　容　ごみ拾い、草むしり
・参加人数　約2,447人

(2)　その他環境保全対応

環境保全に係る初動対応として、市民から野焼きや草木の繁茂等に関する苦情があった際は、現地に急行し状況確認や指導を行った。

14　観光振興

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源のＰＲ、観光行事の充実等、観光関連事業を積極的に展開し、観光誘客と地域の活性化に努めた。

観光協会関係

観光資源を活かした観光行事の実施、（一社）栃木市観光協会西方支部が実施する観光行事や観光ＰＲ事業等に対し補助金を交付した。

・観光協会事業補助金　450,000円
・主催事業　にしかた金崎の桜祭り

15　観光行事

(1)　ど田舎にしかた祭り（にしかたふるさと祭り）

・実 施 日　　12月7日（日）
・主　　催　　にしかたふるさと祭り実行委員会
・共　　催　　栃木市
・場　　所　　道の駅にしかた西側田んぼ
・内　　容　　俵飛ばし大会、田んぼ相撲、花火、和楽器演奏等
・参加人数　　6,500人
・事 業 費　　2,379,365円(負担金1,200,000円)

(2)　にしかた金崎の桜祭り

・実 施 日　　4月4日（土）～4月12日(日)
・主　　催　　にしかた桜祭り実行委員会、(一社）栃木市観光協会西方支部

16　農業関係

地域農業者への利便を図るため、農業関係書類の受付を行い所管課へ引継ぎを行った。

17　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明書発行等の事務を行った。

件　　名	件　数(件)
耕作証明書	4
農家証明書	1
農家基本台帳の写し	1
合　　計	6

市民保健福祉係

1　戸籍・住民基本台帳関係届出処理件数　　（単位：件）

処　理　事　項		件数	処　理　事　項	件数
戸籍届（出生、死亡、婚姻等）		50	死体埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	9
住民異動届		244		
小　計		294	死胎埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	－
印鑑	登　録	123		
	廃　止	26	死産届	－
小　計		149	小　計	9
			合　計	452

2　謄抄本証明書等交付件数

種　別		件数(件)	金額(円)	種　別		件数(件)	金額(円)
戸籍証明書	全部事項証明	399	179,550	住民票	世帯全員	226	67,800
	個人事項証明	87	39,150		個　人	736	220,800
	除籍謄本	447	335,250		証　明	25	7,500
	除籍抄本	8	6,000		年金現況証明	－	－
	広域戸籍全部事項証明	36	16,200		戸籍の附票	61	18,300
	広域除籍全部事項証明	14	10,500		広　域	－	－
	広域除籍謄本	68	51,000		小　計	1,048	314,400
	戸籍証明	－	－	その他	印鑑登録	123	36,900
	受理証明	2	700		印鑑登録廃止	26	－
	廃棄証明	1	－		臨時運行許可証	117	87,750
	出産証明	－	－		労基証明	1	－
	戸籍電子証明書提供用識別符号	－	－		人口統計	－	－
	除籍電子証明書提供用識別符号	－	－		ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰｶｰﾄﾞ(有料)	47	37,600
	不受理証明	－	－		ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰｶｰﾄﾞ(無料)	562	－
	小　計	1,062	638,350		特急発行マイナンバーカード(有料)	1	1,800
証明書	印鑑証明	721	216,300		特急発行マイナンバーカード(無料)	7	-
	諸 証 明	8	2,400		電子証明書(有料)	48	9,600

	身分証明	36	10,800		小　　計	932	173,650
	市町村合併証明	1	－	合　　計		3,808	1,355,900
	選挙証明	－	－				
	小　　計	766	229,500				

3　中長期在留者住居地届出等事務

各種申請書受理件数　（単位：件）

件　　名	件数	件　　名	件数
新規上陸後の居住地届出	52	居住地の変更届出(転入)	40
資格変更等に伴う居住地届出	－	居住地の変更届出(転居)	58
特別永住者の居住地届出	－	特別永住者居住地の変更届出(転入)	－
特別永住者証明書の交付	－	特別永住者居住地の変更届出(転居)	－
法務省通知	－	市町村通知	－
		合　　計	150

4　国民健康保険の給付等に係る申請の受付事務

(1)　高額療養費の受付状況

・高額療養費受付件数　275 件

・限度額適用認定証　21 件

（標準負担額減額認定証を含む）

(2)　療養費の受付状況

・療養費受付件数　18 件

(3)　出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数　－件

(4)　葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数　8 件

(5)　移送費の受付状況

・移送費受付件数　－件

5　後期高齢者の給付等に係る申請の受付事務

各種申請書等受付件数　（単位：件）

申請書種類	件　　数
資格関係届出	75
高額療養費申請	117
その他の療養費申請	27
葬祭費申請	51
被保険者証等再交付申請	－
合　　計	270

6　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付事務

資格関係等受付件数　（単位：件）

種別	件数
重度心身障がい者医療費助成	16
こども医療費助成	39
妊産婦医療費助成	14
ひとり親家庭医療費助成	19

7　国民年金に係る申請等受付事務

(1)　諸届の受理件数　（単位：件）

種別	件数	種別	件数
新規取得届	10	訂正・取消・不在	－
新規取得申出	－	付加年金取得届	－
再取得届	49	付加年金喪失届	－
再取得申出	－	法定免除該当届	1
資格喪失届	6	法定免除消滅届	－
資格喪失申出	－	通知書再交付届	－
種別変更届	9	その他	1
		合計	76

(2)　免除申請受理件数　（単位：件）

種類	件数
免除・納付猶予申請	13
学生納付特例申請	4

(3)　国民年金請求受理件数　（単位：件）

給付種類	件数
老齢基礎年金	2
障害基礎年金	－
遺族基礎年金	－
寡婦年金	－
死亡一時金	－
未支給年金	1
老齢福祉年金	－
合計	3

(4)　相談件数　（単位：件）

相談の内訳	件数
来訪相談	80
電話相談	4
文書相談	－

合　　計	84

8　税務関係証明書等交付件数　　（単位：件）

区　　分	有料件数	無料件数
諸 証 明	874	84
公簿閲覧	26	18
合　　計	900	102

9　原動機付自転車等の標識交付事務　　（単位：件）

区 分	取 得	廃 車	変 更
件 数	24	25	11

10　市税等の収納事務

区　　分	件　数(件)	金　額（円）
市 税 等	3,154	46,709,127
水　　道	249	2,640,283
合　　計	3,403	49,349,410

11　延長窓口処理件数(1～10の内数)　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	3
住民票写し等交付	3
印鑑登録証明書交付	3
印鑑登録	2
戸籍届	－
住民異動届	1
臨時運行許可証交付	－
個人番号カードの交付	9
国民健康保険関係	1
後期高齢者医療費関係	－
医療費助成関係	－
税務関係証明書交付	3
その他	11
窓口及び電話による相談、問合せ等	2
合　　計	38

12　なんでも相談窓口相談件数　　（単位：件）

区　　分	件　　数

税	0
保険・年金	0
交通・防犯	1
ごみ・環境	16
人権	0
福祉	2
健康・医療	1
子ども・子育て	1
観光	0
農業・商業	3
道路	8
土地	0
住宅	0
上下水道	1
消防・防災	0
教育・文化	0
その他	1
合　　計	34

13　真名子出張所発行等件数(1～10の内数)　　(単位：件)

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	98
住民票写し等交付	113
印鑑登録証明書交付	97
印鑑登録	9
印鑑登録廃止	4
諸証明交付	3
市税等収納	416
税諸証明交付	65
合　　計	805

14　真名子夢ホール使用状況

施　　設　　名	使用件数(件)	使用人数(人)	使　用　料(円)
真 名 子 夢 ホ ー ル	455	5,213	3,410

15　民生委員・児童委員関係

民生委員・児童委員18人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
29	17	15	8	9	3
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
－	20	35	178	314	17.44

(2)　調査等状況　　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
82	19	502	518	3,072	4,193	232.94

16　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金や災害救護を実施した。

(1)　赤十字活動資金（社資）募集実績額

目安額	実績額	達成率
612,850円	598,700円	97.7%

(2)　災害による救援品配布状況

区　分	世帯数（世帯）	家族数（人）	毛布（枚）	布団（組）	緊急セット（個）
火　災	－	－	－	－	－

(3)　災害見舞金給付状況　　（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
－	－	－	－	－

17　身体障がい者の現況（身体障害者手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視　覚　障　が　い	－
聴覚・平衡障がい	1
音声･言語･そしゃく障がい	－
肢体不自由障がい	2
内　部　障　が　い	12
複　合　障　が　い	－
合　計	15

18　知的障がい者(児）の現況（療育手帳の申請受付状況）

知的障がい者(児）の支援を目的に1人に対し療育手帳の申請受付を行った。

19　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳申請受付件数)

（単位：件）

区　分	申請受付件数
1　級	4
2　級	10
3　級	4
合　計	18

(2)　自立支援医療費（精神通院）申請受付状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、62件の申請があった。

20　身体障がい者（児）の補装具等の申請受付状況

(1)　補装具交付及び修理の申請件数（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	5
身体障がい児	－
合　計	5

(2)　日常生活用具の申請受付状況　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	18
身体障がい児	1
合　計	19

21　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）の申請受付件数

（単位：件）

区　分	受付件数
視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	－
免疫機能障がい	－
肢体不自由	－
心臓機能障がい	1
腎臓機能障がい	24
合　計	25

22　自立支援医療（育成医療）の申請受付件数

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度。申請者無し。

23　各種手当の状況　　（単位：件）

種　別		新規申請件数
特定疾患者介護手当		9
重度障がい児支援手当		1
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	1
	障がい児福祉手当	－
	福祉手当（経過的）	－
特別児童扶養手当		3

24　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。　　（単位：人）

区　　分	交 付 者 数
高齢者（80 歳以上）	77
高齢者（65～79 歳）	17
障がい者	13
合　　計	107

25　学童保育事業

保護者の就労等により、放課後に家庭での保護指導を充分に受けることができない児童を対象として実施している、学童保育の利用を希望する保護者への事業案内を行った。

26　児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

・児童手当受付件数　4件

27　赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、第2子以降が誕生した市内に住所を有する保護者から、赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

（単位：件）

事業名	祝金額	件　数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　　10,000円	3
	第三子以降　20,000円	2

28　児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって父又は母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方又は両方が死亡した児童について遺児手当の案内･相談･受付を行っ

た。

（単位：件）

種　別	件　数
児童扶養手当	3
遺児手当	－

29　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減、子育ての孤立化等による不安や悩みを抱える保護者の早期支援を行うために、子の出生時に紙おむつとおしりふきの配付を行った。

・紙おむつとおしりふき配付件数　9件

30　保育園事業

保護者の就労や疾病等の理由により、家庭において安全な保育を受けられない乳幼児を対象に、保育園の利用を希望する保護者からの入園申請受付等を行った。

・入園受付等件数　9件

31　高齢者関係の申請受付状況

高齢者関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
老人福祉センター等団体送迎利用申請	－
敬老会事業補助金申請	36
緊急通報装置貸与申請	－
高齢者日常生活用具購入費補助金申請	10
高齢者日常生活用具レンタル料助成申請	1
健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成券交付申請	2
在宅寝たきり老人等介護手当申請	59
紙おむつ給付申請	10
戦没者の遺族に対する弔慰金請求書	10
合　計	82

32　介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
介護保険負担限度額認定申請	40
高額介護サービス費支給申請	23
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	6
介護予防サービス計画作成依頼（変更）届出書	－
短期入所連続利用等申請の受付	－
軽度者に対する福祉用具貸与の特例申請	－

福祉用具購入費支給申請	－
住宅改修費支給申請	－
被保険証等再交付申請	7
住所地特例適用・変更・終了届	－
受給資格証明書	1
障がい者控除対象者認定申請書	－
おむつ使用証明書	－
医療費控除（おむつ代）に係る主治医意見書内容確認書交付申請書	－
転送希望届	－
その他	－
合　計	77

33　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種の予診票の配布を実施した。

公民館係

1　公民館等使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
西方公民館	868	10,968	93,205

2　生涯学習推進関係

(1)　生涯学習公開事業

全講座受講生及び幅広い市民の方々に参加を募り、公開講座を通して地域・世代間交流を深めるとともに、地域に根ざした生涯学習を行った。

ア　生涯楽習のつどい

西方公民館で活動する社会教育団体、講座受講生等が一堂に集い、生涯にわたって学習する気運を醸成することを目的として企画した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
2月14日（土）	生涯楽習のつどい 西方に響くオカリナの調べ	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）	78

(2)　成人教育関係

ア　高齢者学級（会い逢い楽校）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月11日(金)	那須烏山を知ろう、味わおう！	那須烏山市	37
8月 7日(木)	人権講話とマジックショー	都賀公民館	1
9月 5日(金)	小山を知ろう、味わおう！	小山市	30

9月17日(水)	作ってみよう！ヨシ細工 ～ミニヨシ作り灯りを楽しもう～	西方公民館	14
10月 8日(水)	「食」をテーマにした講演会	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	40
10月22日(水)	今、西方城が熱い！！ ～国史跡　西方城を知る！～	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	29
11月 6日(木)	健康体操①	都賀公民館	4
11月27日(木)	健康体操②	都賀公民館	4
12月 4日(木)	しめ縄づくり	西方公民館	14

イ　成人講座(TAMBO College)

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月14日(月)	西方珈琲品評会　～缶コーヒー、インスタント、ドリップパック、専門店飲み比べ～	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	13
9月10日(水)	畳を学び畳コースターを作る	西方公民館	14
9月20日(土)	生産者が語るクラフトビールの世界	西方ふれあいパーク	16
11月 8日(土)	神楽殿　和楽器コンサート	近津神社	49
11月15日(土)	暗闇体験会	真名子夢ホール	8

ウ　趣味の講座

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月11日(土)	ＤＩＹ講座「回覧板の入る木製ポストつくり」	西方中学校	10

(3)　二十歳の集い関係(西方会場)

二十歳の集い

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月16日(土)	第1回二十歳の集い実行委員会	西方公民館	9
9月21日(日)	第2回二十歳の集い実行委員会	西方公民館	8
10月26日(日)	第3回二十歳の集い実行委員会	西方公民館	4
1月10日(土)	令和8年栃木市二十歳の集い（西方地域）リハーサル	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	9
1月11日(日)	令和8年栃木市二十歳の集い（西方地域）	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	48

(4)　女性教育関係

女性学級（おびくにセミナー）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月27日(金)	ソング＆ソング絆　歌声サロン	関東ホーチキにしかた体育館(西方総	41

		合文化体育館)	
7月15日(火)	SDGs シーグラス素敵です！	西方公民館	28
9月11日(木)	SDGs ディンプルアートの魅力	西方公民館	35
11月5日(水)	そうだ！　日光へ行こ！！ 「世界遺産　日光二社一寺」	日光市	42
11月12日(水)	愛情いっぱい！料理教室 シュウマイ＆スイートポテト春巻き	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	24
11月22日(土)	楽しい音楽会 PartⅢ in 西方文化祭	関東ホーチキにしかた体育館(西方総合文化体育館)	50
12月24日(水)	X'mas　Concert	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	68

(5)　青少年教育関係

少年少女学級（わくわく子ども塾）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月 30日(水)	君よ技術者たれ！ 水陸両用車作りに挑戦しよう！	西方公民館	20
8月 5日(火)	君よ虫博士たれ！ クワガタムシ・カブトムシとふれ合おう！	西方公民館	14
8月 7日(木)	君よ技術者たれ！ ASIMO づくり！	西方公民館	21
8月20日(水)	君よ科学者たれ！ 木の不思議を知ってスクラッププロボットを作ろう！	西方公民館	23
8月22日(金)	君よ科学者たれ！ -196℃の世界を体験しよう！	西方小学校	20

(6)　家庭教育関係

西方家庭教育オピニオンリーダー会「こーらす」主催の親子での体験学習による交流とふれあいを目的とした講座を実施した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月 7日(土)	親子で米粉パンを焼こう	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	58
9 月 26 日(金)	就学時健康診断時子育て講座	西方小学校	21

(7)　その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月23日 (土)	にしかた子ども夏まつり	関東ホーチキにしかた体育館 (西方総合	1,200

		文化体育館）	
11月22日（土） 11月23日（日）	西方文化祭	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）	延べ666
12月27日（土）	クリスマス会	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	110

3　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力した。

・対象団体　西方地域婦人会、西方家庭教育オピニオンリーダー会「こーらす」、西方子ども会育成会連絡協議会、西方文化協会、にしかた子どもネットワーク

4　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・西方地域教育協議会　2回、研修　1回、広報紙配布　2回

5　子育て支援関係

子育て支援として家庭教育の推進を図るため、子育て中の保護者を対象に家庭教育学級講座（西方家庭教育オピニオンリーダー会「こーらす」）を実施した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
9月26日(金)	就学児健康診断時を活用した家庭教育学級「ほっとおしゃべり」 対象：西方小学校・真名子小学校保護者	西方小学校 真名子小学校	19 2

6　文化振興関係

地域住民の文化･芸術活動を推進するとともに、優れた文化･芸術に身近に触れる機会をつくり、文化の薫り高い心豊かな魅力ある地域づくりに寄与するため、西方文化祭を計画した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月22日(土) 11月23日(日)	西方文化祭	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）	延べ666

7　スポーツ関係

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	場　　所
4月～3月	健康体操教室	373	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）
10月19日(日)	にしかたニュースポーツフェス	400	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）

8　社会体育施設

(1)　施設の種類

施　　設　　名	建設年	面　　積（㎡）		備　　考
		敷　　地	建　　物	
関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）	平成15年	13,374.52	3,868.65	鉄骨造2階
西方総合公園運動場	昭和59年	20,068	183.53	鉄骨造1階
西方北グラウンド	平成6年	14,878		
西方南グラウンド	昭和58年	11,250		
西方桜グラウンド	昭和40年	8,636		
真名子運動広場	平成元年	11,700		

(2)　利用状況　　(単位:人)

施設	人数
関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）	33,950
西方総合公園運動場	5,634
西方北グラウンド	5,311
西方南グラウンド	8,225
西方桜グラウンド	4,376
真名子運動広場	3,276
合　計	60,772

9　学校体育施設開放関係

(1)　利用状況

ア　学校体育施設(体育館)　　(単位:人)

学校名	利用人数
西方小	5,446
真名子小	395
西方中	1,066
合　計	6,907

イ　学校体育施設(運動場)　　(単位:人)

学校名	利用人数
西方小	0
真名子小	0
西方中	0
合　計	0

第６節　岩舟地域づくり推進課

〔総括概要〕

岩舟地域づくり推進課は、地域づくり推進係、市民係、保健福祉係、公民館係の4係体制である。

地域づくり推進係の主な分掌事務は、地域まちづくりセンターとして地域会議の事務局を担当し、地域の課題解決及び地域の活性化のための「地域予算提案制度」の事業計画策定に対する支援を行った。また、旧小学校ごとに組織された3つのまちづくり実働組織の運営支援を行った。

自治会事業については、岩舟地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し「つながるネット」の活用により自治会からの相談に対し、適切な対応を行った。

交通安全対策事業については、交通安全運動における啓発や周知を行った。また、交通安全協会岩舟支部の事務局として円滑な運営支援を行った。

窓口対応業務については、農業、環境、クリーン推進関係の届出書類、防犯灯の申請書類の受付など本庁関係課と連携し、市民サービス向上に努めた。

また、宮の下簡易郵便局管理運営事業として、局の受託業務を適正に行った。

市民係の主な分掌事務については、戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑証明書、マイナンバーカード等の交付を行った。

国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金事業については、各種申請書を受付し関連事務処理や相談業務等を行った。

医療費助成事業については、各種医療費助成の申請受付や受給資格者の登録及び変更などの受付を行った。

税務関係業務については、市税関係証明書交付、名寄帳等の閲覧、原動機付自転車等の標識交付・返納のほか、市税等の収納を行った。

また、なんでも相談窓口を設置し、市民に寄り添った支援を行った。

保健福祉係の主な分掌事務として、民生委員・児童委員、日本赤十字社、遺族会に関する事務のほか、障がい者手帳、障がい福祉サービス、福祉タクシー、高齢者関係、介護保険業務に関する各種申請受付事務等を行った。

また、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行うとともに、予防接種事業の案内を行った。

公民館係の主な分掌事務として、各種講座を開設し生涯学習の振興に努め、社会教育関係団体、芸術文化団体の支援を行った。また、青少年健全育成の推進及び、とちぎ未来アシストネット事業により地域住民と小中学校の交流を深め地域全体の活性化を図った。

スポーツの振興については、栃木市スポーツ推進委員と連携し、地域内の小学校で、タグラグビーの講習会を実施した。岩舟地区体育祭では、レクリエーションスポーツを通して健康促進及び地域交流を図った。また、岩舟駅伝競走大会は、小野寺地内を周回するコースで開催した。

公民館・社会体育施設の管理運営については、安心して利用しやすい施設として、利便性の向上や定期的な適正管理に努めた。

地域づくり推進係

1　地域会議関係

岩舟地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和７年４月１日～令和９年３月31日）

区　　分	No.	氏　　名	備　　考
1号委員	1	上　恭子	家庭教育オピニオンリーダー「かるがも岩舟」
	2	安藤　宣好	岩舟町商工会
	3	前田　育宏	岩舟地区民生委員児童委員協議会
	4	松井　千恵子	栃木市ＰＴＡ連合会岩舟ブロック
	5	大阿久　敦	岩舟地区スポーツ協会
	6	青木　則夫	栃木市認定農業者協議会岩舟支部
	7	櫻井　英	岩舟地域自治会連合会
	8	永田　昌弘	栃木市観光協会岩舟支部
	9	渡辺　和枝	岩舟地域青少年育成会議
2号委員	10	秋本　喜司	学識経験を有する者
	11	髙久　厚子	
	12	中田　武彦	
	13	山下　道俊	
3号委員	14	大森　敦子	公募に応じた者
	15	横山　智恵	

(2)　開催内容

ア　会議

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	4月23日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・各種委員の選出について ・部会について ・地域会議開催日程について
第2回	5月28日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・地域予算提案事業について ・岩舟総合運動公園幼児用遊具設置事業について ・部会について
第3回	6月25日（水）	・栃木市自治会公民館建築費等補助金交付要綱の一

	午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	部改正について（情報提供） ・地域課題の検討について
第4回	7月23日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・岩舟小学校自転車安全教室について（情報提供） ・地域会議開催日程の変更（案）について ・地域課題の検討について
第5回	9月24日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・ネーミングライツ事業者及び愛称の決定について（情報提供） ・子ども子育て会議委員の推薦について ・地域会議開催日程の変更（案）について ・地域予算提案事業について
第6回	11月26日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・地域予算提案事業について（その 1）前回会議における質問に対する回答 ・地域予算提案事業について（その 2）提案事業の検討について
第7回	1月28日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・栃木市文化財保存活用地域計画（素案）について（情報提供） ・地域予算提案事業について
第8回	2月25日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・地域予算提案事業について ・委員の改選について
第9回	3月25日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・令和８年度地域会議開催日程（案）について ・地域予算提案事業について ・今年度に実施した地域予算提案事業について

イ　部会

岩舟地域のまちづくりを推進するための調査研究等を行うことを目的に、地域会議の内部組織として2つの検討部会を設置し、第3回、第4回の地域会議の中で開催した。

(3)　岩舟地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
10 月	第 29 号	A4 判両面カラー刷り
3 月	第 30 号	A4 判両面カラー刷り

※各号5,400部発行

(4)　地域予算提案事業の概要

提案事業名	事業費（千円）
静和地区公民館屋外設備整備事業	2,717
岩舟総合運動公園幼児用遊具設置事業	924
こなら館休憩スペースリニューアル事業	776
小学生向け自転車安全教室事業	300
交通事故防止対策事業	420

2　まちづくり実働組織関係

旧小学校区を活動対象とし、地域の特色を生かした活動に自主的に取組むまちづくり実働組織である、すみよいまちづくりの会「いわふね」、小野寺ふれあい会、静和まちづくり協議会の活動支援を行った。

3　広聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市政に対する市民の意見等を行政に反映させるため、直接対話により、市民から意見・提案などを聴き、市民の声を今後の市の行政経営に活かす目的で実施した。

実施日	開催場所	対象地区	事前質問数（人）	テーマ・フリートーク数（人）	自治会数	参加人数（人）
6月20日（金）	CITY GYM&SPA 遊楽々館	岩舟全地域	6	13	80	53

4　市民活動支援事業

岩舟地域のＮＰＯ法人1団体において、補助金交付等の事務処理を行った。

5　自治会関係

自治会については、岩舟地域自治会連合会の事務局として各種事案を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1)　自治会活動の推進

ア　自治会長の把握

次年度の自治会長及び担当戸数等を確認し名簿を作成

・受 付 期 間　2月～3月

・対象自治会　80自治会

イ　自治会報償金の支給

自治会に対し報償金を支給（4月1日現在の世帯数を基に2月に支出）

(2)　岩舟地域自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・単位自治会　80自治会

(ｲ)　役員

・会長1人、副会長1人、理事2人、会計2人、監事2人

イ　会議

開催日	名　称	内　　容
4月15日（火）	第1回役員会	令和7年度定期総会について
4月27日（日）	定期総会	事業報告及び収支決算、事業計画及び予算、規約の改正、役員選出
6月12日（木）	第2回役員会	実施事業及び次年度の役員選出順について
10月1日（水）	第3回役員会	自治会活動費交付金事業について
2月26日（木）	第4回役員会	令和8年度支部役員の報告について 令和8年度定期総会について 自治会アプリの導入について

ウ　主な事業

実施日	内　　容	場　　所
9月14日（日）	第1回自治会長研修会 第1部：講話 講師：長谷川幸介氏 テーマ：これからの自治会を考える 第2部：グループワーク	CITY GYM&SPA 遊楽々館
1月18日（日）	第2回自治会長研修会 第1部：講話 講師：長谷川幸介氏 テーマ：自治会を孤立させない（全国の活動事例から） 第2部：座談会　協力：岩舟会議	岩舟公民館

6　文書発送関係

郵便物の発送、収受業務、本庁支所間の書類の発送を行った。

後納郵便発送件数　37,646件

7　支所庁舎内及び市有施設の業務委託

委　　託　　名　　等	委託金額（円）
庁舎警備業務	1,042,800
庁舎自家用電気工作物保安管理業務	215,160
庁舎昇降機保守管理業務	422,400
庁舎電話交換設備等保守管理業務	303,600
庁舎消防用設備点検管理業務	110,000

庁舎清掃等業務	598,919
管理市有地草刈・樹木伐採等業務	274,682
合　　計	2,967,561

8　支所庁舎内及び市有施設の修繕工事等

工　　事　　名　　等	工事金額（円）
岩舟総合支所高圧ケーブル改修工事	770,000
岩舟総合支所電話交換機無停電電源装置交換工事	172,105
岩舟総合支所誘導灯バッテリー交換工事	13,200
合　　計	955,305

9　共用車管理状況

区　　分	数　　量（台）
普通乗用	2
小型貨物	1
軽乗用	1
軽貨物	3
合　　計	7

10　行政財産使用料及び市有建物貸付収入

区　　分	件数（件）	数量	収入金額（円）
東京電力パワーグリッド（株）（電柱）	1	7本	10,500
ＮＴＴ東日本株式会社（電柱）	1	10本	16,500
庁舎敷地内販売等	19	－	15,319
敷地内自動販売機（1社）	1	1台	265,019
合　　計	22	－	307,338

11　ＯＡ機器等の管理

事務用ＯＡ機器等の委託契約及び維持管理を行った。

・複合機　　2 台

・印刷機　　1 台

12　宮の下簡易郵便局

岩舟町小野寺地区に設置されている簡易郵便局の主な窓口業務として、郵便・貯金及び切手販売等の取扱いを行った。

区　　分	歳入金額(円)
簡易郵便局手数料	3,577,152

切手販売取扱手数料	78,824
合　　計	3,655,976

13　防犯関係

(1)　防犯防火診断

岩舟地域の金融機関、コンビニエンスストアー、駅を巡回、注意喚起の広報活動を行った。

・日　時　12月5日（金）

・診断者　栃木警察署　栃木市消防本部岩舟分署長　栃木市消防団　岩舟地域づくり推進課

(2)　防犯灯設置要望の現地調査 12件

14　交通関係

(1)　交通安全運動等

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、横断旗掲出等

・実施期間　4月6日(日)～15日(火)　(事前周知日　4月4日(金))

イ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、横断旗掲出等

・実施期間　9月21日(日)～30日(火)　(事前周知日　9月19日(金))

ウ　交通安全市民大会

交通安全功労者・功労団体表彰と大会宣言などを行った。

・実施日　9月27日（土）

・場　所　栃木文化会館

エ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、横断旗掲出等

・実施期間　12月11日(木)～31日(水)

(2)　その他の交通安全対策

岩舟地域小中学校通学路の安全点検

15　環境関係

環境保全に係る初動対応として、市民から野焼きや草木の繁茂等に関する苦情があった際は、現地に急行し状況確認等を行った。

また、犬の登録及び注射済票の受付及び交付に関する事務を行った。

栃木市地域クリーン推進員岩舟支部

地域クリーン推進員の協力を得て、美化キャンペーン、研修会等を実施した。

・地域クリーン推進員の嘱託状況80人

事業名	実施日	場所	参加者(人)
美化キャンペーン	5月25日（日）	岩舟地内全域	2,905

第１回研修会	６月 26 日（木）	小野ウェイストパーク	28
第２回研修会	10 月 16 日（木）	(株)リバー	29

その他の事業

・不法投棄監視及びごみ収集ステーションの管理

16　観光振興

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源のＰＲ、観光行事の充実等、観光関連事業を積極的に展開し、観光誘客と地域の活性化に努めた。

17　観光行事

サマーフェスタ in いわふね 2025

・実 施 日　　８月９日（土）
・場　　所　　岩舟総合運動場
・主　　催　　いわふね夏まつり実行委員会
・来場者数　　約 4,100 人

18　農業関係

農業経営改善計画書、利用権設定関係の申出書、農地利用最適化推進委員の活動報告書、農地の合意解約書などの受理。獣害対策設備設置補助申請書、鳥獣の捕獲等の許可申請書の受理及び添付資料の作成補助を行い担当課へ送付した。

また、認定農業者協議会岩舟支部の支部活動を補助した。

19　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明書発行等の事務を行った。

件　　名	件　数(件)
耕作証明書	14
農家証明書	2
農家基本台帳の写し	4
合　　計	20

市民係

1　戸籍・住民基本台帳関係届出処理件数　　（単位：件）

処　理　事　項	件数	処　理　事　項	件数
戸籍届(出生、死亡、婚姻等)	279	死体埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	5
住民異動届	951		
小　計	1230	死胎埋火葬許可	－

印鑑	登　録	349	（栃木市斎場利用なし）	
	廃　止	101	死産届	－
小　計		450	小　計	5
			合　計	1,685

2　謄抄本証明書等交付件数

種　別		件数(件)	金額(円)	種　別		件数(件)	金額(円)
戸籍証明書	全部事項証明	1,291	580,950	住民票	世帯全員	884	265,200
	個人事項証明	192	86,400		個　人	2,082	624,600
	除籍謄本	1,338	1,003,500		証　明	67	20,100
	除籍抄本	10	7,500		年金現況証明	－	－
	広域戸籍全部事項証明	163	73,350		戸籍の附票	189	56,700
	広域除籍全部事項証明	91	68,250		広　域	1	300
	広域除籍謄本	176	132,000		公　用	－	－
	戸籍証明	12	4,200		小　計	3,223	966,900
	受理証明	25	9,800	その他	印鑑登録	349	104,700
	廃棄証明	－	－		印鑑登録廃止	101	－
	出産証明	－	－		臨時運行許可証	361	270,750
	戸籍電子証明書提供用識別符号	2	800		労基証明	4	－
	除籍電子証明書提供用識別符号	－	－		人口統計	－	－
	不受理証明	－	－		マイナンバーカード(有料)	150	120,000
	小　計	3,300	1,966,750		マイナンバーカード(無料)	1,962	－
証明書	印鑑証明	2,280	684,000		特急発行マイナンバーカード（有料）	9	16,200
	諸 証 明	30	9,000		特急発行マイナンバーカード（無料）	26	－
	身分証明	104	31,200		電子証明書(有料)	149	29,800
	市町村合併証明	3	－		小　計	3,111	541,450
	選挙証明	－	－	合　計		12,051	4,199,300
	小　計	2,417	724,200				

3　斎場使用許可件数

栃木市斎場

種　類	区　分		件　数(件)		金　額(円)
斎　場	市　内	大　人	171	171	－
		小　人	－		
		死産児	－		
	市　外	大　人	－		－

		小　人	－	－	
		死産児	－		
合　　計				171	－

4　中長期在留者住居地届出等事務

各種申請書受理件数　（単位：件）

件　　名	件数	件　　名	件数
新規上陸後の居住地届出	34	居住地の変更届出(転入)	58
資格変更等に伴う居住地届出	5	居住地の変更届出(転居)	34
特別永住者の居住地届出	－	特別永住者居住地の変更届出(転入)	－
特別永住者証明書の交付	－	特別永住者居住地の変更届出(転居)	－
法務省通知	－	市町村通知	－
		合　　計	131

5　国民健康保険の給付等に係る申請の受付事務

(1)　高額療養費の受付状況

・高額療養費受付件数　521 件

・限度額適用認定証　86 件

(標準負担額減額認定証を含む)

(2)　療養費の受付状況

・療養費受付件数　42 件

(3)　出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数　- 件

(4)　葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数　26 件

(5)　移送費の受付状況

・移送費受付件数　- 件

6　後期高齢者の給付等に係る申請の受付事務

各種申請書等受付件数　（単位：件）

申請書種類	件　　数
資格関係届出	7
高額療養費申請	344
その他の療養費申請	56
葬祭費申請	147
被保険者証等再交付申請	39
合　　計	593

7　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付事務

資格関係等受付件数　（単位：件）

種別	件数
重度心身障がい者医療費助成	34
こども医療費助成	251
妊産婦医療費助成	11
ひとり親家庭医療費助成	25

8　国民年金に係る申請等受付事務

(1)　諸届の受理件数　（単位：件）

種別	件数	種別	件数
新規取得届	15	訂正・取消・不在	－
新規取得申出	－	付加年金取得届	5
再取得届	154	付加年金喪失届	－
再取得申出	1	法定免除該当届	6
資格喪失届	7	法定免除消滅届	－
資格喪失申出	－	通知書再交付届	－
種別変更届	18	合計	208

(2)　免除申請受理件数　（単位：件）

種類	件数
免除・納付猶予申請	47
学生納付特例申請	13

(3)　国民年金請求受理件数　（単位：件）

給付種類	件数
老齢基礎年金	－
障害基礎年金	－
遺族基礎年金	－
寡婦年金	－
死亡一時金	1
未支給年金	2
老齢福祉年金	－
合計	3

(4)　相談件数　（単位：件）

相談の内訳	件数
来訪相談	264
電話相談	6
文書相談	－
合計	270

9　税務関係証明書等交付件数　　（単位：件）

区　　分	有料件数	無料件数
諸 証 明	2,214	280
公簿閲覧	100	52
合　　計	2,314	332

10　原動機付自転車等の標識交付事務　　（単位：件）

区　分	取　得	廃　車	変　更
件　数	127	141	17

11　市税等の収納事務

区　　分	件　数(件)	金　額（円）
市 税 等	7,969	143,643,706
水　　道	417	5,339,237
合　　計	8,386	148,982,943

12　延長窓口処理件数(1～11の内数)　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	19
住民票写し等交付	10
印鑑登録証明書交付	8
印鑑登録	2
戸籍届	－
住民異動届	2
斎場使用許可証交付	－
臨時運行許可証交付	－
個人番号カードの交付	38
国民健康保険関係	5
後期高齢者医療費関係	－
医療費助成関係	1
税務関係証明書交付	6
その他	14
窓口及び電話による相談、問合せ等	2
合　　計	107

13　なんでも相談窓口相談件数　　（単位：件）

区　　分	件　　数
税	5

保険・年金	－
交通・防犯	10
ごみ・環境	44
人権	1
福祉	10
健康・医療	3
子ども・子育て	1
観光	1
農業・商業	19
道路	41
土地	7
住宅	12
上下水道	6
消防・防災	1
教育・文化	1
その他	39
合　　計	201

保健福祉係

1　民生委員・児童委員関係

民生委員・児童委員45人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、うち主任児童委員3人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
54	4	8	3	－	2
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
－	13	17	519	620	13

(2)　調査等状況　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
587	24	1,601	1,836	8,422	12,470	277

2　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金や災害救護を実施した。

(1)　赤十字活動資金（社資）募集実績額

目　標　額	実　績　額	達　成　率
1,688,050円	1,496,700円	88.7%

(2)　災害による救援品配布状況

区　分	世帯数(世帯)	家族数(人)	毛布(枚)	布団(組)	緊急セット(個)
火災	－	－	－	－	－

(3)　災害見舞金給付状況　　(単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
－	－	－	－	－

3　身体障がい者の現況（身体障害者手帳申請受付件数）

(単位：件)

区　分	申請受付件数
視　覚　障　が　い	4
聴覚・平衡障がい	6
音声・言語・そしゃく障がい	－
肢体不自由障がい	19
内　部　障　が　い	44
複　合　障　が　い	－
合　　計	73

4　知的障がい者(児）の現況(療育手帳の申請受付状況)

知的障がい者(児）の支援を目的に療育手帳の申請受付を行い7人に手帳を交付した。

5　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳申請受付件数)

(単位：件)

区　分	申請受付件数
1　級	15
2　級	47
3　級	11
合　計	73

(2)　自立支援医療費（精神通院）申請受付状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、336件の申請があった。

6　身体障がい者（児）の補装具等の申請受付状況

(1)　補装具交付及び修理の申請件数（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	18

身体障がい児	－
合　計	18

(2)　日常生活用具の申請件数　　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	47
身体障がい児	3
合　計	50

7　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）の申請受付件数

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	－
免疫機能障がい	－
肢体不自由	－
心臓機能障がい	5
腎臓機能障がい	70
合　計	75

8　自立支援医療（育成医療）の申請受付件数

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度で、当該年度の申請はなかった。

9　各種手当の状況　　（単位：件）

種　別		新規申請受付件数
特定疾患者介護手当		26
重度障がい児支援手当		1
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	1
	障がい児福祉手当	－
	福祉手当（経過的）	－
特別児童扶養手当		6

10　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。　　（単位：人）

区　分	交付者数
高齢者（80歳以上）	258

高齢者（65～79歳）	46
障がい者	60
合　　計	364

11　学童保育事業

保護者の就労等により、放課後に家庭での保護指導を充分に受けることができない児童を対象として実施している。学童保育の利用を希望する保護者からの利用申請受付等を行った。

・学童保育受付件数　176件

12　児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

・児童手当受付件数　86件

13　赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、第2子以降が誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

（単位：件）

事　業　名	祝　金　額	件数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　　10,000円	13
	第三子以降　20,000円	8

14　児童扶養手当・遺児手当

父母の離婚や死亡等により、父又は母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的に児童扶養手当や遺児手当の申請受付事務を行った。

（単位：件）

種　別	申請受付件数
児童扶養手当	90
遺児手当	1

15　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減、子育ての孤立化等による不安や悩みを抱える保護者の早期支援を行うために、お子様の出生時とおおむね生後４か月時に紙おむつとおしりふきの配布を行った。

・紙おむつとおしりふき配布件数　31件

16　保育園事業

保護者の就労や疾病等の理由により、家庭において安全な保育を受けられない乳幼児を対象に、保育園の利用を希望する保護者からの入園申請受付等を行った。

・入園受付件数　48件

17　高齢者関係の申請受付状況

高齢者関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
老人福祉センター等団体送迎利用申請	－
敬老会事業補助金申請	50
緊急通報装置貸与申請	2
高齢者日常生活用具購入費補助金申請	17
高齢者補聴器購入費助成申請	11
高齢者日常生活用具レンタル料助成申請	4
健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成券交付申請	26
在宅寝たきり老人等介護手当申請	226
紙おむつ給付申請	71
戦没者の遺族に対する弔慰金請求書	24
合　計	431

18　介護保険業務各種受付件数

介護関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	受付件数
介護保険負担限度額認定申請	126
高額介護サービス費支給申請	79
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	148
介護予防サービス計画作成依頼（変更）届出書	80
短期入所連続利用等申請	9
軽度者に対する福祉用具貸与の特例申請	2
福祉用具購入費支給申請	2
住宅改修費支給申請	4
被保険者証等再交付申請書	52
住所地特例適用・変更・終了届	2
受給資格証明書	9
障がい者控除対象者認定申請書	18
おむつ使用証明書	－
医療費控除（おむつ代）に係る主治医意見書内容確認書交付申請書	3
転送希望届・解除届	7

合　　計	541

19　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種の予診票の配布を実施した。

公民館係

1　公民館の使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
岩舟公民館	1,168	24,081	383,005
静和地区公民館	841	13,485	366,780
小野寺地区公民館	132	2,265	6,595
合　　計	2,141	39,831	756,380

2　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者学級（いきいき教室）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
4月17日（木）	開校式・手品～手品で頭の体操～（岩舟校）	岩舟公民館	19
4月24日（木）	開校式・手品～手品で頭の体操～（静和校）	静和地区公民館	23
5月　1日（木）	開校式・手品～手品で頭の体操～（小野寺校）	小野寺地区公民館	36
5月13日（火）	グラウンドゴルフ　～軽い運動で気分もさわやか～（岩舟校）①	岩舟総合運動場	21
5月20日（火）	グラウンドゴルフ～軽い運動で気分もさわやか～（静和校）①	静和地区公民館	18
5月27日（火）	グラウンドゴルフ～軽い運動で気分もさわやか～（小野寺校）①	栃木シティ学園CITY FOOTBALL ACADEMY（旧小野寺北小学校）	11
6月13日（金）	折り紙　～折り紙で脳の活性化～（岩舟校）	岩舟公民館	23
6月20日（金）	折り紙　～折り紙で脳の活性化～（静和校）	静和地区公民館	15
6月27日（金）	折り紙　～折り紙で脳の活性化～（小野寺校）	小野寺地区公民館	10

9月17日（水）	認知症予防セミナー　岩舟校、静和校、小野寺校（３校合同）	岩舟公民館	32
10月　7日（火）	グラウンドゴルフ　～軽い運動で気分もさわやか～（岩舟校）②	岩舟公民館	13
10月14日（火）	グラウンドゴルフ　～軽い運動で気分もさわやか～（静和校）②	静和地区公民館	15
10月21日（火）	グラウンドゴルフ　～軽い運動で気分もさわやか～（小野寺校）②	栃木シティ学園 CITY FOOTBALL ACADEMY（旧小野寺北小学校）	18
11月13日（木）	笑いヨガ・閉校式（岩舟校）	岩舟公民館	37
11月20日（木）	笑いヨガ・閉校式（静和校）	静和地区公民館	11
11月27日（木）	笑いヨガ・閉校式（小野寺校）	小野寺地区公民館	27

イ　教養講座

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月　8日（火）	歴史探訪講座　～徳川家康と本多正純の外交展開について学ぼう～	岩舟公民館	43
7月17日（木） 9月11日（木） 10月30日（木）	フォークソング講座　～昔懐かしい歌を歌って心身をリフレッシュしよう～ （全３回）	岩舟公民館	延べ 62
7月28日（月） 8月　4日（月）	スマホのきほん講座 ～基本的な操作を学ぼう～（全２回）	岩舟公民館	延べ 45
9月25日（木）	館外学習（LRT 乗車体験バスツアー）　～LRT(宇都宮ライトライン)に乗ってみよう～	LRT 乗車 大谷資料館見学	29
10月　3日（金）	大人のドローン体験講座（午前の部・午後の部）（全２回）	岩舟公民館	延べ 7
10月20日～ 12月8日（各月）	健康アップ講座　～適度な運動で健康な体を維持しよう～(全６回)	静和地区公民館	延べ 106

(2)　二十歳の集い関係（岩舟会場）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月　8日（金）	第１回二十歳の集い実行委員会	岩舟公民館	5
1月11日（日）	令和８年二十歳の集い(岩舟地域)	岩舟文化会館	84

(3)　女性教育関係

ア　女性学級

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)

11月14日（金）	アロマクリーム講座　～手作りアロマクリームで美肌になろう～	岩舟公民館	9

イ　岩舟町ifの会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
通　年	次代を担う女性教育指導者の育成（県主催地域活動推進セミナー受講）	－	－
通　年	「岩舟かるた」の活用	－	－
通　年	シトラスリボン作り（シトラスリボンプロジェクト啓発活動）	－	－
5月19日（月）	ピアノ演奏会と大人のリトミック	岩舟公民館	13
6月30日（月）	小野寺地域の現地視察	小野寺地域	13
8月28日（木）	映画「島守の塔」試写会	岩舟公民館	29
10月 1日（水）	授業支援　ふるさと学習「かるた遊びをしよう」	岩舟小学校	5
10月 6日（月）	研修「訪問介護の現場から」	岩舟公民館	12
12月 6日（土）	戦後80年平和祈念「島守の塔」上映会	岩舟文化会館	106
1月22日（木）	授業支援「いわふねカルタ取り」	静和小学校	4
1月26日（月）	研修「デイサービスセンターほなみ」見学	デイサービスほなみ	12
3月23日（月）	広報if42号発行	会員へ配布	－

(4)　青少年教育関係

ア　少年少女学級（親子ふれあい教室いわふねチャレンジ工房）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月20日（日）	☆手品（マジック）教室☆ 手品を見たり、ネタを作ってみよう！【岩舟子ども会育成会連絡協議会と共催】	岩舟公民館	12
7月30日（水）	☆飛行機はなぜ飛ぶの	岩舟公民館	6
8月 3日（日）	☆ドローン体験教室☆　～ドローンを飛ばしてみよう！～（午前・午後）【岩舟子ども会育成会連絡協議会と共催】	岩舟公民館	延べ12
12月 7日（日）	☆昔遊び教室☆昔遊びを体験しよう！【岩舟子ども会育成会連絡協議会と共催】	岩舟公民館	9

12月14日（日）	☆卓球教室☆～卓球で遊ぼう！～ 【岩舟子ども会育成会連絡協議会と共催】	岩舟公民館	延べ 38

イ　岩舟地域青少年育成会議

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
4月16日～3月 （毎週水曜日）	青色回転灯車両巡回活動 （春・夏・冬休み期間中を除く）	岩舟地域内	173
4月18日（金）	広報誌第 40 号「みんなで」発行	岩舟地域内全戸配布	-
6月13日（金）	親子学び合い事業ネット時代の歩き方講習会（小野寺小学校 5・6 年親子） （児童 30 人・保護者 26 人）	小野寺小学校	56
6月25日（水）	親子学び合い事業ネット時代の歩き方講習会（岩舟小学校 4 年親子） （児童 65 人・保護者 65 人）	岩舟小学校	130
7月 6日（日）	こどもフェスティバル【社会福祉協議会、社会教育関係団体との共催】	CITY GYM&SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）	750
9月19日（金）	広報誌第 41 号「みんなで」発行	岩舟地域内全戸配布	-
10月12日（日）	スリラーナイト 2025 の協力 【公民館がお化け屋敷になっちゃった！？】 「主催：栃木市ＰＴＡ連合会岩舟ブロック」	岩舟公民館	345
11月30日（日）	第 14 回ウォークラリー大会【第 14 回ウォークラリー実行委員会】	静和小学校周辺	163
1月22日（木）	親子学び合い事業ネット時代の歩き方講習会（岩舟中学校 1 年親子） （生徒 107 人・保護者 78 人）	岩舟文化会館	185
1月24日（土）	岩舟の子どもをみんなで育てよう講習会　～親子で学ぶＢＬＳと防災～ 【PTA 連合会岩舟ブロックとの共催】	静和地区公民館	71
3月29日（日）	いわふね桜まつりの協力【いわふね桜まつり実行委員会】	CITY GYM&SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）・ユニバーサル広場	2,300

ウ　岩舟子ども会育成会連絡協議会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月 6日（日）	こどもフェスティバルの協力【社会福祉協議会、社会教育関係団体との共催】	CITY GYM&SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）	750
7月20日（日）	☆手品（マジック）教室☆ 手品を見たり、ネタを作ってみよう！【市と共催】	岩舟公民館	12
8月 3日（日）	☆ドローン体験教室☆～ドローンを飛ばしてみよう！～（午前・午後）【市と共催】	岩舟公民館	延べ 12
8月 6日（水）	栃木県防災館社会見学	栃木県防災館	22
10月12日（日）	第 2 回スリラーナイト 2025 の協力【公民館がお化け屋敷になっちゃった！？】 「主催：栃木市ＰＴＡ連合会岩舟ブロック」	岩舟公民館	345
10月26日（日）	じゃんぼかるたで遊ぼう！ 【岩舟文化祭出展】	岩舟公民館	62
11月30日（日）	第 14 回ウォークラリー大会【第 14 回ウォークラリー実行委員会】	静和地域	163
12月 7日（日）	☆昔遊び教室☆　～昔遊びを体験しよう～【市と共催】	岩舟公民館	9
12月14日（日）	☆卓球教室☆～卓球で遊ぼう！～【市と共催】	岩舟公民館	延べ 38

(5)　いわふねしぐさ普及事業

江戸しぐさを通して、昔から受け継がれてきた生活のマナーをいわふねしぐさとして実行委員会を組織して普及に取り組んでいる。これまでに「あいさつしぐさ」、「スマホのしぐさ」、「会話しぐさ」や「はきものしぐさ」など、数多くのしぐさを学校・地域に紹介し、地域や家庭での教育力を高めることを目的に普及啓発している。

・年 9 回開催

・岩舟地域青少年育成会議だより「みんなで」の広報紙面にて「いわふねしぐさ」について掲載。令和 7 年度も岩舟中学校第 1 学年の調べ学習が開催され、いわふねしぐさ実行委員 2 名が講師として「いわふねしぐさ」についての講話を行った。

3　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　家庭教育オピニオンリーダー「かるがも岩舟」、岩舟地域青少年育成会議、岩舟町 if の会、岩舟子ども会育成会連絡協議会、岩舟文化協会

4　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・岩舟地域教育協議会　6 月 24 日（火）開催
　　1 月 26 日（月）開催

・岩舟地域アシストネットだより発行　2 月 20 日(金)　全戸配布

5　子育て支援関係

子育て支援として家庭教育の推進を図るため、子育て中の保護者を対象に親学習プログラム等を活用して講座を開催した。また、年間を通して、託児への協力を行った。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
4月23日（水）	就学時健診・一日入学時における子育て講座　テーマ「仲間づくり　つながりづくり」(令和 6 年度未実施分)	岩舟小学校	22
4月25日（金）	ハッピー子育て講座　テーマ「親の役割について」	けやき保育園	29
5月 2日（金）	ハッピー子育て講座　テーマ「子どもの生活リズムを考えていますか？」	赤麻小学校（藤岡）	69
5月21日（水）	ハッピー子育て講座　テーマ「子育てのイライラとうまく付き合うには」	静和小学校	32
1月27日（火）	就学時健診・一日入学時における子育て講座　テーマ「仲間づくりつながりづくり～もうすぐ我が子も一年生～」	岩舟小学校	51
1月28日（水）		小野寺小学校	7
1月30日（金）		静和小学校	27

6　文化振興関係

(1)　岩舟文化祭（岩舟文化協会）

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	場　　所
10月25日（土） 10月26日（日）	第62回栃木市岩舟文化祭	1,848	岩舟公民館、岩舟体育館、岩舟文化会館.
11月20日（木）	視察研修【株式会社トーヨー】	33	栃木県栃木市

(2)　岩舟石の資料館管理運営事業

岩舟の歴史的な資源である岩舟石の建造物を石の資料館として保存活用し、岩舟石の歴史や石材業の変遷についての展示を行った。

7　生涯スポーツ推進関係

スポーツの振興について、関係団体等と連携して進めた。

岩舟地区スポーツ協会事業

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	場　　所
10月5日(日)	第33回岩舟地区体育祭	延べ 800	CITY FOOTBALL STATION ｻﾌﾞｸﾞﾗｳﾝﾄ
3月1日(日)	第51回栃木市岩舟駅伝競走大会	320	市内駅伝コース CITY GYM&SPA遊楽々館（岩舟健康福祉センター）

8　社会体育施設

(1)　施設の種類

施　　設　　名	建 設 年	面　　積　（㎡）		備　　考
		敷　　地	建　　物	
岩舟総合運動場	－	14,126	－	
・野球場	昭和53年	6,137	－	
・ソフトボール場	昭和53年	6,000	－	夜間照明6基
・テニスコート	昭和61年	1,989	－	3面
岩舟体育館	昭和45年	781	585.0	S造　平屋

(2)　利用状況　（単位：人）

施　　設　　名	人　　数
野球場	3,485
ソフトボール場	4,847
テニスコート	1,129
岩舟体育館	6,343
合　計	15,804

9　学校体育施設開放関係

(1)　利用状況

ア　学校体育施設（体育館）　（単位：人）

学　　校　　名	人　　数
岩舟小	4,214
静和小	6,848
小野寺小	4,986
岩舟中	1,906
合　計	17,954

イ　学校体育施設（武道場）　（単位：人）

学　校　名	人　数
岩舟中	13,840

ウ　学校体育施設（運動場）　（単位：人）

学　校　名	人　数
岩舟小	3,441
静和小	6,355
小野寺小	882
合　計	10,678

エ　学校体育施設（夜間照明）　（単位：人）

学　校　名	人　数
静和小	2,852

第７節　蔵の街課

〔総括概要〕

蔵の街課の主な分掌事務は、蔵の街推進業務及び伝統的建造物群保存地区業務である。

蔵の街推進業務では、栃木固有の歴史的文化や風情、たたずまいを維持し、更に向上させるため、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」に基づく「栃木市歴史的風致維持向上計画」に関する事業を行った。

蔵の街を活かしたまちづくり業務では、庁内での情報共有、連携を図るため蔵の街を活かしたまちづくり庁内関係課会議及び部会を開催した。また、蔵の街を活かしたまちづくりのための調査研究を実施した。

街なかの活性化を図るために、歌麿を中心とした文化のまちづくりに取り組んでいる団体等で組織した「歌麿を活かしたまちづくり協議会」と協働し、歌麿と栃木の関わりをより多くの方々に知っていただくため、歌麿まつりの開催や各種事業を実施した。また、NHK 大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の放送を契機として、NHK や関連自治体と連携し、本市の PR を行った。

伝統的建造物群保存地区に係る業務では、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区（伝建地区）内の味噌工場跡地において、伝建地区拠点施設整備事業として、広場利活用を先行するため、全体イメージの作成及び今後の工事を想定した仮設計画を含んだ広場基本計画業務委託を実施した。また、伝建地区内にある個人所有の伝統的建造物等の修理・修景に対する補助事業や、建築物等の許認可制度により歴史的な町並みの保全を行った。

地元関係者等で組織される「NPO 法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会」とともに、歴史的資源を活かしたまちづくり活動を実施した。

蔵の街推進係

1　歴史まちづくり

(1)　歴史的風致維持向上計画

栃木固有の歴史的文化や風情、たたずまいを維持し、更に向上させるため、歴史まちづくり法に基づき策定した栃木市歴史的風致維持向上計画を推進する学識経験者や各種団体等からなる「栃木市歴史的風致維持向上協議会」に対し、意見聴取を実施した。

・栃木市歴史的風致維持向上協議会　　2月19日

(2)　旧金澤呉服店修理工事

歴史的風致の維持・向上のため、歴史的風致形成建造物の工事を実施した。

工事等名	契約額（円）	施工業者
旧金澤呉服店主屋壁補修工事	1,276,000	(株)小林商店

旧金澤呉服店主屋屋根瓦調整工事	66,000	(株)小林商店

(3)　歴史的建造物の試験的活用

歴史的建造物の試験的な活用として、旧金澤呉服店の貸出を行った。

・貸出先　　歌麿を活かしたまちづくり協議会

・貸出期間　令和7年4月1日～令和8年3月31日

・活用方法　とちぎ歌麿交流館として開館

・来場者数　6,865人

(4)　歴史的風致維持向上支援法人との定例勉強会の開催

歴史的建造物等の保存・活用に関して、法的・制度的・行政の体制的な課題等の解決に向けた、市とNPO法人とちぎ蔵の街職人塾による定例勉強会を開催した。

・第12回　　5月15日

・第13回　　9月17日

・第14回　　12月3日

・第15回　　1月9日

・第16回　　3月13日

2　蔵の街を活かしたまちづくり

(1)　蔵の街を活かしたまちづくり庁内関係課会議

蔵の街を活かしたまちづくりの推進に関し、蔵の街に関わる事業の実施関係課及び蔵の街エリアの歴史的建造物所管課との連携及び調整を図るために、庁内関係課会議及び部会、担当者会議を開催した。

実施日	場所	内容
1月27日	501会議室	庁内関係課会議・部会合同会議 協議事項 ・令和7年度実施事業の実績について ・令和8年度実施予定事業について ・各課所管の歴史的建造物の課題・展望について ・各課からの提案事項
3月23日	旧関根邸	担当者会議 内容 ・各担当者レベルでの課題や情報の共有 ・歴史まちづくりに携わっている建築士からの経験談

(2)　蔵の街を活かしたまちづくり事業

蔵の街を活かしたまちづくりのための調査研究及び実践をしていくことを目的として、「蔵の街とちぎ」の魅力を再発見・発信し、未利用の歴史的建造物の活用のきっかけを作るための事業を委託した。

・委託先　　蔵の街を活かしたまちづくり研究会

・業務内容　　多世代地域交流事業（8回）、蔵の街エリアイラストマップ作製準備

3　喜多川歌麿を活かしたまちづくり

(1)　歌麿を活かしたまちづくり協議会

歌麿を活かしたまちづくり活動を充実させるため、歌麿を活かしたまちづくり協議会と市の協働により、歌麿に関する各種イベントや歌麿の業績を広めるための講演会を開催した。

実施日	場所	内容
9月23日	國學院大學栃木学園駅前教育センターレクチャーホール	演題：稀代の浮世絵師・歌麿の画業と栃木の雪月花 講師：元千葉市美術館副館長・国際浮世絵学会常任理事 田辺昌子氏

(2)　歌麿まつり

浮世絵師喜多川歌麿と栃木の関わりを市内外に広く周知し、街なかの賑わいを創出するため、歌麿道中や関連イベントを行う第14回歌麿まつりを開催した。

・実施期間　10月11日から10月19日
・場　　所　とちぎ蔵の街大通りを中心とした街中周辺
・参加人数　約23,000人
・主　　催　歌麿を活かしたまちづくり協議会
・共　　催　栃木市、栃木市教育委員会

(3)　NHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」関連事業

NHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」に本市ゆかりの浮世絵師・喜多川歌麿が登場したことから、NHKや関連自治体と連携し、PR事業を行った。

ア　江戸たいとう　蔦重まつり
・実施日　5月31日
・会　場　台東区山谷堀広場・墨田公園
・内　容　歌麿と栃木のPRブース設置（チラシ配布、物産販売）

イ　べらぼう＋栃木市　PR冊子作成
・配布開始日　8月28日
・配布場所　　市内各所の市有施設
・内　容　　歌麿と栃木に関するPR、喜多川歌麿役・染谷将太さんのインタビューを掲載

ウ　歌麿役・染谷将太さんとみる！大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」トーク＆パブリックビューイング
・実施日　9月7日
・会　場　とちぎ岩下の新生姜ホール　大ホール
・主　催　栃木市・NHK宇都宮放送局
・内　容　喜多川歌麿役・染谷将太さんを招待し、ドラマ撮影の裏側等のトークショー及び当日放送回のパブリックビューイング
関連自治体（台東区・白河市・牧之原市）を招待
・参加者　928名

エ　大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」特別展示 in 栃木市（1 日限定）

・実施日　9 月 7 日

・会　場　とちぎ岩下の新生姜ホール　展示室

・主　催　栃木市・NHK 宇都宮放送局

・内　容　ドラマ内で使用した小道具やドラマに登場するキャラクターのパネル等の展示

・参加者　1,740 名

オ　歌麿と栃木 PR

・実施日　9 月 18 日

・会　場　べらぼう江戸たいとうドラマ館

・内　容　歌麿と栃木のチラシやパンフレットの配布

カ　とちぎ歌丸シェ

・実施日　10 月 12 日

・会　場　美術館・文学館ひろば

・主　催　歌麿を活かしたまちづくり協議会

・共　催　栃木市・栃木市教育委員会

・内　容　歌麿と栃木の PR ブースほか、マルシェ等
関連自治体（台東区・白河市・牧之原市）の PR ブースの設置

・参加者　延べ 1,000 名

キ　歌麿道中

・実施日　10 月 18 日

・会　場　巴波川会場（塚田歴史伝説館黒板塀前）

・主　催　歌麿を活かしたまちづくり協議会

・共　催　栃木市・栃木市教育委員会

・内　容　歌麿道中ほか、関連自治体（台東区・白河市・牧之原市）を招待

・参加者　延べ 5,000 名

ク　大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」紀行放送

・放送日　10 月 19 日

ケ　大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」トークショー“W定信　白河に里帰り”

・実施日　10 月 19 日

・会　場　白河文化交流館コミネス

コ　べらぼう江戸たいとう大河ドラマ館ゆかりの地ウィーク　喜多川歌麿ウィーク

・実施日　10 月 25 日～11 月 3 日

・会　場　べらぼう江戸たいとう大河ドラマ館

・内　容　台東区とべらぼうゆかりの地とのタイアップイベント　期間中栃木県民は入館料が半額

サ　牧之原市制施行 20 周年記念事業　まきのはら産業フェア 2025

・実施日　11 月 16 日

・会　場　牧之原市役所相良庁舎周辺

・内　容　歌麿と栃木の PR ブースの設置・物産販売

シ　牧之原市制 20 周年式典

・実施日　1 月 12 日

・会　場　牧之原市相良総合センター「い～ら」

重伝建係

1　伝統的建造物群保存事業

(1)　伝統的建造物修理事業

伝統的建造物の修理、建築物の修景への補助金により所有者を支援し、歴史的町並みの形成を図った。

・伝統的建造物等修理・修景補助　　6件　　58,748,000円

(2)　伝建地区における現状変更行為

建築物等の新築、増築、改築等の現状変更行為について、許認可制度により歴史的町並みの維持を図った。

・現状変更行為許可件数　　24件

(3)　栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会

栃木市長及び栃木市教育委員会からの諮問に基づき、栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催した。

実施日	場所	内容
8月20日	議員全員 協議会室	審議事項 ・今後の修理・修景事業について ・保存計画を保存活用計画へ変更することについて 報告事項 ・伝建地区拠点施設煙突について ・伝建地区拠点施設広場基本計画について
3月17日	501会議室	審議事項 ・保存計画を保存活用計画へ変更することについて 報告事項 ・令和7年度修理事業及び令和8年度修理予定事業について ・土蔵(嘉03)解体調査の意見照会後の進捗について ・拠点施設整備事業について

(4)　嘉右衛門町伝建地区総合防災訓練

「嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区防災計画（H30.3）」に基づき、伝建地区を構成する大町・嘉右衛門町・泉町の各自治会住民が主体となった総合防災訓練を実施した。

実施日	場所	内容
2 月 1 日	嘉右衛門町伝建	訓練内容

	地区拠点施設	・通報訓練 、放水訓練、初期消火訓練 参加者 ・大町・嘉右衛門町・泉町各自治会参加者、栃木市消防団栃木第1分団、栃木市消防団栃木第5分団、栃木市、栃木消防本部 約50人

(5) 伝建地区建物バンク制度

伝建地区内における空き家や空き店舗などを有効活用するため、建物の所有者と利用希望者を相互に紹介する伝建地区建物バンク制度を運用した。

（単位：件）

登録名	累計登録数
建物登録	5
利用希望登録	8

2 伝統的建造物群保存地区拠点施設整備事業

(1) 整備概要

「栃木市嘉右衛門町伝建地区味噌工場跡地保存活用計画（令和4年3月改訂）」に基づき、味噌工場跡地を拠点施設として整備するため、伝建地区拠点施設において広場の利活用を先行的に進めることとした。このため、全体イメージの作成および今後の工事を想定した仮設計画を含む広場基本計画業務委託を実施した。

工事等名	契約額（円）	委託業者
伝建地区拠点施設基本計画業務委託	5,060,000	(株)景観プランニング

(2) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区拠点施設「ガイダンスセンター・交流館」

拠点施設として整備したガイダンスセンター（観光案内施設）及び交流館（集会施設）の管理運営業務を委託した。

・委託先　NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会
・業務内容　伝建地区の紹介・説明及び周辺の観光案内、イベント開催などのまちづくり事業等
・利用者数　ガイダンスセンター　9,908人
　交流館　2,103人

(3) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区拠点施設内伝統的建造物利活用事業

旧日光例幣使街道沿いの見世蔵、袖蔵及び主屋等の伝統的建造物を改修し、令和4年2月から、民間事業者により「KAEMON BASE」として活用されている。飲食、シェアオフィス、交流機能等を備えており、地域活性化及び観光振興に寄与した。

3 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区のまちづくり

「嘉右衛門町伝建地区まちづくり計画（H26.8）」の推進を図るため、NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会との協働により、まちづくり活動を実施した。

NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会

・総　会　4月24日

・クリーン作戦の実施　　12回（月1回：原則、毎月第一日曜日）
・花いっぱい運動　　通年開催
・先進地視察研修（群馬県富岡市）1月26日
・歴史勉強会　　3月14日
・まちづくり通信の発行　　12月、2月

4　地域おこし協力隊活動事業

伝建地区において、地域外の人材を誘致し、その定住及び定着を図り、地域力を促進するため、地域おこし協力隊員を委嘱した。

協力隊員は、空き家・空き蔵の利活用を通じた地域振興をテーマに、各事業を実施した。

(1)　蔵を活用した民泊施設開業支援

伝建地区内の空き蔵を、地区内初の民泊施設として活用するため、民泊の法律関係の整理や開業手続き、建物のリノベーションなどの開業支援を行った。

(2)　高校生を対象とした企画

若い世代の地域への理解度を深めるため、NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会の会員と協力し、栃木市に在住・通学等をしている高校生を対象に、伝統的建造物での勉強会やスマホ茶会等の事業を実施した。

第８節　スポーツ課

〔総括概要〕

スポーツ基本法の前文は「スポーツは、世界共通の人類の文化である。」から始まり、「すべての国民が日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、またはスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」と記されている。

スポーツ基本法に基づき、本市では、社会情勢の変化、市民のスポーツ活動状況等を考慮し、令和5年3月に第2期栃木市スポーツマスタープランを策定し、「スポーツを通じて市民だれもがいきいきと元気になる栃木市の実現」を基本理念として、生涯スポーツの推進及びスポーツ環境の充実を図っている。

スポーツ課の主な分掌事務は、生涯スポーツの普及振興、生涯スポーツ関係団体の育成及び支援、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員による生涯スポーツ推進事業、プロスポーツ連携事業、栃木地域の社会体育施設（運動公園施設を除く）の整備及び管理運営、学校体育施設の開放、スポーツ振興基金の管理などのスポーツ環境充実事業である。

生涯スポーツの推進については、スポーツの普及振興のため、市内で活動するスポーツ団体やプロスポーツチームを活用した自由参加型のスポーツ体験イベント「栃木市民スポーツフェスティバル」や、初心者の小学生を対象とした各種スポーツ教室、地域巡回型のニュースポーツの体験会等を開催し、スポーツ人口の拡大に努めるとともに、スポーツ団体や近隣市町との連携による各種スポーツ大会・教室を開催し、競技力の向上や振興を図った。

プロスポーツ連携事業については、市内で活動を行う各プロスポーツ団体と締結した連携協定に基づき、小学生や園児を対象としたスポーツ教室等を開催し、青少年の育成を図るとともに、プロスポーツチームの試合や練習等を見たり、選手等と触れ合ったりすることで、市民がスポーツの楽しさを知り、スポーツを行う動機づけとなることを目的として設立された栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”を運営し、チームを広く紹介するためにリーフレットの作成等を行った。

また、全国で16自治体目、県内では唯一認定されている「女子野球タウン」事業の目的である、女子野球を通じた地域の活性化やSDGｓに掲げられている「ジェンダー平等」、「住み続けられるまちづくり」を推進するため、女子野球大会の開催や合宿誘致等を行った。

さらには、サイクルスポーツによる地域づくり、活性化を目的に、わたらせサイクルパークを活用した自転車セミナーの開催や、県南サイクルルートを活用したライドイベントなどを開催した。

スポーツ環境の充実では、社会体育施設の管理運営において、身近にスポーツが楽しめる広場や様々なスポーツイベントが開催できる施設として、利用者が安全に利用できるよう、適正な維持管理を行った。

また、「栃木市スポーツ施設ストック適正化計画」の整備スケジュールに基づき、

対象となるスポーツ施設の維持管理、集約化、廃止について、各施設の所管課と情報を共有しながら計画推進を図った。

学校体育施設の開放等について、老朽化に伴う栃木東中学校の夜間照明施設の更新工事を行ったとともに、利用日程調整会議を開催し利用者間の調整を図った。

市民スポーツ係

1　生涯スポーツ推進関係

(1)　栃木市スポーツ推進審議会

学識経験者、スポーツ関係団体や社会体育団体の代表者、公募委員等10人により構成し、栃木市のスポーツ振興について審議した。

開　催　日	内　容	会　場
9月12日（金）	栃木市スポーツ施設ストック適正化計画の一部見直しについて	栃木市役所3階庁議室

(2)　市民スポーツ普及事業

ア　栃木市民スポーツフェスティバル2025

市民が様々なスポーツに触れ合いながら魅力や楽しみを発見することを通じて、スポーツ人口の底辺拡大等を図ることを目的に、市民の誰もが自由に参加して楽しむことのできるスポーツイベントを開催した。

・開催日　11月16日（日）
・参加者　4,000人
・会　場　総合運動公園

(ｱ)　主な催し物

a　栃木市スポーツ協会競技専門部による競技体験会
・実施種目　12競技（卓球、陸上、剣道、バスケットボール、弓道、テニス、ゲートボール、ソフトテニス、グラウンド・ゴルフ、レクリエーション、綱引、ターゲット・バードゴルフ）

b　栃木市スポーツ推進委員会によるニュースポーツ体験会
・実施種目　4競技（モルック、バブルサッカー、ボッチャ、フライングディスク）

c　プロスポーツチームとの交流コーナー
・栃木シティフットボールクラブ（キックターゲット）
・栃木ゴールデンブレーブス（ストラックアウト）
・宇都宮ブリッツェン（ロードバイク体験）

d　スタンプラリー
会場内の各コーナーをまわり、スタンプを集めた方に賞品をプレゼント

e　ウォークラリー
会場内のウォークコースをまわり、設置された8つの問題を回答した方に賞品をプレゼント

f　総合型地域スポーツクラブ、スポーツクラブによるクラブの案内及び体験教室の実施

g　スポーツショップによるスポーツ用品の販売

h　キッチンカーによる飲食物販売

i　競技団体による競技体験会

・実施種目　1競技（ローイング）

イ　“小学生向け”初心者スポーツ教室

「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図るとともに、本市と連携協定を結ぶプロスポーツチームを指導者として活用し、プロスポーツを市民に身近に感じてもらうことで、応援機運の醸成による“みる”スポーツの推進を図ることを目的に、初心者の小学生を対象とした各種スポーツ教室を開催した。

(ｱ)　第1期

開　催　日	競技（協力プロチーム）	参加者(人)	会　　場
11月 2日(日)	野球（栃木ゴールデンブレーブス	34	エイジェックスポーツ科学総合センター
11月30日(日)	サッカー（栃木シティフットボールクラブ）	25	CITY FOOTBALL STATION
12月13日(土)	ミニバスケットボール（宇都宮ブレックス）	35	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）

(ｲ)　第2期

開　催　日	競技（協力プロチーム）	参加者(人)	会　　場
2月22日(日)	サッカー（栃木シティフットボールクラブ）	19	CITY FOOTBALL STATION
2月28日(土)	野球（栃木ゴールデンブレーブス）	13	エイジェックスポーツ科学総合センター
3月 8日(日)	ミニスケットボール（宇都宮ブレックス）	31	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）

ウ　“小学生向け”初心者ゴルフ教室

「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図るとともに、多くのゴルフ場を有する本市の特性を活かし、ゴルフ競技の活性化に寄与することを目的に、初心者の小学生を対象としたゴルフ教室を開催した。

・開催日　3月25日(水)

・会　場　都賀カンツリー倶楽部

・参加者　15人

エ　小中学生スキー初心者教室

小中学生が冬の大自然に触れながらスキーを楽しむことを通じ、スポーツに親しみを持たせることで、「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図ることを目的に開催した。

・開催日　1月17日(土)
・会　場　エーデルワイススキーリゾート
・参加者　38人

(3)　スポーツ推進委員活動事業

ア　ニュースポーツ巡回体験会（移動ニュースポーツ体験館）

4つのニュースポーツ「バブルサッカー」「モルック」「ボッチャ」「フライングディスク」を活用した地域巡回による自由参加型の体験会を実施し、「ニュースポーツの普及」を通じて、「スポーツに親しみを持たせることによるスポーツ人口の底辺拡大」及び「地域内交流の振興」を図ることを目的に開催した。

開　催　日	地域（会場）	参加者(人)
8月 2日(土)	西方（関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館））	19
9月28日(日)	大平（大平南体育館）	40
12月14日(日)	岩舟（岩舟中学校体育館・校庭）	33
1月18日(日)	藤岡（藤岡中学校体育館・校庭）	70
2月 1日(日)	都賀（家中小学校体育館・校庭）	31

イ　令和7年度ふるさと見に（ミニ）ウォーキング

スポーツを通じて市民だれもがいきいきと元気になる“栃木市”の実現を目指す取り組みの一環として、健康づくりと生きがいづくり、並びに「ふるさとを再発見！！」をテーマに開催を予定した。

・開催日　10月26日(日)
・会　場　西方地域コース
・参加者　雨天のため中止

(4)　近隣市町連携事業

ア　サイクルフェスタ～走ってみよう　おやま・のぎ・とちぎ～2025

自転車を活用した栃木市・小山市・野木町の連携事業として、3市町の各所を自転車で巡り、自然と景観を体感していただく中で、市町の魅力を発信し、人を呼び込み交流人口の増加を目指すことを目的に開催した。

・開催日　11月1日(土)
・会　場　小山総合公園→いちごの里→部屋南部桜づつみ公園→野木町煉瓦窯→小山市立体育館→小山総合公園
・参加者　484人

イ　栃木・佐野ニュースポーツまつり

栃木市・佐野市の新たな連携事業として、自由参加型によるニュースポーツ体験

会を実施し、「ニュースポーツの普及」を通じて、「スポーツに親しみを持たせることによるスポーツ人口の底辺拡大」を図るとともに、両市のスポーツ関係団体を活用した連携事業として実施することで、両市の更なる連携強化・スポーツの振興を図ることを目的に開催した。

・開催日　5月18日(日)
・参加者　延べ1,015人
・会　場　岩舟総合運動場・岩舟公民館

(ｱ)　主な催し物

a　栃木市スポーツ推進委員会によるニュースポーツ体験会

・実施種目　10種目（モルック、ボッチャ、バッゴー、輪投げ、ディスクゴルフ、タグラグビー、ストラックアウト、カローリング、スマイルボウリング、ターゲット・バードゴルフ）

b　佐野市スポーツ団体によるニュースポーツ体験会

・実施種目　3種目（グラウンド・ゴルフ、クリケット、スカイクロス）

c　キッチンカーによる飲食物販売

ウ　第69回東武日光沿線三市親善剣道大会

東武日光沿線三市（栃木市・鹿沼市・日光市）における剣道愛好者の親睦を図り、剣道の普及･発展に資することを目的に開催した。

・開催日　11月30日(日)
・会　場　藤岡総合体育館
・参加者　74人

(5)　近隣市町連携事業（栃木市スポーツ協会共催）

開催日	事　業　名	参加者(人)	会　場
6月29日(日) 7月 6日(日)	第79回県南五市対抗親善総合競技大会	194	栃木市・小山市
10月12日(日) 19日(日) 26日(日)	令和7年度栃木県民スポーツ大会	234	県総合運動公園他
1月25日(日)	第67回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会	31	宇都宮市⇔栃木市
2月16日(月)	第73回県南四市対抗親善スキー大会	16	エーデルワイススキーリゾート

(6)　各種スポーツ大会開催事業

開　催　日	事　業　名	参加者(人)	会　場
5月19日(月)	第46回栃木市ゲートボール大会	41	アルレクスパークとちぎ (屋内運動場)
5月11日(日) ～7月6日(日)	第15回栃木市夏季学童軟式野球大会	260	総合運動公園
6月29日(日)	第13回栃木市民陸上大会	300	
7月20日(日) 21日(月)	栃木市長杯第70回栃木市学童フットベースボール大会	91	

9月 7日(日)	第43回栃木市民水泳大会	100	
2月11日(水)	第70回とちぎ駅伝競走大会	257	
2月21日(土) 22日(日)	第47回栃木市小・中学校ハンドボール大会	151	マルワ・アリーナとちぎ (総合運動公園総合体育館)

(7) 栃木市スポーツ協会事業

開催日	行事名	参加者(人)	会場
9月21日(日)	第7回第1支部運動会	150	栃木中央小
9月28日(日)	大宮地区体育祭	800	大宮運動広場
10月 5日(日)	令和7年度国府地区民スポーツフェスティバル	300	大塚運動広場
10月 5日(日)	2025年度都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバル	384	つがスポーツ公園
10月 5日(日)	第1回吹上地区スポーツレクリエーション大会	200	吹上公民館
10月 5日(日)	第33回岩舟地区体育祭	800	CITY FOOTBALL STATION サブグラウンド
10月 5日(日)	第7支部(柳橋町)体育大会	420	栃木中央小
10月12日(日)	ふる里大平スポーツフェスタ2025	1,972	大平運動公園
10月19日(日)	にしかたニュースポーツフェス！	400	関東ホーチキにしかた体育館 (西方総合文化体育館)
10月26日(日)	第2支部体育祭	80	栃木中央小
11月29日(土)	ミニスポーツフェスティバル(第3支部)	300	南小

(8) 栃木市スポーツ少年団関係

ア 事業報告

開催日	事業名	参加団数	場所
4月 5日(土)	第11回栃木市スポーツ少年団軟式野球交流大会	9	総合運動公園
5月11日(日)	第14回栃木市スポーツ少年団ミニバスケットボール大会	4	マルワ・アリーナとちぎ (総合運動公園総合体育館)
7月24日(木)	栃木市スポーツ少年団総会	24	きらりの杜とちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター)

イ 登録人数表

種目	団数	指導者数(人)	スタッフ数(人)	団員数(人)
バレーボール	1	4	0	10
剣道	1	2	1	50
空手道	1	3	1	10
柔道	1	2	1	8
野球	9	24	21	162

ミニバスケットボール	4	14	3	74
陸上	1	2	0	10
少林寺拳法	1	2	1	8
合　　計	19	53	28	332

(9)　スポーツ大会出場者激励金等給付事業費

本市のスポーツの競技力・指導力の向上を図るため、スポーツ大会（全国大会、国際大会等）に出場する市内在住の選手・市内に所在する団体に対し、激励金等を給付し、大会での活躍を支援した。

・給付実績

激励金	個人	全国大会 (選手1人につき1万円)	46人	460,000円
		アジア大会 (選手1人につき2万円)	－	－
		世界大会 (選手1人につき3万円)	1人	30,000円
	個人（市外団体の構成員）	全国大会 (選手1人につき5千円)	57人	285,000円
		アジア大会 (選手1人につき1万円)	－	－
		世界大会 (選手1人につき2万円)	1人	20,000円
	団体	全国大会 (1団体につき上限5万円)	19団	920,000円
		アジア大会 (1団体につき上限10万円)	－	－
		世界大会 (1団体につき上限15万円)	－	－
報奨金（アジア大会又は世界大会を伴わない全国大会で優勝又は準優勝したもの）	個人（選手1人につき2万円）	優勝	1人	20,000円
		準優勝	－	－
	個人（市外団体の構成員）（選手1人につき1万円）	優勝	12人	120,000円
		準優勝	3人	30,000円
	団体（1団体につき上限10万円）	優勝	1人	100,000円
		準優勝	1人	100,000円

プロスポーツ連携係

1　プロスポーツ連携関係

(1)　各プロ及びプロに準じるスポーツ団体との連携

市内で活動を行う栃木シティフットボールクラブ、栃木ゴールデンブレーブス（エイジェック硬式野球部、エイジェック硬式女子野球部を含む）、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックスとの連携協定に基づき、連携事業の推進を図った。

ア　4団体共通

試合情報や結果について、栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”アカウントによるSNS上での情報発信や、市広報紙へのチーム紹介記事の掲載を行った。

イ　栃木シティフットボールクラブ関係

・応援機運を醸成するため、栃木市で開催されるホームゲームの情報について、市ホームページ等に掲載することで、市民への「みるスポーツ」の推進を図った。

・J3で優勝し、J2昇格が決まった際には、優勝と昇格を祝うため、栃木駅の改札や公共施設に横断幕を掲出し、広く市民に周知を図った。

ウ　栃木ゴールデンブレーブス関係

栃木市で開催されたホームゲームにおいて、栃木市民デーを設定し市民等の無料入場を実施することで、市民への「みるスポーツ」の推進を図った。

エ　宇都宮ブリッツェン関係

藤岡渡良瀬運動公園内の、わたらせサイクルパークを活用したイベント等の開催業務を宇都宮ブリッツェンの運営会社であるサイクルスポーツマネージメント株式会社に委託し、各種自転車イベントの開催や講座を実施することで、広くサイクルスポーツの振興に努めた。

(2)　栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”関係

プロスポーツチームのスポンサーやファンクラブ等の既存の応援形態とは別に、市民が気軽に負担なくチームを応援することを目的に栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”を運営した。

ア　Strawberry Hearts 会員

市が連携協定を締結している栃木シティFC、栃木ゴールデンブレーブス、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックスの4チームを応援する。

・年 会 費　無料

・特　　典　各チームに関するイベント案内やグッズが当たる抽選会への参加

・会 員 数　4,194名

イ　作成物

4チームを広く紹介するためのリーフレットを作成し、試合やイベントにおいて来場者に配布した他、市内転入者にリーフレットを配付し、広く周知に努めた。

(3)　エイジェックスポーツ科学総合センターを活用したセミナー等事業

エイジェックグループとの連携協定における施設の相互利用、及び市民の健康増進

に関する事項に基づき、市民に対する「運動と健康・栄養」の意識啓発や、市民の健康増進及び青少年育成を推進することを目的に事業を実施した。

ア　～科学が導く、新時代の健康づくり～夏休み！親子で「科学」×「運動」測定会
　　令和7年8月23日（土）、24日（日）　全4回　35組73名参加

イ　スポーツ科学で学ぶ！eスポーツ体験会
　　令和7年11月22日（土）　全2回　8組16名参加

(4)　プロスポーツチーム等による地域貢献事業

ア　栃木シティフットボールクラブ（市内小学校）
　　学校訪問及びホームスタジアム“CITY FOOTBALL STATIONの見学　5件

イ　栃木ゴールデンブレーブス（市内保育園）
　　エイジェックスポーツ科学総合センターでの軽運動　1件

ウ　宇都宮ブレックス（市内保育園）
　　保育園でのブレクシー及びブレッキーによるダンス教室等　1件

エ　エイジェック女子硬式野球部（市内保育園）
　　エイジェックスポーツ科学総合センター及び園での軽運動　2件

2　女子野球関係

(1)　栃木市杯とちぎさくらカップ（女子野球大会）関係

女子野球の普及と大会開催による地域活性化を目指し、栃木市と株式会社エイジェックスポーツマネージメントにより組織した実行委員会主催による女子野球大会を開催した。

部門	開催日	参加人数・チーム
小学の部	10月26日(日)	11名
中学の部	9月13日(土)から 9月14日(日)	15チーム
高校の部	11月 1日(土)から11月 2日(日)	16チーム
フリーの部	3月22日(土)から 3月23日(日)	15チーム

(2)　女子野球タウン関係

令和2年から実施してきたとちぎさくらカップの実績等が一般社団法人全日本女子野球連盟に認められ、本市が「女子野球タウン」として令和6年に認定された。認定と併せ、連盟と締結した協定の事業の目的である、女子野球を通じた地域の活性化やSDGｓに掲げられている「ジェンダー平等」、「住み続けられるまちづくり」を推進するため事業を実施した。

ア　ヴィーナスリーグ公式戦誘致事業

関東女子硬式野球連盟主催による女子野球界で世界最大規模のリーグ戦「ヴィーナスリーグ」の誘致を行い、9月6日と7日の2日間、エイジェックさくら球場において8試合を開催した。本市と連携協定を締結するエイジェックグループの女子硬式野球部や國學院大學栃木高等学校女子硬式野球部も出場した。

イ　侍ジャパン女子日本代表及びオーストラリアエリートチーム合宿地誘致事業

9月に侍ジャパン女子日本代表の強化合宿およびオーストラリアエリートチーム

に合宿を誘致した。オーストラリアエリートチームはエイジェックさくら球場での試合や練習のほか、学校訪問や工場見学、市内観光も実施した。合宿後半には、両チームが対戦する強化試合を実施し、球場には多くの観衆が詰めかけた。

ウ　第27回全国高等学校女子硬式野球選抜大会誘致事業

全国高等学校女子硬式野球選抜大会の市内開催を誘致し、3月20日から23日の4日間、エイジェックさくら球場で11試合を開催した。キッチンカーの出店や地元商工会と連携し、本市の特産でもあるいちごを販売するなど、地域活性化を図る取り組みとなった。

3　サイクルスポーツ関係

(1)　わたらせサイクルパークを活用したイベント等

わたらせサイクルパークを活用したイベント等業務をサイクルスポーツマネージメント株式会社に委託し、渡良瀬遊水地ライドや太平山ヒルクライムライド、ジュニア用ロードバイク体験教室等を開催した。

・イベント等開催数　13回

(2)　全日本選手権大会の誘致

公益財団法人日本自転車競技連盟が主催する第28回全日本選手権個人タイムトライアルロードレース大会及び2025全日本パラサイクリング選手権ロード大会を誘致し、6月29日、渡良瀬遊水地で開催した。

(3)　ジュニア用ロードバイク及びキックバイクの購入

サイクルスポーツによる青少年育成を推進するため、ジュニア用ロードバイク5台とキックバイク5台を購入し、体験教室開催の際に使用した。

(4)　自転車の駅

ロードバイクやその他自転車で栃木市を訪れる方が、市内を快適に走行でき、また、市の物産・特産、グルメやアクティビティのPRにつなげることを目的に、サイクルスポット「自転車の駅」として協力いただける店舗や施設を募集し、令和7年度において10件登録した。

スポーツ施設係

1　社会体育施設

(1)　施設の種類

施設名	建設年	面積（㎡）		備考
		敷地	建物	
剣道場	明治44年	437.25	163.70	木造瓦葺平屋
弓道場	昭和28年	102.47	76.00	木造亜鉛葺平屋
皆川東宮運動場	昭和46年	14,889.23	－	
柳原河川敷運動場	昭和52年	12,608.00	3.25	簡易水洗式トイレ

尻内河川敷運動場	昭和54年	5,950.00	9.91	木造平屋トイレ
大塚運動広場	平成2年	15,942.90	27.30	木造平屋トイレ
大宮運動広場	平成5年	15,257.00	21.00	木造平屋トイレ
城内ニュースポーツ広場	平成18年	12,648.00	－	
アルレクスパークとちぎ（屋内運動場）	平成4年	3,724.23	1,062.80	鉄骨造鋼板葺平屋

(2)　利用状況　　(単位:人)

利用人数 / 施設	合計
剣道場	0
弓道場	0
柳原河川敷運動場	7,020
皆川東宮運動場	3,200
大塚運動広場	13,850
大宮運動広場	14,484
城内ニュースポーツ広場	10,720
アルレクスパークとちぎ（屋内運動場）	9,292
合　計	58,566

※剣道場及び弓道場は、耐震性の理由により令和5年9月11日(月)から利用休止

2　学校体育施設開放関係

利用状況

(1)　学校体育施設(運動場)　　(単位:人)

利用人数 / 施設	合計
栃木中央小	3,417
栃木第三小	4,650
栃木第四小	2,100
栃木第五小	1,406
南　　小	6,146
大宮南小	0
大宮北小	2,720
皆川城東小	4,751
吹上小	2,328
千 塚 小	3,016
寺 尾 小	431

国府南小	480
国府北小	3,354
合　　計	34,799

(2)　学校体育施設(体育館)　　(単位:人)

施設＼利用人数	合計
栃木中央小	11,380
栃木第三小	8,580
栃木第四小	9,867
栃木第五小	4,886
南　　小	6,090
大宮南小	4,040
大宮北小	1,059
皆川城東小	7,462
吹 上 小	8,013
千 塚 小	9,768
寺 尾 小	4,200
国府南小	3,759
国府北小	4,660
栃木東中	1,616
栃木西中	3,711
栃木南中	2,174
東 陽 中	3,001
皆 川 中	13,242
吹 上 中	2,946
寺 尾 中	5,921
合　　計	116,375

(3)　学校体育施設(武道場)　　(単位:人)

施設＼利用人数	合計
栃木東中（※）	4,060
栃木西中	3,888
合　計	7,948

（※）栃木市剣道場の代替施設として利用

(4)　学校体育施設(夜間照明)　　(単位:人)

利用人数 / 施設	合計
栃木中央小	351
栃木第三小	1,560
栃木第五小	2,248
南　　小	10,602
皆川城東小	542
栃木東中	1,444
東 陽 中	2,061
吹 上 中	118
寺 尾 中	107
栃木商業高校	340
栃木高校	4,940
合　計	24,313

第９節　渡良瀬遊水地課

〔総括概要〕

渡良瀬遊水地課の主な分掌事務は、渡良瀬遊水地に係る企画・調整、普及・啓発、環境保全・利活用、藤岡遊水池会館及び渡良瀬遊水地ハートランド城に関することである。

渡良瀬遊水地に係る企画・調整については、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議への参加や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会総会の主催など、関係自治体及び関係団体との連携や交流を行った。

渡良瀬遊水地の普及・啓発については、渡良瀬遊水地のPRとして毎月第3日曜日に熱気球dayを開催したほか、ラムサール条約登録記念日のある7月を強化月間として公式Ｘ（旧ツイッター）等を活用したPR活動を行うなど、幅広い層の方に対して渡良瀬遊水地に興味・関心を持っていただけるような広報を行った。

環境保全については、希少植物保全のための外来植物除去活動や湿地環境保全のためのヨシ焼き及びクリーン作戦を実施した。

また、周辺に飛来するコウノトリの定着を目指し、巣塔周りのヨシ刈り等生息地環境整備を行った。なお、令和7年3月に飛来したコウノトリは兄妹個体によるペアであったことから、遺伝的多様性の確保の観点に配慮し、産卵された卵を擬卵に交換する対応を行った。さらに、令和8年3月においても、前年と同様の当該兄妹ペアによる営巣が確認された。

利活用については、渡良瀬遊水地の利活用を促進するため、人材育成としてボランティアガイド養成講座やカヌースタッフ養成講座の開催と渡良瀬遊水地ガイドクラブの支援等を行ったほか、渡良瀬遊水地内をバスで巡るぐるり旅や、渡良瀬遊水地フェスティバルの開催など渡良瀬遊水地を活用したイベントを実施した。また、「渡良瀬遊水地の様々な資源や環境の保全活動に取り組み、それらを未来につなげる“守り人”」である会員組織のファンクラブ「渡良瀬ナイツクラブ」の運営を行った。

また、ラムサール条約登録10周年の令和4年10月に、渡良瀬遊水地及び渡良瀬遊水地ハートランド城が「恋人の聖地」として選定されたことから、熱気球バレンタインカップルフライトや「恋人の聖地」巡礼ツアー等を行った。

ラムサール推進係

1　渡良瀬遊水地に係る企画・調整

(1)　ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

国内のラムサール条約湿地関係市町村で組織する「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において、副会長市であることから、釧路市で行われた令和7年度 主管者会議及び第16回学習・交流会に参加した。

・実 施 日　11月6日（木）～11月7日（金）

・会 場　釧路プリンスホテル3階北斗の間　他（北海道釧路市）
・登録湿地54か所のうち25か所30市町村参加

(2)　渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会代表、治水団体、利用する団体、環境保全等を行う団体など44団体で構成する「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」において、会長市として総会や定例会を開催し各団体との情報共有・意見交換を行った。

また、協議会の下部組織である部会では、「渡良瀬遊水地におけるイノシシ対策」のワーキンググループ④として「令和7年度捕獲目標達成に向けた検討」及び「今後の長期的対策方針の検討」を行った。

令和7年度渡良瀬遊水地保全・利活用協議会　総会
・実 施　8月20日（水）
・会 場　栃木市　藤岡遊水池会館　2階　大会議室
・参加団体数　33団体
※そのほか定例会を2回開催（5月、12月）

(3)　三県境事務担当者会議

栃木、群馬、埼玉の3県に跨る三県境について地域の観光資源として、板倉町及び加須市と連携して利活用及び環境整備を行うため、担当者による情報交換を行った。

2　藤岡遊水池会館管理

(1)　施設管理

建物、駐車場及び施設内設備・物品・植栽の維持管理を行った。また、市民交流の場として、一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団が運営する渡良瀬遊水地湿地資料館と連携して情報発信に努めた。

(2)　施設の貸館状況

大会議室の貸館を行っているほか、一部を一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に事務室として貸し付けている。

大会議室の利用状況

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
359	5,685	134,590

3　渡良瀬遊水地の環境保全

(1)　渡良瀬遊水地クリーン作戦

渡良瀬遊水地の美化促進及び自然環境の意識高揚を図るため、企業や地域住民及び一般利用者が参加し、清掃活動を実施した。

実施日	場所	参加者（人）	収集量（t）
4月12日（土） 毎年1回開催	渡良瀬遊水地　第1調節池	350	一般ゴミ　5.68 粗大ゴミ　0.08 産廃ゴミ　0.64

(2)　希少植物保全のための外来植物等除去活動の実施

渡良瀬遊水地には多くの希少植物が生育しているため、この豊かな生態系を保全する必要性を広く周知することを目的に、植物の専門家による指導のもと、希少植物保全のための外来植物等除去活動の参加者を募り実施した。尚、5月・6月・9月に予定した保全活動は雨天のため参加者の活動は中止し、後日職員のみで実施した。

実施日	場所	人数（人）	保全植物
4月22日（火）	渡良瀬遊水地　第1調節池内	12	ノジトラノオ
5月17日（土）	渡良瀬遊水地　第１調節池内	中止	ハナムグラ他
6月25日（水）	渡良瀬遊水地　第1調節池内	中止	ノジトラノオ
9月　6日（土）	渡良瀬遊水地　第1調節池内	中止	アゼオトギリ他
11月15日（土）	渡良瀬遊水地　第2調節池内	150	タコノアシ他

(3)　環境学習池の維持管理

谷中湖北側の史跡保全ゾーンに本市が占用している環境学習池（ハート池）があり、池内は約20種類の国指定の絶滅危惧種植物を含む希少植物が生育している特異な場所であるため、雑草の定期的な刈り取りや池周囲に繁茂する桑の伐根作業等を行い、良好な生育環境の保全に努めた。

(4)　渡良瀬遊水地生態系現地調査業務

業務委託により環境学習池（ハート池）の希少植物の生育状況や生育環境について現地調査を行い、今後の保全活動に向けた施策に供した。

(5)　ヨシ焼き

貴重な湿地環境の保全、害虫の駆除、樹林化の防止等を目的に、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会主催のもとヨシ焼きを実施した。

日時	3月14日(土)　8時30分開始　19時45分終了
主催	渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会
実施区域	渡良瀬遊水地全域
関係者等	○総数:約 720 人 ・古河市、栃木市、小山市、野木町、板倉町、加須市、利根川上流河川事務所、渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、各消防署、各警察署　約 200 人 ・渡良瀬遊水地利用組合連合会及び関係自治会　約 270 人 ・地元消防団　約250人
概要	○焼却面積：約 1,200ha（予定区域約 1,500ha の約 8 割） ○見学者数＝2,400 人

(6)　コウノトリ生息地環境整備

ふるさと応援寄付金を原資としたコウノトリ生息地環境整備基金を財源として、渡良瀬遊水地内2か所に設置されている人工巣塔周辺の環境整備を行った他、第1調節池内の人工巣塔に営巣をはじめたコウノトリを見守るため、旧谷中村合同慰霊碑敷地内の監視用カメラにより観察を行った。

令和7年春には、小山市生まれの雄「りょう」と雌「小白」がペアとなり営巣し、3月には産卵が推定された。しかしながら、当該ペアは近親個体であったことから、遺伝的多様性の確保の観点に配慮し、産卵された卵を擬卵に交換する対応を行った。

なお、令和8年3月においても、前年と同様に当該兄妹ペアによる営巣が確認された。

	今年度末積立額（円）	基金積立現在高（円）
コウノトリ生息地環境整備基金	26,471,651	115,361,213

ハートランド城係

1　渡良瀬遊水地の普及・啓発

(1)　ラムサール条約登録記念日、ＰＲ強化月間

渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日をラムサール条約登録記念日、7月をＰＲ強化月間として、各種ＰＲ活動を行った。

ア　栃木市役所　本庁舎への懸垂幕の掲示

・掲示期間　7月1日～7月31日

イ　栃木市内公共施設へののぼり旗の掲示

・掲示期間　7月1日～7月31日

(2)　渡良瀬遊水地キャラクターの利用促進

渡良瀬遊水地課公式Ｘ（旧ツイッター）とインスタグラムで、ハートランドキャラクターが渡良瀬遊水地の「今」の情報を発信した。

(3)　渡良瀬遊水地キャラクターの着ぐるみによるＰＲ活動

平成26年度に制作したHearts（ハーツ）姫、Watarase712（わたらせナイツ）の２つのキャラクターの着ぐるみで栃木市内及び渡良瀬遊水地周辺の市町で開催されたイベント（わたフェス、消防イベント等）に出演し、渡良瀬遊水地及びハートランドのＰＲ活動を行った。

(4)　「渡良瀬ナイツクラブ」の運営

治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ渡良瀬遊水地をより良く活用するために行動し、“守り人”となり渡良瀬遊水地を保全し続け未来につなぐことを目的とした会員組織のファンクラブを運営した。

・会員数　一般会員　186人
　　特別会員　　7人
　　サポート店　4店

・ナイツクラブ通信発送回数　4回

(5)　小山市との連携によるヨシ灯り展の開催

小山市との連携事業として、両市が渡良瀬遊水地に自生するヨシを活用した「ヨシ灯り」を作成し、ライトアップを行った。共催6年目となった今回は栃木市会場で実施。

・実 施 日　10月12日（日）

・会　　場　渡良瀬遊水地ハートランド城

・来場者数　1,000人

(6)　渡良瀬遊水地キャラクターアニメーション放映

藤岡地域会議提案事業として制作した渡良瀬遊水地キャラクターによる渡良瀬遊水地のＰＲ動画を渡良瀬遊水地課公式YouTubeで公開したり、エコライフinとちぎで放映するなど幅広い層にＰＲした。

(7)　恋人の聖地関連事業

令和4年10月1日に、渡良瀬貯水池（谷中湖）及び渡良瀬遊水地ハートランド城が恋人の聖地に選定されたことから、本県産木材を使用した実物大コウノトリのモニュメント及びハートのオブジェを館内に展示するとともに、イベント事業を開催した。

・12月13日　　恋人の聖地巡礼ツアー実施（遊水地案内、ホフマン館）　2組4人

・ 2月16日　　バレンタインカップルフライト（係留）実施　9組18人

2　渡良瀬遊水地の利活用

(1)　環境学習

ア　クリーンメガSUPツアー

実施日	場所	参加人数	内容
6月14日（土）	谷中湖	16人	メガSUPに乗り、谷中湖畔のゴミ拾い

イ　夏のわくわく大作戦！親子水辺教室※熱中症警戒アラート発出により中止

実施予定日	会場	参加人数	内容
7月26日（土）	谷中湖	中止	植物観察、カヌー体験

ウ　ツバメのねぐら入り観察会

実施予定日	会場	参加人数	内容
8月19日（水）	ハートランド城～渡良瀬遊水地内	15人	ツバメの生態についての説明及びねぐら入りの観察

(2)　渡良瀬遊水地フェスティバル2025

・開 催 日　12月13日（土）

・会　　場　藤岡渡良瀬運動公園

・主　　催　渡良瀬遊水地フェスティバル実行委員会

・内　　容　スカイスポーツやウォータースポーツ、ロードバイク等の展示や体験、ヨシ灯り等の展示、ガイドクラブによるツアー、スタンプラリー等

・来場者数　5,000人

(3)　渡良瀬遊水地ぐるり旅

遊水地周辺をバスでガイドクラブが案内するぐるり旅を実施した。

実施日	参加人数	備考
4月19日(土)	17人	ガイド2名
11月29日(土)	17人	ガイド2名

(4)　わたらせ熱気球day

渡良瀬遊水地のＰＲ及び安全かつ気軽に熱気球を楽しむ機会を提供するため、渡良瀬運動公園にて毎月第3日曜日に熱気球係留飛行体験を実施した。

実施日	参加組数（組）	参加者数（人）	備考

4月20日(日)	46	135	
5月5日(日・祝)	57	185	特別日として、小学生以下の体験料を無料で実施
7月20日(日)	42	105	
9月21日(日)	46	122	
10月19日(日)	38	59	
11月16日(日)	33	84	
1月18日(日)	17	44	
2月15日(日)	35	91	カップルフライト９組含む
3月22日(日)	37	115	
合計10回	351	940	悪天候により中止3回 （5、6、12月）

3　人材育成

(1)　渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座

渡良瀬遊水地の来訪者を案内するボランティアガイドを育成するため、養成講座を開催した。

・実 施 日　　4月～12月の第4土曜日
・内　　容　　渡良瀬遊水地の役割、歴史、自然について
・会　　場　　ハートランド城、史跡保全ゾーン、他
・受講修了者　7人
・回　　数　　9回

(2)　カヌースタッフ養成講座

渡良瀬遊水地で楽しまれるカヌーの楽しさを広めるため、体験者へのサポートをするスタッフを養成した。

・実 施 日　5月4日（日・祝）、6～11月の日曜日
・内　　容　カヌー操作の基礎、安全講習、レスキュー講座
・会　　場　谷中湖周辺、藤岡小学校プール他
・参 加 者　3人
・回　　数　4回

(3)　渡良瀬遊水地ガイドクラブの活動支援

渡良瀬遊水地ガイドクラブの組織運営の支援を行った。また、団体案内申込書の受付業務及びガイド担当者の調整も行った。

・ガイド案内実績

	谷中湖周辺	ハートランド城	合　　計
日数（日）	293	117	410
利用者数（人）	3,903	1,630	5,533

(4)　渡良瀬ヨシ愛好会の活動支援

ヨシ細工指導スタッフ養成講座修了者の活動を更に発展させるため、「渡良瀬ヨシ愛好会」の設立を支援した。設立後は愛好会の活用を図り、市と協働でイベントを実施したほか、多様な申込者からの依頼に応えてヨシ細工制作体験を行った。

・渡良瀬ヨシ愛好会活動実績

	作品展示	体験申込数
件数（件）	4	11
来場者・参加者数（人）	1,850	258

4　ハートランド城管理

(1)　施設管理

市民交流の場として渡良瀬遊水地情報コーナーの充実を図り情報発信に努めた。また、建物、駐車場、植栽及び物品の維持管理を行った。

・来館者数　10,522 人

(2)　施設の貸館状況

研修室の貸館を行っている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
215	2,480	18,450

第４章　生活環境部

第１節　市民生活課

〔総括概要〕

市民生活課の主な分掌事務は、市民相談、消費者行政、消費生活センター、戸籍の記載、新戸籍の編製、住民基本台帳及び印鑑登録原票の整備、マイナンバーカードの交付及び管理、関係諸証明の作成交付、住居表示番号の付番等に関することである。

市民相談業務については、市民生活に関する苦情、相談等を受け付け、解決に向けた処理として、助言や庁内各課への対応依頼及び庁外の相談先案内等を実施した。

消費者行政については、消費者である市民が、より豊かで安全・安心な消費生活を送れるよう、各種媒体を活用した情報提供や、悪質商法等に対する被害防止の啓発を行うとともに、消費生活センター相談員や職員による出前講座を実施した。

消費生活センターでは、各種法令や、悪質商法等の手口、解決法を学び相談業務に役立てるため、国や県主催の研修会に参加し、相談員のスキルアップを図った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻等の戸籍届受付及び記載、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書等の交付、在留資格をもって在留する外国人に関する住居地届出事務を行った。戸籍業務については、戸籍へ振り仮名を記載するため、本籍人へ振り仮名確認のための通知を発送し、振り仮名届の受付及び記載を行った。証明書交付については、マイナンバーカードの交付率の上昇に伴いコンビニ交付の利用件数が増加している。

マイナンバーカードについては、健康保険証や免許証との一体化やコンビニ交付等により利活用する場面が拡大しており、保有率は 80%以上である。保有者数の増加に伴い関連事務が増加しており、どの手続きにおいても一人にかける時間が長くなる傾向にあり、マイナンバーカードを取り扱う窓口は混雑している状況である。

そのような状況の中、来庁者の負担軽減を図るため、令和7年10月24日からマイナンバーカードに関する業務手続の一部に「書かない窓口」システムを導入した。

戸籍システムについては、2月に標準準拠システムへ移行し業務を開始した。

市民生活係

1　市民相談関係

市の仕事や日常生活での悩み・困りごとに関する相談、または助言、相談先の案内など、市民生活に係る問題の解決を図り、市民の福祉向上に努めた。

・各種相談状況　（単位：件）

相　談	場　所	開設状況	件　数

市民相談	市役所本庁舎2階 市民相談室ほか	常時開設	526
合同相談（行政・人権相談）		毎月第2火曜日	5
弁護士相談		毎月第2,4金曜日	303
宅地建物相談		毎月第3金曜日	30
行政書士相談		毎月第3金曜日	35
司法書士相談		毎月第3水曜日	48

※弁護士相談件数には各総合支所、大平隣保館での実施件数も含む。

2　消費者行政の推進

消費者を取り巻く環境は、高齢者の単身化やキャッシュレス化・グローバル化の進展を背景に著しく変化しており、また、消費者のニーズも多様化、高度化し、多面的な広がりを見せている。消費者が安全で安心な消費生活を送るために情報提供、相談業務及び啓発事業を実施した。更に、「市民の消費生活の安定と向上」を基本目標とし、その目標の達成に向け、具体的に施策を推進するための「第3次栃木市消費生活基本計画」に基づき施策を実施した。

(1)　消費生活センター事業

消費生活センターを月～木曜日開設し、国民生活センター、栃木県消費生活センターと連動した全国消費生活情報ネットワーク・システムを活用することで、相談業務の拡充と迅速な情報提供を図り、消費者啓発、苦情相談等の解決に当たった。

ア　消費生活相談員による苦情生活相談

消費生活相談員3人により消費生活に関する苦情相談、生活相談を行い、問題解決に当たった。また、パンフレット配布等を行い、消費者への啓発に努めた。

(ｱ)　相談件数の推移

相談内容	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
苦情相談	967	88.9	787	92.0	905	95.6
問合せ	121	11.1	68	8.0	42	4.4
合　計	1,088	100.0	855	100.0	947	100.0

(ｲ)　商品・サービス別相談件数

相談の種別		令和6年度(件)	令和7年度(件)	前年比(%)
苦情相談	商品一般	126	137	108.7
	食料品	53	67	126.4
	住居品	33	39	118.2
	光熱水費	28	24	85.7
	被服品	33	38	115.2
	保健衛生品	73	84	115.1
	教養娯楽品	50	56	112.0
	車両、乗り物	24	28	116.7
	土地、建物、設備	86	101	117.4

	他の商品	2	1	50.0
	役務（サービス）一般	19	8	42.1
	金融、保険サービス	86	86	100.0
	運輸、通信サービス	53	46	86.8
	教育サービス	1	0	－
	教養、娯楽サービス	35	47	134.3
	保健、福祉サービス	19	22	115.8
	他の役務（サービス）	55	107	194.5
	内職、副業、相場	7	6	85.7
	他の行政サービス	3	6	200.0
	他の相談	1	2	200.0
計		787	905	115.0
問合せ		68	42	61.8
合　計		855	947	110.8

(ｳ)　販売購入形態別件数

	令和6年度（件）		令和7年度（件）		前年比（%）	
		うち苦情相談		うち苦情相談		うち苦情相談
店舗購入	150	140	144	139	96.0	99.3
訪問販売	85	84	102	101	120.0	120.2
通信販売	241	238	291	288	120.7	121.0
マルチ・マルチまがい	7	6	2	2	28.6	33.3
電話勧誘販売	61	60	105	105	172.1	175.0
ネガティブ・オプション	19	18	18	18	94.7	100.0
訪問購入	13	13	6	6	46.2	46.2
その他無店舗	2	2	1	1	50.0	50.0
不明・無関係	277	226	278	245	100.4	108.4
合　　計	855	787	947	905	110.8	115.0

イ　消費生活講座講師派遣

団体への出前講座や、高齢者教室等において講座を実施した。

・延べ実施回数　　3回

・延べ参加者数　108人

(2)　消費者教育

ア　出前講座

消費者教育として小学校6年生を対象に、情報モラルかるたを導入した児童参加型講座を実施した。（令和7年9月～令和8年1月）

・延べ実施回数　　9回

・延べ参加者数　　209人

イ　学校における消費者教育

出前講座未実施の小学校6年生及び市内中学校2年生を対象に、ネットトラブルに

関するリーフレットを2種類、また、市内高等学校2年生を対象に、若年者トラブル防止のためのリーフレットを1種類配布した。

・児童・生徒へのリーフレット配布

対象	学校数	配布部数	配布月
小学校6年生	23校 ※出前講座未実施	各1,106部	令和7年8月
中学校2年生	13校	各1,327部	令和7年7月
高等学校2年生	9校	1,813部	令和8年1月

(3) 「消費者月間」関連事業の実施

ア 市内業者への周知

消費者の被害の防止及びその被害拡大を防止するため、市内65店舗へ消費者月間ポスターを送付し、掲示依頼した。

イ 啓発活動の実施

市内消費者団体（栃木県消費生活リーダー連絡協議会栃木支部）と協力し、悪質商法等に関するチラシや啓発物資を市内店舗にて配布した。

・実施状況（啓発物資配布人数 延べ600人）

実施日	実施店舗等
5月19日（月）	東武百貨店栃木市役所店
5月20日（火）	イオン栃木店

(4) 配慮を要する消費者への啓発活動

市内在留外国人に対して、消費者被害の未然防止、早期発見及び拡大防止を図るため、年2回、消費者トラブルに関するチラシを作成、5か国に翻訳し、市内国際交流協会窓口に配架するとともに、市ホームページへ掲載した。

・実施月　令和7年7月、令和8年1月

・配布物資　消費生活通信チラシ　5か国語×各20部（年2回）

多言語対応リーフレット　80部

啓発用うちわ　100本

(5) 消費者教育講演会

複雑多様化する消費者社会、高齢化社会に対応できる消費者を育成するため、講演会を実施した。

・実施日 8月22日（金）

・場　所 栃木市役所3階正庁

・参加者 44人

・講　師 栃木県金融広報アドバイザー　半田玉枝氏

・内　容 豊かな老後のために知っておきたいお金の話

(6) 消費者教育研修会の実施

消費生活への関心を深め、地域の消費者リーダー的役割を担う消費者を育成するため、研修会を実施した。

・実施日　11月6日（木）

・場　所　アグリの森他
・参加団体　栃木県消費生活リーダー連絡協議会栃木支部
・参加者　6人

(7)　家庭用品品質表示法及び消費生活用製品安全法に係る立入検査の実施
・実施日　12月10日（水）
・家庭用品品質表示法による立入検査実施店　　4店
・家庭用品品質表示法に係る検査点数　　504点
・消費生活用製品安全法による立入検査実施店　4店
・消費生活用製品安全法に係る検査点数　　105点

(8)　消費生活展
「第13回栃木市消費生活展」を環境課主催「エコライフinとちぎ」と同時開催し、暮らしに役立つ知識、消費生活に関する情報を消費者団体等が展示、発表した。
・実施日　2月7日（土）
・場　所　とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館)　展示室
・来場者数　約200人
・出展協力団体等
栃木県金融広報委員会、栃木県計量検定所、栃木県消費生活リーダー連絡協議会栃木支部、栃木市（危機管理課、消費生活センター、交通防犯課）

戸籍係

1　戸籍事務

(1)　本籍数及び戸籍人口
・本籍数　　68,730件
・本籍人口　162,020人

(2)　戸籍届出事件数（市全体）　（単位：件）

事件の種類	総数	届出			他市町村から送付
		計	本籍人届出	非本籍人届出	
出生	907	639	398	241	268
国籍留保	9	1	1	－	8
認知	14	6	6	－	8
養子縁組	100	66	59	7	34
養子離縁	34	22	18	4	12
法73条の2､法69条の2	5	5	5	－	－
婚姻	1,354	447	360	87	907
離婚	333	197	178	19	136
法77条の2､法75条の2	127	84	76	8	43

親権、未成年後見、後見監督		7	5	5	－	2
死　　亡		2,577	2,243	1,985	258	334
失　　踪		1	1	1	－	－
復　　氏		－	－	－	－	－
姻族関係終了		5	4	1	3	1
相続人廃除		－	－	－	－	－
入　　籍		236	146	135	11	90
分　　籍		43	18	17	1	25
国籍取得		3	1	1	－	2
帰　　化		5	2	2	－	3
国籍喪失		1	－	－	－	1
国籍選択		4	－	－	－	4
外国国籍喪失		－	－	－	－	－
氏の変更		13	10	6	4	3
名の変更		3	2	2	－	1
転　　籍		530	347	345	2	183
就　　籍		－	－	－	－	－
訂正・更正	市町村長職権	83	83	83	－	－
	法24条2項	5	5	5	－	－
	法113条等	1	1	1	－	－
	法116条	－	－	－	－	－
	続柄の記載更正	4	4	4	－	－
	計	93	93	93	－	－
追　　完		5	5	1	4	－
そ の 他		－	－	－	－	－
不受理申出		46	30	25	5	16
合　　計		6,455	4,374	3,720	654	2,081

(3)　戸籍処理件数　　（単位：件）

処　理　内　容	件　数	処　理　内　容	件　数
新戸籍編製	814	戸籍の再製・補完	1
戸籍全部消除	1,316	その他	12
違反通知	－	合　計	2,143

2　身分関係事務

(1)　犯罪関係処理件数　（単位：件）

既決犯罪通知	168	仮釈放期間満了通知	11
他市町村からの民刑事項通知	8	刑執行猶予言渡取消通知	3
自由刑執行終了通知	11	その他	0
財産刑執行終了通知	14	合　　計	215

(2)　身上調査照会件数　（単位：件）

警　察　署	1,627	そ　の　他	589
検　察　庁	218	合　　計	2,434

3　人口動態事務

人口動態調査票作成件数　（単位：件）

種　別	件　数	種　別	件　数
婚　姻	452	出　生	649(男335、女314)
離　婚	198	死　亡	2,240(男1,174、女1,066、不詳0)
死　産	15	合　計	3,554

市民係

1　中長期在留者住居地届出等事務

入管法上の在留資格をもって中長期在留する外国人に関する事務。

(1)　在留資格別人口（市全体）　（単位：人）

人員 / 在留資格	人員		
	16歳未満	16歳以上	合　　計
教授	－	1	1
宗教	－	2	2
教育	－	6	6
企業内転勤	－	58	58
興行	－	2	2
技能	－	86	86
技能実習1号イ	－	18	18
技能実習1号ロ	－	489	489
技能実習2号イ	－	6	6
技能実習2号ロ	－	614	614
経営・管理	－	82	82
技術・人文知識・国際業務	－	636	636
技能実習３号イ	－	1	1

技能実習3号ロ	－	151	151
介護	－	7	7
文化活動	－	1	1
留学	－	287	287
家族滞在	242	347	589
特定活動	10	435	445
日本人の配偶者等	2	178	180
永住者の配偶者等	49	76	125
定住者	122	324	446
特定技能1号	－	826	826
特定技能2号	－	30	30
高度専門職1号ロ	－	4	4
永住者	117	1,020	1,137
特別永住者	－	51	51
仮滞在許可者	－	1	1
出生による経過滞在者	3	－	3
合　　計	545	5,739	6,284

(2)　国籍別外国人登録人員（市全体）　　（単位：人）

人員 / 国籍	人	員	
	16歳未満	16歳以上	合　　計
国籍・地域未設定	3	－	3
アフガニスタン	10	46	56
アルゼンチン	6	10	16
ボリビア	－	7	7
ブラジル	22	116	138
ミャンマー	9	308	317
カンボジア	－	95	95
カメルーン	－	4	4
カナダ	－	3	3
スリランカ	51	242	293
チリ	－	2	2
コロンビア	2	7	9
中国	41	391	432
フランス	－	4	4
ガーナ	－	5	5
ギニア	－	3	3
ハンガリー	－	1	1
インド	2	30	32
インドネシア	6	771	777

イラン	－	10	10
アイルランド	－	1	1
イタリア	－	1	1
ケニア	－	1	1
朝鮮	－	6	6
韓国	－	84	84
ラオス	－	8	8
レバノン	－	1	1
マレーシア	2	8	10
メキシコ	2	3	5
モンゴル	2	11	13
ネパール	81	859	940
オランダ	－	1	1
ナイジェリア	－	7	7
パキスタン	67	264	331
パラグアイ	－	6	6
ペルー	68	327	395
フィリピン	102	523	625
ルーマニア	－	2	2
シンガポール	－	2	2
シリア	－	1	1
タイ	5	212	217
チュニジア	－	1	1
トルコ	－	3	3
ウガンダ	－	3	3
英国	－	9	9
米国	2	17	19
ベネズエラ	－	5	5
サモア	－	1	1
バングラデシュ	27	165	192
ベトナム	32	1,111	1,143
ドイツ	－	3	3
ロシア	1	7	8
ベラルーシ	－	1	1
キルギス	－	1	1
ウクライナ	－	1	1
ナミビア	－	1	1
ブルキナファソ	－	1	1
コンゴ民主共和国	－	3	3

台湾	1	23	24
無国籍	1	－	1
合　　計	545	5,739	6,284

(3)　各種申請書受理件数（市全体）

ア　中長期在留者　　（単位：件）

件　　名	件　　数	件　　名	件　　数
新規上陸後の住居地届出	1,083	住居地の変更届出（転入）	1,038
資格変更等に伴う住居地の届出	187	住居地の変更届出（転居）	707
		合　　計	3,015

イ　特別永住者　　（単位：件）

件　　名	件　　数	件　　名	件　　数
住居地の届出	0	住居地の変更届出（転居）	2
住居地の変更届出（転入）	4	合　　計	6

ウ　その他の事務取扱件数　　（単位：件）

件　　名	件　　数	件　　名	件　　数
特別永住者証明書の更新	3	出入国在留管理庁通知	4,038
紛失等による特別永住者証明書の再交付	－	市町村通知	4,802
交換希望による特別永住者証明書の再交付	－	合　　計	8,843

2　登録型本人通知制度

住民票の写し等の不正請求等を防ぐため、住民票の写し等を本人の代理人や第三者に交付した時に、事前に登録した方に交付したことをお知らせする制度。

(1)　各種申請書受理件数（市全体）　　（単位：件）

登録申請	変更・廃止申請	お知らせ通知発送
6	4	40

(2)　登録者総数　　431人

3　窓口事務（本庁市民生活課）

(1)　窓口届出処理件数　　（単位：件）

処　理　事　項	件　数
死体埋火葬許可 （栃木市斎場利用なし）	11
死胎埋火葬許可 （栃木市斎場利用なし）	－
死産届	8
合　計	19

(2)　謄抄本証明書等交付件数

種　　別		件数(件)	金額(円)	種　　別		件数(件)	金額(円)
戸籍	全部事項証明	8,973	4,037,850	住民票	世帯全員	6,331	1,899,300
	個人事項証明	1,410	634,500		個　　人	14,633	4,389,900
	除籍謄本	11,944	8,958,000		証　　明	448	134,400
	除籍抄本	159	119,250		閲　　覧	30	9,000
	広域戸籍全部事項証明	1,073	482,850		年金現況証明	－	－
	広域除籍全部事項証明	217	162,750		戸籍の附票	2,320	696,000
	広域除籍謄本	1,704	1,278,000		広　　域	26	7,800
	戸籍証明	71	24,850		公　　用	5,175	－
	受理証明	427	151,550		小　　計	38,772	7,136,400
	廃棄証明	3	－	その他	印鑑登録	2,401	720,300
	出産証明	1	－		印鑑登録廃止	460	－
	戸籍電子証明書提供用識別符号	2	800		臨時運行許可証	487	365,250
	除籍電子証明書提供用識別符号	1	700		労基証明	32	－
	不受理証明	－	－		人口統計	34	－
	公　　用	8,619	－		小　　計	3,414	1,085,550
	小　　計	34,604	15,851,100	合　　計		85,033	26,514,450
証明書	印鑑証明	7,156	2,146,800				
	諸 証 明	308	92,400				
	身分証明	674	202,200				
	住居表示証明等	44	－				
	選挙証明	0	－				
	公　　用	61	－				
	小　　計	8,243	2,441,400				

(3)　マイナンバーカード交付枚数

種　　別		件数(件)	金額(円)
マイナンバーカード		10,730	―
再発行	マイナンバーカード	747	597,600
	特急発行によるマイナンバーカード	148	266,400
	電子証明書	895	179,000

(4) マイナンバーカードに関する主な手続き（単位：件）

種　　別	件　数
暗証番号再設定	6,065
返納	6,223

紛失・廃止	469
記載事項変更（住民異動と兼ねたものは除く）	566
在留期間更新に伴う有効期間変更	396
申請取消	49
一時停止解除	105
電子証明書の発行または更新	12,365
国外継続利用	39
合計	26,277

(5)　(1)～(4)のうち延長窓口処理件数　（単位：件）

種別	件数
住民票写し交付	536
戸籍謄抄本交付	412
印鑑登録証明書交付	256
印鑑登録	175
住民異動届	212
戸籍届	20
臨時運行許可証交付	5
旅券交付	170
マイナンバーカード関連手続き	1,130
窓口及び電話による相談、問合わせ等	50
合計	2,966

(6)　慶事記念品贈呈（市全体）　（単位：件）

種別	件数
婚姻記念品	378
合計	378

※木製の写真立てを贈呈（婚姻には小冊子「くらしの豆知識」を付加）

4　支所・出張所発行件数　（単位：件）

区別 / 種別	件数				
	国府	寺尾	大宮	皆川	吹上
戸籍謄抄本等交付	516	236	465	154	587
住民票写し等交付	664	259	900	260	738
印鑑登録証明書交付	520	249	663	214	636
印鑑登録	50	12	45	12	39
印鑑登録廃止	14	1	1	－	1
諸証明交付	33	9	22	8	34
合計	1,797	766	2,096	648	2,035

5　コンビニ交付発行件数

種　　別	庁外分		庁内分	
	件数（件）	金額（円）	件数（件）	金額（円）
住民票写し交付	22,319	4,463,800	1,269	253,800
印鑑登録証明書交付	19,325	3,865,000	1,352	270,400
合　　計	41,644	8,328,800	2,621	524,200

6　郵送による申請件数（戸籍謄抄本、住民票等）　（単位：件）

年　　度	件　　数
令和６年度	14,031
令和７年度	13,412
比　　較	△619

7　住民基本台帳事務（市全体）

(1)　世帯数及び人口

区　　分	人　　口（人）			世帯数
	男	女	計	
令和7年3月末日現在	76,372	75,983	152,355	67,981
令和8年3月末日現在	75,901	75,269	151,170	68,690
比　　較	△471	△714	△1,185	709

ア　栃木地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
万町	307	339	646	336	今泉町2丁目	479	495	974	478
倭町	103	117	220	112	仲仕上町	106	93	199	87
旭町	451	459	910	460	藤田町	61	63	124	53
室町	121	125	246	125	久保田町	46	41	87	38
城内町1丁目	266	276	542	264	宮田町	33	29	62	27
城内町2丁目	1,917	1,878	3,795	1,851	高谷町	46	62	108	39
神田町	492	535	1,027	455	樋ノ口町	405	366	771	410
本町	529	512	1,041	513	皆川城内町	508	534	1,042	475
日ノ出町	558	608	1,166	596	柏倉町	155	154	309	116
沼和田町	1,519	1,490	3,009	1,473	小野口町	125	97	222	92
河合町	141	163	304	151	志鳥町	70	71	141	53
片柳町1丁目	869	893	1,762	868	岩出町	52	53	105	42
片柳町2丁目	832	823	1,655	759	大皆川町	120	136	256	108
片柳町3丁目	42	46	88	40	泉川町	230	233	463	235
片柳町4丁目	269	264	533	266	新井町	577	495	1,072	535

片柳町5丁目	280	280	560	256	吹上町	697	723	1,420	703
湊町	161	193	354	185	細堀町	52	59	111	48
富士見町	253	270	523	297	木野地町	162	153	315	138
境町	411	447	858	419	川原田町	1,712	1,784	3,496	1,667
平井町	1,224	1,268	2,492	1,213	野中町	863	861	1,724	734
薗部町1丁目	521	535	1,056	553	宮町	183	172	355	142
薗部町2丁目	623	622	1,245	600	千塚町	197	188	385	160
薗部町3丁目	220	211	431	213	大森町	519	587	1,106	596
薗部町4丁目	452	447	899	401	仲方町	88	71	159	83
入舟町	142	168	310	157	梓町	62	51	113	48
祝町	294	339	633	314	尻内町	254	249	503	222
柳橋町	709	776	1,485	717	梅沢町	261	306	567	259
箱森町	2,779	2,829	5,608	2,568	大久保町	85	83	168	80
小平町	353	358	711	322	鍋山町	395	407	802	367
錦町	229	245	474	212	星野町	78	82	160	82
嘉右衛門町	257	264	521	243	出流町	38	29	67	35
泉町	320	352	672	308	惣社町	893	954	1,847	739
大町	752	759	1,511	721	柳原町	30	37	67	33
昭和町	110	108	218	92	大光寺町	143	152	295	115
大宮町	3,202	3,397	6,599	2,911	田村町	191	197	388	237
平柳町1丁目	859	903	1,762	817	寄居町	157	152	309	129
平柳町2丁目	726	728	1,454	803	国府町	509	498	1,007	378
平柳町3丁目	1,096	1,061	2,157	977	大塚町	961	947	1,908	756
今泉町1丁目	1,013	1,055	2,068	953	合計	36,945	37,807	74,752	35,060

イ　大平地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
富田	4,227	3,869	8,096	3,808	下高島	123	125	248	98
西山田	455	428	883	366	上高島	181	217	398	171
下皆川	839	800	1,639	747	北武井	216	207	423	185
横堀	244	241	485	178	新	1,956	1,995	3,951	1,667
牛久	311	333	644	299	西野田	1,630	1,548	3,178	1,401
川連	230	228	458	219	榎本	278	312	590	250
土与	157	153	310	126	西水代	2,238	2,066	4,304	1,942
蔵井	504	547	1,051	456	伯仲	450	329	779	375
真弓	718	689	1,407	601	合計	14,757	14,087	28,844	12,889

ウ　藤岡地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
部屋	266	271	537	211	藤岡	2,617	2,659	5,276	2,452
新波	134	121	255	113	下宮	9	7	16	9
石川	63	58	121	49	内野	1	－	1	1
帯刀	36	37	73	35	赤麻	692	701	1,393	585
緑川	49	42	91	36	大前	860	781	1,641	752
西前原	34	25	59	27	甲	636	632	1,268	513
蛭沼	231	216	447	185	都賀	477	476	953	389
富吉	214	211	425	182	大田和	123	131	254	104
中根	217	238	455	203	太田	286	276	562	226
					合計	6,945	6,882	13,827	6,072

エ　都賀地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
合戦場	1,425	1,378	2,803	1,174	臼久保	76	70	146	68
平川	849	928	1,777	780	大橋	159	145	304	128
升塚	427	450	877	345	富張	261	251	512	209
家中	1,920	1,818	3,738	1,585	深沢	151	133	284	106
原宿	290	264	554	222	大柿	288	304	592	258
木	359	370	729	291	合計	6,205	6,111	12,316	5,166

オ　西方地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
金崎	789	761	1,550	713	金井	581	531	1,112	457
本城	315	281	596	243	本郷	378	309	687	300
元	365	378	743	327	真名子	487	483	970	391
					合計	2,915	2,743	5,658	2,431

カ　岩舟地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
鷲巣	80	86	166	64	曲ヶ島	332	369	701	332
静	2,703	2,618	5,321	2,306	古江	168	166	334	140
下津原	813	695	1,508	694	新里	312	312	624	258
畳岡	487	464	951	438	三谷	155	151	306	125
五十畑	56	43	99	40	下岡	78	70	148	54
和泉	772	767	1,539	694	上岡	27	28	55	28

静和	1,099	1,094	2,193	954	小野寺	474	470	944	408
静戸	578	306	884	537	合計	8,134	7,639	15,773	7,072

(2) 処理件数

ア 住民票記載等件数

種類		件数（件）	人口増（人）			人口減（人）		
			男	女	計	男	女	計
届出	転入届	2,624	3,269	2,196	5,465	－	－	－
	転居届	1,645	－	－	－	－	－	－
	転出届	3,070	－	－	－	2,897	2,116	5,013
	転出取消	8	－	－	－	－	－	－
	帰化届	2	－	－	－	－	－	－
	国籍取得	0	－	－	－	－	－	－
	構成変更	17	－	－	－	－	－	－
	世帯主変更	1,117	－	－	－	－	－	－
	世帯分離	283	－	－	－	－	－	－
	世帯合併	120	－	－	－	－	－	－
職権	出生	592	325	303	628	－	－	－
	死亡	2,225	－	－	－	1,171	1,060	2,231
	職権記載	0	－	－	－	－	－	－
	職権消除	14	－	－	－	180	89	269
	回復	14	20	10	30	－	－	－
	職権訂正	2,273	－	－	－	－	－	－
	抹消	－	－	－	－	－	－	－
	追加	－	157	32	189	－	－	－
通知書	転入通知	3,879	－	－	－	－	－	－
	記載事項の変更通知	310	－	－	－	－	－	－

イ 戸籍の附票記載等件数 （単位：件）

種類	戸籍届書	通知書	計
記載	10,125	－	10,125
消除	4,414	－	4,414
修正	－	8,415	8,415
合計	14,539	8,415	22,954

(3) 住居表示事務 （単位：件）

家屋新築届による付番	170
付番申出による付番	6
その他変更申出	3

建物廃棄による付番廃止	4
合　　計	183

8　年齢階層別人口統計（市全体）

年齢（歳）	男(人)	女(人)	人口（人）	比率（%）
0～4	1,839	1,785	3,624	2.4
5～9	2,745	2,414	5,159	3.4
10～14	3,101	2,950	6,051	4.0
15～19	3,463	3,187	6,650	4.4
20～24	3,906	3,293	7,199	4.8
25～29	3,647	3,159	6,806	4.5
30～34	3,775	3,147	6,922	4.6
35～39	4,188	3,643	7,831	5.2
40～44	4,759	4,201	8,960	5.9
45～49	5,541	4,865	10,406	6.9
50～54	6,468	5,538	12,006	7.9
55～59	5,270	5,079	10,349	6.8
60～64	4,741	4,530	9,271	6.1
65～69	4,970	5,081	10,051	6.6
70～74	5,597	5,985	11,582	7.7
75～79	5,753	6,586	12,339	8.2
80～84	3,342	4,226	7,568	5.0
85～89	1,934	3,094	5,028	3.3
90～94	694	1,761	2,455	1.6
95～99	149	646	795	0.5
100～	19	99	118	0.1
合　計	75,901	75,269	151,170	100.0

9　一般旅券交付件数（市全体）　　（単位：件）

交付（窓口申請）	1,461
交付（オンライン申請）	684
合計	2,145

第２節　交通防犯課

〔総括概要〕

交通防犯課では安全・安心な暮らしの確保、快適で利便性の高い暮らしの実現のため次の事業を行った。

交通安全関係業務については、四季の交通安全運動を強力に推進した。特に「ずっと止まれる栃木県」（横断歩道における歩行者保護の徹底）、「ライト4(フォー)運動」（前照灯の早め点灯の推進）及び交通安全教室による自転車安全利用五則（車道が原則、左側を通行、歩道は例外、交差点は信号遵守と一時停止・安全確認、ヘルメット着用）の普及促進に係る取組を行い、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めた。

防犯関係業務については、市内のＬＥＤ防犯灯の設置、鉄道駅の防犯カメラの更新、防犯パトロールの実施、特殊詐欺対策機器貸出及び特殊詐欺の現状や被害防止に関する出前講座の開催、並びに自治会の防犯カメラ設置に対する補助等を通じ、安全・安心な市民生活の確保に努めた。

地域公共交通関係業務については、栃木市地域公共交通計画に基づき、通勤・通学及び高齢者等の日常生活における移動手段の確保等及び公共交通空白地域の解消を図るため、コミュニティバス（愛称：ふれあいバス）及びデマンド交通（愛称：蔵タク）の運行を実施した。令和7年度から第2次栃木市地域公共交通計画策定を進めている。令和7年度は庁内関係部署との情報共有、交通事業者へのヒアリング及び調整協議等を実施した。

また、交通事故の減少を図るため、運転免許証の自主返納をした市民に対して支援を行った。

更に、誰もが安全・安心で快適に利用できる公共交通環境の整備を推進するため、ユニバーサルデザインタクシー（誰もが利用しやすいタクシー車両）を導入した事業者に対して補助を行っている。

交通防犯係

1　交通安全関係

市民一人一人が交通ルールを遵守し、交通マナーの一層の向上に努め、交通事故防止を図るため、交通安全運動を推進するとともに、交通安全教室などを実施した。

なお、市内の交通事故発生件数は、370件、死者数は1人、負傷者数は440人であった。

(1)　交通安全運動等

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び懸垂幕等の掲出。

・実施期間　4月6日（日）～15日（火）

イ　交通安全ゲートボール大会

・実 施 日　4月28日（月）

・場　　所　アルレクスパークとちぎ（屋内運動場）

・参 加 者　40人

ウ　暴走族等根絶推進強化月間

公共施設窓口及び市ホームページによる周知。

・実施期間　6月1日（日）～30日（月）

エ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙による広報、のぼり旗及び懸垂幕等の掲出。

・実施期間　9月21日（日）～30日（火）

オ　栃木市交通安全市民大会

小学生による交通安全作文、高校生による大会宣言などを行った。

・実 施 日　9月27日（土）

・場　　所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）

・参 加 者　400人

カ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、懸垂幕等の掲出。

・実施期間　12月11日（木）～31日（水）

キ　栃木市・小山市合同街頭啓発活動

来場者へのＰＲ、交差点での広報、横断幕等の掲出。

・実 施 日　12月13日（土）

・場　　所　道の駅みかも、国道50号線交差点

・参 加 者　115人

(2)　交通安全教室の開催

ア　交通教育指導員による交通安全教室

対象者	回数（回）	参加者数（人）
幼児(保護者含む)	11	689
小中学校児童･生徒(保護者含む)	11	2,179
高齢者	27	578
複合・その他	3	127
合計	52	3,573

イ　スケアード・ストレイト方式交通安全教室（地域予算提案制度による事業）

・実 施 日　4月16日（水）、6月6日（金）、9月16日（火）

・場　　所　岩舟中学校、都賀市民運動場、大平運動公園

・参 加 者　計520名

(3)　その他の交通安全対策

ア　交通指導員の設置

・任用人数　61人

イ　栃木駅周辺、新栃木駅周辺及び野州平川駅周辺等の放置自転車の撤去を実施。

撤去実績　（単位：台）

実施月	台数	実施月	台数

4月	10	10月	6
5月	12	11月	3
6月	15	12月	4
7月	11	1月	1
8月	3	2月	5
9月	4	3月	0
		合計	74

2　防犯関係

市民の安全・安心を確保するために、ＬＥＤ防犯灯の設置や防犯パトロール等を実施した。また、駅及びその周辺については、防犯カメラを活用し、犯罪の抑止を図った。

(1)　防犯灯の設置等　（単位：灯）

区	分	灯　数
新設工事	本柱へ新設、小柱新設	103
改修工事	修繕、移設、撤去	219
合計		322

(2)　防犯カメラの設置状況　（単位：台）

設置場所	台数	設置場所	台数
栃木駅北口	2	新大平下駅東口	1
栃木駅南口	2	家中駅	2
栃木駅南北連絡通路	2	藤岡駅	2
岩舟駅	2	東武金崎駅	2
新栃木駅西口	1	静和駅	1
新栃木駅東口	1	合戦場駅	2
新栃木自由通路	2	新大平下駅西口	1
大平下駅	2	野州平川駅	1
野州大塚駅	1		
		合計	27

(3)　防犯活動

栃木警察署管内1市1町で組織する栃木地区防犯協会（本市が事務局）において実施した次の事業に参画した。

・会議、地域安全運動、青少年非行防止活動、広報啓発活動等の実施

(4)　防犯パトロール

栃木市駅前広場等迷惑行為防止条例に基づき、市民や来訪者が利用する駅の安全で快適な環境の実現を図るため、警察、学校、防犯関係団体と積極的に連携し、随時、パトロールを実施した。特に、4月から7月までを重点対策期間と定め、迷惑行為防止対策を強力に推進した。

(5)　栃木市歳末防犯防火診断の実施

年末年始における特別警戒期間にあわせ、防犯防火広報啓発活動を警察、防犯協会、消防、防犯団体の協力のもと、市内全地区一斉で実施した。

(6)　防犯カメラ設置費補助金

地域の防犯を目的に、公共の場所に向けて自主的に防犯カメラを設置した自治会に対し、設置費の一部補助を行い5自治会への補助金支給を行った。

(7)　特殊詐欺対策機器貸出

高齢者を狙った特殊詐欺の撃退に効果がある特殊詐欺対策機器を貸出した。

貸出件数　31件

(8)　特殊詐欺に関する出前講座の開催

開催回数　14回

参加人数　264人

公共交通対策係

1　ふれあいバス運行事業

栃木市地域公共交通計画に基づき、通勤・通学及び高齢者等の日常生活の移動手段、また、観光客の足として定時定路線のふれあいバスの運行を実施した。

ふれあいバス利用状況

(1)　寺尾線

月	利用状況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	3,608	30	120.3	644,854
5	3,696	31	119.2	384,089
6	3,698	30	123.3	449,453
7	3,701	31	119.4	535,633
8	3,739	31	120.6	518,180
9	3,615	30	120.5	482,725
10	3,764	31	121.4	545,089
11	3,763	30	125.4	428,908
12	3,669	31	118.4	460,635
1	3,502	31	113.0	480,453
2	3,426	28	122.4	416,817
3	3,961	31	127.8	531,634
合　計	44,142	365	120.9	5,878,470
月平均 (切捨)	3,678			489,872

(2)　市街地循環線

月	利用状況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜

4	1,359	30	45.3	167,907
5	1,530	31	49.4	170,635
6	1,479	30	49.3	177,906
7	1,478	31	47.7	221,179
8	1,529	31	49.3	160,090
9	1,365	30	45.5	148,271
10	1,496	31	48.3	215,816
11	1,428	30	47.6	154,726
12	1,520	31	49.0	187,453
1	1,330	31	42.9	156,725
2	1,397	28	49.9	158,089
3	1,618	31	52.2	192,816
合計	17,529	365	48.0	2,111,613
月平均（切捨）	1,460			175,967

(3)　市街地北部循環線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	2,468	30	82.3	314,180
5	2,553	31	82.4	327,998
6	2,454	30	81.8	315,544
7	2,617	31	84.4	359,179
8	2,743	31	88.5	398,089
9	2,778	30	92.6	386,634
10	2,555	31	82.4	295,179
11	2,395	30	79.8	324,725
12	2,590	31	83.5	331,271
1	2,338	31	75.4	297,179
2	2,217	28	79.2	307,361
3	2,872	31	92.6	381,198
合計	30,580	365	83.8	4,038,537
月平均（切捨）	2,548			336,544

(4)　部屋線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	2,859	30	95.3	364,453
5	3,034	31	97.9	351,271
6	3,174	30	105.8	327,453
7	3,138	31	101.2	430,725

8	2,784	31	89.8	401,453
9	3,144	30	104.8	346,180
10	3,305	31	106.6	418,907
11	2,948	30	98.3	350,453
12	3,191	31	102.9	382,089
1	3,058	31	98.6	418,180
2	2,695	28	96.3	305,999
3	3,011	31	97.1	423,180
合計	36,341	365	99.6	4,520,343
月平均（切捨）	3,028			376,695

(5)　真名子線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	2,457	30	81.9	468,926
5	2,526	31	81.5	287,271
6	2,589	30	86.3	320,543
7	2,532	31	81.7	386,816
8	2,352	31	75.9	326,271
9	2,731	30	91.0	388,726
10	2,595	31	83.7	370,635
11	2,585	30	86.2	340,725
12	2,545	31	82.1	311,090
1	2,376	31	76.6	346,816
2	2,209	28	78.9	287,816
3	2,425	31	78.2	328,907
合計	29,922	365	82.0	4,164,542
月平均（切捨）	2,493			347,045

(6)　金崎線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	477	30	15.9	54,999
5	492	31	15.9	54,362
6	508	30	16.9	58,362
7	445	31	14.4	56,063
8	511	31	16.5	60,453
9	505	30	16.8	53,498
10	520	31	16.8	68,093
11	420	30	14.0	54,999

12	542	31	17.5	65,180
1	495	31	16.0	72,179
2	476	28	17.0	67,363
3	556	31	17.9	64,089
合計	5,947	365	16.3	729,640
月平均（切捨）	495			60,803

(7)　大宮国府線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	798	30	26.6	90,635
5	768	31	24.8	79,998
6	803	30	26.8	79,452
7	834	31	26.9	87,816
8	834	31	26.9	115,271
9	780	30	26.0	89,725
10	910	31	29.4	75,453
11	768	30	25.6	82,271
12	889	31	28.7	94,817
1	834	31	26.9	72,635
2	727	28	26.0	72,453
3	793	31	25.6	94,634
合計	9,738	365	26.7	1,035,160
月平均（切捨）	811			86,263

(8)　皆川樋ノ口線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	1,164	30	38.8	203,635
5	1,203	31	38.8	139,271
6	1,308	30	43.6	191,362
7	1,213	31	39.1	160,271
8	1,076	31	34.7	136,725
9	1,252	30	41.7	189,362
10	1,485	31	47.9	156,543
11	1,321	30	44.0	144,999
12	1,528	31	49.3	173,453
1	1,300	31	41.9	163,089
2	1,198	28	42.8	127,180
3	1,269	31	40.9	137,817

合計	15,317	365	42.0	1,923,707
月平均（切捨）	1,276			160,308

(9)　小野寺線

月	利用状況			収入総額（円）税抜
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	
4	838	30	27.9	150,544
5	931	31	30.0	100,634
6	935	30	31.2	104,634
7	787	31	25.4	118,543
8	562	31	18.1	81,634
9	814	30	27.1	102,725
10	784	31	25.3	113,453
11	805	30	26.8	96,543
12	724	31	23.4	92,271
1	703	31	22.7	91,997
2	624	28	22.3	82,998
3	720	31	23.2	96,725
合計	9,227	365	25.3	1,232,701
月平均（切捨）	768			102,725

(10)　大平線　(11)　藤岡線

月	利用状況			収入総額（円）税抜
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	
4	1,308	30	43.6	141,271
5	1,505	31	48.5	174,180
6	1,487	30	49.6	219,180
7	1,465	31	47.3	152,544
8	1,601	31	51.6	198,635
9	1,460	30	48.7	177,726
10	1,674	31	54.0	169,089
11	1,478	30	49.3	152,180
12	1,486	31	47.9	173,543
1	1,328	31	42.8	145,271
2	1,321	28	47.2	139,908
3	1,569	31	50.6	187,090
合計	17,682	365	48.4	2,030,617
月平均（切捨）	1,473			169,218

(12) 岩舟線

月	利用状況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	2,359	30	78.6	347,181
5	2,302	31	74.3	259,817
6	2,412	30	80.4	284,181
7	2,425	31	78.2	355,999
8	2,422	31	78.1	320,635
9	2,602	30	86.7	358,544
10	2,595	31	83.7	384,362
11	2,706	30	90.2	354,816
12	2,848	31	91.9	361,544
1	2,696	31	87.0	382,816
2	2,690	28	96.1	360,726
3	4,020	31	129.7	575,452
合計	32,077	365	87.9	4,346,073
月平均 (切捨)	2,673			362,172

2 蔵タク運行事業

栃木市地域公共交通計画に基づき、高齢者等の日常生活における移動手段を確保し、併せて定時定路線運行のバスでは補いきれない、公共交通空白地域を解消するため、市内全域で蔵タクの運行を実施した。

(1) 蔵タク利用登録者数

26,453 人

(2) 蔵タク利用状況

月	利用状況			収入総額
	延利用者数 (人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円)
4	3,387	21	161.3	800,300
5	3,191	20	159.6	721,800
6	3,522	21	167.7	856,700
7	3,587	22	163.0	824,950
8	3,046	20	152.3	728,800
9	3,334	20	166.7	833,850
10	3,601	22	163.7	848,100
11	2,877	18	159.8	662,700
12	3,296	20	164.8	759,100
1	2,946	19	155.1	736,250
2	2,886	18	160.3	691,000

3	3,278	21	156.1	793,400
合計	38,951	242	161.0	9,256,950
月平均（切捨）	3,246			771,413

3　運転免許証自主返納支援事業

交通安全対策のため、運転免許証の全てを自主返納した市民を対象に、ふれあいバスと蔵タクの共通乗車券 10,000 円分を交付した。（1 人につき 1 回限り）

・支援人数　419 人（平均年齢 78.68 歳）

4　ユニバーサルデザインタクシー導入促進補助金の交付

障がいの有無、年齢等にかかわらず、誰もが快適に利用できる公共交通環境の整備を推進するため、ユニバーサルデザインタクシー（誰もが利用しやすいタクシー車両）を導入した市内に事務所を有する事業者等に対し、補助金の交付を行っている。

・交付件数　0 件（導入事業者等なし）

第３節　保険年金課

〔総括概要〕

保険年金課では、国民健康保険事業、国民年金事業、各種医療費助成事業及び後期高齢者医療事業等、地域住民の医療の確保と健康の保持・増進を目指して、「健康で生きがいを持てるまちづくり」の推進を図った。

国民健康保険事業においては、被保険者からの届出に基づき国保資格の取得、喪失等の異動を行うとともに各種届書及び申請書等の受付のほか、療養の給付、療養費・高額療養費等の保険給付の手続、疾病予防及び医療費の抑制を図る特定健康診査事業・データヘルス事業・人間ドック検診助成等の保健事業の実施、医療費の適正化を図るレセプト点検等を行った。

国民年金事業においては、法定受託事務として各種届出の受理・進達等を行った。

また、年金受給権確保のため、免除申請や学生納付特例等の受付、窓口等による相談及び各種啓発や広報を行った。

各種医療費助成事業においては、市民の保健の向上と福祉の増進を図るために、重度心身障がい者、こども、妊産婦及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。

また、不妊治療、不育症治療を受けている方に対して、経済的負担軽減を図るため、治療費の一部を助成した。

後期高齢者医療事業においては、各種届出書及び申請書等の受付のほか、栃木県後期高齢者医療広域連合との連携を図りながら、健康診査事業、人間ドック検診助成事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施などの高齢者保健事業を実施した。

国保係

1　国民健康保険被保険者等の状況

(1)　世帯数及び被保険者数

区分	前年度末現在	本年度中増減	本年度末現在	年間平均	年度末加入率
世帯数	20,094世帯	△489世帯	19,605世帯	19,998世帯	28.5%
被保険者数	30,122人	△1,167人	28,955人	29,730人	19.2%

※年間平均　国保資格者数は毎月変動するため、毎月末数を合算し12で除したもの

※年度末加入率　栃木市の人口と世帯数に対して国保加入者の割合

(2)　異動届件数（転入・転出を含む）　（単位：件）

取得届	喪失届	その他	合計
5,364	6,877	574	12,815

2　国民健康保険運営協議会

(1)　国保運営協議会協議事項

実施日	協　　議　　事　　項	協議事項の処理
7月24日	1 令和7年度事業計画（案）について	承　認
	2 国民健康保険税率等の見直しについて	
	3 令和6年度データヘルス事業の実績について	
9月18日	1 国民健康保険税率等の見直しについて	
	2 令和6年度国民健康保険特別会計決算について	
10月15日	国民健康保険運営協議会委員研修会	Web会議
12月18日	国民健康保険税率等の見直しについて	
2月18日	令和8年度栃木市国民健康保険特別会計予算（案）について	承　認

(2)　国保運営協議会委員定数　18人　　(単位:人)

区　　分	被保険者代表	保険医･薬剤師代表	公益代表
人　　数	6	6	6

3　保険給付状況

(1)　療養給付費

件数(件)	費用額(円)	保険者負担分(円)	一部負担金(円)	他法負担分(円)	
				他法優先	国保優先
542,144	12,881,695,052	9,462,280,915	3,016,038,536	－	403,375,601

(注1)令和7年3月～令和8年2月診療の12か月分の療養給付費である

(注2)入院時食事療養費、生活療養費標準負担額差額代は含まれていない

(2)　療養費

件数(件)	費用額(円)	保険者負担分(円)	一部負担金(円)	他法負担分(円)	
				他法優先	国保優先
7,716	94,345,414	68,654,240	25,691,174	－	0

(3)　高額療養費

件数(件)	支給額(円)
21,397	1,473,296,625

(4)　高額介護合算療養費

件数(件)	支給額(円)
39	758,397

(5)　その他の給付

区　　分	件数（件）	支給額（円）	備　　考
出産育児一時金	49	24,476,000	産科医療保障制度対象出産の場合1件当たり50万円、対象外出産の場合1件当たり48万8千円(令和5年3月以前の出産は1件当たり42万円、

			対象外出産の場合1件当たり40万8千円)
葬祭費	251	12,550,000	1件当たり5万円
合計	300	37,026,000	

4　医療費総費用額（療養給付費・療養費）の状況

総件数(件)	総費用額(円)	1件当たり費用額(円)	1人当たり費用額(円)
549,860	12,976,040,466	23,599	436,463

※1件当たり費用額　総費用額を総件数で除したもの

※1人当たり費用額　総費用額を１(1)に記載の年間平均被保険者数で除したもの

5　月別の療養給付費保険者負担分　（単位：円）

年度／月	令和6年度	令和7年度
3	820,433,710	791,559,761
4	787,680,998	791,553,088
5	821,925,542	818,388,139
6	818,669,253	835,762,062
7	863,030,730	856,224,279
8	800,450,949	755,686,708
9	783,559,457	767,762,923
10	817,446,819	811,530,318
11	813,808,192	732,745,529
12	813,753,601	798,300,743
1	784,884,684	748,704,513
2	716,037,609	754,062,852
合計	9,641,681,544	9,462,280,915

6　国民健康保険事業費納付金の状況　（単位：円）

区分		納付金額
医療分	一般被保険者	2,892,951,874
後期高齢者支援金分	一般被保険者	1,056,446,872
介護納付金分		338,199,605
合計		4,287,598,351

7　特定健康診査実施状況　　（単位：人）

集団健診	個別健診	合計
6,335	1,214	7,549

8　人間ドック検診状況　　（単位：人）

種　別	実施人数
一般	842
宿泊	2
脳	66
合　計	910

9　医療費のお知らせ発送状況

回数	対象月	件数（件）	発送月
1	令和6年11月～令和6年12月診療分	16,056	8月
2	令和7年01月～令和7年10月診療分	19,477	1月
合　計		35,533	

10　後発医薬品利用差額通知発送状況

回数	対象月	件数（件）	発送月
1	令和7年05月診療分	86	8月
2	令和7年11月診療分	212	2月
合　計		298	

11　受診勧奨通知事業

種　別	件数（件）
特定健診受診率向上事業	20,214
健診異常値放置者受診勧奨事業	591
生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	109
合計	20,914

12　受診行動適正化指導事業

実施時期	種別	人数（人）
2月	重複服薬者	8
	頻回受診者	5
合計		13

年金係

1　国民年金適用関係

(1)　国民年金被保険者数　（単位：人）

区分	人数
第1号被保険者	15,288
第3号被保険者	6,899

(2)　国民年金関係諸届の受理件数　（単位：件）

種別	令和6年度	令和7年度	種別	令和6年度	令和7年度
新規取得届	664	825	訂正･取消･不在	69	114
新規取得申出	0	2	付加年金取得届	51	66
再取得届	1,976	1,924	付加年金喪失届	15	8
再取得申出	23	21	法定免除該当届	162	135
資格喪失届	950	843	法定免除消滅届	48	40
資格喪失申出	6	7	通知書再交付届	20	10
種別変更届	316	311	その他	43	21
			合計	4,343	4,327

2　国民年金保険料免除関係

(1)　免除者数　（単位：人）

種別	免除者数
法定免除	1,815
申請免除（全額免除）	2,158
〃（3/4免除）	164
〃（半額免除）	121
〃（1/4免除）	89
納付猶予	808
学生納付特例	1,587
産前産後免除	21
合計	6,763

(2)　免除申請受付件数　（単位：件）

種類	令和6年度	令和7年度
免除・納付猶予申請	548	549
学生納付特例申請	184	162
合計	732	711

3　国民年金請求受理件数　（単位：件）

給付種類	令和6年度	令和7年度

老齢基礎年金	10	7
障害基礎年金	82	53
遺族基礎年金	2	1
寡 婦 年 金	2	1
死 亡 一 時 金	8	16
未 支 給 年 金	32	23
老齢福祉年金	0	0
合計	136	101

4　年金相談窓口相談件数　（単位：件）

相　談　の　内　訳	令和6年度	令和7年度
来　訪　相　談	4,517	4,468
電　話　相　談	1,654	2,099
文　書　相　談	6	4
合計	6,177	6,571

医療給付係

1　重度心身障がい者医療費助成

重度心身障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、身体障害者手帳の交付を受けた1級又は2級の人、療育手帳の交付を受けたＡ1若しくはＡ2、又はＩＱ35以下の人、身体障害者手帳の交付を受けた3級又は4級でＩＱ（知能指数）50以下の人、及び精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた1級の人の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況　【別表1】重度心身障がい者医療費助成支給状況参照

・障がい別登録人員　（単位：人）

障　が　い　の　程　度	登　録　人　員	
	令和6年度末現在	令和7年度末現在
身体の障がいが1級の者	1,796（1,037）	1,762（1,017）
身体の障がいが2級の者	728（　382）	720（　376）
ＩＱが35以下の知的障がい者	436（　43）	428（　38）
身体の障がいが3～4級でIQが50以下の重複障がい者	6（　1）	6（　1）
精神の障がいが1級の者	259（　43）	262（　47）
合計	3,225（1,506）	3,178（1,479）

※（　）内の数は、後期高齢医療該当者である。

2　こども医療費助成

子どもの疾病の早期発見と治療を促し、子どもの健やかな成長と発育を図るため、出生した日から高校3年修了時（18歳到達後最初の3月31日）までの子どもの医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況　【別表2】こども医療費助成支給状況参照

3　妊産婦医療費助成

妊産婦の疾病の早期発見と治療を促進し、母子保健の向上を図るため、妊娠の届出（母子健康手帳の交付）月の初日から出産した月の翌月の末日までの妊産婦の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況　【別表3】妊産婦医療費助成支給状況参照

4　ひとり親家庭医療費助成

ひとり親家庭の親と子の心身の健康の保持及び福祉の増進を図るため、18歳未満の児童のいるひとり親家庭の親で児童扶養手当法の所得制限額未満の人の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況　【別表4】ひとり親家庭医療費助成支給状況参照

5　各種医療費助成対象者数（受給資格者証交付数）　（単位：人）

種　別	6年度末現在	新規(交付)	資格喪失	7年度末現在
重度心身障がい者医療費助成	3,225	176	223	3,178
こども医療費助成	20,943	1,011	1,630	20,324
妊産婦医療費助成	1,120	700	703	1,117
ひとり親家庭医療費助成	877	134	162	849
合計	26,165	2,021	2,718	25,468

※支所交付分を含む

※ひとり親家庭医療費助成の該当児（高校生）は、こども医療費助成対象年齢拡大のため喪失に含む。

6　不妊治療費助成

不妊治療を受けている方の経済的負担の軽減を図るため、保険診療については自己負担額の2分の1の額（上限10万円）、保険外診療については自己負担額の全額（上限20万円）を助成した。

助成件数　（件）	80
治療費総額（円）	20,999,404
助成金総額（円）	8,890,200

7　不育症治療費助成

不育症治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から他の制度による給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額（上限30万円）を助成した。

助成件数　（件）	1
治療費総額（円）	148,410

助成金総額（円）	74,200

8　後期高齢者医療制度

平成 20 年 4 月 1 日から老人保健制度に替わり、栃木県後期高齢者医療広域連合を運営主体とする後期高齢者医療制度が開始されており、市の窓口では資格及び給付関係の申請受付等を行った。

(1)　被保険者数　（単位：人）

被保険者数	65 歳以上 75 歳未満被保険者数（再掲）
28,163	308

※障がい認定者　一定の障害のある 65 歳以上 75 歳未満の方

(2)　各種申請書等受付件数　（単位：件）

申請書種類	件　数
資格関係届出	1,956
高額療養費申請	2,053
その他の療養費申請	3,250
葬祭費申請	1,709
合計	8,968

※支所受付分を含む

9　高齢者保健事業

生活習慣病を早期に発見し、重症化予防を図るため、健康診査、歯科健康診査、人間ドック検診を実施した。また、令和 4 年度から栃木県後期高齢者医療広域連合の委託を受け、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を開始した。

(1)　健康診査実施状況　（単位：人）

集団健診	個別健診	合計
4,128	1,892	6,020

(2)　歯科健康診査実施状況　（単位：人）

集団健診	個別健診	合計
46	511	557

(3)　人間ドック検診状況　（単位：人）

種別	実施人数
一般	358
脳	41
宿泊	0
合計	399

(4)　高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

・実施事業：健康状態不明高齢者対策事業、糖尿病腎症重症化予防事業（受診勧奨）

・実施圏域：7圏域（大平地域、都賀地域、吹上地区、大宮地区、栃木北地区、藤岡地域、岩舟地域）

ア　健康状態不明高齢者対策事業

(ｱ)　「高齢者の暮らしと健康」に関するアンケート実施状況

圏域名	送付人数（人）	回収人数（人）	回収率（%）
大平地域	9	9	100
都賀地域	2	1	50
吹上地区	11	10	90.9
大宮地区	7	6	85.7
栃木北地区	23	20	86.9
藤岡地域	31	30	96.7
岩舟地域	26	26	100

(ｲ)　訪問等実施状況　　（単位：人）

圏域名	実施人数
大平地域	5
都賀地域	1
吹上地区	5
大宮地区	3
栃木北地区	8
藤岡地域	11
岩舟地域	11

イ　糖尿病腎症重症化予防事業（受診勧奨）

(ｱ)　受診勧奨実施状況　　（単位：人）

圏域名	郵送	訪問
大平地域	0	1
都賀地域	0	3
吹上地区	0	0
大宮地区	2	3
栃木北地区	2	2
藤岡地域	1	1
岩舟地域	1	1

【別表1】重度心身障がい者医療費助成支給状況

区分 / 保険の種別	登録人員（人）	助成件数（件）	医療費総額(円)	一部負担金額(円)	控除額(円)				支給額(円)
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
国民健康保険	1,033	26,053	2,509,381,270	157,440,049	693,591	－	－	693,591	156,746,458
社会保険	666	15,548	1,210,334,259	98,812,516	202,267	0	－	202,267	98,610,249
後期高齢者医療	1,479	38,568	3,186,052,843	136,515,717	1,045,947	－	－	1,045,947	135,469,770
合　　計	3,178	80,169	6,905,768,372	392,768,282	1,941,805	0	－	1,941,805	390,826,477

※登録人員は、令和7年度延べ数

【別表2】こども医療費助成支給状況

区分 / 保険の種類		登録人員（人）	助成件数（件）	医療費総額(円)	一部負担金額(円)	控除額(円)				支給額(円)
						高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
未就学児	国民健康保険	5,652	8,732	96,318,980	15,764,350	0	－	－	0	15,764,350
	社会保険		92,953	828,431,430	150,251,521	176,690	0	－	176,690	150,074,831
	計		101,685	924,750,410	166,015,871	176,690	0	－	176,690	165,839,181
小学生	国民健康保険	6,958	10,040	71,736,120	18,956,679	0	－	－	0	18,956,679
	社会保険		97,497	704,647,380	196,125,245	0	0	－	0	196,125,245
	計		107,537	776,383,500	215,081,924	0	0	－	0	215,081,924
中学生	国民健康保険	3,706	4,501	34,807,110	9,821,104	0	－	－	0	9,821,104
	社会保険		45,025	364,178,490	100,885,936	0	3,200	－	3,200	100,882,736
	計		49,526	398,985,600	110,707,040	0	3,200	－	3,200	110,703,840
高校生	国民健康保険	4,008	5,294	48,699,620	13,441,582	0	－	－	0	13,441,582
	社会保険		41,246	407,413,560	100,549,893	0	0	－	0	100,549,893
	計		46,540	456,113,180	113,991,475	0	0	－	0	113,991,475
合　　計		20,324	305,288	2,556,232,690	605,796,310	176,690	3,200	－	179,890	605,616,420

※登録人員は、令和7年度延べ数

【別表3】妊産婦医療費助成支給状況

区分 / 保険の種類	登録人員（人）	助成件数（件）	医療費総額（円）	一部負担金額（円）	控除額(円)				支給額(円)
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
国民健康保険	109	368	11,819,170	2,109,361	0	－	－	0	2,109,361
社会保険	1,008	4,995	127,348,940	26,674,218	358,169	2,283,308	－	2,641,477	24,032,741
合　　計	1,117	5,363	139,168,110	28,783,579	358,169	2,283,308	－	2,641,477	26,142,102

※登録人員は、令和7年度延べ数

【別表4】ひとり親家庭医療費助成支給状況

区分 / 保険の種類	登録人員	助成件数（件）	医療費総額（円）	一部負担金額（円）	控除額(円)				支給額(円)
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
国民健康保険	282世帯 282人	3,179	166,169,300	9,733,834	1,049,562	－	－	1,049,562	8,684,272
その他	567世帯 567人	7,040	86,240,590	20,082,226	159,585	159,300	－	318,885	19,763,341
合　　計	849世帯 849人	10,219	252,409,890	29,816,060	1,209,147	159,300	－	1,368,447	28,447,613

※登録人員は、令和7年度延べ数

第４節　環境課

〔総括概要〕

今日の環境問題は、河川や土壌の汚染、騒音、悪臭の問題など、市民の日常生活に直接関わるものから、自然破壊による生物多様性の問題など、人類への影響のみならず、地球上の生命の生存そのものを脅かすものまで、複雑・多岐で深刻な課題を抱えており、その解決のためには、地域はもとより、全世界を挙げた取組を進めることが求められている。

生物多様性の観点から、主に特定外来生物クビアカツヤカミキリ被害木の防除対策、伐採を推進するため、伐採費等の一部補助を行った。また、県が主体となり本市と近隣の足利市・佐野市を含めたクビアカツヤカミキリ防除研究部会を発足し生態調査を実施した。

栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく事務など県からの権限移譲に対応しつつ、県と連携して公害発生原因者への指導等を行うとともに、土砂等の埋立てによる土壌汚染と災害の発生防止を図ったほか、市営墓地の円滑な管理・運営に努めた。

このほか、あじさいの杜（栃木市斎場）が令和５年10月１日から供用開始となり、施設の運営及び維持管理業務を令和20年度までＰＦＩ事業者が実施していく予定である。

環境保全係

1　環境審議会

環境基本法（平成5年法律第91号）第44条の規定に基づき市長の諮問に応じ環境の保全及び創造に関する基本的な方針に関する事項、環境基本計画に関する事項及びその他環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進する上で必要な事項を調査審議するために設置した。

(1)　開催状況

	開催日	場　所	議　事
第1回	10月31日（金）	とちぎクリーンプラザ大会議室	・一般廃棄物処理基本計画（案）について ・し尿処理施設整備基本計画（案）の策定について
第2回	1月30日（金）	とちぎクリーンプラザ大会議室	・一般廃棄物処理基本計画（案）について ・令和6年度第2次栃木市環境基本計画年次報告書（案）について

2　環境づくり市民懇談会

栃木市環境基本計画に基づき、環境の保全及び創造に関する施策に広く市民の意見を

求める場として、栃木市環境づくり市民懇談会を設置し、環境基本計画を推進するための意見交換を実施した。

開催状況

開催日	場　所	議　事
12月17日(水)	栃木市役所 正庁	・令和6年度第2次栃木市環境基本計画年次報告書(案)について

3　環境学習・啓発活動事業

(1)　親と子の水辺教室の開催

夏のわくわく大作戦！親子水辺教室（渡良瀬遊水地課と共催）

熱中症警戒アラート発令により中止

(2)　イベント

エコライフinとちぎの開催

・開催日　　2月7日(土)

・場　所　　とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館)

・内　容　　講演会「天気の達人から見た地球温暖化」

講師　天達武史氏（気象予報士）

環境保全に関する啓発展示、体験教室

・来場者　　約800人

4　狂犬病予防業務

(1)　犬の登録　　(単位:頭)

新規登録数	登録抹消数	登録総数
461	570	8,370

(2)　狂犬病予防注射

ア　春季集合注射

・実施期間　4月10日（木）、 11日（金）、12日（土）、15日（火）、16日（水）、19日（土）、26日（土）

・実施会場　市内29会場

・実施数　　1,138頭

イ　秋季集合注射

・実施期間　10月10日（金）、11日（土）、16日（木）、18日（土）

・実施会場　市内14会場

・実施数　　238頭

ウ　個別注射

・実施方法　各動物病院等において個別に実施

・実施数　　3,958頭

5　犬猫不妊手術費補助金交付業務

犬又は猫の無秩序な繁殖を抑制するとともに、犬又は猫の飼養者の健全な飼養意識の高揚を図ることを目的に、市内で飼養されているメス犬又はメス猫の不妊手術の一部を補助した。

補助金交付状況

区　　分	補助件数(件)	補助金額(円)
犬(一頭当たり5,000円)	95	475,000
猫(一頭当たり4,000円)	256	1,024,000
合　　計	351	1,499,000

6　生物多様性保全事業

特定外来生物クビアカツヤカミキリによる生態系に対する被害を早急に防止し、蔓延・定着の防止を図る事業を行った。

市が新たに確認した市内被害木件数　（単位：本）

地域	樹木種					地域合計
	サクラ	ウメ	モモ	ハナモモ	その他	
栃木	362	28	2	4	14	410
大平	10	10	0	1	6	27
藤岡	21	2	0	1	0	24
都賀	31	1	0	2	3	37
西方	46	3	0	1	1	51
岩舟	43	3	0	2	1	49
樹木種合計	513	47	2	11	25	598

(1)　市民への周知及び市民からの被害木の情報収集

ア　広報等を利用し、クビアカツヤカミキリの生態について市民への周知・啓発を図るとともに、市民からの被害木の情報収集を行った。

(2)　栃木県外来種被害対策協議会との連携事業

栃木県外来種被害対策協議会との連携事業として、民有地におけるクビアカツヤカミキリ被害木に対する防除対策、樹木管理者への防除指導を実施した。

また、樹木管理者に対し、防除ネット等の資材及び殺虫剤の配布を行った。

(3)　クビアカツヤカミキリ防除研究部会

クビアカツヤカミキリの生態調査や防除対策の研究部会が、県が主体となり、県内でも被害の多い3市(栃木市、佐野市、足利市)で調査を行った。

(4)　栃木市クビアカツヤカミキリ被害木伐採推進事業費補助金交付事務

クビアカツヤカミキリによる被害の拡大防止を図るため、市内に存する被害木を所有(管理)する者に対し、被害木の伐採等の費用の一部補助を行った。

・補　助　額　　被害木の伐採、切断及び運搬に必要な費用の合計額に6分の5を乗じて得た額(千円未満の端数があるときは、切捨て)

・補助限度額　　250,000円

・補 助 申 請　　62件
・補 助 総 額　12,483,000円
・伐 採 本 数　　132本

7　斎場関係

(1)　斎場使用状況　　（単位：件）

区　分	斎場				
	大　人	小　人	その他	死産児	計
市　内	2,211	2	18	14	2,245
市　外	26	－	1	1	28
合　計	2,237	2	3	15	2,273

(2)　新斎場整備運営事業（ＰＦＩ）

PFI事業者による施設整備が完了し、維持管理・運営業務を開始した。

区分	金額（円）	備考
施設整備費	44,837,564	割賦払分（サービス購入料B　R7年度分） 割賦払い分元本の総額に係る消費税
維持管理・運営費	135,600,204	R7年度分

(3)　業務委託

下記の業務委託を実施した。

業務委託名	金額（円）	備考
栃木市新斎場整備運営事業に伴う維持管理・運営モニタリング業務委託	3,289,000	R4～R7年度事業 ※総額 10,516,000円
市道61095号線除草外業務委託	495,000	

8　改葬許可件数

・292件

9　動力噴霧機・草刈機貸出状況

自治会に対し、衛生害虫駆除のための動力噴霧機の貸出しを行った。また、市民及び自治会に対し病害虫発生の源となる雑草を刈るための草刈機の貸出しを行った。

・動力噴霧機　　貸出台数　延べ　　5台
・草　刈　機　　貸出台数　延べ　　26台
　　刈払面積　延べ　14,080㎡

10　栃木市墓園使用許可状況

(1)　栃木市聖地公園

ア　区画別許可数　　（単位：区画）

種別及び面積	造　成　数	許　可　数

第1種（芝生墓所）5㎡	177	171
第2種（芝生墓所）6㎡	168	151
第3種（芝生墓所）5㎡	344	329
第4種（一般墓所）5㎡	152	145
第5種（芝生墓所）5㎡	555	533
第6種（芝生墓所）5㎡	198	184
第7種（芝生墓所）5㎡	600	591
第8種（一般墓所）5㎡	88	79
第9種（芝生墓所）2㎡	200	197
合　計	2,482	2,380

イ　合葬墓地許可数　（単位：体）

種別	収　蔵　数	許　可　数
合葬墓地	2,600	156

(2)　栃木市都賀聖地公園墓地　（単位：区画）

種別及び面積	造　成　数	許　可　数
第1種（芝生墓所）　6㎡	441	439
第2種（芝生墓所）10㎡	22	22
第3種（芝生墓所）　6㎡	145	145
第4種（芝生墓所）　6㎡	185	184
合　計	793	790

(3)　栃木市藤岡中根墓地・栃木市藤岡太田墓地　（単位：区画）

名称及び面積	造　成　数	許　可　数
藤岡中根墓地　　5㎡、7.29㎡	270	270
藤岡太田墓地　　5㎡、7.29㎡	78	78
合　計	348	348

(4)　栃木市西方菅ノ沢墓地・栃木市西方東上林墓地　（単位：区画）

名称及び面積	造　成　数	許　可　数
西方菅ノ沢墓地　　19.85㎡	10	10
西方東上林墓地　　6.6㎡	25	25
合　計	35	35

11　公害関係

(1)　大気関係

ア　光化学スモッグ注意報発令状況　（単位：回）

発令月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
発令回数	－	1	－	－	－	－	1

イ　大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況

（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	4	2	9	10
栃木県環境保全条例に基づく届出	2	－	1	1

(2)　水質関係

水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等届出状況

（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	7	5	10	17
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	2

(3)　騒音関係

ア　自動車騒音常時監視業務

栃木県より平成24年4月から権限移譲を受けたもので地域の騒音暴露状況を経年的に統計立て監視業務を実施して環境省（環境大臣宛）に報告を行うもの。

栃木市は県からのデータを基に110か所の道路区間を5年間に分けて自動車騒音常時監視業務を実施する。本年度は23か所の道路区間で業務を実施した。

イ　騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況

（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	3	2	1	6	7
栃木県環境保全条例に基づく届出	2	9	―	8	10

(4)　振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況

（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	2	1	―	4	6
栃木県環境保全条例に基づく届出	2	6	―	6	9

(5)　その他

ア　公害苦情受付件数

（単位：件）

大　気	水　質	騒　音	振　動	悪　臭	土　壌	その他	合　計
74	8	40	3	17	―	14	156

イ　鍋山地区環境整備懇談会

鍋山地区の粉じん公害問題解決のため、9月9日（火）に地元自治会代表と石灰企業各社立会いのもと現地調査を実施し、石灰企業各社に対して改善を要望した。

また、10月24日（金）に懇談会を開催し、地元要望事項について石灰企業各社と

協議した。

ウ　土壌汚染等の防止

宅地造成及び特定盛土等規制法及び栃木県土砂等の埋立て等による土壌の汚染に関する条例に基づき、栃木県と連携して土砂等の埋立て等による土砂汚染や無秩序な埋立て等に伴う災害の発生を未然に防止し、市民生活の安全と生活環境の保全を図った。

・対応件数　　7件

12　水質調査関係

(1)　河川等水質調査

市内を流れる河川等について、次のとおり水質調査を実施した。15河川

・調査河川　瀬戸ヶ原用水、清水川、永野川、荒川、巴波川、県庁堀川、杢冷川、猿渕川、赤津川、江川、蓮花川、旧渡良瀬川、市内用水、三杉川、静和川

・調査期間　通年

・調査項目　ｐＨ、ＢＯＤ、ＳＳ、ＤＯ、大腸菌数、電気伝導率

(2)　地下水水質調査

市内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

・調査地点　市内 14 地点

・調査月日　2 月 24 日（火）・2 月 26 日（木）

・調査項目　全 28 項目

（カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、ＰＣＢ、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジオキサン）

第５節　クリーン推進課

〔総括概要〕

今日、廃棄物の処理に関しては、環境に対する世界的な意識の高まりを背景とし、環境に配慮した資源循環型の持続可能な社会の実現が求められている。栃木市においても市民一人一人が日常的に意識して食品ロスを減らし、ごみの分別を適切に行い、リサイクルを推進することで、ごみの減量化を図ることやごみの焼却に伴って排出される二酸化炭素等の削減により環境負荷の軽減や脱炭素社会の実現を目指すことが重要な課題となっている。

これらの諸課題に対応し、廃棄物処理行政の円滑で積極的な推進を図るため、クリーン推進課においては、2係の体制により事務を推進している。

ごみ減量係では、資源循環型の社会づくりを目指し、家庭から出る生ごみの自家処理を進めるための補助事業を推進したほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、市内全域に地域クリーン推進員を配置し、生活環境や公衆衛生の向上のため市民意識の啓発推進に努め、自治会等による清掃活動への協力、ボランティア活動に伴うごみの回収等を行った。

不法投棄防止対策として、不法投棄監視員によるパトロール及び不法投棄物の回収等を実施したほか、不法投棄監視カメラを運用し、不法投棄監視に取り組んだ。

施設係では、市内から発生する一般廃棄物を安全かつ適正に処理するとともに、再生品の展示販売、廃棄物の資源化により最終処分量の削減に努めた。また、施設で発電した電力を地元の業者に販売することで､エネルギーの地産地消を推進した。

とちぎクリーンプラザ及び衛生センターの運営については、運転管理、修繕、物品の調達等の各業務を一括して委託する包括的業務委託を導入し、施設の安全かつ安定した運転、適正な維持管理を実施するとともに、周辺環境の保全に努めた。

また、とちぎクリーンプラザは、長期稼働により設備機器の老朽化が進行していたことから、施設の延命化対策と長寿命化を進めるとともに、二酸化炭素排出量の削減対策のため、基幹的設備改良工事を令和４年度から実施しているが、本年度末に当該工事が完了した。

さらに、衛生センターは、長期稼働により老朽化が進行し、施設の寿命を迎えることから、令和 13 年度供用開始に向け、新たなし尿処理施設として汚泥再生処理センターを整備するため、し尿処理施設整備基本計画を策定した。

ごみ減量係

1　地域クリーン推進員事業

地域クリーン推進員連合会の協力を得て、美化キャンペーン等を実施した。

・委嘱状況　地域クリーン推進員　471人

（栃木：170人、大平：47人、藤岡：103人、都賀：32人、西方：39人、

岩舟：80人）

2　一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目により、もやすごみは週2回、紙類は月4回、空カン・空ビン、ペットボトル・食品用トレイは月2回、もやさないごみは月3回、小型家電は月1回の収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

廃食用油は、市本庁舎、各総合支所、とちぎクリーンプラザ、各道の駅で拠点回収を行った。

小型家電及び家庭で使用したインクカートリッジは、収集委託のほか、市本庁舎、各総合支所、とちぎクリーンプラザで拠点回収を行った。

休日・祝日等の犬猫等死体の収集については、委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1)　委託によるごみ収集量　（単位：ｔ）

もやすごみ	もやさないごみ	資源物				粗大ごみ	合計
		紙類	空カン空ビン	ペットボトルトレイ	小型家電		
26,317.92	1,829.89	1,812.64	1,133.08	574.54	176.58	20.82	31,865.47

(2)　拠点回収の回収状況　（単位：kg）

廃食用油	小型家電	インクカートリッジ
3,751.30	70.00	37.84

(3)　休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況　（単位：頭）

犬	猫	その他	合計
0	46	85	131

3　不法投棄監視事業

(1)　不法投棄監視員

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため不法投棄監視員を設置し、巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

ア　地区別不法投棄物回収件数　（単位:件）

区分／地区	生活系廃棄物	家電4品目	電化製品	粗大ごみ	産業廃棄物	その他	合計
栃木	30	3	0	16	5	0	54
大平	20	1	2	14	6	1	43
藤岡	12	5	0	3	14	0	34
都賀	1	0	0	0	0	1	2
西方	0	0	0	0	1	0	1
岩舟	34	4	1	3	10	0	52

計	97	12	3	36	36	2	186

※生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計

※不法投棄者判明件数5件

(2) 不法投棄監視カメラ

不法投棄が多発、又はそのおそれのある地区に不法投棄監視カメラを設置した。

ア 不法投棄監視カメラ設置台数

地域	設置場所	台数
大平	大平町下皆川	4
都賀	都賀町家中	1
岩舟	岩舟町三谷	2
合 計		7

4 ごみ減量化対策事業

(1) コンポスト容器の普及

生ごみの減量化を目的として、コンポスト容器の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

・申込基数 34基

・補助額 112,700円

(2) 電気式生ごみ処理機の普及

生ごみの減量化を目的として、電気式生ごみ処理機の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

・申込基数 55基

・補助額 1,030,500円

(3) 資源物回収団体活動報償金

資源物回収を行う団体に対し、1kg当たり2円の報償金(上限10万円)を交付し資源物回収活動の推進を行った。

・118団体 574,655kg 報償金額 1,126,000円

5 一般廃棄物処理業・浄化槽清掃業許可事務

・許可件数 ごみ収集運搬 40件（新規5件、継続34件、変更1)

し尿・浄化槽汚泥収集運搬 6件（継続6件）

浄化槽清掃 8件（継続8件）

施設係

1 とちぎクリーンプラザ包括的業務委託事業

民間事業者の創意工夫による提案を取り入れ、一般廃棄物の受入れ並びに計量棟、ごみ焼却施設、リサイクルプラザ及びリサイクルセンターの運転・維持管理等を包括的に委託し、市内から排出される一般廃棄物の処理を適正に行った。

委託期間：令和5年度から令和19年度まで

委託業者：東京都渋谷区渋谷三丁目29番20号　エクシオグループ(株)

(1)　一般廃棄物の総搬入量　（単位：ｔ）

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		小型家電	空カン 空ビン	ペットボトル トレイ		
37,504.91	2,240.18	177.81	1,133.10	575.91	874.66	42,506.57

(2)　もやすごみの搬入状況　（単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	減免	合計
625.32	26,317.92	10,554.21	7.46	37,504.91

(3)　もやさないごみの搬入状況　（単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	減免	合計
17.95	1,829.89	390.87	1.47	2,240.18

(4)　資源物の搬入状況　（単位：ｔ）

種類	直営	委託	直接搬入	合計
小型家電	1.23	176.58	－	177.81
空カン・空ビン	－	1,133.08	0.02	1,133.10
ペットボトル・食品用トレイ	－	574.54	1.37	575.91
合計	1.23	1884.20	1.39	1,886.82

(5)　粗大ごみの搬入状況　（単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	減免	合計
30.21	20.82	823.23	0.40	874.66

(6)　特定家庭用機器の搬入状況（重量は粗大ごみに含む。）（単位：台）

種類	収集	直接搬入	不法投棄	合計
エアコン	0	6	3	9
テレビ	9	264	13	286
冷蔵庫等	17	88	8	113
洗濯機	10	76	3	89

2　最終処分業務委託

(1)　焼却残渣運搬処分業務

もやすごみの焼却により発生した焼却残渣の運搬及び最終処分を委託した。

ア　委託業者　　埼玉県さいたま市大宮区大成町2丁目224番地1

(株)ウィズウェイストジャパン

・処分施設　　①福島県田村郡小野町大字南田原井字大和久169-2外

(株)ウィズウェイストジャパン　小野ウェイストパーク

②青森県三戸郡三戸町大字斗内字立花49-1外

(株)ウィズウェイストジャパン　三戸ウェイストパーク

・搬出量　　焼　却　灰　　403.39ｔ
　　飛灰固化物　　976.40ｔ

イ　委託業者　　山形県米沢市大字板谷315番地
　　ジークライト(株)

・処分施設　　山形県米沢市大字板谷字四郎右ヱ門沢773番地1外
　　ジークライト(株)　エコポート最終処分場

・搬出量　　焼　却　灰　709.92ｔ
　　飛灰固化物　157.10ｔ

(2)　不燃残渣運搬処分業務（もやさないごみ破砕後の不燃物）

もやさないごみを破砕処理した後に生じる不燃残渣の運搬及び最終処分を委託した。

・委託業者　　栃木市泉川町455番地1
　　(有)栃木クリーン

・処分施設　　長野県中野市大字豊津5520番地外
　　飯山陸送(株)　ハサマ第二処分場

・搬出量　　不燃残渣　748.22ｔ

3　処理困難物処理業務委託

(1)　破砕困難物運搬処理処分業務（ベッド・ソファー等）

とちぎクリーンプラザで破砕処理が困難なスプリング入りのベッド・ソファー、ワイヤー入りのホース等の運搬、リサイクル処理及び残渣の最終処分を委託した。

・委託業者　　埼玉県さいたま市大宮区大成町2丁目224番地1
　　(株)ウィズウェイストジャパン

・中間処理施設　茨城県かすみがうら市加茂5356番地1
　　(株)ウィズウェイストジャパン　東関東リサイクルパーク

・最終処分施設　①福島県田村郡小野町大字南田原井字大和久169-2外
　　(株)ウィズウェイストジャパン　小野ウェイストパーク
　　②青森県三戸郡三戸町大字斗内字立花49-1外
　　(株)ウィズウェイストジャパン　三戸ウェイストパーク

・搬出量　　12.98ｔ

(2)　廃乾電池・廃蛍光管運搬処理業務

ア　有害ごみとして収集された廃乾電池の運搬、リサイクル処理及び残渣の最終処分を委託した。

・委託業者　　長野県小諸市平原309番地1
　　イー・ステージ(株)

・中間処理施設　長野県小諸市平原309番地1
　　イー・ステージ(株)

・最終処分施設　奈良県御所市重阪329番地外12筆
　　南都興産(株)

・搬出量　　34.69ｔ

イ　有害ごみとして収集された廃蛍光管は、公益社団法人全国都市清掃協議会の広域回収処理事業を活用し、運搬、リサイクル処理及び残渣の最終処分を委託した。

・委託業者　　東京都中央区日本橋堀留町2丁目1番3号
　　野村興産(株)
・処理処分施設　北海道北見市留辺藻町富士見217番地1
　　野村興産(株)　イトムカ鉱業所
・搬出量　　5.67ｔ

4　資源化処理業務委託

(1)　再商品化業務

分別回収されたガラスびん（カレット（無色・茶色・その他の色））及び発泡トレイの運搬及び再商品化業務を委託した。

・委託業者　　東京都港区虎ノ門1丁目14番1号　郵政福祉琴平ビル
　　公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
・処理施設　　ガラスびん　茨城県龍ヶ崎市向陽台2番地3　つくばの里工業団地
　　硝和ガラス(株)
・処理施設　　発泡トレイ　東京都西多摩郡瑞穂町長岡3丁目5番15号
　　(株)加藤商事リサイクルプラント
・搬出量　　ガラスびん（無色）　278.31ｔ
　　ガラスびん（茶色）　369.45ｔ
　　ガラスびん（その他の色）　119.92ｔ
　　発泡トレイ　11.54ｔ

(2)　カレット残渣（ガラスくず）運搬再資源化業務

手選別後に残るカレット残渣（ガラスくず）の運搬及びリサイクル処理を委託した。

・委託業者　　千葉県銚子市春日町740番地の1
　　ガラスリソーシング(株)
・処理施設　　千葉県銚子市春日町740番地の1
　　ガラスリソーシング(株)　本社工場
・搬出量　　60.20ｔ

5　周辺環境分析業務委託

(1)　環境モニタリング分析調査業務

とちぎクリーンプラザ周辺地域の大気・土壌・水質中のダイオキシン類及び有害物質の調査を実施した。

・調査地点　栃木市梓町、尻内町、都賀町大柿、都賀町深沢地内
　　①大気　5か所　　②土壌　8か所　　③水質　7か所
・調査回数　年1回（10月）
・調査項目　①大気（浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、
　　光化学オキシダント、塩化水素、ダイオキシン類）

②土壌（カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、ダイオキシン類）

③水質（水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、浮遊物質量、溶存酸素量、大腸菌数、ダイオキシン類）

(2) とちぎクリーンプラザ周辺水質分析業務

とちぎクリーンプラザ周辺の地下水水質検査を実施した。

・検査地点　　栃木市梓町・尻内町地点（2か所）

・検査回数　　年1回（12月）

・測定項目　　水質基準51項目

6 廃家電運搬業務委託

特定家庭用機器に該当する廃家電品の指定引取場所への運搬を委託した。

・委託業者　　栃木市柏倉町536番地1
栃木カレット(有)

・指定引取場所　栃木市岩舟町静和474番地4
(株)共同陸運

・運搬回数　　20回

・搬出量　　11.15ｔ

7 放射性物質濃度測定業務委託

(1) 焼却灰等放射性物質濃度測定業務

焼却残渣と製品化されたスラグに含まれる放射性物質濃度の測定を委託により実施した。

・測定箇所　　とちぎクリーンプラザ

・測定項目　　セシウム134、セシウム137

(2) 排ガス中の放射性物質濃度測定業務

ごみ焼却時に発生する排ガス中の放射性物質濃度の測定を委託により実施した。

・測定箇所　　とちぎクリーンプラザ焼却炉（2炉）

・測定項目　　セシウム134、セシウム137

8 資源有価物売却

(1) 選別等の中間処理による資源化物

分別した資源ごみ及び焼却灰を溶融してできたスラグを有価財産として売却した。

品　目	アルミ缶プレス	鉄缶プレス	シュレッダーアルミ	シュレッダー鉄	鉄ガラ	焼磁性物
売却量(t)	185.16	130.61	55.09	191.34	133.51	241.92
売却金額(円)	60,885,709	5,276,548	4,499,436	2,383,123	2,017,695	491,438
品　目	新聞紙	ダンボール	雑誌	廃モータ類	非鉄ガラ	溶融スラグ

売却量(t)	13.89	72.69	66.22	1.31	10.19	1,203.15
売却金額(円)	15,279	79,959	72,842	1,441	100,881	64,652
品　目	小型家電 (携帯電話)	小型家電 (ＰＣ)	小型家電 (ｺｰﾄﾞ類)	羽毛布団	リチウムイオン電池	ニッケル水素電池
売却量(t)	0.47	3.14	8.69	1.90	0.88	0.18
売却金額(円)	206,800	51,810	955,900	516,153	5,808	990

(2)　使用済みペットボトルの水平リサイクル

分別回収された使用済みペットボトルを有価財産として売却した。

・協定相手方　　東京都港区芝浦3丁目1番1号
　　サントリーインターナショナル(株)
　　愛知県半田市中村町二丁目6番地
　　(株)Ｍｉｚｋａｎ

・処理施設　　鹿沼市深程990番地30
　　ジャパンテック(株)　宇都宮工場

・売却量　　453.55ｔ

・売却金額　　36,386,135円

9　余剰電力の売電

ごみ焼却に伴う余熱で発電を行い、所内の電力に使用し、また余剰電力が発生した場合には地元栃木市の電力会社に売電し、エネルギーの地産地消を行った。

・売却量　　2,257,219kwh

・売却金額　　20,269,816円

10　再生品提供事業

搬入された粗大ごみの中から、再利用できるものを修理し、展示販売した。

・申込件数　　2,722件

・提供台数　　277件

・提供価格　　548,100円

11　とちぎクリーンプラザ運営協議会

とちぎクリーンプラザの建設及び操業に関し、公害の発生防止を図り、周辺住民が健康で安心して住める生活環境を確保することを目的として、栃木地域及び都賀地域の近隣自治会と連携して会議・視察等を行った。

開催日時	議　　題
5月28日 (第1回)	(1)　役員の互選について (2)　令和6年度ごみ処理状況について (3)　令和7年度ごみ処理計画について (4)　その他
11月21日	(1)　(仮称)栃木市汚泥再生処理センターから発生した汚泥の有効利用

（第２回）	について

12　搬入ごみ抜打ち検査

奇数月に許可業者等の搬入車のもやすごみの内容物を検査し、搬入可能なごみ以外のもの（産業廃棄物、市外のごみ等）の混入や、ごみの分別がされていない場合は、口頭により指導を行った。

・実施回数　　6回（奇数月に1回実施）

13　藤岡地域及び岩舟地域のし尿及び浄化槽汚泥の搬入状況

衛生センターにおける処理能力では市全域分のし尿（生し尿及び浄化造汚泥）を処理することが難しいため、藤岡地域及び岩舟地域のし尿及び浄化槽汚泥の処理を佐野市に委託した。

（単位：kl）

区　分	し尿	浄化槽汚泥	合　計
藤　岡	427.21	2,423.08	2,850.29
岩　舟	1,241.75	3,151.56	4,393.31
合　計	1,668.96	5,574.64	7,243.60

14　衛生センター包括的業務委託事業

民間事業者の技術やノウハウを取り入れ、衛生センターの運転管理業務、維持管理業務、物品調達業務等を包括的に委託し、し尿及び浄化槽汚泥の処理を適正に行った。

・委託期間　令和3年度から令和7年度まで

・委託業者　東京都中央区晴海3丁目5番1号

月島ＪＦＥアクアソリューション(株)

・し尿及び浄化槽汚泥の搬入状況　（単位：kl）

区分	し尿	浄化槽汚泥	合　　計
栃　木	907.08	12,653.67	13,560.75
大　平	746.20	4,945.76	5,691.96
都　賀	192.00	1,328.09	1,520.09
西　方	119.98	829.95	949.93
合　計	1,965.26	19,757.47	21,722.73

上記のほか、施設の不具合等によりし尿と浄化槽汚泥の処理ができない壬生町の依頼を受け、下表のとおり本市の衛生センターにおいて壬生町から発生したし尿と浄化槽汚泥の処理を行った。

（単位：kl）

区分	し尿	浄化槽汚泥	合　　計
壬生町分	24.86	110.58	135.44

15　脱水汚泥資源化業務委託

し尿、浄化槽汚泥を処理した後に生じる脱水汚泥の運搬及び資源化を委託した。

・運搬業者　　栃木市泉川町455番地1
　　(有)栃木クリーン
・資源化施設　　茨城県結城市大字上山川4102番地1
　　ときわ化研(株)　結城工場
　　栃木県日光市猪倉2151番地
　　鹿沼化成工業(株)　日光工場
・搬出量　　ときわ化研(株)　　904.18ｔ
　　鹿沼化成工業(株)　　266.09ｔ
　　搬出量合計　　1,170.27ｔ

16　し渣資源化業務委託

し尿、浄化槽汚泥を処理した後に生じるし渣の運搬及び資源化を委託した。なお、令和6年度に実施したし渣の焼却処理試験の結果、良好と判断されたため、本年度からとちぎクリーンプラザにおける処理を開始した。

・運搬業者　　栃木市泉川町455番地1
　　(有)栃木クリーン
・資源化施設　　埼玉県大里郡寄居町大字三ヶ山313番地
　　オリックス資源循環(株)
・搬出量　　6.55ｔ
・処理施設　　栃木市梓町456番地32
　　とちぎクリーンプラザ
・搬出量　　5.17ｔ

17　とちぎクリーンプラザ基幹的設備改良工事

平成15年3月からの長期稼働により設備機器の老朽化が進行していることから、施設の延命化対策と長寿命化を進めるとともに、二酸化炭素排出量の削減を図るため、令和4年12月から実施している基幹的設備改良工事が3月に完了した。

(1)　工事期間　　令和4年12月15日～令和8年3月31日
(2)　対象施設　　ごみ焼却施設、リサイクルプラザ、リサイクルセンター
(3)　主な工事　　二酸化炭素排出量削減に寄与する設備機器及び関連する設備機器
　　・灰溶融炉の整備
　　・蒸気タービン及び発電機の改良
　　・各設備駆動モータ、電気設備変圧器等を高効率化に改良等

18　衛生センター施設整備事業

受入貯留棟は昭和60年3月、水処理棟は平成7年12月に竣工し、長期稼働により設備機器の老朽化が進行していることから、令和13年度の供用開始に向け、新たな施設の整備を予定している。また、新たなし尿処理施設として、汚泥再生処理センターを整備するため、1月にし尿処理施設整備基本計画を策定した。

第６節　人権・男女共同参画課

〔総括概要〕

人権・男女共同参画課の主な分掌事務は、人権問題、人権啓発、人権擁護委員、人権関係機関及び人権関係団体、男女共同参画の推進・啓発、男女共同参画推進団体、大平隣保館、厚生センターの管理運営及び隣保館相談事業、集会所の管理運営に関することである。

人権教育・啓発の推進については、「栃木市人権施策推進プラン第3期計画 2024年度～2028年度」を指針とし、市民一人一人が人権に関心をもち、人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、研修会、人権講演会を開催した。特に、人権啓発活動については、誰もが人権問題の解決を自らの課題として受け止められるよう、人権擁護委員や人権関係団体と連携を図り、市民の中に潜在するあらゆる差別や偏見の根絶に向け、積極的な活動を展開した。

大平隣保館及び厚生センターは、人権問題の活動拠点として、地域住民に対して生活上の各種相談事業や地域交流のための事業を実施した。また、大平隣保館での人権啓発情報誌「こだま」の発行、厚生センターでの啓発用ＤＶＤの貸出しなど、広く市民に対する人権意識の高揚に努めた。

また、人権教育事業として、集会所を拠点に各種学習や交流事業を通して、様々な人権問題に対する理解と認識を深めるとともに、人権が尊重される社会づくりを推進する人材育成に努めた。

男女共同参画の推進については、「とちぎ市男女共同参画プラン（第3期計画）2023年度～2027年度」に沿って取組を進め、その取組状況について公表した。

また、男女共同参画地域推進員や女性団体と協働で各種啓発活動や広報紙の発行などを行い、男女共同参画意識の高揚を図った。

さらに、市職員への意識調査や研修等を行い、庁内全体への意識改革を推進した。

人権推進係

1　啓発事業

(1)　研修会等の実施

ア　人権教育啓発推進事業委託実施状況

研　修　会　等　の　名　称	開催回数(回)	参加者(人)	関係課等
職員人権講座（市職員対象）	2	131	全課
栃木市人権啓発研修会	1	20	商工振興課
社会福祉協議会人権（介護）講演会	1	28	社会福祉協議会

イ　市職員フィールドワーク研修

特定職業従事者である本市職員を対象に、当事者の案内により現地で学ぶことで

部落差別問題に対する歴史認識や現状を正しく理解することを目的に実施した。

実　施　日	開　催　場　所	参加者(人)
10月21日（火）	厚生センター	17
10月22日（水）	皆川公民館	20

(2)　企業・事業所等の啓発

市内の事業所に対し、人権擁護委員と訪問し企業啓発を実施した。

配 布 物　啓発用うちわ、クリアファイル、ボールペン、リーフレット、ポスター他

ア　7月23日（水）都賀・西方地域5事業所

・参 加 者　人権擁護委員3人、市職員1人

イ　7月24日（木）岩舟地域4事業所

・参 加 者　人権擁護委員2人、市職員1人

ウ　7月28日（月）栃木地域4事業所

・参 加 者　人権擁護委員3人、市職員1人

エ　8月4日（月）藤岡地域9事業所

・参 加 者　人権擁護委員3人、市職員1人

(3)　「人権週間」12月4日～10日における啓発

ア　街頭啓発の実施

「人権週間」に合わせ、人権尊重思想の普及と高揚を図るため、街頭啓発を実施した。

(ｱ)　11月19日(水)　とりせん大平店

・参 加 者　人権擁護委員3人、市職員1人、活動団体等1人

・配 布 物　トートバック、ボールペン、パンフレット、軍手　120セット

(ｲ)　11月26日(水)　イオン栃木店、ヨークベニマル栃木祝町店

・参 加 者　人権擁護委員7人､市職員3人、法務局職員1人、活動団体等7人

・配 布 物　トートバック、ボールペン、パンフレット、軍手　340セット

(ｳ)　11月27日(木)　とりせん藤岡店

・参 加 者　人権擁護委員2人、市職員1人、活動団体等2人

・配 布 物　トートバック、ボールペン、パンフレット、軍手　80セット

イ　懸垂幕掲示

市役所本庁舎に人権週間周知の懸垂幕を掲出した。

・実施期間　11月20日（木）～12月11日（木）

ウ　人権を考える市民の集い

・実施日　12月6日(土)

・場　所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館　大ホール及びホワイエ）

・参加者　約300人

・中学生の人権作文朗読　「いじめや差別をなくすために私たちができること」「家族なのに」、「苦手を学ぶ」、「見えない理由、見えてほしい気持ち」の4編

・講演会　繋ぐ～バレーボールが教えてくれたこと～
大山加奈　氏（元女子バレーボール日本代表）
・配布物　クリアファイル、ボールペン、パンフレット　約300セット
・備　考　教育委員会と共催

エ　盲導犬体験学習の実施

実施日	会　場	参加生徒数（人）
11月28日（金）	大平南中学校	インフルエンザ流行により中止
12月1日（月）	寺尾中学校	26
12月2日（火）	都賀中学校	302

(4)　「地域のイベント」における市民啓発

各地域で開催されるイベントで街頭啓発を実施した。

ア　とちぎ蔵の街サマーフェスタ2025　8月2日（土）
・参加者　人権擁護委員5人、市職員3人
・配布物　啓発用うちわ　450枚

イ　藤岡ふくしまつり　10月12日（日）
・配布物　クリアファイル、ボールペン、リーフレット　100セット

ウ　岩舟ふくしまつり　11月9日（日）
・参加者　人権擁護委員3人、活動団体等3人、市職員1人
・配布物　クリアファイル、ボールペン、リーフレット　180セット

エ　まるつがまつり2025　11月16日（日）
・参加者　人権擁護委員4人、市職員1人
・配布物　クリアファイル、ボールペン、リーフレット　160セット

オ　ど田舎にしかた祭り　12月7日（日）
・配布物　クリアファイル、ボールペン、リーフレット　100セット

カ　りんぽかんまつり　3月8日（日）
・参加者　人権擁護委員2人、市職員1人
・配布物　コースター、リーフレット　200セット

(5)　「人権出前講座」

職員が、団体からの依頼により人権をテーマとした人権講座を行う。
依頼なしにつき実施せず。

(6)　「ブルーリボン運動」の実施

11月26日（水）～12月16日（火）市役所1階の市民スペースに「誰もが北朝鮮当局による拉致被害者の生存と救出を信じる意思表示」としてブルーリボンで装飾したツリー、関連ポスター、冊子を配架した。同じく12月6日（土）～12月30日（火）まで栃木図書館において、特設コーナーを設置して、啓発を行った。

(7)　人権標語の募集

ア　対象者：小学生以上だれでも
イ　応募数：112点（人権の集い会場11点、窓口100点、郵送1点）
ウ　入選数：5点

2　人権擁護委員関係

(1)　人権相談

行政相談委員と合同の定期相談を実施したほか、6月と12月に臨時相談窓口を開設した。

ア　定期相談

毎月第2火曜日　事前予約制

会場　栃木市役所

イ　臨時相談

名　称	実施日	会　場
人権擁護委員の日	6月2日(月)	大平隣保館
人権週間	12月5日(金)	厚生センター

(2)　人権講話等

各小中学校において、人権講話を行い、人権を尊重する精神の涵養を図った。

実施日	会　場	内　　容	参加者(人)
12月3日(水)	家中小学校	人権集会「いじめをなくそう」 ＤＶＤ「いじめと戦おう」	140
12月4日(木)	西方中学校	人権集会「ゲームを通して相互理解を深めよう」	105

(3)　人権啓発人形劇（演目：0ちゃんとおともだち）

園児を対象に、相手への思いやりや人権を尊重する大切さについて、人形劇を通して分かり易く啓発した。

実施日	会　　場	対象者	参加者（人）
11月7日(金)	大平西保育園	園児	68
11月12日(水)	フォレストキッズ保育園	園児	120
11月17日(月)	平川幼稚園	園児	140
12月1日(月)	しずわでら幼稚園	園児	230
12月9日(火)	西方なかよしこども園（インフルエンザ流行により中止）	園児	―

(4)　「人権の花」運動

人権思想の普及高揚には、幼少期のころから行うことがより効果的であることから、市内10校の小学校で実施した。児童がお互いに協力して花を育て、情操豊かに育み、人権意識の高揚を図った。

・贈呈式（人権講話実施）　　計358人

実施日	会　場	参加者（人）
5月20日　(火)	藤岡小学校	181
5月22日　(木)	大宮北小学校	19
5月27日　(火)	大宮南小学校	8

5月 27 日　（火）	大平西小学校	17
5月 29 日　（木）	南小学校	10
6月 3 日　（火）	皆川城東小学校	14
6月 4 日　（水）	西方小学校	6
6月 5 日　（木）	赤津小学校	25
6月 5 日　（木）	国府南小学校	5
6月 6 日　（金）	小野寺小学校	79

(5)　人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い法務局から推薦依頼を受け、議会の議決を経て推薦をした。

・推　薦　5人（うち再任5人）

(6)　栃木人権擁護委員協議会第一部会の活動支援状況

実施日	会　　場	事　　業　　名	参加人数(人)
4月18日（金）	市役所正庁	定期総会及び第 1 回研修会 人権啓発 DVD 視聴	16
5月30日（金）	市役所302会議室	役員会	6
7月 3日（木）	市役所正庁	第 2 回研修会 消費生活相談員による出前講座 悪質商法から身を守るために最新の手口を知ろう！	17
10月 1日（水）	視察研修 （足利市）	第 3 回研修会 こころみ学園（ココ・ファーム・ワイナリー)、足利学校	13
12月22日（月）	市役所402会議室	役員会	4
2月26日（木）	都賀公民館	第 4 回研修会 都賀箒つくり	15
3月23日（月）	市役所庁議室	役員会	4

3　部落問題対策関係事業の実施状況

部落解放同盟栃木県連合会要請書の対応

2025年9月に提出された「2025年・2026年部落解放のための要請書」に対する回答について、検討・調整を行い、説明会を開催した。

ア　人権施策推進本部幹事会

・開催日　1月15日（木）

・対象者　課長等

・内　容　2025年・2026年部落解放のための要請書について（部落解放同盟栃木県連合会からの説明）

4　栃木市人権施策推進プランの推進

栃木市人権施策推進審議会の開催

実施日 会　場	内容	審議会委員の参加人数（人）
9月26日（金） 市役所庁議室	栃木市人権施策推進プラン第3期計画に関する年次報告書について	11

・出席者　生活環境部長、人権・男女共同参画課長、担当職員及び人権施策推進審議会委員

5　栃木市パートナーシップ宣誓制度

性的マイノリティの方の自分たちの存在を公的に認めてほしいとする気持ちを受けとめる取組として、2人が人生のパートナーであることを栃木市長に宣誓し、証明書を交付する制度（令和2年11月から開始）。栃木県においても、令和4年9月から「とちぎパートナーシップ宣誓制度」が開始され、県内の連携が進んだ。また、令和6年8月から希望があれば、続柄の欄に「夫（未届）」や「妻（未届）」と記載した住民票を交付することとした。（交付　0件）

・栃木市パートナーシップ宣誓制度証明書交付　　0件　（累計3件）

大平隣保館係

1　大平隣保館事業

(1)　相談事業

指導員及び職員による生活相談等を随時行った。また、奇数月第3木曜に大平隣保館を会場に弁護士相談を実施した。

相談件数（弁護士相談件数は市民生活課で計上しているため除く）（単位：件）

項　　目	件　数	項　　目	件　数
生活相談	7	福祉相談	－
健康相談	－	医療年金相談	－
教育児童相談	－	職業相談	－
住宅相談	－	人権相談	1
市税等相談	－	環境衛生相談	－
合　計			8

(2)　啓発事業

ア　情報誌の発行

隣保館事業の周知と人権問題を広く啓発普及するため、人権啓発情報誌「こだま」を発行し、市内全域回覧した。

・発行状況　　広報とちぎ4月号・11月号に折込み全地域に回覧した

・発行部数　　各号7,070部　合計14,140部（Ａ4版 8頁）

イ　大平隣保館利用者への人権啓発

利用者を対象に、人権講座を実施した。

開催日時	場所	参加人数(人)
12月2日(火) 10:00～11：30	大平隣保館多目的ホール	32
12月3日(水) 10:00～11：30	〃	20
12月4日(木) 10:00～11：30	〃	8
合　　計		60

・内容　人権啓発ＤＶＤ等の鑑賞、人権啓発指導員による人権講話

(3)　地域交流事業

ア　主催講座・教室

事　　業　　名	開催回数(回)	参加者(人)
ＨＡＰＰＹ生き生き塾	8	238
草花をアレンジしよう！	3	43

イ　健全育成事業

事　　業　　名	参加者
隣保館開放（通年）	児童生徒1,495人
夏休み子ども教室（8月19日実施）	児童19人、保護者10人
新春書初め会（1月6日実施）	児童生徒18人、保護者17人

ウ　野外研修事業

参加サークル	実施回数(回)	参加者(人)
9団体	2	44

エ　りんぽかんまつり

隣保館事業の成果発表と地域交流を目的に、部落解放同盟栃木市協議会及び大平町新第3・第4自治会の協賛にて開催した。

・実施日時　3月8日（日）　午前10時から午後1時
・場　　所　大平隣保館
・来 場 者　1,000人
・内　　容　自主グループによる作品の展示・即売・体験、実技発表会
　　協賛団体による各種模擬店・ゲームコーナー
　　人権擁護委員による人権啓発物品の配付
　　地元消防団による消防ポンプ車試乗会

オ　自主サークル活動

施設を定期利用する団体(自主サークル)による活動を通じて、地域交流を図った。

活動団体	利用件数(件)	利用人数(人)
16団体	386	2,549

(4)　地域福祉事業

榎本集会所において、地域の高齢者を対象に健康運動、音楽鑑賞、教養講話等を実施し、参加者間の交流促進及び人権啓発を図った。

事業名及び内容	開催回数(回)	参加者(人)
ふれあい交流会 (高齢者の地域交流・ 健康維持事業等)	12	169

2　集会所事業

(1)　市主催講座

ア　大平榎本集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	参加人数(人)	講　　師
料理教室	8	67	大木節子氏
はつらつ教室	17	88	人権啓発指導員他
カラオケ教室	15	164	熊倉晴彦氏
人権講話	1	12	人権啓発指導員
合　計	41	331	

イ　大平伯仲集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	参加人数(人)	講　　師
女性教室	7	74	とちぎ花センター他
料理教室	9	53	大木節子氏
カラオケ教室	18	196	田中玲子氏
人権講話	1	13	人権啓発指導員
合　計	35	336	

ウ　大平真弓集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	参加人数(人)	講　　師
はつらつ教室	17	124	人権啓発指導員他
ダンス教室	17	146	熊倉晴彦氏
カラオケ教室	17	115	熊倉晴彦氏
人権講話	1	21	人権啓発指導員
子どもの広場	1	46	青木恵美子氏
合　計	53	452	

エ　大平西水代集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	参加人数(人)	講　　師
女性教室	8	106	人権啓発指導員他
高齢者教室	17	179	人権啓発指導員他
ダンス教室	9	47	藤倉和子氏
ダンス教室（伯仲）	17	122	吉野静氏

カラオケ教室	15	195	渡部昌信氏
人権講話	1	20	人権啓発指導員
合　計	67	669	

オ　大平富田集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	参加人数(人)	講　　師
女性教室	6	85	田中唯之氏他
料理教室	9	69	大木節子氏
高齢者教室	17	233	人権啓発指導員他
ダンス教室	15	105	吉野静氏
カラオケ教室	14	59	川田善文氏
民謡教室	14	77	金沢ゆき江氏他
人権講話	3	43	人権啓発指導員
合　計	78	671	

カ　藤岡富吉集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	参加人数(人)	講　　師
子どもの広場	1	20	青木恵美子氏
ふれあいのつどい（成人）	8	104	とちぎ花ｾﾝﾀｰ職員他
人権講話	1	6	人権啓発指導員
合　計	10	130	

キ　岩舟西根南集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	参加人数(人)	講　　師
料理教室	4	38	中田美千子氏
カラオケ教室	14	57	―
卓球教室	16	133	―
人権講話	1	12	人権啓発指導員
合　計	35	240	

ク　岩舟下津原集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	参加人数(人)	講　　師
料理教室	7	72	種村有子氏
健康づくり教室	8	106	間中浩子氏
美術教室	8	79	籾山礼子氏
卓球教室	33	261	―
カラオケ教室	51	305	―
人権講話	1	25	人権啓発指導員
合　計	108	848	

ケ　集会所運営委員会（第2回目中止）

会　議　名	実施日	参加人数(人)	会　　場

栃木市集会所運営委員会	7月25日（金）	27	大平隣保館

コ　野外研修

集会所教室名	実施日	参加人数(人)	研修先及び内容
富田・西水代高齢者教室、榎本はつらつ教室	10月1日（水）	16	茨城県日立市・施設見学
藤岡集会所	10月14日（火）	20	埼玉県深谷市・施設見学
西水代･伯仲･富田女性教室	10月21日（火）	13	茨城県日立市・施設見学
岩舟地域集会所主催教室	10月24日（金）	32	埼玉県深谷市・施設見学

サ　地域ふれあいのつどい

・実 施 日　11月22日（土）　午前9時から午後0時30分
・場　　所　藤岡富吉集会所
・参 加 者　53人
・内　　容　ペーパークラフト作り、人権ＤＶＤ鑑賞、ビンゴ、啓発物品等配布
・協　　力　部落解放同盟栃木市協議会

※藤岡都賀集会所については、施設の安全性が確保できないため、使用停止中。

厚生センター係

1　厚生センター事業

(1)　相談事業　（単位：件）

項　　目	件　数	項　　目	件　数
生活相談	2	福祉相談	－
健康相談	－	医療年金相談	－
教育児童相談	－	職業相談	－
住宅相談	－	人権相談	1
市税等相談	－	環境衛生相談	－
合　計			3

(2)　啓発事業

ア　啓発用ビデオ・ＤＶＤの貸出し

各種研修会・講演会等において、人権問題を広く啓発するため、啓発用ビデオ・ＤＶＤの貸出しを行った。また、啓発用ＤＶＤを1本新規購入した。

・貸出状況　19件（延べ視聴者831人）
・購入ＤＶＤ「あなたの笑顔がくれたもの～周りから見えにくい障害・生きづらさ～」

イ　図書及び啓発資料の貸出し

人権問題の啓発等に関する図書及び資料の貸出しを行った。

ウ　厚生センターだよりの発行

厚生センター並びに栃木地域集会所事業の情報提供と人権について身近な話題に

ついてわかりやすくコメントした「厚生センターだより」を毎月発行、市ホームページに掲載した。

(3) 地域交流事業

ア 夏の交流事業

・実施日 7月12日（土）午前9時30分から12時00分
・場 所 厚生センター 集会室
・参加者 40人
・内 容 「ペットボトル水族館」を作ろう、じゃんけんゲーム、本の読み聞かせ、ビンゴ、啓発物品等配布
・協 力 部落解放同盟栃木市協議会、九輪草の会、栃木第四地区民生委員児童委員協議会

イ 冬の交流事業

・実施日 12月13日（土）午前9時30分から11時30分
・場 所 厚生センター 集会室
・参加者 22人
・内 容 「スノードームを作ろう」、なかよしゲーム、本の読み聞かせ、ビンゴ、啓発物品等配布
・協 力 部落解放同盟栃木市協議会、九輪草の会、栃木第四地区民生委員児童委員協議会

ウ 読み聞かせ学習体験講座【3回連続】

・実施日 12月9日（火）、10日（水）、11日（木）、 午前10時から11時30分
・場 所 厚生センター 和室
・参加者のべ 18人

エ 厚生センター自主講座

(ｱ) 第１回 布ぞうり作り

・実施日 9月 30 日（火）午後 1 時 30 分から 4 時
・場 所 厚生センター 和室
・参加者 10 人

(ｲ) 第２回 布ぞうり作り

・実施日 10 月 1 日（水）午後 1 時 30 分から 4 時
・場 所 厚生センター 和室
・参加者 10 人

オ 厚生センター地域交流研修会

・実施日 11月5日（水）午前10時から11時30分
・場 所 厚生センター 集会室
・参加者 20人
・内 容 マジックと懐かしのメロディー、人権講話

カ 厚生センター地域交流バス研修

・実施日 10月15日（水）、22日（水）午前8時50分から午後4時50分
・場 所 資生堂那須工場 工場見学他

・参加者　53人

(4)　ボランティア団体等の活動支援

ア　登録団体への無償貸館

登録団体	貸出件数	利用人数
8団体	96件	1,785人

イ　読み聞かせ学習グループ「九輪草の会」の活動支援

朝の読み聞かせ	栃木第四小学校
	大宮北小学校
	千塚小学校

(5)　集会所事業

ア　皆川城内集会所事業

講　座　名	回数(回)	参加人数(人)	講　　師
子ども教室	24	281	伊藤恵子氏
成人教室	106	385	山田次男氏他
人権講話	1	8	人権啓発指導員
合　計	131	674	

イ　新栃木コミュニティ会館事業

講　座　名	回数(回)	参加人数(人)	講　　師
子ども教室	24	465	伊藤恵子氏他
成人教室	25	129	栗原千恵子氏他
合　計	49	594	

ウ　栃木第四地区コミュニティセンター事業

講　座　名	回数(回)	参加人数(人)	講　　師
子ども教室	30	522	杉山真理氏他
成人教室	72	701	前橋陽子氏他
人権講話	2	55	人権啓発指導員
合　計	104	1,278	

男女共同参画係

1　各種委員会等への女性委員構成状況調査の実施

男女共同参画社会の形成に関する施策の推進状況を把握するため、庁内における女性の委員会等への参画状況の調査を実施するとともに、女性登用推進要綱に基づき、女性参画の推進に取組んだ。

・委員会等の組織数　93組織

・構成人数　　1,555人

・うち女性数　597人

・女性登用率　38.4%（4月1日現在）

2　男女共同参画プランの推進

(1)　男女共同参画プランの適正な進行管理

令和6年度の男女共同参画に関する施策の実施状況調査を実施し、施策事業の評価を実施した。また、年次報告書を作成し、関係機関に配布するとともに、市ホームページにて公表した。

(2)　男女共同参画審議会の開催

実施日 会　場	内容	参加人数 （人）
10月29日（水） 午後14時から 15時30分 市役所3階正庁Ａ	「とちぎ市男女共同参画プラン（第3期計画）」年次報告について 「栃木市男女共同参画推進事業者表彰」事業者選考について	10

・出席者　生活環境部長、人権・男女共同参画課長、担当職員及び男女共同参画審議会委員

3　男女共同参画推進本部検討部会部会員の活動

(1)　研修会の実施

実施日 会　場	内　　容	参加人数 （人）
6月19日（木） 午前10時から11時30分 市役所　正庁	講話 「アンコンシャス・バイアス」って何だろう？ ～「あたり前」や「普通」に潜む思い込み～ 講師：株式会社フェードイン　工藤　敬子氏	21
9月9日（火） 午後14時から15時30分 市役所　正庁	防災講座（講話・避難所運営） 防災になぜ男女共同参画の視点が不可欠なのか ～男女共同参画の視点で取り組む防災について考える～ 講師：公益財団とちぎ男女共同参画財団　芳村佳子氏	20
12月2日（火） 午前10時から11時30分 市役所　正庁	講話 モラルハラスメントのＤＶ被害者への影響とその理解 ～心理的･精神的な暴力の実態や被害心の回復について～ 講師：ウイメンズハウスとちぎ　藤平　裕子氏	20

上記の中から希望する講座を選んで参加。

(2)　男女共同参画のつどいに併せて募集した「男女共同参画」に関する標語の選定。

4　男女共同参画啓発事業

(1)　男女共同参画週間事業

男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に対する理解を深め、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、パネル展の開催及び広報紙への記事の掲載等を行った。

場　所	実　施　日	内　容
栃木図書館 1階特設コーナー	6月8日（日） ～6月29日（日）	・パネル展示 ・啓発物資（コーヒー、リーフレット）の設置 ・男女共同参画に関する書籍の紹介、陳列
市役所 市民スペース 2階吹き抜け	6月20日（金） ～6月30日（月）	・パネル展示 ・啓発物資（ティッシュ、リーフレット）の設置 ・2階吹き抜け：ポスター、のぼり旗の掲示

(2)　男女共同参画地域推進員の活動

ア　啓発物資の配布

男女共同参画週間及び女性に対する暴力をなくす運動週間において、啓発物資を配布した。

・実施日　6月26日（木）午後3時から4時、11月20日（木）午後3時から4時

・場所　　東武栃木市役所店　出入口

・参加人数　　4人、3人

イ　研修会の実施

今後の啓発活動に役立て、本市の更なる男女共同参画の推進を図るため、6月～1月に実施した男女共生大学の中から希望する講座に参加した。

・参加者数　　延べ20人

ウ　男女共同参画広報紙「きららとちぎ」の編集

編集会議　7月17日（木）、9月12日（金）、11月28日（金）、3月2日（月）

参加者　　延べ15人

発行回数　3回

(3)　「とちぎ市男女共同参画のつどい」の開催

男女共同参画社会づくりを目指し、「とちぎ市男女共同参画のつどい」を開催した。

・実 施 日　1月17日（土）午後1時20分から3時30分

・会　　場　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）

・内　　容　男女共同参画標語コンテスト　最優秀賞　表彰式

栃木市男女共同参画事業者表彰　表彰式

栃木市女子野球タウン活動報告

講演　子育てで深めよう家族の絆～木山家流ワークライフバランスのススメ～

講師　歌手　木山　裕策氏

・参加人数　500人

(4)　男女共同参画のつどいに併せての啓発事業

ア　啓発事業として「男女共同参画」に関する標語の募集を行い、表彰した。
最優秀賞小中学生各1点、優秀賞小中学生各3点
・小学5年生　応募総数396点
・中学2年生　応募総数166点

イ　栃木市男女共同参画推進事業者の表彰を実施した。
表彰事業者　栃木信用金庫
表彰理由　・有給休暇の取得推進
・誰もがいきいきと働ける環境づくり
・柔軟な働き方の導入
・女性活躍推進と女性管理職の育成

(5)　男女共同参画推進事業の広報
市広報紙、市ホームページ、新聞、ＳＮＳ、Report Tochigiによる広報を行った。

(6)　出前講座の実施

実施日 会　場	内　　容	参加人数 （人）
5月29日（木） 午前11時00分から11時40分 栃木市役所　正庁	栃木市女性団体連絡協議会 講話 「アンコンシャス・バイアス」って何？ 講師：栃木市男女共同参画推進指導員 藤野喜代子氏	33

(7)　男女共同参画広報紙の発行
男女共同参画について市民の理解と関心を深めるため、男女共同参画地域推進員を編集員として、男女共同参画広報紙「きららとちぎ」を電子版で年3回の発行を行った。

(8)　とちぎ市男女共生大学の開設
男女共同参画社会の実現に向け、共に学び考え、それぞれの活動を通して、自分らしく生き生きと活躍、行動できる力を身につける人材を育成するため男女共生大学を開設した。

実施日 会　場	講　座　内　容	参加人数 （人）
6月19日（木） 午前10時から11時30分 市役所　正庁	講話 「アンコンシャス・バイアス」って何だろう？ ～「あたり前」や「普通」に潜む思い込み～ 講師：株式会社フェードイン　工藤　敬子氏	69
8月24日（日） 午前10時30分から午後1時 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（3階調理室）	実技 お父さんと一緒に作る パパ！っとおやこ料理教室 講師：sottodeli店主　栗原　碧氏	18

9月9日（火） 午後2時から3時20分 市役所　正庁	講話・実技 「男女共同参画の視点からの防災講座」 講師：（公財）とちぎ共同参画財団 芳村　佳子氏	47
10月17日（金） 午後1時から3時30分 とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	映画上映会 「レディ・マエストロ」	210
12月2日（火） 午前10時から11時20分 市役所　正庁	講話 モラルハラスメントのＤＶ被害者への影響とその理解 ～心理的･精神的な暴力の実態や被害心の回復について～ 講師：ウイメンズハウスとちぎ　藤平　裕子氏	27
12月21日（日） 午前10時30分から午後1時 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（3階調理室）	実技 お父さんと一緒に作る パパ！っとおやこ料理教室 講師：sottodeli店主　栗原　碧氏	16

5　キャリアデザイン講座の実施

将来の担い手となる中学生を対象に、自分の望む将来の姿や夢へのアプローチを現実として考える一助となるようキャリアデザイン講座を実施した。

講師：(有)フェードイン　　工藤敬子　氏

実　施　日	会　場	実施団体	参加人数(人)
5月30日（金）	藤岡中学校	藤岡中学校　2年生徒	105
9月 5日（金）	栃木西中学校	栃木西中学校　2年生徒	134
10月21日（火）	都賀中学校	都賀中学校　2年生徒	88
2月25日（水）	大平中学校	大平中学校　2年生徒	103

6　理工系チャレンジ講座の実施

女子小中学生が楽しみながら理工系分野に興味がもてるような実験と講話の講座を実施した。

・実 施 日　8月1日（金）午前9時00分から16時30分
・会　　場　帝京大学宇都宮キャンパス
・内　　容　実験、リケジョの先輩との交流、キャンパス見学
　　講師：帝京大学理工学部　准教授　平澤孝枝氏・高山優子氏
・参加人員　小学5年生～中学3年生の女子児童生徒19人、保護者10人

7　ＤＶ防止啓発事業

配偶者や恋人などの親密な関係にある間柄で行われる暴力「ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）」についての正しい知識を身に付け、問題に対する理解と認識を広めるため、啓発活動を行った。

(1)　講座

(2)　啓発活動

場　所	実　施　日	内　容
栃木図書館 1階特設コーナー	11月8日（土） ～11月29日（土）	・パネル展示 ・啓発物資（ウェットティッシュ、入浴剤、リーフレット）の設置 ・ＤＶに関する書籍の紹介、陳列 ・パープルリボンツリーの設置
市役所 市民スペース 2階吹き抜け	11月11日（火） ～11月26日（水）	・パネル展示 ・啓発物資（ウェットティッシュ、リーフレット）の設置 ・2階吹き抜け：ポスター、のぼり旗の掲示

8　男女共同参画自主グループ活動支援

(1)　栃木市女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会　　場	事　　業　　名	参加人数(人
5月29日（木）	市役所正庁	栃木市女性団体連絡協議会定期総会 研修会 アンコンシャス・バイアス講座	44
6月16日（月）	鹿沼市 上三川町	視察研修 ジャパンテック(株)見学 (株)シーボン工場見学	24
9月29日（月）	市役所正庁	研修会 消費生活相談員による出前講座 悪質商法から身を守るために最新の手口を知ろう！	29
10月17日（金）	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	とちぎ市男女共生大学 映画上映会	30
1月17日（土）	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	とちぎ市男女共同参画のつどい	6
2月 7日（土）	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	エコライフｉｎとちぎ	10

3月13日（金）	市役所401会議室	栃木市女性団体連絡協議会役員会	10

9　女性首長による「びじょんネットワーク」への協力

・実 施 日　10月18日（土）

・会　　場　東京都　東京商工会議所

・テ ー マ　女性活躍の輪を広げるために　変わる社会、変えるリーダーたち

・市長による自治体紹介動画の提供

・オンラインマルシェ出品事業者の推薦

10　市職員への男女共同参画に関する意識調査及び研修の実施

(1)　男女共同参画に関する意識調査の実施

・実施時期　７月

・対象者　　正職員　1,242名

・回答率　　88.8%

(2)　職員向け研修の実施

・日　時　令和8年3月18日（水）14時00分～16時00分

・会　場　市役所　正庁

・講　師　宇都宮大学　DE&I推進センター　特任助教　川面充子氏

・対　象　正職員　46名

・内　容　無意識の思い込みに気づく職場づくり

第５章　保健福祉部

第１節　福祉総務課

〔総括概要〕

福祉総務課の主な分掌事務は、地域福祉計画に関すること、栃木市社会福祉協議会に関すること、民生委員・児童委員に関すること、更生保護業務の支援に関すること、避難行動要支援者に関すること、災害見舞金等に関すること、日本赤十字社に関すること、社会福祉法人の定款認可等に関すること、社会福祉事業の経営に係る指導監督に関すること、指定障害福祉サービス事業者及び指定障害者支援施設の指定等に関すること、生活保護法による保護の措置に関すること、生活困窮者の自立支援に関すること等である。

地域福祉係では、3年に一度の民生委員・児童委員一斉改選が行われ、378名の方に対して委嘱状を伝達した。

また、令和7年1月臨時議会にて承認された「栃木市非課税世帯支援給付金支給事業」に関して、3月に発送した確認書の受付作業を行い、家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対して3万円を支給した。

検査指導係では、平成25年度から社会福祉法人の定款認可及び指導監査事務等を行っており、栃木県知事から市長への事務処理特例制度の活用による社会福祉事業の経営に係る指導監督等の事務を行うとともに、障がい福祉サービス事業者の指定、保育所の認可及び業務検査指導等の事務への取組など、社会福祉事業の適正な運営に資するよう努めた。

また、国の社会福祉法人指導監査実施要綱により、市内社会福祉法人に対し指導監査ガイドラインによる全国統一基準の指導監査を実施した。

保護経理係、保護第1係、保護第2係では、経済・雇用環境の変化や、高齢者人口の増加、核家族化の進行により、生活保護受給者の状況も変化してきている中、生活保護法、実施要領等関係法令を順守し、生活困窮者に対して公平かつ適切な保護を心がけ、最低生活の保障と自立助長を図るとともに生活保護業務の組織的な管理を推進し、生活保護の適正実施に努めた。

また、生活保護に至る前の段階における自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し自立相談支援事業、家計相談支援事業、学習支援事業、就労準備支援事業、住居確保給付金の支給を行った。

地域福祉係

1　社会福祉施策推進委員会の開催

社会福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、栃木市社会福祉施策推進委員会を開催し、「栃木市障がい福祉計画」、「第9期高齢者保健福祉・介護保険事業計画」の進捗状況の確認及び次期計画についての検討を行った。

会議名	実施日	内　容
委員会	7月25日(金)	・栃木市障がい福祉計画の進捗について ・第9期栃木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画状況報告について
委員会	1月28日(水)	・「第10期栃木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定について ・「栃木市障がい福祉計画（第8期）及び栃木市障がい児福祉計画（第4期）」の策定について

2　地域福祉計画の推進

栃木市地域福祉計画･地域福祉活動計画推進懇談会を栃木市社会福祉協議会と開催し、「第2期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の評価を行った。

3　障がい者就労支援

栃木特別支援学校の生徒に対し、職業体験を行った。

4　民生委員・児童委員関係

市内17協議会による栃木市民生委員児童委員協議会連合会の事務局として、各協議会相互の連絡調整、情報の共有、委員の資質向上のための研修会開催等の支援を行った。

また、栃木地域においては民生委員・児童委員189人（12区の協議会）が、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行った。そのうち主任児童委員23人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
47	51	39	115	76	22
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
11	52	175	523	1,111	5.9

(2)　調査等状況　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
628	88	3,863	17,120	28,981	50,680	268.1

5　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金及び災害救護を実施した。

(1)　赤十字活動資金募集実績額

地域	実績額(円)
栃木	6,255,119
大平	2,750,550

藤岡	1,406,320
都賀	899,000
西方	607,800
岩舟	1,633,200
合計	13,551,989

(2)　火災による救援品配布状況

地域	世帯数(世帯)	家族数(人)	毛　布(枚)	布　団(組)	緊急セット(個)
栃木	2	3	2	3	2
大平	0	0	0	0	0
藤岡	1	3	3	3	1
都賀	0	0	0	0	0
西方	0	0	0	0	0
岩舟	0	0	0	0	0
合計	3	6	5	6	3

(3)　講習会等

・健康生活支援講習　　4回

・救急法講習　　7回

6　火災等による災害見舞金支給状況（全地域合計）　　（単位：件）

全焼	半焼	部分焼	全壊	半壊	部分損壊	入院	火災死亡
3	1	1	－	－	－	－	－

7　地域福祉センター

(1)　ふるさとふれあい館

ア　利用状況

・年度別利用者数

年度／区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数（人）	14,018	15,214	15,326	13,739

・開館日数 316日

・1日平均入場者数 44人

・月別内訳

区分／月別	研修室	和室	学習室	ボランティアルーム①	ボランティアルーム②	陶芸室	木工室	ロビー・応接室等	合計	開館日数（日）
4	482	222	156	131	46	63	12	21	1,133	27
5	561	208	119	95	57	41	14	180	1,275	25
6	534	247	142	139	65	41	25	91	1,284	28
7	447	254	124	112	66	33	18	102	1,156	28
8	416	181	118	104	80	0	16	85	1,000	28
9	532	201	111	98	46	34	18	81	1,121	26
10	430	241	134	118	54	31	22	84	1,114	28
11	462	181	143	124	50	11	23	90	1,084	25
12	367	198	164	123	62	29	30	83	1,056	25
1	500	238	101	145	47	4	22	114	1,171	24
2	507	180	133	136	45	17	21	83	1,122	24
3	683	173	138	100	49	32	20	28	1,223	28
合計	5,921	2,524	1,583	1,425	667	336	241	1,042	13,739	316

イ　事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ふるさとふれあい館のロビーや通路の壁側に、毎月、利用団体の作品の展示を行い、文化活動の活性化を図っている。

また、回遊式庭園のため、市民が気軽に来園し散策等出来るように、ベンチの設置やレジャーシート貸し出しを実施した。

更に以下のとおり自主事業を計画・実施した。

(ｱ)　オレンジカフェ（認知症カフェ）への協力

認知症の人だけでなく、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、地域の社会福祉法人が実施するオレンジカフェへの協力を行った。

開催場所：ロビー

開催日　：毎月第1金曜日及び第3木曜日

参加者　：716人

(ｲ)　学習支援

自宅で落ち着いて学習が出来ない、家庭の事情で塾に行けない生徒に対し学習

支援を実施した。

・開催回数　16回

・延べ人数　86人/年

(ｳ)　ふれあい福祉作品展

ふるさとふれあい館利用団体等によるふれあい福祉作品展を実施することで、ふるさとふれあい館や福祉についてのＰＲ活動を行った。

・開催日　　5月24日(土)、25日(日)

・参加者数　250人

(ｴ)　エコキャップ回収運動

ペットボトルキャップの収益金を世界の子ども達のワクチン購入のために寄付するエコキャップ回収運動を実施した。

(2)　あいあいプラザ

・年度別利用者数

区分＼年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	大人	933人	1,176人	1,208人
	子ども	2,141人	2,864人	3,993人
	計	3,074人	4,040人	5,201人
開館日数		303日	307日	307日
日平均利用者数		10.1人	13.2人	16.9人

検査指導係

1　社会福祉法人等の認可及び届出の延べ件数

(1)　社会福祉法人　　(単位：件)

	設立認可	定款変更	その他	合計
社会福祉法人	－	7	－	7

(2)　障がい福祉サービス事業所　　(単位：件)

	指定	指定更新	変更届	休止・廃止届	合計
障がい福祉サービス事業所	5	20	288	4	317

(3)　保育所等　　(単位：件)

	設置認可開始届	変更届	休止・廃止届	合計
保育所	－	6	－	6
小規模保育事業	－	1	－	1
一時預かり事業	－	3	－	3
放課後児童健全育成事業	1	25	1	27

認可外保育施設	－	1	5	6
児童館	－	－	－	－

2　検査指導業務の実施延件数　（単位：件）

種別		指導監査対象件数	指導監査実施件数
社会福祉法人		21	7
社会福祉施設等		544	174
高齢	地域密着型介護サービス事業(介護予防サービス事業含む)	54	13
	居宅介護支援事業	44	17
	介護予防支援事業	8	1
	第1号事業	102	－
障がい	障がい福祉サービス事業	181	59
	地域活動支援センター	3	－
児童	保育所	15	14
	一時預かり事業	11	10
	特定教育・保育施設	32	13
	小規模保育事業	4	1
	特定地域型保育事業	4	1
	放課後児童健全育成事業	66	28
	児童館	6	3
	認可外保育施設（認定こども園併設含む）	14	14

保護経理係　保護第1係　保護第2係

1　生活保護及び支援給付関係

(1)　被保護世帯数

ア　地区別状況

区分	総数	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
世帯数	1,197	798	138	93	63	21	84
比率%	100	66.7	11.5	7.8	5.3	1.7	7.0

イ　世帯類型別状況

区分	総数	高齢者	障がい者	傷病者	母子	その他
世帯数	1,197	645	154	97	32	269
比率%	100	53.9	12.9	8.1	2.7	22.4

ウ　労働力類型別状況

区　分	総　数	世帯主 常用勤労者	世帯主 日雇労働者	世帯主 内職者	その他の 就労者	世帯員が 稼働	稼働者 なし
世帯数	1,197	62	118	2	2	26	987
比率％	100	5.2	9.8	0.2	0.2	2.2	82.4

(2)　生活保護新規相談及び開始・廃止ケースの状況

	新規ケースの処理状況					廃止件数
	相談件数	申請件数	開始数	取下数	却下数	
4月	40	17	16	1	－	9
5月	25	9	9	－	－	12
6月	39	14	13	－	1	12
7月	37	25	21	－	4	9
8月	33	16	15	1	－	8
9月	35	20	18	1	1	20
10月	33	15	14	1	－	9
11月	36	21	20	1	－	16
12月	24	19	18	1	－	10
1月	47	20	19	1	－	13
2月	37	19	16	2	1	13
3月	32	13	13	－	－	18
合　計	418	208	192	9	7	149
月平均	35	17	16	1	1	12

(3)　保護施設入所状況

生活保護法による保護施設の入所状況は次のとおりである。

・施設名　　共生の杜（救護施設）
　　フルーツガーデン（救護施設）
　　パルミラ（救護施設）
　　鹿島更生園（救護施設）

・入所者数　14人

・入所状況内訳　　（単位：人）

区　分	令和6年度末	入所者	退所者	令和7年度末
共生の杜	3	－	－	3
フルーツガーデン	5	1	－	6
パルミラ	2	2	－	4
鹿島更生園	2	－	1	1
合　計	12	3	1	14

(4)　生活保護費等の支出状況

・支出状況　【別表 1】生活保護費等の支出状況

2　行旅死病人等取扱状況

取扱件数及び扶助費の支出額は次のとおりである。

区　　分	件数(人)	支出額（円）
行旅死亡人	3	625,692
行旅病人	－	－
合　　計	3	625,692

3　生活困窮者自立支援事業関係

(1)　生活困窮者自立支援事業

	実施方法	相談者数	事業の概要
自立相談支援事業	委　託 栃木市社会福祉協議会	262 人	生活困窮者の相談に広く応じ、当該生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認することを通じて個々の状態にあった支援計画の作成等を行い、関係事業との連携を深めた支援を包括的、継続的に実施した。
家計改善支援事業	委　託 栃木市社会福祉協議会	19 人	家計に関する相談を受け、家計管理に関する支援、滞納の解消や各種制度等の利用に向けた支援、債務管理に関する支援、貸付のあっせん等を行った。
学習支援事業	委　託 栃木市社会福祉協議会	79 人	午前・午後の 2 部に分けて、個別指導により週 6 時間の学習サポート塾及び通信学習を実施した。また、必要に応じて面接練習、試験前学習を講師協力のもと、実施した。また、小学 5，6 年生の通信学習を実施した。 （習熟度別学習）　（単位：人） 学　年 / 参加人数 中学 1 年生 / 10 中学 2 年生 / 9 中学 3 年生 / 23 合　計 / 42

（通信学習）　　（単位：人）

学　年	参加人数
小学5年生	8
小学6年生	10
中学1年生	8
中学2年生	9
中学3年生	2
合　計	37

(2)　住宅支援給付事業関係（住居確保給付金）

年度	支給月数(月)	支出額（円）
令和5年度	16	552,000
令和6年度	17	675,800
令和7年度	19	676,400

【別表 1】 生活保護費等の支出状況

・扶助費別支出状況 （単位：円）

月別	被保護		生活	住宅	教育	介護	医療	出産	生業	葬祭	就労自立	進学就職	保護施設
	世帯数	人員	扶助費	扶助費	扶助費	扶助費	扶助費	扶助費	扶助費	扶助費	給付金	準備給付金	事務費
4月	1,154	1,417	53,220,855	24,555,728	699,578	5,737,620	59,296,522	−	1,105,798	−	−	−	2,666,865
5月	1,153	1,414	51,948,685	24,748,107	553,200	5,774,350	85,896,265	−	314,393	390,350	59,284	−	2,890,185
6月	1,153	1,413	51,674,072	24,587,993	813,686	5,184,061	80,376,425	−	111,950	560,325	127,927	−	2,890,185
7月	1,158	1,413	51,013,493	24,707,114	445,420	6,733,249	82,359,116	−	109,500	192,500	−	−	2,890,185
8月	1,168	1,424	53,549,985	24,549,994	301,894	5,950,832	85,658,498	−	73,000	−115,507	−	−	2,814,111
9月	1,175	1,427	52,573,743	24,720,910	396,800	5,831,823	105,094,706	−	71,777	615,430	43,120	−	2,814,111
10月	1,179	1,427	55,028,966	25,373,827	396,620	5,712,962	82,986,741	362,124	106,600	739,850	−	−	2,814,611
11月	1,182	1,429	58,391,672	25,715,165	401,144	6,084,238	110,071,446	−	82,200	209,000	75,115	−	2,817,521
12月	1,193	1,438	72,401,330	26,146,781	415,880	5,816,144	96,028,745	730,124	71,000	603,100	80,000	−	2,835,151
1月	1,197	1,441	58,787,684	26,448,425	399,325	5,672,513	71,223,823	−	63,700	188,500	20,000	−	2,852,781
2月	1,195	1,440	58,566,521	25,966,090	392,585	6,677,366	115,210,695	−	56,400	−	−	−	2,909,709
3月	1,197	1,438	59,765,526	26,633,160	660,869	6,931,007	90,210,725	−	223,500	963,760	26,966	−	5,481,264
合計			676,922,532	304,153,294	5,877,001	72,106,165	1,064,413,707	1,092,248	2,389,818	4,347,308	432,412	−	36,676,679
月平均	1,175	1,427	56,410,211	25,346,108	489,750	6,008,847	88,701,142	91,021	199,152	362,276	36,034	−	3,056,390
扶助別構成比			31.22	14.03	0.27	3.33	49.09	0.05	0.11	0.20	0.02	0	1.69

・月別支出状況 （単位：円）

月	月別計	月	月別計	月	月別計	月	月別計	月	月別計	月	月別計	合計
4月	147,282,966	5月	172,574,819	6月	166,326,624	7月	168,450,577	8月	172,782,807	9月	192,162,420	2,168,411,164
10月	173,522,301	11月	203,847,501	12月	205,128,255	1月	165,656,751	2月	209,779,366	3月	190,896,777	

※保護率 9.81‰ ［‰（パーミル）：1000 分の幾つであるかを表す語。1 パーミルは 1000 分の 1。（人口 1,000 人当たりの保護者数）］

前年度比保護費	0.5％減
前年度比保護世帯数	3％増
前年度比保護人員	3％増

第２節　障がい福祉課

〔総括概要〕

障がい福祉課の主な分掌事務は、障がい者手帳の交付に関すること、障がい児者の手当支給に関すること、福祉タクシー料金助成に関すること、障がい者自立支援医療に関すること、障がい福祉サービスの支給に関すること及び障がい児者の福祉に係る相談支援に関することである。

障がい福祉係では、身体障害者手帳、療育手帳の交付等申請受付をはじめ、自立支援医療費（更生医療、育成医療）の支給、補装具・日常生活用具費の支給、特別障がい者手当等の支給、福祉タクシー券助成等の事務を行った。

障がい支援係では、主に障がい者の日常生活及び社会生活の総合的な支援に資するために訪問・通所・入所、住まい等の各種障がい福祉サービスの支給決定、障がい支援区分認定事務を行った。そのほか、地域生活支援事業（日中一時支援、移動支援、地域活動支援センター等）、精神障害者保健福祉手帳の交付申請及び自立支援医療（精神通院医療）の支給認定申請の受付を行った。

障がい児者相談支援センター係では、係を基幹相談支援センターとして位置づけており、障がい児者と当事者を取り巻く環境との相互作用による問題等について、地域の相談支援の拠点として関係機関と連携を図りながら相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行った。また、障がい者の高齢化、重度化や「親なき後」を見据え、安心して地域で生活できる地域生活支援システムである「栃木市くらしだいじネット」を運用し、緊急時支援等を行った。

障がい福祉係

1　身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）　（単位：人）

障がい区分	手帳所持者数	新規交付者数
視覚障がい	371	38
聴覚・平衡障がい	709	55
音声・言語・そしゃく障がい	63	4
肢体不自由障がい	2357	74
内部障がい	1990	210
複合障がい	262	0
合計	5,752	381

2　知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付状況）　（単位：人）

区分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合計
	男	女	男	女	

重度(A1･A2)	77	34	308	243	662
中度(B1)	50	17	296	203	566
軽度(B2)	130	48	288	132	598
合 計	257	99	892	578	1826

3 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

ア 件数 （単位：件）

区分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	3	0	3	－	－	－
	義足	2	12	14	－	－	－
装具	下肢	24	11	35	1	－	1
	靴型	3	－	3	－	－	－
	体幹	－	－	－	－	－	－
	上肢	1	－	1	－	－	－
姿勢保持装置		4	10	14	2	1	3
視覚障害者安全つえ		7	－	7	－	－	－
義眼		－	－	－	－	－	－
眼鏡	矯正眼鏡	2	－	2	－	－	－
	遮光眼鏡	4	－	4	－	－	－
	弱視眼鏡	1	－	1	－	－	－
補聴器	高度難聴用ポケット型	－	－	－	－	－	－
	高度難聴用耳掛け型	66	20	86	1	2	3
	重度難聴用ポケット型	－	－	－	－	－	－
	重度難聴用耳掛け型	27	8	35	2	－	2
	耳あな型(ｵｰﾀﾞｰﾒｲﾄﾞ)	－	－	－	－	－	－
人工内耳		－	－	－	－	－	－
車いす	自走型	14	19	33	3	3	6
	介助型	7	10	17	5	1	6
電動車いす		2	3	5	－	－	－
座位保持いす		－	－	－	2	－	2
頭部保持具		－	－	－	－	－	－
歩行器		3	－	3	－	－	－
歩行補助つえ		2	－	2	－	－	－
重度障がい者用意思伝達装置		－	－	－	－	－	－
合計		172	93	265	16	7	23

イ　費用　　（単位：円）

区分	総額		
		公費分	自己負担額分
身体障がい者	29,673,612	29,028,049	645,563
身体障がい児	4,498,955	4,311,264	187,691

※公費分の給付に加え、市単独の事業として自己負担額分についても助成を行った。

(2)　障がい者（児）等の日常生活用具の給付

ア　件数　　（単位：件）

区　　分	障がい者等	障がい児	小児慢性特定疾患児
特殊寝台	2	－	－
特殊マット	1	－	－
床ずれ防止用具	1	－	－
特殊尿器	1	－	－
入浴担架	－	－	－
体位変換器	1	－	－
移動用リフト	3	－	－
移動用リフトスリングシート	2	－	－
訓練いす（児のみ）	－	－	－
訓練用ベッド（児のみ）	－	－	－
入浴補助用具	6	－	－
腰掛便座	－	－	－
洗浄機能付便座	－	－	－
昇降機能付便座	－	－	－
歩行支援用具	3	－	－
Ｔ字状・棒状のつえ	2	－	－
頭部保護帽	2	1	－
火災警報器	－	－	－
自動消火器	－	－	－
電磁調理器	－	－	－
歩行時間延長信号機用小型送信機	－	－	－
聴覚障がい者用屋内信号装置	1	－	－
透析液加温器	－	－	－
ネブライザー	1	－	－
電気式たん吸引器	9	1	2

酸素ボンベ運搬車	－	－	－
盲人用体温計	2	－	－
盲人用体重計	1	－	－
人工鼻	－	－	9
携帯用会話補助装置	－	－	－
点字ディスプレイ	－	－	－
点字器	－	－	－
点字タイプライター	－	－	－
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	1	－	－
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	2	－	－
視覚障がい者用拡大読書器	4	－	－
盲人用時計	5	－	－
聴覚障がい者用通信装置	1	－	－
聴覚障がい者用情報受信装置	－	－	－
人工喉頭	2	－	－
埋込型用人工鼻	－	－	－
人工内耳外部装置	－	－	－
情報・通信支援用具	2	－	－
ストマ用装具	3,925	16	－
紙おむつ	581	273	－
収尿器	0	－	－
居宅生活動作補助用具	6	－	－
パルスオキシメーター	－	－	1
自家発電機又は外部バッテリー	2	－	－
車いす	－	－	－
クールベスト	－	－	－
紫外線カットクリーム	－	－	－
合計	4,569	292	12

イ　費用　　（単位:円）

区分	総額
障がい者等	47,604,326
障がい児	3,398,888
小児慢性特定疾患児	266,982

(3)　軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業

身体障害者手帳の交付の対象にならない軽度・中等度の難聴児の補聴器購入費等の一部を助成した。

ア　件数　（単位:件）

区分		交付	修理	合計
補聴器	軽度・中等度難聴用ポケット型	－	－	－
	軽度・中等度難聴用耳かけ型	1	8	9
	高度難聴用ポケット型	－	－	－
	高度難聴用耳掛け型	－	－	－
	重度難聴用ポケット型	－	－	－
	重度難聴用耳掛け型	－	－	－

イ　費用　（単位：円）

区分	総額		
		公費分	自己負担額分
軽度・中等度難聴児	355,331	236,884	118,447

※公費分の給付に加え、市単独の事業として自己負担額分についても助成を行った。

4　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付状況

(1)　件数　（単位:件）

区分	給付決定件数
音声・言語・そしゃく機能障がい	3
肢体不自由	－
心臓機能障がい	94
腎臓機能障がい	472
肝臓機能障がい	4
免疫機能障がい	29
合計	602

(2)　費用　（単位：円）

総額	国県負担金対象分	市単独助成分
151,788,092	151,405,430	382,662

5　身体障がい者の自立支援医療（育成医療）給付状況

(1)　件数　（単位:件）

区分	給付決定件数
視覚機能障がい	－

聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	7
肢体不自由	2
心臓機能障がい	－
小腸機能障がい	－
肝臓機能障がい	－
その他機能障がい	1
合計	10

(2) 費用 （単位：円）

総額	国県負担金対象分	市単独助成分
451,990	347,166	104,824

6 各種手当の状況

障がいに関係する手当

種別		受給者数（人）	支給額（円）
特定疾患者介護手当		1,591	54,027,000
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	110	36,477,920
	障がい児福祉手当	62	11,942,430
	福祉手当(経過的)	2	384,760
重度障がい児支援手当		143	4,374,000
特別児童扶養手当		287	県で支給

7 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区分		実施状況
交付者数		5,757人
	障がい者	770人
	高齢者	4,987人
交付枚数		133,752枚
利用枚数		73,275枚
利用率 （利用枚数/交付枚数）		54.8%
助成額		36,637,500円

8　身体障がい者福祉関係

障がい者の体力増進を図るため、次の事業を実施した。

(1)　障がい者軽スポーツ大会

・日程　12月7日（日）

障がい支援係

1　障がい者福祉関係

(1)　障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの利用状況

障害者自立支援給付費、地域生活支援事業により障がい福祉サービスを利用した障がい者の状況は次のとおりである。

ア　障害者自立支援給付費

サービスの種類		利用障がい者数(人)					給付額（円）
		身体	知的	精神	難病	計	
介護給付費	居宅介護	60	82	106	4	252	120,237,750
	行動援護	2	13	－	－	15	4,102,550
	同行援護	53	2	1	－	56	17,781,273
	短期入所	21	77	6	－	104	60,946,067
	重度訪問介護	8	－	－	－	8	35,200,687
	療養介護	23	3	－	－	26	88,561,150
	生活介護	133	342	41	1	517	1,443,114,863
	重度障害者等包括支援	－	－	－	－	－	－
	施設入所支援	58	123	7	－	188	371,004,607
	特定障害者特別給付費	84	332	165	2	583	60,522,522
	高額障害福祉サービス費	1	6	－	－	7	93,473
	新高額障害福祉サービス費	3	6	2	－	11	964,970
	計	446	986	328	7	1,767	2,202,529,912
訓練等給付費	共同生活援助	37	221	160	2	420	777,779,192
	自立訓練	－	2	11	－	13	17,186,605
	就労移行支援	7	5	17	－	29	34,597,919
	就労継続支援Ａ型	25	46	104	4	179	283,394,859
	就労継続支援Ｂ型	63	356	305	5	729	1,105,547,702
	就労定着支援	－	3	12	－	15	4,216,338
	就労選択支援	－	1	－	－	1	81,918
	自立生活援助	－	－	－	－	－	－
	計	132	634	609	11	1,386	2,222,804,533
相	計画相談支援	323	774	548	14	1,659	88,558,796

談支援給付費	地域移行支援	－	－	－	－	－	－
	地域定着支援	2	3	－	－	5	192,360
	計	325	777	548	14	1,664	88,751,156
合　　計		903	2,397	1,485	32	4,817	4,514,085,601

イ　地域生活支援事業

サービスの種類	利用障がい者数(人)					支出額(円)
	身体	知的	精神	難病	計	
成年後見制度利用支援事業	－	6	5	－	11	2,580,050
コミュニケーション支援事業	24	－	－	－	24	1,190,898
移動支援事業	31	62	39	3	135	10,363,214
訪問入浴サービス事業	3	－	－	－	3	1,757,800
更生訓練費及び就職支度金給付事業	－	－	－	－	－	－
日中一時支援事業	32	169	31	0	232	49,480,381
自動車改造費助成事業	3	－	－	－	3	300,000
自動車運転免許取得助成事業	－	－	－	－	－	－
合　　計	93	237	75	3	408	65,672,343

(2)　障がい支援区分審査会実施状況

障害者総合支援法に定める、介護給付費の支給に関する障がい支援区分の審査・判定及び市の障がい福祉サービス支給要否決定に当たって審査会委員が意見を述べることを目的として審査会が設置されており24回開催した。実施状況は次のとおりである。

障がい支援区分	身体		知的		精神		身体・知的		身体・精神		知的・精神	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比
1	1	1.7	6	3.2	5	3.7	－	－	－	－	－	－
2	10	16.7	41	21.8	60	44.1	－	－	1	25.0	4	33.3
3	23	38.3	34	18.1	44	32.3	3	9.1	1	25.0	3	25.0
4	7	11.7	30	15.9	20	14.7	2	6.1	－	－	2	16.7
5	8	13.3	22	11.7	5	3.7	8	24.2	1	25.0	2	16.7
6	11	18.3	55	29.3	2	1.5	20	60.6	1	25.0	1	8.3
計	60	100	188	100	136	100	33	100	4	100	12	100

障がい支援区分	難病		身体・難病		身体・知的・精神		合計	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比

1	－	－	－	－	－	－	12	2.7
2	2	66.7	－	－	－	－	118	26.6
3	1	33.3	2	28.6	－	－	111	25.0
4	－	－	－	－	－	－	61	13.7
5	－	－	－	－	－	－	46	10.4
6	－	－	5	71.4	1	100	96	21.6
計	3	100	7	100	1	100	444	100

2　障がい児福祉関係

(1)　児童福祉法に基づく障害児通所支援の利用状況

平成24年4月の児童福祉法の改正に伴い、障害児通所支援給付費により障害児通所支援を利用した障がい児の状況は次のとおりである。

・障害児通所給付費

サービスの種類	利用障がい児数(人)	支出額(円)
障害児相談支援	751	43,480,550
児童発達支援	309	314,513,192
医療型児童発達支援	－	－
居宅訪問型児童発達支援	－	－
放課後等デイサービス	433	630,143,138
保育所等訪問支援	93	4,248,313
高額障害児通所給付	7	109,948
合　計	1,593	992,495,141

(2)　障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの利用状況

障害者自立支援給付費、地域生活支援事業により障がい福祉サービスを利用した障がい児の状況は次のとおりである。

ア　障害者自立支援給付費

サービスの種類		利用障がい児数(人)	支出額(円)
介護給付費	居宅介護	3	－
	行動援護	－	－
	短期入所	9	－
	合　計	12	－

イ　地域生活支援事業

サービスの種類	利用障がい児数(人)	支出額(円)
コミュニケーション支援事業	－	－
移動支援事業	－	－

訪問入浴サービス事業	－	－
日中一時支援事業	98	9,030,484
合　計	98	9,030,484

3　地域活動支援センター事業

障害者総合支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創作的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために実施した。

・運営状況　（単位：人）

施　設　名	所　在　地	月平均通所者数	通所延べ人員
オープンハウスたんぽぽ	小平町6-11	14.2	2,169
さざなみの家	平柳町1-2-7	25.2	2,606
ふれ愛みゆき	宇都宮市海道町 79	1	101

4　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付状況)

区　分	交付者数（人）	比　率（%）
1　級	286	16.9
2　級	978	57.8
3　級	428	25.3
合　計	1,692	100.0

(2)　自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、2,735人が受給した。

障がい児者相談支援センター係

1　相談支援事業

福祉に関する必要な情報の提供・助言、福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行い、虐待の防止や早期発見、障がいのある方の権利擁護のために必要な援助を実施した。

(1)　相談支援専門員・保健師による精神保健福祉相談

ア　利用者数　（単位：人）

実人数	うち新規者の受付経路	
	医療機関	その他
133	2	38

イ　支援方法　（単位：件）

訪問	面接	電話・メール	合　計

272	194	1,073	1,539

(2)　相談支援専門員・保健師による福祉相談

ア　利用者数（障がい種別）　（単位：人）

	実人数	内訳（障がいが重複している場合は、それぞれに計上）						
		身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	その他
新規	57	4	0	4	32	1	1	15
継続	156	10	1	25	81	8	0	31
合計	213	14	1	29	113	9	1	46

※内13名は障がいが重複している。

イ　支援方法　（単位：件）

訪問	面接	同行支援	電話	メール	支援会議	関係機関	その他	合 計
522	207	125	1,373	47	31	1,315	3	3,623

ウ　支援内容　（単位：件）

福祉サービスの利用等	1,694	家計・経済	797
障がいや病状の理解	188	生活援助	60
健康・医療	819	就労	65
不安解消・情緒不安定	1,507	社会参加・余暇支援	49
保健・教育	36	権利擁護	83
家族関係・人間関係	551	その他	15
		合　計	5,864

2　くらしだいじネット

(1)　緊急時支援事業

市と市内障がい福祉サービス事業所等との連携により、携帯電話による常時の相談及び緊急時の対応（短期入所、居宅介護、駆けつけ応援）等の支援を行った。

ア　登録者数　69名（うち令和7年度 新規4名）

イ　相談件数　7件

ウ　支援件数　（単位：件）

支援件数	支援方法		
	短期入所	居宅介護	駆けつけ応援
7	6	－	1

(2)　一人暮らし体験事業

障がい者が親なき後も安心して自分らしく生活することができるよう、将来地域における自立生活を目指す障がい者が､体験施設において一人暮らしを体験することで、一人暮らしの課題把握や、障がい者及び家族の不安を整理し、障がい者の自立意欲の

促進を図った。

ア　委託先

・一人暮らし体験施設の提供および支援

社会福祉法人ブローニュの森　ゆっ蔵

・一人暮らし体験における家事援助

栃木市内の居宅介護事業所(6事業所)

イ　相談件数　13件

ウ　利用実人数(日数)　8人(51日間)

3　ひきこもり対策

ひきこもり状態の方を早期に適切な支援に結びつけるために、栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター（ポラリス☆とちぎ）の協力のもと、毎月第4水曜日にひきこもり個別相談会を実施したほか、アウトリーチ事業を行った。

また、ひきこもり等の問題を抱える家族の相互理解を目的とするひきこもり家族会を実施した。

(1)　ひきこもり個別相談会

ア　実施回数　12回　(4月23日、5月28日、6月25日、7月23日、8月27日、9月24日、10月22日、11月26日、12月24日、1月28日、2月25日、3月25日)

イ　参加人数　延べ35人(実人数14人)

(2)　アウトリーチ事業

ア　面接　0回(実人数0人)

イ　訪問　1回(実人数1人)

(3)　ひきこもり家族会

ア　開催日　2回　(7月16日、10月29日)

イ　参加者　4人

4　関係機関との連携・ネットワークづくり

(1)　相談支援ネットワーク定例会

障がい児者の相談支援に携わる関係者の資質の向上、関係機関の相互の連携強化、相談支援体制の充実強化を図るために研修会を開催した。

ア　対象者　市内事業所の相談支援専門員

イ　開催回数　6回(4月17日、6月26日、8月28日、10月30日、12月25日、2月19日)

ウ　参加者数　延べ170人

(2)　居宅介護研修会

複雑多様化する障がいや、家族への支援等に関する専門的知識を学ぶ機会を持つとともに、支援者間の連携強化を図るために研修会を開催した。

ア　対象者　市内の居宅介護事業所職員

イ　開催回数　1回（3月17日）

ウ　参加者数　8人

(3)　障がい児福祉サービス事業所連携会議

障がい児の支援に関する専門性の向上を図るとともに市内の児童を取りまく現状を共有し、支援者間の連携強化を図るために研修会を開催した。

ア　対象者　市内の障がい児福祉サービスを提供している事業所・相談支援事業所職員

イ　開催回数　1回（5月20日）

ウ　参加者数　38人

5　障がい者等自立支援協議会

(1)　障がい者等支援担当者会議

障がい児者及び難病への支援体制の整備を図るため、支援体制に関する課題の共有や、支援体制の整備、栃木市くらしだいじネットについて協議を行った。

ア　構成員　15名（メディカルソーシャルワーカー、相談支援専門員、障害福祉サービス事業所職員、教育関係者、保健師、当事者等）

イ　開催回数　2回（7月18日、2月9日）

(2)　医療的ケアワーキンググループ

医療的ケアを要する障がい児者が安心して地域で生活するにあたって、適切な支援体制の整備を図るため、医療的ケア児者の支援における課題やニーズの把握、支援に必要な施策等について協議を行った。また、医療的ケア児者の支援体制の整備について研修を開催した。

ア　構成員　18名（メディカルソーシャルワーカー、相談支援専門員、障害福祉サービス事業所職員、訪問看護師、教育関係者、保健師、当事者等）

イ　開催回数　3回（6月10日、9月2日、1月27日）

(3)　くらしまるごとワーキンググループ

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めるため、精神障がい者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるよう精神保健福祉体制について協議、検討を行った。

ア　構成員　16名（メディカルソーシャルワーカー、相談支援専門員、障害福祉サービス事業所職員、保健師、当事者等）

イ　開催回数　4回（5月14日、8月26日、12月10日、1月22日）

6　障がい者虐待関係

障がい者の権利擁護を図るため、障がい者虐待に対する相談受付及び被虐待者の保護や自立の支援、養護者に対する支援等の対応を行った。また、虐待の早期発見や防止に関する普及啓発のため研修会を行った。

(1)　障がい者虐待相談・対応状況

ア　障がい者虐待相談・対応件数

（単位：件）

	養護者によるもの	障がい者福祉施設従事者等によるもの	使用者によるもの	合計
相談・通報・届出受理件数	17	12	0	29
受理したケースの内虐待の判断にいたったケース	10	2	0	12

イ　虐待ケース会議開催回数17回

(2)　障がい者虐待防止研修会

ア　開催日　3月17日(火)

イ　対象者　障がい者福祉事業所職員(施設長及び管理者)

ウ　参加者数　40人

第３節　高齢介護課

〔総括概要〕

高齢者が住み慣れた地域でよりよく生活できるよう、高齢者福祉の充実と向上に努めた。

高齢福祉係では、高齢者の生きがいづくりを推進するため、健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成事業や敬老祝金支給、老人クラブ活動の支援などの事業を実施した。

また、緊急通報装置設置、高齢者ふれあい相談員などの安否確認を兼ねた事業や在宅高齢者短期入所、日常生活用具購入費助成、在宅ねたきり老人等介護手当支給、紙おむつ給付事業等、高齢者の在宅福祉事業を実施した。

更に、指定管理である老人福祉センターや渡良瀬の里においては、健康の増進等に関する事業を実施した。

介護保険係では、第９期介護保険事業計画を基に、要介護者などが、住み慣れた地域において継続して日常生活を続けられるよう、居宅サービス及び地域密着型サービスの充実を図り、介護給付費の支給事務や低所得者の負担軽減対策、利用者からの苦情処理及び地域密着型サービス事業所・居宅介護支援事業所の整備・指定・更新事務等を実施した。

更に、介護人材不足解消のため、介護人材の裾野拡大と専門性の向上を目的として生活サポーター(あったかいご員)養成講座を開催した。

介護認定係では、要介護（要支援）認定申請の受付、介護認定訪問調査、介護認定審査会事務等を実施し、適正・公正な要介護（要支援）認定を行った。

高齢福祉係

1　高齢者人口・生活態様別統計

(1)　高齢者人口（令和7年4月1日現在）

区分＼年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
総人口（人）	155,092	153,828	152,355
65歳以上人口（人）	50,156	50,239	50,046
高齢化率（%）	32.30	32.66	32.85

(2)　高齢者生活態様（5～7月　高齢者実態調査結果）

高齢者の生活実態を把握するとともに、緊急時の対応や見守り支援に繋げていくため、前年度中に70歳になった方や70歳以上のみの世帯で転入等の異動があった世帯を対象に、民生委員の協力を得て、高齢者実態調査を行った。

高齢者実態調査	世帯数(世帯)	人数(人)

70歳になった方で 一人暮らし世帯（独居世帯）	348	348
70歳になった方が属する 70歳以上の方のみが暮らす世帯（高齢者世帯）	292	594
合計	640	942

※70歳以上のみの世帯で転入等の異動があった世帯を含む。

2　敬老祝賀事業

9月1日(基準日)において本市に引き続き1年以上居住し、当該年度に85歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に対し、長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金及び記念品を贈呈した。

区　分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	1,379
100歳	100,000	81
101歳以上	記念品	85

3　敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

・補助金交付団体数・補助額

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
交付団体数（自治会等）	405	393	399
補助額（円）	15,299,000	15,285,000	15,301,000

4　栃木市シルバー作品展事業

高齢者の生きがいづくり、健康寿命の延伸を目的に、市内在住で65歳以上の方を対象とした作品展を開催した。（令和6年度より蔵の街シニアクラブ連合会と共同開催）

・出品数　　167作品

・開催日　　12月15日～18日　計4日間

・来場者数　359人

5　とちぎ蔵の街シニアクラブ活動支援事業

とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため支援を行った。

・クラブ数・会員数・補助額

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単位老人クラブ数（クラブ）	115	110	102
とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会会員数（人）	3,891	3,703	3,315

老人クラブ活動助成補助金（円）	5,443,000	5,088,000	4,276,000
とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会活動促進補助金（円）	7,321,000	8,621,000	8,621,000

6　高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談業務等を行った。

・相談員数・訪問世帯数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
相談員数（人）	992	1,013	1,039
訪問世帯数（世帯）	10,026	10,603	11,115

7　養護老人ホーム入所判定委員会

心身機能の減退等のために日常生活に支障がある高齢者又は生活に困窮している低所得の高齢者で、家族からの適切な介護を受けることが困難な方に対し、養護老人ホームへの入所措置等を適正に行うため、入所判定委員会を開催した。

・開催回数　1回

・判定件数　1件

8　養護老人ホームへの措置　（単位：人）

区　分	令和7年4月1日現在人数	令和7年度中		令和8年3月31日現在人数
		入所	退所	
養護老人ホーム	50	4	6	48

9　日常生活用具購入費助成等事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

・日常生活用具購入費助成状況　（単位：件）

品　目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
老人福祉車	161	179	131
小型暖房器具	13	14	15
電磁調理器	4	1	0
火災警報器	0	2	1
自動消火器	0	0	0
エアコン	21	12	19
補聴器	－	－	46

10　日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具のレン

タル料の一部を助成した。

・日常生活用具レンタル料助成申請状況　（単位：件）

品　　目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
電動小型吸引機	28	26	26
特殊寝台	7	12	6
じょく瘡予防用具	1	0	0

11　緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況　（単位：台）

既設置台数	設置台数	撤去台数	計
131	2	31	102

12　福祉電話貸与事業

おおむね65歳以上の低所得のひとり暮らし高齢者への通報用電話の貸与を継続した。

・設置状況　（単位:台）

既設置台数	撤去台数	計
3	－	3

13　在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数）　（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
上半期	844	748	741
下半期	832	701	722
合計	1,672	1,449	1,463

14　紙おむつ給付事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において常時紙おむつを使用している方に対し、紙おむつを給付（注文額のうち月額3,500円までを市が負担）した。

・給付認定者数　（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
認定者数	1,560	1,503	1,501

15　在宅高齢者短期入所事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

・利用者数・延べ宿泊数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数（人）	2	6	2
延べ宿泊数（泊）	43	97	17

16　健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成事業

高齢者の健康保持や健康寿命延伸を目的に、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧施術料助成券を交付し、施術料の一部について助成した。

・事業対象者　市内在住で満 75 歳以上の方

・助成券概要　2 か月に 1 枚の割合で交付（最大 6 枚綴）、1 枚につき 800 円の助成

・交付・利用実績

	令和 5 年度	令和6年度	令和7年度
交付数（冊）	488	526	447
利用枚数（枚）	1,136	1,130	1,143

17　老人福祉センター長寿園

(1)　利用状況

・年度別利用者数　(単位：人)

年度	令和 5 年度	令和6年度	令和7年度
長寿園利用者	23,767	28,394	29,413

※開館日数　296日　・1日平均入場者数　99.3人

※6月15日（日）(県民の日)※無料開放日：123人

※9月16日（月）(敬老の日)※無料開放日：103人　計226人人

・月別内訳

区分／月別	市内		市外	障がい者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60歳以上（人）	一般（人）	（人）	（人）	60歳以上（人）	一般（人）	市外（人）	（人）	（人）	（人）	（円）	（日）
4	563	47	2	436	1,094	27	7	172	－	2,384	172,900	25
5	503	43	5	339	1,093	22	7	194	－	2,232	191,900	23
6	500	32	3	462	1,175	30	8	223	－	2,593	160,700	26
7	478	26	3	368	1,133	25	6	275	－	2,357	157,100	25
8	523	29	5	477	1,099	19	5	348	－	2,703	163,400	26
9	497	28	7	469	1,060	17	6	246	－	2,465	158,500	24
10	506	28	5	401	1,246	10	6	280	－	2,500	194,900	25
11	543	46	3	394	1,150	15	11	257	－	2,448	166,600	24

12	632	38	4	369	1,263	11	6	265	－	2,608	197,900	26
1	565	26	3	337	1,173	13	7	218	－	2,376	165,300	23
2	564	22	1	328	1,064	18	7	670	－	2,693	161,900	23
3	495	32	5	299	982	12	6	200	－	2,054	139,400	26
計	6,369	397	46	5,420	13,532	219	82	3,348	－	29,413	2,030,500	296

(2) 事業実施状況

ア 機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロン、フットマッサージ機の活用を行った。

・ヘルストロン使用者 3,360 人、フットマッサージ器使用者 5,077 人

イ 健康相談及び衛生教育

高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導や健康づくり指導を行った。

・相　談　延べ人員　16 人

・実施回数　13 回

・実施日　　随時

ウ 包括的な相談

包括的な相談を実施し、高齢者の生活の困りごとに関する情報提供を行った。

・相　談　延べ人員　31 人

・実施回数　29 回

・実施日　　随時

エ 運動教室（6 教室）

・延べ人員　2,172 人

・実施回数　100 回

オ 文化教室(英会話教室)

・延べ人員　187 人

・実施回数　22 回

カ 教養講座・防災講座（3 講座）

・延べ人員　25 人

・実施回数　6 回

キ 自主事業

ヘルストロンの設置や、飲食等販売を行った。

・実施回数　1 回

ク その他事業(協働事業)

・手作り石鹸配付事業(シニアクラブ・高校生協働)15 人、モルック・熱中症予防教室(高校生協働)14 人、竹灯籠教室(高校生協働)7 人、絵馬教室(シニアクラブ協働)7 人、フット・ハンドマッサージ教室(実習生協働)172 人、合同カラオケ大会(福寿園協働)21 人、3 園合同福引(泉寿園、福寿園協働)108 人

ケ　高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、11のクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
脳トレ	15	24	238
英会話	10	12	111
囲碁	12	72	499
陶芸（4クラブ）	34	147	715
絵画	5	22	64
太極拳（2クラブ）	46	87	1,246
気功体操	14	24	286
短歌	9	11	76
絵手紙	4	28	93
合　　計	149	427	3,328

18　老人福祉センター泉寿園

(1)　利用状況

・年度別利用者数　(単位：人)

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
泉寿園利用者	19,454	20,891	21,018

・開館日数　295日

・1日平均入場者数　　70.2人

・月別内訳

区分／月別	市内		市外	障がい者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60歳以上	一般			60歳以上	一般	市外					
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(円)	(日)
4	407	5	7	201	896	26	－	84	－	1,626	127,800	23
5	394	7	6	194	1,059	31	－	99	－	1,790	139,600	25
6	571	16	4	187	968	24	－	113	－	1,883	166,500	26
7	407	4	3	187	1,021	24	－	152	－	1,798	143,400	25
8	405	7	2	215	980	26	－	190	－	1,825	150,500	26
9	550	9	－	213	893	25	－	100	－	1,790	140,800	24
10	423	14	－	216	981	39	－	99	－	1,772	131,100	25
11	407	15	－	204	931	23	－	235	－	1,815	137,700	24
12	476	12	6	222	970	24	－	140	－	1,850	148,800	26
1	386	12	1	224	895	11	－	81	－	1,610	121,300	23
2	348	8	1	178	839	12	－	59	－	1,445	112,700	22
3	431	10	1	240	944	8	－	180	－	1,814	141,400	26

計	5,205	119	31	2,481	11,377	273	－	1,532	－	21,018	1,661,600	295

※6 月 15 日　県民の日（無料開放）　利用者 122 名

※9 月 15 日　敬老の日（無料開放）　利用者 98 名

※11 月 12 日　事業開催のため休園日の開園

(2)　事業実施状況

ア　機能回復訓練

老化防止・健康の保持増進を目的に、トレーニングマシーン・ヘルストロン・マッサージチェア等及び認知症予防の健康マージャン室の活用を行った。

・ヘルストロン使用者 1,603 人、マッサージ器使用者 292 人、健康マージャン教室参加者 888 人

イ　健康相談及び衛生教育

医療従事者による各種測定や健康に関する相談会を定期的に開催した。また認知症・フレイル予防に関するイベント、講座を開催した。

(ｱ)　スポーツドクターの健康相談会

・延べ実施回数　6 回

・延べ人員　4 人

(ｲ)　まちの保健室

・延べ実施回数　6 回

・延べ人員　111 人

(ｳ)　いきいき元気教室

・延べ実施回数　7 回

・延べ人員　227 人

(ｴ)　医師による健康講話

・延べ実施回数　1 回

・延べ人員　35 人

(ｵ)　認知症普及啓発イベント

・延べ実施回数　1 回

・延べ人員　48 人

ウ　自主事業

健康マージャン室の無料貸出や各種体験会の開催、飲食販売を行った。

エ　講座開催

健康増進、教養向上を目的とした講座の開催を行った。

・開催講座数　11 講座

・延べ人員　2,835 人

オ　高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、11 のクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
囲碁・将棋・麻雀(9ｸﾗﾌﾞ)	106	425	3,226
ちぎり絵	7	14	75

俳句	3	12	36
合計	116	451	3,336

19　老人福祉センター福寿園

(1)　利用状況

・年度別利用者数　（単位：人）

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
福寿園利用者	13,245	14,261	15,283

・開館日数　296日

・1日平均入場者数　51.6人

・6月15日（日）（県民の日）※無料開放日：28人

・9月16日（火）（敬老の日）※無料開放日：44人

・10月2日（木）（ハッピーオレンジＤＡＹ）※無料開放日：50人　計122人

・月別内訳

区分／月別	市内		市外	障がい者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60歳以上	一般			60歳以上	一般	市外					
	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（円）	（日）
4	179	6	2	207	389	14	−	391	−	1,188	62,700	25
5	162	6	1	191	371	7	−	336	−	1,074	54,700	23
6	207	6	4	180	425	10	−	439	−	1,271	71,700	26
7	164	2	8	210	413	6	−	412	65	1,280	59,200	25
8	163	3	7	215	419	20	−	406	−	1,233	58,000	26
9	208	5	4	199	401	21	−	373	−	1,211	59,600	24
10	234	1	3	199	420	13	−	426	−	1,296	60,500	26
11	217	0	4	195	421	16	−	332	23	1,208	62,900	24
12	251	2	3	233	401	17	−	406	−	1,313	71,400	26
1	227	2	−	228	495	22	−	348	−	1,322	77,100	23
2	241	2	1	188	499	13	−	336	125	1,405	79,800	22
3	275	5	2	241	556	14	−	389	−	1,482	78,100	26
計	2,528	40	39	2,486	5,210	173	−	4,594	213	15,283	795,700	296

(2)　事業実施状況

ア　機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用を行った。

・ヘルストロン使用者 1,651人、マッサージ器使用 2,507人

イ　介護相談及び衛生教育

デイサービスの看護師による高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導などの衛生教育と健康づくり指導を行った。また、デイサービスの職員による介護関連の相談や情報提供を行った。

・延べ人員　15 人

・実施回数　随時

ウ　運動教室（7 教室）

・延べ人員　957 人

エ　自主事業

ヘルストロンの設置や、お菓子類等の販売を行った。

オ　その他事業

・ビンゴ大会 18 人、甘酒ふるまい 50 人、合同カラオケ大会(長寿園と合同)58 人、3 園合同福引(泉寿園、福寿園と合同)64 人、各種鑑賞会 5 回延べ人員 108 人、おれんじ喫茶ふくじゅ（認知症カフェ）開催協力 12 回延べ人員 248 人

カ　高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、1 つのクラブ活動を支援した。

講座名	会員数（人）	実施回数（回）	延べ人員（人）
大正琴	8	36	293

20　渡良瀬の里

利用者相互の交流と憩いの場として、福祉及び健康の増進を図り、入浴、グラウンドゴルフの利用できる施設として、指定管理者により運営しており利用状況等は次のとおりである。

(1)　利用状況

・年度別利用者数　（単位：人）

年　度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	22,349	24,040	37,873

・開館日数　307日

・1日平均入場者数　123.4人

・月別内訳

区分／月別	大人(一般) 65 歳以上（人）	大人(一般) 64 歳以下（人）	回数券利用（人）	子供（人）	障がい者（人）	グラウンドゴルフ（人）	その他（人）	計（人）	開館日数（日）
4	1,322	431	923	69	270	25	0	3,040	26
5	1,236	507	857	81	247	23	0	2,951	27
6	1,097	519	810	52	272	32	0	2,782	25
7	1,115	491	788	51	276	47	0	2,768	27
8	1,068	522	752	70	225	0	0	2,637	27
9	922	486	793	51	214	51	0	2,517	25
10	1,193	538	877	62	238	27	0	2,935	27
11	1,360	672	1,056	80	287	56	0	3,511	26

12	1,445	657	1,023	96	303	53	0	3,577	24
1	1,459	592	1,089	80	284	8	0	3,512	23
2	1,466	663	1,111	93	374	48	0	3,755	24
3	1,487	761	1,075	96	428	41	0	3,888	26
計	15,170	6,839	11,154	881	3,418	411	0	37,873	307

(2)　事業実施状況（指定管理者による自主事業）

・海鮮せとうち

・運動塾・・・・・毎月第2・第4　木・土

・健康相談・・・・毎月1回(第3土曜日)

21　公益社団法人栃木市シルバー人材センター

(1)　年齢別会員登録状況

性別 / 年齢別	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)
60歳未満	－	－	－	－
60 ～ 64	13	7	20	2.4
65 ～ 69	81	44	125	15.5
70 ～ 74	176	93	269	33.3
75 ～ 79	197	83	280	34.7
80歳以上	87	27	114	14.1
合　計	554	254	808	100.0
構成比（%）	68.6	31.4	100.0	
平均年齢(歳)	75.0	74.0	74.7	

(2)　職群別会員登録状況

性　別 / 職　群	男（人）	女（人）	計（人）	構成比（%）
植木手入れ、襖･障子･網戸の張替、大工、塗装、刃物研ぎ等	140	8	148	18.3
宛名書き、毛筆筆耕、一般事務等	18	34	52	6.4
施設管理、駐車(輪)場管理等	150	23	173	21.4
パンフレット配布、外交、調査等	10	4	14	1.7
除草、清掃、草刈り、屋内外の一般作業等	219	109	328	40.6
家事援助、調理補助、病院付き添い等	16	75	91	11.3
その他	1	1	2	0.3
合　計	554	254	808	100.0

(3)　発注者別実績

区　分	受　託	就業延べ	契　約　金　額（円）			
	件数(件)	人員(人)	配分金	材料費	事務費	合　計

公　　共	1,735	5,323	120,875,010	9,195,327	14,425,787	144,496,124
民　　間	2,386	6,301	145,358,048	7,966,324	17,213,421	170,537,793
一　　般	5,189	10,177	83,602,727	19,622,282	10,023,112	113,248,121
独　　自	26	121	425,244	7,779	907	433,930
合　　計	9,336	21,922	350,261,029	36,791,712	41,663,227	428,715,968

(4)　職群別実績

区　分	受　託	就業延べ	契　　約　　金　　額（円）			
	件数(件)	人員(人)	配分金	材料費	事務費	合　　計
技　　術	0	0	0	0	0	0
技　　能	2,033	4,683	42,460,028	13,139,594	5,027,548	60,627,170
事務整理	93	169	5,981,664	0	701,604	6,683,268
管　　理	564	2,210	72,610,555	711,844	8,692,135	82,014,534
折衝外交	100	730	3,005,462	233,560	286,791	3,525,813
一般作業	5,387	12,157	203,353,413	22,501,293	24,266,467	250,121,173
サービス	1,159	1,973	22,849,907	205,421	2,688,682	25,744,010
そ の 他	0	0	0	0	0	0
合　　計	9,336	21,922	350,261,029	36,791,712	41,663,227	428,715,968

(5)　労働者派遣事業

受注件数	就業延べ	契　　約　　金　　額（円）			派遣協力費(円)
	人員(人)	賃　金	手数料等	合　計	
23	6,087	30,785,182	9,360,612	40,145,794	3,226,059

(6)　職業紹介事業

常用求人数(人)	求職申込件数(件)	求人者手数料(円)
0	0	0

介護保険係

1　介護保険被保険者数

第 1 号被保険者（65 歳以上）　　49,874 人（令和 8 年 3 月 31 日現在）

2　保険給付状況

被保険者が介護保険のサービス提供を受けた場合、要介護・要支援区分及び利用者負担割合に応じ、サービスに要した費用のうち、9割、8割又は7割を保険者（市）が給付した。

(1)　居宅介護サービス給付費

要介護者が指定居宅サービス事業者の行う在宅サービスを受けた際に、介護保険法第41条に基づき、居宅介護サービス費を給付した。

・給付状況　　（単位：円）

サービスの種類	給　　付　　額
訪問介護	598,620,409
訪問入浴介護	50,161,950
訪問看護	270,988,368
訪問リハビリテーション	24,780,678
通所介護	1,833,347,128
通所リハビリテーション	789,474,616
福祉用具貸与	432,966,889
短期入所生活介護	667,195,309
短期入所療養介護（老健）	55,075,659
（療養型）短期入所療養介護	0
（短期利用型）特定施設入居者生活介護	297,126
居宅療養管理指導	111,784,663
特定施設入居者生活介護	528,666,865
特定診療費（短期・療養型分）	0
合　　計	5,363,359,660

(2)　介護予防サービス給付費

要支援者が指定介護予防サービス事業者の行う介護予防サービスを受けた際に、介護保険法第53条に基づき介護予防サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　　付　　額
介護予防訪問入浴介護	0
介護予防訪問看護	37,440,612
介護予防訪問リハビリテーション	7,163,317
介護予防通所リハビリテーション	140,070,658
介護予防福祉用具貸与	70,081,231
介護予防短期入所生活介護	4,578,374
介護予防短期入所療養介護（老健）	823,801
介護予防居宅療養管理指導	6,903,272
介護予防特定施設入居者生活介護	22,533,109
合　　計	289,594,374

(3)　地域密着型介護サービス給付費

要介護者が指定地域密着型サービス事業者の行う地域密着型サービスを受けた際に、介護保険法第42条の2に基づき、地域密着型介護サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　　付　　額
認知症対応型共同生活介護	729,930,667
（短期）認知症対応型共同生活介護	2,317,170

地域密着型介護老人福祉施設（特養）	1,012,185,185
認知症対応型通所介護	758,587
小規模多機能型居宅介護	156,430,940
小規模多機能型居宅介護（短期利用）	1,712,486
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	10,537,808
地域密着型通所介護	316,605,640
看護小規模多機能型居宅介護	127,543,732
看護小規模多機能型居宅介護（短期利用）	2,911,816
合　　計	2,360,934,031

(4)　地域密着型介護予防サービス給付費

要支援者が指定地域密着型予防サービス事業者の行う地域密着型予防サービスを受けた際に、介護保険法第54条の2に基づき、地域密着型介護予防サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
介護予防認知症対応型共同生活介護	9,912,936
介護予防認知症対応型共同生活介護（短期）	96,532
介護予防小規模多機能型居宅介護	2,931,713
介護予防小規模多機能型居宅介護（短期）	0
合　　計	12,941,181

(5)　施設介護サービス給付費

要介護者が介護保険施設に入所して施設サービスを受けた際に、介護保険法第48条に基づき、施設介護サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
介護老人福祉施設サービス	2,640,194,100
介護老人保健施設サービス	1,865,852,859
介護医療院サービス	90,508,422
特別診療費（介護医療院分）	4,456,152
合　　計	4,601,011,533

(6)　その他の給付費

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
居宅介護サービス計画費	668,929,645
介護予防サービス計画費	56,070,651
福祉用具購入費	17,617,193
介護予防福祉用具購入費	4,771,449
住宅改修費	28,028,076
介護予防住宅改修費	15,371,630

高額介護（介護予防）サービス費	330,860,834
高額医療合算介護（介護予防）サービス費	39,639,282
特定入所者介護（介護予防）サービス費	355,210,039
合　　計	1,516,498,799

3　生活サポーター(あったかいご員)養成講座修了者数　（単位：人）

	第1回	第２回	第3回
修了者数	11	5	9

4　居宅介護支援事業所及び地域密着型サービス事業所の指定等

市が指定する居宅介護支援事業所及び地域密着型サービス事業所の支援を基本とし、介護保険制度の理解促進､利用者保護及び保険給付の適正化を図ること等を目的として、事業所集団説明会を令和８年３月 27 日に書面開催した。

また、主に指定有効期間の満了が近い事業所に対し、運営指導を行った。

・運営指導の実施件数　（単位：事業所）

居宅介護支援	介護予防支援	地域密着型（介護予防）サービス
17	1	13

5　高齢者自立生活支援事業

高齢者等が地域において安定的かつ継続的に日常生活を営むことができるように、居住の場の確保に資する情報の提供及び日常生活上の生活支援相談等を行った｡本事業は、一般社団法人栃木市地域包括ケア推進ネットワークあったかネットとちぎに委託した。

・相談受付件数　（単位：件）

完結	継続中	合計
36	8	44

介護認定係

1　要介護認定の実施状況　（単位：件）

申請件数				調査件数	審査会回数	認定件数
新規	更新	変更	計			
2,407	3,277	1,498	7,182	6,732	296	6,710

2　要介護度分布状況　（単位：人）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合　計
847	1,252	1,905	1,455	1,124	1,138	733	8,454

第４節　地域包括ケア推進課

〔総括概要〕

地域包括ケア推進係では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の多様な主体が連携して、医療、介護、予防、住まい及び生活支援のサービスを切れ目なく一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護予防・日常生活支援総合事業、在宅医療・介護連携の推進、地域見守りネットワークの構築及び地域ケア会議の推進等の施策に取り組んだ。

また、認知症施策として、認知症高齢者等及びその家族が安心・安全に生活することのできる環境を整備するため、認知症高齢者等ＳＯＳネットワークを中心とした認知症にやさしいまちづくり事業を実施した。

さらに、地域共生社会の実現に向け、栃木市福祉総合相談支援センターを構成する相談機関等との連携により重層的支援体制整備事業を実施し、複合的な課題を抱える世帯等への相談支援や社会参加へ向けた支援を行った。

地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、介護予防事業・包括的支援事業等に取り組んだ。

地域包括ケア推進係

1　軽度生活援助員派遣事業

日常生活に支援が必要な、おおむね65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯で、かつ市民税非課税世帯の方に対し、軽易なサービスを提供する軽度生活援助員を派遣した。サービスの提供は公益社団法人栃木市シルバー人材センターに委託した。

・実利用者数　（単位：人）

	令和５年度	令和６年度	令和7年度
実利用者数	174	182	184

・延べ利用時間数　（単位：時間）

	令和５年度	令和6年度	令和7年度
家屋内の整頓、その他軽易な援助	1,433	1,305	1,293
草取り	2,834	2,657	2,507
草刈り	281	271	376
植木の剪定、大工・塗装	1,486	1,162	1,204
合計	6,034	5,395	5,380

2　生活支援サービス事業（配食）

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認を行った。

・対象者　　65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方。

・宅配利用者数・個数

	令和6年度	令和7年度
事業	生活支援サービス事業（配食サービス）	生活支援サービス事業（配食サービス）
合計利用者数（人）	926	1,081
合計個数（個）	103,306	112,695

・宅配業者　(有)ききょう、まごころ弁当栃木中央店、(株)トレンド、(株)シニアライフクリエイト、ワタミ(株)

※まごころ弁当鹿沼店（令和7年7月末まで）

3　地域安心安全事業

(1)　栃木市地域見守り事業に関する協定

高齢者の日常生活の異変等を発見した際に、市へ連絡できる体制を整えるため、栃木市内で営業活動を行う民間事業者を対象に「栃木市地域見守り事業に関する協定」を締結した。

・協定締結事業所・団体数　70事業所・団体

・協力営業所・店舗数　395営業所・店舗

(2)　緊急医療情報カプセル配付事業

65歳以上のひとり暮らし、高齢者のみの世帯等で希望された世帯に対し、緊急時に必要な医療情報を専用の容器（カプセル）に入れて冷蔵庫に保管しておき万が一の事態に備える緊急医療情報カプセルを配付した。

・累計配付数(R7配布数)　764個(137個)

4　成年後見制度利用促進事業

栃木市成年後見サポートセンター委託事業

高齢者が自分らしく生活するため、高齢者の人権や権利擁護に関する相談に応じる栃木市成年後見サポートセンターの運営を栃木市社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の普及や市民後見人の養成を行った。

(1)　権利擁護に関する相談業務

・相談件数　継続：57件　新規：92件

(2)　成年後見制度・市民後見人啓発事業講演会

市民の成年後見制度に対する正しい理解と適切な利用促進を図るため、成年後見制度・市民後見人啓発事業講演会を開催した。

・開催日　　10月18日（土）

・開催場所　岩舟文化会館（コスモスホール）

・参加者数　130人

(3)　市民後見人養成講座

身近な地域で暮らす市民が、障がいや認知症により判断能力が低下した方に寄り添った身上保護を行う、市民後見人の養成講座を開催した。

市民後見人養成講座フォローアップ研修

・開催日（受講者数）　　6月30日(23名)、　9月12日(18名)、
10月18日(17名)、R8 1月30日(17名)

5　介護予防・生活支援サービス事業

要支援1及び要支援2の認定者並びに事業対象者に対して、要介護状態等になることを予防するための訪問型・通所型サービスを実施した。

・実施状況　　（単位：円）

サービスの種類	事業費額
訪問介護相当サービス	46,440,049
緩和した基準による訪問型サービス	11,967,442
通所介護相当サービス	165,533,838
緩和した基準による通所型サービス	42,332,695
短期集中通所型サービス	2,452,800

併せて、介護予防・生活支援サービス事業所の指定等を行った。また、介護予防・生活支援サービスの適正利用に向けた事業所説明会を開催した。

6　はつらつセンター事業

高齢者が要介護状態になることを予防するため、委託を受けた団体（自治会等）が、地域住民の参加と協力のもとに、家に閉じこもりがちな高齢者に集まりの場を提供し、生きがいづくりや健康で元気に生活するための様々な活動を行う事業で、その運営費の一部を助成した。

・事業実施者　自治会等
・利用対象者　栃木市内に居住するおおむね65歳以上の方
・実施施設　　地域の公民館、集会場、広場等
・実施内容　　趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等

・実施状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施団体数（団体）	153	153	155
委託料（円）	18,186,169	19,728,000	19,066,000
実施回数（回）	19,000	18,832	19,259
参加延べ人数（人）	174,136	161,365	161,562

7　いきいきサロン事業

自宅に閉じこもりがちな高齢者の社会参加を促すことで介護状態になることを予防す

ることを目的に、個人宅等の身近な場所で、お茶やおしゃべりを楽しめる居場所を提供するサロン開設者に対し運営費等の一部を補助した。

・実施状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業実施箇所数（箇所）	159	165	172
補助金額（円）	3,987,617	4,179,889	4,295,000

8　栃木市地域支え合い活動の推進

ひとり暮らしの高齢者や障がい者などを日頃から地域の身近な方々で見守る「地域支え合い活動」を推進することを目的に、支え合い活動対象者へ名簿登載調査を行い、支え合い活動対象者名簿を作成し、自治会へ名簿を提供した。

・提供数　8団体（9自治会）

（西水代上第3自治会、箱森西部自治会、箱森町東部自治会、中央町二丁目自治会、新第1・2自治会、北武井自治会、蔵井自治会）

9　成年後見制度利用支援事業

(1)　審判の申立てに関する支援（市長申立）

認知症等により判断能力が十分でない高齢者について、老人福祉法第32条に基づき、後見開始の審判等の申立てを行った。

・申立件数　4件（後見等開始2件）

(2)　後見人等報酬助成

成年被後見人等の生活状況から､後見人等の業務に対する報酬が支払えない場合に、報酬の全部又は一部を助成した。

・助成額(件数)　1,140,000円(5件)

10　認知症総合支援事業

(1)　認知症ケアパス作成

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、市民向けに情報を整理し、認知症の進行や状態に合わせて受けられる、医療・介護・福祉サービス等を示した冊子「認知症あんしんガイド」を作成し、関係機関に配布した。

(2)　市民特別講座

認知症への理解を促進し、地域で見守り支え合う体制づくりの基礎とするため、市民公開講座を企画した。

・開催日　　9月23日（火・祝）

・開催場所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）小ホール

・参加者数　380名

(3)　安心見守りカプセル配付事業

栃木市内に住所があり、認知症の症状を有し徘徊又は徘徊の恐れのある方に対し、救急時に必要な情報を携帯できるネックレス型及びキーホルダー型の安心見守りカプ

セルを配付した。

・配付数　15セット（総配付数　268セット）

(4)　認知症カフェ登録事業

高齢化とともに認知症高齢者が増加している中、認知症になっても住み慣れた地域で自立した生活ができるよう仲間づくりや生きがい支援､介護する家族の負担軽減等、認知症の人とその家族を支える地域づくりを進めるため、認知症カフェを開設する団体を登録した。

・認知症カフェ登録団体　21団体　※休止含む

（各地域団体数　栃木：9　大平：4　藤岡：2　都賀：1　西方：2　岩舟：3）

11　在宅医療・介護連携推進事業

医療・介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らすことができるよう、在宅医療・介護の一体的な提供体制を構築するため、関係機関の連携に関する相談窓口を設置するとともに、在宅医療・介護連携推進会議において在宅主治医・在宅協力医体制の構築や在宅医療・介護の専門職の連携ルールを協議した。

また、市民への在宅医療・介護の普及啓発のための講演会や多職種の顔の見える関係を構築するための多職種研修会、事例検討・交流会の開催及び医療・介護・地域資源総合検索サイトの運用を行った。

(1)　在宅医療・介護連携推進会議

・開催回数　6回

・開催場所　下都賀郡市医師会　会議室

・委員数　　24名

（医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、社会福祉士、看護師、理学療法士、作業療法士、介護支援専門員、訪問介護員、管理栄養士、栃木市消防本部職員、地域包括支援センター職員）

・主な検討事項　在宅主治医・在宅協力医体制の構築

在宅医療・介護の専門職の連携ルールの検討

市民向け講演会（シンポジウム）及び多職種研修会の企画・開催

(2)　栃木市在宅医療・介護連携推進事業シンポジウム

市民への在宅医療・在宅介護の普及啓発を図るため、基調講演（第１部）及びパネルディスカッション（第２部）によるシンポジウムを開催した。

・開催日　　11月30日（日）

・テーマ　　「住み慣れた家や地域で暮らし続けるために

～人生会議（ＡＣＰ）とは？今から話し合ってみませんか～」

①基調講演

「人生会議（ＡＣＰ）とは？～身近な人と考えてみよう～」

②パネルディスカッション

「ＡＣＰって誰のため？～いつ、だれと、なにを話そう～」

・開催場所　　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）

・参加者数　　100人

(3)　在宅医療・介護連携のための多職種研修会（在宅医療・介護セミナー）

・開催日　　6月19日（木）

・開催テーマ　　それぞれの立場で考えるＡＣＰ

・開催場所　　下都賀郡市医師会　会議室（オンラインでも視聴可）

・参加・視聴者数　①117人

(4)　栃木市在宅医療・介護連携推進事業事例検討・交流会（あつまろ会）

・開催日　　①9月4日（木）　②2月19日(木)

・開催テーマ　　①ＡＣＰについて多職種で意見交換

②身寄りのない高齢者の支援について

・開催場所　　①とちぎメディカルセンターしもつが

②とちぎメディカルセンターしもつが

・参加者数　　①57人　②78人

(5)　医療・介護・地域資源総合検索サイト

市民が市内の医療機関・介護サービス事業所等の情報を手軽に検索できるよう、医療機関・介護サービス事業所等の情報を集約した医療・介護・地域資源総合検索サイトを構築し、情報更新を図るとともに、専門職専用の情報共有サイトを併設し、多職種間の連携強化を図った。

12　地域包括ケアシステム関連出前講座

栃木市全体での地域包括ケアシステムの構築を推進するため、市民を対象とした出前講座を実施し地域包括ケアシステムの普及啓発を図った。

・終活について　　開催回数：7回、参加者数：198人

・認知症になっても安心して暮らせるまちに　　開催回数：1回、参加者数：30人

13　多機関の協働による包括的支援体制構築事業

福祉ニーズの多様化や地域コミュニティーの希薄化が進む中で、複雑かつ複合的な課題を抱える世帯や制度の狭間の対象者に対し、横断的かつ包括的な相談支援体制を構築するとともに、既存の相談機関を活用した相談窓口の一体化（ワンストップ窓口）を図った。

(1)　栃木市福祉総合相談支援センターの設置（相談支援機関の連携強化）

＜構成相談機関＞

・地域包括支援センター（高齢者）

・福祉総務課（生活保護）

・障がい福祉課（障がい児者）

・障がい児者相談支援センター（障がい児者）

・高齢介護課（高齢者）

・健康増進課（成人）

・こども家庭センター（こども・保護者）

・子育て総務課（こども）

・地域子育て支援センター（こども）

・保育課（こども・保護者）
・学校教育課（こども・保護者）
・栃木市社会福祉協議会（地域福祉）
・とちぎ市くらしサポートセンター（生活困窮）
・成年後見サポートセンター（高齢者・障がい児者）

(2)　重層的支援会議の開催
・開催回数　6回（5月15日、7月17日、9月18日、11月20日、1月15日（書面）、3月19日）

14　生活支援体制整備事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、生活支援コーディネーターを配置し、地域住民やボランティア、NPO団体など様々な主体による多様な取組が利用できる地域づくりを推進した。

・生活支援コーディネーター配置人数
（第1層）1人（市内全域）
（第2層）8人（栃木地域　3人、大平地域・藤岡地域・都賀地域・西方地域・岩舟地域　各1人）

15　認知症にやさしいまちづくり事業

認知症の本人又はその家族が住み慣れた地域で安心・安全に生活することのできる環境を整備することを目的に、「認知症にやさしいまち・栃木市」の実現に向けた施策を実施した。

(1)　認知症高齢者等ＳＯＳネットワーク

認知症高齢者等が行方不明になった際に、市、警察、協力事業所、自治会、民生委員等登録協力機関に対し、システムを利用し、アプリ又はメールで捜査の協力を依頼した。

ア　使用システム　メール連絡網

イ　認知症高齢者等ＳＯＳネットワーク協力機関登録件数（単位：件）

登　　録	アプリ	メール	合計
栃木地域	126	38	164
大平地域	27	14	41
藤岡地域	22	5	27
都賀地域	19	7	26
西方地域	7	4	11
岩舟地域	27	5	32
合計	228	73	301

(2)　見守りシール

対象者の安否情報等をインターネット上で共有し、対象者の身元確認や家族への引渡しを円滑に行うため、ＱＲコードが印刷された見守りシールを交付した。

・見守りシール交付者数　（単位：人）

地域	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
R7 交付者数	20	3	1	0	0	5	29
交付者累計	97	38	9	9	1	19	173

※見守りシール活用による行方不明者の発見数：2 件

(3)　認知症高齢者等個人賠償責任保険

認知症高齢者等が日常生活における偶然の事故により法律上の損害賠償責任を負った場合に、これを補償する個人賠償責任保険に市が契約者となって加入した。

・個人賠償責任保険加入者数　（単位：人）

地域	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
R7 加入者数	13	2	1	0	0	3	19
現加入者数	49	10	5	1	1	12	78

※保険金の支払実績なし

16　地域包括ケア推進会議

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう保健、医療、介護サービス、福祉等の各分野の関係機関及び団体の代表者で構成する地域包括ケア推進会議を開催し、個別ケア会議により把握した地域課題への対応をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する協議検討を行った。

・開催回数　3 回（4 月 23 日、11 月 19 日、2 月 17 日）

栃木中央地域包括支援センター係　吹上地域包括支援センター係
国府地域包括支援センター係　大平地域包括支援センター係
藤岡地域包括支援センター係　都賀地域包括支援センター係
岩舟地域包括支援センター係

1　地域包括支援センター設置状況

栃木中央地域包括支援センター	栃木市万町 9-25	市役所 2 階
吹上地域包括支援センター	栃木市吹上町 782-1	吹上公民館内
＜皆川地区包括支援センター	栃木市皆川城内町 699	皆川公民館内＞
＜寺尾地区包括支援センター	栃木市梅沢町 1183	寺尾公民館内＞
国府地域包括支援センター	栃木市惣社町 228-1	国府公民館内
＜大宮地区包括支援センター	栃木市大宮町 422-1	大宮公民館内＞
大平地域包括支援センター	栃木市大平町富田 558	大平総合支所内
藤岡地域包括支援センター	栃木市藤岡町藤岡 1022-5	藤岡総合支所内
都賀地域包括支援センター	栃木市都賀町原宿 573	都賀総合支所内
＜西方地域包括支援センター	栃木市西方町本城 1	西方総合支所内＞
岩舟地域包括支援センター	栃木市岩舟町静 5133-1	岩舟総合支所内

※＜　＞は地域包括支援センターを補完するサブセンター。

2　一般介護予防事業

(1)　介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、生活機能の維持・向上を図るため介護予防に関する各事業を実施した。

ア　単発教室

（吹上）公民館との共催事業

（国府）シニアクラブ運動教室、公民館との共催事業

（藤岡）公民館との共催事業

（岩舟）熱中症予防

イ　複合型（運動・栄養・口腔機能向上・認知症予防）教室

（栃木中央）健康寿命のびのび教室

（吹上）元気アップ教室

（国府）いきいき元気教室

（都賀）さわやか健康教室

（岩舟）元気もりもり教室

ウ　脳活教室（認知症予防教室）

認知症を予防するための正しい知識を認識し、予防に有効とされる日常生活における取組ができるよう支援し、認知症への移行や要介護状態への進行防止を図ることを目的に教室を各地域包括支援センターにおいて開催した。内容はタブレットを使用した認知機能チェック(4会場)、認知症講話、運動、栄養、口腔の視点から指導し、参加者の行動変容を促すプログラムとした。

エ　健康ぷらす元気塾

いつまでも住み慣れた地域で自立した生活を送るため、自らが健康づくりに前向きに取り組めるよう、介護予防教室に参加経験のない方たちを対象に、北部と南部の２地域に分けて介護予防教室を実施した。

・教室実施状況

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
単発教室	0	0	8	139	6	111	0	0
複合型	4	79	6	101	7	227	0	0
脳活教室	5	91	8	78	3	30	9	146

	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
単発教室	1	21	0	0	1	13	16	284
複合型	0	0	3	68	4	80	24	555

脳活教室	7	112	3	48	4	30	39	535

	北部会場		南部会場	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
健康ぷらす元気塾	3	32	3	36

(2)　出前講座・その他

ア　出前講座

「今日からさっそく介護予防」「人生100年時代～認知症について理解し、備えよう～」「高齢者向け筋力運動　あったか体操」「認知症サポーター養成講座」の各地域包括支援センター共通メニューでの講座を実施した。

イ　その他

地区社協との連携事業や地域のニーズに応じた内容の講座を実施した。

ウ　教室実施状況

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
今日から早速介護予防	0	0	1	19	0	0	0	0
人生１００年時代	4	100	0	0	1	40	4	40
あったか体操	2	18	1	12	1	12	0	0
認知症サポーター養成講座	9	263	3	65	5	115	10	125
その他	5	65	0	0	2	180	7	335

	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
今日から早速介護予防	0	0	0	0	1	6	2	25
人生１００年時代	2	46	4	50	3	48	18	324
あったか体操	2	31	3	31	2	36	11	140
認知症サポーター養成講座	7	196	4	61	7	119	45	944
その他	0	0	0	0	2	102	16	682

(3)　地域介護予防活動支援事業

高齢者の身近な地域で住民が主体的に介護予防に取り組んでいけるよう、地域活動の支援を目的とした介護予防事業を実施した。

ア　単発教室

（吹上）自治会やはつらつセンターを対象に熱中症予防や健康に関する講座

（都賀）元気出前応援教室

イ　複合型教室

（国府）はつらつ元気教室

（大平）シニアのための介護予防教室、シニア健康応援講座

ウ　教室実施状況

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
単発教室	0	0	5	115	0	0	1	12
複合型	0	0	0	0	3	16	9	76

	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
単発教室	0	0	12	140	0	0	18	267
複合型	0	0	0	0	0	0	12	92

(4)　活動支援

ア　地区組織活動支援

（吹上）はつらつセンター、ふれあい相談員

（国府）いきいきサロンにじ色カフェ

（大平）栃木県シルバー大学校南校大平支部への高齢者保健事業紹介

（藤岡）はつらつセンター

（都賀）はつらつセンター・いきいきサロン

（岩舟）協議体活動支援（小野寺コスモスまつり、つながるフェスタ小野寺）

イ　自主グループ活動支援

（国府）いきいきフィットネス

（藤岡）チームはつらつ、なのはなクラブ

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
地区組織活動支援	0	0	2	33	20	451	1	17
自主グループ活動支援	0	0	0	0	3	50	0	0

	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
地区組織活動支援	12	176	25	255	2	646	62	1,578
自主グループ活動支援	4	57	0	0	0	0	7	107

ウ　ますます元気サポーター活動支援

地域において活動する介護予防ボランティア「ますます元気サポーター」を養成

するとともに、サポーターのスキルアップを目的に地区別での定例会や研修会、ボランティア同士の交流や情報交換を目的とした全体会を実施した。また、サポーターの地域活動として、介護予防教室や認知症カフェ等でのレクリエーション等の実施サポート､地域ケア会議や座談会での話し合いなどの機会の提供や調整を行った、

・サポーター数（実人数）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
サポーター数(人)	24	13	29	43	26	10	46	191

・サポーター活動状況

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数(回)	延人数(人)	回数(回)	延人数(人)	回数(回)	延人数(人)	回数(回)	延人数(人)
定例会・交流会	12	86	3	14	25	156	13	80
介護予防教室等地域活動	－	146	－	371	－	1196	－	915
	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数(回)	延人数(人)	回数(回)	延人数(人)	回数(回)	延人数(人)	回数(回)	延人数(人)
定例会・交流会	4	46	1	5	5	57	63	444
介護予防教室運営等地域活動	－	576	－	361	－	740	－	4,305

・ますます元気サポーター養成講座（参加状況）

	回数（回）	実人数（人）	延人数（人）
養成講座	3	36	104
全体会	1	－	41
スキルアップ講座	7	－	97

※全体会：作業療法士によるレクリエーションと軽体操の紹介、情報交換

エ　あったかとちぎ体操

地域住民が主体となって取り組むことができる「あったかとちぎ体操」の普及啓発を行うとともに、実施希望団体に対して継続して実施できるよう運営協力を行った。

・実施団体　107 団体

・団体活動実績

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数(回)	延人数(人)	回数(回)	延人数(人)	回数(回)	延人数(人)	回数(回)	延人数(人)
団体活動状況	596	6,505	177	1,543	234	2,075	1,092	11,058
包括支援状況	26	294	4	38	15	199	88	866

	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
団体活動状況	269	2,064	434	3,588	1,036	10,926	3,838	37,759
包括支援状況	36	347	25	207	52	610	246	2,561

3　介護予防ケアマネジメント事業

要支援者等が、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・要支援 1・2 の介護予防サービス計画作成状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
事業者委託	2,907	944	1,046	2,059	1,348	841	1,486	10,631
地域包括支援センター作成	244	0	58	91	162	37	72	664
計	3,151	944	1,104	2,150	1,510	878	1,558	11,295

・総合事業による介護予防ケアマネジメント作成状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
事業者委託	2,032	486	625	576	265	587	560	5,131
地域包括支援センター作成	511	30	52	83	30	64	6	776
計	2,543	516	677	659	295	651	566	5,907

・相談業務実施状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
申請時相談	163	18	83	134	106	311	281	1,096
契約等訪問	193	58	60	106	44	88	77	626
モニタリング訪問	391	16	68	140	61	88	49	813
ケアマネ支援	234	204	184	153	293	127	54	1,249

・サービス担当者会議実施状況　（単位：回）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加	564	150	192	243	56	157	117	1,479

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
福祉用具	27	0	1	0	0	2	0	30
住宅改修	55	9	8	2	10	5	3	92

4　総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
面接	863	300	391	647	380	450	329	3,360
電話	846	1,590	687	1,169	558	630	1,226	6,706
家庭訪問	730	232	306	327	149	212	210	2,166
メール	4	0	2	5	3	1	10	25
計	2,443	2,122	1,386	2,148	1,090	1,293	1,775	12,257

・認知症相談状況（総合相談事業からの再掲・延）　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
認知症に関すること	259	542	224	198	33	136	48	1,440

総合相談の内訳として、認知症に関する内容が一番多い。

5　権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行い、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況（総合相談事業からの再掲・延）　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
権利擁護に関すること	7	102	14	91	16	8	143	381
高齢者虐待に関すること	21	215	6	193	53	9	4	501
消費者被害に関すること	1	0	0	3	0	0	0	4
介護家族者離職防止に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0
安否確認・緊急対応	71	36	15	40	13	24	1	200
孤独死	5	7	0	1	0	2	1	16

・虐待ケース会議実施状況　（単位：件）

		栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
虐待ケース	実件数	14	5	2	11	8	2	1	43

会議	延件数	21	16	2	33	14	5	2	93
会議内訳 (複数項目有)	身体	9	4	1	17	5	2	1	39
	放棄	1	1	－	2	－	－	－	4
	心理	2	4	－	9	3	－	－	18
	経済	2	1	1	5	－	－	－	9
	その他	－	－	－	－	－	－	－	－

6　包括的継続的ケアマネジメント支援事業

(1)　地域における多職種の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

ア　介護支援専門員事例検討会開催状況（各地域包括支援センター）

イ　介護支援専門員研修交流会開催状況（各地域包括支援センター）

・関係機関との連携状況(相談支援)　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
ケアマネ支援	203	136	72	310	187	108	159	1,175
民生委員	40	45	50	44	14	67	41	301
関係機関	247	146	233	520	214	252	236	1,848

・ケアマネ事例検討会

	実施日	会場	参加数	内容
栃木中央	11月19日	栃木市役所	22	・「介護や医療を拒否する身寄りのない独居高齢者の支援」
吹上・都賀・国府合同	7月18日	都賀公民館	34	・事例検討会「複合的な問題を抱える高齢者の支援を学ぶ」
大平・藤岡・岩舟（南部地区合同）	2月5日	ふるさとふれあい館	30	・「生活拠点や家族関係に問題が生じている独居高齢者」についての事例検討会
計	3		86	

・ケアマネ研修交流会

	実施日	会場	参加数	内容
市全体	11月6日	都賀総合支所 多目的室	31	・「適切なケアマネジメント手法について」 ～基本的な考え方と支援の振り返り～

大平	6月4日	ふるさとふれあい館	39	・「生活保護制度」について ・グループワーク「生活保護利用者の支援で困っていること」
計	2		70	

・関係機関との連携状況(会議)　　(単位：回)

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
民生委員	7	7	10	5	2	2	1	34
関係機関	125	57	15	44	14	7	27	289
個別ケース検討会議	1	1	1	1	2	0	0	6
圏域別地域ケア会議	8	5	3	4	5	3	45	73

(2)　生活援助ケア会議

生活援助の回数の多いケアプランとして届出のあったものを、生活援助ケア会議に付議し、多職種で自立支援・重度化防止に向けた検討・助言等を行う。

会議開催回数　0回（対象となるケアプランがなかったため）

【構成員】

・助言者：薬剤師、リハビリ専門職、管理栄養士、栃木市社会福祉協議会

・事例提供者：居宅介護支援事業所介護支援専門員、介護サービス提供事業者

・参加者：介護保険係・地域包括支援センター担当者等

(3)　自立支援検討会議

高齢者の自立支援・介護予防の観点を踏まえて、要支援者等の生活行為の課題の解決等、状態の改善を導き自立を促すとともに生活の質(QOL)の向上を目指すため、多職種で検討・助言等を行った。

・実施状況

北部会場(栃木市役所)　12回(24件)

南部会場(大平総合支所)　7回(14件)

【構成員】

・助言者：医師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、リハビリ専門職、管理栄養士、栃木市社会福祉協議会

・事例提供者：居宅介護支援事業所介護支援専門員、地域包括支援センターケアプラン作成担当者、介護サービス提供事業者

・参加者：地域包括支援センター担当者等

7　認知症総合支援事業

(1)　認知症サポーター養成事業・認知症講演会

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター養成講座や認知症講演会を開催し、認知症となっても安心して暮

らせる地域づくりを推進した。

・実施状況（市全体）

対　象	栃木中央		吹上		国府		大平		藤岡		都賀		岩舟		計	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数
シニアクラブ自治会・サロン はつらつセンター	1	27	2	33	2	20	2	30	1	15	1	10	0	0	9	135
民生委員・児童委員 ふれあい相談員等	0	0	0	0	1	25	0	0	0	0	0	0	0	0	1	25
小学校	3	200	1	32	0	0	0	0	4	92	2	38	3	68	13	430
中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	1	81	0	0	0	0	1	81
高校・専門学校	0	0	0	0	1	41	0	0	0	0	0	0	0	0	1	41
施設・事業所関係	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	2	28	4	50
企業	2	8	0	0	0	0	2	45	0	0	0	0	0	0	4	53
一般市民	2	19	0	0	1	29	6	50	0	0	0	0	2	23	11	121
計	9	263	3	65	5	115	10	125	6	188	4	61	7	119	44	936

・市全体合同開催実施状況

対象	回数（回）	参加数（人）	内訳
市職員	1	26	認知症講演会

(2)　認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業

ア　認知症カフェ活動支援

認知症の方や家族、地域住民、医療、介護の専門職等、地域の誰もが参加できる集いの場で、認知症の方が地域住民と一緒に活動することができるよう、認知症カフェの立ち上げ支援や活動支援を行った・

・認知症カフェ数　21 団体　※休止含む

・認知症カフェ活動支援回数　142 回

イ　チームオレンジ活動支援

認知症の方や家族の支援ニーズを把握して必要な支援につなぐ、認知症サポーターを中心に活動するチームオレンジの立ち上げ支援や活動支援(チームオレンジスキルアップ講座含む）を行った。

・チームオレンジ数　6 団体

・チームオレンジ活動支援回数　106 回

ウ　とちぎオレンジまち活フェスタの開催

市民認知症サポーターが、認知症の人やその家族を地域で支える活動を PR し、参加者と共に認知症に関する正しい知識を学ぶ認知症普及啓発イベントを開催した。

・実施状況

開催日	会場	参加人数（人）	内容
11 月 20 日	藤岡保健福祉センター	118	【常設コーナー】カフェ、もの忘れ相談、健康チェック、福祉用具展示、販売、メッセージツリー 【イベントコーナー】ますます元気サポーターによるレク、五家英子とみんなで楽しく踊ろう会、映画「オレンジ・ランプ」の上映、チームオレンジ紹介映像の上映 【その他】認知症啓発ポスター掲示、キッチンカー
11 月 29 日	栃木第 6 地区コミュニティセンター	57	【常設コーナー】カフェ、認知症 VR 体験 、認知症カフェのパネル展示、軽食販売 【イベントコーナー】映画「オレンジ・ランプ」の上映、チームオレンジの活動紹介
12 月 2 日	岩舟文化会館	64	午前：チームオレンジ・認知症カフェ活動内容展示、福祉ちょこっと相談、物忘れ相談、ＶＲ認知症体験、物販。 午後：認知症セミナー（講師：大平下病院理事長関口秀文医師）チームオレンジ・認知症カフェ報告

8　認知症初期集中支援推進事業

(1)　活動実績

ア　初期集中支援事業普及啓発活動

・ちらしの作成

・市民・関係機関への周知（介護支援専門員会議、圏域型ケア会議、認知症イベント、脳活教室、認知症カフェ等）

イ　初期集中支援チーム対象者フォローチャート及び地域包括支援センターとの連携シート作成

ウ　支援修了者へのモニタリング及びモニタリング後の要支援者への再支援

エ　関係機関との連携（医療機関、介護保険事業所、介護支援専門員、担当者会議等）

オ　もの忘れ相談（本庁市民スペース、各種認知症イベント）

・回数：12 回・相談者：24 名

カ　サポート医との懇談会（1 回）

開催日	令和 8 年 2 月 26 日（木）

参加者数	27名 サポート医11名、医療機関関係者4名、認知症地域支援推進員4名、市職員及び地域包括支援センター職員8名
テーマ	「栃木市認知症初期集中支援推進事業に関する懇談会」

(2) 相談対応実績

認知症の人や疑いのある人及びその家族の初期支援を行う認知症初期集中支援専門員として保健師・看護師を配置し、支援対象者の状態に合わせた医療・介護サービスの適切な利用に向けて包括的・集中的に支援した。

・相談受理状況 (単位：件)

区分		小計	合計	支援継続	終了
初期集中支援事業	前年度からの継続	5	18	8	10
	新規(新規、再相談)	13			
認知症の相談	前年度からの継続	6	107	15	92
	新規継続	34			
	単発相談（再確認含）	67			
物忘れチェック（イベント）		28	28		
合計		153			

10 地域自立支援事業（24時間通報体制）

高齢者のいる世帯の家庭内事故等による通報に随時対応するため、地域包括支援センターの夜間等の対応について､市内の医療法人及び社会福祉法人に相談業務を委託した。

・実施状況 (単位：件)

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
委託先への相談件数	39	22	22	35	3	1	9	131
内、地域包括支援センター対応件数	6	11	6	29	2	1	1	56

11 母子保健事業（各総合支所の地域包括支援センターにて実施）

こども家庭センターが担当する母子保健事業への協力として、ベビーバスの貸出業務を行った。

第５節　健康増進課

〔総括概要〕

健康増進課の主な事業は、保健福祉センター及び健康福祉センターの管理運営、救急医療対策事業、予防接種事業、健康診査事業、健康づくり事業、がん患者支援事業である。

保健福祉センター及び健康福祉センターの管理運営では、栃木保健福祉センター及び藤岡保健福祉センターは直営で行い、また、大平健康福祉センター、岩舟健康福祉センター及び北部健康福祉センターは指定管理者に管理運営を委託し行った。

救急医療対策事業では、初期救急医療体制及び二次救急医療体制の確保に努めるとともに、休日歯科診療を実施した。また、市有施設等に配置した自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を適切に管理した。

予防接種事業では、感染症予防及びまん延防止のため、予防接種法に基づく定期予防接種の実施、任意予防接種の費用助成を行った。

帯状疱疹予防接種については、4月から定期予防接種B類疾病に位置づけられたことから、65歳の方及び経過措置の対象となる方について個別勧奨を行い、費用助成を実施した。また、令和6年度に50歳以上の方を対象に開始した任意予防接種の費用助成については、定期接種化に伴い令和7年3月31日で終了とした。

その他、スマートフォン等で接種間隔錯誤や接種忘れの防止が確認できる「栃木市すくすくナビ」アプリの提供を実施したほか、予診票の電子化に向けて、ヒトパピローマウイルス感染症を除く定期接種A類疾病及びおたふくかぜの予防接種について市内の27医療機関でデジタル予診票を導入し、利用者の利便性の向上に努めた。

がん検診等事業では、集団検診での基本健診と各種がん検診等実施のほか、個別検診では子宮がん、乳がん、歯周病検診及び口腔がん検診を実施した。

受診券等については、個人別にまとめた「けんしんパスポート」及び検診の実施方法を記載した「けんしんガイドブック」を各世帯に送付したほか、検診受診の意識を高めるため「健康マイレージ事業」を実施するなど、受診率向上に努めた。

健康づくり事業では、生活習慣病の発症・重症化予防のため、特定保健指導や運動、栄養、口腔等に関する相談及び健康教育事業の実施や、官民連携の取り組みとして、「クーリングシェルター」や「ちょこっと涼み処」の指定、「熱中症対策標語コンテスト」の実施等を行う熱中症対策や、健康づくりに関する情報提供や体力測定といった支援を通して職場内での健康づくりを促進するエクサビス登録事業所事業を実施した。

がん患者支援事業では、医療用ウィッグ、乳房補整具購入費の助成や、若年がん患者の在宅ターミナルケアにかかる費用を助成し、がん患者やその家族を支援した。

健康医療係

1　保健福祉センター利用状況（利用延べ人数）

(1)　栃木保健福祉センター　　（単位：人）

区　　分	大会議室	検診ホール	集会室	その他	合　計
利用者数	－	15,290	395	11,121	26,806

(2)　藤岡保健福祉センター　　（単位：人）

区　　分	会議室	検診ホール	調理実習室	合　計
利用者数	3,101	4,965	509	8,575

2　大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」

管理運営を、いすゞビルメンテナンス株式会社に委託(指定管理)し、実施した。

(1)　利用状況

・年度別利用者数　　（単位：人）

年　度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数(人)	92,555	130,733	153,313

・開館日数　　308日

・1日平均利用者数　498人

・月別内訳　　（単位：人）

区分／月別	風呂	トレーニングルーム	大会議室	小会議室	大・小会議室併用	研修室1	研修室2	多目的ホール	母子指導室	調理実習室	総合計	開館日数（日）
4	8,477	2,398	75	82	423	55	0	261	64	0	11,835	26
5	8,650	2,468	125	51	283	68	0	262	89	37	12,033	27
6	8,012	2,375	99	97	352	235	0	483	190	12	11,855	25
7	7,678	2,556	115	93	482	212	0	589	222	27	11,974	27
8	8,589	2,689	122	99	472	205	0	536	234	10	12,956	27
9	7,933	2,644	151	118	534	216	38	599	298	27	12,558	25
10	8,853	2,631	95	138	529	257	0	849	297	51	13,700	27
11	9,453	2,594	168	120	602	128	50	644	165	10	13,934	26
12	8,521	2,393	56	152	478	51	0	667	196	32	12,546	24
1	8,472	2,428	76	146	571	266	82	387	239	25	12,692	24
2	9,104	2,518	135	165	349	137	44	476	127	48	13,103	24
3	10,094	2,779	121	91	295	106	0	530	74	37	14,127	26
合計	103,836	30,473	1,338	1,352	5,370	1,936	214	6,283	2,195	316	153,313	308

(2)　事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア　はじめてのヨガ

開催回数　　4教室(40回)

参加延べ人数　　54人

イ　ZEROエアロ

開催回数　　2教室(12回)

参加延べ人数　　10人

ウ　欲張りフィットネス

開催回数　　3教室(18回)

参加延べ人数　　53人

3　CITY GYM & SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）

管理運営を、宮ビルサービス株式会社・株式会社日本理化シェアードソリューションズ共同事業体に委託(指定管理)し、実施した。

(1)　利用状況

・年度別利用者数　　（単位：人）

年　度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	70,945	76,815	83,181

・開館日数　　307日

・１日平均利用者数　　271人

・月別内訳　　（単位：人）

区分／月別	風呂	トレーニングルーム	第1第2会議室	検診室	ボランティア室	親子室	調理実習室	健康相談室	生活相談室	総合計	開館日数（日）
4	4,315	1,109	223	324	5	30	25	0	0	6,031	25
5	4,427	1,210	97	163	3	48	67	0	0	6,015	27
6	4,336	1,170	370	715	3	61	20	0	0	6,675	26
7	4,065	1,135	889	884	0	146	51	0	7	7,177	25
8	4,558	1,192	517	606	0	78	45	0	13	7,009	27
9	4,428	1,221	460	739	0	78	50	0	0	6,976	26
10	4,431	1,367	685	738	0	69	22	0	0	7,312	26
11	4,732	1,189	396	1,267	7	66	29	0	0	7,686	26
12	4,807	1,151	416	576	0	31	85	0	0	7,066	25
1	5,014	1,061	553	399	0	42	43	0	0	7,112	24
2	4,927	1,141	573	179	0	84	6	0	0	6,910	24
3	4,968	1,248	147	752	14	76	7	0	0	7,212	26
合計	55,008	14,194	5,326	7,342	32	809	450	0	20	83,181	307

(2)　事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア　ヨガ教室（体を鍛えながら、楽しく運動をするヨガ教室）

開催回数　　35回

参加延べ人数　650人

イ　カイロプラクティック体験施術会

開催回数　　23回

参加延べ人数　295 人

ウ　ネイル・フェイシャル施術

開催回数　　4 回

参加延べ人数　9 人

エ　フットケア体験会　　6 回

参加延べ人数　　11 人

オ　カラオケ大会

開催回数　　6 回

参加延べ人数　60 人

カ　歌謡ショー（地元の歌手を中心としたショー）

開催回数　　30 回

参加延べ人数　2,250 人

4　北部健康福祉センター「ゆったり～な」

管理運営を、株式会社フクシ・エンタープライズに委託(指定管理)し、実施した。

(1)　利用状況

・年度別利用者数　　（単位：人）

年　度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	38,095	47,994	57,199

・開館日数　　305日

・1 日平均利用者数　188 人

・月別内訳　　（単位：人）

区分／月別	風呂	トレーニングルーム	歩行用プール	会議室	多目的ホール	相談室	和室	調理実習室	プレイルーム	総合計	開館日数（日）
4	427	1,989	1,330	30	86	0	107	0	115	4,084	26
5	544	1,958	1,224	0	177	0	110	0	255	4,268	26
6	496	1,816	1,564	44	618	0	159	47	281	5,025	26
7	361	1,830	1,682	42	301	0	237	64	362	4,879	26
8	417	1,865	1,690	162	630	67	287	165	359	5,642	27
9	497	1,763	1,486	80	345	50	132	0	285	4,638	25

10	421	1,987	1,490	106	299	50	126	0	214	4,693	26
11	508	1,866	1,388	83	249	100	140	39	290	4,663	25
12	595	1,796	1,351	40	409	14	115	0	251	4,571	24
1	615	1,819	1,349	41	290	25	84	28	242	4,493	23
2	684	2,026	1,373	0	139	0	91	47	233	4,593	24
3	784	2,293	1,628	49	375	0	176	0	345	5,650	27
合計	6,349	23,008	17,555	677	3,918	306	1,764	390	3,232	57,199	305

※風呂の利用者数は、単独利用者数を計上。トレーニングルーム及び歩行用プール利用者は風呂を無料で利用可としている。

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア 有料教室

開催回数　398回

参加延べ人数　3,230人

イ 無料教室

トレーニングルーム・歩行用プール利用者が施設使用料のみで参加できる教室

開催回数　63回

参加延べ人数　595人

ウ イベント「Link」（関連施設と連携して「世代間交流」を目的とした独自イベント）

開催回数　4回

参加延べ人数　492人

5 献血推進事業

血液製剤の安定供給確保のため、献血事業を行った。

・場所　栃木市役所本庁舎正庁

・採血事業者　栃木県赤十字血液センター

実施日数（日）	受付（人）	200ml献血（人）	400ml献血（人）	献血者計（人）	不適格者（人）
6月20日	112	3	100	103	9
10月24日	90	3	80	83	7
2月20日	97	3	94	97	0
3	299	9	274	283	16

6 とちぎメディカルセンター運転資金貸付事業

・貸付名称　とちぎメディカルセンター運転資金貸付金

・用　　途　とちぎメディカルセンターが開設するしもつがの運営に要する運転資金

・貸付金額　5億円

・貸付期間　4月1日から3月31日

7　救急医療対策事業

(1)　初期救急医療

栃木地区急患センター

・管理運営　一般社団法人 下都賀郡市医師会（指定管理者）

ア　夜間、休日診療

・診療時間　平日（月曜日～土曜日）……内　科　午後7時～午後10時

休日（日曜日・祝日・年末年始）…内　科　午前9時～午後 9時

外　科　午前9時～午後 5時

診療日数（日）			延べ患者数（人）	うち小児患者数（人）
平日	休日	合計		
293	72	365	3,783	491

イ　小児救急診療

・診療時間　休日（日曜日・祝日・年末年始）…小児科　午後6時～午後 9時

診療日数（日）	延べ患者数（人）
72	905

(2)　二次救急医療

ア　病院群輪番制病院運営等補助事業

夜間及び休日において、入院治療を必要とする救急患者の医療を確保するため、栃木医療圏内で体制整備を図り、病院群輪番制に参加する2病院（とちぎメディカルセンターしもつが、獨協医科大学病院）に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

病院群輪番制病院	当番日数（日）		延べ患者数（人）
	夜間	休日	
とちぎメディカルセンターしもつが	242	51	4,229
獨協医科大学病院	123	22	2,790
合　計	365	73	7,019

栃木医療圏における輪番病院以外の救急告示病院（藤沼医院、多島外科胃腸科、とちぎメディカルセンターとちのき）に対し、二次救急の充実・強化を図るため、救急車受入件数に応じ補助金を交付した。

輪番病院以外の救急告示病院	受入件数（件）
藤沼医院	160
とちぎメディカルセンターとちのき	76
多島外科胃腸科	9
合　計	245

なお、西方地域は鹿沼医療圏であるため、鹿沼市が鹿沼医療圏において病院群輪番制に参加する3病院（上都賀総合病院、御殿山病院、西方病院）に対し、その運営を支援するため同事業補助金を交付したことから鹿沼市へ負担金を支出した。

・負担金額　4,240,830円

イ　小児二次救急医療

夜間及び休日において、入院治療を必要とする小児の救急患者の医療を確保するため、栃木医療圏と鹿沼医療圏とで体制整備を図り、小児二次救急医療機関に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

小児二次救急医療機関	当番日数（日）		延べ患者数（人）
	夜間	休日	
獨協医科大学病院	365	73	1,173

8　休日歯科診療事業

ゴールデンウィークやお盆、年末年始の歯科医院が休診となる長期休暇中でも、歯科救急患者が診療を受けることができるよう、休日歯科診療を実施した。

・実施体制　一般社団法人 下都賀歯科医師会による市内歯科医院の輪番制

・診療時間　午前9時～正午、午後1時～午後3時

実施期間（日数）		受診者数（人）
ＧＷ	5月3日～6日（4日間）	19
お盆	8月13日～15日（3日間）	18
年末年始	12月30日～1月4日（6日間）	55
合　計	（13日間）	92

9　自動体外式除細動器（ＡＥＤ）整備・貸出事業

市内の公共施設及びコンビニエンスストアに設置しているＡＥＤを適切に管理した。

・公共施設　109台（貸出用6台・広告付き7台含む）

広告付きＡＥＤ設置箇所　栃木市役所本庁舎、大平・藤岡・西方・岩舟総合支所、栃木保健福祉センター、栃木図書館

・コンビニエンスストア　14台

設置箇所　セブンイレブン　栃木平井町店、栃木大森町店、栃木泉川町店、栃木大塚町店、大平西野田店、藤岡町藤岡店、都賀大柿店、栃木都賀合戦場店、西方バイパス店、岩舟静和店

ファミリーマート　栃木沼和田店、栃木大橋店、栃木尻内店、栃木大皆川店

市内で開催される各種行事において、参加者が心肺停止状態に陥った際の救急救命活動に備えるため、主催する団体へ自動体外式除細動器（ＡＥＤ）の貸出しを行った。

・貸出申請件数　24件

10　地域医療対策基金積立事業　（単位：円）

令和6年度末現在高	積立金額	繰出金額	令和7年度末現在高
20,365,296	0	0	20,365,296

11　骨髄移植ドナー支援事業

骨髄又は末梢血管細胞を提供した方（ドナー）の負担を軽減し、骨髄移植の推進及びドナー登録者の増加を図るため、ドナーとその方の勤務する事業所に対し、助成金を交付した。

・交付実績

区分	件数（件）	助成金額（円）
ドナー	2	400,000
事業所	0	0
合　計	2	400,000

感染症対策係

1　予防接種事業

(1)　定期接種

ア　ロタウイルス感染症

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

(ｱ)　1価ワクチン

・対　　象　生後6週から生後24週までの間にある者

・回　　数　4週間以上の間隔をおいて2回

(ｲ)　5価ワクチン

・対　　象　生後6週から生後32週までの間にある者

・回　　数　4週間以上の間隔をおいて3回

・接種状況

（単位：人）

		勧奨対象者数	被接種者数
1価	1回目	621	586
	2回目		594
5価	1回目		23
	2回目		21
	3回目		25

・接 種 率　1回目　98.1%

2回目　99.0%

イ　小児の肺炎球菌感染症

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後2月から生後60月に至るまでの間にある者

・回　　数　（開始月齢により異なる。）

生後 2月から 7月に至るまで：4回（初回3回、追加1回）

生後 7月から12月に至るまで：3回（初回2回、追加1回）
生後12月から24月に至るまで：2回
生後24月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
初回 1回目	621	614	98.9
初回 2回目		627	101.0
初回 3回目		652	105.0
追加	649	637	98.2

ウ　B型肝炎

・実施期間　通年
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　1歳に至るまでの間にある者
・回　　数　3回
・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1回目	621	615	99.0
2回目		623	100.3
3回目		605	97.4

エ　五種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ）

・実施期間　通年
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　生後 2 月から生後 90 月に至るまでの間にある者
・回　　数　1 期初回　20 日以上の間隔で 3 回
　　1 期追加　1 期初回終了後、約 6 か月～1 年半経過した時期に 1 回
・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1期初回 1回目	621	618	99.5
1期初回 2回目		624	100.5
1期初回 3回目		649	104.5
1期追加		623	100.3

オ　四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）

・実施期間　通年
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　生後2月から生後90月に至るまでの間にある者
・回　　数　1期初回　20日以上の間隔で3回
　　1期追加　1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回
・接種状況

	被接種者数（人）
1期初回 1回目	0
1期初回 2回目	0
1期初回 3回目	3
1期追加	242

※三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）接種状況　5人

カ　ＢＣＧ（結核）

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　1歳に至るまでの間にある者

・回　　数　1回

・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
621	642	103.4

キ　二種混合（ジフテリア・破傷風）

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　11歳以上13歳未満の者

・回　　数　1回

・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1,215	964	79.3

ク　ヒブ感染症

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後2月から生後60月に至るまでの間にある者

・回　　数　（開始月齢により異なる。）

生後 2月から 7月に至るまで：4回（初回3回、追加1回）

生後 7月から12月に至るまで：3回（初回2回、追加1回）

生後12月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	被接種者数（人）
初回 1回目	1
初回 2回目	0
初回 3回目	1
追加	64

ケ　急性灰白髄炎（ポリオ）

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後2月から生後90月に至るまでの間の、ポリオワクチン接種の必要回数（4回）を終了していない者
（生ポリオ2回終了した者は除く）
・回　　数　1期初回　20日以上の間隔をおいて3回
1期追加　1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回
・ポリオは四種混合及び五種混合に含まれているため、接種が必要となる場合は、三種混合を受けていた場合のみ
・接種状況　4名

コ　麻しん・風しん混合（MR）

(ｱ)　1期

・実施期間　通年
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　①生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
②令和6年度内に生後24月に達する、又は達した者であって、MRワクチンの偏在等が生じたことを理由にワクチンの接種ができなかった者
・回　　数　1回
・接種状況

a　対象者中①に該当する者

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
649	662	102.0

b　対象者中②に該当する者

被接種者数（人）
8

(ｲ)　2期

・実施期間　通年
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　①5歳～7歳未満の者で、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者（幼稚園・保育園等の年長児相当）
②令和6年度における第2期の対象者であってMRワクチンの偏在等が生じたことを理由にワクチンの接種ができなかった者
・回　　数　1回
・接種状況

a　対象者中①に該当する者

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
958	856	89.4

b　対象者中②に該当する者

被接種者数（人）

13

サ　水痘

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後12月から生後36月に至るまでの間にある者

・回　　数　3月以上の間隔をおいて2回

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率(%)
1回目	649	631	97.2
2回目		623	96.0

シ　日本脳炎

(ｱ)　1期初回

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後6月から生後90月に至るまでの間にある者及び予防接種法で定める特例対象者

・回　　数　6日以上の間隔で2回

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率(%)
1回目	789	758	96.1
2回目		781	99.0

(ｲ)　1期追加

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　1期初回接種終了後おおむね1年経過した生後90月未満の者及び予防接種法で定める特例対象者

・回　　数　1回

・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
789	746	94.6

(ｳ)　2期

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　9歳以上13歳未満の者及び予防接種法で定める特例対象者で、1期接種3回を終了している20歳未満の者

・回　　数　1回

・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）

1,220	1,041	85.3

ス　ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）

(ｱ)　定期接種

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子

・回　　数　3回（9価1回目の接種を15歳未満で受ける場合は2回）

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1回目	2,629	327	12.4
2回目		353	13.4
3回目		126	4.8

(ｲ)　経過措置

・実施期間　通年（令和8年3月31日まで）

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれの女性で、令和4年4月1日から令和7年3月31日の間にヒトパピローマウイルス感染症予防接種を1回以上接種している者

・回　　数　1回又は2回

・接種状況

	被接種者数（人）
2回目	160
3回目	300

セ　風しん（第5期）

・実施期間　通年

・接種方法　医療機関で個別実施

・対　　象　昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性であって、令和6年度末までに抗体検査を実施した結果、風しんの抗体が不十分な方であってMRワクチンの偏在等が生じたことを理由にワクチンの接種ができなかった者

・回　　数　生涯1回

・接種状況

被接種者数（人）
7

ソ　高齢者の肺炎球菌感染症

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　①65歳の希望者

②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自

己の身辺の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいを有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいを有する者で、接種を希望する者
※過去に接種歴のある者は対象外

・回　　数　生涯1回
・助 成 額　5,700円
・接種状況

(ｱ)　対象者中①に該当する者

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1,884	611	32.4

(ｲ)　対象者中②に該当する者

被接種者数（人）
0

タ　帯状疱疹

・実施期間　通年
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　①年度末年齢65、70、75、80、85、90、95、100歳及び101歳以上の希望者
②60歳から65歳未満の者であって、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいを有する者で、接種を希望する者
・回　　数　生涯1回

(ｱ)　生ワクチン

・接種回数　1回
・助 成 額　5,700円

(ｲ)　不活化ワクチン

・接種回数　2回
・助 成 額　15,000円
・接種状況

a　対象者中①に該当する者

		勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
生ワクチン		10,401	498	4.8
不活化ワクチン	1回目		2,659	25.6
	2回目		2,555	24.6

b　対象者中②に該当する者

被接種者数（人）
0

チ　高齢者インフルエンザ

・実施期間　10月1日～3月31日

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　①65歳以上の希望者

②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身辺の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいを有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいを有する者で、接種を希望する者

・回　　数　年度内1回

・助 成 額　3,500円

・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
49,936	28,194	56.5

（対象者数は65歳以上の人数）

ツ　新型コロナウイルス感染症

・実施期間　10月1日～3月31日

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　①65歳以上の希望者

②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身辺の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいを有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいを有する者で、接種を希望する者

・回　　数　年度内1回

・助 成 額　12,100円

・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
49,936	5,341	10.7

（対象者数は65歳以上の人数）

(2)　任意接種

ア　小児インフルエンザ

・実施期間　10月1日～2月28日

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　①生後6月から小学校就学前までの希望者

②小学1年生以上中学3年生までの希望者

・回　　数　①生後6月から小学校就学前まで　2回

②小学1年生以上中学3年生まで　1回

・助 成 額　1回あたり2,500円

・延べ被接種者数　7,467人

イ　おたふくかぜ

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後12月から小学校就学前の小児の希望者

・回　　数　生涯2回

・助 成 額　1回あたり　3,600円

・延べ被接種者数　947人

(3)　風しん予防対策事業

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　次のいずれかに該当する方

①妊娠を希望している女性およびその配偶者

②妊娠している女性の配偶者

ア　風しん抗体検査

・回　　数　1回

・助 成 額　2,000円

・受診者数　12人

イ　風しん予防接種

・回　　数　1回

・助 成 額　3,000円

・被接種者数　108人

ウ　麻しん風しん混合予防接種

・回　　数　1回

・助 成 額　5,000円

・被接種者数　61人

2　すくすくナビ事業

・登録者数　7,802人

3　新型インフルエンザ等対策事業

新型インフルエンザ等が大流行した場合に必要となる備蓄品の管理及び補充

健康づくり係

1　健康増進計画推進事業

(1)　重点領域の推進

6つの重点領域（①栄養・食生活②身体活動・運動③喫煙④こころの健康⑤歯と口の健康⑥健康診査・検診）ごとに、ライフステージ別、関係機関別に取組を行い、関係機関と連携し健康づくりを推進した。

ア　関係機関

健康増進計画推進懇談会参加者（保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等）及び庁内ワーキング構成員

イ　主な取組

・糖尿病等の生活習慣病予防に関する出前講座の実施、普及啓発
・野菜摂取・減塩促進のための動画を配信
・季節毎に野菜を使ったレシピを作成し、市内直売所等に設置
・食生活改善推進員協議会活動の推進
・適正飲酒に関する普及啓発
・とちぎハート体操、ラジオ体操の普及啓発
・ちょこっとウォーク～スニーカービズ～の実施
・市内のとちぎ健康づくりロードの周知
・妊婦や未成年に対する受動喫煙をなくすための普及啓発
・禁煙に関する普及啓発及び禁煙相談機関の周知
・こころの健康相談、こころの健康サポーター養成研修会等の実施
・こころの相談窓口一覧を封入したポケットティッシュの作成、配布・設置
・歯周病予防の動画の普及啓発
・市内中学校での口腔ケア指導
・健康診査・検診の実施及び受診勧奨

ウ　健康増進計画策定懇談会、庁内ワーキング会議

現行計画の計画期間が、令和7年度をもって終了となることから、次期計画の策定に向けて、健康増進計画策定懇談会および庁内ワーキング構成員から意見をいただいた。

・実施内容

月日	参加数(人)	内容
第1回 7月17日	26	(ｱ)第2次栃木市健康増進計画の素案について
第2回 1月29日	38	(ｱ)（仮）栃木市健康計画21の素案について (ｲ)睡眠に関する主な問題と対策の方針について (ｳ)グループワーク「よりよい睡眠を得るために」

(2)　健康都市宣言の普及啓発

「あったかとちぎ健康都市宣言」の周知のため、栃木保健福祉センター等にパネルの設置、懸垂幕やのぼり旗の設置、集団検診受診者に対してチラシの配布を実施した。

また、健康増進普及月間には市内にある電光標示板で周知した。

(3)　事業所と連携した生活習慣病予防事業

市内事業所と連携しながら、従業員を対象に壮年期の課題を含めた健康づくり事業を実施した。

ア　事業所への健康通信の送付

(ｱ)　回　　数　6回

(ｲ)　送 付 先　栃木市企業連絡協議会加入事業所　44社
栃木商工会議所、大平町商工会、藤岡町商工会、都賀町商工会、西方町商工会、岩舟町商工会、栃木地域産業保健センター、エクサビズ協力事業所

(ｳ)　内　　容　・生活習慣を予防しよう
・熱中症を予防しましょう
・歯周病を予防しましょう！
・とちぎ健康づくりロードを歩いてみよう‼
・内臓脂肪型肥満に気をつけよう
・睡眠による十分な休養がとれていますか

イ　ウェルワークとちぎ会報への記事掲載

(ｱ)　回　　数　6回

(ｲ)　対　　象　ウェルワークとちぎ加入事業所　約400事業所

(ｳ)　内　　容　アと同じ

ウ　生活習慣病予防講座の実施

(ｱ)　回　　数　4事業所

(ｲ)　参加人数　153人

(ｳ)　実施内容　熱中症予防や生活習慣病予防の内容を中心に、事業所の健康課題や希望に応じて講話を実施

エ　エクサビズ登録事業所事業

生活習慣病の発症を予防するため、働く世代が日常生活の中でからだを動かす時間が増えることを目指して実施した。

(ｱ)　登 録 数　48事業所

(ｲ)　健康づくり通信の配信

・回　　数　6回

(ｳ)　体力測定会

・回　　数　1回

・参 加 者　4事業所13名

(ｴ)　事業所へのアンケート

・実施期間　10月15日～10月31日

・対　　象　登録事業所のエクサビズ事業担当者

・回 答 数　25事業所（回答率58.1％）

2　健康診査事業

(1)　集団検診実施状況

・集団検診実施回数　102回

・集団検診実施場所　各保健センター、各公民館等

(2)　基本健診受診者数　（単位：人）

健診区分	特定健康診査(国保)	特定健康診査(社保等)	後期高齢者健康診査	ヤング健康診査	健康診査	合計
集団	6,143	1,605	4,083	932	36	12,799
個別	1,082	－	1,773	－	－	2,855
合計	7,225	1,605	5,856	932	36	15,654

(3) がん検診等事業

ア がん検診

区　　分	実施方法	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)	精検不要(人)	判定不能(人)
胃がん	集団	47,963	4,218	8.8	2,492	328	1,398	－
肺がん	集団	47,963	11,367	23.7	6,744	389	4,234	－
大腸がん	集団	47,963	10,957	22.8	10,401	556	－	－
前立腺がん	集団	17,932	4,402	24.5	3,967	406	29	－
子宮がん(頸)	集団	32,055	4,423	23.3	4,344	55	24	－
	(医療機関)		3,058		2,891	139	28	－
子宮がん(体)	(医療機関)	32,055	1,044	3.3	1,033	11	－	－
乳がん	集団	30,509	5,541	18.9	2,233	211	3,097	－
	(医療機関)		237		160	29	48	－

イ 肝炎ウイルス検診

区 分	受診者数(人)	要精検(人)
B型	1,006	4
C型	995	2

ウ 骨粗しょう症検診

対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結果内訳(人)		
			正常範囲	要指導	要精検
12,816	1,349	10.5	732	481	136

エ 胃がんリスク検査（ＡＢＣ検査）

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検（人）		
			A群	B群	C群	D群
13,271	535	4.0	430	66	36	3

オ 歯周病検診

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要指導(人)	要精検(人)
19,888	701	3.5	32	89	580

カ 口腔がん検診

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	口腔がん所見(人)	他の所見(人)
78,164	777	1.0	746	1	30

3　けんしんパスポート、けんしんガイドブック送付事業

受診率向上のため、個人ごとに受診券や無料クーポン券などをまとめた「けんしんパスポート」及び世帯に一冊の集団検診日程や内容、予約方法などを記載した「けんしんガイドブック」を送付した。

・対　　象　20歳以上の全市民
・発送時期　5月下旬
・対象者数　131,456人　67,791世帯
・集団検診予約受付

予約方法	電話等	インターネット	合計
受付数(件)	11,327	8,672	19,999
割合（%）	56.6	43.4	

4　健康マイレージ事業

市民が自らの健康保持増進に関心を持ち、健(検)診の受診や健康づくりに積極的に取り組むためのインセンティブとして、健康マイレージ事業を実施した。

・対　　象　20歳以上の全市民
・実施方法　けんしんパスポートに、ポイントカード及び参加方法の説明を綴り、全対象者に配布
参加者全員にサポートカードを発行（サポート店：38件）
参加者は寄附または抽選を選択できる。
寄附を選択の場合は、市立小・中学校PTAへ500円の寄附となる。
抽選を選択の場合は、当選者に記念品を送付する。
・参加状況及び抽選結果　（単位：人）

区　分	参加者数	記念品当選者数	寄附	商品券当選者数
男　性	223	95	24	13
女　性	374	138	43	37
合　計	597	233	67	50

・当選者に対して実施したマイレージ事業アンケート調査
対象者数　　350人
回答者数　　237人
回 収 率　　67.7%

5　健康づくり事業

(1)　特定保健指導等事業※令和7年度特定健診結果に基づき実施（R7.7月～R8.4月集計）

ア　特定保健指導

特定健診受診者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣の改善のため、運動・栄養等の保健指導を行った。

・面談場所　各保健センター、自宅、テレビ電話等

・実施状況

区　分	対象者（人）	利用者（人）	利用率（%）
積極的支援	228	109	47.8
動機付け支援	661	277	41.9
合計	889	386	43.4

イ　健診結果説明会

健診結果と生活習慣の改善方法を理解することを目的とし、説明会（個別指導）を行った。

・参加者数　117人

(2)　糖尿病性腎症重症化予防事業

病期に応じた保健指導を行うことにより、生活習慣の改善や治療に結びつけ、糖尿病の重症化を予防する。

ア　保健指導（外部委託）

・対 象 者　糖尿病性腎症第2～4期の病期（人工透析移行のリスクが高い）にある者
国民健康保険加入者　　123人
後期高齢者医療制度加入者（75～79歳）　25人

・実施状況　個別指導5回、集団指導(運動療法)1回

・終了者数　国民健康保険加入者　13人
後期高齢者医療制度加入者　4人

イ　糖尿病予防講座　～継続編～

・対 象 者　令和6年度特定健診結果で糖尿病境界域段階の者

・会　　場　栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター、静和地区公民館

・回　　数　1クール3回×3コース

・内　　容　1回目　講話（糖尿病、食事について）
生活習慣の振り返りと目標設定
2回目　運動実技、歯周病講話・演習
3回目　結果説明会（希望制）

・評　　価　3か月後に血液検査（空腹時血糖、HbA1c）を実施

・参加者数　延べ91人

ウ　糖尿病予防講座　～単発編～

・対 象 者　国民健康保険者（40～74歳）の市民

・会　　場　栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

・回　　数　1回×4コース（各会場2コース）

・内　　容　講話（糖尿病・食事・歯周病）、野菜の重量体験、減塩レシピの試食、生活習慣振り返り

・参加者数　29人

(3)　肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された者のうち、同意が得られた者に対し、年に1回調査票の送付等を行い、医療機関の受診状況や診療状況の確認と、必要に応じて電話等による受診勧奨を行った。今年度は、市の集団検診から6名、妊婦検診から1名対象者を把握した。

また、フォローアップの同意から5年経過した者は終了とし、終了者は増加した。

年　度	対象者（人）	同意者（人）	継続フォロー者（人）	終了者（人）
令和7年度	7	5	23	4
令和6年度	12	11	28	18

(4)　健康教育

ア　健康あっぷ講座

市民を対象にオーラルフレイル予防のための口周りの筋力維持やケア方法について、歯科医師・歯科衛生士が講話を行った。

回数（回）	参加数（人）
1	31

イ　骨粗鬆症予防教室

市民を対象に、管理栄養士・理学療法士が骨粗鬆症予防のための栄養講話と運動講話及び実技を行った。

回数（回）	参加数（人）
1	15

ウ　中学校における歯と口の出前講座

中学生を対象に、歯と口の健康についての講話とブラッシング指導を行った。

学校数（校）	対象者（人）
5	512

エ　出前講座

地域や団体に対し、健康教育を行った。

区　　分	回数（回）	参加者延べ数（人）
熱中症	3	73
オーラルフレイル	7	149
生活習慣	6	98
こころ	4	51
糖尿病	2	35
合　　計	22	406

(5)　健康相談・栄養相談・禁煙相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、保健師・管理栄養士が必要な指導及び助言を行った。また、集団健診当日(計18回)に生活習慣病予防を目的として、健康相談を行った。

・相談者延べ数　548人（内集団健診当日541人）

(6)　病態別栄養指導

医療機関と連携し､管理栄養士が個別に慢性疾患の病態に応じた栄養指導を実施し、疾病の早期回復を図った。

・実施回数　5回

・相談者延べ数　5人

・指導内容(延べ件数)　（単位：件）

糖尿病	高血圧	脂質異常症	腎臓病	その他	計
2	1	2	1	5	11

(7)　脳卒中啓発プロジェクト

脳卒中予防に関するチラシを10月の脳卒中予防啓発月間、特定保健指導、出前講座等で配布した。

・配布数　1,082枚

(8)　熱中症対策

庁内各課及び庁外関係機関、事業所等と連携を図り、熱中症予防に対する普及啓発、注意喚起を実施した。

ア　普及啓発

・市広報やホームページ、マスメディアを活用した取り組み

市ホームページ、FMくらら、ケーブルTV

・熱中症対策標語コンテストの開催

市内在住の小学5，6年生を対象に実施

・出前講座の開催

市民向け：3回　事業所向け：1回　学童保育：29回

・動画放映（熱中症対策動画、ＢＵＮＢＵＮＳＵＩＢＵＮ）

集団検診会場（栃木保健福祉センター）にて放映

・暑さ指数を活用した熱中症注意情報の掲示

・関係各課及び関係機関におけるチラシ等の配布及びポスターの掲示

チラシ配布数　　33,500枚、うちわ配布数　300枚

ポスターの配布　「熱中症からカラダを守ろう」295枚

「熱中症対策標語コンテスト受賞者ポスター」345枚

・広報とちぎやＳＮＳ、マスメディアの活用、市道電光標示板、のぼり旗による普及啓発

イ　防災無線放送を活用した注意喚起（期間：4月23日（水）～10月22日（水））（平日のみ）

・熱中症特別警戒アラート　0回

・熱中症警戒アラート発表時　13回（警戒アラート発表21回）

ウ　熱中症対策庁内連携会議の開催　2回（内書面1回）

エ　包括連携協定事業所との連携による普及啓発

オ　熱中症対策

・指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）　104か所

・ちょこっと涼み処　132か所

・熱中症お助けスポット　28か所（活用実績：経口補水液7本）
・移動ちょこっと涼み処　1か所（なつこいにて開催）利用者：1,500名
・無料給水スポットの開設（文学館）
利用者数：約3,200人

(9)　パワーナップ（お昼寝）事業

パワーナップの心身への効果検証および睡眠に関する情報収集を目的に、睡眠課題を抱える世代である40歳代女性を対象として実施した。事業実施前後では、参加者に説明会や終了会を行った。

・周知方法　庁内全職員へインフォメーションを活用して周知
・実施期間　2月2日（月）～2月27日（金）
・対 象 者　栃木市職員（会計年度任用職員も含む）かつ年度末年齢40～49歳女性
・内　　容　昼休みにパワーナップを実施し、毎日の体調等を日誌に記録
・検証方法　日誌と眠気や不眠に関する調査票を分析
・参加者数　31人

6　自殺予防対策事業

(1)　こころの健康相談

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、カウンセラーによるうつ、ストレス、不眠等のこころの健康相談を実施した。

・会　　場　栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
・実施回数　13回
・相談人数　29人

(2)　こころの健康サポーター（ゲートキーパー）養成研修

こころの健康サポーター（ゲートキーパー）の役割を理解することで、こころの悩みやサインに気づき、自殺予防を図ることを目的に、研修会を市民や企業等に実施した。

・実施回数　5回
・参加者延べ数　226人

(3)　自殺予防普及啓発

ア　街頭キャンペーン（県共催）

自殺予防週間（9月）及び自殺対策強化月間（3月）の期間中、自殺予防等の正しい知識の普及啓発と身近な相談機関の周知を図るため、自殺予防の啓発グッズ及び相談窓口一覧チラシ、県作成の相談窓口案内ポケットティッシュ等を配布・設置した。

・配布場所　市内商業施設（700個）
こころの健康サポーター（ゲートキーパー）養成研修（150個）
・設置場所

期間	実施場所	設置数（個）
自殺予防週間	ハローワーク栃木	200

9月10日～9月16日	社会福祉協議会	100
自殺対策強化月間 3月1日～3月31日	市内認知症カフェ16か所	200
	社会福祉協議会	150

イ　図書館と連携した取り組み

自殺予防週間（9月）及び自殺対策強化月間（3月）を周知するため、市内の各図書館で特設ブースを設置し、こころの健康に関する図書の展示やタペストリーの掲示、自殺予防の啓発グッズ及び相談窓口一覧チラシ、市作成の相談窓口案内ポケットティッシュ、マスクケースを配布した。

・配布数　360個

ウ　大平商工会と連携した取り組み

自殺予防週間（9月）の普及啓発及び健康増進課の事業用チラシとして大平商工会の会員に対してチラシを配布した。

・配布数　500枚

(4)　自殺対策調整会議

栃木市いのち支える自殺対策計画を推進し、自殺を未然に防ぐため、調整会議を設置し、関係機関との連携強化を図った。

ア　参加者

保健医療・福祉・教育・労働等に関わる団体の代表者及び行政機関の担当職員等

イ　会議開催

開催日	参加数（人）	内容
第1回 8月22日	12	・栃木市の自殺の現状について ・栃木市いのち支える自殺対策計画の進捗状況等について ・健康増進課計画素案について ・ストレス解消についての意見交換
第2回 2月20日	10	・栃木市の自殺の現状について ・栃木市消防本部から自損行為者の現状について ・栃木市いのち支える自殺対策計画について ・事例検討

7　地域保健対策推進事業

(1)　栃木市健康づくり推進会議

市民の生涯を通した健康の実現を目指し、市民一人ひとりの主体的な健康づくり活動を関係機関、関係団体、行政等が協働して支援し、住民に密着した総合的な健康づくり対策事業を推進するため、会議を実施した。

ア　関係機関

保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等

イ　会議開催

開催日	参加数（人）	内容
第1回 7月24日	11	・栃木市保健事業概要について ・熱中症対策事業等について ・栃木市健康増進計画の策定について
第2回 2月5日	11	・令和７年度熱中症対策事業について ・令和７年度市民健康まつりについて ・健康増進計画について ・帯状疱疹予防接種の状況について

(2)　食生活改善事業

食生活改善推進員（90人）が、地域における食生活改善推進のため、個別訪問活動や教室を開催し普及啓発を行った。また、会員相互の連携及び交流を図るため、グループ活動を実施した。

ア　栃木市食生活改善推進員協議会活動

・実施状況

区分		内容	実施回数（回）	会員参加者数（人）	一般参加者数（人）
事業	講習会	生涯骨太クッキング	1	9	20
		栃木県産米消費拡大に関する事業	1	4	9
		ヘルスサポーター養成事業 高齢世代	1	4	30
		高血圧予防事業	1	7	6
会議		総会	1	63	－
		理事会	4	30	－

イ　栃木市食生活改善推進員地区組織活動実績集計表

・方法別活動状況

集会		対話・訪問		総数		自己学習回数
回数	人数	回数	人数	回数	人数	
197	3,847	378	806	575	4,653	807

・項目別活動状況

子どもの健康・食生活		若者、働き世代の健康・食生活		高齢者の健康・食生活		その他		総数	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
100	1,090	182	1,184	293	2,395	0	0	575	4,699

(3)　栃木市食生活改善推進員養成講習会

食生活改善推進員になるための知識や技術の習得のため、講習会を実施した。

・回数　6回

・実人数　　10人
・延べ人数　49人
・実施内容

開催日	内容
第1回 10月3日	・国民、県民の健康の現状　・食生活改善推進員とは ・こころとからだの健康づくり　・仲間づくり
第2回 10月24日	・食品衛生と生活環境保全　・栄養の基礎知識　・調理の基本 ・調理実習
第3回 11月18日	・食事バランスガイド　・健康づくりと身体活動、運動（実技）
第4回 12月3日	・市の健康の現状　・健康づくりと生活習慣病予防　・食育の推進 ・乳児期～成人期の食事　・調理実習
第5回 12月23日	・高齢期の食事　・調理実習
第6回 1月16日	・市食生活改善推進員の活動紹介　・グループワーク　・調理実習

8　がん患者支援補助金

(1)　がん患者アピアランスケア支援補助金交付事業

がん患者アピアランスケア支援(外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減する支援)として、がん患者の補整具の購入に要する経費の一部を補助することにより、当該がん患者の心理的及び経済的な負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上を図った。

ア　対　　象　・本市に住所を有すること
・市税を滞納していないこと
・がんと診断され、現にがんの治療を行っていること
・がん治療に伴う脱毛、乳房の切除等により就労、社会参加等に支障をきたすおそれがあるため、補整具を必要としていること

イ　交付実績

・医療用ウィッグ　（単位：人）

区分	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男	－	－	－	－	-	－	－	－	－
女	－	－	－	6	13	19	14	－	52
合計	－	－	－	6	13	19	14	－	52

・乳房補整具　（単位：人）

区分	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
合計	－		-	8	6	3	3	1	21

ウ　交 付 額　医療用ウィッグ　　1,482,000円
　　乳房補整具　　379,200円

(2)　若年がん患者の在宅ターミナルケア支援補助金交付事業

若年がん患者のターミナルケア支援(医師が一般に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがない状態に至ったと判断した18歳以上40歳未満のがん患者に対する在宅療養生活の支援)として、若年の末期がん患者の在宅療養に要する経費の一部を補助することにより、当該患者及びその家族の経済的負担を軽減するとともに、在宅療養生活の質の向上を図る。

ア　対　　象　・本市に住所を有する者
・18歳以上40歳未満の者（18歳又は19歳の者であって、児童福祉法第19条の2の第1項の規定による小児慢性特定疾病医療費の支給を受けている者を除く。）
・がん患者（医師が一般に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがない状態に至ったと判断した者に限る。）
・在宅療養生活の支援及び介護を必要とする者
・他の助成制度による助成金等の交付を受けることができない者

イ　交付実績　　1人

ウ　交 付 額　　11,700円

9　地域看護

成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問指導数　48件

・内訳（延べ件数）　（単位：件）

精神保健	生活習慣病	他の疾患	その他
5	50	0	0

10　市民健康まつり開催事業

・実施日　11月9日（日）

・会　場　栃木保健福祉センター　（単位：人）

協力団体名	実　施　内　容	参加人数
下都賀郡市医師会	健康に関する講演会・落語	120
下都賀歯科医師会	歯科相談、保健指導、ＤＶＤ上映、歯と口の健康づくりについての歯科保健指導	60
下都賀歯科衛生士会	上記の内、保健指導	37
栃木地域薬剤師会	お薬相談、禁煙相談、調剤体験、手指消毒の仕方	80
栃木県栄養士会 県南支部	フレイル予防の食生活をテーマにした展示、個別食生活相談、握力測定、カルシウムチェック	209

栃木市食生活改善 推進員協議会	食事の大切さに関するレシピやチラシ配付、 １日分の野菜の重量体験	98
ＪＡしもつけ 栃木農産物直売所	地元産の新鮮野菜と果物販売	90
ＮＰＯ法人 蔵の街ウエイブ	精神障がい者への理解を深める活動 (相談、パネル展示等)	20
とちぎメディカル センター	筋力測定、ロコモチェック、骨密度測定、もの忘れチェック	288
保険年金課	特定健康診査の普及啓発（チラシ・啓発品の配布等）	250
健康増進課	健康に関する模型展示、健康啓発動画の上映、血管年齢測定、骨波形測定、体組成計等	714
各ブース来場者（延べ人数）		1,966

11　イベント等での健康啓発事業

(1)　健康啓発チラシ設置

ア　TMCしもつが市民公開講座

・実施日　8月2日（土)、9月27日（土)、2月14日（土)、3月14日（土）

・会　場　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）

イ　ど田舎にしかた祭り

・実施日　12月7日（日）

・会　場　道の駅にしかた西側の田んぼ

(2)　健康情報コーナーの設置

ア　くららフェスタ

・実施日　3月8日（日）

・会　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

・内　容　ベジチェック、骨ウェーブ、野菜の重量測定、健康関連情報の設置

第６章　こども未来部

第１節　子育て総務課

〔総括概要〕

子育て総務課では、全てのこども・若者が、身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会の実現に向けて作成した令和7年度から令和11年度を計画期間とする「栃木市こども計画」に基づいたこども施策の推進及び進捗管理を行った。また、子育て世帯を支援するために、子育てガイドブックの発行をはじめとした子育て情報の発信を行うとともに、児童に関する手当として、児童手当、児童扶養手当、遺児手当及び赤ちゃん誕生祝金の支給を行った。

なお、児童手当及び児童扶養手当については、国の制度改正に伴いシステム改修や支給対象者への事前周知など所要の対応を行った。

子育て世帯の経済的負担の軽減を行うとともに、育児の悩み等の相談に応じ子育て世帯を応援するため、出生時及び概ね4か月ごろに紙おむつ等の育児用品の給付事業を行った。

民間企業と連携し、企業が所有する資源やノウハウを活用することで、子育てにおいて保護者が安心できる環境の整備や災害発生時にこども用品を迅速かつ安定して提供できる体制を構築するため、ピジョン株式会社と「子育ちに喜びを感じられるまちの実現に向けた包括連携協定書」、「災害時における物資供給に関する覚書」の包括連携協定締結を行った。

こどもの運動機能の向上及び子育て世代の交流の促進を図ることを目的として、市内の民間屋内遊戯施設を利用するこども及びその保護者を対象に、施設利用料の半額相当を助成した。助成対象の施設が令和8年2月末で撤退したため、制度の見直し等を行っていく。

ファミリー・サポート・センターでは、仕事と育児の両立を図り、安心して働ける環境づくりを進めるため、地域における子育て相互支援機能の強化、調整に努めた。

地域子育て支援センターでは、子育て家庭への育児支援を図るため、子育てに関する情報や遊び場の提供、育児不安等に関する相談支援を行った。また、保護者間の交流を図るとともに、親子・子ども同士が楽しく触れ合うことのできる事業を企画実施した。

児童館では、地域における子育て支援の拠点として、児童の健全育成を図るため、地域社会と連携しながら、子どもたちに健全な遊びや情報、居場所の提供を行った。

来館者数や利用者数は、前年度と比較してわずかに減少となったが、例年より早期に流行したインフルエンザの影響により利用が抑制されたことが要因の一つと考えられる。

箱森町地内の複合施設とちぎコミュニティプラザの防火シャッター設備等について、大規模な改修工事を実施した。

学童保育事業では、保護者の就労等により、昼間家庭での保護指導を十分に受けられない児童に対する支援を行った。

増加する利用者に対応するため、長期休業である夏休み等に、学校の教室を借用するなどして、利用希望者の受入れを行った。

支援員の質の向上を目的とし、市内全域の学童保育を対象に、外部講師による研修会を開催した。

子育て総務係

1　子ども・子育て会議の開催

本市の実情に合った子ども・子育て支援の施策を推進していくため、子ども・子育て会議を開催した。会議では、委員の意見を反映するための仕組みを取り入れた。

回数	内容	備考
第1回	（報告事項） ・第二期栃木市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について （報告事項） ・都賀幼稚園の虐待事案について （連絡事項） ・こども家庭センター愛称募集、表彰式、記念講演会の情報提供について （ワークショップ） ・子育て世代への経済的支援について ・地域とつながる子育て支援を考える ・少子化に伴う公立保育園等の整備について	8月26日
第2回	（審議事項） ・乳児等通園支援事業の認可について ・令和8年度就学前教育・保育施設整備交付金の事業計画について （報告事項） ・栃木市こども計画に対するこども等の意見について ・5歳児健康診査 ・子育て世帯訪問支援事業 ・特定教育・保育施設の利用定員の変更について （ワークショップ） ・こども・若者への意見聴取の在り方及び政策への反映 ・地域とつながる子育て支援を考える（Part2） ・少子化に伴う公立保育園等の整備について	3月18日

2　赤ちゃんの駅

子育て家族が安心して外出できる環境づくりを進めることを目的として、平成23年8月に赤ちゃんの駅登録事業を開始した。

おむつ替えや授乳のため自由に利用することのできる施設を、赤ちゃんの駅として登録し、市民への周知を図った。

・赤ちゃんの駅登録数　94か所（公共施設59か所・民間施設35か所）

・移動式赤ちゃんの駅　1セット（貸出用1セット）

3　子育て応援企業登録事業

従業員の仕事と子育ての両立支援や、地域における子育て支援に取り組む（取り組もうとする）企業を、子育て応援企業として登録し、その取組内容の周知を行った。

・子育て応援企業登録数　126企業

4　子ども未来基金

本市の未来を担うこどもたちの健全な成長に寄与し、子育てに対する支援を推進する事業の財源に充てるため、子ども未来基金を設置している。

(1)　子ども未来基金状況　（単位：円）

摘　要	増額	減額	現在高	備　考
令和6年度末残高	－	－	451,139,517	
一般会計へ繰入	－	76,681,980	－	
利子積立金	36,000	－	－	
寄附金等積立金	165,686,500	－	－	(2)寄附金内訳参照
令和7年度末残高	－	－	540,180,037	

(2)　寄附金内訳　（単位：円）

区　分	金　額
個人からの寄附　10件	7,508,700
団体からの寄附　7件	2,527,800
ふるさと応援寄附金（栃木の子育て支援事業）	155,650,000
合　計	165,686,500

地域子育て係

1　児童に関する手当

種　別	受給者数（人）	新規認定件数（件）
児童手当	10,776	718
児童扶養手当	826	93
遺児手当	33	5

2　赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に資することを目的に、18歳未満の児童を養育し、第2子以降が誕生した保護者に祝金を支給した。

・支給額　4,210,000円

・支給状況

区　分	祝金の額（円）	支給件数（件）
第2子	10,000	219
第3子以降	20,000	101

3　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減を行うとともに、育児の悩み等の相談に応じ子育て世帯を応援するため、出生時及び生後4か月ごろに紙おむつ等の育児用品の給付を行った。

・1回目（出生時）　615件（紙おむつSサイズ2袋・おしりふき1箱）

・2回目（生後4か月程度）　559件（紙おむつMサイズ2袋・おしりふき1箱）

4　地域組織活動（母親クラブ）への支援

保護者等が組織し、児童館等を拠点に会員相互の交流を深めながら、世代間交流や児童養育に関する研修活動､児童の事故防止活動等を自主的に実施する母親クラブに対し、活動の支援・指導を行った。

・会員数の内訳　（単位：人）

組　織　名	活　動　場　所	会員数
栃木市母親クラブゆるく	大宮公民館	10

5　ファミリー・サポート・センター事業

(1)　会員数の内訳　（単位：人）

育児依頼会員	572
育児提供会員	176
依頼･提供両会員	40
合　計	788

(2)　活動状況　（単位：件）

援　助　活　動　内　容	活動件数
保育園･幼稚園への登園前の預かり及び送り	103
保育園･幼稚園への迎え及び帰宅後の預かり	371
学童保育前の預かり及び送り	94
学童保育への迎え及び帰宅後の預かり	82
放課後の預かり及び送迎	232
子どもの習い事等の場合の援助	359

保育園･学校等休み時の援助	0
保護者等の短時間･臨時的就労の場合の援助	38
保護者等の病気、その他の急用、外出の場合の援助	31
その他	32
合　　計	1,342

(3)　講習会等　　(単位:人)

No	内　容	参加人数
1	自分を知ろう！パーソナルカラーレッスン	8
2	絵本の世界を楽しもう！	5
3	防犯講座～身近な危険から身を守ろう～	6
4	栄養たっぷりおやつ作り	7
5	救命講習	7
6	ハッピー子育て講座「根拠のない自信を育てよう！～6歳までの子育て基礎知識～」	7
7	健康づくり体操	7
8	経絡ストレッチで身体を整えよう！	7
9	栃木市健康診断の託児講習（全3回）	24

6　地域子育て支援センター

(1)　利用者数推移　　(単位：人)

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合　計
令和5年度	1,010	1,038	785	493	77	31	18	3,088	6,540
令和6年度	1,263	1,253	760	513	295	67	22	3,675	7,848
令和7年度	1,211	1,184	575	181	117	72	20	3,090	6,450

(2)　活動状況

ア　日常活動

・参加者数　延べ6,450人

・実施内容　子育て情報提供、子育て情報交換、子育て相談

(ｱ)　えほんタイム

・実施時間　午前11時～11時20分（月・木・金曜日）
　　午後4時～4時20分（火・水曜日）

・実施内容　歌、絵本、パネルシアター、紙芝居、わらべうた、手遊び、体操

(ｲ)　園庭開放（はこのもり保育園園庭）

・実施曜日　毎週火・水曜日

・実施時間　午前11時30分～正午

イ　定例活動

・実施回数　ほんわかタイム15回　プチなかよしタイム4回

なかよしタイム 21 回

・参加者数　延べ 556 人

・実施内容　ほんわかタイム（0 歳児と保護者を対象）

ふれあい遊びや絵本の紹介、仲間づくり活動

プチなかよしタイム（1 歳児と保護者を対象）

ふれあい遊び・新聞紙遊び・散歩

なかよしタイム（2 歳児、3 歳児と保護者を対象）

集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、わらべうた、パネルシアター、紙芝居、絵本読み聞かせ、製作活動、体操遊び、散歩、ゲーム等毎回テーマを決めて実施

・実施日時

区　分	実施日	開催時間
ほんわかタイム	月 1 回火曜日	午前 10 時～11 時
プチなかよしタイム	5、8、11、2 月の第 2 火曜日	午前 10 時～11 時
なかよしタイム	隔週水曜日	午前 10 時～11 時

ウ　特別活動　（単位：人）

No	活　動　名	参加人数	No	活　動　名	参加人数
1	子育て講座 「ベビーマッサージ」2 回	40	10	ハイハイレース	18
2	公立 6 支援合同行事「みかも山公園であそぼう」	別表	11	0 歳講座 クリスマスコンサート	24
3	総合合同避難訓練（2 回）	15	12	クリスマス会 「ViVid コンサート」	38
4	14 支援センター合同行事 「タップダンス～Let's dancing!～」	別表	13	子育て講座 「親子リトミック」	21
5	支援センターデビューの日　5 回	100	14	お楽しみ会 「バルーンショー」	38
6	子育て講座 「歯みがき講座」	22	15	0 歳講座 チャクラマッサージ	18
7	子育て講座 「ベビーヨガ」	18	16	お楽しみ会 「コロポックル」	32
8	運動会	29	17	スプリングコンサート	30
9	子育て講座 「親子ビクス」	17			
合　計					460

エ　子育て相談　（単位：件）

相談内容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	10	8	2
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	3	3	－
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い　ほか	1	1	－
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達　ほか	13	13	－
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語　ほか	8	7	1
対人関係	他の子との関わり　ほか	3	2	1
その他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり　ほか	33	31	2
合計		71	65	6

7　地域子育て支援センターおおひら

(1)　利用者数推移　（単位：人）

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
令和5年度	624	608	366	215	170	179	86	1,952	4,200
令和6年度	744	503	487	228	170	169	101	2,126	4,528
令和7年度	490	429	313	240	200	150	110	1,637	3,569

(2)　活動状況

ア　定例活動

・実施日時　火曜日(月2回)（ころころ広場）午前10時30分～11時15分
木曜日(月2回)（あかちゃんサロン）午前10時30分～11時15分
木曜日(月4回)（すくすく木曜日）午前9時～午後4時
不定期(年4回)ツインズサロン午前10時30分～11時15分

・実施内容　集団親子活動を行い、季節の遊び、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、ふれあい遊び、製作、リズム遊び、リトミック、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数　112回

・参加者数　延べ1,422人

イ　特別活動　（単位：人）

No	活動名	参加人数	No	活動名	参加人数
1	ベビーマッサージ(3回)	87	6	西保育園交流会	7
2	6支援センター合同行事 「みかも山公園であそぼう」	別表	7	ママの癒しタイム 「エアロビクス」	13
3	大平南第1保育園交流会	8	8	ハロウィンお楽しみ会	36
4	バランスボールダンス	19	9	ママの癒しタイム 「ドライフラワーアレンジメント」	9

5	14支援センター合同行事「タップダンス～Let's dancing!～」	66	10	きゅーちゃんダンスを踊ろう(ケーブルテレビ)	30
合　　計					275

ウ　子育て相談　　（単位：件）

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	1	1	0
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	4	4	0
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い　ほか	1	1	0
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達　ほか	1	1	0
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語　ほか	0	0	0
対人関係	他の子との関わり　ほか	1	1	0
その他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり　ほか	12	11	1
合　　計		20	19	1

8　地域子育て支援センターふじおか

(1)　利用者数推移　　（単位：人）

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合　計
令和5年度	230	527	711	167	67	41	14	1,446	3,203
令和6年度	337	613	519	175	75	41	12	1,439	3,211
令和7年度	431	407	274	149	73	47	54	1,263	2,698

(2)　活動状況

ア　日常活動

絵本タイム

・実施日　　毎週月曜日、水曜日

・実施時間　午前11時～11時20分

・実施内容　歌、絵本読み聞かせ、親子のふれあい遊び

・実施回数　72回

・参加者数　延べ645人

イ　定例活動

(ｱ)　わくわくタイム

・実施曜日　月曜日、木曜日、金曜日（随時）

・実施時間　午前10時30分～11時30分

・実施内容　集団親子活動を行い、歌、リズム遊び、楽器遊び、親子のふれあい遊び、体操運動遊び、季節の製作、紙芝居や絵本の読み聞かせ等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数　25 回
・参加者数　延べ 311 人

(ｲ)　身体測定の日
・実施日　　毎月第 1 月曜日
・実施時間　午前 10 時～12 時
・実施内容　身体測定、親子の交流
・実施回数　12 回
・参加者数　延べ 100 人

(ｳ)　手型スタンプの日
・実施日　　偶数月の月末水曜日
・実施時間　午前 10 時～12 時
・実施内容　手型または足型をスタンプする、親子の交流
・実施回数　6 回
・参加者数　延べ 55 人

(ｴ)　すくすくサロン
・実施日　　不定期
・実施時間　午前 11 時～11 時 30 分
・実施内容　子育て相談内容に沿った講座
・実施回数　2 回
・参加者数　延べ 20 人

ウ　特別活動　　（単位：人）

No	活　動　名	参加人数	No	活　動　名	参加人数
1	公立 6 支援合同行事「みかも山公園であそぼう」	別表	12	食育出前講座	10
2	14 支援合同行事「タップダンス」	別表	13	親子のパーソナルカラーレッスン	14
3	0 歳のリトミック	19	14	1 歳からのリトミック	12
4	藤岡はーとらんど保育園との交流会	8	15	親子フィット	14
5	0 歳の音楽療法	20	16	米粉パンクッキング	14
6	歯と歯みがきのおはなし	8	17	クリスマス会	31
7	親子 de 米粉パンクッキング	19	18	はじめての語りべ	16
8	ほんわかカフェと交流会	19	19	出張図書館タイム	12

9	絵本講座	8	20	親子ビクス	10
10	骨盤ケア	17	21	お楽しみ広場	17
11	避難消火訓練、消防車見学	13			
合　　計					281

エ　子育て相談　　（単位：件）

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	9	8	1
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	4	3	1
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い　ほか	6	6	－
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達　ほか	8	8	－
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語　ほか	4	3	1
対　人　関　係	他の子との関わり　ほか	10	9	1
そ　の　他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり　ほか	18	16	2
合　　計		59	53	6

9　地域子育て支援センターつが

(1)　利用者数推移　　（単位：人）

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合　計
令和5年度	514	589	278	88	23	9	3	1,387	2,891
令和6年度	626	397	351	57	22	4	6	1,351	2,814
令和7年度	797	1,058	163	78	17	2	4	1,990	4,109

(2)　活動状況

ア　定例活動

すくすくタイム

・実施曜日　毎週水曜日もしくは木曜日

・実施時間　午前10時～11時

・実施内容　集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数　41回

・参加者数　延べ756人

園行事参加

・実施日　　年1回

・実施時間　午前10時30分～11時

・実施内容　人形劇観賞
・実施回数　１回
・参加者数　23 人

都賀西方支援センター合同行事
・実 施 日　年２回
・実施時間　午前 10 時～11 時
・実施内容　各施設の特徴を知り、地域交流をしながらテーマを決めて実施
・実施回数　２回
・参加者数　25 人（都賀会場実施分のみ）

読み聞かせタイム
・実施曜日　火・金
・実施時間　午前 11 時～（15 分程度）
・実施内容　体操・手遊び・絵本・紙芝居
・実施回数　87 回
・参加者数　延べ 1,327 人

イ　特別活動　（単位：人）

No	活　動　名	参加人数	No	活　動　名	参加人数
1	ベビーヨガ	20	6	14 支援センター合同行事「タップダンス」	別表
2	６支援センター合同行事「みかも山公園であそぼう」	別表	7	１歳からのリトミック	47
3	０歳からのリトミック	44	8	親子体操	21
4	親子エアロビクス	50	9	親子リトミック	31
5	子育て講座	20	10	親子フィット	22
合計					255

ウ　子育て相談　（単位：件）

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	30	30	－
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	8	8	－
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い　ほか	9	9	－
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達　ほか	24	24	－
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語　ほか	7	7	－
対　人　関　係	他の子との関わり　ほか	3	3	－
そ　の　他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり　ほか	65	65	1
合　計		146	146	1

10　地域子育て支援センターにしかた

(1)　利用者数推移　　(単位:人)

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合　計
令和5年度	167	184	54	41	24	7	4	445	926
令和6年度	205	290	194	41	28	54	11	723	1,546
令和7年度	290	266	227	74	11	4	20	754	1,646

(2)　活動状況

ア　定例活動

なかよしひろば

・実 施 日　月6～7回

・実施時間　午前10時30分～11時30分

・実施内容　集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子製作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数　45回

・参加者数　延べ558人

イ　特別活動　　(単位：人)

No	活　動　名	参加人数	No	活　動　名	参加人数
1	公立6支援合同行事「みかも山公園で遊ぼう」	別表	6	14支援合同行事「タップダンス」	別表
2	親子フィット、親子ヨガ	53	7	押し花アート	21
3	歯磨き指導(健口の話)　3回	23	8	人形劇鑑賞	7
4	総合避難訓練	14	9	パーソナルカラーレッスン	17
5	食育講座　2回	32	合計		167

ウ　子育て相談　　(単位：件)

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	12	12	-
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	2	2	-
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い　ほか	3	3	-
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達　ほか	2	2	-
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語　ほか	6	6	-
対人関係	他の子との関わり　ほか	3	2	1
その他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり　ほか	12	11	1
合　計		40	38	2

11　地域子育て支援センターいわふね

(1)　利用者数推移　　（単位：人）

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合　計
令和5年度	323	347	229	25	12	2	24	869	1,831
令和6年度	326	197	179	23	8	29	1	782	1,545
令和7年度	531	276	87	32	22	18	2	888	1,856

(2)　活動状況

ア　日常活動

(ｱ)　読み聞かせ

・実施日　　行事のない開設日

・実施内容　歌、絵本の読み聞かせ、親子のふれあい遊び、体操等

・実施回数　37回

・参加者数　延べ121人

(ｲ)　園庭利用

・実施曜日　毎週火・金曜日

・実施時間　午前11時～正午

・実施内容　いわふね保育園園庭遊び

・実施回数　39回

・参加者数　延べ30人

イ　定例活動

(ｱ)　のびのび・うきうきルーム

・実施日　　のびのびルーム：毎月2日間
　　うきうきルーム：毎月1日間

・実施時間　午前10時30分～11時30分

・実施内容　集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、誕生会、身体測定、カレンダー製作、体操遊び、リズム遊び、親子製作、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数　31回

・参加者数　延べ423人

(ｲ)　計測と子育て相談の日

・実施日　　毎月1回

・実施期間　午前10時～12時

・実施内容　身体測定、子育て相談、親子交流、手形、足形スタンプ等

・実施回数　12回

・参加者人数　延べ161人

(ｳ)　年中行事

・実施日　　不定期

・実施時間　午前 10 時～11 時（お庭であそぼう　午前 11 時～正午）
・実施内容　年中行事に合わせ集団親子活動を行う。
・実施回数　11 回
・参加者数　延べ 177 人

(ｴ)　赤ちゃんのおはなし会＆おひるねアート
・実施日　　偶数月
・実施期間　午前 10 時 30 分～12 時
・実施内容　紙芝居、絵本読み聞かせ、ふれあいあそび、おひるねアート等
・実施回数　6 回
・参加者人数　延べ 158 人

(ｵ)　小さなおはなし会＆お庭遊び
・実施日　　奇数月
・実施期間　午前 10 時 30 分～12 時
・実施内容　紙芝居、絵本読み聞かせ、ふれあいあそび、お庭遊び等
・実施回数　6 回
・参加者人数　延べ 94 人

ウ　特別活動　（単位：人）

No	活　動　名	参加人数	No	活　動　名	参加人数
1	0 歳からの春の音楽会	67	8	えほんといっしょ	12
2	6 支援センター合同行事 「みかも山公園であそぼう」	別表	9	歯科衛生士さんの講話	9
3	親子ビクス	21	10	ママのためのバランスボールダンス	13
4	ベビーヨガ	14	11	ようこそ語りべの時間へ	15
5	14 支援センター合同行事 「タップダンス」	別表	12	骨盤ケア	12
6	リズムと心の癒し（2 回）	37	13	ハッピー子育て講座	8
7	ベビービクス	12	14	おはなし会	13
合　　計					233

エ　子育て相談　（単位：件）

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	3	3	－
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	－	－	－
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い　ほか	－	－	－
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達　ほか	－	－	－
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語　ほか	－	－	－

対　人　関　係	他の子との関わり　ほか	－	－	－
そ　の　他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わりほか	22	21	1
合　計		25	24	1

【別表】地域子育て支援センター合同行事集計表　（単位：組）

No	活　動　名	参加組数
1	6支援センター合同行事　「みかも山公園であそぼう」	14
2	14支援センター合同行事　「タップダンス～Let's dancing!～」	66
合　計		80

12　児童館運営委員会の開催

本市の児童館の適正な運営を図るため、児童館運営委員会を開催した。

開催日	内容
6月30日	（協議事項） ・栃木市児童館運営委員会副委員長の選出について （報告事項） ・令和6年度事業報告について ・令和7年度事業計画について

13　児童館

児童の健康を増進し、情操を豊かに育むことを目的とし、児童に対し遊びを通じた指導や情報提供、相談支援等を行うとともに、地域組織や地域住民と連携を図りながら、各種事業を実施した。

(1)　はこのもり児童センター

ア　利用状況　（単位：人）

幼児	小学校1～3年	小学校4～6年	中学生	高校生	大人	合計	開館日数	1日平均利用人員
3,336	2,641	5,042	1,911	365	5,408	18,703	294	64

イ　事業実施状況　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
季節の行事（遊べる行事）(6回) イースター・こいのぼりスライドパズル(リサイクル)・夏祭り・モルック・お正月あそび・ひなまつりストライク	411	季節の行事(工作)(3回) クリスマスオーナメント(リサイクル)・ダーラナホース干支飾り（リサイクル）・スティック鬼飾り	72
季節の行事(科学遊び)(1回) 七夕＆プラバン	164	バレンタインクッキング(1回) バレンタインラスク	15
体験バスツアー(1回) モビリティリゾートもてぎ	19	進級工作(1回)(リサイクル) 手作りリメイクシール帳	22
遊べる工作(2回) 手裏剣シューター・ボールコロコロ	46	春休み企画(1回) ビンゴ大会	34

無限ループ（リサイクル）			
母の日企画(1回)(リサイクル) ＰＢキャップエコキーホルダー	24	工作(1回)（リサイクル） 空き瓶ランタン作り	27
父の日企画(1回) シェイカーしおり	25	簡単工作(1回)（リサイクル） ミニ扇風機	51
敬老の日企画(1回) ふわふわハンドバッグ	31	体験教室(1回)（外部講師） 茶道体験教室	10
異文化交流(季節の行事)(1回) ハロウィン	61	移動動物園(1回)	202
異文化交流(調理)(1回) 親子丼ランチ	9	まるごと児童館まつり スイーツデコ（工作）カードゲーム（ゲーム）	326
映画上映会（2回）	35	ミッションをクリアせよ！（不定期開催）	90
合　　計			1,674

(2)　いまいずみ児童館

ア　利用状況　（単位：人）

幼児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中学生 以上	大人	団体	合計	開館日数	1日平均 利用人員
2,767	2,245	2,564	554	3,320	56	11,506	294	39

イ　事業実施状況　（単位：人）

事　業　名	参加人数	事　業　名	参加人数
ママといっしょ（33回）	372	冬休みイベント	9
にこにこたいむ（3回）	61	野菜とお花の花だんづくり	11
おたんじょうび会	48	じどうかんまつり	178
わくわくたいむ（7回）	182	カラオケ練習会（2回）	18
七夕飾り作り（6回）	101	いまいずみONステージ♪	23
県民の日カラオケ	22	豆まき会	28
こいのぼり作り	16	ひな人形作り	22
春休み・夏休み・冬休み工作	52	冬休み・春休みスポーツ大会	19
こどもアトリエ（2回）	36	風船バレー	12
ゆるボク（5回）	45	県民の日卓球大会	18
子育てママの為の引き締めトレーニング（2回）	18	おさるのショー	94
モルック体験会（2回）	22	親子ヨガ（4回）	56
いまいずみ学習スペース	129	避難訓練(2回)	32
長期休みいまいずみ学習スペース	111		
合　　計			1,735

ウ　地域子育て支援センター連携型

利用者数　（単位：人）

区分	乳幼児	保護者	計	開館日数

人数	241	242	483	46 日

活動状況

いまいずみ子育てサロン（いまいずみ児童館内）

・実施曜日　月曜日、火曜日、金曜日

・実施時間　午前 9 時～正午

(3)　そのべ児童館

ア　利用状況　（単位：人）

幼児	小学校 1～3 年	小学校 4～6 年	中学生以上	大人	団体	合計	開館日数	1 日平均利用人員
3,197	597	812	725	3,035	－	8,366	295	28 人

イ　事業実施状況　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
親子ビクス（11 回）	188	おやつ作り楽しいな	15
きねんび☆photo（11 回）	138	敬老の日のプレゼント作り	188
ぺたぺたひろば（12 回）	176	夏野菜と昆虫を作ろう	183
おひさまクラブ	191	楽器を作って遊ぼう	6
おはなしの玉手箱	59	ミニミニ運動会	27
ダンボールを使って遊ぼう	8	ハロウィンの飾りを作ろう	172
こいのぼりを作ろう	162	クリスマス制作	172
親子ふれあい遊び	5	フルートコンサート	29
てるてる坊主を作ろう	119	親子でおやつ作り	17
色で遊ぼう	27	新春福引き	78
七夕飾りを作ろう	170	かわいい鬼に変身	141
子育てハッピーアドバイス	40	ちょうちょと遊ぼう	111
魚の飾りを作ろう	121	おひなさまを作ろう	128
楽しく踊ろう	24	楽しいおひなさま	10
勉強お助け隊	64	ビンゴ大会	64
夏まつり	230	陶芸小物作り	25
合　計			3,088

ウ　地域子育て支援センター連携型

利用者数　（単位：人）

区分	乳幼児	保護者	計	開館日数
人数	840	792	1,632	142 日

活動状況

そのべ子育てサロン（そのべ児童館内）

・実施曜日　月曜日、火曜日、水曜日

・実施時間　午前 9 時～正午

(4)　大平みなみ児童館

ア　利用状況　（単位：人）

幼児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中学生	高校生	大人	合計	開館日数	1日平均 利用人員
1,323	2,119	2,677	1,154	49	2,291	9,613	300	32

イ　事業実施状況　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
幼児クラブ（23回）	349	ハロウィンイベント	270
こどもまつり	338	クリスマスオーナメント作り	108
お花のステッチボード	9	トイレットペーパーで紙すき体験	5
ビールジョッキ風小物入れ	8	ハッピーくじ	84
七夕短冊書き	115	親子フラワーアレンジメント	14
スタディタイム（夏休み自習）	11	カプラであそぼう	16
スーパーボールすくい	55	子どもクッキング（4回）	47
タロット占い	10	避難訓練（12回）	128
合　計			1,567

(5)　大平児童館

ア　利用状況　（単位：人）

幼児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中学生 以上	大人	団体	合計	開館日数	1日平均 利用人員
5,528	1,475	2,332	2,607	5,664	279	17,885	300	60

イ　事業実施状況　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ぱくぱくクッキング（6回）	52	タッチケア（12回）	200
幼児クラブ（43回）	407	バースデーフォト撮影会（11回）	335
わいわい広場（22回）	449	天体観測（14回）	122
イースター工作	77	太陽観測（19回）	287
梅雨の工作	60	ママヨガ（4回）	61
ハロウィン工作	61	こどもフェスティバル	347
ハンドケア（7回）	39	産後のフェムケア矯正（11回）	92
工作あそび（4回）	40	なぞとき	172
ホタル観察会（9回）	135	ながしそうめん	20
ブドウ狩り	72	夏のイラスト企画	232
ビューティーイベント	18	ハッピーひもくじ	102
合　計			3,380

ウ　地域子育て支援センター連携型

利用者数　（単位：人）

区分	乳幼児	保護者	計	開館日数

人数	2,174	1,904	4,078	276 日

活動状況

子育てサロン　てもんのおうち（大平児童館内）

・実施曜日　水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日

・実施時間　午前 9 時～午後 4 時

学童保育係

1　学童保育事業

保護者の就労等により、昼間家庭での保護指導を十分に受けることができない小学生を対象とし、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図ることを目的として実施した。

・公設公営　41クラス

・公設民営　3事業者14クラス

・民設民営　5事業者10クラス

(1)　公設公営学童保育利用者数(令和7年5月1日時点)　　(単位:人)

地域（クラス）	学年 / 学童保育名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
栃木(15)	なかよし第 1（栃木中央小）	21	17	0	0	5	0	43
	なかよし第 2（栃木中央小）	11	15	5	0	2	0	33
	なかよし第 3（栃木中央小）	1	0	19	21	1	2	44
	ひまわり第 1（栃木第三小）	19	10	13	6	7	0	55
	ひまわり第 2（栃木第三小）	0	9	10	9	9	4	41
	しろのうち第 1（栃木第四小）	9	5	10	2	2	1	29
	しろのうち第 2（栃木第四小）	8	8	9	5	1	0	31
	杉の木第 1（栃木第五小）	19	14	15	11	11	1	71
	杉の木第 2（栃木第五小）	12	10	8	6	6	2	44
	のびっこ第 1（南小）	7	12	9	5	3	2	38
	のびっこ第 2（南小）	8	9	7	5	3	3	35
	いとひば第 1（吹上小）	7	13	12	9	1	7	49
	いとひば第 2（吹上小）	8	11	13	4	7	4	47
	えのき（千塚小）	9	11	8	6	7	4	45
	しろやま（皆川城東小）	5	1	6	6	8	6	32
大平(9)	大平中央第 1（大平中央小）	18	17	16	9	0	1	61
	大平中央第 2（大平中央小）	15	16	11	8	0	0	50
	大平南第 1（大平南小）	14	13	6	6	2	1	42
	大平南第 2（大平南小）	13	15	5	8	2	1	44
	大平東第 1（大平東小）	5	8	6	5	5	4	33

	大平東第2（大平東小）	9	5	7	3	4	3	31
	大平西第1（大平西小）	21	17	15	10	0	0	63
	大平西第2（大平西小）	10	14	10	8	0	4	46
	大平西第3（大平西小）	0	0	12	13	16	3	44
藤岡(5)	部屋（部屋小）	2	1	6	1	2	0	12
	藤岡第1（藤岡小）	5	3	7	3	2	1	21
	藤岡第2（藤岡小）	4	4	6	2	0	2	18
	赤麻（赤麻小）	7	5	10	3	1	1	27
	三鴨（三鴨小）	3	4	6	2	2	0	17
都賀(5)	げんきっこ第1（合戦場小）	23	17	13	10	0	1	64
	げんきっこ第2（合戦場小）	12	15	6	7	1	0	41
	さくらんぼ第1（家中小）	8	3	4	7	1	2	25
	さくらんぼ第2（家中小）	5	4	2	7	3	2	23
	キッズ（赤津小）	9	3	4	11	9	2	38
岩舟(7)	岩舟第1（岩舟小）	7	8	8	5	5	3	36
	岩舟第2（岩舟小）	8	8	6	5	6	4	37
	岩舟第3（岩舟小）	8	10	8	3	5	3	37
	静和第1（静和小）	7	6	7	9	8	4	41
	静和第2（静和小）	8	11	8	2	6	1	36
	小野寺北（小野寺小）	0	1	3	2	1	1	8
	小野寺南（小野寺小）	2	6	3	2	5	0	18
	合計	367	359	339	246	159	80	1,550

(2) 公設民営学童保育利用者数(令和7年5月1日時点)　　(単位:人)

地域(クラス)	学年 / 学童保育名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
栃木(11)	スマイルクラブきたA（国府北小）	12	14	7	0	6	0	39
	スマイルクラブきたB（国府北小）	13	14	12	0	0	0	39
	スマイルクラブきたC（国府北小）	0	0	0	19	0	11	30
	スマイルクラブこくちょう（国府南小）	5	7	5	5	1	0	23
	スマイルクラブみなみA（大宮南小）	7	9	5	8	7	9	45
	スマイルクラブみやのこ1（大宮北小）	33	11	0	0	0	0	44
	スマイルクラブみやのこ2（大宮北小）	29	11	0	0	0	0	40
	スマイルクラブみやのこ3（大宮北小）	0	14	16	0	10	0	40
	スマイルクラブみやのこ4（大宮北小）	0	7	19	11	0	2	39
	スマイルクラブみやのこ5（大宮北小）	0	0	0	14	12	8	34
	寺尾学童保育（寺尾小）	4	9	1	10	2	8	34
西方(3)	西方児童クラブ（西方小）	15	2	1	8	7	2	35
	第2西方児童クラブ（西方小）	0	6	15	7	3	8	39

	真名子児童クラブ（真名子小）	3	4	5	1	7	0	20
	合計	121	108	86	83	55	48	501

(3)　民設民営学童保育利用者数(令和 7 年 5 月 1 日時点)　　(単位:人)

地域 (クラス)	学年 学童保育名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
栃木 (7)	3J 学童クラブ	10	7	4	15	3	3	42
	さくら学童クラブ	12	3	16	2	6	2	41
	さくら第 2 学童クラブ	6	15	4	1	12	3	41
	栃木 3J 学童クラブ	13	5	9	2	5	6	40
	栃木さくら学童クラブ	6	4	11	5	5	9	40
	さくら 3J ホール学童クラブ	7	17	6	2	2	8	42
	SES	12	4	8	8	7	2	41
大平 (2)	学童保育フレンド	15	4	4	10	2	0	35
	学童保育ハートキッズ	6	3	2	5	2	2	20
藤岡 (1)	Fuji　Kids　Academy	8	16	9	4	6	2	45
	合計	95	78	73	54	50	37	387

(4)　学童保育施設環境改善

のびっこ第 1 学童、げんきっこ第 2 学童、岩舟第 1 学童、岩舟第 3 学童保育の空調設備について、既存エアコンの老朽化や故障により、学童保育に支障をきたしていることから、空調設備の更新工事を実施した。

(5)　学童保育支援員の資質向上

学童保育支援員の資質向上を図るため、研修会を実施した。

実施日：令和 7 年 11 月 27 日（木）10 時 00 分～11 時 30 分

場　所：とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木市文化会館）小ホール

内　容：演題「発達障がいの子どもの理解と支援」

講師　日光市教育委員会　公認心理士　堀口千恵氏

参加者：支援員等 126 名

第２節　こども家庭センター

〔総括概要〕

こども家庭センターでは、全ての妊産婦、こども、子育て家庭の心身の健康の保持増進を図るとともに、発達支援や児童福祉などに関する包括的な相談支援を行った。

おやこはぐくみ係では、妊娠前から産前産後、乳幼児期における母子保健や子育て支援において、全ての妊産婦、乳幼児、子育て家庭を対象に、健康の保持・増進に関する妊産婦健康診査や乳幼児健康診査などの各種健康診査、両親教室、プレパパ教室、離乳食教室などの健康教育や子育て相談、若年・多胎児家庭交流などの相談・交流事業を実施した。

また、これらの事業や妊娠届出、妊娠8か月、生後2週間、生後2か月などに行われる面談を通じ、子育て家庭の状況や実情を把握するとともに、相談内容やニーズに応じて必要な、産前産後のサポート（産後ケア、産前産後ヘルパー派遣事業など）や子育てサービスの提供を行うなど切れ目ない相談支援を行った。

こどものすだち応援係では、発達の遅れや心の成長に課題を持つこどもたちに対し、医師や心理相談員、言語相談員、保健師等が電話や面談を通して、個人の課題に寄り添いながら支援を実施した。

就学前の児童に対しては、認定こども園、幼稚園、保育園の巡回訪問や５歳児発達相談、乳幼児発達相談等を実施し、発達障がい児等を早期に療育の場に繋げたり、未就学児ことばの教室など、子どもの特性に応じた支援環境の整備を図った。

更に、就学後も支援を継続していくため、学校等を窓口として相談がある保護者に対応し、集団生活や家庭環境に課題を持つ児童の支援を行った。

児童家庭相談係では、こども及びその家庭並びに妊産婦の福祉に関し、実情の把握、情報の提供、相談、調査、指導、関係機関との連絡調整その他の必要な支援を行い、児童虐待の未然防止に努めるとともに、家庭児童相談ヤングケアラー支援及び養育支援家庭訪問において、児童の家族関係の健全化や児童の養育の適正化に努めた。

ひとり親家庭の福祉については、「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に基づき、相談業務等を通してひとり親家庭の抱えている問題を把握し、関係機関と連携し問題解決に努めたほか、経済的支援として母子（父子・寡婦）福祉資金貸付申請の受付等を行った。

また、配偶者等からの暴力による被害者の自立及び支援を行うため、配偶者暴力相談支援センターで、より細やかな相談支援を行えるように努めた。

おやこはぐくみ係

1　こども家庭センター相談窓口関係

(1)　妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠の届出をした妊婦に対し母子健康手帳を交付し、妊娠・出産・育児に関する母子保健サービスの情報提供を行った。安心して妊娠・出産が迎えられるよう専門職の面接を必須とし、リスクアセスメントシートをもとにケースカンファレンスを実施。伴走型支援や経済的支援につなげている。

・母子健康手帳交付状況　（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数				
		妊娠届出	双　胎	紛失等	海外からの転入
641	674	641	8	6	19

・転入の妊産婦　54人

・要支援ケースカンファレンス実施回数　49回

・要支援ケースカンファレンス検討者数　248人

(2)　低体重児の届出・未熟児訪問指導

体重が2,500g未満の児を出産、または妊娠37週より前に早産した場合は、保護者からの届出を受け、児の発育や家庭環境に応じた養育ができるよう、保健師や助産師等による訪問指導を行った。

・届出数　73件

・訪問延べ数　79件

(3)　新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや母親の不安な気持ちに寄り添い不安を少しでも軽減できるよう、保健師や助産師等による訪問指導を行った。

・訪問実数　14件

・訪問延数　23件

(4)　産前産後サポート支援

ア　若年妊産婦支援

10代の若年妊産婦は、出産や育児の情報不足、経済問題、支援の繋がりにくさなど複数の課題を抱えていることが多い。そのため、妊娠中から安全な出産や安心して子育てが出来るよう、電話面接、訪問、個別教室などの支援を実施した。

・支援件数：8件

イ　多胎妊産婦支援事業

身体的リスクが高く、産後における育児等の負担が大きい多胎妊産婦に対し、早い時期から必要な情報を提供するとともに、多胎育児経験者による家庭訪問や交流会を実施し、不安軽減と孤立予防を図った。

・多胎児出産準備教室

実施数：2組

・産後ピア家庭訪問（多胎育児経験者家庭訪問）

訪問回数：産婦3件

・多胎育児家庭交流会

実施回数：3回

参加延べ人数：67人

参加組数：19組

ウ　産前産後ヘルパー派遣事業

多胎妊産婦や日中支援者がいない妊産婦に対し、ヘルパーを派遣し家事や育児の負担軽減を図った。

・利用状況

単胎		双胎	
実人数（人）	延利用回数（回）	実人数（人）	延利用回数（回）
24	354	7	90

(5)　産後ケア事業

産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、産後１年未満で支援を必要とする母子に対し、心身のケア、育児のサポート等を行う産後ケア事業を実施した。

・利用状況

短期入所型		通所型		居宅訪問型	
実人数（人）	延利用回数（回）	実人数（人）	延利用回数（回）	実人数（人）	延利用回数（回）
67	106	79	153	114	238

(6)　健康相談・支援

ア　生後2週間目全戸電話相談

出産を終え、退院後の不安を抱きやすい時期に、子育てや母親の心身等の不安に対して助言指導するために、保健師及び助産師による電話相談を行った。

・対象者数　623人

・実施数　　618人

・実施率　　99.1%

2　妊産婦健康診査事業

(1)　妊産婦健康診査

妊産婦の健康診査の徹底と経済的支援を図るため、1人につき妊婦健康診査14回（多胎妊婦は19回）と産婦健康診査2回の受診票を交付し、妊産婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診票を配付、医療機関に委託して実施）

・妊婦健康診査受診状況　（単位：人）

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
受診者数	625	632	605	601	588	590	585
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目
受診者数	601	588	553	586	463	321	177
回数	15回目	16回目	17回目	18回目	19回目	計	
受診者数	2	1	0	0	0	7,518	

・産婦健康診査受診状況　（単位：人）

回数	1回目 （産後2週間目）	2回目 （産後1か月目）	計
受診者数	610	629	1,239

(2)　妊産婦歯科健康診査

妊産婦を対象に口腔衛生の向上を図るため、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

	対象者数(人)	受診者数（人）
妊婦	641	293
産婦	592	168

3　母子保健事業

(1)　健康診査

ア　乳幼児健康診査

乳幼児の健康増進及び疾病の早期発見を目的に健康診査を実施し、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導を行い、育児不安の軽減を図った。4か月児健診及び9か月児健診では、助産師を配置し、乳房トラブルの対応方法や母乳の与え方等の相談に応じ、1歳6か月児及び3歳児健診では、心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談に応じた。4か月児健診から3歳児健診では、栄養士による離乳食や食事に関する相談を行った。

更に3歳児健診では眼科疾患早期発見のため、屈折検査を実施した。精密検査対象となったのは全体の18.7%であり、うち有所見者は14.3%であった。未受診者については、電話や家庭訪問にて勧奨を行った。

・会　場　栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

(ｱ)　健康診査

区　　分	実施回数 （回）	対象数 （人）	受診数 （人）	受診率 （%）	要観察 （人）	既医療 （人）	要医療 （人）	要精検 （人）
4か月児	34	645	637	98.8	90	35	0	19
9か月児	36	645	631	97.8	112	38	0	38
1歳6か月児	30	672	662	98.5	130	36	1	64
3歳児	35	812	804	99.0	108	25	25	210

(ｲ)　相談・指導　（単位：件）

区　　分	母乳相談	栄養相談	心理相談
4か月児	114	19	－
9か月児	38	182	－
1歳6か月児	－	97	32
3歳児	－	74	135

イ　1か月児健康診査

疾病及び異常を早期に発見し適切な指導を行うことで、その進行を未然に防止するとともに、児のすこやかな成長と子育て家庭を支援することを目的に、１か月児健康診査を行った。

対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）	結果内訳（人）			
			異常なし	要経過観察	要治療	要指導
605	604	99.8	582	19	3	0

※異常なしに記載なし含む

ウ　2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の予防知識の普及とう歯の罹患率減少につなげることを目的に、市内の歯科医院において、2歳児を対象に歯科健康診査及びフッ化物塗布を行った。

	対象数（人）	R6受診数（人）	R7受診数（人）	計	受診率（%）	う歯のある児（人）
R4年度生まれ	798	469	159	628	78.7	18（2.9%）
R5年度生まれ	719	-	417	417	58.0	14（3.4%）

※受診可能期間が2歳の誕生日から1年間のため生まれた年度ごとに集計

エ　6歳児歯科健康診査及び育児相談

歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図ることを目的とし、市内の歯科医院において、6歳児を対象に歯科健康診査及びフッ化物塗布を行った。

	対象数（人）	R6受診数（人）	R7受診数（人）	計	受診率（%）	う歯のある児（人）
H30年度生まれ	1,082	424	127	551	50.9	101（18.3%）
H31年度生まれ	954	-	353	353	37.0	62（17.6%）

※受診可能期間が6歳の誕生日から1年間のため生まれた年度ごとに集計

オ　乳児先天性股関節脱臼検診

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）	結果内訳（人）		
			異常なし	要経過観察	要治療
639	618	96.7	607	10	1

カ　新生児聴覚検査

聴覚障がいを新生児期に発見し、早期に医療及び療育につなげることで適切な言語の取得を促すとともに、成長発達への影響を最小限に抑えることを目的に検査を行った。

対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）	結果内訳（人）	
			異常なし	要精密検査
630	630	100.0	627	3

(2) 健康教育

ア Hello赤ちゃん教室

妊婦とそのパートナーまたは支援者に対して、助産師や栄養士による講話や参加者でグループワークを行った。

・会　場　栃木保健福祉センター

・実施数　9回

・参加者数

参加者（組数）	参加者数（人）	参加人数（人）		
		妊婦	夫	祖父母等
81	148	80	67	1

イ 若年妊産婦交流プログラム

10代の妊婦と、10代で妊娠出産した母親に対して、親子遊びや参加者同士での交流を図った。

・会　場　栃木保健福祉センター

・実施数　1回

・参加者数　母親2人（児同伴）

ウ 妊娠8か月教室

妊娠7か月から9か月の妊婦に対して、助産師や保健師による講話や参加者でグループワークを行った。

・会　場　栃木保健福祉センター、子育て支援センターエンジェル

・実施数　6回

・参加者延べ数　68人

エ プレパパ教室

妊婦の夫またはパートナーに対して、助産師による講話や育児体験、先輩パパによる体験談、離乳食づくり、交流会を行った。

・会　場　栃木保健福祉センター、こどもっちパーク

・実施数　5回

・参加者数

参加者（組数）	参加者数（人）	参加人数（人）		
		妊産婦	夫	祖父母等
46	53	7	46	0

オ プレママカフェ

妊婦に対して、産前・産後の育児不安の軽減等を図るため、保健師や管理栄養士による相談や参加者同士での交流を行った。

・会場　スターバックス倭町店

・実施数　2回

・参加者延べ数　6人

カ 離乳食教室

5～8か月の乳児とその保護者を対象に、離乳食の困り事や不安を軽減するため、講話や個別相談を行った。

・会　　場　栃木保健福祉センター

・実施回数　11回

・参加者延べ数　63組

キ　にこにこ教室

発達や関わり方に悩みのある2歳の子どもを持つ保護者と児を対象に、親子遊び、専門職による発達の見立て、個別相談を行った。

・会　　場　栃木保健福祉センター

・実施回数　22回

・参加者延べ数　106人

ク　思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、小中学生を対象に、性（生）教育の授業協力を行った。また、性別に関わらず若い時から、健康や性に関する正しい知識を持ち、ライフデザイン（妊娠・出産を含めた将来設計）や将来の自分の健康を考えて日々の生活や健康に向き合う取り組みである「プレコンセプションケア」の普及啓発を図った。

・授業協力

対　　象	実施回数（回）	参加人数（人）
		児童・生徒
小　学　校	3	71
中　学　校	12	1155

ケ　だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の配布を行った。

・実施回数　36回（9か月児健康診査時）

・参加者延べ数　633組　※9か月児健診未受診者2名を含む（訪問にて配布）

コ　出前講座

地域住民や施設等からの要望に基づき、幼児期の食事や小児生活習慣病を予防するための健康講話を開催した。

・実施回数　13回

・参加者延べ数　380人

サ　ぴよぴよ交流会

出生数の少ない地域（藤岡地域、都賀地域、西方地域、岩舟地域）に居住する乳児と保護者に対して交流会を開催し、親子の繋がりを築き、子育ての悩みを共有できるよう支援するとともに、地域の子育て情報を提供した。

・会　　場　北部健康福祉センター、都賀公民館、藤岡保健福祉センター
CITY GYM ＆ SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）

・実施回数　6回

・参加者延べ数　41組

(3)　健康相談

ア　子育て広場・あかちゃん交流会～ひよこくらぶ～

乳幼児期の子どもを持つ保護者に対し、育児、栄養、歯科に関する相談及び指導や保育士による親子遊びを行った。今年度より、併せて生後2～4か月の子どもを持つ保護者同士の交流会を開催し、育児不安の軽減や仲間づくりの支援を行った。

・会　　場　栃木保健福祉センター

・実施回数　11回

・参加者延べ数　子育て広場：175組、あかちゃん交流会：126組

イ　のびのび相談

乳幼児健康診査及び相談・家庭訪問等において、発達の問題や強い育児不安が見られた乳幼児期の子どもを持つ保護者に対して、心理相談員が個別相談に応じることで児の健全な発達を促し育児支援を行った。

・会　　場　栃木保健福祉センター

・実施回数　36回

・参加者延べ数　84組

ウ　こんにちは赤ちゃん訪問事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師・看護師が訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、3つの質問票（育児支援チェックリスト、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんへの気持ち質問票）を用いて、母子の心身の状況や養育環境の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービス提供につなげた。

また、県事業である「ようこそ赤ちゃん！支え愛（あい）事業」として、地域全体で子育てを応援する旨のメッセージカードや企業からの協賛品（紙おむつ、トートバック、乳児用麦茶など）を贈呈した。

対象数（件）	実施数（件）	実施率（%）
647	638	98.6

(4)　個別支援

妊娠期から育児に関する様々な悩み等に対応するため、こども家庭センター相談窓口「とちはぐ」及び地区担当保健師等による電話、訪問による個別相談を実施した。また、困難ケースや情報共有が必要なケースに対して、ケース検討会議等で関係機関と連携を行い支援した。

ア　個別相談　（単位：人）

	妊婦	産婦	乳児	幼児	学童以上	その他	計
訪問	53	754	736	52	0	7	1,602
面接	928	708	1,653	1,801	0	0	5,090
電話	304	1,307	190	314	0	0	2,115
計	1,285	2,769	2,579	2,167	0	7	8,807

イ　会議

参加会議　97回（ケース検討会議、児童会議等）

(5)　給付事業

ア　未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下又は生活力が薄弱な未熟児に対し、指定医療機関に委託し、養育に必要な医療の給付を行った。（県からの権限移譲により平成25年度開始）

・給付認定者数　24件

イ　妊婦支援給付金（妊婦のための支援給付）出産・子育て応援ギフト

妊娠期から切れ目ない支援を行うことを目的として、子ども・子育て支援法に創設された「妊婦のための支援給付」と児童福祉法に創設された「妊婦等包括相談支援事業（伴走型相談支援）」を一体的に実施した。経済的支援では、妊娠時に5万円、出産後に胎児1人当たり5万円を支給した。

「妊婦のための支援給付」は、従来の「出産・子育て応援ギフト」に代わり、創設された制度であり、令和7年3月31日までに出生したこどもがいる養育者には、子育て応援ギフトを支給した。

・妊婦支援給付

1回目（件）	2回目（件）
683	584

・ギフト提供者数

出産応援ギフト（件）	子育て応援ギフト（件）
3	117

・伴走型相談支援（妊娠8か月アンケート実施）数

対象者数（件）	回答数（件）	回答率（%）
620	602	97.1

・相談希望数、支援数

相談希望数（件）	延支援数（件）	支援方法（件）			
		電話	面接	訪問	メール
174	155	143	11	1	0

こどものすだち応援係

1　相談支援等業務状況

(1)　心・育ちの相談

心理相談員や言語相談員、保健師、こども支援員等がこどもの発達や心の課題について相談を受け、必要に応じた検査を行い、専門的評価に基づく助言を行った。

面接相談・検査実績　（単位：件）

面接相談	731	訪問相談	116
電話相談	1,494	知能検査	105

オンライン相談	1	言語検査	144

(2)　医療相談

こどもの心や発達に関する様々な相談に医師が応じ継続的な支援を行った。

実施状況

	令和7年度
回数（回）	22
延人数（人）	45

(3)　関係機関への巡回訪問

心理相談員や言語相談員、保健師、こども支援員等が、園や小中学校等への巡回訪問を行い、こどもの発達に合わせた効果的な指導方法について助言を行った。

巡回訪問実績　　（単位：回）

	令和７年度
幼稚園・保育園	49
学童保育	1
小中学校	17
合計	67

(4)　関係機関との連携会議

支援を必要としているこどもに関係する者が、園や学校、病院等で状況の把握、課題の整理、支援方針等を話し合った。

実施状況

	令和７年度
回数（回）	50
関係機関数（箇所）	191
会議出席者数（人）	464

2　啓発活動

障がいの有無にかかわらず全てのこどもが地域の中で豊かに暮らせるよう、保護者や支援者のための研修や市民向けの講座を開催した。

(1)　啓発活動(講演会等講師派遣)

実　施　日	演　題　等	主　催
6月27日(金)	ことばを育てる会	通級指導教室
11月14日(金)	栃木市こども家庭センターについて	スクールサポーターの会
11月28日(金)	地域で行う相談援助および地域連携について	目白大学

(2)　保護者研修(ペアレントトレーニング)

実　施　日	演　題　等	講　師	延べ参加者数（人）

10月6日(月) 10月27日(月) 11月17日(月) 12月1日(月) 12月15日(月)	自分らしく前向きな子育てができるよう、家庭での子どもへの関わり方を学ぶ	明星大学心理学部心理学科 教授　竹内康二氏	33

(3)　支援者専門研修(こども支援スキルアップ研修)

実　施　日	演　題　等	講　師	実参加者数（人）
10月2日（木）	ギフテッドの理解	獨協医科大学 医師　杉田　憲一氏	39
11月8日（火）	こどもの発達障害の特性と理解	目白大学 心理カウンセリング学科 教授　髙橋稔氏	51
12月4日（木）	検査結果を支援に活かすために	宇都宮大学大学院 教育学研究科 准教授　司城紀代美氏	37
1月16日（金）	不登校児への対応	常盤大学人間科学部 心理学科 教授　秋山　邦久氏	32

(4)　市民講座

実　施　日	演　題　等	講　師	実参加者数（人）
9月9日（火）	登校、登園に不安のあるこどもへの対応 ～こどもの命を守るために家庭でできること～	柳川小児科 医師　柳川悦子氏	30
9月17日（水）	こどもの体幹が弱いのはなぜ？ ～遊びながら姿勢の改善～	マロニエ医療福祉専門学校 作業療法士 岡田岳氏	26
10月29日（火）	思春期の性について ～中学生・高校生の性の現状について～	芳賀赤十字病院 医師　木佐美祥氏	11
11月26日（水）	小学生、中学生の悩みごと ～スクールカウンセラーの立場から～	公認心理師 渡邊文子氏	16

3　未就学児ことばの教室

言語発達に課題を持つ未就学児童を対象にことばの指導を行った。

（単位：人）

	実人数	延人数	実施場所
栃木教室	33	757	栃木保健福祉センター
大平教室	9	194	大平健康福祉センター
岩舟教室	5	139	静和地区公民館
合　計	47	1,090	

4　こどもサポートクラブ

こどもサポーターの協力のもと、地域での仲間づくりや社会性の伸長を目的としたクラブ活動を行った。発達特徴に合わせた支援を行うため専門員も参加した。

	回数（回）	延参加人数（人）	実施場所
ミュージック	8	33	きららの杜蔵の街楽習館 栃木保健福祉センター
クリニカルアート	8	71	きららの杜蔵の街楽習館 栃木保健福祉センター
フットサル	8	37	アルレクスパークとちぎ （屋内運動場）
合　　計	24	141	

5　乳幼児発達相談（二次健診）

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達の遅れが疑われた児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者へ育児支援を行った。

・会　場　栃木保健福祉センター

開催回数（回）	受診児数（人）			結果内訳（人）		
	初診	継続	計	今回のみ指導	再診	要治療・要精検
16	63	0	63	50	1	12

6　5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい高機能自閉症等の発達障がいの早期発見及び支援を行うことにより、幼児の健全育成を図るため、年中児を対象に、市内認定こども園、保育園及び保健福祉センター等において発達相談を行った。

・実施状況　（単位：人）

受診者数	結　果　内　訳				
	異常なし	要観察	既医療・既療育	要精密検査	療育機関等紹介
876	579	142	47	7	101

児童家庭相談係

1　児童福祉関係

(1)　家庭児童相談室

家庭における適正な児童養育その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭相談員4人により各種の相談指導を行った。また、ヤングケアラー・コーディネーター1名による啓発活動と児童の状況把握や相談支援を行った。

相談区分別相談指導件数及び訪問回数

	養護相談		保健相談	障害相談	非行	育成相談				その他	合計（件）	訪問回数（回）
	虐待	その他				性格行動	不登校	適性相談	育児・しつけ			
合計	3,932	19	－	－	－	－	－	14	－	166	4,131	162

ヤングケアラー対応人数　18人

ヤングケアラー・コーディネーター対応件数　延べ535件

(2)　養育支援家庭訪問事業

児童虐待防止対策として養育支援家庭訪問事業支援員2人を配置し、児童の養育力不足のため支援を要する家庭に対し、家庭訪問等による育児・家事の援助を行った。

ケース区分別訪問回数及び対応ケース数

	養育者の諸問題	虐待関係	家庭養育上の問題	施設等からの家庭復帰	心身上の諸問題	合計（回）	対応ケース数（件）
合計	152	7	10	4	－	173	121

(3)　子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者が疾病、疲労などで身体上、精神上または環境上の理由により児童の養育が一時的に困難になった場合に、乳児院・児童養護施設や里親宅など児童の保護を適切に行うことができる施設などに児童の養育、保護を委託し、家庭での子育て支援を行った。

・利用状況

乳児院		児童養護施設		里親宅		合計	
利用者数（人）	利用日数（日）	利用者数（人）	利用日数（日）	利用者数（人）	利用日数（日）	利用者数（人）	利用日数（日）
6	30	13	44	2	16	21	90

2　ひとり親家庭福祉関係

(1)　母子寡婦福祉資金貸付申請状況

種　　類	件　数（件）	金　額（円）
就　学　支　度　資　金	1	408,000
合　　計	1	408,000

(2)　母子家庭自立支援給付金及び父子家庭自立支援給付金事業

種　　類	件　数（件）	金　額（円）
自立支援教育訓練給付金	0	0
高等職業訓練促進給付金等事業	5	5,973,000
合　　計	5	5,973,000

(3)　ひとり親家庭養育費確保支援補助金

種　　類	件　数（件）	金　額（円）
公正証書等作成経費補助	8	177,130
養育費保証経費補助	0	0
合　　計	8	177,130

3　配偶者暴力相談支援センター関係

相談、証明書等発行状況

相談 人数	来所 延件数	電話 延件数	訪問 延件数	証明書等発行件数
171 人	130 件	416 件	14 件	住/意見 17 件　保/年 0 件 来 0 件　意見提出 1 件

※ 住/意見 … 「住民基本台帳事務における支援措置申出書」に対する意見
保/年 … 健康保険、年金に係る証明書
来 … 来所相談証明書
意見提出 … 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律第 14 条第 2 項に基づき裁判所から意見提出を求められた件数

4　こども食堂関係

市内で実施するこども食堂の開催にあたり、ホームページ等での周知広報、寄附の受入調整、市有施設の利用料減免や、子ども食堂開設運営補助金の支給等の支援を行った。

子ども食堂開設運営補助金の支給実績

支給団体数	金　額（円）
8 団体	688,000

第３節　保育課

〔総括概要〕

保育管理係では、保育所等において園児及び保育士等が安心して過ごすことができる環境を常に確保するため、法令等を遵守し、各園と連携を密にし、安全安心な保育所等の体制整備に努めた。

保育所の整備については、公立保育園等の長寿命化を図るため、大規模改修工事等を実施した。

入園支援係では、保護者が就労等の事由により家庭で保育することができない場合に、保育所へ預けるための入所手続及び保育料等に関する相談業務を行った。

保育所・認定こども園・小規模保育事業所では、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、延長保育事業、一時預かり事業を実施した。更に特別支援保育事業、休日保育事業等の特別保育を実施し、児童福祉の向上と保育の充実を図った。

保育管理係

1　保育所等整備

令和2年3月に策定した「栃木市保育所等整備基本方針」に基づき、いまいずみ保育園については、令和3年度に選定した事業者の整備計画により施設整備を実施していたが、令和6年度で終了し、解体工事を令和7年度に施工した。

また、令和8年度の栃木市都賀よつば保育園の屋根や外壁の改修工事に向け、設計業務を委託した。

2　保育所第三者評価の実施

公立保育所の提供するサービスの質の向上と、利用者の選択支援のため、保育所及び利用者以外の公正・中立な第三者機関による専門的かつ客観的立場からの評価を行った。

・実施園　くらのまち保育園
　　おおつか保育園

3　幼保小連絡協議会交付金交付事業

保育園、認定こども園及び小学校間の情報交換や授業交流等を推進し、園児や児童の実態や教育、保育内容等についての相互理解を深め、また教職員の資質向上を図り、連携を強化することを目的とする協議会の活動に対する交付金を活用しながら、研修会を実施した。

・5月29日　　第1回研修会
・10月24日　　第2回研修会

4　施設運営全般(公立)

(1)　施設運営上の目標

・幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
・幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
・保育内容の充実と技術の向上
・安全対策と緊急時の対応
・地域における子育て支援

(2) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区 分	回 数	実 施 月	対 応
健康診断	2	5月・10月	結果を保護者に連絡
歯科検診	2	6月・10月	結果を保護者に連絡

イ 検便等の実施状況

区 分	回 数	実 施 月	対 応
尿検査	2	5月・10月	結果を保護者に連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ｱ) 観察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察し、保護者から家庭での状況を聴取して対応。

(ｲ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置。

(ｳ) 伝染病の発生と管理

・流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応。
・保護者に掲示等で流行の周知。

(3) 児童保育の内容

ア 保育目標

・心身ともに健康な子ども
・自分で考え行動する子ども
・喜んで話したり聞いたりする子ども
・人とのかかわりの中で相手を思いやる子ども
・豊かな感性を持つ子ども
・地域の中で育つ子ども

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年齢別に年間計画、月案、週案及び日案の計画を立てた。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主 な 行 事
4月		入園式
5月	こどもの日	園外保育
6月	歯の衛生週間、時の記念日	保育参観

7月	七夕祭り	納涼祭
8月	お盆	
9月	防災の日、敬老の日、秋分の日	お月見会
10月	体育の日	運動会
11月	文化の日、勤労感謝の日	
12月	師走	保育参観
1月	お正月	新年のつどい、凧揚げ
2月	節分	なわとび大会
3月	ひなまつり	お別れ遠足、お別れ会、卒園式

※その他、毎月誕生児の誕生会を催した。

エ　特別支援保育の状況

・特別支援保育対象児童数　（単位：人）

施設名	人数	施設名	人数	施設名	人数
くらのまち保育園	4	大平西保育園	2	都賀よつば保育園	3
おおつか保育園	6	大平南第1保育園	6	認定西方なかよしこども園	12
はこのもり保育園	5	藤岡はーとらんど保育園	5	いわふね保育園	16
				合計	59

・保育方法　混合保育で実施

(4)　防災対策の状況

ア　設備、遊具等の整備点検

イ　避難訓練

ウ　安全のための実施訓練

事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的に実施

エ　災害時対応マニュアルの確認

(5)　給食実施状況

ア　予定献立の作成

献立は、管理栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定した。

イ　給食構成

種類	区分		給食構成
公立保育園	3歳未満児		主食、副食、おやつ（完全給食）
	3歳以上児		主食（木曜日のみ）、副食、おやつ
認定西方なかよしこども園	3歳未満児		主食、副食、おやつ（完全給食）
	3歳以上児	保育園	主食、副食、おやつ（完全給食）
		幼稚園	主食、副食（完全給食）

入園支援係

1　幼児教育・保育の無償化に伴う副食費の減免実施

幼児教育・保育の無償化後に実費徴収となる副食費については、市独自の減免拡充を行い、保護者負担の軽減に努めた。

2　幼稚園等第三子以降支援特別補助金

第三子以降が幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担を軽減するため、保育料の一部を補助した。

・交付児童　8人
・交付額　895,000円

3　幼稚園等教育助成補助事業

市内の私立認定こども園に対し、幼児教育振興のために交付する補助金。

・交付園　16園
・交付額　300,000円×16園＝4,800,000円

4　幼稚園等子育て支援事業費補助事業

市内の私立認定こども園に対し、子育て支援事業拡充のために交付する補助金。

・交付園　16園
・交付額　500,000円×16園＝8,000,000円

5　幼稚園等児童災害共済等加入費補助事業

市内の私立保育園、認定こども園、小規模保育事業所に入園する就学前児童の事故等への適切な対応や安心安全な教育・保育環境の確立を図るため、災害共済又は賠償責任保険の加入費に対し交付する補助金。

・交付園　25園
・交付額　1,160,695円

6　幼稚園等療育支援補助事業

私立保育園、認定こども園及び小規模保育施設における発達に課題がある幼児の教育の増進を図るため、当該幼児を受け入れる私立保育園、認定こども園及び小規模保育施設に対し交付する補助金。

・交付園　16園
・交付額　500,000円×16園＝8,000,000円

7　保育所・認定こども園・小規模保育事業所

保育所・認定こども園(保育部分)・小規模保育事業所は、児童福祉法に基づき保育を必要とする乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾

病等の事由により、家庭において児童を保育することができない保護者に代わり保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

また、家庭環境の変化に対応し、子育て家庭を支援するため、乳幼児の入園や保育料等に関する相談等を行った。

(1) 入所状況

ア 年齢別児童数（3月1日現在） （単位：人）

区分	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	合計
保育所	くらのまち保育園	13	15	16	18	44	106
	おおつか保育園	4	10	10	9	23	56
	はこのもり保育園	12	15	20	26	58	150
	大平西保育園	5	11	13	15	21	65
	大平南第1保育園	3	3	6	3	12	27
	藤岡はーとらんど保育園	5	6	6	9	22	48
	都賀よつば保育園	6	18	21	24	48	125
	いわふね保育園	9	12	13	16	32	82
	アイ・スマイル	12	12	24	24	41	113
	さくら第2保育園	11	39	0	0	0	50
	けやき保育園	18	26	27	30	60	161
	大平中央保育園	9	18	18	20	40	105
	ひかり保育園	7	11	12	13	30	73
	フォレストキッズ保育園	11	19	19	22	45	116
	すみれ保育園	7	6	12	13	20	58
	市外委託	3	4	4	7	13	31
認定こども園（保育部分）	認定西方なかよしこども園	8	10	13	15	32	78
	認定こども園アルス幼稚園	9	9	14	15	42	89
	認定こども園アルスみなみ幼稚園	2	7	10	11	31	61
	認定こども園おおみや幼児教育センター	6	18	17	14	36	91
	認定こども園國學院大學栃木二杉幼稚園	4	6	13	12	21	56
	さくら学園SEI認定こども園	0	8	13	13	26	60
	認定こども園さくら	11	0	43	57	105	216
	認定こども園栃木幼稚園	4	5	5	5	10	29
	認定こども園ひらかわ幼稚園	3	6	5	11	19	44
	認定こども園吹上幼稚園	5	12	18	16	35	86
	認定こども園若葉幼稚園	3	5	7	6	13	34
	認定こども園おおひらふじ幼稚園	9	11	20	19	34	93

	認定こども園大平みなみ幼稚園	12	23	20	23	33	111
	幼保連携型認定こども園バンビ幼稚園	7	6	11	12	32	68
	認定こども園ふじおか幼稚園	11	13	12	25	43	104
	認定こども園都賀幼稚園	3	4	13	13	29	62
	認定こども園岩舟幼稚園	6	12	18	17	22	75
	認定こども園しずわでら幼稚園	19	19	33	30	73	174
	市　外　委　託	1	7	8	6	10	32
小規模保育事業所	ちびっこランドイオン栃木園	4	6	7	－	－	17
	きらら保育園栃木大宮	6	8	7	－	－	21
	う　ず　ま　保　育　園	7	6	5	－	－	18
	とちぎメリーランド保育園	5	4	6	－	－	15
	市　外　委　託	1	1	0	－	－	2
合　計		281	431	539	569	1,155	2,975

イ　副食費免除の状況（3月1日現在）　（単位：人）

区分	免除なし	公的免除	独自免除	合計
令和７年度	1,945	426	376	2,747
令和６年度	1,888	660	402	2,950
令和５年度	2,143	559	417	3,119

※公的免除：国基準による免除対象者数

※独自免除：市基準による免除対象者数

※他市町からの受託者については、在住地算定区分のため含まない。

(2)　延長保育の状況　（単位：人）

年度	標準時間認定児童 延べ利用人数	短時間認定児童 延べ利用人数
令和7年度	10,665	20,770
令和6年度	11,391	21,254
令和5年度	45,783	34,728

(3)　一時預かりの状況　（単位：人）

年度	一般型 延べ利用者数	幼稚園型 延べ利用者数	余裕活用型 延べ利用者数
令和7年度	3,983	25,042	130
令和6年度	4,042	30,493	49
令和5年度	5,194	31,783	99

(4)　休日保育の状況　（単位：人）

実施施設名	延べ利用者数

認定こども園さくら	209

(5) 病児保育事業　　（単位：人）

実施施設名	病児対応型 延べ利用者数	病後児対応型 延べ利用者数	体調不良児対応型 延べ利用者数
アイ・スマイル	57	81	
フォレストキッズ保育園	208		
認定こども園さくら		12	
けやき保育園			542
とちぎメリーランド保育園			207

(6) 特別保育科目設定実施事業

ア　世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

イ　異年齢児交流事業

入園前の乳幼児とその保護者を対象に、保育園児との交流を通し、遊びの楽しさや育児についてお互いに学びあえる場を設けた。

ウ　子育て・仕事両立支援

乳幼児をもつ保護者等に対し育児講座の開催や育児に関する情報提供等を行った。

（単位：回）

区分	実施施設名	実施回数		
		ア	イ	ウ
保育所	くらのまち保育園	2	－	1
	おおつか保育園	－	－	－
	はこのもり保育園	－	1	－
	大平西保育園	1	1	1
	大平南第1保育園	－	1	1
	藤岡はーとらんど保育園	1	1	1
	都賀よつば保育園	－	－	1
	いわふね保育園	1	3	1
	さくら第2保育園	12	12	12
	けやき保育園	3	3	3
	アイ・スマイル	－	－	－
	大平中央保育園	－	－	9
	ひかり保育園	－	－	－
	フォレストキッズ保育園	5	3	12
	すみれ保育園	1	1	1

認定こども園（保育部分）	認定西方なかよしこども園	－	－	2
	認定こども園アルス幼稚園	1	15	15
	認定こども園アルスみなみ幼稚園	－	9	9
	認定こども園おおみや幼児教育センター	23	－	12
	認定こども園國學院大學栃木二杉幼稚園	1	14	1
	認定こども園さくら	12	12	12
	さくら学園ＳＥＩ認定こども園	5	2	2
	認定こども園栃木幼稚園	1	69	72
	認定こども園ひらかわ幼稚園	22	22	－
	認定こども園吹上幼稚園	－	－	－
	認定こども園若葉幼稚園	1	66	67
	認定こども園おおひらふじ幼稚園	3	3	32
	認定こども園大平みなみ幼稚園	2	3	－
	幼保連携型認定こども園バンビ幼稚園	4	36	45
	認定こども園ふじおか幼稚園	3	33	55
	認定こども園都賀幼稚園	1	－	－
	認定こども園岩舟幼稚園	3	5	1
	認定こども園しずわでら幼稚園	－	34	13
小規模保育事業所	ちびっこランドイオン栃木園	2	－	－
	きらら保育園栃木大宮	－	－	－
	うずま保育園	1	－	1
	とちぎメリーランド保育園	1	1	－
合計		112	350	382

8　子育てのための施設等利用給付費

・1号認定児童・・・　0名

・2号認定児童・・・157名　預かり保育利用　154名

認可外保育施設利用 2名

一時預かり事業利用 1名

・3号認定児童・・・　2名　認可外保育施設利用 1名

一時預かり事業利用 1名

第７章　産業振興部

第１節　商工振興課

〔総括概要〕

令和７年度における国内経済は、緩やかな回復基調が続く一方で物価上昇や人手不足の長期化、エネルギー価格の変動、円安の進行、さらには米国の関税政策や国際情勢の不安定化などの影響を受け、依然として混迷な状況が続いた。

特に、中東情勢の緊迫化は、世界的な原油の供給不安をもたらし、天然資源や重要物資の多くを海外に依存する日本は、企業活動や家計に大きな影響を及ぼしており、今後の景気動向についても先行き不透明感が高まっている。

地域の中小・小規模企業に目を向けると、原材料価格の高止まり、人材不足の深刻化、価格転嫁の難しさに加え、ＤＸ化・ＧＸ化への対応、さらには消費者ニーズの多様化や商圏の変化への対応も求められており、多岐にわたる経営課題に直面している。

このような中、本市では「栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョン」に掲げた中小企業・小規模企業の持続的な発展に効果的な施策の推進に取り組むとともに、市制度融資の利子補給や、市独自の補助金となる「原油価格高騰対策運送事業者等支援補助金」を交付するなど、物価高により多大な影響を受けた市内の中小企業等の事業継続・経営安定を積極的に支援した。

また、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施し、物価高騰による売上減少と個人消費の低迷による影響を受け、厳しい経営状況が続いている市内事業者を支援し、売上増による地域経済の活性化及びキャッシュレス化の普及促進を推進した。

創業支援については、市制度融資により、新たに創業する方の資金調達を支援するとともに、「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト」を開催し、事業化へ向けた支援に努めた。

工業振興施策については、中小企業等が設備投資を通じて労働生産性の向上を図るための「先端設備等導入計画」の認定を行い、税制支援などの支援措置による生産性向上の推進に努めるとともに、中小企業者の新たな開発意欲の向上及び開発費負担の軽減を図り、地域産業の活性化に資するための補助事業を実施した。

また、砂利採取法に基づく認可事務を行うとともに、監視員による定期的な監視活動を実施し、採石場等における事故防止や環境保全に努めた。

労働施策については、勤労者福祉施設の管理運営事業、勤労者への福利厚生の充実を目的とする勤労者福祉サービスセンターの管理運営支援を実施したほか、働き方改革講演会を開催し、働きやすい職場づくりの推進に努めた。

商工振興係

1　商業の振興

(1)　栃木市の産業と物産展

本市の産業の発展と物産の普及促進を目的として、本市の誇る生産品や物産品等を広く紹介する第45回栃木市の産業と物産展を商工会議所との共催で開催した。

・実施日　　10月18日(土)、19日(日)
　　(第23回蔵の街ふるさとまつり・第8回とちぎ蚤の市と同時開催)
・場　所　　蔵の街第一駐車場・倭町小江戸ひろば
・出店数　　25事業所

(2)　商工団体の育成及び助成

商工会議所、各商工会、商店会連合会、たばこ組合、青色申告会等の諸事業に助成を行った。

・助成実施状況　　(単位：円)

名　　称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
栃木商工会議所事業費補助金	346,381,422	6,000,000	中心市街地活性化の促進等
大平町商工会事業費補助金	62,523,628	8,000,000	商工会事業助成
藤岡町商工会事業費補助金	54,404,418	5,500,000	商工会事業助成
都賀町商工会事業費補助金	66,909,200	5,800,000	商工会事業助成
西方商工会事業費補助金	31,385,186	4,000,000	商工会事業助成
岩舟町商工会事業費補助金	56,780,647	7,000,000	商工会事業助成
栃木市商店会連合会事業補助金	3,407,529	1,500,000	商店街近代化対策の実施　等
20歳未満の者の喫煙防止事業補助金	473,928 414,923	180,000 116,000	20歳未満の喫煙防止対策等 (栃木市たばこ組合) (鹿沼たばこ販売協同組合)
青色申告推進事業補助金	1,375,227	30,000	青色申告制度の普及推進
合　　計	624,056,108	38,126,000	

(3)　大規模小売店舗立地法

大規模小売店舗立地法に基づき提出された企業の届出に対し、届出書の縦覧、庁内連絡会議による意見の集約等を実施した。

届出区分	件数（件）
法第5条第1項（新設に関する届出等）	4
法第6条第1項（変更の届出〔形式的変更〕）	5
法第6条第2項（変更の届出〔実質的変更〕）	1
法第8条第4項（市意見）	0
法第11条第3項（承継）	1

(4)　中心市街地活性化

中心市街地の活性化を図るため「商業の活性化」と「市街地の賑わい出し」等を柱とした各種施策を展開した。特に、市役所周辺の市中心部等をより活気あるものにし

ようと、次の事業を推進及び支援した。

ア　中心市街地活性化支援

栃木商工会議所と大平町商工会が事業主体の中心市街地活性化や賑わいの創出のための各事業への支援を行った。

名　　称	補助額	備考
中心市街地活性化支援事業	1,500,000円	事業費助成 （栃木商工会議所事業費補助金の一部）
産業振興活動支援事業 （富田地区中心市街地商業振興）	200,000円	事業費助成

イ　中心市街地イベント等の推進及び支援

事業名	実施日	会場
第28回小江戸とちぎ 人形まつり	5月4日(日)・5日(月・祝)	山車会館前広場
第19回県民の日イベント 「県名発祥の地　十千木縁日」	6月15日(日)	山車会館前広場
第19回あそ雛まつり	2月21日(土) ～3月3日(火)	蔵の街大通り周辺

ウ　空き店舗活用促進事業

新規開業者や中小企業者が対象区域内の空き店舗において開業する際に、店舗改装費の一部を補助し、開業及び商店街活性化のための支援を行った。

・対象事業　　小売業、飲食業及びサービス業（風俗業及び遊戯業等は除く。）
・対象区域　　主に栃木市立地適正化計画で定める各地域における都市機能誘導区域内の商業地域及び近隣商業地域等
・補助内容　　店舗改装費の2分の1以内（限度額150万円）
・実　　績　　新規開業：2件

(5)　キャッシュレス決済ポイント還元事業

物価高騰による売上減少と個人消費の低迷による影響を受け、厳しい経営状況が続いている市内事業者を支援し、売上増による地域経済の活性化及びキャッシュレス化の促進のための事業を行った。

・キャンペーン期間：10月1日（水）～11月30日（日）
・参加店舗数：3,160店
・ポイント還元率：決済金額の20%（対象の4決済サービス共通）
・ポイント還元上限：1,000円相当/回、5,000円相当/期間
（1決裁サービス事業者あたり）
・実　　績：744,955,559円の決済額に対し、111,220,223円のポイント還元を実施

(6)　先端設備等導入計画に基づく認定事務

生産性向上特別措置法に基づく「導入促進基本計画」を平成30年7月に策定し、

市内中小企業が税制支援などの支援措置を受けることができる「先端設備等導入計画」の認定事務を行った。

産業競争力強化法の一部を改正する等の法律の施行により、生産性向上特別措置法が廃止され、先端設備等導入制度関係の規定が中小企業等経営強化法に移管された。

・実　　績　　新規認定　13 件
　　変更認定　　1 件

2　工業の振興

(1)　工場立地法に基づく届出の受理業務

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合について審査・指導した。

なお、工場用地の効率的な活用及び企業立地の促進を図るため、国で公表した準則に代えて適用できる「栃木市工場立地法に基づく準則を定める条例」を制定し、緑地面積率等を緩和している。

・届出件数　　（単位：件）

新　設	変　更	廃　止	承　継	名義変更	計
2	3	2	－	1	8

(2)　砂利採取法・採石法に基づく業務

ア　砂利採取計画認可事務

砂利採取に伴う災害発生の未然防止を図るため、砂利採取法に基づく砂利採取計画の認可事務を進めた。

・認可件数　　（単位：件）

山砂利	陸砂利	洗浄施設	計
－	4	1	5

イ　陸砂利採石監視業務

砂利・岩石採取に伴う採取地及び周辺地域における事故・不正採取の未然防止を図るため、公益社団法人栃木市シルバー人材センターに監視業務を委託し、2 名の監視員による巡回監視を実施した。

・活動実績　　（単位：件）

区　　分	箇所数
砂利採取法に基づく認可地(砂利採取場)	10
砂利採取法に基づく認可地(洗浄施設)	4
採石法に基づく認可地	14

(3)　大光寺工業団地管理事業

大光寺工業団地内施設（道路、調整池等）の維持や、工場排水等による事故を未然に防止するため、団地内の見回り及び管理業務等を実施した。

ア　大光寺工業団地の概要

総面積：15.2ha、分譲完了：昭和 63 年 9 月

立地企業名（事業所名）	本社住所	工場所在地	製造品名

トヨタホーム（株）栃木事業所	名古屋市東区泉 1-23-22	大光寺町 3487-1	鉄骨系住宅
（株）ムトウユニパック栃木工場	江東区永代 1-7-12	大光寺町 1313-1	和・洋封筒
旭化学合成（株）栃木工場	板橋区小豆沢 1-12-15	大光寺町 3487-8	合成接着剤

イ　大光寺工業団地内施設維持管理業務

(ｱ)　除草業務

公益社団法人栃木市シルバー人材センターへの委託により工業団地進入路及び調整池の草刈りを実施した。

・草刈り　　6月、9月

(4)　栃木市企業連絡協議会

栃木市内既存企業の定着を促進し、更なる産業集積の一助とするため、また、市と企業、企業同士の業種間の情報交換及び各種連携の場のひとつとして、市内で製造業を営む企業等で本会を設置している。

・会員企業　　（単位：事業所）

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合計
21	8	3	5	5	2	44

(5)　栃木市フードバレー構想の推進

本市の誇る「豊かな農畜産物」や「多様な食品関連企業の立地」など、恵まれた「食」に関する地域資源を活用した産業振興を図るため、令和3年12月に「栃木市フードバレー構想」を策定し、令和4年5月に市内の食品関連企業24社と栃木商工会議所等の支援機関により構成される「栃木市フードバレー協議会」を設立した。

・会員企業数：22社(3月31日現在)

3　栃木市大平まちづくり交流センター（プラッツおおひら）の管理運営事業

大平地域の中心市街地に賑わいと活力を創出するためのまちづくり拠点施設として設置した、栃木市大平まちづくり交流センター（プラッツおおひら）の管理運営を指定管理者制度により、株式会社大高商事に委託した。

(1)　まちづくり交流センター利用者総数

営業日数　　308日

利用者数　　86,845人

1日平均　　281人

(2)　まちづくり交流センター施設利用状況

区　　分	使用時間(時間)	利用者数(人)
多目的ルームＡ	183	818
多目的ルームＢ	919	1,528
遮音スタジオ	626	594
交流サロン	107	408

中小企業支援係

1　金融支援

(1)　市制度融資

ア　中小企業向け資金

市が金融機関に預託金を預け、融資限度額及び貸付利率等の融資条件を定めた信用保証協会の保証付融資を設けることで、中小企業者及び小規模企業者の資金繰りの円滑化を支援した。

中小企業向け資金融資預託金（中小企業設備合理化資金、中小企業経営安定資金、小規模企業者資金）として17億5,900万円、中小企業緊急景気対策特別資金融資預託金として2億1,300万円、中小企業創業資金融資預託金として3,600万円を、それぞれ栃木県信用保証協会を介して取扱金融機関に預託し、融資の利用促進を図った。

(ｱ)　中小企業設備合理化資金

中小企業者の設備の合理化を支援するための設備資金。

・融資限度額　　2,000万円
・返済期間　　10年以内（据置き6か月以内）
・年利　　1.6％（5年以内）
　　1.9％（7年以内）
　　2.1％（10年以内）
・協調倍率　　3倍
・融資状況

令和7年度		令和6年度		令和5年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
37件	317,460千円	35件	246,300千円	20件	151,390千円

(ｲ)　中小企業経営安定資金

中小企業者の経営の安定化を支援するための運転資金。

・融資限度額　　2,000万円
・返済期間　　7年以内（据置き6か月以内）
・年利　　1.4％（3年以内）
　　1.6％（5年以内）
　　1.8％（7年以内）
・協調倍率　　3倍
・融資状況

令和7年度		令和6年度		令和5年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
380件	3,790,507千円	327件	2,717,250千円	251件	2,088,507千円

(ｳ)　小規模企業者資金

特に資金供給が行われにくい小規模企業者の資金調達を支援するための設備資

金及び運転資金。

・融資限度額　1,250 万円
・返 済 期 間　5 年以内（据置き 6 か月以内）
・年　　利　1.4 ％（3 年以内）
　　1.6 ％（5 年以内）
・協 調 倍 率　3 倍
・融 資 状 況

令和 7 年度		令和 6 年度		令和 5 年度	
件 数	金　　額	件 数	金　　額	件 数	金　　額
59 件	162,780 千円	53 件	165,900 千円	34 件	113,600 千円

(ｴ)　中小企業緊急景気対策特別資金

売上の減少（新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少を含む）が生じている中小企業者、取引金融機関の破綻、合併等により資金面から経営上の支障を来している中小企業者の資金調達を支援するための運転資金。

・融資限度額　売上の減少　1,000 万円
　　取引金融機関破綻、合併等　1,000 万円
・返 済 期 間　5 年以内（1 年超の場合に据置き 6 か月以内）
・年　　利　1.0 ％（1 年以内）
　　1.1 ％（3 年以内）
　　1.3 ％（5 年以内）
・協 調 倍 率　3 倍
・融 資 状 況

令和 7 年度		令和 6 年度		令和 5 年度	
件 数	金　　額	件 数	金　　額	件 数	金　　額
15 件	130,000 千円	15 件	122,100 千円	16 件	102,000 千円

(ｵ)　中小企業創業資金

市内で新たに創業する者や事業転換を行う中小企業者の資金調達を支援するための設備資金及び運転資金。

・融資限度額　500 万円
・返 済 期 間　5 年以内（1 年超の場合に据置き 6 か月以内）
・年　　利　1.6 ％（申込人（法人の場合は代表者）が女性又は若者（融資実行時の年齢が 40 歳未満）である場合は、0.2%引下げ）
・協 調 倍 率　2 倍
・融 資 状 況

令和 7 年度		令和 6 年度		令和 5 年度	
件 数	金　　額	件 数	金　　額	件 数	金　　額
8 件	30,000 千円	6 件	23,200 千円	9 件	33,200 千円

イ　勤労者向け資金融資

勤労者住宅資金の取扱金融機関である中央労働金庫栃木支店に対し、令和 7 年 3

月末時点の債務残高の補填として 30 万円を預託金として預けた。

(ｱ) 勤労者住宅資金

市内在住の中小企業勤労者に、住宅用土地建物購入資金を貸付け、住宅取得促進を図るため、平成 29 年度まで融資申込み受付を実施していたが、市中金利の低下等により、勤労者住宅資金の需要がなくなり、平成 30 年度以降は新規受付を終了した。現在は、償還中の勤労者の債務残高に対し、中央労働金庫栃木支店へ預託金を預けている。

・融資限度額　2,000 万円
・返 済 期 間　35 年以内
・年　　利　2.5 %（平成 29 年度）
・協 調 倍 率　3 倍

(2) 中小企業向け資金融資信用保証料補助金

市制度融資（中小企業向け資金）の利用者が栃木県信用保証協会に支払う信用保証料を当該年度に全額補助し、負担を軽減すると共に、市制度融資利用促進を図った。

区　分	令和 7 年度		令和 6 年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
設備合理化	37	9,171,468	35	5,846,889
経営安定	380	72,805,098	327	53,672,656
小規模企業者	59	3,844,205	53	3,413,516
緊急景気対策	15	2,290,109	15	1,418,074
創業	8	651,953	6	463,409
合　計	499	88,762,833	436	64,814,544

(3) 経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定・危機関連保証認定

取引先の再生手続等の申請や事業活動の制限、災害、取引金融機関の破綻、大規模な経済危機等による信用の収縮等により経営の安定に支障を生じている中小企業者に対して、中小企業信用保険法第 2 条第 5 項の規定に基づく認定を行った。また、災害等の危機時に、全国・全業種を対象として中小企業信用保険法第 2 条第 6 項の規定に基づく認定を行った。

・認定状況　（単位：件）

保険法	適用事項	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
第 5 項第 1 号	連鎖倒産防止	－	－	－
第 5 項第 2 号	取引先企業のリストラ等の事業活動の制限	－	－	－
第 5 項第 3 号	突発的災害（事故等）	－	－	－
第 5 項第 4 号	突発的災害（自然災害等）	－	25	38
第 5 項第 5 号	業況の悪化している業種	7	26	19
第 5 項第 6 号	取引金融機関の破綻	－	－	－

第5項第7号	金融機関の経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整	－	－	－
第5項第8号	金融機関の整理回収機構に対する貸付債権の譲渡	－	－	－
第6項	危機関連保証	－	－	－
合　　計		7	51	57

(4)　小規模事業者経営改善資金融資制度利子補助金

(株)日本政策金融公庫の「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」を利用した小規模事業者の借入れ当初の負担軽減と経営の安定化を図るため、当該融資に係る利子の一部を補助した。

・補助対象融資：令和5年2月以降に実行した融資
・補 助 率：返済利子の2分の1
・支援年限：融資実行後2年間
・補助上限額：8万円
・補助金交付実績

令和7年度		令和6年度		令和5年度	
件 数	金　　額	件 数	金　　額	件 数	金　　額
124件	2,551,000円	108件	1,477,300円	68件	642,600円

(5)　新型コロナウイルス感染症対策中小企業緊急資金利子補助金

新型コロナウイルス感染症の影響により業況が悪化している中小企業を支援するため、市制度融資等の対象融資の利用に伴う利子の一部を令和2年度から補助している。

・令和2年度申請分
対 象 者：次のいずれにも該当する中小企業者
①市内で事業活動を営む者
②令和2年3月2日から令和3年3月31日までの間に対象融資を利用した者
③市税に関する徴収金に未納がない者
対象融資：①栃木市緊急景気対策特別資金（新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した者に限る。）
②栃木県制度融資「新型コロナウイルス感染症緊急対策資金」
③栃木県制度融資「新型コロナウイルス感染症対策パワーアップ資金」
補助金額：第1回目の利子の支払月の初日から5年間に支払った利子額（栃木県が給付する利子補給金の対象となる利子を除く。）

・令和3年度申請分
対 象 者：次のいずれにも該当する中小企業者
①市内で事業活動を営む者
②令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に対象融資を利用した者
③市税に関する徴収金に未納がない者

※令和２年度に本補助金申請済みの者は対象外。

対象融資：栃木市緊急景気対策特別資金（新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した者に限る。）

補助金額：第１回目の利子の支払月の初日から５年間に支払った利子額

・補助金交付実績

令和７年度		令和６年度		令和５年度	
件　数	金　　額	件　数	金　　額	件　数	金　　額
1,495 件	68,672,605 円	2,188 件	138,177,991 円	1,569 件	80,355,211 円

２　中小企業振興事業

(1)　栃木市中小企業・小規模企業振興審議会

平成29年6月に制定した栃木市中小企業･小規模企業の振興に関する条例に基づき、中小企業・小規模企業の振興に関する施策を計画的かつ総合的に推進するために必要な事項を審議するための組織である栃木市中小企業・小規模企業振興審議会を開催した。

ア　委員の構成

・学識経験を有する者　　１人
・市内中小企業者を代表する者　３人
・関係団体から選出された者　６人
・公募による者　　２人　　合計 12 人

イ　会議の開催

期　日	場　所	主な議案等
12月24(水)	市役所本庁舎 501会議室A･B	・栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョンに掲げる具体的な取組の検証について ・栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョンに掲げる目標指標の進捗について

(2)　新製品等開発支援事業補助金

栃木市内において、新製品等の研究開発を行う中小企業者の取組に補助金を交付する。

・対象事業　　新製品・新技術の開発を行おうとする中小企業者で、補助金審査会において採択されたもの。
・補助内容　　補助対象経費の２分の１に相当する額（限度額 50 万円）
・実　　績　　１件

(3)　産業財産権取得費補助金

市内の中小企業者の競争力を高め、本市における産業の活性化を図ることを目的に、産業財産権の取得費用に対する助成を行った。

・対　　象　　産業財産権を取得した中小企業者
・対象となる産業財産権　　特許権、実用新案権、意匠権、商標権
・補助、助成金の内容　　特許等取得に対する助成

取得後6か月以内に申請
取得対象費用の1/2とする
（特許権は50万円を、それ以外は10万円を限度とする）

・補助実績　（単位：件）

特許権	実用新案権	意匠権	商標権	合計
0	0	0	5	0

(4)　産業振興団体補助

商工関係諸団体の健全な育成と活動を支援し、産業の振興と活性化を図るため、県内産業支援団体へ負担金を支出した。

ア　栃木県産業振興センター負担金

県内産業の振興を目的として、高度技術の開発及び利用の促進、創業や新分野展開など新事業の創出促進、中小企業の経営革新等に関する諸事業を総合的に推進する機関として設置された栃木県産業振興センターへ負担金を支出した。

・本市負担金　10,500円

イ　ジェトロ栃木貿易情報センター負担金

中小企業等の国際ビジネス展開支援、日本企業の海外ビジネス展開支援など、日本の貿易の振興に関する事業、開発途上国・地域に関する研究を行うジェトロ栃木貿易情報センターへ負担金を支出した。

・本市負担金　200,000円

3　創業支援

(1)　蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト

市内において多くの創業が実現すること、若者や女性等の創業に関する機運を高めることを目的として、ビジネスプランコンテスト2025を開催した。

本市において創業を目指す方や､創業後間もない方から21件のビジネスプランの応募があり、新規性や実現可能性等において優秀なプランを表彰するとともに、事業化を支援するための奨励金を贈呈した。

ア　開催内容

内容	実施日	会場
募集期間	8月1日(金) ～10月31日(金)	―
ブラッシュアップセミナー【基礎編】	11月20日(木)	市役所本庁舎 議会会議室
若手経営者との意見交換会	12月1日(月)	ホテルサンルート 栃木
書類審査会	12月9日(火)	市役所本庁舎 501A会議室

ブラッシュアップ個別相談会【応用編】	1月15日(木)	市役所本庁舎 501A会議室 501C会議室
プレゼンテーション最終審査会･表彰式	3月3日(火)	都賀公民館 多目的室
ステップアップ個別相談会	3月27日(金)	市役所本庁舎 501A会議室 501C会議室

イ　表彰

・最優秀賞＆栃木YEGトゥモロー賞：
　アサニード・サベドラ・ホルヘ・ウィルソン
・女性特別賞：鈴木　あすか
・若者特別賞：國府谷　純輝
・優秀賞：油屋
・優秀賞：玉田　勝彦

ウ　審査員

・染谷 勝彦（企業再建・承継コンサルタント協同組合　組合員
　合同会社産業経営研究所 業務執行社員）
・内藤 善寛（㈱あしぎん総合研究所　代表取締役）
・伊藤 一嘉（株式会社ＵＩ志援コンサルティング 渡良瀬KITCHEN 代表取締役・
　代表取締役・中小企業診断士）
・籠谷 めぐみ（㈱Airy coco　代表取締役、eat me sandwich 店長、
　蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト2017
　女性創業者特別賞）
・髙野　義宏（市産業振興部長）

4　物価高騰に伴う事業者支援

物価高騰により経営環境に多大な影響を受けている市内中小企業者等を支援するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、次の事業を実施した。

・事 業 名　原油価格高騰対策運送事業者等支援補助金
・補助内容　原油価格高騰の影響を受けている市内の運送事業者等に対して補助金を交付した。
・補助対象　次の①から③全ての要件を満たすこと
　①中小企業者：令和７年９月１日以前から市内に事業所を有し、かつ、市内で事業を営み、今後も市内において事業を継続する意思を有する者。
　　個人事業主：令和７年９月１日以前から市内に住所を有し、かつ、市内で事業を営み、今後も市内において事業を継続する意思を有する者。
　②「一般貨物自動車運送事業者」、「特定貨物自動車運送事業者」、「一

般貸切旅客自動車運送事業者（貸切バス事業者）」、「土砂等運搬事業者」、「一般乗合旅客自動車運送事業者（乗合バス事業者）」、「一般乗用旅客自動車運送事業者（タクシー事業者）」、「自動車運転代行業者」、「貨物軽自動車運送事業者」のいずれかが市内に有する事業所に配置している車両であること。

③市税を滞納していないこと。

・補助金額

対象事業者	補助額
・一般・特定貨物自動車運送事業者 ・貸切・乗合バス事業者 ・土砂等運搬事業者	補助対象車両1台につき 1万円
・タクシー事業者 ・自動車運運転代行事業者 ・貨物軽自動車運送事業者	補助対象車両1台につき 5千円

・実施状況　124件　8,500千円

5　勤労者支援

(1)　勤労者福祉サービスセンター支援事業

中小企業勤労者に対する福利厚生制度の充実を目的として、各種事業を実施する栃木市勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、労働者の勤労意欲の増進及び中小企業における人材の確保・定着に努めた。

ア　事業団体

・栃木市勤労者福祉サービスセンター（愛称　ウェルワークとちぎ）

・理事長　　大川秀子

・所在地　　入舟町6-8

・会員数　　事業所数　　383事業所

従業員数　　1,359人

イ　会議関係

期　　日	場　所	内　　容
5月23日(金)	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター)	第1回サービスセンター理事会
7月2日(水)	東京都港区全福センター会議室	第1回全福センター関東ブロック協議会代表委員会
7月8日(火)	オンライン	全福センター業務運営研修会
7月23日(水)	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター)	第1回栃木4共済会連絡協議会
7月23日(水)	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター)	第1回全福センター関東ブロック協議会関東Ⅴ地区運営委員会
9月12日(金)	東京都港区ＢＤＫ会議室	実務担当者研修会

10月9日(木) ～10日(金)	ＡＮＡクラウンホテル新潟	全福センター東ブロック会議
1月27日(火)	東京都港区ＢＤＫ会議室	関東ブロック協議会実務研修会
3月9日(月)	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター)	第2回サービスセンター理事会
3月13日(金)	東京都港区全福センター会議室	第2回全福センター関東ブロック協議会代表委員会
3月16日(月)	小山市勤労青少年ホーム	第2回栃木4共済会連絡協議会

ウ　実施事業

(ｱ)　余暇活動事業

a　スポーツ・レクリエーション事業及び旅行事業

期　　日	内　　容	場　　所	参加人員(人)
5月17日(土)	農業収穫体験（いちご狩り）	會田農園	27
10月4日(土)	おたのしみ企画マスクメロン狩り・那珂湊おさかな市場	茨城県鉾田市・ひたちなか市	35
11月21日(金)	第42回ボウリング大会	サンプラザボウル	38
2月3日(火)	おたのしみ企画成田山新勝寺節分会	成田山新勝寺	20
その他余暇活動事業助成	栃木シティフットボール観戦チケット助成	―	8
	宇都宮ブレックス観戦チケット助成	―	56
合　　計			184

b　旅行等補助事業　（単位：人）

宿泊施設利用補助	167
提携ツアー利用補助	9
合　　計	176

(ｲ)　余暇施設利用事業　（単位：人）

提　携　施　設　名	利用人数
東武動物公園（東武法人アトラクションパスセット）	179
那須ハイランドパーク	92
東京ディズニーランド・東京ディズニーシー	707
シネマロブレ5（映画館）	1,797
小山温泉「思川」割引利用	189
小山温泉「思川」回数券	10
大平ぶどう団地（ぶどう狩り）	252
栃木市総合運動公園プール	154
宇都宮動物園	231
那須どうぶつ王国	138

東京サマーランド	4
スパリゾートハワイアンズ	255
国営ひたち海浜公園プレジャーガーデン	0
上野動物園	10
農産物購入ハッピー補助（道の駅みかも他 4 施設）	209
東京ジョイポリス	5
合　　計	4,232

(ｳ) 在職中の生活安定事業

・慶弔給付金　　（単位：件）

給付項目	件　数
結　婚　祝　金	14
出　産　祝　金	19
銀　婚　祝　金	4
入　学　祝　金	69
傷病休業保険金	9
疾病死亡保険金	0
不慮の事故死亡保険金	0
死　亡　弔　慰　金	31
合　　計	146

(ｴ) 文化教養健康事業

a　自己啓発事業　　（単位：人）

期　　日	内　　容	場　　所	参加人数
11 月 1 日(土)	ユーカリスワッグ教室	とちぎ花センター	18
12 月 7 日(日)	フラワーアレンジメントリース教室	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	19
3 月 7 日(土)	春の寄せ植え教室	とちぎ花センター	16
通年	とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館)等の各種チケットのあっせん		73
	市等文化教養健康事業助成（栃木市民大学）		2
合　　計			128

b　健康の維持増進事業　　（単位：人）

事業名	人数
人間ドック・脳ドック助成事業	120
予防接種受診助成事業	145
合　　計	265

(ｵ) 広報宣伝活動（ＰＲ活動）

・会報誌「ウェルワークとちぎ」（年 6 回発行）を発行

・ＦＭくらら 857 とち介ハッピータウン出演（2 回）

・栃木ケーブルテレビにCMを放映した。（3週間）

・くららフェスタ2026出展

(ｶ) 会員勧誘活動

・本庁、栃木商工会議所及び各商工会書架に会報誌を掲示し、「ウェルワークとちぎ」の周知・勧誘を図った。

・ミニコミ誌折込チラシにサービスセンターの紹介を掲載し、新規会員の獲得を図った。

・ＦＭくらら857出演の際、サービスセンターの周知・勧誘を図った。

(ｷ) その他

会員の誕生月に「バースデープレゼント」、満20歳の会員に「はたちのプレゼント」、金婚・珊瑚婚祝を申請した会員に「金婚・珊瑚婚祝品」を贈呈した。

(2) 労働団体の支援

連合栃木下都賀地域協議会の実施する勤労者福利厚生事業等に対して補助を行うことにより、事業実施を支援した。

名　　称		補助額(円)
第96回栃木県メーデー下都賀地区大会補助金		50,000
福利厚生活動補助金		130,000
内　訳	スポーツ大会	20,000
	野球大会	25,000
	家族ふれあい行事	25,000
	環境保全ボランティア	5,000
	新春の集い	55,000

(3) 就業安定対策

ア 栃木市就業安定対策協議会

市内企業及び関係団体の代表者等で組織する栃木市就業安定対策協議会の活動として、安定した就労の促進と職場内における人権問題の早期解決を図るため、市民及び市内企業に対して各種啓発活動等を実施した。

(ｱ) 求人情報の提供

ハローワーク栃木求人情報の配布（通年）及びホームページへの掲載

(ｲ) 会議及び啓発事業

実施日	内　　容
11月14日(金)	栃木市就業安定対策協議会
11月26日(水)	人権週間における街頭啓発
12月10日(水)	事業所等関係者人権啓発研修会・働き方改革講演会
１月７日(水)	人権啓発資料（パンフレット）送付

イ 就職面接会等の開催

市内事業所における人材の確保と、地元での就職を希望する新規学卒者及び若年者や中高年の求職者等への支援として、関係機関との連携により就職面接会等の就労支援イベントを開催した。

実施日	内　　容	会　　場
8月29日 （金）	就職活動個別相談会 とちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業の一環として開催 対象者：求職中の女性・高齢者 参加求職者：5人	市役所本庁舎 正庁A
12月4日 （木）	就職支援セミナー とちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業の一環として開催 対象者：子育て世代の女性 参加求職者：7人	市役所本庁舎 正庁B
1月19日 （月）	就職ミニ面接会 とちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業の一環として開催 対象者：求職中の女性・高齢者 参加企業10社　参加求職者11人	市役所本庁舎 正庁AB

(4)　職業訓練支援

技能労働者の養成、確保及び技能水準の向上を図ることを目的に、職業能力開発促進法の規定に基づき栃木県知事の認可を受けて設置されている共同高等産業技術学校に対し補助を行うことにより学校の運営を支援した。

交付先	所在地	金額等
栃木共同高等産業技術学校	栃木市日ノ出町16番6号 （技能センター内）	固定額500,000円＋（40,000円×市内生徒数2人）＝580,000円
鹿沼共同高等産業技術学校	鹿沼市上石川1465番地4 （鹿沼市職業訓練センター内）	定額　100,000円

(5)　技能顕彰

技能の必要性・重要性の理解を深め、技能水準の向上及び技能者の社会的地位の向上を図り、職業に精進する気運を高めることを目的に、本市在住・在勤の技能検定合格者をホームページへの掲載により顕彰した。

・技能検定合格者　56人

(6)　勤労者総合福祉センター管理運営事業

中小企業労働者の福祉の充実と勤労意欲の向上を図るため、栃木市勤労者総合福祉センターの管理運営事業をシダックス大新東ヒューマンサービス㈱に委託し、各種講座を開講した。

ア　利用状況

使用区分	1階会議室	2階会議室	教養文化室	多目的ホール	職業技能講習室	研修室	個人多目的ﾎｰﾙ	屋外イベント	合　計
件　数(件)	131	106	8	768	254	45	190	0	1,502
人　数(人)	1,031	2,509	377	25,782	4,654	616	523	0	35,492

イ　講座、イベント等の状況

(ｱ)　自主講座

講座名	第1期(各10回)		第2期(各10回)		第3期(各10回)		平均年齢	合計
	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)	(歳)	(人)
初めての書道	5月12日 ～7月14日	243	8月25日 ～11月17日	207	12月22日 ～3月9日	197	72	647
健康体操	5月12日 ～7月14日	475	8月25日 ～11月17日	487	12月22日 ～3月9日	449	74	1,411
筋力アップ	5月12日 ～7月14日	418	8月25日 ～11月17日	389	12月22日 ～3月9日	309	67	1,116
ストレッチ&ヨガ	5月7日 ～7月9日	248	9月3日 ～11月12日	219	1月7日 ～3月11日	183	66	650
エアロ★ダンス	5月7日 ～7月9日	136	9月3日～ 11月12日	132	1月7日 ～3月11日	150	66	418
リズム体操	5月8日 ～7月10日	506	9月4日 ～11月6日	509	1月8日 ～3月8日	473	74	1,488
ｲｷｲｷ☆ﾌｨｯﾄﾈｽ	5月9日 ～7月11日	461	9月5日～ 11月7日	432	1月9日 ～3月8日	428	72	1,321
合　計		2,487		2,375		2,189	70	7,051

(ｲ)　単発講座、イベント

名　称	開催日	参加者(人	名　称	開催日	参加者(人)
ハッピーナンバーキャンペーン	4月～9月	14	生活習慣病講座	1月9日(金)	12
サマーエコジョイキャンペーン	6月～7月	20	開運手相占い	1月25日(日)	19
6月ふれあいパーティー	6月15日(日)	12	1月ふれあいパーティー	1月25日(日)	12
消防訓練	9月3日(水)	50	マザーズセミナー	2月4日(水)	3
0円マルシェ	9月7日(日)	80	消防訓練	2月16日(月)	20
9月ふれあいパーティー	9月21日(日)	12	応急手当講習会	2月16日(月)	17
勤労感謝イベント	11月～12月	28	勤総フェスティバル	3月8日(日)	400
体力測定	12月3日(水)	6	楽×楽　ECO講座	3月15日(日)	1
親子GOENCAFE　クリスマス会	12月14日(日)	12			

(7)　栃木勤労青少年ホーム管理運営事業

ア　登録者数・利用者数（単位：人）

ホーム登録者数	239
ホーム利用者数	15,490

イ　年齢層別登録者数　（単位：人）

区　分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	合計
男	1	3	4	8	2	40	58
女	2	1	6	5	18	149	181
合計	3	4	10	13	20	189	239

ウ　年齢層別利用状況　（単位：人）

区　分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	合計

男	53	165	139	212	210	2,946	3,725
女	50	122	193	210	935	10,255	11,765
合計	103	287	332	422	1,145	13,201	15,490

エ　栃木勤労青少年ホーム講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

(ｱ)　定期講座

講　座　名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
英会話(初級)	10	24	172	月
バドミントン	20	24	286	火
ヘルスフィットネス	20	14	257	火
ソフトバレーボール	20	24	296	水
スタイリッシュヨガ	25	30	867	水
初級ヨガ	25	13	375	水
ギター講座	8	16	114	水・金
フラワーアレンジメント	15	2	29	水
ズンバ	25	27	511	木
ピラティス	25	17	375	木
つまみ細工	10	4	16	金
ベリーダンス	20	32	444	金
シーグラスアート	10・15	14	122	金
タイルクラフト　※	10	6	33	金
フラダンス	20	32	574	土
合　　計		279	4,471	

※ 印は新規講座

(ｲ)　自立・就職相談事業

・内　　容　　日常の悩みや社会生活、就労に関する相談・助言

・実施回数　　81回

・延べ相談者数　181人

(ｳ)　ホーム行事（利用者会事業）等

行　事　概　要	実施日	参加者数(人)	会　　場
ウイングとちぎフェスタ	7月5日（土）	115	栃木勤労青少年ホーム
第10回栃木・大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月12日(日)	45	勤労者体育センター
ウイングとちぎクリスマス会	12月13日(土)	58	栃木勤労青少年ホーム

(ｴ)　他ホームとの交流イベント等

行　事　概　要	実施日	参加人数(人)	会　　場

県ホーム協議会ブドウ狩り	8月24日(日)	30	盤峰園（大平町）
大平勤労青少年ホーム利用者発表会	12月6日(土)	49	大平勤労青少年ホーム

(ｵ) クラブ活動

クラブ名	活動曜日	活動回数（回）	活動延べ人数（人）
ベリーダンス	月・金	93	1,378
ライアーサークル※	月	24	96
ＧＡＣＨＩ！！！	火	28	416
ズンバクラブ	火	49	999
スポーツパラダイス	水	51	656
ヨガサークルひなた	水	50	1,907
ギター愛好会	水	50	356
ユースネット	木	38	152
上三川イケイケ準備プラザ※	金	47	139
弾き語りクラブ※	金	18	144
ＳＳＯ	火・土	100	1,700
ＭＢＣ	土	48	384
ソフラ	土	48	852
遊人会	日	38	372
即興ダンス	不定期	288	728
合　　計		970	10，279

※印は新規クラブ

(ｶ) 婚活イベント事業

行事概要	実施日予定日	参加者数(人)	会　　場
いい出会い！スポーツやろうぜ球技王決定戦	5月18日（日）	中止※	勤労者体育センター
バーベキュー好き（男女）婚活	6月8日（日）	中止※	大平勤労青少年ホーム
素敵な出会いヨシ灯り制作	9月21日（日）	中止※	栃木勤労青少年ホーム
クリスマス会で素敵な出会いを！	12月13日（土）	中止※	栃木勤労青少年ホーム

※参加申込み人数が最少開催人数に満たなかったため

(8) 大平勤労青少年ホーム管理運営事業

ア 登録者数・利用者数（単位：人）

ホーム登録者数	411

ホーム利用者数	8,017

イ　年齢層別登録者数　（単位：人）

区　分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	合計
男	0	0	0	0	1	69	70
女	6	4	9	14	14	294	341
合計	6	4	9	14	15	363	411

ウ　年齢層別利用状況　（単位：人）

区　分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳以上	合計
男	0	21	6	4	38	1,407	1,476
女	22	66	175	269	219	5,790	6,541
合計	22	87	181	273	257	7,197	8,017

エ　大平勤労青少年ホーム講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

(ｱ)　定期講座

講　座　名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
ズンバ	25	24	568	月
書道	15	16	141	月
リカバリーヨガ	25	24	423	火
ゴルフ	20	20	234	火
テニス	20	21	90	水
着付け	15	14	86	水
リフレッシュスローヨガ※	25	20	165	水
英会話	15	14	76	木
ダイエットサーキット	25	23	467	木
料理	20	20	130	金
華道	15	14	78	金
ゴスペル	15	15	146	金
リラックスヨガ	25	24	520	土
合　　計		249	3,124	

※は、新規講座

(ｲ)　自立・就職相談事業

・内　　容　　日常の悩みや社会生活、就労に関する相談・助言

・実施回数　　29回

・延べ相談者数　49人

(ｳ)　ホーム行事（利用者会事業）等

行　事　概　要	実施日	参加者数(人)	会　　場
利用者会役員会開催＆親睦会	4月27日(日)	7	泰平楽(大平町)

ホームクリーンアップ大作戦＆交流会	6月8日（日）	21	大平勤労青少年ホーム/サンランド栃木
利用者会交流会（梨狩り）	10月26日(日)	38	いわふねフルーツパーク
大平勤労青少年ホーム利用者発表会	12月6日(土)	49	大平勤労青少年ホーム
浜焼き大好き！バスツアー	2月22日(日)	39	成田犬吠埼方面

(ｴ) 他ホームとの交流イベント等

行　事　概　要	実施日	参加人数(人)	会　　場
ウイングとちぎフェスタ	7月5日（土）	3	栃木勤労青少年ホーム
県ホーム協議会ぶどう狩り	8月24日（日）	68	盤峰園（大平町）
第10回栃木・大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月12日（日）	15	勤労者体育センター
ウイングとちぎクリスマス会	12月13日（土）	4	栃木勤労青少年ホーム

(ｵ) クラブ活動

クラブ名	活動曜日	活動回数（回）	活動延べ人数（人）
ズンバクラブ	月	16	260
書道クラブ	月	3	23
クレッシェンド	月	10	28
コスモスクラブ	月	41	244
ひまわり手芸クラブ	月	12	61
大平歴史サークル	火	23	85
ダンスサークル　カトレア	火・水	33	66
ハナミズキ	火	48	319
ターピン中文クラブ	火	10	63
リカバリーヨガ	火	10	67
テニスクラブ	水	0	0
リリーズ	水	48	226
大平書道	水・火	25	121
ダイエットサーキット	木	25	317
ローズ	木	49	284
着物リメイク	木	23	117
英会話クラブ	木	23	61
料理クラブ	金	15	72
こでまり	金	45	326
リラックスヨガクラブ	土	14	179

ハッピータイム	不定期	2	6
合　　計		476	2,930

(ｶ)　婚活イベント事業

行事概要	実施日	参加者数(人)	会　　場
バーベキュー好き男女（婚活）	6月8日(日)	中止※	大平勤労青少年ホーム/サンランド栃木
仲間と繋がろう（婚活）	10月26日(日)	中止※	大平勤労青少年ホーム

※参加申込み人数が最少開催人数に満たなかったため

(9)　勤労者体育センター管理運営事業

勤労者をはじめとする市民の健康保持増進とスポーツの振興を図るため、勤労者体育センターの管理運営を栃木勤労青少年ホームと一括して環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体に委託し、効率的な管理運営を実施した。

ア　利用状況

(ｱ)　利用者数　（単位：人）

市内居住者	33,405
市外居住者	2,486
合　計	35,891

(ｲ)　月別利用状況　（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市内	2,936	3,199	2,906	2,961	2,358	2,712	2,736	2,902	2,570	2,698	2,538	2,889
市外	192	247	187	176	118	93	165	224	156	129	288	511
合計	3,128	3,446	3,093	3,137	2,476	2,805	2,901	3,126	2,726	2,827	2,826	3,400

(ｳ)　曜日別利用状況　（単位：人）

曜　日	日　曜	月　曜	火　曜	水　曜	木　曜	金　曜	土　曜
利用者数	6,142	5,149	3,047	4,252	4,770	5,723	6,808

(ｴ)　種目別利用状況（団体利用のみ）　（単位：人）

種　目	バレーボール	バドミントン	バスケット	卓　球	その他
利用者数	9,126	2,722	3,827	17,892	859

イ　利用者交流イベント等

行　事　概　要	実施日	参加人数(人)
第10回栃木・大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月12日(日)	45
第15回勤労者体育センターソフトバレーボール大会	11月9日(日)	30

第２節　観光振興課

〔総括概要〕

平成 26 年 3 月に策定した「栃木市観光基本計画」（令和 5 年度より 2 期計画）に基づき、観光資源を一体的かつ有効的に活用し、様々な観光施策に取り組んできた結果、令和元年度上半期までは、観光客の入込数や宿泊者数は増加し、順調に計画が推移していた。

しかしながら、令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症の感染拡大により観光客が大幅に減少した。新型コロナウイルスの 5 類移行後、観光客数は回復基調にあるものの、旅行先の多様化や猛暑の影響等もあり、コロナ禍前までは戻っていない状況である。

本市の観光振興を考えるうえで従来の日帰りを中心とした誘客に加え「住んでよし、訪れてよし」といった持続可能な観光の視点を取り入れたまちづくりを推進するため、産学との連携強化を目的に 4 者による協定書の締結をし、滞留時間の増加や蔵を活かした観光まちづくりについて研究を行った。

観光拠点施設である栃木市観光交流館「蔵なび」では、観光案内、特産品の展示・販売、観光情報発信、多目的交流を行ったほか、栃木市アンテナショップまちの駅コエド市場を活用した情報発信や観光客の受入れ環境の向上を図るため、歴史的風致維持向上計画に基づいた横山郷土館の大規模改修を行った。

訪日外国人の誘致については、外国人観光客向けの 1 日市民パスポートの発行やJNTO広域プロモーション事業における台湾インフルエンサーの招請による海外向けのPRを行った。

まつり・イベントについては、「太平山桜まつり」、「とちぎあじさいまつり」、「なつこい」、「栃木市・渡良瀬バルーンレース 2025」などを開催した。

ロケの支援に関するフィルムコミッション事業については、積極的にロケの誘致に努め、TVドラマなど年間 55 件の撮影が実施された。

観光企画係

1　観光振興宣伝事業

本市は、見世蔵や土蔵が立ち並ぶ蔵の街大通りをはじめ、重要伝統的建造物群保存地区に選定された嘉右衛門町地区、桜とあじさいの太平山、ラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地、古刹と手打ちそばの出流など、歴史的文化遺産と美しい自然に恵まれており、関東平野に連なる観光地として個性豊かな表情を持っている。

これらの観光資源を生かすために、観光パンフレット等を作成・配布するとともに、各種観光キャンペーン等に参加し、更に、マスメディアの活用を行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

(1)　観光パンフレット等の作成・配布　　（単位：部）

名称	作成部数	配布部数
総合パンフレット	10,000	13,400
蔵の街散策マップ（蔵の街ウォーキングマップ）	30,000	30,000
太平山観光パンフレット	―	3,200
出流・星野パンフレット	―	1,300

(2)　イベント等への出展

ア　第44回春日部藤まつり

・実施日　4月27日（日）

・会　場　春日部駅西口「ふじ通り」

イ　佐野まるっとマルシェ in 佐野プレミアム･アウトレット

・実施日　5月5日（月・祝）、10月12日（日）

・会　場　佐野プレミアム･アウトレット

ウ　観光PRイベント「いちご市～栃木市産いちご直売会～」

・実施日　3月25日（水）

・会　場　日本橋プラザビル 南広場

(3)　広域観光推進事業

ア　両毛線沿線のほほん連絡協議会

構成団体　6市（前橋市、伊勢崎市、みどり市、桐生市、足利市、栃木市）、(公財)群馬県観光物産国際協会、JR東日本高崎支社、(株)ジェイアール東日本企画高崎支社、(株)ジェイ・エヌ・エス

(ｱ)　会議開催

a　総会

・開催日　6月16日（月）

・会　場　境赤レンガ倉庫

b　ワーキンググループ

・開催数　7回

・会　場　前橋プラザ元気21、境赤レンガ倉庫 ほか

(ｲ)　共同事業等

a　観光キャラバン

・実施日　11月16日（日）

・場　所　JR川越駅　自由通路

(4)　栃木市散策アプリ「蔵ミュゼ」を活用したスタンプラリーの実施

ア　蔵の街すたすたスタンプラリー

・実施日　6月15日（日）

・内　容　栃木県民の日に合わせ、チェックポイントである市内観光施設のスタンプを5個以上ゲットすることで栃木市の特産品が当たるガラポン抽選に参加できるもの。

・参加数　380人（内、紙の参加者30人）

イ　歌麿ゆかりの地スタンプラリー（蔵の街課が実施）

・実施日　10月11日（土）～19日（日）

・内　容　チェックポイントである歌麿ゆかりの地6カ所を巡り、スタンプをゲットすると景品を獲得できるもの。

・参加数　34人

※チェックポイントに歌麿や栃木PRキャラクターと写真撮影ができるXRコンテンツも搭載。

ウ　小江戸とちぎでじたるすたんぷらりぃ～味覚も楽しい蔵の街～

・実施日　10月25日（土）～11月30日（日）

・内　容　チェックポイントである市内観光施設や江戸料理提供店舗を巡り4つ以上のスタンプをゲットすると景品を獲得することができるもの。

・参加数　62人

2　「本物の出会い　栃木」観光プロモーション

栃木県、各市町、観光協会、関係団体、企業、報道機関、大学等が一体となり、県への観光誘客の促進及び受入態勢の整備を推進することにより、県のより一層の観光振興及び地域の活性化に資することを目的に、「本物の出会い　栃木」観光プロモーション協議会として、共同での観光キャンペーンの実施やPRパンフレットの作成等を行った

(1)　本物の出会い　栃木」観光プロモーション協議会

・構成団体　栃木県、JR東日本、東武鉄道、県内各市町、観光協会、経済・金融関係、交通関係、旅行関係、観光施設関係、報道関係等

・会議開催状況

名　称	日　時	場　所
第１回企画会議	６月 23 日（金）	栃木県庁本館９階会議室３
第１回総会	７月 31 日（木）	オンライン
第２回企画会議	２月 20 日（金）	栃木県庁研修館 302 研修室
第２回総会	３月 18 日（水）	オンライン

(2)　パンフレット等の作成（栃木県全体）　（単位：部）

名　称	対象	作成部数
2025年度観光PRパンフレット通年版	一般観光客	45,000

(3)　城跡を活用した分科会

・構成団体　8市2町（栃木市、佐野市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須烏山市、下野市、壬生町、那珂川町）

・実施事業　城跡散策デジタルマップの作成

3　栃木市ブランド（とちぎ小江戸ブランド）推進事業

本市のお土産品及び特産品の知名度向上、販売促進並びに本市全体のイメージアップを目的とした情報発信を行った。

(1)　栃木市ブランド推進協議会

・委　　員　20人

・会議開催状況

日　程	会　議	議事内容
1月9日（金）	第1回推進協議会 （書面表決）	・令和6年度事業報告について ・令和6年度決算報告及び会計監査報告について ・令和7年度事業計画について ・令和7年度収支予算について

4　栃木県東京スカイツリーアンテナショップ事業

栃木県のアンテナショップ「とちまるショップ」を活用し、東京スカイツリーを訪れる国内外の観光客や周辺地域及び都心・近郊各沿線の居住者等、様々なお客様に栃木市のPRを行い、観光客の増加を図った。

(1)　栃木県アンテナショップ協議会

・会議開催状況

名　称	日　時	場　所
第1回運営会議・決算総会	6月23日（月）	県庁本館
第2回運営会議・予算総会	3月24日（火）	県庁本館

(2)　「とちまるショップ」イベントスペース観光PR

実施日	内　容
8月23日（土）	日本酒のPR
9月25日（木）～28日（日）	歌麿のPR
11月21日（金）～30日（日）	「栃木市・渡良瀬バルーンレース」、のPR
12月13日（土）	日本酒のPR（大試食フェア）

5　鯉飼育管理事業

(1)　河川の環境整備

河川愛護会、自治会連合会、地域クリーン推進員連合会の共催による巴波川一斉清掃に参加し、水草の処理、川底投棄物の回収等の実施に協力した。

実施日	実施個所
4月19日（土）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀
6月28日（土）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀
9月20日（土）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀

(2)　鯉の放流

コイヘルペスウイルス病蔓延防止のため､平成16年から鯉の放流が禁止されている。その後、蔵の街の観光資源である鯉が巴波川や県庁堀から姿を消し魅力が薄れていることから、放流の可能性について平成20年度に県と協議を行った結果、PCR検査(コイ

ヘルペスウイルス陰性検査)を受けた鯉に限り試験的に放流できるとの回答を得た。
しかし、平成25年度の夏季に大量死があって以降本格放流を見合わせている。

(3) 県庁堀内清掃

観光振興に資するため、県庁堀内の環境美化に努めた。

・委託先　栃木市シルバー人材センター

・実施日　4月1日～3月31日の間の51日間

6　栃木市観光情報物産館管理運営事業

本市の特産品等の展示・販売業務を民間事業者に委託し、観光客等に対して魅力的な店舗運営を行い、本市の知名度向上、産業振興及び地域の活性化を図った。

・民間運営事業者　株式会社ファーマーズ・フォレスト

・店舗名称　　栃木市アンテナショップまちの駅コエド市場

(1) 実施事業

・月別実施事業

4・5月　野菜果物特売会（毎週月曜・火曜）、いちご大好きフェア

6月　野菜果物特売会（毎週月曜・火曜）、コエドのパン祭り

7・8月　野菜果物特売会（毎週月曜・火曜）、コエドのパン祭り、ぶどう・桃大好きフェア

9・10月　野菜果物特売会（毎週月曜・火曜）

11月　野菜果物特売会（毎週月曜・火曜）、パン・サンドイッチ特売

12月　野菜果物特売会（毎週月曜・火曜）、いちご大好きフェア、餃子特売会、パン・サンドイッチ特売、大きい梨特売会、年末お楽しみ抽選会

1～3月　野菜果物特売会（毎週月曜・火曜）、いちご大好きフェア

(2) 来客者数　（単位:人）

	令和7年度	令和6年度
4月	7,668	7,510
5月	7,769	7,792
6月	5,942	6,053
7月	5,064	5,144
8月	5,257	5,491
9月	5,404	5,914
10月	6,902	6,845
11月	7,834	7,780
12月	6,923	6,713
1月	6,281	6,096
2月	6,589	6,796
3月	8,060	7,927
合　　計	79,693	80,061

7　観光まちづくり事業

本市観光の目指すべき方向性を明確にし､更なる観光振興を図るための指針となる｢栃木市観光基本計画」について、観光を取り巻く社会環境やニーズの変化等を踏まえ、令和5年度から5年間の取り組むべき施策や事業を定める「第2次栃木市観光基本計画」を令和5年3月に策定した。

本計画の推進にあたり、本市の観光施策を総合的かつ継続的に進めていくための組織である観光まちづくり推進連絡会議を開催した。

(1)　栃木市観光まちづくり推進連絡会議

・会議開催状況

名　称	日　時
第 1 回会議	3 月 26 日（木）

(2)　産官学連携

栃木市、東武鉄道株式会社、東武トップツアーズ及び國學院大學観光まちづくり学部が相互の強みや資源を活かした観光地域づくりを協力して推進することを目的に令和5年5月に締結した「持続可能な観光まちづくりに関する協定書」に基づき、調査研究を行った。

・会議開催状況

名　称	回　数
共同定例ミーティング	12 回

・栃木市観光協会を実施主体とし、蔵を巡るモニターツアーを実施。
実施日：11 月 16 日（日）・12 月 13 日（土）

・4 者共同研究報告会の開催
開催日：2 月 13 日（金）
参加人数：約 60 人

8　栃木市横山郷土館管理運営事業

市の施設であり、国の登録文化財である「横山郷土館（平成 27 年 3 月 31 日付公益財団法人横山郷土館から寄贈）」の運営やイベントの実施により、観光客の誘致に努めた。

(1)　施設概要

・住　　所　栃木市入舟町 2-16
・展示内容　横山家居宅及び店舗（国有形登録文化財）、洋館風離れ（国有形登録文化財）、回遊式庭園、美術品（金屏風、掛け軸、絵画、陶芸品、工芸品等）、当時資料（当時の生活雑貨、記録写真、記録文書等）

(2)　運営状況

・開館時間　午前 9 時～午後 5 時
・休 館 日　毎週月曜日（祝祭日の場合は翌日休館）、年末年始
・入 館 料　300 円（中学生以下無料）
・臨時休館　10 月 9 日（木）～11 日（土）、3 月 5 日（木）（改修工事等のため）

(3)　入館状況　　（単位:人）

	令和7年度	令和6年度	令和５年度
4月	675	741	694
5月	961	1,068	1,134
6月	572	582	576
7月	326	262	331
8月	475	323	298
9月	571	351	599
10月	769	699	842
11月	1,127	866	1,095
12月	492	399	378
1月	533	302	319
2月	646	433	539
3月	741	663	501
合　　計	7,888	6,689	7,306

9　観光客入込状況

(1)　各地域入込状況　　（単位：人）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
栃　　木	2,078,475	2,387,401	2,062,777
大　　平	140,842	183,122	192,876
藤　　岡	1,318,232	1,313,522	1,311,047
都　　賀	87,308	40,121	77,575
西　　方	392,386	408,731	397,111
岩　　舟	908,123	929,437	993,646
合　　計	4,925,366	5,262,334	5,035,032

(2)　主要地点入込状況　　（単位：人）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
太　平　山	1,088,811	1,115,383	982,617
出流・星野	473,113	493,111	501,026
蔵　の　街	505,498	568,240	533,235
みかも山	1,878,974	1,873,046	1,886,256
渡良瀬遊水地	333,198	353,285	384,568

(3)　観光施設等入込状況　　（単位：人）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
郷土参考館	2,550	2,764	2,530
横山郷土館	7,879	6,689	7,306
岡田記念館	2,336	2,113	2,478

とちぎ山車会館	12,161	12,882	16,008
アグリの郷	3,864	4,700	4,966
蔵の街遊覧船	26,910	25,443	24,315
まちの駅コエド市場	79,693	80,061	74,994
かかしの里	4,811	4,033	5,195
プラッツおおひら	86,844	127,959	135,991
歴史民俗資料館白石家戸長屋敷	6,594	5,237	6,714
道の駅みかも	714,849	711,771	696,702
渡良瀬の里	33,179	24,040	22,438
つがの里ふるさとセンター	7,411	8,315	8,593
道の駅にしかた	374,336	389,611	380,141
とちぎ花センター	277,257	293,080	347,111
マルシェいわふね	234,479	219,685	202,208
いわふねフルーツパーク	32,163	28,605	25,819

10　インバウンド事業

新型コロナウイルス終息後の外国人観光客誘客に向け、外国人観光客の受入環境の整備及び外国人観光客向けに観光PRを行った。

(1)　外国人観光客1日市民パスポートの発行

主に日本在住の外国人観光客に対し、1日市民デジタルパスポートを発行し、特典サービスの提供や英会話による案内など、外国人観光客へのおもてなし向上を図った。

(2)　Wi-Fi環境の維持管理

栃木駅観光案内スペースや栃木市観光協会のWi-Fi環境の維持管理を行った。

(3)　外国人向け観光PR

JNTO広域プロモーション事業において台湾インフルエンサーを招請し海外向けの観光PRを行った。

11　とちぎ江戸料理の推進

平成27年度に開発した「とちぎ江戸料理」を推進するために公式ホームページや公式SNSでの情報発信を行った。また、6月15日（日）の県民の日イベント、9月23日（火・祝）、1月24日（土）のとちぎ電車まつりにおいて、江戸料理提供店に出店いただいたほか、小江戸とちぎでじたるすたんぷらりぃにも協力をいただき、江戸料理のPRを行った。

12　ハイキングコース管理事業

(1)　首都圏自然歩道管理事業

・稜線をたどるみち（延長4.0㎞）
・桜咲くパノラマのみち（延長1.5㎞）
・かかしの里・ブドウのみち（延長1.5㎞）

・松風のみち（延長 1.2 ㎞）

(2)　歩道ハイキングコース

・清水寺～晃石山、大中寺～太平山（延長 1.4 ㎞）

13　観光施設管理事業

・大中寺憩の森緑地管理
・清水寺の森緑地管理
・かかしの里緑地管理
・かかしの里受付業務等管理
・大中寺憩の森トイレ維持管理
・清水寺の森トイレ維持管理
・林道下皆川線屋外トイレ維持管理
・林道下皆川線あずまや維持管理
・小野寺憩いの森維持管理
・三毳山棚岩遊歩道維持管理
・岩船山人車鉄道跡遊歩道排水路管理
・慈覚大師誕生地公衆用トイレ維持管理
・慈覚大師誕生地駐車場維持管理
・大慈寺園地公衆用トイレ維持管理
・岩船山公衆用トイレ維持管理
・兜山公園管理
・藤岡堤外地先桜植樹地管理
・かたくり群生地管理
・龍興寺しだれ桜周辺管理
・金崎桜堤管理

14　三県境関連事業

歩いて 3 歩で回れる全国で唯一の三県境について、観光資源としての利活用を図るため栃木市、群馬県板倉町、埼玉県加須市の 2 市 1 町共同で、加須市道の駅「かぞわたらせ」において、徒歩による三県境ツアー、2 市 1 町のPR及び各市町の特産品販売等のイベントを開催した。

・開催日　3 月 7 日（土）

15　とちぎ電車まつりin栃木駅の開催

東武鉄道のディーゼル機関車「DL大樹」の栃木駅から東武日光駅までの運行に合わせ、栃木駅構内でマルシェや制服体験等の電車イベントを開催した。

・開催日　9 月 23 日（火・祝）、1 月 24 日（土）

観光交流館係

1　栃木市観光交流館「蔵なび」管理運営事業

観光振興を軸とした本市の総合的シティプロモーション施設として活用し、本市の知名度の向上、イメージアップ、おもてなしの強化、魅力と賑わいの創出を図った。

交流人口の増加及び地域産業の活性化を図るため、観光案内、特産品の展示・販売、観光情報発信、多目的交流を行った。

(1)　施設概要、運営状況

・住　　所　栃木市河合町1-2

・開館時間　午前9時～午後7時

・休館日　年末年始（12月29日（月）～1月3日（土））

(2)　入館者数（うち、多目的交流スペース利用者数）　（単位:人）

	令和7年度	令和6年度
4月	5,133　(2,882)	5,280　(2,703)
5月	6,079　(3,504)	6,127　(3,312)
6月	6,376　(3,629)	5,459　(2,954)
7月	5,886　(3,582)	5,152　(3,384)
8月	5,522　(3,516)	4,488　(2,940)
9月	6,240　(4,006)	5,858　(3,747)
10月	5,839　(3,589)	6,149　(3,539)
11月	6,380　(3,827)	6,540　(3,804)
12月	6,285　(3,879)	5,037　(3,323)
1月	6,310　(3,805)	5,304　(3,582)
2月	5,838　(3,464)	5,120　(3,361)
3月	5,423　(3,148)	4,522　(2,738)
合　　計	71,340（42,831）	65,036（39,387）

(3)　貸出件数

特産品の販売やイベントを行うため、1㎡あたり1,000円で貸し出しを行っている。

・物　　販　9件

・イベント　3件

(4)　特産品の展示・PR

特産品紹介サイト「とち介とわくわく通販」に掲載している商品を、館内のデジタルサイネージに展示し、PRした。

・委託先　株式会社　下野新聞社

・サイトアクセス数　34,634件

フィルムコミッション・イベント係

1　観光行事推進事業

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施・支援した。

(1)　太平山桜まつり

・実施期間　令和7年3月21日（金）～4月13日（日）

※交通規制実施期間　令和7年3月28日（金）～4月9日（水）

・場　　所　太平山県立自然公園

・主　　催　太平山桜まつり実行委員会

・共　　催　栃木市、一般社団法人栃木市観光協会、栃木商工会議所

・来 場 者　74,000人

(2)　とちぎあじさいまつり

・実施期間　6月13日（金）～29日（日）

・場　　所　太平山県立自然公園（あじさい坂）

・主　　催　とちぎあじさいまつり実行委員会

・共　　催　栃木市、一般社団法人栃木市観光協会、栃木市観光ボランティア協会

・来 場 者　62,000人

(3)　“なつこい” Sound Stage TOCHIGI 2025 with とちぎ盆祭り

・実施期間　7月19日（土）

・場　　所　栃木市大平運動公園

・主　　催　なつこい実行委員会

・共　　催　栃木市、とちぎ盆祭り実行委員会

・来 場 者　25,000人

(4)　蔵の街サマーフェスタ2025

・実施期間　8月2日（土）～3日（日）

・場　　所　蚤の市通り、山車会館前広場、銀座通り、巴波川

・主　　催　蔵の街サマーフェスタ実行委員会

・共　　催　栃木商工会議所青年経営者会、一般社団法人栃木市観光協会、
一般社団法人栃木青年会議所、ＮＰＯ法人蔵の街遊覧船、
栃木市商店会連合会

・後　　援　栃木市、栃木商工会議所　他

・来 場 者　70,000人

(5)　太平山もみじまつり

・実施期間　11月13日（木）～30日（日）

・場　　所　太平山県立自然公園

・主　　催　太平山観光会

(6)　栃木市・渡良瀬バルーンレース2025

・実施期間　12月12日（金）～14日（日）

・場　　所　藤岡渡良瀬運動公園

・主　　催　渡良瀬バルーンレース実行委員会

・共　　催　栃木市

・後　　援　国土交通省、栃木県他

・来場者数　70,000人

(7)　太平山寒たまごまつり

・実施期間　2月6日（金）～12日（木）
・場　　所　太平山神社及び各茶店
・主　　催　太平山観光会

(8)　星野花まつり
・実施期間　2月1日（日）～3月31日（火）
・場　　所　四季の森星野
・主　　催　四季の森保全会
・共　　催　栃木市

2　巴波川利用促進事業

(1)　うずまの鯉のぼり
・実施日　3月15日（土）～5月15日（木）
・場　所　巴波川（常盤橋～幸来橋～巴波川橋下流）

(2)　うずま川行灯まつり
・実施日　7月1日（火）～9月30日（火）
・場　所　巴波川（開運橋・常盤橋～幸来橋～巴波川橋下流）
・内　容　行灯設置

(3)　うずまの竹あかり
・実施日　11月1日（土）～2月28日（土）
・場　所　巴波川（常盤橋～幸来橋～巴波川橋）
・内　容　竹あかり設置

(4)　舟行
・実施主体　NPO法人蔵の街遊覧船
・実施日　　通年実施（年末年始を除く）
・場　所　　巴波川　幸来橋～瀬戸河原堰

3　フィルムコミッション事業

本市の知名度向上を図るとともに、ロケ地を広く紹介することにより地域イメージのブランド化を図ることを目的として、映画やドラマ等のロケーション撮影を積極的に誘致し、撮影支援を行った。

・ロケーション撮影件数　（単位：件）

映　画	ドラマ	情報番組	その他	合　計
4(12)	9(19)	19(21)	23(33)	55(85)

カッコ内は相談件数

4　倭町小江戸ひろば管理運営事業

市街地に存する倭町小江戸ひろばの管理運営及び交流センター内における観光案内を一般社団法人栃木市観光協会へ委託することにより、観光客へのおもてなしを図った。

・利用件数　　（単位：件）

会議室	イベント広場
13	4

5　観光施設等利用状況

(1)　山車会館入館状況　（単位：人）

			令和7年度	令和6年度	令和5年度
4月			963	1,571	847
5月			1,491	1,593	1,582
6月			2,073	1,475	1,220
7月			556	523	62※①
8月			550	625	12※①
9月			985	1,104	370※①
10月			2,128	1,564	1,375
11月			1,594	1,315	1,706
12月			647※②	648	717
1月			0※②	481	540
2月			426※②	961	486
3月			748	1,022	905
合　計			12,161	12,882	9,822
内訳	有料	割引有	6,094	7,252	5,428
		割引無	2,418	2,938	2,272
	無　料		3,649	2,692	2,122

※①空調設備が故障したことに伴い、令和5年7月1日から令和5年9月20日までの82日間を休館としたことから入館者が減少している。

※②山車展示室演出照明器具・音響機器更新工事に伴い、令和7年12月14日から令和8年2月14日までの63日間を休館としたことから入館者が減少している。

(2)　倭町駐車場（蔵の街第一駐車場）利用状況　（単位：台）

	令和７年度	令和６年度	令和5年度
4月	2,208	2,183	1,963
5月	2,107	2,118	2,094
6月	1,900	1,930	1,773
7月	1,625	1,511	1,702
8月	2,066	1,671	1,738
9月	1,794	1,859	1,785
10月	1,707	1,751	1,870
11月	2,157	1,521	1,609
12月	1,834	1,578	1,724
1月	1,888	1,702	1,697

2月	2,038	1,994	1,694
3月	2,437	2,246	2,294
合　　計	23,761	22,064	21,943

(3)　山車会館前広場利用状況

実　施　日	行　　事	主　催　等
4月1日（火） ～3月31日(火)	栃木市シェアサイクル事業	栃木市
4月4日（金）	春の交通安全運動出発式	栃木市
4月11日（金） ～5月7日（水）	鯉のぼり掲揚	栃木市商店会連合会
5月4日（日） ～5日（月）	小江戸とちぎ人形まつり	栃木市商店会連合会
6月15日（日）	第18回県民の日イベント「県名発祥の地十千木縁日」	県名発祥の地十千木縁日実行委員会
7月26日（土）	からくり人形の実演	山本　弘
8月2日（土） ～3日（日）	蔵の街サマーフェスタ	蔵の街サマーフェスタ実行委員会
9月14日（土） ～15日（日）	第8回栃木市高校生合同文化祭	とちぎ高校生蔵部
9月19日（金）	蔵の街FRIDAY NIGHT!	栃木市職員労働組合
10月9日（木）	東京2025デフリンピック 全国キャラバン活動および表敬訪問	栃木市
10月11日（土）	まちなかの小さな展覧会	株式会社ソワーズ
10月18日(土) ～20日(月)	第23回蔵の街ふるさとまつり	栃木市商店会連合会
10月25日（土）	小江戸とちぎきものの日	小江戸とちぎきものの日実行委員会
10月26日（日）	栃木市消防団通常点検に伴う分列行	栃木市消防団
10月29日（水）	栃木ロータリークラブイベント	栃木ロータリークラブ
11月2日(日) ～3日(月)	FMくらら857開局10周年記念 マルシェ	ケーブルテレビ株式会社
11月15日（土）	秋のこども祭り	栃木青年会議所
12月7日（日）	TOCHIGI WORLD FESTIVAL	TOCHIGI WORLD FESTIVAL

		実行委員会
12月12日（土） ～13日（日）	テラオキッカケマルシェ	テラオノマルシェ実行委員会
12月29日（月）	夕焼け色の師走横丁	スマイルクリエーション
1月2日（金）	新年お囃子たたき初め	中荒井囃子連
1月10日（土）	くりとくら×移住定住イベント	栃木市
1月20日（火）	ふれあいEVバス出発式	栃木市
3月１日（日）	あそ雛マルシェ	栃木市商店会連合会

(4)　とちぎ蔵の街観光館利用状況

月	蔵　座　敷	
	回数（組）	人 員（人）
4	1	15
5	0	0
6	0	0
7	3	91
8	12	30
9	2	40
10	6	109
11	1	16
12	2	20
1	0	0
2	1	10
3	0	0
合計	28	331

第３節　農業振興課

〔総括概要〕

本市は、農家戸数、耕地面積ともに県内有数の都市で、水稲や二条大麦を中心にいちご・トマトなどの施設園芸、ぶどう・なしなどの果樹、畜産などの経営が盛んである。特に二条大麦といちごは、全国でもトップクラスの作付面積と生産量を誇っている。また、本市の農業には、首都圏に位置するという地理的優位性から、生産者と消費者をつなぎ安心安全で確かな農産物を届けることが期待されているほか、農業を営みながら多様なライフスタイルを実現する「半農半Ｘ」への関心が高まりつつある。加えて、農業は、食料やその他の農産物を供給する機能以外にも、自然環境の保全、土壌浸食防止、気候変動の緩和、特徴的な景観及び伝統文化の形成など、多面的かつ公益的な機能を果たしている。

しかし、今日の農業は、農業従事者の減少と高齢化による人手不足、荒廃農地の増加、物価高による資材費等の上昇、外国産農産物との競合、気候変動による生産への影響など様々な問題を抱えている。とりわけ、本年は市南部でイネカメムシによる大規模な被害が発生し、米の大幅な減収に見舞われた。このほか、令和５年度産米の収量減に端を発する米価の高騰は、農産物の安定生産や消費者購買行動に対して少なからず影響を及ぼしており、こういった社会情勢の変化が農業経営の不安定化を促し、離農者の増加、ひいては農業・農村の機能の低下が懸念される。

こうした状況下において、本市では、農業生産と農村の振興を軸とした各種施策を実施することにより、農業経営の安定と就農意欲の喚起に力を注いだほか、一般財団法人栃木市農業公社及び栃木市農業再生協議会と連携し、担い手への農地集積・集約と水田を活用した戦略作物の本作化を支援した。

農政係

1　経営所得安定対策と米政策

農業経営の安定や食料自給率の向上を図るとともに、農業の多面的機能を将来にわたって適切に発揮するため、国の経営所得安定対策とその関連事業を活用し、需要に応じた作物の生産等を推進した。

(1)　水田活用の直接支払交付金

食料自給力の向上に資する麦・大豆・飼料作物等戦略作物の本作化や生産性向上の取組等を支援した。

・戦略作物等交付対象面積　（単位：ha）

麦	514.01
大豆	36.86
そば	37.24
飼料作物	93.03

新規需要米	ＷＣＳ用稲	63.80
	飼料用米	43.10
	米粉用米	78.52
加工用米		2.11

・産地交付金（市設定枠）交付対象面積　（単位：ha）

飼料用米等の生産性向上	120.44
二毛作	1486.33
麦の生産性向上	1663.22
大豆の生産性向上	223.16
加工用米の生産性向上	50.26
野菜の生産振興	28.82

(2)　コメ新市場開拓等促進事業

需要拡大が期待される加工用米、米粉用米の低コスト生産の取組を支援した。

・コメ新市場開拓等促進事業交付対象面積　（単位：ha）

新市場開拓用米	1.00
加工用米	41.88

(3)　畑作物産地形成促進事業

水田における畑作物の導入・定着に向けた取組を支援した。

・畑作物産地形成促進事業交付対象面積　（単位：ha）

麦	296.91
大豆	83.82
高収益作物（野菜）	10.13
子実用とうもろこし	7.66

(4)　畑地化促進事業

水田を畑地化して畑作物の本作化に取り組む農業者を支援した。

・畑地化促進事業交付対象面積　（単位：ha）

飼料作物	14.07

(5)　令和8年度水稲生産実施計画及び営農計画書等の受付事務

経営所得安定対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会による個別相談及び事業加入申請受付を行った。

・期間　2月10日～2月27日

2　農業制度資金関係

(1)　農業近代化資金利子補給金

農業経営の近代化・高度化に資する資金の円滑な融通とその返済に掛かる負担の軽減を図るため、融資を実行した金融機関に対して利子補給金を交付した。

・利子補給金額（一般農業者）

上　期	下　期	利子補給金合計（円）

件数（件）	利子補給金（円）	件数（件）	利子補給金（円）	
48	207,911	47	335,546	606,457

・特別利子（認定農業者上乗せ分）

上　期		下　期		利子補給金合計（円）
件数（件）	利子補給金（円）	件数（件）	利子補給金（円）	
6	41,742	6	91,722	13,464

・新規融資申請状況

申請件数(件)	申請金額（千円）
13	132,726

(2)　農業経営基盤強化資金利子助成金

認定農業者等が経営改善を図るために借り入れる農業経営基盤強化資金等の金利負担を軽減するため、利子助成を実施した。（県助成金と同額を助成）

・利子助成金額（平成23年度融資実行分までの利子。平成24年度以降該当者なし）

件数（件）	利子助成金額（円）
1	855

3　農業経営基盤強化促進事業

経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営体が農業生産の相当部分を担うような農業構造の確立を目指して、経営改善に取り組む農業者の計画を認定するとともに、農用地の利用集積、生産性の向上など、農業者等による経営改善に向けた計画的な取組を支援した。

(1)　経営改善に向けた取組の支援（認定農業者・認定新規就農者の認定）

他産業並の労働時間と年間所得の実現を目指して、農業者や農業法人、これから農業経営を営もうとする者の経営改善に向けた計画の策定を支援し､その認定を行った。

区　分		経営体数	備　考
農業経営改善計画認定者		149	内広域認定7経営体
	新規認定	12	内広域認定1経営体
	再認定	123	内広域認定4経営体
	変更認定	14	内広域認定2経営体
青年等就農計画認定者		3	内変更認定1経営体

(2)　農用地の利用集積

ア　農地流動化関連事業

認定農業者をはじめとする担い手及び今後育成すべき農業者に農地を集積し規模拡大を図るため、農業委員会等関係機関との連携のもと農地に関するニーズの掘り起こし活動を実施し、農地の流動化(農地の貸借・売買）を推進した。

・農用地利用集積計画策定状況

番号	公告 年月日	告示番号	利用権等の種類	面積 (ha)
1	5月28日	栃木市告示第168号	中間管理権の設定	51.8
2	6月26日	栃木市告示第196・197号	中間管理権の設定及び所有権移転	25.4
3	7月29日	栃木市告示第227・228号	中間管理権の設定及び所有権移転	22.2
4	8月27日	栃木市告示第252・253号	中間管理権の設定及び所有権移転	12.0
5	9月26日	栃木市告示第278号	中間管理権の設定	11.9
6	10月29日	栃木市告示第318・319号	中間管理権の設定及び所有権移転	64.1
7	11月26日	栃木市告示第336号	中間管理権の設定	48.0
8	12月24日	栃木市告示第364・365号	中間管理権の設定及び所有権移転	114.6
9	1月28日	栃木市告示第18・19号	中間管理権の設定及び所有権移転	58.7
10	2月25日	栃木市告示第42・43号	中間管理権の設定及び所有権移転	66.4
11	3月27日	栃木市告示第　77号	中間管理権の設定及び所有権移転	51.7
合　　計				526.8

4　新規就農支援事業

(1)　就農相談

県や農協、農業公社等農業関係機関・団体と連携し、就農準備、就農、定着、経営発展の各段階における相談を受け、補助金や制度資金の活用、農地の斡旋など必要な支援を行った。

(2)　就農イベントへの出展

次代を担う新規就農者の確保を目的としたイベントに出展した。

名　称	日　時	場　所	概　　況
トチノフェア	7月26日(土)	栃木県庁	・本市への相談件数　7件
新・農業人フェア	9月15日(月)	東京国際フォーラム	・本市への相談件数　6件

(3)　新たに就農した経営体への支援

就農直後の青年就農者に対し農業経営に係る経費の一部を支援することにより、就農意欲の喚起と就農後の定着を図った。

支　援　区　分	対 象 者（人）	補助金額（円）
新規就農サポート事業費補助金（市単）	4	1,311,565
青年就農補助金（国庫） （国事業名：農業次世代人材投資事業（経営開始型））	4 （内夫婦1組）	4,800,000
新規就農者経営開始支援事業費補助金（国庫） （国事業名：経営開始資金）	14 （内夫婦4組）	16,875,000
新規就農者経営発展支援事業費補助金（国庫）	1	4,250,000

（国事業名：経営発展支援事業）		

5　農村女性活動活性化事業

市内の農村女性組織間の連携や情報交換を密にしつつ、農業経営における男女共同参画意識を高め、豊かで活力ある地域社会の実現に資することを目指して、女性農業団体の活動を支援した。

・栃木市農村生活研究グループ協議会

【視察研修会】

開催日：11月11日（火）

視察先：道の駅はが、ヤクルトカフェゆいの杜

参加者：28人

・栃木市農村女性会議

【視察研修会】

開催日：10月27日（月）

視察先：那須661ワインヒルズ、明治の森・黒磯、今牧場

参加者数：26人

6　栃木県南地方卸売市場関係

(1)　概要

栃木県南地方卸売市場は、平成29年10月1日に民営化し、現在、荒井商事株式会社が『「安心・安全・新鮮・元気」を軸に生産者と消費者をつなぐ地域密着の「食の拠点」づくり』をテーマに掲げて開設・運営している。

・開設者（民営事業者）

商　　号：荒井商事株式会社

所 在 地：神奈川県平塚市紅谷町17番2号

開設期間：令和4年10月1日～令和9年9月30日の5年間

・運営（管理業務）の状況

区　分	金額・数量等	備　考
収入	130,963,846円	民営第8期
支出	106,113,159円	令和6年10月1日～令和7年9月30日
卸売業者	3社	令和7年9月30日現在
仲卸業者	11社	
関連事業者	14社	
買受人	190社	
買出人	510社	

(2)　財産管理

市場の土地・建物は、小山市、栃木市、下野市、壬生町、野木町の共有財産であり、管理に関する事務は小山市へ委託している。その事務に要する費用は構成市町が負担率に応じて負担している。

・事務委託費：令和７年度における本市の負担分 11,007,229 円

・構成市町の共有財産

区　分	数　量　等	備　考
土地	61筆　計111327.80㎡	内栃木県中央食販㈱へ貸付12547.16㎡
建物	15棟　延23506.68㎡	
設備	冷蔵機械設備 等　10件	
付属施設	囲障、受水槽 等　10件	

・構成市町負担率（共有財産の持分）

小山市	66.60%
栃木市	29.09%
下野市	0.95%
壬生町	1.82%
野木町	1.54%

・10 月 13 日発生放火事件

10 月 13 日 21 時 40 分頃卸売棟のパレット付近で出火し翌 14 日 1 時 34 分に鎮火した。

【被害設備】

高圧ケーブルの焼損

低圧電線の焼損

青果卸売天井焼損（窓ガラス破損等）

屋根焼損（鉄骨・屋根板変形、雨漏り等）

青果卸売市場荷受室電話回線焼損

(3)　栃木県南地方卸売市場管理評価委員会

開設者が行う管理運営状況について、外部専門家を交えて評価、指導等を行った。

開催日時：2月17日（火）　午後2時00分

評価対象期間：令和6年10月1日～令和7年9月30日

7　ふるさと農業体験学習事業

地域農業への理解促進や就農意欲の喚起、及び本市農業の担い手確保を目的として、栃木市農業士会との共催により「ふるさと農業体験学習（いちご収穫体験会・新規就農相談会）」を開催した。

開催日：5月7日（土）

会場：會田農業士圃場、関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）

内容：いちご（とちあいか）収穫体験会、新規就農相談会

参加者数：58人（うち新規就農相談会参加者25人）

8　農業者団体等育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業者団体等の指導、育成を行うとともに、実施事業に対する支援を行った。

補助金等名称	相手方	補助額（円）	補助対象事業の内容
栃木市認定農業者協議会補助金	栃木市認定農業者協議会	49,750	講演会費用（講師謝礼、会場費）
農業改良団体育成助長補助金	栃木市農村生活研究グループ協議会	35,000	県・地区会費負担金
	栃木市農村女性会議	13,797	視察研修会費用（保険料、高速代の一部）

9　地域計画策定事業

集落･地域における話し合いに基づき､地域農業のあり方などを明確化した｢地域計画｣を実行する地域の取組を支援するとともに、農地中間管理事業を活用して、担い手への農地集積と集約を図る。

(1)　地域計画策定に向けた取組

各集落・地域において、農業委員・農地利用最適化推進委員が中心となり、「未来につなげる　地域の田畑・集落を考える座談会」を開催し、10年後の地域農業の姿について地域における話し合いを行った。

区　分	主　催	回　数	時　期
未来につなげる　地域の田畑・集落を考える座談会	市 農業委員会事務局	7回	1月14日～26日

(2)　農地利用地域計画策定懇談会

地域農業の実情を地域計画に反映するため、農業者、農業関係団体、及び公募委員等で構成する農地利用地域計画策定懇談会を開催した。

開催日：3月2日（月）

出席委員：9名

内容：地域計画（変更案）及び目標地図（変更案）の確認、国との意見交換等

(3)　農地中間管理機構を活用した農地集積の促進

農地流動化の取組に関連し、地域の農地をまとめて農地中間管理機構に貸し付けて担い手への農地集積・集約化を図る場合、機構集積協力金の交付対象となる。

・機構集積協力金の活用状況

区　分		対象者	対象面積（ha）	補助金額（円）
機構集積協力金	地域集積協力金	小野口地区ほ場整備推進協議会	34	11,556,600
	集約化奨励金	－	－	－

10　農業振興地域整備促進事業

(1)　農業振興地域整備計画の一般管理（農振除外）

農地に係る社会的・経済的情勢の変化を考慮しつつ、農林業と都市計画の健全な調和の観点から限られた土地資源を有効に配分するため、農業振興地域整備計画の変更

（いわゆる農振除外）の申出を受け付け、一般管理を行った。

(2)　農業振興地域内の農用地等の面積（令和7年12月31日時点）　　（単位：ha）

区分		総面積	農用地						混牧林地	農業用施設用地	混牧林地以外の山林原野	その他
			農地				採草放牧地	計				
			田	畑	樹園地	計						
現況	農業振興地域	16,942	7,949	1,802	217	9,968	2	9,970	2	55	1,468	5,447
	農用地区域	7,328	6,366	721	154	7,241	－	7,241	－	52	6	29
	農振白地地域	9,613	1,583	1,081	63	2,727	2	2,729	2	2	1,462	5,418

(3)　農振除外申出受理件数　　（単位：件）

区分	件数
重要変更	15
軽微な変更	5

11　農業委員会との調整

農地中間管理事業法に基づく中間管理権設定等事務、農業振興地域の整備に関する法律に基づく農振除外事務及び農地法に基づく農地転用事務を適正かつ円滑に遂行するため、農業委員会との連携・調整、及び意見照会を行った。

12　諸証明の発行状況　　（単位：件）

件名	件数
農振農用地区域等の証明	19
譲渡所得の特別控除に係る土地等についての証明等	26
登録免許税の税率の軽減措置に係る土地の取得証明	13
合計	58

13　一般財団法人栃木市農業公社に関する事業

栃木市全域をカバーする農業公社の自主的かつ安定的な運営を支援するため、運営費を補助した。

・補助金額：17,681,000円

14　栃木市農業ビジョンの進捗管理

平成29年から令和8年までの10年間の本市農業のあるべき姿や方向性を描いた「栃木市農業ビジョン」に掲げた7つのプロジェクトと、その行動計画である「栃木市農業振興アクションプラン」の進捗状況について、管理・点検を行った。

・栃木市農業振興推進会議

開催回数：1回（2月18日（水））

内容：栃木市農業ビジョンの進捗状況、地域計画の策定状況と令和７年度各地域座談会での意見概要について、栃木市有機農業実施計画の策定と実施状況について、構造改革特別区域計画認定申請（ワイン特区）について、意見交換（次期栃木市農業ビジョンの策定について）

生産振興係

1　農業生産振興事業

農業生産の規模拡大や経営の安定化を図るため、機械施設の導入などに対し支援を行った。

区　　分	事業内容	取組件数	補助額（円）
土地利用型園芸産地新たなチャレンジ支援事業（県補助：ソフト事業）	経費補助	1経営体	1,813,000
土地利用型園芸産地新たなチャレンジ支援事業（県補助：ハード事業）	経費補助	1経営体	10,798,000
栃木の米作りプロジェクト推進事業（県補助:ソフト事業）	経費補助	1経営体	50,000
栃木の米作りプロジェクト推進事業（県補助:ハード事業）	経費補助	1経営体	1,290,000
園芸大国とちぎフル加速総合対策事業（県補助）	経費補助	1経営体	4,911,000
担い手確保・経営強化支援事業（国庫）	経費補助	6経営体	23,665,000
麦・大豆生産技術向上事業（国庫）	経費補助	2経営体	9,448,000
産地生産基盤パワーアップ事業(収益性向上タイプ）（国庫）	経費補助	8経営体	59,295,000

【令和6年度繰越】

区　　分	事業内容	取組件数	補助額（円）
新基本計画実装･農業構造転換支援事業(国庫)	経費補助	1経営体	63,425,000

2　稲等病害虫防除事業

病害虫防除を広域的かつ効率的に行うとともに､農業者の作業負担の軽減を図るため、ラジコンヘリコプター等を使用した共同防除の取組を支援した。

（予算内での定額補助）

補助金額：31,293,100円

面　　積：3,663.71ha

対 象 者：16団体(1,631人)

3　優良種苗購入事業

いちごの親苗由来の病害を抑制し生産量と品質の維持向上を図るとともに、推奨品種

への転換を促進するため、優良種苗調達の取組を支援した。

（予算内での定額補助）

事業主体：下野農業協同組合、上都賀農業協同組合

補助金額：897,351円（とちおとめ・スカイベリー、とちあいか8.9円/本）

事業内容：優良種苗の供給　100,826本

4　農業用廃ビニール処理事業

農業用廃ビニールの分別回収と適正処分を促進するため、廃棄に係る費用の一部を支援し実施者の負担軽減を図った。

（予算内での定額補助）

事業主体：市内6地域の廃プラスチック処理対策団体

事業内容：農業用廃ビニール分別回収、適正処理

処 理 量：264.10t

補助金額：1,550,000円(処理経費の約7.8%)

5　環境保全型農業直接支払交付金

地球温暖化防止や生物多様性の保全等に寄与する営農活動を行う農業者グループ等に対し、経費の一部を支援した。

活動組織名	実施地区	対象農家数（戸）	事業内容	交付額（円）
栃木市環境保全型農業研究会	栃木地域 大平地域 藤岡地域 都賀地域	10	有機農業　1,620ａ 炭素貯留効果の高い有機農業　97ａ 緑肥の施用　1,306ａ	3,076,200

6　有機農業推進事業

国の「みどりの食料システム戦略」及び県の「とちぎグリーン農業推進方針」に沿って、本市の農業生産における環境負荷低減の取組を推進するため、令和７年３月に栃木市有機農業実施計画を策定し、同年５月に生産・流通・消費の各段階において地域ぐるみで有機農業を推進していくことを宣言する「オーガニックビレッジ宣言」を行い、事業の実施主体となる栃木市有機農業推進協議会を設立し、具体的な取組を行った。

・協議会の主な取組

学校給食へ有機農産物の試行的導入

有機農産物の物流システム構築のための調査・検証

オーガニックマルシェの開催

オーガニック講座の開催

各種イベントでのＰＲの実施

7　畜産振興事業関係

(1)　畜産団体育成補助金

本市畜産業の振興を目的として、畜産農業者が連携して行う実践活動及び自衛的に実施する家畜防疫事業に要する費用の一部を支援した。

支出先：栃木市畜産協議会

補助額：200,000円

(2)　繁殖牛導入促進支援補助金

子牛の繁殖及び繁殖･肥育の一貫経営に取り組む農業者の経営の安定を図るため、繁殖牛導入経費の一部を補助した。

取組件数：2経営体

補 助 額：182,000円（1頭あたり導入経費の1割（上限10万円））

農村振興係

1　農産物ＰＲ事業

県内外において開催されたイベント等において、市内農畜産物をＰＲし、販売促進を図った。

また、県主催「いちご王国プロモーション事業」の協賛として、県内外において開催されたイベント等においていちごの販売促進及びのぼり旗やポスター等によるディスプレイを実施し、県産いちごのＰＲを図った。

・農業振興課職員参加のＰＲイベント

名　称	日　時	場　所	内　容
佐野まるっとマルシェ	5月5日(月)	佐野プレミアムアウトレット遊歩道	・いちご、ブルーベリーのジャムやジュース、漬物、惣菜等販売
県民の日 東武宇都宮線 フリー乗車DAY	6月15日(日)	栃木駅	・農産物、惣菜、道の駅グッズ、鉢植え等の販売 ・お買上げ抽選会
栃木市産ぶどうのPRイベント	8月21日(木)	北千住駅 2階中央改札内	・種なし巨峰、シャインマスカット、野菜の販売
栃木駅鉄道イベント	1月24日(土)	栃木駅南北自由通路	・野菜、惣菜の販売

・いちご王国プロモーション事業

名　称	日　時	場　所	内　容
「いちご王国」ＰＲディスプレイの実施	R8年 1月9日(金) ～2月27日(金)	栃木市役所本庁舎 （2階吹抜）	・市役所本庁舎を利用し、のぼり旗、ポスター掲示等いちご王国のＰＲを実施 ・いちご検定実施

栃木駅鉄道イベント	1月24日(土)	栃木駅	・いちご、いちご大福の販売
栃木市産いちご直売会	3月25日(水)	日本橋プラザビル南広場	・いちごのＰＲ販売

2　地域農産物活用補助事業関係

(1)　栃木市直売所連絡協議会関係

直売所相互の連携体制を構築し、地産地消を推進するため、共通のＰＲ用チラシ及びポスターの作製・配布による支援を実施した。

事　業　主　体：栃木市直売所連絡協議会

事　業　内　容：直売所が実施する「地産地消」や「安全・安心ＰＲ」に関する事業の経費に対し補助する。

対象直売所数：12か所

補　助　金　額：188,000円

(2)　直売所出荷農家表彰制度

農業に生きがいを持ち、楽しく頑張る農家を後押しすることを目的として、各直売所より推薦のあった対象者に賞状と記念品を贈呈した。

・表彰対象者　　7名

3　都市農村交流事業

地域資源を生かした農業体験事業を通じ、都市農村交流の活性化及び地域農業振興の促進を図る取組を支援した。

・各地区における交流事業実施状況

地　区	開　催　日	名　称	参加者(人)
寺尾地区	5月25日(日)、9月28日(土)	寺尾米づくり体験教室2025	199
下高島地区	5月25日(日)、8月31日(日)	茶豆オーナー制度引渡し	260
大平地区	4月1日(火)～12月15日(月)	七ふしぎ農業体験、トレッキングイベント	243
皆川地区	5月25日(日)、9月13日(土)	田植え、いちご狩り、稲刈り体験、農作物の学習	99
西方地区	10月15日(水)	さつまいも収穫体験	55

4　農産物加工施設等の管理運営事業

地域農村のコミュニティづくりのほか、加工による地域農産物の消費拡大、付加価値向上、及び地域農業に対する理解促進を図るため、農産物加工施設の管理・運営を行った。

・施設の利用状況

施　設　名	利用日数（日）	利用人数（人）	主な利用目的
農村振興総合センター	100	1,221	味噌づくり､農業関係団体の会議、市民講座会場・練習等
大平西地区農産加工所	93	576	ぶどうジャム・ジュースづくり 味噌づくり
大平農村婦人の家	31 (内：選挙3日間)	172	地元団体(自治会・水利組合)会議 ※設備劣化のため調理室使用中止
藤岡農産加工センター	28	172	味噌づくり
西方農産加工所	308	4,864	いちごジャム・ジュース、弁当、惣菜、漬物、梅干し等の製造・加工、味噌づくり
西方農村婦人の家	63	407	
岩舟町ふるさとセンター	66	458	味噌づくり、地元団体の会議

5　都賀生出(おいで)宿里の駅施設管理事業

直売所やカタクリの里等、市の主要な観光地を訪れる観光客の利便性向上を図るため設置された、生出宿公衆トイレ施設の維持管理及び、修繕を行った。

6　とちぎアグリフェスタ事業

農産物等の販売を通し、生産者と消費者の相互理解を深めるとともに、地域農業の振興と地域農産物のＰＲ並びに食と農に対する理解と正しい知識を深めることを目的に、下野農業協同組合との共催により、とちぎアグリフェスタ2025を開催した。

なお、今年度から、下野農業協同組合の組織が統廃合されたのを機に実施地域を拡大し、２会場で2日間開催した。

開　催　日	会　　場	来　場　者　数
11 月 22 日（土）	栃木市大平運動公園 第一多目的広場	約 22,000 人
12 月 6 日（土）	栃木市総合運動公園 中心広場	約 24,000 人

実施内容：地域農産物の販売と屋台の出店、農産物無料配布、お買上げ抽選会等

7　道の駅管理運営事業

本市の農畜産物や地域特産品の紹介、販売、及び地域情報の発信を通して、都市と農村の交流を促進することを目的に道の駅みかも及び道の駅にしかたを指定管理者制度の導入により管理運営を行った。主な取り組みとして、民間の活力とノウハウを生かして農産物の消費拡大と高付加価値化に取り組んでいるほか、各種イベントを開催して地元農産物や特産品等のＰＲを行った。

(1)　道の駅みかも

・売上等実績

施設名	客　数　(人)	売上額　(円)
農産物直売室	238,450	248,663,401
物産館	370,880	259,403,216
農産物加工販売室「ジェラート工房」	41,716	24,127,980
地域食材供給室「レストランみかも」	63,803	56,073,890
合　　計	714,849	588,268,487

・主なイベント

イベント名	開　催　日
リニューアルオープンイベント	6月2日(月)～6月8日(日)
錦鯉の品評会	11月30日(日)

(2)　道の駅にしかた

・売上等実績

施設名	客　数(人)	売上額　(円)
農産物直売所「ふれあいの郷」	191,854	293,000,113
農村レストラン「ふるさと一番」	140,961	102,940,695
交流物産館「さくら」	41,521	57,735,187
合　　計	374,336	453,675,995

・主なイベント

イベント名	開　催　日
夏の感謝祭	7月20日(日)
秋の感謝祭	11月23日(日)

8　むらづくり施設管理運営事業

いわふねフルーツパークセンターは、農産物の加工及び販売を通じた都市と農村の交流促進、岩舟農村環境改善センターは農業者及び農村地域在住者の生活改善、健康増進等の促進及び地域活性化を目的として設置されている。両施設は指定管理者制度を導入し、民間の活力とノウハウを生かして、観光による農業・農村への理解促進と地域活性化、市民や観光客の交流促進に取り組み、施設の効果的な活用を図った。また、むらづくり施設の維持管理（補修等）を実施した。

(1)　売上等実績

施設名	客数(人)	売上額(円)	備考
いわふねフルーツパークセンター	242,243	406,817,562	
岩舟農村環境改善センター（こなら館）	7,334	811,290	施設利用料
合　　計	249,577	407,628,852	

(2)　維持管理（補修等）

施設名	補修等内容	金額(円)
いわふねフルーツパークセンター	空調機器修繕工事	1,289,442
岩舟農村環境改善センター（こなら館）	浄化槽改修工事	756,800
岩舟農村環境改善センター（こなら館）	空調機器修繕工事	1,246,300

第４節　農林整備課

〔総括概要〕

農村整備係では、農業水利施設の維持管理や老朽施設の更新、農道の舗装などを実施するとともに、農村地域が有する多面的機能の適切な保全管理に取り組む団体の活動を支援した。

また、下流域の浸水被害軽減を目的とした「流域治水」の対策として田んぼダム整備事業を推進し、あわせて、防災・減災事業の観点から防災重点農業用ため池に係る防災工事の実施に向けた、詳細設計業務委託を行った。

林務係では、森林が有する多面的機能の維持を目的に、森林の適正な経営管理の推進を図るとともに、林業関連事業体や担い手の育成、森林整備の普及啓発に取り組んだ。

獣害対策係では、有害鳥獣による農作物や生活環境への被害を防止するため、地元猟友会や関係機関と連携し、「捕獲」・「侵入防止対策」・「生息環境管理」の3つの柱による鳥獣被害対策推進に向けた支援を実施した。

農村整備係

1　市単独農業農村整備事業

農業水利施設の維持管理及び老朽化した施設の改修等を実施した。

(1)　実施事業

事業箇所（地区名）	事業内容	事業費（円）
藤岡町（富吉）	赤津川堆積土砂撤去工事	1,805,100
	富吉１地区　法面土砂撤去工事	12,540,000
	富吉２地区　赤津川堆積土砂撤去工事	5,489,000
都賀町家中	家中かんがい排水路土砂浚渫工事	3,674,000
西方町真名子	申田川土砂浚渫工事	3,278,000

(2)　補助金

団体名	事業箇所（地区名） 事業内容	事業費 （円）	補助額 （円）
栃木市土地改良区	高谷町（高谷地区） ・小型水門修繕	649,000	129,800
栃木市東部土地改良区	大宮町（大宮地区） ・用水路改修	1,091,200	200,000
大美間土地改良区	大平町横堀（横堀地区） ・揚水ポンプ更新　ほか４件	4,199,800	839,960

藤岡土地改良区	藤岡町部屋（巴波川西部地区） ・揚水ポンプ更新　ほか３件	1,927,200	385,400
都賀町土地改良区	都賀町家中（家中南部地区） ・パイプライン修繕　ほか２件	3,390,798	678,150
小倉堰土地改良区	西方町本城（西方地区） ・揚水機配電盤更新	1,439,900	287,980
大岩藤土地改良区	岩舟町鷲巣（鷲巣地区） ・ゲートバブル交換 ほか５件	3,575,000	715,000
岩舟土地改良区	岩舟町静戸（静戸川地区） ・水路柵板設置	785,180	157,000
沼和田東部水利組合	栃木市沼和田（沼和田東部地区） ・井戸設備改修　ほか１件	1,661,000	332,200
西水代水利土木組合	大平町西水代（西水代地区） ・井戸設備改修　ほか１件	6,623,252	1,324,650

２　県単独農業農村整備事業

土地改良区が実施する農業水利施設の改修等に対して補助金を交付した。

補助金

団体名	事業箇所（地区名） 事業内容	事業費 （円）	補助額 （円）
栃木市土地改良区	木野地町（吹上東部(1)地区） ・揚水機改修　１箇所	9,000,000	4,950,000
	木野地町（吹上東部(2)地区） ・揚水機改修　１箇所	10,000,000	5,500,000
	新井町（栃木市西部地区） ・揚水機改修　１箇所	11,000,000	6,050,000
	大塚町（大塚地区） ・揚水機場修繕　１箇所	3,000,000	1,650,000
栃木市東部土地改良区	大宮町（大宮地区） ・揚水機改修　１箇所	5,800,000	3,190,000
	久保田町（久保田地区） ・揚水機改修　１箇所	5,200,000	2,860,000
国府土地改良区	大光寺町（国府南部地区） ・揚水機改修　１箇所	4,700,000	2,585,000
大岩藤土地改良区	岩舟町畳岡（大岩藤地区） ・中央監視装置修理	1,716,000	943,200
藤岡土地改良区	藤岡町蛭沼（巴波川西部(1)地区） ・幹線排水路護岸復旧工事	3,300,000	1,815,000

	藤岡町中根（巴波川西部(2)地区） ・さく井・揚水機工事　1箇所	25,400,000	13,970,000
	藤岡町甲（新井地区） ・揚水機改修　1箇所	2,700,000	1,485,000
都賀町土地改良区	都賀町家中（桑原用水地区） ・頭首工用水管内土砂除去	6,000,000	3,300,000
岩舟土地改良区	岩舟町静和（静和地区） ・揚水機改修　1箇所	2,450,000	1,347,000

3　農地耕作条件改善事業

地域計画の策定区域において、農業者が継続的に農業を営める環境の整備を図るため部屋南部地区において老朽化した農業用排水路の改修事業を推進した。あわせて、土地改良区が実施する関連事業に対して補助金を交付した。

(1)　部屋南部地区排水路改修工事

事業内容		金額（円）	備考
実施設計業務委託	実施設計の作成	2,024,000	R6 繰越
工事管理業務委託	管理、報告書の作成	4,917,000	
排水路改修工事	第１工区　L=40.0m	35,508,000	R5、R6 繰越
	第２工区　L=56.0m	48,576,000	
	第３工区　L=86.0m	73,700,000	
	第４工区　L=38.0m	29,788,000	

(2)　補助金

地区名	実施主体	事業内容	補助額（円）
国府南部(8)	国府土地改良区	揚水機改修	5,800,000

4　部屋南部地区かんがい排水事業負担金

県が実施する土地改良事業に係る法定負担金（受益者負担金）を支出した。

事業名	事業箇所	事業期間	事業内容	負担額（円）
水利施設整備事業 （かんがい排水）	部屋南部地区	H30 年度 ～R9 年度	排水機場改修 一式	84,392,000

5　水施設等保全高度化事業負担金

県が実施する亀の子堰（所在地：小山市大川島、受益地：藤岡町新波地区）の改修工事に係る法定負担金（受益者負担金）を支出した。

事業名	事業箇所	事業期間	事業内容	負担額（円）
水利施設高度化事業	亀の子堰地区	R5 年度 ～R8 年度	堰の改修	153,000
農地集積促進事業			農地集約事業	3,000

6　国営かんがい排水事業栃木南部地区負担金

国営土地改良事業栃木南部地区の円滑な事業の推進を図るため、関係市町及び土地改良区との連絡調整ならびに施設の維持管理体制の確立を目的とした協議会に対し、負担金を支出した。

支出先	負担金（円）
栃木南部地区国営土地改良事業推進協議会	120,000

7　皆川西部地区ほ場整備事業

皆川西部地区における農業生産基盤の一体的な整備を目的として、ほ場整備事業推進に向けた各種調査業務を実施した。

業務委託名	事業内容	事業費（円）
経営体育成促進換地等調整業務委託	換地設計基準の作成	1,232,000

8　防災重点農業用ため池整備事業

市内にある防災重点農業用ため池25か所については、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき、令和12年度までに防災工事を実施する計画となっている。令和7年度においては、防災工事の詳細設計業務委託を行った。

また、市内の農業用ため池7か所について、水害対策のために台風時期に合わせてため池の水位を下げて貯水容量を増やす「低水管理」を管理者に委託し、実施した。

(1)　防災重点農業用ため池実施計画策定業務委託（市負担額20%）

業務委託名	実施箇所	委託費（円）	備考
弁天下溜詳細設計業務委託	大平町西山田	9,900,000	R6より繰越
大柿西溜詳細設計業務委託	都賀町大柿	10,604,000	

(2)　農業用ため池低水管理業務委託

実施箇所

ため池名	事業箇所	管理者
南嶺溜	都賀町大柿	都賀町土地改良区
深沢芦ノ沢溜	都賀町深沢	都賀町土地改良区
荒川1号溜	都賀町木	都賀町土地改良区
荒川2号溜	都賀町木	栃木市土地改良区
鷲巣溜（下）	岩舟町鷲巣	大岩藤土地改良区
星の宮溜（下）	岩舟町三谷	三谷地域自治会連合会
梓溜	皆川城内町	栃木市土地改良区

・委託費　　1,300,000円（内、市負担額は25%）

9　多面的機能支払交付金事業

非農家を含む地域住民が共同で実施する、農地・農業用水等の保全管理や農村環境の保全向上等に関する取組を支援するため、補助金を交付した。

※市負担額は、事業費の25%

活動組織名	事業内容	事業実施面積（a）	事業費(円)
仲仕上みどりの里	農地維持、資源向上	田：4,494	2,157,120
大塚田んぼの会	農地維持、資源向上	田：13,561 畑：1,766	7,053,208
細堀・木の西みどりの会	農地維持、資源向上	田：3,245 畑：567	1,732,236
川原田めぐみの里	農地維持、資源向上	田：2,978　畑：283	1,516,604
宿前みどりの会	農地維持、資源向上	田：3,620　畑：79	1,761,932
吹上東部環境保全会	農地維持、資源向上	田：5,740　畑：1,167	3,114,636
春名塚環境保全会	農地維持、資源向上	田：12,185　畑：406	5,973,848
沼和田東部環境保全会	農地維持	田：4,287	1,282,200
尻内梓環境保全会	農地維持、資源向上	田：2,100　畑：260	1,088,080
和田環境保全会	農地維持	田：620	186,000
高谷町グリーンクラブ	農地維持、資源向上	田：4,518　畑：469	2,313,092
寺尾南部環境保全会	農地維持	田：7,971　畑：503	2,491,900
寺尾北部地区農地・水保全の会	農地維持	田：4,771　畑：694	1,570,100
星野宮保全の会	農地維持	田：3,016　畑：417	988,200
西山田自然環境保全会	農地維持、資源向上	田：8,826　畑：7,006	6,394,328
富田七環境保全会	農地維持、資源向上	田：5,044　畑：210	2,485,800
西水代環境保全会	農地維持、資源向上（加算有）	田：10,446　畑：197	5,388,136
あらい水と緑の会	農地維持、資源向上	田：9,924　畑：62	4,782,616
上高島環境保全会	農地維持、資源向上	田：5,138　畑：160	2,515,520
水代新水利組合環境保全会	農地維持	田：1,729　畑：35	525,700
西野田環境保全会	農地維持、資源向上	田：5,077　畑：64	2,456,672
大平東部環境保全会	農地維持、資源向上	田：56,407　畑：719	18,628,588
下皆川環境保全会	農地維持、資源向上	田：3,371　畑：667	1,823,516
戸崎農地保全組合	農地維持	田：3,407　畑：262	1,074,500
万葉の郷保全会	農地維持	田：5,156　畑：92	1,565,200
ふじおか環境保全会	農地維持、資源向上（加算有）	田：64,739 畑：1,142	23,185,786
新波・巴波の郷	農地維持、資源向上（加算有）	田：9,858　畑：307	5,127,662
富張地区環境保全会	農地維持、資源向上	田：9,840 畑：1,785	5,272,980
大柿の郷をまもる会	農地維持、資源向上	田：11,066 畑：4,420	6,673,040
木の西環境保全会	農地維持、資源向上	田：2,461　畑：575	1,358,380
遊泉の会	農地維持、資源向上	田：23,005　畑：1,715	11,570,620
大橋深沢南地区環境保全会	農地維持	田：2,536　畑：25	765,800
ふるさと古江 21	農地維持、資源向上	田：3,700　畑：436	1,910,288
小名路里山を守る会	農地維持、資源向上	田：2,131　畑：149	1,068,772

静和川活動組織	農地維持	田：16,842 畑：3,220	5,696,600
沖田の里を守る会	農地維持	田：1,992	597,600
和泉活動組織	農地維持、資源向上	田：10,173　畑：473	5,028,724
三谷地域の自然を守る会	農地維持、資源向上	田：3,596　畑：655	1,927,820
両岡環境保全会	農地維持	田：3,886　畑：990	1,363,800
静戸川活動組織	農地維持	田：2,641　畑：2,253	1,242,900
思川西部環境保全会	農地維持、資源向上（加算有）	田：9,284　畑：161	4,787,326

10　田んぼダム整備事業業務委託

市内中心市街地における浸水被害の軽減対策として、関係土地改良区に対し、田んぼダム整備に係る業務を委託した。

委託先	対象地区	設置基数（延べ面積）	委託料（円）
栃木市土地改良区	吹上東部地区 栃木市西部地区 高谷地区	落水調整桝設置 12基(3.9ha) 18基(4.3ha) 13基(3.0ha)	 1,028,170 863,500 1,039,280
栃木市東部土地改良区	仲仕上地区	落水調整桝設置 12基(4.2ha)	990,000
都賀町土地改良区	赤津北部地区 赤津南部地区	落水調整桝設置 16基(4.1ha) 16基(4.7ha)	 981,750 965,030
小倉堰土地改良区	金井地区	落水調整桝設置 16基(4.1ha)	905,300
大岩藤土地改良区	西山田地区	落水調整桝設置 11基(3.9ha)	990,000

11　西前原湛水防除事業

農業用施設及び住宅地における湛水被害を防止するため、西前原排水機場の維持管理及び運転を実施した。

項目	内容
運転回数	0回
ポンプ稼働時間	0時間（点検に伴う試運転を除く）
事業費	9,453,171円（人件費を除く）

12　排水事業維持管理補助金

土地改良区が管理する排水機場の維持管理及び運転に係る経費の一部について、補助金を交付した。

地区名	排水機場名	事業費（円）	補助額（円）
部屋南部地区	石川排水機場	2,166,237	1,571,234

新井地区	鳥谷崎排水機場		
東谷津地区	東谷津排水機場		

13　排水機場維持管理負担金

受益地に栃木市を含む排水機場の維持管理に要する経費の一部について、関係市町等に対して負担金を支出した。

対象施設	相手方	負担金(円)
荒川排水機場、与良川排水機場	小山市	4,212,000
界排水機場	佐野市	225,272
邑楽東部第一排水機場	板倉町	145,000
渡良瀬川中央地区水管理施設	渡良瀬川中央区 水管理施設管理協議会	60,000

14　水利施設管理強化事業補助金（全額国庫補助）

土地改良区等が管理する農業水利施設の電気使用料の高騰に対処するため、国庫補助事業により、その高騰分の70%を補助した。

団体名	補助額(円)	備考
大岩藤土地改良区	906,450	渇水・高温対策
栃木市土地改良区	1,684,000	省エネルギー化推進型
栃木市東部土地改良区	1,386,000	
国府土地改良区	914,000	
大美間土地改良区	1,167,000	
大岩藤土地改良区	1,945,000	
藤岡土地改良区	584,000	
都賀町土地改良区	976,000	
小倉堰土地改良区	143,000	
岩舟土地改良区	602,000	
前谷土地改良維持管理組合	126,000	

15　農村公園管理事業

農村地域の住民の憩いの場である農村公園について、その維持管理を実施した。

名称	所在	委託先	委託料(円)
三谷農村公園	岩舟町三谷 132 番地 2	三谷区	80,000
中妻農村公園	岩舟町小野寺 4698 番地	中妻自治会	80,000
羽抜農村公園	岩舟町静 4199 番地 1	羽抜区	80,000
御門農村公園	岩舟町静 3604 番地 2	御門自治会	80,000

林務係

1　アメリカシロヒトリ駆除事業

アメリカシロヒトリの蔓延防止を目的として、市民による自主的な駆除を促進するため、背負式噴霧器及び高枝切りバサミの貸出しを実施した。

噴霧機及び高枝切りバサミの貸出し状況

貸出機器	貸出件数
背負式噴霧機	1件
高枝切りバサミ	2件

2　治山林道管理事業

利用者の安全確保を目的として、市内の林道、水路及び太平山下水資源確保治山ダムの維持管理を実施した。

(1)　林道等維持補修工事

工事名	工事箇所	工事費(円)
林道下皆川線舗装補修工事	大平町下皆川	11,000
林道下皆川線ガードレール、カーブミラー修繕工事	大平町下皆川	462,000
林道西山田線外舗装補修工事	大平町西山田外	935,000
岩舟小野寺地区水路浚渫工事	岩舟町小野寺	499,000
太平山下水資源確保治山ダムバルブ交換工事	平井町	1,947,000

(2)　林道等改修工事

工事名	工事箇所	工事費(円)
林道広戸三谷線ガードレール設置工事	岩舟町小野寺、三谷	1,980,000
林道西山田線ガードレール設置工事	大平町西山田	1,969,000
林道真上男丸柏木線舗装補修工事	西方町真名子	990,000

(3)　除草業務委託

路線名	委託内容	委託料(円)
林道下皆川線・大中寺下皆川線	除草業務委託	463,320
林道西山田線	除草及び側溝土砂清掃業務委託	498,630

(4)　維持管理業務委託

路線名／対象地区名	委託内容	委託料(円)
林道下皆川線・大中寺下皆川線	維持管理業務委託	499,620
林道西山田線	維持管理業務委託	495,000
林道広戸三谷線・西山田線	通行止めに伴う仮設柵設置業務委託	1,441,000
林道広戸三谷線	不法投棄物撤去業務委託	4,290,000
林道山中広戸線	スズメバチ駆除業務委託	33,000

林道西山田線	不法投棄物撤去業務委託	4,895,000
林道広戸三谷線・西山田線	通行止め解除に伴う仮設柵撤去業務委託	990,000
平井町地内	ナラ枯れ被害木伐採業務委託	979,000
大平町西山田地内	ナラ枯れ被害木伐採業務委託	396,000
林道西山田線	倒木撤去業務委託２件	719,400

(5)　太平山下水資源確保治山ダム維持管理業務委託

委託先	委託内容	期間	委託料(円)
平井町自治会	ダム周辺の清掃、草刈り等	通年	56,000

3　生活環境保全林維持管理事業

良好な生活環境の維持を図るため、生活環境保全林において、維持管理業務を実施した。

委託先	委託内容	期間	委託料(円)
NPO 法人太平山南山麓友の会	生活環境保全林維持管理業務委託	R7.6.1～R8.2.28	249,997

4　出流ふれあいの森管理事業

出流ふれあいの森は、森林のふれあい・体験活動を通じて、市民の森林への理解や自然との共生意識を高めることを目的とした施設であり、指定管理制度によりその運営管理を行った。

(1)　指定管理者による運営

・指定管理者　　みかも森林組合

・管理期間　　令和6年度～令和8年度

・委託費　　8,584,000円

(2)　施設用地の借地状況

・借地面積　　34,886.7㎡（地権者17人）

・施設用地の賃借料　　2,754,299円

・賠償保険料（森林国営保険料）　　792,134円

(3)　施設の整備及び修繕状況

・施設修繕費

工事名	工事費(円)
ローラー滑り台支柱修繕工事	420,200
管理棟照明器具取替え工事	215,600
管理棟・小コテージ修繕工事	115,610
食器洗浄機修繕工事	50,600
ローラー滑り台上段踊場修繕工事	676,500
消防設備改修工事	64,900

製氷機修繕工事	65,780

・工事請負費

工事名	工事費(円)
大コテージエアコン取付工事	319,000

(4) 施設利用状況 (単位：人)

入園者数	キャンプ場		バーベキュー場	スベリ台	コテージ	
	一般	オート			大	小
12,335	352	590	857	88	206	280

5 木とのふれあい体験事業

(1) 林業体験教室

森林資源の有効活用や水源涵養をはじめとした森林の持つ公益的機能についての理解を深めることを目的に、小学生を対象とした体験活動を実施した。

・実施日 11月29日（土）
・参加者 市内小学生及びその保護者計8人
・内 容 間伐体験

(2) 水とみどりのふれあい体験活動

出流ふれあいの森において、森林の役割や自然環境保全への理解を深めることを目的に、小学生とその保護者を対象とした木工教室やホタルの幼虫放流、特用林産物に関する体験活動を実施した。

・実施日 2月７日（土）
・参加者 11家族 計32人
・内 容 木工教室（木材を用いたプランターづくり体験、ホタル幼虫放流、特用林産教室（なめこ駒打ち体験）

6 とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業

とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業を活用し、里山林の維持管理を目的とした、除伐や刈払い等を実施した。

(1) 里山林整備事業

区分	実施箇所	事業量(ha)	交付金(円)
地域で育む里山林整備	岩舟町静地内	3.7	740,000

(2) 里山林管理事業（整備事業交付期間満了分）

区分	実施箇所	事業量(ha)	交付金(円)
地域で育む里山林整備	都賀町家中地内	0.6	30,000
同上	岩舟町静地内	6.4	320,000
野生獣被害対策	大平町西山田地内	2.0	100,000

7　森を育む人づくり事業交付金

地域主体の森づくり活動及び林業担い手の育成を目的に交付金を支給した。

(1)　みんなの元気な森づくり支援事業交付金

・支援団体

4団体　皆川地区街づくり協議会、みかも森林組合、渡良瀬エコビレッジ、栃木市林業振興会

・交付金額　　578,480円

(2)　林業担い手育成事業交付金

・支援団体　　林業・木材製造業労働災害防止協会

・交付金額　　96,000円

8　つがの里周辺管理事業

「つがの里」周辺の臼久保地区緑地の保全と施設維持の管理を実施した。

(1)　周辺緑地賃借

・借上面積　　10,254 ㎡

・借上金額　　90,560 円

(2)　木道・休憩場修繕工事

・あずまや修繕工事　　41,800 円

9　里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金事業

地域住民等による里山林の保全や竹林整備等の取組に対し、交付金を支出した。

・取組組織　18組織　　・市負担額　3,682,600円

・交付金負担割合　国：75%、県：12.5%、市：12.5%

区　分	取組組織数	面積等（ha）	交付金（円）	負担額（円）
地域活動型（森林資源活用）	18	201.6	29,946,000	3,647,000
地域活動型（竹林資源活用）	1	0.6	220,800	27,600

区　分	取組組織数	回数（回）	交付金（円）	負担額（円）
関係人口創出・維持	1	1	66,000	8,000

10　森林法に基づく許認可事務

森林法に基づく各種申請・届出の受理及び監督を行った。

・林地開発許可申請（変更）　1件

・伐採及び伐採後の造林届出書　15件

・保安林内行為許可（立竹の伐採等）　1件

・火入許可（市条例に基づく）　11件

11　自然環境の保全及び緑化に関する条例に基づく許認可事務

・県自然環境保全地域内における許可、届出　0件

・県緑地環境保全地域内における行為の届出　0件

12　林業種苗法に基づく許認可事務

・種子及び苗木等生産事業者の登録等　0件

13　林業者育成支援事業補助金

林業の担い手となる人材の育成と確保を目的に、市内の林業者に対し、林業に関する研修受講等や安全装備の購入に係る経費の一部を補助した。

・件数　3件

・補助金額　703,000円

14　ナラ枯れ被害緊急対策事業

ナラ枯れ被害の被害拡大を防止するため、森林の公益的機能の維持を図った。

(1)　ナラ枯れ被害木くん蒸等業務委託

・対象本数　56本

・委託料　　7,922,000円

被　害　箇　所	本数(本)	委託料(円)
平井町・薗部町4丁目・大平町下皆川地内	4	1,111,000
出流町地内	19	1,740,000
大平町西山田地内	1	198,000
大平町西山田・岩舟町三谷地内	5	748,000
都賀町大柿地内	15	2,442,000
西方町真名子地内	8	748,000
西方町本城地内	4	935,000

(2)　ナラ枯れ被害木伐倒駆除補助金

・支援団体　1企業

被　害　箇　所	本数(本)	補助金(円)
吹上町地内	30	3,400,000

15　森林経営管理事業

市による森林管理事業(間伐)を行った。

・実施区域　星野町地内

・委託料　　990,000円

16　森林環境譲与税の活用

森林環境譲与税を活用し、森林施策に必要な事業費の一部として繰り入れるとともに、基金へ積み立てた。

栃木市森林環境譲与税基金積立

・積立金額　39,035,000円（令和7年度交付分）

・繰入金額　40,660,686円

事業名	金額(円)
森を育む人づくり事業交付金	674,480
森林経営管理事業費	2,504,602
木とのふれあい体験委託事業費	128,818
ナラ枯れ被害緊急対策事業費	5,353,870
林業者育成支援事業補助金	703,000
林業総務事務費	749,620
小学校運営費	14,899,500
中学校運営費	2,128,500
キュービクルカバー製作設置委託費	2,144,296
道の駅みかも管理運営費	4,510,000
美術館管理運営費	1,925,000
治山林道管理費	4,939,000

・基金残高（令和7年度末）　50,571,598円

獣害対策係

1　有害鳥獣対策事業

有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害等の防止を目的に、「捕獲」・「侵入防止対策」・「生息環境管理」の３つの柱を中心とした鳥獣被害対策を実施した。

捕獲については、地元猟友会に委託し、有害鳥獣捕獲を通年で実施したほか、近年被害が増加しているハクビシン・アライグマについては、被害住民による自主的な捕獲の推進のため、小型箱わなによる捕獲許可の付与、小型箱わなの貸出し、捕獲後の報償金の支給、猟友会による捕獲個体の引き取り処分を行った。

侵入防止対策については、ワイヤーメッシュ柵や電気柵等を設置する住民及び団体に対し、補助金による支援を行い、生息環境管理については、現地にて放任果樹の管理やぶの刈り払いの指導を行った。

また、イノシシの生息数が増加している藤岡地域においては、イノシシ対策ワーキンググループで設定した捕獲目標の達成に向けて、渡良瀬遊水地周辺の自治体や地元猟友会、国、県等の関係機関と連携を密にし、各種会議や現地において情報の共有や捕獲に適したわな設置箇所の検討等を行い、捕獲の強化に努めた。

そのほか、緊急銃猟制度の創設に伴い、市内全ての猟友会の協力を得て、射手の確保等の体制づくりを進めた。

(1)　大型獣の捕獲駆除

対象区域	実施時期	捕獲実績

市内全域の山間部等	通　年	・イノシシ　825頭 ・ニホンジカ　599頭

(2)　その他の捕獲駆除

対象区域	実施時期	捕獲実績
市内全域	被害報告に応じて随時	・中型獣(ﾊｸﾋﾞｼﾝ･ｱﾗｲｸﾞﾏ)470頭 ・鳥類(カラス等)　302羽

(3)　獣害対策設備設置支援（補助金）

個人及び自治会等団体による電気柵や箱わな等の設置費用を補助した

区分	侵入防止柵					捕獲罠			合計
	電気	ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ	金網	獣害ﾈｯﾄ	小計	箱罠(大)	箱罠(小)	小計	柵・罠
申請件数	26	20	5	8	59	7	5	12	71
うち個人	26	19	5	8	58	7	5	12	70
うち団体	0	1	0	0	1	0	0	0	1
距離(km)	6.4	4.3	0.5	1.7	12.9	－	－	－	12.9
罠数(基)	－	－	－	－	－	11	6	17	17
補助額(千円)	2,163	2,425	513	589	5,690	497	26	523	6,213

(4)　わな猟免許取得・更新支援

わな猟免許の新規取得及び更新に要する経費を補助した。

・補助申請件数　40件

・補助額　294千円

(5)　栃木市野生鳥獣被害対策連絡協議会

鳥獣被害対策の検討及び関係機関との連絡調整を行う協議会を7月に開催した。また、鳥獣被害防止総合対策事業費補助金を活用し、各種事業を実施した。

○実施内容

・箱わな、電気止め刺し器の導入

・緊急捕獲活動推進事業費補助金の支給ほか

(6)　渡良瀬遊水地とその周辺におけるイノシシ対策

遊水地内及びその周辺において、地元猟友会による箱わなでの有害捕獲を通年で実施したほか、令和7年7月には、捕獲強化のため県から貸与されたICT囲いわなを1基設置した。

また、渡良瀬遊水地周辺のイノシシによる被害防止を目的としたワーキンググループに参加する自治体、県等と連携しながら、ヨシ焼き当日のパトロールを実施した。

2　鳥獣保護管理法に関する許認可事務

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、各種許認可事務を実施した。

・鳥獣捕獲等の許可　218件

・鳥獣飼養登録　0件

・販売禁止鳥獣（ヤマドリ）の販売許可　1件

第５節　産業基盤整備課

〔総括概要〕

産業基盤整備課では、雇用機会の拡大と市税等安定した自主財源の増加を図るため、主に市内産業団地への企業誘致、栃木インター周辺地区、平川地区等の新たな産業拠点の整備を行っている。

企業誘致事業については、令和5年度に開設した栃木市東京サテライトオフィスによる継続的な企業訪問や栃木県主催の「とちぎ企業立地魅力発信セミナー」に参加する等、本市の優れた立地環境や企業立地の優遇制度を積極的にＰＲし、市内への企業誘致活動を実施した。

また、市内への企業立地促進を図るため、企業立地促進条例の一部を改正し、事業所の定義並びに立地奨励金の対象区域、交付要件及び限度額の上限を拡充した。

市内の企業立地状況については、宇都宮西中核工業団地において1社が建設工事の準備を進めている。

また、宇都宮西中核工業団地事務組合に対して負担金を拠出し、事業の推進を図った。

産業団地管理事業については、市内の産業団地に立地する企業へ安心安全な操業環境を提供するため、防犯灯を計画的に設置した。

産業団地関連道路補修事業については、老朽化し破損した道路の補修工事を計画的に実施した。

インター周辺開発事業については、栃木インター周辺地区約80ha、佐野藤岡インター周辺地区約100ha、都賀インター周辺地区約24haの区域内の地権者に対して、開発に向けた調査研究を推進している。栃木インター周辺地区では、地元研究会の総会、役員会、先進地視察研修等を開催した。栃木インター周辺地区（北地区）約26.6haについては、令和8年3月に市街化区域に編入した。また、さらなるデータセンター立地を目指すため、経済産業省のＧＸ戦略地域制度（データセンター集積型）の公募に対して応募した。佐野藤岡インター周辺地区では、地元研究会の総会、役員会、先進地視察研修を開催し、第1期開発区域の選定を行ったほか、権利調査を実施した。都賀インター周辺地区では、会長協議や民間事業者と意見交換を実施した。

栃木市産業基盤成長戦略については、令和7年6月に策定し、産業団地実態調査を実施した。併せて、国道50号沿線において、地域未来投資促進法に係る重点促進区域の指定に伴う国・県協議を行い、国の同意が得られた。

栃木インター西産業団地造成事業については、令和8年2月20日付で土地区画整理事業の換地処分を行った。

平川土地区画整理事業については、土地購入や物件移転を進め、区画道路舗装工事、公園整備工事等を行った。また調整池等の形状を変更するため事業計画の変更（第２回変更）を行った。

企業立地係

1　企業誘致事業

(1)　栃木インター産業団地の概要

・所在地　　吹上町及び野中町地内
・事業主体　　栃木市
・団地面積　　約23.0ha
・分譲面積　　約16.8ha
・分譲率　　84.5%
・分譲企業数　　3社
・未操業　　2社

(2)　千塚産業団地の概要

・所在地　　千塚町地内
・事業主体　　栃木市
・団地面積　　約 36.7ha
・分譲面積　　約 26.0ha
・分譲率　　100%
・分譲企業数　　13 社
・未操業　　1 社

(3)　中根産業団地の概要

・所在地　　藤岡町富吉地内
・事業主体　　栃木市
・団地面積　　約 5.8ha
・分譲面積　　約 4.7ha
・分譲率　　100%
・分譲企業数　　4 社

(4)　宇都宮西中核工業団地の概要

・所在地　　西方町本城及び鹿沼市地内
・事業主体　　栃木県土地開発公社
・団地面積　　約142.7ha(栃木市分　約83.4ha)
・分譲面積　　約 91.8ha(栃木市分　約50.6ha)
・分譲率　　100%(栃木市分　100%)
・分譲企業数　　16社(栃木市分)
・未操業　　2社(栃木市分)

(5)　企業誘致活動

ア　企業訪問及び産業団地への現地案内等の誘致活動

・企業訪問　　11件
・来庁　　15件
・現地案内　　2件

イ　産業展等への参加

・とちぎ企業立地・魅力発信セミナー（東京都）8月1日（金）

・とちぎ企業立地・魅力発信セミナー（大阪府）10月30日（木）

ウ　企業誘致チラシの作成

・作成部数　300部

エ　市ホームページによる産業団地、空き工場等の紹介

(6)　各種企業誘致活動団体等への負担金等の支出

ア　栃木県企業立地促進協議会活動(負担金額　180,000円)

・構成団体　28団体（栃木県、県企業局、県土地開発公社、県内14市11町）

・広告宣伝事業(産業展における県内産業団地のＰＲ等)

・誘致活動事業(企業訪問、とちぎ企業立地魅力発信セミナーの開催等)

・会議及び研修事業(総会、研修会等の開催)

イ　宇都宮西中核工業団地企業誘致活動協議会活動(負担金額　0円)※活動休止

・構成団体　2団体(栃木県土地開発公社、栃木市)

ウ　千塚産業団地連絡協議会活動(補助金交付額　100,000円)

・定期総会

開催日	主　な　内　容
5月23日（金）	令和6年度事業報告及び決算報告 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）

・会議等

開催日	区分	主　な　内　容
6月13日（金）	親睦会	団地内企業間の親睦・交流会
6月17日（火）	役員会	上半期親睦会の計画
8月　6日（水）	親睦会	団地内企業間の親睦・交流会
10月14日（火）	役員会	上半期の事業報告 下半期の事業計画
11月12日（水）	親睦会	団地内企業間の親睦・交流会
11月17日（月）	工場見学	千塚町はつらつ教室工場見学の受入れ
11月19日（水）	交流会	千塚町自治会主催ゴルフコンペ参加
2月25日（水）	親睦会･研修会	団地内企業間の親睦・交流会、産業基盤整備課長による団地内企業向けDC研修会
3月　4日（水）	役員会	下半期の事業報告 総会資料について

・一斉清掃

団地内施設の適正な維持管理を図るため、協議会の活動として、団地内区画道路及び公園等敷地について定期的に清掃を実施した。

実施回数　7回

（4月2日、5月7日、6月4日、7月2日、10月1日、11月5日、3月4日）

2　企業立地促進事業

栃木市企業立地促進条例(平成23年10月施行)に基づく指定申請企業の審査及び指定決定企業への奨励金交付

(1)　企業立地促進審査会の開催

回	開　催　日	主　な　内　容
第1回	1月22日（木）	正副会長の改選 栃木市企業立地促進条例一部改正の報告

(2)　奨励金の交付

・立地奨励金交付企業　　9件（7社）

3　宇都宮西中核工業団地事務組合関係

宇都宮西中核工業団地事務組合は旧西方町と旧粟野町によって設置された事務組合であり、その後の市町合併により、現在は本市と鹿沼市が負担金を拠出し共同処理事務を行っている。

(1)　事業概要

組合規約第3条に規定する共同処理事務については、都市下水路事業負担金、水道事業負担金、一般管理費及び施設維持管理費があり、その受益の状況により均等割及び流量比割するものと、面積割で算出されるものがある。

(2)　関係自治体負担金内訳

自治体名	負担額（円）	負担割合（%）
栃木市	73,621,000	53.77
鹿沼市	63,293,000	46.23

4　産業団地管理事業

(1)　業務委託

業　務　名	内　容	金額（円）
宇都宮西中核工業団地除草業務	除草作業　2件	83,263
岩舟工業団地道路側溝清掃作業業務	道路側溝清掃作業　1式	828,554

(2)　工事請負費

工　事　名	内　容	金額（円）
大光寺工業団地LED防犯灯新設工事	防犯灯取付工　1式	108,900
大光寺工業団地 LED 防犯灯新設追加工事	防犯灯取付工　1式	45,100

5　産業団地関連道路補修事業

工事請負費

工　事　名	内　容	金額（円）
市道21100号線外舗装補修工事	舗装打換え工、区画線工　1式	19,162,000

基盤整備係

1　インター周辺開発事業

(1)　栃木インター周辺地区事業計画

ア　栃木インター周辺開発研究会区域

・位　　置　吹上町・野中町・新井町地内

・地区面積　約80ha

・地権者数　約170人

イ　栃木インター西地区（栃木インター周辺開発研究会区域の内）

・位　　置　吹上町・野中町地内

・地区面積　約23.1ha

・地権者数　72人

ウ　栃木インター北地区（栃木インター周辺開発研究会区域の内）

・位　　置　吹上町・野中町地内

・地区面積　約26.6ha

・地権者数　99人

(2)　栃木インター周辺開発研究会活動

区　分	開催回数	会　場
総会	1回（7月）	吹上公民館
役員会	2回（7月、3月）	吹上公民館
先進地視察研修	1回（10月）	ＮＴＴデータセンター
正副会長会議	3回（5月、10月、2月）	吹上公民館

(3)　栃木インター周辺開発研究会補助金の交付　100,000円

(4)　佐野藤岡インター周辺地区事業計画

・位　　置　藤岡町太田・岩舟町静地内

・地区面積　約100ha

・地権者数　約220人

(5)　佐野藤岡インター周辺開発研究会活動

区　分	開催回数	会　場
総会	1回（7月）	岩舟総合支所
先進地視察研修	1回（11月）	NTTe-city Labo
役員会	3回（6月、10月、3月）	岩舟総合支所

(6)　佐野藤岡インター周辺開発研究会補助金の交付　100,000円

(7)　業務委託

業　務　名	内　容	金額（円）
都賀インター周辺地区 土地利用計画業務	土地利用計画に伴う 図面作成　1式	187,000
栃木インター周辺地区 GX戦略地域業務	実施可能性調査　1式	990,000

佐野藤岡インター周辺地区 調査等業務	権利者調査　　1式	5,973,000
インター周辺 開発検討業務	栃木市産業基盤成長戦略に伴う資料作成　　1式	132,000
産業団地実態調査業務	栃木市産業基盤成長戦略に伴う産業団地実態調査 1式	990,000

(8)　都賀インター周辺地区事業計画

・位　　置　都賀町家中地内

・地区面積　約24ha

・地権者数　約70人

(9)　都賀インター周辺土地利用研究会活動

区　分	開催回数	会　場
民間事業者との意見交換	1回（10月）	市役所
会長協議	1回（3月）	会長宅

(10)　栃木市産業基盤成長戦略の策定

Iot や AI、ロボット等の技術革新の進化により、社会経済状況が変化している中、本市の地域特性に応じた産業基盤施策を推進するため、栃木市産業基盤成長戦略を策定した。

2　栃木インター西産業団地造成事業

(1)　事業計画

・位　　置　吹上町・野中町地内

・地区面積　約23.1ha

・宅地面積　約16.8ha

・地権者数　72人

(2)　栃木インター西産業団地造成事業活動

区　分	開催回数	会　場
土地区画整理審議会	1回（10月）	吹上公民館

(3)　業務委託

業　務　名	内　容	金額（円）
栃木インター産業団地 除草業務	除草作業　　3件	3,498,000
栃木インター産業団地 土地区画整理登記業務	資料作成　　1式	990,000
栃木インター産業団地 都市計画決定業務	図書作成　　1式	634,788

(4)　工事請負費

工　事　名	内　容	金額（円）
栃木インター産業団地	擁壁設置工　　1式	1,727,000

擁壁設置工事		

(5)　土地購入費　　2件　　14,008,448円

(6)　負担金

・上水道事業者負担金　　8,805,500円

(7)　物件移転等補償費

・建物移転補償　　1件　　47,659,155円

(8)　清算金交付　　6件　　472,680円

3　平川土地区画整理事業

(1)　事業計画

・位　　置　都賀町・大塚町地内

・地区面積　約22.7ha

・宅地面積　約15.4ha

・地権者数　110人

(2)　平川土地区画整理事業活動

区　分	開催回数	会　場
土地区画整理審議会	1回（12月）	都賀南部 コミュニティセンター

(3)　業務委託

業　務　名	内　容	金額（円）
平川土地区画整理事業 除草業務	除草作業　3件	1,930,500
平川土地区画整理事業 実施設計業務	調整池設計　1式	18,755,000
平川土地区画整理事業 用地調査業務	移転補償費算定　2件	2,024,000

(4)　工事請負費

工　事　名	内　容	金額（円）
平川土地区画整理事業(繰越明許) 区画道路（6-4）舗装工事	アスファルト舗装工 1式	605,000
平川土地区画整理事業(繰越明許) 水路（4.5-1）築造工事	側溝工、暗渠工　1式	29,267,000
平川土地区画整理事業 区画道路（6-3）舗装工事 （1工区）	アスファルト舗装工 1式	924,000
平川土地区画整理事業 区画道路（6-3）舗装工事 （2工区）	アスファルト舗装工 1式	924,000
平川土地区画整理事業	アスファルト舗装工 1式	20,064,000

区画道路（6-2、6-3、6-4） 舗装工事		
平川土地区画整理事業 区画道路（12-1、9-3、9-4） 舗装工事	アスファルト舗装工 1式	23,617,000
平川土地区画整理事業 区画道路（歩4-1）築造工事	側溝工、舗装工 1式	21,560,000
平川土地区画整理事業 水路（4-5）築造工事	水路設置工、暗渠工 1式	31,955,000
平川土地区画整理事業 宅地造成（7街区）整地工事	残土受け入れ施設工 1式	803,000
平川土地区画整理事業 街区公園1号整備工事	敷地造成工 1式	47,531,000
平川土地区画整理事業（前払金） 区画道路（12-1、9-1、9-2） 舗装工事	アスファルト舗装工 1式	17,100,000

(5) 土地購入費 1件 17,333,300円

(6) 負担金

・上水道事業者負担金 6,105,400円

(7) 物件移転等補償費

・工作物等移転補償 1件 8,053,168円

・建物、工作物等移転補償（繰越明許） 7件 188,885,430円

・電柱等移転補償 （繰越明許） 1件 2,444,587円

第８章　都市建設部

第１節　道路河川整備課

〔総括概要〕

道路は、地域住民にとって最も身近な社会基盤であり、通勤、通学をはじめ買い物やレジャーなどの日常生活から、生産、物流の経済活動及び地域の歴史、文化交流までを支える公共施設として大きな役割を果たしている。

また、河川は市民が安全で快適に暮らす上で必要不可欠な社会基盤であり、洪水被害などを防ぎ、安全で快適な生活環境を守るために大きな役割を果たしている。

このため、道路河川整備課においては、市民が安全で快適な日常生活を送るために必要な幹線道路や生活道路、水路等の整備充実を図るための事業を行った。

これらの事業を進めるに当たっては、厳しい財政状況や少子高齢化の進展など社会情勢の変化を踏まえ、一層の効率化、重点化が求められていることから、総合計画及び市道整備基本計画等に基づいた執行に努めているところである。

企画調整係においては、県や関係市町との協調を図りながら、各種協議会等の運営や要望活動を実施したほか、市民からの道路整備に関する要望等を受け付け、整備手法等の調整を行った。

道路整備第１係においては、栃木地域・都賀地域・西方地域の道路整備を主として、今泉町２丁目・日ノ出町地内今泉泉川線をはじめ３か所の道路改良工事等を実施した。

道路整備第２係においては、大平地域・藤岡地域・岩舟地域の道路整備を主として、藤岡町富吉地内市道 1066 号線をはじめ８か所の道路改良工事等を実施した。

治水対策室治水対策係においては、台風や大雨時の浸水被害軽減のための治水対策として、平井町地内の平井川第２調節池をはじめ９か所の整備工事を実施した。

企画調整係

１　建設事業の総合調整

建設担当部課長会議

・栃木土木事務所と建設関連事業に関する相互の協議を実施

２　陳情、要望等受付

・道路（橋りょう）改良工事に関するもの　2件

３　各種協議会・同盟会

(1)　関東国道協会栃木県地区協議会（事務局：栃木市）

・ ５月　　総会及び要望活動の実施（国、国会議員）

・10 月　　意見交換会の実施（国）

・10 月　研修会参加
・11 月　要望活動の実施（国、国会議員）
・ 1 月　視察研修会実施

(2)　その他協議会・同盟会
・道路関係団体総会及び要望活動実施　14 回

道路整備第1係

1　工事関係

工事箇所		工事内容			金額(円)	備考
町名	路線名 (市道～号線)	延長(m)	幅員 (m)	その他		
大宮町	1033	－	－	ﾏﾝﾎｰﾙ組換工事	880,000	
		－	－	付帯工事	297,000	
		185.6	9.5	交通安全施設整備工事	51,810,000	翌年度繰越有
平井町	2065	－	－	付帯工事	1,958,000	
		123.0	9.5	道路改良工事	53,790,000	翌年度繰越有
今泉町2丁目・日ノ出町	今泉泉川線	－	－	流末排水路整備工事	13,430,000	繰越明許費
		－	－	跨線橋下部(A1)工事	165,484,000	継続費(R6～R7)
		－	－	付帯工事	638,000	
		－	－	区画線整備工事	66,000	
計3箇所					288,353,000	

2　業務委託関係

業務名	委託箇所		委託内容	金額(円)	備考
	町名	路線名(市道～号線)			
土地評価 用地調査	都賀町合戦場	2033	土地評価 物件調査算定	836,000 8,448,000	
用地調査	大宮町	1033	物件調査再算定	792,000	
設計 調査	平井町	2065	路線測量、詳細設計 排水調査等	6,237,000 495,000	
設計 用地調査	今泉町2丁目・日ノ出町	今泉泉川線	橋梁詳細設計 物件調査再算定	29,062,000 3,740,000	
測量	皆川城内町・大皆川町	1024	測量	11,330,000	
調査	野中町	栃木 IC	交通量調査	451,000	都賀西方SIC フォローアップ 関係調査
用地測量	西方町元	52084	用地測量	2,662,000	
除草業務	栃木地域内		除草3件	1,425,600	
計8箇所				65,478,600	

3　用地取得関係

用地取得箇所		用地	補償	金額（円）	備　考
町　　名	路線名（市道~号線）	（筆）	（件）		
大宮町	1033	3	－	376,630	
		－	1	3,142,232	
		－	4	4,878,621	電柱移設等
皆川城内町	14238	1	－	161,903	
		－	1	149,258	
平井町	2065	－	1	1,424,672	繰越明許費（電柱移設等）
今泉町2丁目・日ノ出町	今泉泉川線	6	－	13,508,928	
		－	3	121,360,866	
		－	2	932,380	電柱移設等
		4	－	16,179,474	翌年度繰越有
		－	2	37,311,409	翌年度繰越有
川原田町	13349	4	－	3,665,324	
		－	2	271,516	
計5箇所				203,363,213	

4　財産の売払い

町名	内容	件数(件)	面積(㎡)	売却価格(円)
日ノ出町	今泉泉川線道路整備事業に伴う代替地としての売払い	1	176.91	5,731,884

5　登記関係

内　　容	筆数(筆)
分　　筆　（代　位）	22
地　積　更　正　（代　位）	13
名義人表示変更・更正　（代　位）	8
相　　続　（代　位）	1
地　図　訂　正	0
表　　題	1
所　有　権　保　存	1
所　有　権　移　転	20
地　目　変　更	1
合　　計	67

道路整備第2係

1　工事関係

工事箇所		工事内容			金額(円)	備考
町名	路線名 (市道～号線)	延長(m)	幅員 (m)	その他		
藤岡町富吉	1066	139.7 － －	10.2 － －	－ パイプライン移設 乗入口摺付	38,995,000 319,000 44,000	
大平町下高島	22024	－	－	砕石敷均し	143,000	
岩舟町静	61251	100.0	5.00	－	15,741,000	
岩舟町五十畑	2091	95.3	5.27	－	19,778,000	翌年度繰越有
岩舟町静戸	62155	33.7	6.07	－	5,302,000	
大平町富田	2106	43.2	1.30～ 1.87	－	3,619,000	
藤岡町大前	2137	33.4	6.50	－	3,564,000	
大平町下皆川	23002	46.7 －	6.50 －	－ 付帯工事	8,228,000 269,500	
計8箇所					96,002,500	

2　業務委託関係

業務名	委託箇所		委託内容	金額(円)	備考
	町名	路線名 (市道～号線)			
土地評価 用地調査	藤岡町赤麻	1073	土地評価 物件調査再算定	1,287,000 2,497,000	
調査	藤岡町富吉	1066	埋蔵文化財調査	17,479,000	繰越明許費
土地評価	大平町富田	2089	土地評価	781,000	
調査設計	大平町富田(踏切道)	1047	調査設計	11,070,000	
設計業務	岩舟町静	62057	詳細設計	7,150,000	
用地調査	岩舟町五十畑	2091	物件調査再算定	1,529,000	
測量業務	藤岡町甲	31128	路線測量・詳細設計	8,800,000	
除草業務			除草2件	429,000	
計8箇所				51,022,000	

3　用地取得関係

用地取得箇所		用地 (筆)	補償 (件)	金額(円)	備考
町名	路線名(市道～号線)				
藤岡町赤麻	1073	30 －	－ 20	4,757,635 13,756,475	翌年度繰越有 翌年度繰越有
大平町富田	2089	11 －	－ 11	10,674,030 1,284,398	

大平町下高島	22024	1	－	438,144	繰越明許費
		－	1	990,000	繰越明許費
		2	－	437,905	
		－	2	7,286,358	
岩舟町静	61268･61262･61251	1	－	631,368	翌年度繰越有
		－	1	20,831,515	翌年度繰越有
		－	2	2,895,348	電柱移設等
		－	6	1,100,000	汚水桝移設
岩舟町五十畑	2091	7	－	643,979	繰越明許費
		－	6	2,828,117	繰越明許費
		6	－	411,317	
		－	3	8,773,395	
		－	15	6,994,146	電柱移設等
					翌年度繰越有
計 5 箇所				84,734,130	

4　県営橋りょう整備事業負担金

支出先	委託内容	金額(円)	備　考
栃木土木事務所	両明橋架替工事 橋梁上部工、取付道路工	14,381,000	繰越明許費

5　登記関係

内　　容	筆数(筆)
分　　筆　（代　位）	49
地　積　更　正　（代　位）	32
地　図　訂　正　（代　位）	0
名義人表示変更・更正　（代　位）	4
相　　続　（代　位）	1
所　有　権　保　存	0
所　有　権　移　転	50
合　　計	136

治水対策室　治水対策係

1　工事関係

工　事　箇　所		工 事 内 容		金額(円)	備　考
町　名	河 川 名				
箱森町	旧赤津川	河道整備	1箇所	34,386,000	
箱森町	舘野川	護床整備	1箇所	28,534,000	翌年度繰越

箱森町	清水川	調節池整備　2箇所	290,400,000	翌年度繰越
		樹木移植　1箇所	220,000	翌年度繰越
樋ノ口町	綾川	河道整備　1箇所	14,773,000	翌年度繰越
薗部町4丁目	岩崎川	放水路整備　1箇所	30,800,000	翌年度繰越
薗部町4丁目	坂ノ下川	調節池整備　1箇所	99,000,000	翌年度繰越
		事業用地保全　1箇所	286,000	
祝町	清水川	河道整備　1箇所	770,000	繰越明許費
薗部町4丁目	平井川	調節池整備　1箇所	333,355,000	繰越明許費
		河道整備　1箇所	484,000	繰越明許費
		防犯灯移設　1箇所	396,000	繰越明許費
片柳町3丁目	東郷堀川	調節池整備　1箇所	179,828,000	繰越明許費
計8河川9箇所			1,013,232,000	

2　業務委託関係

業　務　名	委託箇所		委託内容	金額（円）	備考
	町　　名	河 川 名			
設計業務	薗部町4丁目	坂ノ下川	詳細設計(排水施設)	9,526,000	
		岩崎川	詳細設計(排水施設)	19,491,000	繰越明許費
	平井町	石橋川	詳細設計(調節池)	1,661,000	繰越明許費
	箱森町	清水川	詳細設計(調節池)	22,548,000	繰越明許費
調査業務	平井町	石橋川	地質調査	2,475,000	繰越明許費
	箱森町	清水川	物件調査	495,000	
その他			物価調査1件	138,490	
			積算2件	6,402,000	
機械設備保守点検	薗部町4丁目	平井川	法定保守点検	257,070	
除草業務			除草6件	1,531,611	
計10箇所				64,525,171	

3　用地取得関係

用地取得箇所		用地	補償	金額(円)	備　考
町　　名	河 川 名	(筆)	(件)		
薗部町4丁目	坂ノ下川	7	3	24,883,992	
薗部町4丁目	岩崎川		1	319,361	
箱森町	清水川		2	1,019,663	翌年度繰越
計3箇所				26,223,016	

4　登記関係

内　　容	筆数(筆)
分　　筆　（代　位）	1

地積更正（代位）	0
地図訂正（代位）	0
名義人表示変更・更正（代位）	0
相続（代位）	0
所有権保存	0
所有権移転	7
合計	8

第２節　道路河川維持課

〔総括概要〕

道路河川維持課は、市民の安全で快適な暮らしに必要不可欠な道路・河川・橋梁等の機能保全と適正な管理を行うとともに、効率的な維持補修を行うことで社会基盤の安全確保に努めている。

道路河川管理係では、市道路線の認定等や道路台帳の整備、市道及び法定外公共物の占用・使用・工事等に係る許認可のほか、道路・河川と民有地との境界確認や公共用財産の用途廃止、道路用地の寄付受入及び開発帰属に係る協議・指導等を行った。また、道路橋の法定点検等を実施し、市道の適切な維持管理及び計画的な補修実施に努めた。

道路河川維持第１係では主に市北部（栃木、都賀、西方)、第２係では市南部（大平、藤岡、岩舟）の道路、河川等に係る維持管理を実施した。

道路については、通行の安全確保のため、直営による迅速な補修対応を行ったほか、市道の舗装、交通安全施設の補修及び長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕工事を実施し、生活道路等の環境改善に努めた。

そのほか、小学校の通学路安全対策や河川の堆積土砂の浚渫や除草、調整地の維持管理等により各施設の機能保全に努めた。

また、アダプト制度による道路・河川の美化活動や自治会等主催の愛護活動への支援を行い、道路・河川の環境美化に対する市民の意識高揚を図った。

道路河川管理係

1　市道路線認定関係

種　　別	路線数（本）	実延長（m）
1級市道	77	231,102
2級市道	151	214,252
その他の市道	4,802	1,554,418
合　計	5,034	1,999,774

2　道路台帳関係

道路台帳補正業務　　（単位：円）

委　託　箇　所		委　託　内　容	金　額	備　考
町　　名	箇　所			
市　内　全　域	－	道路台帳補正、属性データ作成等	16,511,000	

3　各種申請関係　　（単位：件）

申　　請　　内　　容	件　　数

道路占用許可申請等	511
法定外公共物使用許可申請等	181
道路工事施行承認申請	91
放流許可申請（道路・河川）	53
特殊車両通行許可協議	579
行政財産使用許可申請（駅掲示板）	2
道路関係証明等交付申請	2,441
境界確認申請	257
公共用財産用途廃止申請	35
道路用地寄附申込	22
都市計画法第32条の規定に基づく協議・同意・申請	12
合　計	4,186

4　長寿命化点検関係

(1)　橋梁長寿命化点検業務　（単位：円）

委託箇所		委託内容	金額	備考
町名	箇所			
栃木市内	全域	橋梁長寿命化修繕計画策定	18,260,000	
鍋山町ほか	寺尾橋ほか	道路橋点検、診断(46橋)	31,416,000	
細堀町ほか	森下橋ほか	道路橋点検、診断(30橋)	12,749,000	
合計			44,165,000	

(2)　橋梁自主点検

実施箇所		実施内容
町名	箇所	
岩舟町古江ほか	番場橋ほか	道路橋点検、診断（103橋）

道路河川維持第1係　道路河川維持第2係

1　工事関係

(1)　市道各号線交通安全施設整備事業　（単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
大平町西山田ほか	1001ほか	区画線設置等	5,870,700	
岩舟町静ほか	1050ほか	道路反射鏡設置等	1,218,800	

(2)　市道維持管理事業　（単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
市内全域	－	維持補修等	10,022,100	

市内全域	－	舗装補修等	21,054,000	
市内全域	－	側溝補修等	60,814,800	一部翌年度繰越

(3) 生活道路舗装補修事業 （単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
栃木地域	2066ほか	舗装補修	134,145,000	
大平地域	2107ほか	舗装補修	15,565,000	
藤岡地域	31170ほか	舗装補修	26,158,000	
岩舟地域	31011ほか	舗装補修	20,735,000	

(4) 市道各号線橋りょう維持補修事業 （単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
柳原町ほか	保橋(1025)ほか	橋梁修繕	2,816,000	

(5) 橋梁長寿命化修繕事業 （単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
星野町	牛落橋(14019)	橋梁更新	71,742,000	

(6) 河川維持補修事業 （単位：円）

工事箇所	工事内容	金額	備考
町名			
岩舟町静戸	防草コンクリート打設・舗装	10,120,000	
境町	防草コンクリート打設	1,980,000	

(7) 舗装修繕事業 （単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
大平町土与ほか	1001ほか	舗装修繕	142,692,000	

2 業務委託関係

(1) 市道維持管理事業 （単位：円）

業務名	委託箇所		委託内容	金額	備考
	町名	箇所			
駅関連業務	沼和田町ほか	栃木駅ほか	清掃業務等	8,110,521	
アンダーパスポン	西方町本城	－	排水ポンプ	1,246,564	

プ場管理業務	ほか		点検等		
樹木管理業務	市内全域	－	伐木剪定	25,509,000	
	大平町富田ほか	1047	伐採等	44,979,000	
除草業務	市内全域	－	道路除草	17,269,973	
側溝清掃業務ほか	岩舟町曲ヶ島ほか	2127ほか	側溝清掃等	1,216,600	
擁壁修繕設計業務	藤岡町富吉	32158	擁壁修繕設計	473,000	

(2) 橋梁長寿命化修繕事業 （単位：円）

業務名	委託箇所		委託内容	金額	備考
	町名	箇所			
橋梁詳細設計業務	岩舟町小野寺ほか	中川原橋ほか	橋梁詳細設計	45,012,000	

(3) 河川維持補修事業 （単位：円）

業務名	委託箇所		委託内容	金額	備考
	町名	箇所			
調整地管理業務	藤岡町大前ほか	荒立北土地区画整理調整池ほか	除草等	2,630,565	
河川水路等清掃	入舟町ほか	県庁堀川ほか	除草等	4,073,300	

3 工事用原材料 （単位：円）

材料名	数量	金額
常温合材	112t	1,848,000
切込砕石	67㎥	153,846
側溝蓋	433枚	2,361,359
道路反射鏡等	φ600×18枚、φ800×18枚、支柱15本	1,262,580
その他補修用資材	－	660,110

4 栃木市道路等のアダプト制度（道路・河川）

「栃木市道路等のアダプト制度」は、ボランティア活動に意欲のある市民が、身近な公共空間である道路、河川等において、清掃、除草等の美化活動を行い、市がその活動をサポートすることにより、市民協働による維持管理を行う制度で、現在の活動者（団体）の届出状況は、道路28団体・河川19団体である。

第３節　都市計画課

〔総括概要〕

都市計画課の主な分掌事務は、都市計画の総合的調査・計画策定、良好な景観の誘導及び開発指導並びに土地区画整理事業及び都市再生整備計画の策定である。

都市計画は、都市内の限られた土地資源を有効に配分し、建築敷地、基盤施設用地、緑地・自然環境を適正に配置することにより、農林業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保しようとするものであり、土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画を定めることにより、その実現を目指している。

計画景観係では、良好な産業団地の形成を目的に、栃木インター北地区及び惣社東産業団地周辺地区において市街化区域編入や用途地域・地区計画の変更を行い、栃木インター北地区では土地区画整理事業の都市計画決定を行った。

また、栃木市都市計画マスタープラン（第2回改訂版）を策定した。

更に、景観計画や景観条例に基づき、本市の景観資源を活かした地域特性に応じた景観まちづくりを推進するとともに、良好な景観形成や風致の維持、公衆の安全確保のため、屋外広告物に関する許可及び届出事務を行った。

開発指導係では、無秩序な市街化及び不良市街地の形成を防止するための線引制度を担保するものとして創設された開発許可制度に関する事務について、都市計画法の規定に基づき許可処分等を行うにあたり、申請者等と協議及び指導等を行うとともに、庁内関係部署での開発行為等に関する手続き及び進捗状況の確認などの情報交換を行うため、土地利用調整会議を毎月1回開催した。

また、本市の美しい自然環境、魅力ある景観及び安全安心な生活環境の保全及び形成と再生可能エネルギー発電設備を設置する事業との調和を図るため、栃木市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例に基づき許可処分等を行うため、申請者等と協議及び指導等を行った。

市街地整備係では、少子高齢化に伴う人口減少や中心市街地の空洞化・低密度化、既存公共施設の老朽化など、都市を取り巻く課題へ対応し、今後もより一層の都市の賑わい創出と魅力向上による持続可能なまちづくりを推進し、コンパクトシティの実現に取り組むため、都市再生整備計画を策定し、今年度から国の補助事業である都市構造再編集中支援事業を活用し、事業の推進を図った。

また、長期間遊休地となっている旧栃木警察署跡地については、令和7年6月に整備基本計画を策定し、「観光・交流拠点」として、多目的広場、駐車場及び休憩施設を整備する方針を定め、測量・実施設計を行った。

計画景観係

1　都市計画審議会に関すること

開催日時	議　　題
10月23日 （第24回）	(1)栃木市都市計画マスタープラン（第2回改訂版）の案について （意見聴取）
12月19日 （第25回）	(1)小山栃木都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更について（意見聴取） (2)西方都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更について（意見聴取） (3)小山栃木都市計画区域区分の変更について（意見聴取） (4)小山栃木都市計画用途地域の変更について（審議） (5)小山栃木都市計画土地区画整理事業の決定について（栃木インター北土地区画整理事業）（審議） (6)小山栃木都市計画地区計画の変更について（栃木インター産業団地地区計画）（審議） (7)小山栃木都市計画地区計画の変更について（惣社東産業団地地区計画）（審議）

2　都市計画の決定又は変更に関すること

次の都市計画の変更等を行った。

小山栃木都市計画用途地域の変更（面積約27.1ha）

小山栃木都市計画土地区画整理事業の決定（栃木インター北土地区画整理事業）（面積約 26.6ha）

小山栃木都市計画地区計画の変更(栃木インター産業団地地区計画)(面積約 50.6a)

小山栃木都市計画地区計画の変更（惣社東産業団地地区計画）（面積約 23.7ha）

・告示　　3月31日

3　栃木市都市計画マスタープラン（第2回改訂版）の策定に関すること

(1)　事業概要

栃木市都市計画マスタープランについて、概ね10年ごとに見直しを行うことを同プラン中に定めていることから、令和5年度から検討を重ね、11月に第2回改訂版を策定した。

(2)　栃木市都市計画マスタープラン等策定委員会及び同作業部会

・開催回数　　1回

・合同会議　　9月19日

4　都市計画図の作成等に関すること

住民等へ新たな都市計画の周知を図るとともに、各種土地利用関係業務における参考資料とするため、都市計画総括図を作成した。

都市計画総括図

件　　名	内　　容	金額（円）

栃木市都市計画総括図修正業務委託	図面修正業務一式	2,299,000

5　立地適正化計画に関すること

・都市再生特別措置法に基づく届出書の受理

項　　目	件数(件)
(都市機能誘導区域外) 誘導施設を有する建築物の建築目的の開発行為	2
(都市機能誘導区域外) 誘導施設を有する建築物の新築	2
(都市機能誘導区域外) 建築物を改築し、または用途を変更し誘導施設を有する建築物とする場合	1
(居住誘導区域外) 3戸以上の住宅の建築目的の開発行為	3
(居住誘導区域外) 3戸以上の住宅の新築	2
計	10

6　公有地の拡大の推進に関する法律に基づく届出等に関すること

・公拡法第4条及び第5条に基づく届出書等の受理

項　　目	件数(件)
土地有償譲渡届出書（法第4条）	16
土地買取希望申出書（法第5条）	0
計	16

7　国土利用計画法による届出等に関すること

・国土利用計画法第23条に基づく届出書の受理

地　　域	件数(件)
栃木地域	37
大平地域	10
藤岡地域	1
都賀地域	5
西方地域	4
岩舟地域	11
計	68

8　地価公示及び地価調査に関すること

地価公示法に基づく地価公示標準地及び国土利用計画法に基づく地価調査基準地の周

知を行った。

(1) 地価公示

・価格時点　　1月 1日

・公示時点　　3月18日

・標 準 地　　栃木市今泉町1丁目字長塚637番28　ほか52地点

(2) 地価調査

・価格時点　　7月 1日

・告示時点　　9月17日

・基 準 地　　栃木市大森町442番9　ほか41地点

9　都市計画法第53条に規定する建築の許可等に関すること

・都市計画施設の区域又は市街地開発事業の施行区域内における建築行為の許可等

名　　称	件数(件)
3・4・201号 沼和田川原田線	2
3・4・203号 今泉泉川線	1
3・4・204号 沼和田合戦場線	1
3・4・208号 富士見町線	1
3・4・209号 新栃木駅東口線	1
3・4・214号 境町薗部線	2
3・4・401号 大平中央線	1
3・4・404号 大平町役場通り	3
3・4・601号 藤岡中央通り	3
3・4・602号 館林通り	1
3・4・603号 藤岡駅前通り	1
3・5・3号 亀和田栃木線	1
3・5・402号 牛久川連線	1
新大平下駅前土地区画整理事業	15
計	34

10　栃木市風致地区条例に基づく許可等に関すること

・太平山風致地区内における行為の許可等

項　　目	件数(件)
建築行為等の許可（条例第2条）	1
建築行為等の通知受理（条例第3条）	0
計	1

11　都市計画法第58条の2に規定する建築等の届出に関すること

・地区計画の区域内における行為の届出書の受理

地区名	件数(件)

栃木駅南地区	2
運動公園前	10
惣社東産業団地	1
栃木駅前第2	2
皆川城内工業地	1
ＪＲ大平下駅前	2
箱森西部	4
千塚産業団地	2
平川産業団地	3
静戸中央東	1
計	28

12　都市計画情報システムに関すること

(1)　事業概要

都市計画事務の適正化・効率化・高度化及び住民サービスの向上を図ることを目的として､統合型GISの一部である都市計画情報システムの保守及びデータ更新並びに公開型GISの搭載データのうち都市計画関係のデータ更新を実施した。

(2)　事業の実施状況

ア　都市計画情報システム保守業務委託の実施

・委託業務名　栃木市都市計画情報システム保守業務委託
・履行期間　　4月1日～3月31日
・契約額　　1,213,300円
・契約相手方　国際航業㈱宇都宮営業所
・業務内容　　栃木市都市計画情報システムの保守に係る業務

イ　都市計画情報システムデータ更新業務委託の実施

・委託業務名　栃木市都市計画情報システムデータ更新業務委託
・履行期間　　12月1日～3月31日
・契約額　　1,133,000円
・契約相手方　国際航業㈱宇都宮営業所
・更新データ項目

種　　別	内容又は地区
区域区分	栃木インター北地区、惣社東産業団地周辺地区
用途地域	栃木インター北地区、惣社東産業団地周辺地区
土地区画整理事業	栃木インター北土地区画整理事業
地区計画	栃木インター産業団地地区計画､惣社東産業団地地区計画、関連ファイルの更新
下水道区域	事業計画区域

ウ　都市計画情報公開型GISデータ搭載業務委託（都市計画関係データ更新）の実施

・委託業務名　栃木市都市計画情報公開型GISデータ搭載業務委託

・履行期間　　12月1日～3月31日
・契約額　　866,800円
・契約相手方　国際航業㈱宇都宮営業所
・更新データ項目

種　　別	内容又は地区
区域区分	栃木インター北地区、惣社東産業団地周辺地区
用途地域	栃木インター北地区、惣社東産業団地周辺地区
土地区画整理事業	栃木インター北土地区画整理事業
地区計画	栃木インター産業団地地区計画、惣社東産業団地地区計画、関連ファイルの更新
下水道区域	事業計画区域
都市計画法第34条第11号指定区域	都市計画法第34条第11号指定区域

13　栃木市歴史的町並み景観形成要綱に基づく届出等に関すること

(1)　景観形成地区内の新築、増築、改築等工事の届出書の受理

項　　目		件数(件)
工事の届出の受理（要綱第12条）	建築物	7
	工作物	4
	その他	0
計		11

(2)　歴史的建造物等の修景補助事業
・件数　　2件
・補助額　　2,610,000円
・内容　　歴史的建造物（塚田邸　（雅秀）の修理工事）
〃　　（下野新聞社倉庫の修理工事）

14　都市景観形成事業に関すること

栃木市景観計画で定めた本市の特色ある良好な景観形成及び保全を総合的、計画的に図るため、栃木市景観条例に基づき一定規模を超える建築行為等を届出対象とし、良好な景観形成と保全の誘導を行った。

(1)　栃木市景観条例に基づく届出書等の受理

項　　目		件数(件)
建築行為等の届出の受理（景観法第16条第1項）	建築物	8
	工作物	31
	開発行為	1
計		40
建築行為等の変更届出の受理（景観法第16条第2項）	建築物	1
	工作物	1

	開発行為	0
計		2
国・地方公共団体の建築行為等の通知の受理（景観法第16条第5項）	建築物	1
	工作物	0
	開発行為	0
計		1
総　　計		43

(2)　栃木市公共サイン管理台帳の整備

公共サインの整備及び管理状況を把握するため、栃木市公共サインガイドラインに基づき作成した管理台帳を基に、庁内全課対象の調査を行い、適正な表示・設置が行われるよう指導に努めた。

・公共サインを有する課　　29課

・公共サイン管理台帳数　　490基

15　屋外広告物に関すること

(1)　栃木県屋外広告物条例に基づく許可及び届出書の受理

ア　許可

項　　目	件数(件)
屋外広告物の設置の許可（条例第5条等）	33
屋外広告物の更新の許可（条例第13条）	179
屋外広告物の変更の許可（条例第14条）	55
計	267

イ　届出書の受理

項　　目	件数(件)
屋外広告物の除却に係る届出の受理（条例第18条）	20
屋外広告物管理者等に係る届出の受理（条例第24条）	128
公共的目的をもって設置する場合に係る届出の受理（条例施行規則第4条）	1
計	149

ウ　許可申請手数料

・件　数　　267件

・金　額　　2,145,380円

(2)　違反広告物除却推進団体

違反広告物の除却措置について、住民参加による除却活動を推進するため、栃木市違反広告物除却推進制度に関する要綱に基づき、違反広告物除却推進団体を認定し、活動支援を行った。

・違反広告物除却推進団体の認定数　　2団体

団 体 名	推進員数（人）	活動回数	認定期間
栃木市少年補導員会	62	1	4月1日～3月31日

大平町あじさいグループ	12	0	4月1日～3月31日

開発指導係

1　都市計画法に基づく開発許可制度に関すること

(1)　都市計画法許可等の状況

区　　分		件数(件)
法第29条第1項	開発許可	72
法第34条の2第1項	開発許可の特例の協議	0
法第35条の2第1項	開発変更許可	13
法第36条第2項	完了検査及び検査済証の交付	69
法第36条第3項	完了公告	69
法第37条第1項	建築制限解除承認	13
法第38条	開発廃止届の受理	2
法第42条第1項	用途変更等許可	6
法第43条第1項	建築行為許可	14
法第46条	開発登録簿の調製	72
法第47条第5項	開発登録簿の写しの交付	185
省令第60条	開発行為又は建築行為に関する証明	208

(2)　開発行為等許可申請手数料の収納状況(都市計画法)

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	30	25	18	27	21	25	
金額(円)	190,240	59,660	58,380	317,950	463,000	141,780	
月　別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
件数(件)	35	18	15	26	22	27	289
金額(円)	732,870	44,010	207,140	179,000	234,540	392,460	3,021,030

※件数及び金額は、受付ベース

(3)　栃木県開発審査会

市街化調整区域内における開発行為のうち、都市計画法第34条第14号に基づく立地基準の該非を審査する機関で本年度は5回開催された。

・個別付議　　2件
・報告事案　　10件

(4)　栃木県開発許可事務連絡協議会

開発許可制度の有効な運用と事務改善を目的とする協議会を実施した。

・幹事会　　1回
・総会　　1回
・研修会　　3回
・意見交換会　　0回

2　優良宅地の認定に関すること

租税特別措置法に基づく優良宅地の認定申請はなかった。

3　栃木市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例に基づく許可制度に関すること

(1)　栃木市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例許可等の状況

区　　分	件数(件)
条例第11条第1項 再生可能エネルギー発電設備設置事業の許可	7
条例第15条第1項 再生可能エネルギー発電設備設置事業の変更許可	0
審査基準第2条 再生可能エネルギー発電設備設置事業面積5,000㎡以上に対する行政指導	4

(2)　開発行為等許可申請手数料の収納状況(条例)

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	0	2	0	0	1	1	
金額(円)	0	240,000	0	0	120,000	120,000	
月　別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
件数(件)	0	3	0	0	0	0	7
金額(円)	0	360,000	0	0	0	0	840,000

※件数及び金額は、受付ベース

(3)　栃木市再生可能エネルギー発電設備設置審議会

・許可案件　　7件

・変更許可　　0件

4　開発登録簿の電子化に関すること

(1)　事業概要

紙ベースで保管している開発登録簿について、業務の効率化及び窓口サービスの向上を図ることを目的に、都市計画情報システムに搭載可能な電子データを整備するため、開発登録簿スキャニング業務を実施した。

(2)　事業の実施状況

・委託業務名　開発登録簿スキャニング業務委託

・履行期間　　1月13日～3月27日

・契約額　　3,223,000円

・契約相手方　国際航業㈱宇都宮営業所

・業務内容　　開発登録簿のスキャニングに係る業務

市街地整備係

1　都市構造再編集中支援事業

都市再生整備計画（栃木市中心市街地地区）を定め、各種事業の進捗管理を行った。また、都市再生整備計画の第1回変更を行い、国へ提出した。

(1)　都市再生整備計画（栃木市中心市街地地区）

ア　事業期間　令和7年度～令和11年度（5か年間）

イ　令和7年度実施事業

事業名
旧栃木警察署跡地広場等整備事業
蔵の街大通り“花”やか事業
観光アプリ「蔵ミュゼ」改修事業

(2)　栃木市都市再生整備計画検討委員会

都市再生整備計画第1回変更に当たり、庁内において検討、連携、調整等を行う庁内検討組織である、栃木市都市再生整備計画検討委員会を書面開催した。

ア　検討委員会

・委 員 数　13人

・委 員 長　都市建設部長

・開催状況　1回（12月17日）

イ　検討部会

・委 員 数　13人

・委 員 長　都市計画課長

・開催状況　1回（7月17日）

2　旧栃木警察署跡地土地利用推進事業

栃木地域の中心市街地における大規模遊休地である旧栃木警察署跡地について、栃木市観光・交流拠点整備検討会議で自治会・商店会・まちづくり団体からの意見も取り入れ、令和7年6月に栃木市観光・交流拠点整備基本計画を策定した。整備基本計画の中で「観光・交流拠点」として、多目的広場、駐車場及び休憩施設を整備する方針を定め、測量・実施設計を行った。

3　官民連携によるまちづくり事業

蔵の街エリアの魅力・活力・賑わいの向上を目指す官民連携組織「ウズマクリエイティブ」と今後の官民連携によるまちづくりについて意見交換を行った。

・ウズマクリエイティブとの打ち合せ　1回（2月17日）

4　シェアサイクル事業

栃木地域の中心市街地において、観光客及び市民の交通の利便性の向上、まちなかの周遊性の向上を図るため、事業を実施している。

(1)　シェアサイクル設置台数

電動アシスト自転車　30台

(2)　ステーションの配置箇所

栃木駅北口	岩下の新生姜ミュージアム
旧栃木警察署跡地	とちぎ山車会館
栃木市立美術館・文学館	栃木市役所本庁舎
嘉右衛門町伝建地区ガイダンスセンター	新栃木駅西口

(3)　利用状況　（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
503	662	530	483	650	694	583	556	498	526	455	495	6,635

(4)　事業費

内　　容	金　額（円）	備考
消耗品費	6,664	
自転車管理業務委託料	356,745	
運営業務システム等使用料	2,445,181	
その他（修繕料・広告掲出手数料・高速道路使用料）	270,742	
合　　計	3,079,332	

5　湊町・富士見町地区まちづくり事業

湊町・富士見町地区について、住環境を整備し、定住人口の維持及び促進を図るに当たり、まちづくり勉強会を開催した。

(1)　まちづくり勉強会の開催

・開催日　　2月4日

・参加者　　7名

(2)　業務委託

業　務　名	内　　容	金　額（円）	備考
湊町・富士見町まちづくり基礎調査業務委託	現況調査・分析等	495,000	
まちづくり勉強会支援業務委託	地元勉強会の開催・資料作成等	495,000	

6　新大平下駅前第2土地区画整理事業（市施行）

(1)　事業概要

ア　面　　積　約5.3ha

イ　地権者数　85人

ウ　施行期間　平成27年度～令和8年度

エ　総事業費　1,840,000千円

(2)　事業経過等

ア　清算金　　徴収　　1件

(3)　土地区画整理事業清算金

名　　称	内　　容	金　額（円）	備考
土地区画整理事業清算徴収金	関係権利者１名	107,740	

第４節　公園緑地課

〔総括概要〕

公園緑地課では、市民の安全で快適な暮らしに必要不可欠な社会資本である公園等の効率的な整備や維持管理を行い、生活環境の向上を図っている。

公園施設長寿命化対策事業では、ニッコークリエートスポーツフィールドとちぎ（栃木市総合運動公園陸上競技場）及び栃木市総合運動公園軟式野球場キュービクルの更新工事を実施した。

公園緑地の維持管理については、利用者が安全で快適に利用できるように、市内323公園（栃木地域153か所、大平地域91か所、藤岡地域30か所、都賀地域14か所、西方地域19か所、岩舟地域16か所）の清掃、除草、樹木管理及び遊具等の公園施設の維持管理を実施し、利用環境の向上に努めた。

栃木市総合運動公園では、プールの付属施設である五方弁やボイラーの更新工事を実施した。また、指定管理者の㈱メディカルフィットネスとちの木と連携を図り、快適な利用環境の確保のため適切な維持管理に努めた。

大平運動公園では、駐車場区画線の設置工事を実施した。また、指定管理者の、㈱エイジェックスポーツマネジメントと連携を図り、快適な利用環境の確保のため適切な維持管理に努めた。

藤岡渡良瀬運動公園では、渡良瀬サイクルパークにおいて既存トイレを管理棟へと改修を図り、併せてレンタサイクルでは、ジュニア用マウンテンバイクとキックバイクを追加した。

また、岩舟総合運動公園では、民設民営サッカースタジアム内に便益施設の設置を許可した。

そのほか、アダプト制度による公園清掃等のボランティア活動を支援するなど、市民協働による公園の維持管理に努めた。

公園整備係

1　公園施設長寿命化対策事業

(1)　委託料　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
とちぎ木の花スタジアム（栃木市総合運動公園硬式野球場）及び栃木市総合運動公園プール棟キュービクル更新設計業務委託	1,067,000	
栃木市総合運動公園庭球場キュービクル更新設計業務委託	528,000	

(2)　工事費　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考

ニッコークリエートスポーツフィールドとちぎ（栃木市総合運動公園陸上競技場）キュービクル更新工事	39,053,300	繰越明許費
栃木市総合運動公園軟式野球場キュービクル更新工事	47,883,000	繰越明許費

2　栃木総合公園施設整備事業

工事費　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
栃木市総合運動公園屋内プール用ボイラー更新工事	30,976,000	

3　渡良瀬サイクルパーク改修事業

工事費　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
渡良瀬サイクルパーク管理棟改修工事	7,788,000	

4　地域会議提案事業

(1)　つがの里活性化事業（都賀地域会議）　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
つがの里園内用縁台（ベンチ）購入	217,800	縁台 9 台

(2)　西方ふれあいパーク花の滝管理事業（西方地域会議）　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
西方ふれあいパーク花の滝除草業務委託	1,078,000	

(3)　寺尾ふれあい広場整備事業（西部地域会議）　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
寺尾ふれあい水辺の広場ベンチ設置工事	726,000	ベンチ 3 基
寺尾ふれあい水辺の広場植栽工事	770,000	ソメイヨシノ 10 本

(4)　岩舟運動公園遊具設置事業（岩舟地域会議）　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
岩舟総合運動公園遊具設置工事	924,000	スイング遊具 3 基

公園維持係

1　栃木市総合運動公園管理事業

(1)　維持補修　（単位:円）

内　　容	金　額
運動施設（プールろ過装置用五方弁修繕工事）	2,640,000

(2)　業務委託　（単位:円）

内　　容	金　額
高木伐採業務委託　外3件	2,976,670

(3)　各種許可申請　　(単位:件)

内　　容	件　数
公園占用許可申請	2
公園施設設置許可申請	1

2　栃木市総合運動公園管理運営委託事業

(1)　業務委託　　(単位:円)

業　務　名	内　　容	金　額
栃木市総合運動公園管理運営業務	施設管理運営（指定管理）	216,851,607

(2)　利用状況

ア　マルワ・アリーナとちぎ（栃木市総合運動公園総合体育館）　　(単位:人)

区分	主競技場	サブ競技場	卓球場	柔道場	剣道場	トレーニング室	会議室	計
計	49,505	28,808	14,171	4,169	1,528	38,927	1,566	138,674

※教室の人数は除く。PASS登録者及びPASS登録者の利用人数は含む。

イ　野球場・グラウンド　　(単位：人)

区分	とちぎ木の花スタジアム（栃木市総合運動公園硬式野球場）	軟式野球場4面	芝生運動広場2面	多目的広場2面	計
計	16,297	22,371	7,455	18,367	64,490

※12月1日から3月7日までグラウンド整備のため、硬式・軟式(4面)の利用中止。

ウ　庭球場　　(単位：人)

区分	個　人	団　体	計
計	27,079	13,543	40,622

※教室の人数は除く。PASSサークル登録者の利用人数は含む。

エ　ニッコークリエートスポーツフィールドとちぎ(栃木市総合運動公園陸上競技場)　　(単位:人)

区分	個　人	団　体	計
計	7,859	18,985	26,844

※PASS登録者の利用人数を含む。

オ　プール　　(単位:人)

区分	個　人	団　体	計
計	30,561	0	30,561

※教室の人数は除く。PASS登録者の利用人数は含む。

※10月から3月までの毎週火曜日を保守点検日として利用を中止。
※屋内25mプール水換水作業のため休館（5月30日、9月30日、12月28日）。
※屋内25mプール水換水作業及び塗装工事のため休館(2月22日から3月4日まで)。

カ　弓道場　（単位:人）

区分	個　人	団　体	計
計	964	12,034	12,998

※PASS登録者の利用人数を含む。

(3)　自主事業開催状況

毎年度、市民の健康や体力の維持増進を目的としたスポーツ・健康相談やスポーツ及びレクリエーションの普及のための各種プログラムサービスや教室の開催、利用者の目的に合った効果的なトレーニングができるようなサービスの提供に努めるとともに、プールの閉鎖時期を利用し、50mプールを「管理釣り場」として開設し、施設の有効活用及び利用者の拡大に努めた。

ア　メディカルサービス・フィットネスサービス　（単位:人）

区　　分	利 用 者 数
スポーツ・健康相談、メディカルトレーニング等	731
パーソナルトレーニング、プールパーソナル等	966

イ　各種プログラム　（単位:人）

教　室　名	内　　容	延べ参加者数
通常プログラム(60分)	ヨガ、エアロビクス、ピラティス等	11,916
ショートプログラム(30分)	ステップ、ストレッチ、腰痛体操等	10,792
ジュニアスポーツ教室	キッズスポーツ、ダンス、サッカー等	5,615
水泳教室	幼児、小学生、大人クラス	15,415
プールプログラム(30分)	泳法別、水中歩行、アクアビクス等	8,767
テニス教室	一般、ジュニアクラス	1,730
合　　計		54,235

ウ　PASS登録者数　（単位:人）

区　　分	登録者数	登録者利用数
メディカルPASS	9	41,081
メディカルPASS（ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌﾘｰ）	9	
マンスリーPASS	317	
マンスリーPASS（ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌﾘｰ）	93	
合　　計	428	

エ　PASS登録者の施設利用人数　（単位:人）

区　　分	登録者利用数
マルワ・アリーナとちぎ（栃木市総合運動公園総合体育館）	24,772
プール	16,179
ニッコークリエートスポーツフィールドとちぎ(栃木市総合運動公園陸上競技場)	114

弓道場	16
合　　計	41,081

オ　PASS サークル登録者数及び登録者施設利用人数　（単位:人）

区　　分	登録者数	登録者利用数
テニス	41	2,361

カ　管理釣り場利用人数　（単位：人）

区　　分	共通券		平日券			計
	一日券	午後券	午前券	イブニング券	ナイター券	
計	697	378	232	83	166	1,556

※開設期間：4 月 1 日から 4 月 6 日まで、11 月 29 日から 3 月 31 日まで

キ　各種イベント

区　　分	利用者数
桜フォトイベント	31
秋のフォトイベント	23
かけっこ教室	30
ジュニアアスリート向けけが予防講座	16
着衣水泳救助法	12
みんなで取り組む防災対策	20

3　大平運動公園管理事業

(1)　維持補修　（単位:円）

内　　容	金　額
運動施設（テニスコートＬＥＤ照明交換）	660,000
公園設備（区画線設置　外 1 件）	737,000
合　　計	1,397,000

(2)　業務委託　（単位:円）

内　　容	金　額
樹木管理業務委託（樹木伐採業務委託　外 4 件）	1,897,500
その他（第 1 多目的広場夜間照明盤機器調査業務委託）	266,200
合　　計	2,163,700

(3)　各種許可申請　（単位:件）

内　　容	件　数
公園占用許可申請	1

4　大平運動公園管理運営委託事業

(1)　業務委託　（単位:円）

業　務　名	内　　容	金　額
大平運動公園管理運営業務	施設管理運営（指定管理）	41,136,380

(2)　利用状況

ア　野球場・グラウンド　　（単位：人）

区分	エイジェックさくら球場（大平運動公園野球場）	多目的運動広場 4面	第2多目的広場 2面	計
計	24,231	11,484	16,414	52,129

※12月1日から3月31日までグラウンド整備のため、第1多目的運動広場の利用中止。

イ　庭球場　　（単位：人）

区分	個　人	団　体	計
計	12,337	12,596	24,933

ウ　管理棟　　（単位：人）

区分	個　人	団　体	計
計	2,701	1,261	3,962

5　藤岡渡良瀬運動公園管理事業

(1)　維持補修　　（単位:円）

内　　容	金　額
テニスネット更新工事	91,300
合　　計	91,300

(2)　業務委託　　（単位:円）

内　　容	金　額
緑地等管理作業業務委託	5,433,098
その他（土砂浚渫業務委託　外3件）	1,375,000
合　　計	6,808,098

(3)各種許可申請　　（単位:件）

内　　容	件　数
公園内における行為の許可申請	6

6　渡良瀬サイクルパーク管理運営事業

業務委託　　（単位:円）

内　　容	金　額
渡良瀬サイクルパーク管理運営業務（施設管理運営業務　外1件）	9,086,000

7　つがの里管理運営事業

(1)　維持補修　　（単位:円）

内　　容	金　額
公園設備（外灯修繕工事　外1件）	1,397,000

(2)　業務委託　　(単位:円)

内　　容	金　額
緑地等管理作業業務委託	6,873,633
警備業務委託	553,674
樹木管理業務委託（樹木伐採業務委託）	968,000
浄化槽維持管理清掃業務（浄化槽清掃業務委託　外5件）	3,115,750
自家用電気工作物保安管理業務委託	179,256
その他（つがの里窓清掃業務委託　外1件）	483,331
合　　計	12,173,644

(3)　各種許可申請　　(単位:件)

内　　容	件　数
公園占用許可申請	1
公園内における行為の許可申請	9
公園施設管理許可申請	0
公園施設設置許可申請	0
有料公園施設利用承認	3

(4)　つがの里公園内施設利用状況　　(単位:人)

施　設　名	利用者数
ふるさとセンター	7,296
ファミリーパークプラザ	1,746
バーベキュー場	1,074
体験交流館	418
合　　計	10,534

8　西方総合公園管理事業

(1)　維持補修　　(単位:円)

内　　容	金　額
公園設備（ふれあいパークトイレ修繕　外1件）	345,200

(2)　業務委託　　(単位:円)

内　　容	金　額
緑地等管理作業業務委託	4,475,000
自家用電気工作物保安管理業務委託	343,200
浄化槽維持管理業務（浄化槽維持管理業務委託　外1件）	333,300
その他	0
合　　計	5,151,500

(3)　各種許可申請　　(単位:件)

内　　容	件　数
有料公園施設利用承認	3

(4)　バーベキュー広場利用状況　　(単位:件)

4月～11月利用件数	117

9　岩舟総合運動公園管理事業

(1)　維持補修　　(単位:円)

内　　容	金　額
公園設備（区画線設置　外2件）	158,400
排水設備（トイレ通気筒修繕　外1件）	172,700
合　　計	331,100

(2)　業務委託　　(単位:円)

内　　容	金　額
緑地等管理作業業務委託	4,764,503
樹木管理業務委託（樹木伐採業務委託　外2件）	594,000
トイレ清掃業務委託	640,640
浄化槽保守点検業務委託（トイレC浄化槽清掃業務委託　外1件）	363,000
合　　計	6,362,143

(3)　各種許可申請　　(単位:件)

内　　容	件　数
公園占用許可申請	18
公園内における行為の許可申請	61

10　都市公園等管理事業

(1)　維持補修　　(単位:円)

内　　容	金　額
遊戯施設（永野川緑地公園 チューブスライダー修繕工事　外2件）	939,400
便益施設（惣社第一公園　トイレ設備修繕工事　外15件）	2,450,860
管理施設（永野川緑地公園 エアコン交換工事　外20件）	4,602,950
合　　計	7,993,210

(2)　業務委託　　(単位:円)

内　　容	業務箇所及び件数	金　額
都市公園樹木等管理業務 （除草、寄せ植え苅込等管理）	栃木地域の公園 9件 大平地域の公園 3件 藤岡地域の公園 1件	45,771,000
公園除草等業務委託 （公園の草刈り、除草剤散布等）	栃木市内の公園 10件	4,141,500
支障・危険樹木剪定、伐採業務 （折れ枝・倒木撤去を含む）	栃木市内の公園 10件	3,745,500

公園樹木病害虫防除業務 （害虫、ハチ等駆除）	栃木市内の公園 9 件	4,345,000
さくら害鳥（ウソ）防除業務	太平山県立自然公園	0
年間都市公園等管理業務 （除草、ゴミ拾い、ゴミ等回収）	栃木市内の公園等	2,936,206
年間公園管理業務 （除草、苅込等）	永野川緑地公園内 太陽の広場、わんぱく広場等	4,325052
年間公園清掃業務 （ゴミ拾い）	永野川緑地公園、皆川城址公園	795,168
年間トイレ清掃業務	栃木市内　46 公園	4,287,595
地縁団体、地元自治会等による 公園清掃、除草等業務	丸沼・長瀞公園　外 74 公園	1,837,250
浄化槽維持管理業務 （保守点検、11 条検査）	栃木市内　23 箇所	1,380,940
浄化槽清掃業務 （汚泥引抜き）	栃木市内　23 箇所	2,773,562
警備業務委託	永野川緑地公園パークセンター	145,200
その他の業務	防犯カメラ点検業務委託	0
合　　計		76,483,973

11　太平山遊覧道路桜更新事業

業務委託　（単位:円）

内　　容	金　額
太平山遊覧道路桜更新業務委託その 1	7,480,000
太平山遊覧道路桜更新業務委託その 2	7,172,000

12　公園遊具点検事業

業務委託　（単位:円）

内　　容	金　額
都市公園等遊具点検業務委託（栃木市内　63 箇所）	1,925,000

13　各種許可申請　（単位:件）

内　　容	件　数
公園占用許可申請	40
公園内における行為の許可申請	114
公園施設設置許可申請	6

第５節　建築住宅課

〔総括概要〕

建築住宅課の主な分掌事務は、住宅政策の総合調整、市営住宅全般、空き家の適正管理及び有効活用、市有建築物の整備、設計、維持及び修繕に関することである。

住宅政策関係については､令和元年東日本台風による被災住宅の再建支援として、自宅を再建するために必要な資金を借り入れたことにより生じる利子を補助する「被災住宅再建等利子補給制度」により被災者の初期負担の軽減を図った。

市営住宅の維持管理については、建物等を良好な状態に維持するための管理運営や外壁改修工事等を行うとともに、指定管理者と連携した緊急修繕や使用料の納付相談、徴収業務に努めた。

空き家対策としては、「あったか住まいるバンク制度」による空き家情報の提供や成約物件へのリフォーム補助を行うとともに､「空き家解体費補助制度」及び「空き家等改善資金利子補給制度」により空き家の適正管理及び有効活用を促した。また、官民連携による空き家対策の推進を図るため、空家等管理活用支援法人の指定を行った。

建築営繕業務として、市有建築物の設計及び施工監理については、「(仮称) 栃木東地域学校給食センター新築工事」､「大宮北小学校　屋内運動場改修工事」､「栃木保健福祉センター空調設備更新工事（第２期)」及び「旧都賀公民館解体工事」等を行った。

また、老人福祉施設、市営住宅等の市有建築物について建築基準法に基づく定期点検業務委託を実施し、点検結果を施設所管課に報告した。

空き家・住宅政策係

1　公営住宅管理戸数

(1)　市営住宅管理戸数　　（単位：戸）

種別構造 / 団地名	木造 平屋建	木造 2階建	準耐火 平屋建	準耐火 2階建	中層 耐火 3階建	中層 耐火 4階建	中層 耐火 5階建	高層 耐火 8階建	計
本町市営住宅	－	－	－	－	－	－	20	－	20
薗部市営住宅	－	6	－	－	－	－	－	－	6
城内市営住宅	－	－	－	－	－	48	－	－	48
神田市営住宅	－	8	－	－	－	－	－	－	8
大宮市営住宅	－	－	－	－	42	88	－	－	130
川原田西市営住宅	－	－	－	－	24	－	－	－	24
川原田市営住宅	－	－	－	－	58	－	－	60	118
城内南市営住宅	－	－	45	54	－	－	60	－	159

城内南第2市営住宅	－	－	－	－	12	88	30	－	130
平井市営住宅	－	－	－	－	－	16	－	－	16
平柳市営住宅	－	－	－	－	－	－	－	36	36
藤岡仲町市営住宅	2	－	4	－	－	－	－	－	6
藤岡南山市営住宅	12	－	4	－	－	－	－	－	16
藤岡荒立市営住宅	－	－	40	－	－	－	－	－	40
藤岡都賀市営住宅	－	－	4	－	－	－	－	－	4
岩舟西根南市営住宅	－	－	－	4	－	－	－	－	4
計	14	14	97	58	136	240	110	96	765
退去戸数	49								
入居戸数	19								

(2)　特定公共賃貸住宅管理戸数

管理戸数　30戸

(3)　改良住宅管理戸数

管理戸数　19戸

2　市営住宅維持管理関係

(1)　市営住宅改修工事費　（4件）　（単位：円）

工事名	工事箇所	工事概要	工事金額
大宮市営住宅E,F棟屋上防水、外壁及び排水管改修工事	大宮町地内	外壁改修工事 外壁面積2,854㎡、排水管改修工事、屋上防水工事	98,340,000
城内市営住宅3号棟外壁及び排水管改修工事	城内町1丁目地内	外壁改修工事 外壁面積1,427㎡、排水管改修工事	49,819,000
平井市営住宅外壁改修工事	平井町地内	外壁改修工事 外壁面積1,379㎡	41,151,000
川原田市営住宅C棟火災報知設備更新工事	川原田町地内	電気設備工事 火災報知設備　感知器84か所	3,107,500
合計			192,417,500

(2)　指定管理者による市営住宅維持管理

市営住宅16団地の入居者管理事務、施設管理、緊急修繕工事、使用料納付相談及び滞納整理業務委託

・指定管理者名称　一般社団法人　宅建とちぎ公営住宅管理センター

・委託料　40,980,000円

3　空き家解体費補助制度

地域	件数（件）	金額（円）
栃木地域	50	13,490,000
大平地域	7	2,000,000
藤岡地域	5	1,250,000
都賀地域	9	2,750,000
西方地域	3	1,000,000
岩舟地域	11	3,000,000
計	85	23,490,000

4　あったか住まいるバンク制度

(1)　空き家バンク事業

・空き家バンク事業実績

物件登録件数（件）	成約件数（件）	利用登録者数（人）
82	97	276

(2)　空き家バンクリフォーム等補助事業

・空き家バンクリフォーム等補助件数

種類	件数（件）	金額（円）
リフォーム補助	23	11,230,000
家財処分補助	25	2,345,000
計	48	13,575,000

5　空き家等改善資金利子補給制度

・申請者数　2件　利子補給額　16,125円

6　住宅被災者支援

令和元年東日本台風災害

・被災住宅再建等利子補給金　16件　利子補給額　117,064円

7　空家等管理活用支援法人

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、1法人を空き家所有者の相談対応、セミナー等啓発事業の実施、弁護士、司法書士等と連携した業務等の役割を担う空家等管理活用支援法人に指定した。

・法人の名称　公益社団法人栃木県宅地建物取引業協会

・指定日　令和7年8月7日

・指定期間　令和7年8月7日から令和9年3月31日まで

建築整備係

1　設計・工事依頼関係

(1)　設計・工事監理業務委託

業　務　名	業　務　箇　所	業　　務　　概　　要	委託金額（円）
栃木文化会館大規模改修基本設計及び実施設計業務委託 （R6～R7 年度）	旭町地内	基本設計・実施設計 RC 造一部 S 造 地上 3 階地下 1 階建て 延床面積約 7,900 ㎡ 建築、構造、電気設備、機械設備、外構　一式	63,679,000
観光・交流拠点施設建築設計業務委託	室町地内	基本設計・実施設計 S 造平屋建て 延床面積約 100 ㎡ 建築、構造、電気設備、機械設備　一式	5,775,000
その他業務委託件数　2 件			5,282,000
合　　計　　4 件			74,736,000

(2)　施工監理業務

工　事　名	工　事　箇　所	工　　事　　概　　要	工事金額（円）
（仮称）栃木東地域学校給食センター新築機械設備工事 （R7～R8 年度）	神田町地内	機械設備工事　一式 学校給食センター S 造　2 階建て 延べ面積 2,459.76 ㎡	1,199,000,000
（仮称）栃木東地域学校給食センター新築工事 （R7～R8 年度）	神田町地内	建築工事　一式 学校給食センター S 造　2 階建て 延べ面積 2,459.76 ㎡	702,900,000
（仮称）栃木東地域学校給食センター新築電気設備工事 （R7～R8 年度）	神田町地内	電気設備工事　一式 学校給食センター S 造　2 階建て 延べ面積 2,459.76 ㎡	339,197,100
大宮北小学校　屋内運動場改修工事	大宮町地内	建築工事　一式 屋内運動場 S 造　平屋建て 延べ面積 659 ㎡ 電気設備工事　一式 機械設備工事　一式	115,555,000

栃木東中学校　屋内運動場改修工事	日ノ出町地内	建築工事　一式 屋内運動場 S造　平屋建て 延べ面積 890.54 ㎡ 電気設備工事　一式 機械設備工事　一式	104,522,000
栃木南中学校　校舎外壁等改修工事(2期)	本町地内	建築工事　一式 校舎 RC造　4階建て 延べ面積 6,877.41 ㎡	96,041,000
その他工事件数　15件			552,208,800
合　　計		21件	3,109,423,900

建築維持係

1　設計・工事依頼関係

(1)　設計・工事監理業務委託

業　務　名	業　務　箇　所	業　　務　　概　　要	委託金額(円)
旧栃木市斎場解体設計業務委託	平井町地内	解体実施設計　一式 RC造　2階建て 延床面積726㎡ 車庫兼倉庫、残骨灰置場浄化槽、地下オイルタンク、外構　外	3,927,000
旧デイサービス真名子及び農産物加工所解体設計業務委託	西方町真名子地内	解体実施設計　一式 RC造　平屋建て 延床面積841㎡ 農産物加工所 バス車庫、外構　外	2,772,000
南小学校空調設備更新設計業務委託	沼和田町地内	空調設備設計　一式 機器更新：4教室	1,375,000
その他業務委託件数　7件			6,886,000
合　　計		10件	14,960,000

(2)　施工監理業務

工　事　名	工　事　箇　所	工　　事　　概　　要	工事金額(円)

栃木保健福祉センター空調設備更新工事（第２期）	今泉町２丁目地内	機械設備工事　一式 室内機 39 台 室外機 19 台	71,918,000
旧都賀公民館解体工事	都賀町原宿地内	解体工事　一式 RC 造一部 S 造　2 階建て 延床面積 1,244.04 ㎡ 車庫、外構、路盤	70,323,000
旧都賀総合支所解体工事	都賀町家中地内	解体工事　一式 本館　混構造 3 階建て 延床面積 1,346.93 ㎡ 別館　S 造 2 階建て 延床面積 602.00 ㎡ 車庫、駐輪場、外構	67,287,000
その他工事件数　32 件			559,229,000
合　　計		35 件	768,757,000

２　定期点検業務委託

業　務　名	業　務　箇　所	業　　務　　概　　要	委託金額（円）
市有建築物定期点検業務委託（栃木その 1）	今泉町２丁目地内外	点検業務 栃木保健福祉センター、老人福祉センター福寿園、老人福祉センター泉寿園・勤労総合福祉センター等 8 施設 30 棟	1,408,000
市有建築物定期点検業務委託（栃木その 2）	境町地内外	点検業務 第三地区コミュニティセンター、 本町市営住宅、 第四地区コミュニティセンター等 12 施設 12 棟	1,265,000
その他定期点検業務委託件数　8 件		85 施設 124 棟	9,581,000
合　　計		105 施設 166 棟	12,254,000

３　外壁調査業務委託

業　務　名	業　務　箇　所	業　　務　　概　　要	委託金額 （円）
市有建築物外壁調査業務委託（皆川城東小学校）	皆川城内町地内	外壁調査業務 皆川城東小学校 1施設 1棟	2,728,000
合　　計		1施設 1棟	2,728,000

第６節　建築指導課

〔総括概要〕

市民の生命・財産の保護及び都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、建築基準法に基づく許可、私有地内に築造された道路位置の指定、建築確認申請の審査、確認済証及び完了検査済証の交付等、建築行政事務を行った。

首都直下地震・南海トラフ地震等の大規模地震の発生が切迫していると指摘されている状況や耐震化の現状等を踏まえ、安心・安全で地震に強いまちづくりを更に推進するため、令和12年度末までを計画期間とする「栃木市建築物耐震改修促進計画（四期計画)」を策定した。また、住宅の耐震化を一層促進するため、同計画に基づき「栃木市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2025」を策定するとともに、昭和56年5月以前の旧耐震基準で建築された木造住宅の所有者等に対して、耐震化の重要性や各種耐震支援制度の普及啓発、耐震診断士の無料派遣、耐震改修工事及び耐震建替工事費用の一部助成を行い、民間木造住宅の耐震化の促進を図った。併せて、ブロック塀や石塀等の倒壊による被害の防止を図り歩行者の安全を確保するために、危険なブロック塀等の撤去改修工事に関する費用の一部助成も行った。また、令和6年度に行ったブロック塀等実態把握調査結果に基づき、通学路に面する倒壊のおそれのあるブロック塀等の所有者に対して、個別訪問等により普及啓発活動を行った。

違反建築物や老朽化が著しい建築物の是正指導に取り組む一方で、狭あい道路を解消するため、建築基準法第 42 条第 2 項の規定に基づき指定した道路の後退用地の所有者から、分筆測量及び工作物撤去費用の一部助成申請並びに無償使用承諾書を受理した。

また、建設リサイクル法に基づく分別解体等の届出書等の受理及び解体現場の立入調査を行い、建築物の分別解体について助言指導を行った。

そのほか、建築物の省エネ対策として、建築物エネルギー消費性能基準の適合性判定、低炭素建築物新築等計画の認定や、長期にわたり良好であり環境負荷の低減を行った長期優良住宅建築等計画の認定などを行った。

建築指導係

1　木造住宅耐震診断士派遣制度・耐震改修等補助制度

耐震診断士派遣申請	29 件	2,784,000 円
耐震改修等補助申請（建替え含む）	26 件	30,650,000 円

※件数及び金額は、受付ベース

2　ブロック塀等撤去改修工事費補助制度

基準法の道路	13 件	1,650,000 円

通学路	5件	603,000円

3　狭あい道路拡幅整備促進事業

分筆測量に係る補助申請	3件	762,000円
工作物等撤去に係る補助申請	0件	0円

4　道路後退用地無償使用承諾

承諾件数	8件	後退面積計	61.93㎡

5　建設リサイクル法による届出及び通知

10条届出	328件	11条通知	144件

6　道路位置指定

指定件数	0件	指定延長	0m
廃止件数	1件	廃止延長	143.46m

7　建築基準法に基づく建築許可等の状況

条項の区分	件数
法第7条の6第1項又は法第18条第24項	4
法第43条第2項	16
法第44条第1項	－
法第47条	－
法第48条第1項から第14項	－
法第51条	－
法第52条第14項	－
法第53条第4項、第5項	－
法第53条の2第1項	－
法第55条第2項、第3項	－
法第56条の2第1項	－
法第57条の4第1項	－
法第59条第1項、第4項	－
法第59条の2第1項	－
法第60条の2第1項	－
法第67条の2第3項、第5項、第9項	－
法第68条第1項から第3項、第5項	－
法第68条の2から第68条の7	－
法第85条	4
法第86条第1項から第4項	－

合　　計	24

8　建築確認申請受付件数及び同手数料

・受付状況等　【別表】令和７年度建築確認申請受付件数及び同手数料参照

建築審査係

1　建築確認済証、中間検査合格証及び完了検査済証の交付件数　（単位：件）

区　　分		第１号建築物	第２号建築物	第３号建築物	建築設備	工作物	合計
確認	栃木市	3	23	76	－	3	105
	指定確認検査機関	12	302	192	3	5	514
	合計	15	325	268	3	8	619
計画変更	栃木市	1	2 (1)	6 (2)	－	1	10
	指定確認検査機関	2	21 (5)	19 (5)	－	－	42
	合計	3	23 (6)	25 (7)	－	1	52
中間検査	栃木市	－	－ (－)	1 (0)	－	－	1
	指定確認検査機関	－	81 (16)	5 (2)	－	－	86
	合計	－	81 (16)	6 (2)	－	－	87
完了検査	栃木市	4	51 (41)	80 (30)	1	1	137
	指定確認検査機関	6	258 (90)	181 (59)	1	6	452
	合計	10	309 (131)	261 (89)	2	7	589

内（）は旧第４号建築物の件数とする

2　計画通知（法第 18 条）件数　（単位：件）

区　　分		第１号建築物	第２号建築物	第３号建築物	建築設備	工作物	合計
計画通知	確認	1	1	5	－	－	7
	計画変更	－	－ (－)	2 (1)	－	－	2
	中間検査	－	－ (－)	－ (－)	－	－	－
	完了検査	－	1 (0)	6 (2)	－	2	9

内（）は旧第４号建築物の件数とする

3　建築物エネルギー消費性能適合性判定件数　（単位：件）

申請件数	10	認定件数	10

4　建築物エネルギー消費性能向上計画認定件数（単位：件）

申請件数	0	認定件数	0

5　低炭素建築物新築等計画認定件数　（単位：件）

申請件数	2	認定件数	2

6　長期優良住宅建築等計画認定件数　（単位：件）

申請件数	252	認定件数	248

7　バリアフリー法による特定建築物認定件数（単位：件）

申請件数	－	認定件数	－

8　栃木県ひとにやさしいまちづくり条例による特定施設届出件数（単位：件）

届出件数	14

【別表】令和７年度建築確認申請受付件数及び同手数料

（金額の単位：円）

	確認申請														中間検査		完了検査		認定・許可等手数料		各種証明		月別計	
	1号		2号		3号		EV		工作物		計画変更		計						（内　42-1-5）					
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
4月					6	137,000			1	13,000	1	9,000	8	159,000			20	602,000	3	87,000	14	4,200	45	852,200
5月	1	9,000	3	106,000	8	145,000					2	25,000	14	285,000			15	406,000	1	33,000	11	3,300	41	727,300
6月					7	112,000							7	112,000			14	430,000	1	27,000	25	7,500	47	576,500
7月			2	82,000	3	60,000					1	16,000	6	158,000	1	16,000	10	286,000			20	6,000	37	466,000
8月			6	200,000	5	116,000					2	37,000	13	353,000			11	266,000	3	96,000	10	3,000	37	718,000
9月			3	110,000	7	146,000							10	256,000			10	379,000	2	54,000	42	12,600	64	701,600
10月			2	78,000	10	201,000							12	279,000			8	228,000	2	54,000	26	7,800	48	568,800
11月			1	28,000	10	247,000					1	9,000	12	284,000			4	98,000	6	177,000	7	2,100	29	561,100
12月	1	66,000	3	99,000	5	85,000							9	250,000			14	372,000	2	77,000	45	13,500	70	712,500
1月	1	190,000	2	84,000	7	148,000							10	422,000			9	248,000	1	120,000	27	8,100	47	798,100
2月					6	82,000			2	26,000			8	108,000			10	280,000	1	50,000	38	11,400	57	449,400
3月			1	28,000	3	48,000			1	13,000	3	25,000	8	114,000			15	402,000	1	180,000	51	15,300	75	711,300
計	3	265,000	23	815,000	77	1,527,000	0	0	4	52,000	10	121,000	117	2,780,000	1	16,000	140	3,997,000	23	955,000	316	94,800	597	7,842,800
																				0				

第９章　会計課

〔総括概要〕

会計課の主な業務は、会計管理者の職務権限である支出負担行為の確認と支出命令の審査、現金（有価証券を含む）や物品の出納及び保管、小切手の振出し、現金や財産の記録管理、決算の調製である。

これらの事務については、公正の確保のため、法令、条例、規則等及び予算に基づき適法かつ適正な処理に当たるとともに、財政健全化の視点に立ち、その執行に努めた。

支出命令の審査については、支出命令書（支出調書）、支出負担行為決議書及び関係書類の確認を行った。

また、市税、地方交付税、国・県支出金、使用料、手数料、市債等の公金の収納については、これらを的確に把握し、収入確定の一連の事務処理を行った。

歳計現金、歳計外現金、運用基金及び積立基金の保管については、常に収支状況を把握し、低金利の厳しい状況の中、ペイオフ対策を踏まえ、定期性預金、譲渡性預金、地方債及び流動性預金等により運用し、収益（利子）の確保に努めた。

更に、公金の収納及び支払事務を取扱う指定金融機関及び収納事務を取扱う収納代理金融機関5行に対し、定期検査を実施した。

なお、今年度の現金受払状況の受高は123,322,575,695円、払高は118,155,980,791円となっている。

審査係

1　月別支払状況

区　　分	処理伝票数(件)	金額(円)
令和7年 4月	954	6,254,467,290
5月	3,172	5,849,912,218
6月	4,336	8,250,809,689
7月	4,836	8,062,280,007
8月	3,739	8,696,281,764
9月	3,542	10,162,296,402
10月	5,107	8,494,630,412
11月	3,652	6,774,714,097
12月	4,634	9,253,840,265
令和8年 1月	4,127	9,430,187,671
2月	4,238	8,068,412,422
3月	4,885	19,388,299,029
4月	5,630	8,718,336,770

令和8年 5月	682	751,512,755
合　　計	53,534	118,155,980,791

2　資金運用状況

・預金等の種類　　大口定期預金・譲渡性預金（ＮＣＤ）・国債、地方債等

・運用回数　　32回

・運用資金累計（延べ）額　　13,719,533,811円

・運用収益（利子）額　　33,094,952円

区分	会計・基金名	運用回数(回)	運用資金累計(延べ)額(円)	運用収益(利子)額(円)
歳計現金	一般会計	1	500,000,000	411,369
	国民健康保険特別会計	－	－	－
	後期高齢者医療特別会計	－	－	－
	介護保険特別会計（保険事業勘定）	－	－	－
	介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	－	－	－
	寺尾財産区特別会計	－	－	－
	小　　計	1	500,000,000	411,369
運用基金	保護費即時払基金	－	－	－
	奨学基金	－	－	－
	印紙等購買基金	－	－	－
	小　　計	－	－	－
積立基金	財政調整基金	3	4,500,000,000	12,070,100
	減債基金	2	2,000,000,000	5,835,616
	大澤基金	6	900,000,000	4,348,000
	庁舎建設基金	1	280,000,000	196,000
	地域福祉基金	－	－	－
	スポーツ振興基金	1	30,000,000	36,000
	ふるさと文化振興基金	1	37,000,000	25,900
	図書館振興基金	1	17,500,000	48,125
	保険財政調整基金	2	1,700,000,000	2,040,000
	介護給付費準備基金	1	400,000,000	480,000
	小野寺地区市有林管理基金	－	－	－
	寺尾財産区運営基金	1	230,000,000	126,500
	市民協働まちづくりファンド	－	－	－
	墓園管理基金	1	30,000,000	36,000
	皆川地区振興基金	1	30,000,000	36,000
	地球温暖化対策基金	－	－	－
	ふるさと応援基金	－	－	－
	義務教育施設整備基金	－	－	－

	ふるさと整備事業基金	−	−	−
	地域医療対策基金	−	−	−
	中山間地域農村環境保全基金	1	10,033,811	27,592
	さくら基金	−	−	−
	創業支援中村由美子基金	−	−	−
	マスコットキャラクター応援基金	−	−	−
	新斎場整備基金	−	−	−
	消防基金	−	−	−
	篤志奨学基金	−	−	−
	子ども未来基金	1	30,000,000	36,000
	小平浪平顕彰基金	−	−	−
	森林環境譲与税基金	−	−	−
	新型コロナ対策基金	−	−	−
	緊急資金利子補助基金	−	−	−
	公共施設整備等基金	4	2,900,000,000	7,205,000
	コウノトリ基金	1	30,000,000	36,000
	栃木インター西基金	−	−	−
	企業版ふるさと応援基金	−	−	−
	教職員人材確保基金	−	−	−
	小　　計	28	13,124,533,811	32,582,833
歳入歳出外現金		3	95,000,000	100,750
合　　計		32	13,719,533,811	33,094,952

※ 令和元年度から普通預金を決済用預金に変更

出納係

1　会計

(1)　現金受払状況　　（単位：円）

区分 / 会計名		受　高	払　高	残　高
一般会計		80,023,138,503	76,550,943,465	3,472,195,038
特別会計	国民健康保険	16,248,431,293	15,859,294,851	389,136,442
	後期高齢者医療	2,732,185,915	2,693,474,884	38,771,031
	介護保険(保険事業勘定)	16,054,887,629	15,540,611,377	514,276,252
	介護保険(介護サービス事業勘定)	87,988,502	83,756,027	4,232,475
	栃木インター西産業団地	105,252,611	99,644,654	5,607,957
	平川産業団地	604,974,747	602,585,283	2,389,464

	寺尾財産区	15,335,739	13,804,139	1,531,600
運用基金	印紙等購買基金	27,099,400	23,452,730	3,646,670
	保護費即時払基金	3,679,132	1,715,449	1,963,683
	奨学基金	68,883,868	5,400,000	63,483,868
一時借入金		-	-	-
歳入歳出外現金		7,350,718,356	6,681,297,932	669,420,424
合　　計		123,322,575,695	118,155,980,791	5,166,654,904

(2)　令和7年度　歳入歳出決算

ア　一般会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 市税	22,577,743,000	24,087,234,229	23,410,516,084	70,521,056	606,197,089
2 地方譲与税	648,000,000	645,537,000	645,537,000	-	-
3 利子割交付金	40,000,000	36,270,000	36,270,000	-	-
4 配当割交付金	156,000,000	157,875,000	157,875,000	-	-
5 株式等譲渡所得割交付金	264,000,000	254,161,000	254,161,000	-	-
6 法人事業税交付金	372,000,000	386,672,000	386,672,000	-	-
7 地方消費税交付金	4,232,000,000	4,463,351,000	4,463,351,000	-	-
8 ゴルフ場利用税交付金	346,500,000	354,378,920	354,378,920	-	-
9 環境性能割交付金	97,000,000	86,647,000	86,647,000	-	-
10 地方特例交付金	140,104,000	147,404,000	147,404,000	-	-
11 地方交付税	11,649,091,000	11,824,296,000	11,824,296,000	-	-
12 交通安全対策特別交付金	18,500,000	14,880,000	14,880,000	-	-
13 分担金及び負担金	187,472,000	198,495,757	197,587,668	-	908,089
14 使用料及び手数料	686,867,000	799,603,654	717,668,564	4,770,400	77,164,690
15 国庫支出金	14,987,590,000	12,817,716,590	12,817,716,590	-	-
16 県支出金	5,848,298,000	5,577,653,396	5,577,653,396	-	-
17 財産収入	260,809,000	248,271,404	247,460,964	-	810,440
18 寄附金	1,725,921,000	1,639,157,461	1,639,157,461	-	-
19 繰入金	3,575,309,000	3,874,405,627	3,874,405,627	-	-
20 繰越金	3,546,891,398	3,546,892,279	3,546,892,279	-	-
21 諸収入	3,830,680,000	4,219,287,504	3,812,607,950	25,213,350	381,466,204
22 市債	9,934,300,000	5,810,000,000	5,810,000,000	-	-
合　　計	85,125,075,398	81,190,189,821	80,023,138,503	100,504,806	1,066,546,512

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 議会費	372,170,000	359,125,526	−	13,044,474
2 総務費	12,613,240,000	11,945,997,540	48,631,000	618,611,460
3 民生費	30,177,315,000	28,596,379,764	133,128,000	1,447,807,236
4 衛生費	7,931,352,398	7,418,294,533	114,353,000	398,704,865
5 労働費	95,894,000	77,496,064	−	18,397,936
6 農林水産業費	1,630,753,000	1,447,019,924	99,458,000	84,275,076
7 商工費	4,484,019,000	3,258,714,464	1,061,492,000	163,812,536
8 土木費	9,268,112,000	6,453,554,309	1,609,132,000	1,205,425,691
9 消防費	2,569,450,000	2,410,863,988	95,137,000	63,449,012
10 教育費	8,492,613,000	7,135,389,466	943,021,000	414,202,534
11 災害復旧費	1,004,000	−	−	1,004,000
12 公債費	7,449,739,000	7,448,107,887	−	1,631,113
13 予備費	30,414,000	−	−	30,414,000
合　　計	85,125,075,398	76,550,943,465	4,104,352,000	4,469,779,933

イ　国民健康保険特別会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 国民健康保険税	2,626,738,000	3,593,222,062	2,848,036,899	107,854,634	637,330,529
2 一部負担金	2,000	−	−	−	−
3 使用料及び手数料	2,001,000	1,899,807	1,899,807	−	−
4 国庫支出金	1,762,000	1,901,000	1,901,000	−	−
5 県支出金	12,333,102,000	11,369,813,733	11,369,813,733	−	−
6 財産収入	2,040,000	2,040,000	2,040,000	−	−
7 繰入金	1,740,928,000	1,740,930,198	1,740,930,198	−	−
8 繰越金	188,186,000	188,186,070	188,186,070	−	−
9 諸収入	74,306,000	101,238,695	95,623,586	1,574,103	4,041,006
10 市債	1,000	−	−	−	−
合　　計	16,969,066,000	16,999,231,565	16,248,431,293	109,428,737	641,371,535

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	234,311,000	210,808,576	−	23,502,424
2 保険給付費	12,151,025,000	11,098,092,320	−	1,052,932,680

3 国民健康保険事業費納付金	4,287,599,000	4,287,598,351	−	649
4 財政安定化基金拠出金	1,000	−	−	1,000
5 保健事業費	133,367,000	101,740,088	−	31,626,912
6 積立金	2,040,000	2,040,000	−	−
7 公債費	2,000	−	−	2,000
8 諸支出金	159,271,000	159,015,516	−	705,484
9 予備費	1,000,000	−	−	1,000,000
合　　計	16,969,066,000	15,859,294,851	−	1,109,771,149

ウ　後期高齢者医療特別会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 後期高齢者医療保険料	2,075,843,000	2,016,697,662	2,007,980,680	1,581,468	7,135,514
2 使用料及び手数料	201,000	305,400	305,400	−	−
3 寄附金	1,000	−	−	−	−
4 繰入金	674,548,000	674,547,160	674,547,160	−	−
5 繰越金	45,461,000	45,461,679	45,461,679	−	−
6 諸収入	4,305,000	3,890,996	3,890,996	−	−
合　　計	2,800,359,000	2,740,902,897	2,732,185,915	1,581,468	7,135,514

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	100,263,000	92,333,804	−	7,929,196
2 後期高齢者医療広域連合納付金	2,542,159,000	2,475,707,140	−	66,451,860
3 後期高齢者健診事業費	108,294,000	77,292,340	−	31,001,660
4 諸支出金	48,643,000	48,141,600	−	501,400
5 予備費	1,000,000	−	−	1,000,000
合　　計	2,800,359,000	2,693,474,884	−	106,884,116

エ　介護保険特別会計（保険事業勘定）

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 保険料	3,529,905,000	3,635,383,203	3,602,771,834	7,248,101	25,363,268
2 分担金及び負担金	33,001,000	34,111,800	33,249,336	51,600	810,864
3 使用料及び手数料	350,000	361,400	361,400	−	−
4 国庫支出金	3,326,947,000	3,238,222,186	3,238,222,186	−	−
5 支払基金交付金	4,092,101,000	3,884,168,445	3,884,168,445	−	−

6 県支出金	2,177,488,000	2,219,780,293	2,219,780,293	-	-
7 財産収入	480,000	480,000	480,000	-	-
8 寄附金	1,000	-	-	-	-
9 繰入金	2,524,548,000	2,524,984,000	2,524,984,000	-	-
10 繰越金	549,741,000	549,741,566	549,741,566	-	-
11 諸収入	712,000	1,128,569	1,128,569	-	-
12 市債	1,000	-	-	-	-
合　　計	16,235,275,000	16,088,361,462	16,054,887,629	7,299,701	26,174,132

・歳出　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	486,721,000	457,947,704	-	28,773,296
2 保険給付費	14,818,632,000	14,158,522,950	-	660,109,050
3 財政安定化基金拠出金	1,000	-	-	1,000
4 積立金	58,441,000	58,441,000	-	-
5 地域支援事業費	428,837,000	423,385,755	-	5,451,245
6 公債費	2,000	-	-	2,000
7 諸支出金	442,573,000	442,313,968	-	259,032
8 予備費	68,000	-	-	68,000
合　　計	16,235,275,000	15,540,611,377	-	694,663,623

オ　介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)

・歳入　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 サービス収入	79,782,000	81,496,245	81,496,245	-	-
2 繰入金	3,623,000	3,623,000	3,623,000	-	-
3 繰越金	2,829,000	2,828,057	2,828,057	-	-
4 諸収入	2,000	41,200	41,200	-	-
合　　計	86,236,000	87,988,502	87,988,502	-	-

・歳出　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 事業費	83,407,000	80,927,970	-	2,479,030
2 諸支出金	2,829,000	2,828,057	-	943
合　　計	86,236,000	83,756,027	-	2,479,973

カ　栃木インター西産業団地特別会計

・歳入　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 使用料及び手数料	1,000	458,757	458,757	-	-
2 財産収入	1,000	-	-	-	-
3 繰入金	87,101,000	87,101,000	87,101,000	-	-
4 繰越金	17,692,000	17,692,854	17,692,854	-	-
5 諸収入	1,000	-	-	-	-
合　　計	104,796,000	105,252,611	10,252,611	-	-

・歳出　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 産業団地造成事業費	101,335,000	96,184,654	-	5,150,346
2 公債費	1,000	-	-	1,000
3 積立金	3,460,000	3,460,000	-	-
合　　計	104,796,000	99,644,654	-	5,151,346

キ　平川産業団地特別会計

・歳入　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 分担金及び負担金	10,157,000	11,160,000	11,160,000	-	-
2 使用料及び手数料	11,000	63,030	63,030	-	-
3 繰入金	163,471,000	163,471,000	163,471,000	-	-
4 繰越金	3,580,000	3,580,717	3,580,717	-	-
5 諸収入	1,000	-	-	-	-
6 市債	561,800,000	426,700,000	426,700,000	-	-
合　　計	739,020,000	604,974,747	604,974,747	-	-

・歳出　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 産業団地造成事業費	597,345,000	460,911,856	112,800,000	23,633,144
2 公債費	141,675,000	141,673,427	-	1,573
合　　計	739,020,000	602,585,283	112,800,000	23,634,717

ク　寺尾財産区特別会計

・歳入　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 県支出金	1,000	-	-	-	-
2 財産収入	13,373,000	13,331,330	13,331,330	-	-
3 繰入金	1,000	-	-	-	-

4 繰越金	2,004,000	2,004,409	2,004,409	−	−
5 諸収入	2,000	−	−	−	−
合　　計	15,381,000	15,335,739	15,335,739	−	−

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 議会費	1,222,000	1,153,233	−	68,767
2 総務費	13,806,000	12,650,906	−	1,155,094
3 土木費	3,000	−	−	3,000
4 予備費	350,000	−	−	350,000
合　　計	15,381,000	13,804,139	−	1,576,861

(3)　口座による自動払込分（1件あたり10円(税込)）

科　　目	件数（件）	手数料（円）
市県民税	765	7,650
固定資産税・都市計画税	6,920	69,200
軽自動車税	1,373	13,730
国民健康保険税	3,573	35,730
介護保険料	491	4,910
後期高齢者医療保険料	1,094	10,940
市営住宅使用料	626	6,260
保育料	876	8,760
学童保育料	1,272	12,720
奨学資金貸付金	160	1,600
配食サービス事業自己負担金	1,464	14,640
聖地公園管理手数料	226	2,260
幼稚園保育料	60	600
軽度生活援助員派遣負担金	136	1,360
合　　計	19,036	190,360

(4)　金融機関別公金収納状況

金融機関名		件　数（件）		金　額（円）	
			割合(%)		割合(%)
指定金融機関	足利銀行	758,303	85.60	113,131,057,207	93.17
収納代理金融機関	みずほ銀行	15,485	1.75	2,741,686,768	2.26
	三井住友銀行	8,230	0.93	885,379,000	0.73
	群馬銀行	7,889	0.89	608,415,850	0.50

	常陽銀行	507	0.06	49,625,600	0.04
	栃木銀行	26,667	3.01	1,187,903,490	0.98
	栃木信用金庫	27,319	3.08	1,189,043,557	0.98
	足利小山信用金庫	1,476	0.17	86,589,654	0.07
	佐野信用金庫	1,246	0.14	33,084,019	0.03
	鹿沼相互信用金庫	3,726	0.42	122,555,143	0.10
	下野農業協同組合	29,206	3.30	1,194,811,469	0.98
	上都賀農業協同組合	4,588	0.52	154,999,316	0.13
	中央労働金庫	1,201	0.14	34,877,684	0.03
	計	127,540	14.40	8,288,971,550	6.83
合　　計		885,843	100.00	121,420,028,757	100.00

2　主な消耗品交付状況（本庁舎）

品　　名	数　量	品　　名	数　量	品　　名	数　量
鉛筆	261 本	シャープペン	52 本	シャープペン芯	85 個
ボールペン	338 本	マジック	302 本	蛍光ペン	691 本
蛍光ペン替	232 個	消しゴム	229 個	賞状（A3）	250 枚
修正テープ	82 個	修正テープ替	165 個	付箋紙	1,705 個
液状のり	356 個	ホッチキス針	1,163 個	インデックス	786 袋
ホワイトボードマーカー	134 本	朱の油	9 個	指サック	32 箱
両面テープ	248 本	セロテープ	244 本	ガムテープ	127 個
ビニールひも	143 個	決裁カバー	172 冊	書類封筒	18,996 枚
広告入書類封筒	20,080 枚	封筒　中	58,665 枚	広告入封筒　中	48,280 枚
封筒　小	17,050 枚	ゴミ袋	976 袋	石けん	19個
台所用洗剤	77 本	台所用漂白剤	34 本	スポンジ	176 個
フラットファイル	3,572 枚	クリアフォルダー	675 枚	ラベルシール	377 枚
朱肉	19 個	綴り紐	29 袋	ペーパーパッチ	30 袋

3　指定金融機関等の検査

地方自治法施行令第168条の4及び栃木市財務規則第139条の規定に基づき、指定金融機関及び収納代理金融機関の検査を次のとおり実施し、適正に処理されていることを確認した。（令和7年度は、書面で実施）

実施日	金融機関
2月17日（火）	指定金融機関　株式会社足利銀行　栃木支店

	収納代理金融機関　株式会社常陽銀行　小山支店
	収納代理金融機関　株式会社栃木銀行　栃木支店
	収納代理金融機関　栃木信用金庫　本店営業部
	収納代理金融機関　佐野信用金庫　岩舟支店

第１０章　議会事務局

第１節　議事課

〔総括概要〕

本市議会では、議会基本条例に基づき、二元代表制における役割及び市民を代表している責任を果たすべく、積極的に議会運営を進めてきた。

議会報告会については、「議会報告会運営委員会」が主体となって準備を進め、書面や動画等の様々な方法により報告を行うことで、市民から幅広く報告事項や市政全般に関する意見の集約を行った。また、意見交換会については、昨今の米の価格高騰を受け、市民の間では農業の問題に関心が高まっていたことから、「栃木市の農業の将来・食の安全と安定供給について」をテーマとし、農業従事者が思い描く“栃木市の農業の未来像”や、食の安全と安定供給に対する意見を聞き、農業の将来に何が必要かを把握するため､農業従事者を対象に市内2会場でワークショップ形式による意見交換を行った。更に、これらの取組により集約した意見を整理し、「市長への3つの提言」を行った。

議会改革については、「議会改革検討委員会」において、①予算・決算審査（議員全員協議会、特別委員会）の見直しについて、②栃木市議会政治倫理条例の改正について、③議員研究会の在り方について、④一般質問についての検討を行い、課題や改善方法について協議を進めた。特に、①予算・決算審査の見直しについては、予算及び決算の各特別委員会において、これまで事前通告制を採用していた「会派代表質問」を委員会当日に説明を受けた後に自由に質問を行うことができる「会派質問」に改める運営方法の変更を行うとともに、新たな取り組みとして、決算審査終了後に、新年度予算へ向けた要望事項を取りまとめ、『令和８年度予算編成に向けた要望書』を市長あて提出した。

議会運営委員会では、議会運営を円滑かつ効率的に進めるために、審議する議案や請願・陳情などの提出状況をあらかじめ把握するなど、議会運営全般にわたる事項について審議した。また、議会基本条例第２１条第１項の規定により、同委員会において、一般選挙前に行うこととされている「議会基本条例の検証」を行い、報告書を取りまとめ、令和７年１０月に公表した。

常任委員会の活動については、総務、民生、産業教育及び建設の各委員会において､付託された各案件について専門的な審査を行うとともに､所管事務調査として、民生常任委員会においては「放課後児童健全育成事業（学童保育）における実態調査」を、産業教育常任委員会においては「市民農園閉鎖に伴う当該土地返還の経緯及び農地法第５条第１項による農地転用の実態調査」を実施した。

特別委員会の活動については、当初予算及び決算議案の詳細な審査を行うために予算、決算の特別委員会を設置した。また、令和７年９月定例会において動議が提出され、地方自治法第１００条第１項に基づく「学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金」の調査実施を決定し、同補助金に関する調査特別委員会（いわゆる１

００条委員会）を設置した。

その他の委員会の活動については、定例会ごとに発行する「とちぎ市議会だより」について編集等を行う広報委員会を開催した。また、令和６年度に設置した議員定数及び議員報酬検討委員会においては、議員定数及び報酬に関する調査研究を行い、報告書を取りまとめ、令和７年１０月に公表した。

調査研究活動については、議員全員協議会及び議員研究会において、市の主要施策等の調査研究を行うとともに、政務活動費を活用した会派等による自主的な行政視察や研修会への参加などを通じて各議員が自己研鑽に努めた。また、令和７年９月定例会において動議が提出され、地方自治法第９８条第２項に基づく「栃木市コミュニティバス（大平線、藤岡線及び岩舟線）にかかる運行実態について」の監査請求を決定し、監査委員に対して監査の実施を求めた。

議会情報の提供については、ホームページやＳＮＳを積極的に活用した最新情報の発信、「市議会だより」の発行、定例会開会の際の「議会チラシ」の新聞折り込み、ケーブルテレビによる本会議の「生中継」、インターネットを活用した本会議の「ライブ配信」及び「録画配信」を行い議会情報の発信に努めた。

議会総務係　議事調査係

1　議会

(1)　議員　令和4年4月25日～

・定数　28人（現員数28人）

議席	氏　名	議席	氏　名	議席	氏　名	議席	氏　名
1	川田俊介	2	小太刀孝之	3	市村　隆	4	雨宮茂樹
5	森戸雅孝	6	浅野貴之	7	小平啓佑	8	大浦兼政
9	針谷育造	10	古沢ちい子	11	大谷好一	12	坂東一敏
13	内海まさかず	14	小久保かおる	15	青木一男	16	松本喜一
17	梅澤米満	18	天谷浩明	19	針谷正夫	20	広瀬義明
21	氏家　晃	22	福富善明	23	福田裕司	24	中島克訓
25	大阿久岩人	26	小堀良江	27	白石幹男	28	関口孫一郎

(2)　正副議長

区　分	氏　名	任　期
議　長	梅澤米満	令和6年5月31日～
副議長	大谷好一	令和7年7月24日～

（副議長　針谷正夫　～令和7年6月6日　古沢ちい子　令和7年6月6日～令和7年6月26日）

(3)　常任委員会（令和6年5月31日～）

委員会名	委員長	副委員長	委　員
総　務	小平啓佑	小太刀孝之	小久保かおる　松本喜一　梅澤米満

			天谷浩明　小堀良江
民生	森戸雅孝	川田俊介	浅野貴之　古沢ちい子　内海まさかず 広瀬義明　白石幹男
産業教育	福富善明	雨宮茂樹	針谷育造　青木一男　針谷正夫 氏家晃　大阿久岩人
建設	大浦兼政	市村隆	大谷好一　坂東一敏　福田裕司 中島克訓　関口孫一郎

（民生　副委員長　古沢ちい子　～令和7年6月17日　川田俊介　令和7年6月17日～）

(4)　議会運営委員会（令和6年5月31日～）

委員長	副委員長	委員
関口孫一郎	小久保かおる	小太刀孝之　針谷育造　青木一男 福富善明　中島克訓

（委員長　大谷好一　～令和7年7月31日　関口孫一郎　令和7年8月8日～）

（委員　大谷好一　～令和7年7月31日　青木一男　令和7年8月8日～）

(5)　議会広報委員会（令和6年5月31日～）

委員長	副委員長	委員
白石幹男	川田俊介	小太刀孝之　浅野貴之　小平啓佑 内海まさかず　小久保かおる

（委員　天谷浩明　～令和7年3月31日　浅野貴之　令和7年3月31日～）

（委員　古沢ちい子　～令和7年6月9日　小久保かおる　令和7年6月9日～）

2　会議

(1)　会期及び本会議日数　（単位：日）

区分	令和7年第3回定例会（6月）	令和7年第4回臨時会（7月）	令和7年第5回定例会（9月）	令和7年第6回定例会（12月）	令和8年第1回臨時会（1月）	令和8年第2回定例会（3月）	合計
会期	20	1	32	20	1	33	107
本会議開催日数	6	1	6	6	1	5	25
常任委員会開催延べ日数	4	－	4	4	－	4	16
予算特別委員会開催延べ日数	－	－	－	－	－	7	7
決算特別委員会開催延べ日数	－	－	7	－	－	－	7
議会運営委員会開催日数	4	2	3	2	1	3	14

(2)　議会付議事件件数　　（単位：件）

区　分		令和7年第3回定例会（6月）	令和7年第4回臨時会（7月）	令和7年第5回定例会（9月）	令和7年第6回定例会（12月）	令和8年第1回定例会（1月）	令和8年第2回定例会（3月）	合計
市長提出	条　例	5	−	7	10	3	22	47
	予算決算	3	−	15	8	4	15	45
	人　事	22	−	2	1	−	7	32
	報　告	10	−	4	2	1	2	19
	その他	13	−	3	8	−	6	30
議員提出	条例規則	−	−	1	−	−	−	1
	意見書	−	−	1	1	−	1	3
	決　議	1	−	3	2	−	−	6
	その他	−	−	2	−	−	2	4
議会人事等		2	1	−	−	−	−	3
請願・陳情		1	−	1	−	−	−	2
計		57	1	39	32	8	55	192

(3)　議案等処理状況

ア　令和7年第3回定例会

・開会　6月6日

・閉会　6月25日

番　号	件　名	提出者	提出月日	議決月日	結　果
報告第3号	専決処分事項の報告について（和解・損害賠償の額の決定）	市　長	6月6日	6月13日	報告聴取
報告第4号	令和6年度栃木市一般会計継続費繰越計算書	市　長	6月6日	6月13日	報告聴取
報告第5号	令和6年度栃木市一般会計繰越明許費繰越計算書	市　長	6月6日	6月13日	報告聴取
報告第6号	令和6年度栃木市平川産業団地特別会計繰越明許費繰越計算書	市　長	6月6日	6月13日	報告聴取
報告第7号	令和6年度栃木市水道事業会計継続費繰越計算書	市　長	6月6日	6月13日	報告聴取
報告第8号	令和6年度栃木市水道事業会計予算繰越計算書	市　長	6月6日	6月13日	報告聴取
報告第9号	令和6年度栃木市下水道事業会計予算繰越計算書	市　長	6月6日	6月13日	報告聴取
報告第10号	令和6年度栃木市一般会計事故繰越し繰越計算書	市　長	6月6日	6月13日	報告聴取

報告第11号	放棄した債権の報告について	市　長	6月6日	6月13日	報告聴取
報告第12号	一般財団法人栃木市農業公社の令和7年度事業計画書の提出について	市　長	6月6日	6月13日	報告聴取
議案第75号	市長の専決処分事項の承認について（栃木市税条例の一部を改正する条例の制定）	市　長	6月6日	6月25日	原案承認
議案第76号	市長の専決処分事項の承認について（栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定）	市　長	6月6日	6月25日	原案承認
議案第77号	市長の専決処分事項の承認について（栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定）	市　長	6月6日	6月25日	原案承認
議案第78号	令和7年度栃木市一般会計補正予算（第1号）	市　長	6月6日	6月25日	原案可決
議案第79号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	市　長	6月6日	6月25日	原案可決
議案第80号	工事請負契約の締結について（（仮称）栃木東地域学校給食センター新築工事）	市　長	6月6日	6月25日	原案可決
議案第81号	工事請負契約の締結について（（仮称）栃木東地域学校給食センター新築電気設備工事）	市　長	6月6日	6月25日	原案可決
議案第82号	工事請負契約の締結について（（仮称）栃木東地域学校給食センター新築機械設備工事）	市　長	6月6日	6月25日	原案可決
議案第83号	工事請負契約の変更について（東郷堀川調節池整備工事）	市　長	6月6日	6月25日	原案可決
議案第84号	財産の取得について（公共施設（栃木市藤岡総合体育館及び栃木市藤岡弓道場）ＬＥＤ照明器具）	市　長	6月6日	6月25日	原案可決
議案第85号	財産の取得について（公共施設（栃木市栃木保健福祉センター外3施設）ＬＥＤ照明器具）	市　長	6月6日	6月25日	原案可決
議案第86号	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	市　長	6月6日	6月25日	原案可決
議案	財産の取得について（水槽付消防ポ	市　長	6月6日	6月25日	原案可決

第 87 号	ンプ自動車）				
議　案 第 88 号	財産の取得について（高規格救急自動車）	市　長	6 月 6 日	6 月 25 日	原案可決
議　案 第 89 号	財産の取得について（小学校児童用タブレット端末）	市　長	6 月 6 日	6 月 25 日	原案可決
議　案 第 90 号	財産の取得について（中学校生徒用タブレット端末）	市　長	6 月 6 日	6 月 25 日	原案可決
議　案 第 91 号	土地改良事業の施行について（弁天下溜地区）	市　長	6 月 6 日	6 月 25 日	原案可決
議　案 第 92 号	土地改良事業の施行について（大柿西溜地区）	市　長	6 月 6 日	6 月 25 日	原案可決
議　案 第 93 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （船田　圭子）
議　案 第 94 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （石塚　一彦）
議　案 第 95 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （早乙女　とみ）
議　案 第 96 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （野尻　真悟）
議　案 第 97 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （若色　昭松）
議　案 第 98 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （大谷　朗）
議　案 第 99 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （田中　健一）
議　案 第 100 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （大塚　幸八）
議　案 第 101 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （渡邉　昭男）
議　案 第 102 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （田谷　安久）
議　案 第 103 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （生澤　良一）
議　案 第 104 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （鈴木　美智子）
議　案 第 105 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （田中　徹）
議　案 第 106 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6 月 6 日	6 月 6 日	同　意 （小林　真理子）

議　案 第107号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6月6日	6月6日	同　意 (中田　秀雄)
議　案 第108号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6月6日	6月6日	同　意 (五十畑　節子)
議　案 第109号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6月6日	6月6日	同　意 (青木　則夫)
議　案 第110議	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6月6日	6月6日	同　意 (巻島　陽一)
議　案 第111号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6月6日	6月6日	同　意 (糸井　世志江)
議　案 第112号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6月6日	6月6日	同　意 (毛塚　登)
議　案 第113号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6月6日	6月6日	同　意 (泉田　裕美)
議　案 第114号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	6月6日	6月6日	同　意 (縫村　啓子)
議　案 第115号	令和7年度栃木市一般会計補正予算（第2号）	市　長	6月11日	6月25日	原案可決
議　案 第116号	栃木市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	6月11日	6月25日	原案可決
議　案 第117号	令和7年度栃木市一般会計補正予算（第3号）	市　長	6月25日	6月25日	原案可決
陳　情 第　1　号	都賀幼稚園の虐待及び不適切な保育について第三者委員会の設置等を求める陳情書	都賀幼稚園の被害者を救う会 代表 大塚友義	3月3日	6月25日	採　択
決議案 第　2　号	古沢ちい子議員に対する問責決議	議　員	6月25日	6月25日	原案可決
	副議長辞職の許可		6月6日	(6月6日)	許　可
	副議長の選挙		6月6日	(6月6日)	古沢ちい子 当選

イ　令和7年第4回臨時会

・開会　7月24日

・閉会　7月24日

番　　号	件　　名	提出者	提出月日	議決月日	結　　果
	副議長の選挙		7月24日	(7月24日)	大谷 好一 当選

ウ　令和7年第5回定例会

・開会　8月29日

・閉会　9月29日

番　　号	件　　名	提出者	提出月日	議決月日	結　　果
報　　告 第 13 号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市　長	8月29日	(9月5日)	報告聴取
報　　告 第 14 号	令和6年度栃木市継続費精算報告書	市　長	8月29日	(9月5日)	報告聴取
報　　告 第 15 号	令和6年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	市　長	8月29日	(9月5日)	報告聴取
報　　告 第 16 号	一般財団法人栃木市農業公社の令和6年度事業状況報告書の提出について	市　長	8月29日	(9月5日)	報告聴取
議　　案 第 118 号	令和7年度栃木市一般会計補正予算（第4号）	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　　案 第 119 号	令和7年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　　案 第 120 号	令和7年度栃木市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　　案 第 121 号	令和7年度栃木市栃木インター西産業団地特別会計補正予算（第1号）	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　　案 第 122 号	令和7年度栃木市平川産業団地特別会計補正予算（第1号）	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　　案 第 123 号	令和7年度栃木市下水道事業会計補正予算（第1号）	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　　案 第 124 号	栃木市皆川中学校及び寺尾中学校の廃校後の校舎等利用事業者審査委員会条例の制定について	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　　案 第 125 号	栃木市行政手続における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	8月29日	9月29日	原案可決

議　案 第126号	栃木市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　案 第127号	栃木市税条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　案 第128号	栃木市障がい福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び栃木市指定障がい福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　案 第129号	栃木市文化会館条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　案 第130号	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　案 第131号	字の廃止並びに町及び字の区域の変更について	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　案 第132号	令和6年度栃木市水道事業会計剰余金の処分について	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　案 第133号	令和6年度栃木市下水道事業会計剰余金の処分について	市　長	8月29日	9月29日	原案可決
議　案 第134号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	8月29日	8月29日	同　意 (黒川　弘照)
議　案 第135号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	8月29日	8月29日	同　意 (臼井　恭子)
認　定 第　1　号	令和6年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について	市　長	8月29日	9月29日	認　　定
認　定 第　2　号	令和6年度栃木市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	8月29日	9月29日	認　　定
認　定 第　3　号	令和6年度栃木市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	8月29日	9月29日	認　　定
認　定 第　4　号	令和6年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	市　長	8月29日	9月29日	認　　定

認定第5号	令和6年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算の認定について	市　長	8月29日	9月29日	認　定
認定第6号	令和6年度栃木市栃木インター西産業団地特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	8月29日	9月29日	認　定
認定第7号	令和6年度栃木市平川産業団地特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	8月29日	9月29日	認　定
認定第8号	令和6年度栃木市水道事業会計決算の認定について	市　長	8月29日	9月29日	認　定
認定第9号	令和6年度栃木市下水道事業会計決算の認定について	市　長	8月29日	9月29日	認　定
陳情第2号	国に介護保険の崩壊的状況の改善を至急求める意見書の提出を求める陳情	栃木市特別養護老人ホーム養護老人ホーム連絡協議会 会長 藤田正人 栃木市在宅介護サービス事業所連絡会 会長 橋本渡進 一般社団法人栃木市地域包括ケア推進ネットワークあったかネットとちぎ 会長 佐々木剛	9月5日	9月29日	採　択

意見書案第1号	介護保険の崩壊的状況の改善を至急求める意見書	議　員	9月29日	9月29日	原案可決
議案第2号	栃木市議会政治倫理条例の一部を改正する条例の制定について	議　員	9月29日	9月29日	原案可決
決議案第3号	学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金に関する調査特別委員会の調査費用の追加についての決議	議　員	9月29日	9月29日	原案可決
決議案第4号	広瀬義明議員に対する問責決議	議　員	9月29日	9月29日	原案可決
決議案第5号	監査請求に関する決議	議　員	9月29日	9月29日	原案可決
	決算特別委員会の設置について	議　長	8月29日	8月29日	可　決
	学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金に関する調査特別委員会の設置を求める動議	議　員	9月5日	9月5日	可　決

エ　令和7年第6回臨時会

・開会　11月28日

・閉会　12月17日

番号	件名	提出者	提出月日	議決月日	結果
報告第17号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市　長	11月28日	(12月5日)	報告聴取
議案第136号	令和7年度栃木市一般会計補正予算（第5号）	市　長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第137号	令和7年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	市　長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第138号	令和7年度栃木市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	市　長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第139号	令和7年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）	市　長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第140号	令和7年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第1号）	市　長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第141号	令和7年度栃木市栃木インター西産業団地特別会計補正予算（第2号）	市　長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第142号	令和7年度栃木市平川産業団地特別会計補正予算（第2号）	市　長	11月28日	12月17日	原案可決

議案第143号	令和7年度栃木市水道事業会計補正予算（第1号）	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第144号	栃木市教職員人材育成・確保基金条例の制定について	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第145号	栃木市文化財等収蔵庫条例の制定について	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第146号	栃木市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第147号	栃木市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第148号	栃木市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第149号	栃木市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第150号	栃木市立小中学校施設の開放に関する使用料条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第151号	栃木市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第152号	栃木市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第153号	栃木県市町村総合事務組合規約の変更について	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第154号	工事請負契約の締結について（清水川第1調節池整備工事）	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第155号	工事請負契約の変更について（平井川第2調節池整備工事）	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第156号	訴えの提起について	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第157号	指定管理者の指定について（栃木地区急患センター）	市長	11月28日	12月17日	原案可決
議案第158号	指定管理者の指定について（栃木市岩舟健康福祉センター）	市長	11月28日	12月17日	原案可決

議　案 第 159 号	指定管理者の指定について（栃木市大平まちづくり交流センター）	市　長	11 月 28 日	12 月 17 日	原案可決
議　案 第 160 号	指定管理者の指定について （栃木市勤労青少年ホーム及び栃木市勤労者体育センター）	市　長	11 月 28 日	12 月 17 日	原案可決
議　案 第 161 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	11 月 28 日	11 月 28 日	同　意 （渡辺　憲子）
報　告 第 18 号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市　長	12 月 17 日	（12 月 17 日）	報告聴取
議　案 第 162 号	栃木市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	12 月 17 日	12 月 17 日	原案可決
意見書案 第　2　号	農業の再生と食料安全保障の確立に向けた実効性のある所得補償制度の実現を早期に求める意見書	議　員	12 月 17 日	12 月 17 日	原案可決
決議案 第　6　号	地方自治法第 100 条の 2 の規定に基づく専門的知見の活用に関する決議	議　員	12 月 17 日	12 月 17 日	原案可決
決議案 第　7　号	福富善明議員に対する問責決議	議　員	12 月 17 日	12 月 17 日	原案可決

オ　令和 8 年第 1 回臨時会

・開会　1 月 26 日

・閉会　1 月 26 日

番　号	件　名	提出者	提出月日	議決月日	結　果
報　告 第　1　号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市　長	1 月 26 日	（1 月 26 日）	報告聴取
議　案 第　1　号	市長の専決処分事項の承認について（令和 7 年度栃木市一般会計補正予算（第 6 号））	市　長	1 月 26 日	1 月 26 日	原案承認
議　案 第　2　号	令和 7 年度栃木市一般会計補正予算（第 7 号）	市　長	1 月 26 日	1 月 26 日	原案可決
議　案 第　3　号	令和 7 年度栃木市水道事業会計補正予算（第 2 号）	市　長	1 月 26 日	1 月 26 日	原案可決
議　案 第　4　号	令和 7 年度栃木市下水道事業会計補正予算（第 2 号）	市　長	1 月 26 日	1 月 26 日	原案可決
議　案 第　5　号	栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	1 月 26 日	1 月 26 日	原案可決

議　案 第　6　号	栃木市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	1月 26 日	1月 26 日	原案可決
議　案 第　7　号	栃木市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	1月 26 日	1月 26 日	原案可決

カ　令和8年第2回定例会

・開会　2月 20 日

・閉会　3月 24 日

番　　号	件　　名	提出者	提出月日	議決月日	結　　果
報　　告 第　2　号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市　長	2月 20 日	（2月 27 日）	報告聴取
議　　案 第　8　号	令和8年度栃木市一般会計予算	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決
議　　案 第　9　号	令和8年度栃木市国民健康保険特別会計予算	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決
議　　案 第 10 号	令和8年度栃木市後期高齢者医療特別会計予算	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決
議　　案 第 11 号	令和8年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決
議　　案 第 12 号	令和8年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決
議　　案 第 13 号	令和8年度栃木市栃木インター西産業団地特別会計予算	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決
議　　案 第 14 号	令和8年度栃木市平川産業団地特別会計予算	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決
議　　案 第 15 号	令和8年度栃木市水道事業会計予算	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決
議　　案 第 16 号	令和8年度栃木市下水道事業会計予算	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決
議　　案 第 17 号	令和7年度栃木市一般会計補正予算（第8号）	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決
議　　案 第 18 号	令和7年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決
議　　案 第 19 号	令和7年度栃木市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	市　長	2月 20 日	3月 24 日	原案可決

議案第20号	令和7年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第21号	令和7年度栃木市栃木インター西産業団地特別会計補正予算（第3号）	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第22号	令和7年度栃木市平川産業団地特別会計補正予算（第3号）	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第23号	栃木市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第24号	栃木市再生可能エネルギー普及促進基金条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第25号	栃木市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第26号	栃木市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第27号	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び栃木市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第28号	栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第29号	栃木市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第30号	栃木市議員報酬及び特別職給料審議会条例及び栃木市皆川中学校及び寺尾中学校の廃校後の校舎等利用事業者審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第31号	栃木市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	市　長	2月20日	3月24日	原案可決

議案第32号	栃木市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第33号	栃木市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第34号	栃木市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第35号	栃木市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第36号	栃木市遺児手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第37号	栃木市赤ちゃん誕生祝金条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第38号	栃木市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第39号	栃木市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第40号	栃木市公園有料公園施設に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第41号	栃木市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第42号	栃木市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第43号	栃木市農業集落排水処理施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第44号	栃木市火災予防条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月20日	2月20日	原案可決
議案第45号	栃木市定住自立圏形成方針の変更について	市長	2月20日	3月24日	原案可決
議案第46号	工事請負契約の締結について（今泉泉川線跨線橋下部（Ａ１）工事）	市長	2月20日	3月24日	原案可決

議案 第47号	市道路線の認定について	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案 第48号	市道路線の廃止及び変更について	市　長	2月20日	3月24日	原案可決
議案 第49号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	2月20日	2月20日	同　意 (上野　耕史)
議案 第50号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	市　長	2月20日	2月20日	同　意 (佐山　隆)
議案 第51号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	市　長	2月20日	2月20日	同　意 (髙岩　初枝)
議案 第52号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	市　長	2月20日	2月20日	同　意 (増子　孝徳)
議案 第53号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	市　長	2月20日	2月20日	同　意 (福地　武司)
議案 第54号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	市　長	2月20日	2月20日	同　意 (三柴　茂)
議案 第55号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	2月20日	2月20日	同　意 (関口 茂一郎)
報告 第3号	専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定)	市　長	3月24日	(3月24日)	報告聴取
議案 第56号	工事請負契約の締結について((仮称)栃木市消防署北部分署庁舎新築工事)	市　長	3月24日	3月24日	原案可決
議案 第57号	工事請負契約の締結について((仮称)栃木市消防署北部分署庁舎新築電気設備工事)	市　長	3月24日	3月24日	原案可決
	予算特別委員会の設置について	議　長	2月20日	2月20日	可　決
委員会提出議案 第1号	不出頭に対する告発について	議　員	2月20日	2月20日	可　決
議員提出議案 第1号	非核三原則を堅持し、核兵器禁止条約への署名、批准を求める意見書	議　員	3月24日	3月24日	否　決
	学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金に関する調査について	議　員	3月24日	3月24日	原案可決
	学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金に関する調査を終了することについて	議　長	3月24日	3月24日	原案可決

(4)　請願、陳情等受付状況

1件

(5)　その他の会議

区　　分		開催回数（回）	
議会運営委員会（議会基本条例検証等）		5	
常任委員会（定例会付託案件を除く）		14	
議員全員協議会		8	
各会派代表者会議		19	
議会広報委員会		9	
議会報告会運営委員会		7	
議会改革検討委員会		2	
議員定数及び議員報酬検討委員会		3	
議員研究会		18	
学校法人陽光学園ひまわり学童クラブ補助金に関する調査特別委員会		26	
常任委員研究会	総務	3	計 11
	民生	7	
	産業教育	－	
	建設	1	
議会報告会意見交換会	議会報告会	書面や動画等により開催	
	意見交換会	2	
議員研修会		1	

3　広報紙発行状況

とちぎ市議会だより

・規　　格　　A4版　艶消しコート紙

・体　　裁　　表紙写真カラー刷、活字及びその他の写真2色刷

4段切（1段30行詰め）

号　数	発行日	ページ数	発行部数（部）
第 65 号	5月20日（火）	16	51,600
第 66 号	8月20日（水）	16	51,600
第 67 号	11月20日（木）	20	51,600
第 68 号	2月20日（金）	16	51,600

4　調査

(1)　常任委員会視察

先進都市視察は、会議等の他の議会活動の都合により実施を見送ることとした。

(2)　議会運営委員会視察

先進都市視察は、会議等の他の議会活動の都合により実施を見送ることとした。

(3)　議会広報委員会視察

先進都市視察は、会議等の他の議会活動の都合により実施を見送ることとした。

(4)　会派視察

市政の抱える重点課題等の調査研究のため会派を中心として、次のとおり先進都市を視察した。

調査期日	調査都市	参加議員
7月 3日(木) ～ 4日(金)	沖縄県豊見城市 沖縄県宜野湾市 沖縄県うるま市	福富善明　川田俊介　市村　隆 森戸雅孝　大阿久岩人

(5)　その他

各種施策推進の参考とするため、次のとおり現地視察を行った。

調査期日	参加議員（人）	調査事項
10月 2日(木)	20人	一級河川巴波川地下捷水路本体建設工事について

5　庶務

(1)　行政視察の受入れ

期　日	自治体名等	人員(人)	視　察　項　目
5月13日（火）	長野県東御市	8	空き家対策と定住促進の連携について
5月14日（水）	岩手県一関市	7	空き家対策事業について
5月20日（火）	栃木県野木町	1	空き家対策・移住定住支援について
5月26日（月）	石川県金沢市	1	産後ケア事業について
7月 1日（火）	静岡県牧之原市	7	空き家対策事業、移住・定住施策事業について
7月 9日（水）	三重県伊勢市	6	食とスポーツによる地域活性化及び観光振興計画について
7月30日（水）	愛知県豊川市	6	空き家対策事業について
7月30日（水）	愛知県豊川市	8	障害者地域生活支援拠点等整備推進モデル事業について
10月 7日（火）	香川県丸亀市	2	官民連携によるまちづくりについて
10月 8日（水）	岐阜県中津川市	6	移住定住・二地域居住について

10月 8日（水）	埼玉県坂戸市 埼玉県鶴ヶ島市	5 3	栃木市フードバレー構想について
10月16日（木）	長崎県諫早市	9	議会報告会、高校生との意見交換会について
10月23日（木）	岐阜県羽島市	6	歴史的街並み、伝統的建造物の保全・活用について
10月24日（金）	栃木県那須塩原市	8	空き家対策について
10月28日（火）	滋賀県栗東市	7	とちぎクリーンプラザについて
10月30日（木）	島根県松江市	8	地域予算提案制度について
11月 5日（水）	福岡県久留米市	9	あったか住まいるバンクについて
11月 6日（木）	宮城県村田町	12	歴史的資源をいかしたまちづくりについて
11月 7日（金）	静岡県沼津市	9	空き家対策について
11月13日（木）	広島県 町議会議長会	9	栃木市フードバレー構想について 空き家対策と移住定住について あったか住まいるバンクについて
11月18日（火）	山形県南陽市	5	蔵の街を活かしたまちづくりについて 喜多川歌麿を活かしたまちづくり
1月14日（水）	熊本県荒尾市	3	「あったか住まいるバンク」をはじめとした空き家対策について

(2) 文書件数調　　（単位：件）

収受	発送	合計
242	38	280

(3) その他

・新春賀詞交歓会　1月6日（火）

第１１章　上下水道局

第１節　上下水道総務課（公営企業事務部局）

〔総括概要〕

水道事業においては、安全・安心で信頼される水道水の安定供給かつ公平性が求められており、事業全般にわたる経営の合理化に努めている。

料金徴収業務については、下水道使用料等も併せて徴収しており、メーター検針や料金収納、問合せ対応等の業務を民間事業者に委託して、窓口や現場、土日祝日等における休開栓への迅速・丁寧な対応など、お客様サービスの向上と経営の効率化を図っている。また、年間を通じた未納者に対する督促状及び催告書の送付、給水停止の執行、納付指導等を行い、収納率の向上に努めた。

給水状況は、給水戸数64,126戸、給水人口141,371人となり、行政区域内人口（151,170人）に対する普及率は93.5％となった。また、年間有収水量は15,921,196㎥となった。

下水道事業においては、快適で衛生的な生活環境の実現と、公共用水域の水質保全を図るため、本市と壬生町を対象とした巴波川流域関連公共下水道事業及び本市を対象とした渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）関連公共下水道事業並びに大平地域、藤岡地域、西方地域の３地域６地区で農業集落排水事業を実施している。

事業実施に当たっては、面整備の推進と併せて水洗化率の向上を図るため、随時、未接続世帯に対し、検針時にチラシを投函することにより、下水道への接続を促すとともに、広報紙やホームページ等による情報提供の充実や、普及対策事業を実施した。現在の公共下水道の普及率は65.5％、水洗化率は97.5％、農業集落排水の水洗化率は78.7％である。

経理事務については、地方公営企業法に則り適正に会計処理を行った。

経営係

1　水道普及状況

行政区域内人口(人)	給水人口(人)	給水戸数(戸)	普及率(%)
151,170	141,371	64,126	93.5

2　給水状況

(1)　年間配水量　　(単位:㎥)

有効水量			無効水量	配水量
有収水量	無収水量	計		
15,921,196	1,041,551	16,962,747	7,080,542	24,043,289

(2)　口径別給水状況

口径	令和8年3月31日現在(戸)	令和7年3月31日現在(戸)	増減(戸)	有収水量(㎥)	利用率(%)
13mm	42,879	42,916	△37	7,678,422	48.23
20mm	19,677	19,278	399	4,635,385	29.11
25mm	850	855	△5	482,008	3.03
30mm	202	203	△1	315,006	1.98
40mm	303	298	5	674,771	4.24
50mm	159	159	－	878,017	5.51
75mm	51	51	－	606,820	3.81
100mm	4	4	－	10,771	0.07
200mm	1	1	－	639,996	4.02
合計	64,126	63,765	361	15,921,196	100.00

3　上下水道事業調査委員会

上下水道事業の運営方針について意見をいただくため、上下水道事業調査委員会を開催した。

・上下水道事業調査委員会委員　13名（1名欠員）

・開催回数　2回

4　流域下水道事業

本市と壬生町を対象とした巴波川流域下水道事業及び本市を対象とした渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道事業は、栃木県が事業主体となり、建設及び維持管理を行っている。

(1)　流域下水道の建設事業

ア　巴波川流域下水道建設事業費

巴波川流域下水道建設事業費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　　133,395,296円

イ　渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道建設事業費

渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道建設事業費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　　26,188,033円

(2)　流域下水道の維持管理事業

ア　巴波川流域下水道維持管理費

巴波川流域下水道維持管理費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　　670,532,046円

イ　渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道維持管理費

渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道維持管理費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　　488,380,800円

5　流域下水道促進協議会関係

流域下水道事業の推進を図るため、壬生町と協議会を設置し、巴波川流域下水道フェスティバルを開催した。協議会負担金を次のとおり支出した。

・巴波川流域下水道事業本市負担金　　152,000円

6　上下水道ＰＲ事業

上下水道事業に対する市民の理解を深めるため、以下のとおり広報活動を行った。

・上下水道事業についての情報を掲載した広報紙「Ｍｉｚ Ｕ」6号・7号の発行
・ホームページ・ＳＮＳを活用した情報発信
・ＦＭくらら「上下水道放送局」の放送　　6回
・栃木市総合防災訓練におけるパネル展示
・合格祈願マンホール缶バッチの配布　　240個

経理係

1　予算・決算

【水道事業】　（単位：円）

区　分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
当初予算	2,827,575,000	2,769,911,000	1,089,503,000	1,967,515,000
補正予算	37,752,000	－	－	－
繰越額	5,797,000	26,400,000	223,777,000	559,128,000
合　計	2,871,124,000	2,796,311,000	1,313,280,000	2,526,643,000
決算額	2,984,940,497	2,512,319,574	1,132,831,905	2,225,305,550

【下水道事業（公共下水道事業・農業集落排水事業）】　（単位：円）

区　分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
当初予算	4,248,923,000	4,170,165,000	1,311,628,000	2,673,340,000
補正予算	40,005,000	－	149,560,000	149,560,000
繰越額	－	－	630,030,500	634,578,999
合　計	4,288,928,000	4,170,165,000	2,091,218,500	3,457,478,999
決算額	4,234,846,110	3,986,317,774	1,801,668,899	2,935,114,324

2　企業債

【水道事業】

種　類	件　数（件）	当年度発行額（円）	当年度償還高（円）		年度末残高（円）
			元　金	利　息	
政府資金	65	－	218,409,171	22,506,465	1,109,551,092
機構資金	104	189,400,000	363,150,369	54,780,462	5,038,260,300

その他	5	610,800,000	－	6,563,417	1,183,100,000
計	174	800,200,000	581,559,540	83,850,344	7,330,911,392

【公共下水道事業】

種類	件数(件)	当年度発行額(円)	当年度償還高(円)		年度末残高(円)
			元金	利息	
政府資金	185	－	850,074,464	150,251,749	7,873,704,525
機構資金	148	877,300,000	399,818,955	48,815,129	8,186,939,538
その他	20	77,200,000	173,893,319	28,413,585	1,663,057,010
計	353	954,500,000	1,423,786,738	227,480,463	17,723,701,073

【農業集落排水事業】

種類	件数(件)	当年度発行額(円)	当年度償還高(円)		年度末残高(円)
			元金	利息	
政府資金	18	－	114,845,051	27,118,445	1,238,413,557
機構資金	17	－	25,298,928	3,455,494	150,855,511
その他	－	－	－	－	－
計	35	－	140,143,979	30,573,939	1,389,269,068

料金係

1　水道料金収納状況　（現年度分）

調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	収納率(%)
383,140	2,566,909,496	2,495,940,620	1,566,593	97.2

2　使用料収納状況

(1)　下水道使用料

調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	収納率(%)
240,022	1,559,412,855	1,517,141,769	1,325,601	97.3

(2)　農業集落排水施設使用料

調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	収納率(%)
11,063	88,525,261	87,252,847	9,648	98.6

3　受益者負担金・分担金収納状況

(1)　下水道事業受益者負担金

調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	収納率(%)
618	38,846,424	31,698,124	1,050,200	81.6

(2)　農業集落排水事業受益者分担金

調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	収納率(%)
5	1,406,850	1,206,850	0	85.8

4　特別巡回徴収

受益者負担金の収納率の向上と市民意識の高揚を図るため、特別巡回徴収を実施した。

・実施期間　9月18日(木)～10月17日(金)

2月16日(月)～ 3月13日(金)

訪問件数（件）	徴収件数（件）	徴収金額（円）
82	32	455,110

5　公共下水道普及対策事業

下水道の利用促進を図るため、以下のとおり普及推進活動を実施した。

・広報とちぎ及びホームページによる広報

・Report Tochigiへの出演　　1回

・懸垂幕、のぼり旗及びポスターの掲示

・下水道への早期接続を呼びかけるチラシの配布

・パンフレット、マンホールカード等の啓発物品の配布

6　口座振替の推進

利用者にとって安心かつ便利な方法であるとともに、ペーパーレスによる事務の効率化等を図ることができる口座振替を推進するため、口座振替の新規登録者等に抽選で上下水道局オリジナルグッズをプレゼントするキャンペーンを実施し、利用者数の増加を図った。

・実施期間　令和8年1月から令和8年2月

・対象者数　438名

7　上下水道ポータルサイト

使用者が上下水道料金や使用水量をスマートフォンやパソコンから確認することができるポータルサイト「栃木市みずぽーたる」を令和7年2月から本格的に運用を開始した。本格運用開始に伴い、Report Tochigiへの出演や市ホームページへの掲載等の広報活動のほか、登録者に栃木市のデザインマンホール型コースターをプレゼントするキャンペーンを実施した。

・登録者数　762名（前年度から659名増）

第２節　水道建設課

〔総括概要〕

水道事業については、安全安心な水道水の安定的な供給が常に求められており、運営基盤の安定と強化を継続的に確保するため、水道施設や管路における整備更新及び耐震化事業並びに上水道整備事業などを実施した。建設改良事業として主なものは次のとおりである。

水道統合事業では、薗部浄水場紫外線照射装置設置工事を行った。

上水道整備事業では、未普及地域への管路布設工事のほか、平川土地区画整理事業等の公共事業に伴う配水管の布設及び布設替え工事を行った。

水道設備更新事業では、藤岡蛭沼浄水場非常用発電設備更新工事、藤岡第２水源取水ポンプ新設工事、岩舟静戸第１浄水場ろ過設備更新工事等を行った。

管路耐震化事業では、耐用年数を経過した塩化ビニル製の配水管を重点的に配水用ポリエチレン管等の耐震管へ布設替え工事を行った。

上記の建設改良事業以外の活動として、水質検査計画に基づいて水質基準項目及び水質管理目標設定項目等（PFOS,PFOA 含む）の検査を定期的に実施し、安全な水道水を供給した。また、漏水量を減らして有収率の向上を図るための漏水調査については、令和６年度から市内全域を対象に「衛星画像を用いた漏水リスク評価」を導入し、その評価結果に基づき栃木、都賀、西方地域の一部において漏水調査を実施した。その他「配水量が増加傾向」にあった大平、都賀、西方地域の一部においても漏水調査を実施することにより漏水の早期発見、早期修繕に努めた。

水道施設の維持管理に関しては、水源、浄水場、配水場、増圧ポンプ場など各施設における運転状況等について日常点検及び定期点検を実施し、異常の早期発見を図ることで事故を未然に防ぐとともに、設備の故障や不具合に対して迅速に対処した。更に突発的に発生する給配水管の漏水事故や水道水の濁り等の苦情に対しても24時間体制で対処し、安全で安心な水道水の安定的な供給に努めた。

施設係

1　給水状況

(1)　月別配水量　　（単位：㎥）

	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
4月	907,173	397,054	138,750	204,457	90,096	225,931	1,963,461
5月	935,006	413,310	137,047	213,779	93,179	224,037	2,016,358
6月	930,738	402,357	134,240	209,949	95,001	217,135	1,989,420
7月	972,214	410,709	140,672	221,668	99,418	222,939	2,067,620
8月	960,827	401,556	140,966	218,851	99,829	218,832	2,040,861
9月	928,514	389,484	131,862	213,704	99,531	211,031	1,974,126
10月	930,464	404,354	136,683	222,336	101,544	218,095	2,013,476

11 月	898,521	392,187	135,721	214,415	101,573	216,376	1,958,793
12 月	927,998	407,544	143,578	226,150	105,412	231,460	2,042,142
1 月	942,068	410,747	144,177	233,351	103,383	235,532	2,069,258
2 月	865,296	374,164	129,941	200,789	91,447	214,905	1,876,180
3 月	944,672	404,718	141,105	213,407	100,118	219,330	2,031,594
計	11,143,491	4,808,184	1,654,742	2,592,856	1,180,531	2,578,818	24,043,289

(2) 水質検査

区分	検査項目	検査箇所	頻度
浄水	水質検査項目（51 項目）	浄水場 18 箇所 端末給水栓等 24 箇所	検査項目により毎月、年 4 回又は年 1 回
	水質管理目標設定項目 （26 項目）	浄水場 18 箇所 端末給水栓等 24 箇所	年 1 回
原水	水質検査項目（39 項目）	浄水場（着水井）6 箇所 水源 30 箇所	年 1 回
	水質管理目標設定項目 （農薬類）	浄水場（着水井）18 箇所	年 1 回
	クリプトスポリジウム指標菌	水源 53 箇所	毎月又は年 4 回

施設係　建設管理係

1 工事関係

(1) 建設改良工事関係（工事請負契約 300 万円を超えるもの）　（単位：円）

工事名	工事内容			工事費
片柳町 4 丁目地内 雨水渠幹線工事に伴う配水管布設替工事 （片柳町 4 丁目地内）	配水管布設工 仮設管布設工 消火栓設置工	HPPEφ100 PPφ50～20 地下式単口	L=5.0m 53.4m 1 基	3,454,000
薗部町 4 丁目地内 下水道工事に伴う配水管布設替工事 （薗部町 4 丁目地内）	配水管布設工 配水管布設工 仮設管布設工 消火栓設置工 給水管取出し工	HPPEφ100 HPPEφ75 PPφ50～20 地下式単口 φ50～20	L=146.8m L=0.9m L＝22.8m 1 基 8 箇所	11,792,000
市道 12193 号線外 配水管布設工事 （大宮町地内）	配水管布設工 配水管布設工 給水管取出し工	HPPEφ75 HPPEφ50 φ40～20	L=146.1m L=357.8m 7 箇所	25,311,000
市道 2060 号線 舗装復旧工事 （大宮町地内）	舗装打換え工　舗装版切削 アスファルト舗装工（表層）		A=2745 ㎡ A=2752 ㎡	20,097,000

市道 13472 号線外 下水道工事に伴う配水管布設替工事 （平柳 3 丁目地内）	配水管布設工　HPPEφ75　L=124.1m 給水管取出工　PPφ20　2 箇所	9,823,000
市道 14247 号線 配水管布設工事 （大皆川町地内）	配水管布設工　HPPEφ75　L=302.3m 給水管取出工　PPφ20　6 箇所 排泥管布設工　SGP-VDφ50　1 箇所	13,838,000
市道 2017 号線 舗装復旧工事 （大久保町地内外）	舗装打換え工　舗装版破砕　A=490 ㎡ 不陸整正工　A=490 ㎡ アスファルト舗装工（表層）　A=490 ㎡	3,971,000
市道 1024 号線外 舗装復旧工事 （川原田町地内）	舗装打換え工　舗装版破砕　A=434 ㎡ 不陸整正工　A=434 ㎡ アスファルト舗装工（上層路盤）A=27 ㎡ アスファルト舗装工（基層）　A=27 ㎡ アスファルト舗装工（表層）　A=433 ㎡	4,741,000
市道 14247 号線 舗装復旧工事 （大皆川町地内）	舗装打換え工　舗装版破砕　A=504.6 ㎡ アスファルト舗装工（表層）A=504.6 ㎡	3,586,000
市道 2031 号線外 配水管布設替工事 （木野地町地内外） 前年度繰越	配水管布設工　HPPEφ75　183.6m 配水管布設工　HPPEφ50　298.5m 排泥管布設工　PPφ25　3.1m 給水管取出し工　PPφ20　3 箇所	18,205,000
県道蛭沼川連線外 配水管布設工事 （大平町蔵井地内）	配水管布設工　HPPEφ100　L＝400.1m 配水管布設工　HPPEφ75　L＝23.0m 配水管布設工　HPPEφ50　L＝87.2m 排泥管設置工　SGP－VDφ30　1 箇所 給水管取出し工　φ20　9 箇所	32,406,000
市道 21166 号線外 下水道工事に伴う配水管布設替工事 （大平町真弓地内）	配水管布設工　HPPEφ100　69.9m 給水管取出工　PPφ50～20　7 箇所	7,865,000
市道 32114 号線外 配水管布設替工事 （藤岡町富吉地内）	配水管布設工　HPPEφ100　98.0m 消火栓設置工　地下式単口　1 基 給水管取出し工　PPφ50～20　4 箇所	8,140,000
市道 1077 号線 舗装復旧工事 （藤岡町藤岡地内）	舗装版破砕　A＝94 ㎡ 路面切削　A=303 ㎡ 不陸整正（補足材 RC40　t =3 ㎝）A=94 ㎡ 上層路盤(瀝青安定処理 t=7cm) A=94 ㎡ アスファルト舗装工（基層）　A=94 ㎡ アスファルト舗装工（表層）　A=303 ㎡	4,763,000

市道 42152 号線外 配水管布設替工事 （都賀町木地内）	配水管布設工　HPPEφ50　L=331.8m 給水管取出し工　PPφ30～φ20　7 箇所	18,810,000
県道宇都宮亀和田栃木線 仮設管布設工事 （都賀町平川地内）	仮設管布設工　PPφ50　L=81.6m 給水管取出し工　PPφ20　4 箇所	9,042,000
川向橋水管橋 塗装修繕工事 （都賀町大橋地内） 前年度繰越	河川土工　A=456 ㎡ 水管橋塗装修繕工　1 式 リングサポート補修工　4 箇所 仮設足場工　1 式	44,231,000
市道 1004 号線外 配水管布設替工事 （西方町真名子地内）	配水管布設工　HPPEφ75　L=244.2m 空気弁設置工　不凍急排型φ25　1 基 給水管取出し工　PPφ30～20　9 箇所	14,938,000
市道 2091 号線外 配水管布設替工事 （岩舟町五十畑地内）	配水管布設工　HPPEφ100　L=301.5m 消火栓設置工　地下式単口　1 基 給水管取出し工　φ20～40　17 箇所	22,286,000
市道 61262 号線外 配水管布設替工事 （岩舟町静地内）	配水管布設工　HPPEφ75　L=129.8m 配水管布設工　HPPEφ50　L=31.5m 給水管取出し工　φ20～25　12 箇所	11,264,000
市道 61140 号線外 配水管布設替工事 （岩舟町静和地内）	配水管布設工　HPPEφ75　L=115.6m 配水管布設工　HPPEφ50　11.3m 消火栓設置工　地下式単式　1 基 給水管取り出し工　PPφ20　4 箇所	10,285,000
県道和泉間々田線外 配水管布設替工事 （岩舟町静和地内） 前年度繰越	配水管布設工　HPPEφ150　41.7m 消火栓設置工　地下式単口　1 基 給水管取出し工　PPφ50～20　3 箇所	10,835,000
市道 1033 号線外 交通安全施設整備に伴う 配水管布設替工事 （大宮町地内）	配水管布設工　HPPEφ150　188.3m 配水管布設工　HPPEφ75　6.7m 配水管布設工　HPPEφ50　5.6m 消火栓設置工　地下式単口　1 基 給水管取出し工　PPφ30～20　7 箇所	24,629,000
薗部浄水場 紫外線照射施設新設工事 （薗部町 3 丁目） 前年度継続	土木工事　1 式 建築工事　1 式 機械設備工事　1 式 電気設備工事　1 式	472,989,000
西方浄水場 電気設備更新工事 （西方町本城） 前年度繰越	電気設備工事　1 式 機械設備工事　1 式	263,329,000

岩舟第３水源 取水流量計更新工事 （大平町伯仲） 前年度繰越	取水流量計　1組	5,390,000
都賀第４水源 取水ポンプ更新工事 （都賀町家中）	取水ポンプ　1台	10,450,000
藤岡第２水源 取水ポンプ新設工事 （藤岡町藤岡）	機械設備工事　1式 電気設備工事　1式	99,110,000
藤岡蛭沼浄水場 非常用発電設備更新工事 （藤岡町蛭沼）	非常用発電設備　1式 オープン型ディーゼル 200V 50Hz 250kVA	85,118,000
藤岡蛭沼浄水場 3号ろ過ポンプ更新工事 （藤岡町蛭沼）	ろ過ポンプ　1台	4,840,000
岩舟静戸第１浄水場 ろ過設備更新工事 （岩舟町静戸）	電気設備工事　1式 機械設備工事　1式	265,298,000
岩舟第６水源 取水ポンプ更新工事 （大平町伯仲）	取水ポンプ　1台	11,550,000
岩舟第１水源 取水ポンプ設備更新工事 （大平町伯仲）	取水ポンプ　1台 取水井水位計　1組 取水流量計　1組	19,250,000
岩舟静戸第２浄水場 No.3急速ろ過機ろ材更新工事 （岩舟町静戸）	ろ材更新工　1式 含気泡多孔性硬質ろ材　積高 H1600mm 7,238L 支持床石　積高 H500mm　2,261L ろ過機内外面塗装 試運転調整　外	31,647,000

(2)　漏水修理等件数　（単位：件）

	配水管	給水管	合計
栃木	3	562	565
大平	4	183	187
藤岡	3	63	66
都賀	1	165	166
西方	2	82	84
岩舟	11	136	147

合　計	24	1,191	1,215

※給水管には止水栓交換も含む。

給水係

1　給水装置工事件数　（単位：件）

	新　設	改　造	修　繕	撤　去	合　計
栃　木	279	280	－	50	609
大　平	40	114	－	12	166
藤　岡	8	33	－	3	44
都　賀	68	47	－	12	127
西　方	5	8	－	3	16
岩　舟	40	30	－	13	83
合　計	440	512	－	93	1,045

2　公道分岐工事箇所数　（単位：件）

	県　道	市　道	法定外	その他	合　計
栃　木	14	100	12	－	126
大　平	3	29	6	－	38
藤　岡	0	9	2	－	11
都　賀	3	22	3	－	28
西　方	1	6	0	－	7
岩　舟	3	29	5	－	37
合　計	24	195	28	－	247

第３節　下水道建設課

〔総括概要〕

下水道建設課の主な分掌事務は、生活排水処理施設整備のための調査及び計画、公共下水道汚水管渠及び雨水渠の整備、農業集落排水を含めた処理施設の適正な維持管理、排水設備や合併処理浄化槽設置者への指導監督及び助成などである。

公共下水道事業として、市民の快適で衛生的な生活環境の実現と、公共用水域の水質保全を図るための汚水管渠整備事業、市街地の雨水排除のための雨水渠整備事業を実施している。公共下水道の全体計画区域は、市街化区域を中心とした3,983.71ヘクタールであり、現在の事業計画区域は、汚水計画3,503.20ヘクタール、雨水計画334.0ヘクタールである。

汚水管渠整備事業は、本市及び壬生町を対象とした巴波川流域関連公共下水道事業並びに本市を対象とした渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）関連公共下水道事業を実施しており、本市全体での今年度末の整備状況は、整備面積2,961.84ヘクタール、整備率84.7％、普及率65.5％、水洗化率97.5％である。

主な整備区域は、栃木地域では倭町、新井町、泉川町、薗部町４丁目、片柳町２丁目、沼和田町、今泉町２丁目、平柳町３丁目であり、大平地域では大平町新、大平町真弓、都賀地域では都賀町家中、都賀町平川、都賀町升塚である。

雨水渠整備事業は、永野川左岸の102ヘクタールを整備区域とし、本年度の業務委託は水質調査業務、地質調査業務、実施設計業務等であり、工事は調整池整備工事、幹線ゲート整備工事、幹線整備工事を実施した。

農業集落排水事業は、大平地域、藤岡地域、西方地域の3地域6地区で汚水を処理するため実施しており、大平地域の下皆川地区は平成9年に計画策定し、平成14年に供用開始、みずほ西地区は平成12年に計画策定し、平成18年に供用開始した。藤岡地域の巴波川南部地区は平成13年に計画策定し、平成19年に供用開始、巴波川西部地区は平成16年に計画策定し、平成23年に供用開始した。西方地域の西方西部地区は平成元年に計画策定し、平成5年に供用開始、本郷金井地区は平成4年に計画策定し、平成9年に供用開始した。各排水処理施設において、適正な維持管理等を実施した。なお、農業集落排水全体の整備面積は351.72ヘクタール、水洗化率は78.7％となっている。

なお、公共下水道の事業計画区域外および農業集落排水事業の整備区域外の生活雑排水による河川等の水質汚濁を防止するため、専用住宅に合併処理浄化槽を設置する者に補助金を交付した。

また、雨水対策事業として宅地からの雨水流出の抑制、雨水の有効利用、地下水の涵養等のため、宅地内に雨水貯留・浸透施設の設置する者に補助金を交付した。

管理係

1　公共下水道の供用開始

・対象区域の告示　3月13日　栃木市企業管理告示第1号

・供用及び下水の処理を開始した日　3月31日

・供用及び下水の処理を開始した区域

巴波川流域 （巴波川処理区）	沼和田町、片柳町５丁目、薗部町２丁目、薗部町４丁目、箱森町、大宮町、平柳町２丁目、今泉町１丁目、泉川町、新井町、都賀町平川、都賀町家中の各一部
渡良瀬川下流流域 （大岩藤処理区）	大平町真弓、大平町西野田、藤岡町藤岡、藤岡町赤麻、岩舟町静の各一部

・処理区域面積及び処理人口

区　分	処　理　区	処理区域面積(ha)	人　口(人)
新規告示	巴波川処理区	2.79	152
	大岩藤処理区	2.16	84
既告示	巴波川処理区	1,882.04	65,256
	大岩藤処理区	1,074.85	33,567
合　計	巴波川処理区	1,884.83	65,408
	大岩藤処理区	1,077.01	33,651

2　公共下水道管理関係

(1)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)
下水道台帳システム更新業務委託	処理区域全域	下水道台帳システムデータ更新、台帳作成、排水設備台帳登録業務	5,720,000

3　合併処理浄化槽設置補助事業

河川、水路等の水質汚濁は、家庭からの生活雑排水が主な原因となっている。このため、公共用水域の水質浄化対策として、し尿と生活雑排水を併せて処理できる合併処理浄化槽の設置者、処理水の放流先が無いため、合併処理浄化槽設置と同時に処理水を敷地内で処理するための装置を設置する者及び建物の新築等を行わずに単独処理浄化槽を撤去して合併処理浄化槽へ転換を行った者に対して、補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、その普及を図った。

また、公共下水道の事業認可区域等において、補助金の交付を受けられず自費で合併処理浄化槽を設置してから5年経過しても、供用が開始されないために公共下水道等に接続できない者についても補助の対象とした。

・合併処理浄化槽設置補助金交付状況

区　分		基数(基)	１基当たりの上限額(円)	補助額(円)
合併処理浄化	5人槽	67	332,000	22,244,000

槽の設置	7人槽	43	414,000	17,802,000
	10人槽	4	548,000	2,192,000
	計	114	－	42,238,000
敷地内処理装置の設置		18	100,000	1,800,000
単独処理浄化槽の撤去		40	100,000	4,000,000
汲み取り便槽の撤去		6	100,000	600,000
宅内配管工事		51	300,000	15,300,000
合計		－	－	63,938,000

4　雨水貯留・浸透施設設置補助事業

雨水流出の抑制や地下水の涵養、雨水の有効利用や水循環改善を目的とし、栃木市内に専用住宅を所有又は賃借する者で、雨水貯留施設や雨水浸透施設を設置しようとする者に対し、補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、その普及を図った。

・雨水貯留・浸透施設設置補助金交付状況

区　　分	申請件数(件)	設置基数	補助額(円)
雨水浸透施設の設置	2	8	45,000

5　止水板設置等工事費補助事業

災害に強いまちづくりを推進するための総合的な浸水対策の一環として、自己の所有若しくは賃借する建物又はその敷地に止水板を設置する者に対し、補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、浸水被害の防止又は軽減を図った。

・止水板設置等工事費補助金交付状況

区　　分	申請件数(件)	補助額(円)
止水板設置等工事費	1	500,000

建設係

1　公共下水道汚水管渠整備状況

区　　分		地域	今年度施工分	今年度末累計
管渠延長(m)	幹　線	栃木	－	32,213.0
		大平	－	11,768.7
		藤岡	－	5,090.5
		都賀	－	3,063.5
		西方	－	2,743.2
		岩舟	－	14,769.2
	枝　線	栃木	2,633.8	338,917.9
		大平	281.7	105,444.8
		藤岡	－	69,558.6

		都賀	815.2	60,193.6
		西方	－	22,420.9
		岩舟	87.2	76,328.0
合　　計			3,817.9	742,511.9
マンホール数(箇所)		栃木	84	12,864
		大平	16	3,517
		藤岡	－	2,337
		都賀	26	2,021
		西方	－	788
		岩舟	5	2,929
合　　計			131	24,456
汚水桝数(箇所)		栃木	146	24,760
		大平	40	7,017
		藤岡	2	3,395
		都賀	23	2,915
		西方	2	1,054
		岩舟	20	4,355
合　　計			233	43,496
マンホールポンプ数(箇所)		栃木	2	19
		大平	－	11
		藤岡	1	25
		都賀	－	4
		西方	－	1
		岩舟	1	21
合　　計			4	81

※　開発行為等の民間の下水道工事をこの整備状況に含めるため、自費工事に伴う撤去工事も計上されることから、「－（マイナス）」表記となる。
（市に寄付されて、市の管理となるため。）

2　私道における公共下水道工事（汚水）　　（単位：件）

地　域	申請	工事	備　考
栃　木	2	2	
大　平	1	1	
藤　岡	－	－	
都　賀	－	－	
西　方	－	－	
岩　舟	－	－	
合　計	3	3	

3　公共下水道建設事業関係

(1)　汚水管渠築造工事

工事箇所	工事内容		金額(円)	備考
	延長(m)	管種・内径(mm)		
倭町地内 中部第3処理区分第1工区	201.0	VU　200	60,005,000	(前年度繰越) 管布設替
都賀町家中地内 都賀第2処理分区第1工区	18.1	VU　200	19,712,000	(前年度繰越) 推進工法
新井町地内 西部処理分区第1工区	515.0	VU　200	55,495,000	
新井町地内 西部処理分区第2工区	549.5	VU　200	50,633,000	
新井町地内 西部処理分区第3工区	375.2	VU　200	36,553,000	
泉川町地内 西部処理分区第4工区	72.2	VU　200	9,460,000	
薗部町4丁目地内 西部処理分区第5工区	30.6	VU　200	4,961,000	
沼和田町地内 西部処理分区第7工区	29.0	VU　150	3,366,000	
今泉町2丁目地内 東部処理分区第1工区	296.2	VU　150	34,309,000	
平柳町3丁目地内 平柳第2処理分区第1工区	83.3	VU　200	11,088,000	
大平町新地内 大平町第1処理分区第1工区	24.8	VU　150	3,168,000	
大平町真弓地内 大平町第2処理分区第2工区	139.5	VU　150	18,425,000	
都賀町平川地内 都賀第3処理分区第1工区	322.6	VU　200	31,900,000	
都賀町平川地内 都賀第3処理分区第2工区	170.7	VU　150	15,070,000	
都賀町升塚地内 都賀第3処理分区第3工区	73.9	VU　200	8,250,000	
合　計	2,901.6		362,395,000	

(2)　舗装本復旧工事

工事箇所	延長(m)	金額(円)	備考
平井町地内　一般県道太平山公園線	402.0	9,603,000	
平柳町1丁目地内　認定外道路	417.2	18,810,000	

平柳町2丁目地内　市道11038号線外	150.5	4,961,000	
城内町2丁目地内　市道11398号線	290.0	12,485,000	
大塚町地内　市道1025号線	408.0	12,650,000	
片柳町1丁目地内　認定外道路	65.7	1,683,000	
大平町富田地内　市道2084号線外	129.1	6,589,000	
大平町下皆川地内　市道21053号線外	464.7	16,819,000	
大平町下皆川地内　市道21056号線外	226.9	8,822,000	
大平町新地内　市道22084号線外	360.2	11,462,000	
藤岡町藤岡地内　市道33027号線	134.2	4,917,000	
藤岡町赤麻地内　主要地方道藤岡乙女線外	522.7	15,378,000	
西方町真名子地内　主要地方道栃木粟野線	136.9	9,273,000	
合　　計	3,708.1	133,452,000	

(3)　その他の工事

地域	公共汚水桝設置工事		付帯工事（前年度繰越含む）（舗装修繕、水道管切廻し工事等）	
	箇所数（件数）	金額（円）	件数	金額（円）
栃木	66　(66)	38,951,000	4	3,997,400
大平	32　(32)	19,360,000	2	2,563,000
藤岡	2　(2)	1,804,000	－	－
都賀	11　(11)	5,857,500	1	968,000
西方	1　(1)	305,800	－	－
岩舟	11　(11)	6,718,600	1	990,000
合計	123 (123)	72,996,900	8	8,518,400

(4)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額（円）	備考
公共下水道管布設替工事（中部第３処理分区第１工区）現場技術業務委託	倭町地内	現場技術　１式	1,386,000	前年繰越
公共下水道枝線築造工事（都賀第２処理分区第１工区）現場技術業務委託	都賀町家中地内	現場技術　１式	946,000	前年繰越
下水道管路施設調査業務委託	箱森町地内	管内調査　１式	1,870,000	
公共下水道管路施設調査設計業務委託（西部処理分区）	箱森町地内	施設調査　１式 接続設計　１式	2,860,000	

公共下水道測量業務委託（中部第三処理分区）	城内町２丁目地内	測量　　１式	858,000	
公共下水道測量業務委託（平柳第一処理分区）	大宮町地内	用地測量　１式	891,000	
公共下水道用地測量業務委託（平柳第二処理分区）	平柳町３丁目地内	用地測量　１式	484,000	
公共下水道実施設計業務委託（平柳第二処理分区）	平柳町３丁目地内	実施設計　１式	484,000	
公共下水道実施設計に伴う試掘調査業務委託（平柳第二処理分区）	平柳町３丁目地内	試掘調査　１式	121,000	
公共下水道実施設計に伴う試掘調査業務委託（都賀第３処理分区）	都賀町平川地内	試掘調査　１式	165,000	
公共下水道枝線築造工事（都賀第２処理分区第１工区）に伴う家屋調査業務委託	都賀町家中地内	家屋調査業務 １式	445,500	
公共下水道実施設計に伴う試掘調査業務委託（藤岡町第３処理分区）	藤岡町藤岡地内	試掘調査　１式	605,000	
公共下水道測量業務委託（藤岡町第３処理分区）	藤岡町藤岡地内	用地測量　１式	979,000	
公共下水道修正設計業務委託（中部第二処理分区）	日ノ出町地内	修正設計　１式	770,000	
合　　計			12,864,500	

(5)　物件等損失補償

区　　分	補償箇所	件数(件)	金額(円)
水道給・配水管仮設、移設補償	栃木地域ほか	5	25,200,000

4　公共下水道雨水渠整備状況　　（単位：m）

区　　分	地　域	今年度中施工分	今年度末累計
雨水幹線管渠	栃　木	161.5	894.0
	藤　岡	－	984.1
合　　計		161.5	1,878.1

5　公共下水道雨水事業

(1)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考
雨水渠水質調査業務委託(永野川左岸第1排水区)その2	片柳町4丁目地内	水文調査1式 水位調査1式	495,000	前年繰越
雨水渠予備設計業務委託(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	予備設計1式	18,150,000	前年繰越
雨水渠幹線ゲート整備工事(永野川左岸第1排水区)現場技術業務委託	片柳町4丁目地内	現場技術1式	1,694,000	前年繰越
雨水渠幹線整備工事(永野川左岸第1排水区)現場技術業務委託	片柳町4丁目地内	現場技術1式	1,683,000	前年繰越
雨水渠排水施設修正業務委託(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	詳細設計1式	473,000	
雨水渠水質調査業務委託(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	水分調査1式 水位調査1式	7,689,000	
雨水渠実施設計業務委託(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	実施設計1式	13,321,000	
雨水渠樋門撤去設計業務委託(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	詳細設計1式	3,630,000	
雨水渠排水構造物測量業務委託(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	構造物測量　1式	792,000	
雨水渠地質調査業務委託(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	地質調査1式	8,987,000	
雨水渠観測孔撤去業務委託(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	観測孔撤去　1式	319,000	

雨水渠事業地空撮業務委託(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	空撮業務 1式	242,000	
雨水渠擁壁設置工事(永野川左岸第1排水区)積算業務委託	片柳町4丁目地内	積算業務 1式	2,002,000	
雨水渠排水構造物設計業務委託(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	構造物設計 1式	957,000	
合　　計			60,434,000	

(2)　工事

工事名	工事箇所	工事内容	金額(円)	備考
雨水渠調整池整備工事(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	護岸工 543m2 池底工 2,951m2	91,036,000	前年繰越
雨水渠幹線ゲート整備工事(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	ポンプゲート本体工 22.6m	96,118,000	前年繰越
雨水渠幹線整備工事(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	場所打擁壁 62.1m、 ｶﾙﾊﾞｰﾄ工 62.3m	185,922,000	前年繰越
雨水渠調整池整備工事その2(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	護岸工 292m2 池底工 1,982m2	64,174,000	前年繰越
雨水渠幹線整備工事その2(永野川左岸第1排水区)	片柳町4丁目地内	L型水路 37.1m	38,687,000	前年繰越
雨水渠幹線整備に伴う仮設管切廻し工事	片柳町4丁目地内	仮設管切廻し 1式	385,000	
幹線ゲート整備に伴う付帯工事	片柳町4丁目地内	付帯工事 1式	561,000	
雨水渠幹線整備工事に伴う排水管移設工事	片柳町4丁目地内	排水管移設 1式	330,000	
合　　計			477,213,000	

(3)　事業用地管理業務

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考
雨水渠事業用地管理業務委託	片柳町４丁目地内外	除草等	2,497,000	

(4)　物件等損失補償

区　　分	補償箇所	件数(件)	金額(円)
水道給・配水管移設補償	片柳町4丁目地内	1	3,317,000

保全係

1　公共下水道施設管理関係

(1)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)
公共下水道流量・水質調査	処理区域全域	流量・水質調査　28箇所	22,154,000
マンホールポンプ場保守点検	処理区域全域	マンホールポンプ保守点検　81箇所	36,268,591
管渠調査・清掃	沼和田町地内外	管渠調査　11件	17,687,612
	今泉町２丁目地内外	管渠清掃　4件	
合　　計			76,110,203

(2)　修繕工事

工事名	工事箇所	工事内容	金額(円)
マンホールポンプ場修繕工事	処理区域全域	制御盤改造等　27件	18,108,200
舗装修繕工事	処理区域全域	14件	7,099,400
汚水桝修繕工事	処理区域全域	2件	244,200
マンホール修繕工事	処理区域全域	嵩高調整等　9件	3,743,300
管渠修繕工事	処理区域全域	浸入水の止水等　3件	2,178,000
合　　計			31,373,100

(3)　ポンプ更新工事

工　事　箇　所	基数	ポンプ能力	金額(円)	備　考
都賀町富張地内 都賀№28№2	マンホールポンプ１基	0.299㎥/min 2.2kw	627,000	
岩舟町和泉地内 和泉№2	マンホールポンプ１基	1.08㎥/min 2.2kw	1,133,000	

大平町牛久地内 牛久№1	マンホール ポンプ１基	0.12㎥/min 0.75kw	1,274,900	
大平町牛久地内 上牛久№2	マンホール ポンプ１基	0.468㎥/min 1.5kw	950,400	
岩舟町下津原地内 下津原駐在所前№1	マンホール ポンプ１基	1.093㎥/min 3.7kw	1,177,000	
藤岡町藤岡地内 向山№1・2	マンホール ポンプ２基	0.159㎥/min 0.75kw	1,650,000	
合　　計			6,812,300	

2　農業集落排水事業施設概要

区　　分	地　　区	今年度施工分	今年度末累計	備考
管渠延長(m)	下　皆　川	－	7,515.4	
	みずほ西	－	18,433.6	
	巴波川南部	－	14,450.2	
	巴波川西部	－	28,604.4	
	西方西部	－	12,550.8	
	本郷金井	23.2	14,924.0	
合　　計		23.2	96,478.4	
マンホール数(箇所)	下　皆　川	－	244	
	みずほ西	－	486	
	巴波川南部	－	144	
	巴波川西部	－	264	
	西方西部	－	415	
	本郷金井	1	424	
合　　計		1	1,977	
汚水桝数(箇所)	下　皆　川	－	213	
	みずほ西	－	451	
	巴波川南部	－	369	
	巴波川西部	－	551	
	西方西部	－	363	
	本郷金井	2	377	
合　　計		2	2,324	
マンホールポンプ数 (箇所)	下　皆　川	－	3	
	みずほ西	－	14	
	巴波川南部	－	－	
	巴波川西部	－	4	
	西方西部	－	4	

	本郷金井	－	4	
合　　計		－	29	

3　農業集落排水事業

(1)　ポンプ等更新工事

工　事　箇　所	数量	規格	金額(円)	備　考
富吉第1ＣＰステーション マンホール用排気管	26.0m	SUS管・Φ100	4,950,000	
巴波川西部処理施設 No.1真空ポンプ	1基	15.0kw	4,950,000	
富吉第2ＣＰステーション No.2真空ポンプ	1基	5.5kw	4,983,000	
巴波川西部処理施設 No.2真空ポンプ	1基	15.0kw	3,894,000	
巴波川南部地区 真空弁ユニット監視装置	44基		17,600,000	
巴波川西部処理施設 No.1圧送ポンプ	1基	11.0kw	3,300,000	
富吉第1ＣＰステーション 制御盤タッチパネル	1基		803,000	
合　　計			40,480,000	

(2)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考
大平地域農業集落排水処理施設維持管理等	下皆川汚水処理施設・みずほ西汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・し尿浄化槽清掃等	14,673,407	2施設
藤岡地域農業集落排水処理施設維持管理等	巴波川南部汚水処理施設・巴波川西部汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・真空設備維持管理等	22,489,988	2施設
西方地域農業集落排水処理施設維持管理等	西方西部汚水処理施設・本郷金井汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・し尿浄化槽清掃等	14,805,969	2施設
合　　計			51,969,364	

(3)　修繕工事

工事名	工事箇所	工事内容	金額(円)
処理施設修繕工事	処理区域全域	非常通報装置修繕等　27件	19,996,130
汚水桝修繕工事	処理区域全域	真空ユニット等　143件	20,806,020
合　　計			40,802,150

4　公共下水道水質調査関係

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)
特定事業場水質調査	処理区域全域	特定事業場水質調査 42 箇所	2,090,000

5　公共下水道普及状況

区　　分	地域	前年度末	今年度末	比　較
行政区域内人口 (A) (人)	栃木	75,242	74,752	△490
	大平	28,991	28,844	△147
	藤岡	14,105	13,827	△278
	都賀	12,389	12,316	△73
	西方	5,768	5,658	△110
	岩舟	15,860	15,773	△87
合　　計		152,355	151,170	△1,185
処理区域内世帯数 (B) (世帯)	栃木	21,419	21,477	58
	大平	5,042	5,060	18
	藤岡	2,779	2,784	5
	都賀	2,572	2,580	8
	西方	857	857	0
	岩舟	3,099	3,100	1
合　　計		35,768	35,858	90
処理区域内戸数 (C) (戸)	栃木	19,078	19,136	58
	大平	5,042	5,060	18
	藤岡	2,779	2,784	5
	都賀	2,572	2,580	8
	西方	857	857	0
	岩舟	3,099	3,100	1
合　　計		33,427	33,517	90
処理区域内人口 (D) (人)	栃木	55,261	55,391	130
	大平	15,666	15,732	66
	藤岡	8,415	8,430	15
	都賀	7,349	7,371	22
	西方	2,430	2,430	0
	岩舟	9,702	9,705	3
合　　計		98,823	99,059	236
水洗化世帯数 (E) (世帯)	栃木	20,600	20,701	101
	大平	5,002	5,030	28
	藤岡	2,260	2,290	30
	都賀	2,547	2,562	15

	西方	846	847	1
	岩舟	3,091	3,095	4
合　　計		34,346	34,525	179
水洗化戸数(F)(戸)	栃木	19,050	19,110	60
	大平	5,010	5,033	23
	藤岡	2,289	2,319	30
	都賀	2,562	2,571	9
	西方	851	852	1
	岩舟	3,092	3,095	3
合　　計		32,854	32,980	126
水洗化人口(G)(人)	栃木	55,171	55,316	145
	大平	15,089	15,162	73
	藤岡	6,844	6,869	25
	都賀	7,326	7,347	21
	西方	2,427	2,428	1
	岩舟	9,474	9,484	10
合　　計		96,331	96,606	275
普及率(D/A)(%)	栃木	73.4	74.1	0.7
	大平	54.0	54.5	0.5
	藤岡	59.7	61.0	1.3
	都賀	59.3	59.8	0.5
	西方	42.1	42.9	0.8
	岩舟	61.2	61.5	0.3
合　　計		64.9	65.5	0.6
水洗化率（世帯）(E/B)(%)	栃木	96.2	96.4	0.2
	大平	99.2	99.4	0.2
	藤岡	81.3	82.3	1.0
	都賀	99.0	99.3	0.3
	西方	98.7	98.8	0.1
	岩舟	99.7	99.8	0.1
合　　計		96.0	96.3	0.3
水洗化率（戸数）(F/C)(%)	栃木	99.9	99.9	0
	大平	99.4	99.5	0.1
	藤岡	82.4	83.3	0.9
	都賀	99.6	99.7	0.1
	西方	99.3	99.4	0.1
	岩舟	99.8	99.8	0
合　　計		98.3	98.4	0.1
水洗化率（人口）(G/D)	栃木	99.8	99.9	0.1

（%）	大平	96.3	96.4	0.1
	藤岡	81.3	81.5	0.2
	都賀	99.7	99.7	0
	西方	99.9	99.9	0
	岩舟	97.6	97.7	0.1
合　　計		97.5	97.5	0

6　農業集落排水事業普及状況

区　　分	地区	前年度末	今年度末	比　較
処理区域内戸数（A）（戸）	下　皆　川	228	228	0
	みずほ西	462	462	0
	巴波川南部	369	369	0
	巴波川西部	551	551	0
	西方西部	386	386	0
	本郷金井	370	370	0
合　　計		2,366	2,366	0
処理区域内人口（B）（人）	下　皆　川	675	675	0
	みずほ西	1,546	1,546	0
	巴波川南部	1,245	1,245	0
	巴波川西部	2,052	2,052	0
	西方西部	1,122	1,122	0
	本郷金井	1,057	1,057	0
合　　計		7,697	7,697	0
接続戸数（C）（戸）	下　皆　川	227	227	0
	みずほ西	426	430	4
	巴波川南部	264	265	1
	巴波川西部	286	292	6
	西方西部	375	375	0
	本郷金井	350	353	3
合　　計		1,928	1,942	14
接続人口（D）（人）	下　皆　川	673	673	0
	みずほ西	1,280	1,290	10
	巴波川南部	939	940	1
	巴波川西部	956	976	20
	西方西部	1,121	1,121	0
	本郷金井	1,051	1,054	3
合　　計		6,020	6,054	34
接続率（戸数）	下　皆　川	99.6	99.6	0

(C/A) (%)	みずほ西	92.2	93.1	0.9
	巴波川南部	71.5	71.8	0.3
	巴波川西部	51.9	53.0	1.1
	西方西部	97.2	97.2	0
	本郷金井	94.6	95.4	0.8
合計		81.5	82.1	0.6
水洗化率(人口)(D/B) (%)	下皆川	99.7	99.7	0
	みずほ西	82.8	83.4	0.6
	巴波川南部	75.4	75.5	0.1
	巴波川西部	46.6	47.6	1.0
	西方西部	99.9	99.9	0
	本郷金井	99.4	99.7	0.3
合計		78.2	78.7	0.5

7　公共下水道普及対策事業

(1)　排水設備等の設置　　(単位：件)

確認申請件数	検査済件数
578	547

(2)　水洗便所改造資金利子補給

排水設備工事を行うための工事費の融資あっせんと利子補給を行った。

利子補給件数(件)	利子補給額(円)
4	32,204

8　農業集落排水普及対策事業

排水設備等の設置　　(単位：件)

確認申請件数	検査済件数
14	14

第１２章　消防本部

第１節　消防総務課

〔総括概要〕

消防総務課は、消防総務係・消防団係の２係体制で業務を行っている。

消防総務係の主な分掌事務は、消防職員の人事、研修及び福利厚生、広報広聴、消防事務の企画及び調整並びに消防施設の整備及び維持管理である。

職員の研修については、複雑多様化する災害や救急業務など、近年の消防を取り巻く環境の変化に対応できるように、平成30年度から分野ごとに対象者を限定するＴＦＥＴ（Tochigi Fireman Education and Training／栃木市消防職員研修）や専科教育訓練を継続的に実施している。

広報広聴については、ホームページにおいて消防行政に関わる情報を分かりやすく市民に周知するため、消防本部の各種の案内及び応急処置方法等の掲載のほか、整備工事中の消防本部・消防署の進捗状況や救急車の適正利用、住宅用火災警報器の設置等の防災意識の普及啓発に努め、広報活動のより一層の充実を図った。

消防施設の整備については、令和元・2年度の庁舎整備基本・実施設計を踏まえ、令和3年度から消防本部・消防署の庁舎整備工事に着手し、令和７年度の訓練塔副塔工事の竣工により、消防本部・消防署の全ての工事が完了した。

また、都賀・西方地域の消防分署庁舎を整備するため、造成工事及び農業集落排水管布設工事を実施した。

消防団係の主な分掌事務は、消防団の総括及び連絡調整、消防団施設の整備及び管理、資機材の購入である。

施設等の整備については、組織再編により使用しなくなった器具置場を１棟解体した。ここは借地であったため、土地の返還を行うことで維持管理の経費を節減することができた。資機材の購入としては平成28年に導入したデジタル簡易無線のバッテリーの更新を実施した。

消防団の訓練等として、栃木市消防団通常点検を実施したほか、都賀・西方地域合同訓練や南地域合同訓練を実施し、技能習熟はもとより団員間及び地域間の連携強化を図ることができた。

消防団車両の更新として、ＣＤ－Ｉ型消防ポンプ自動車（３．５ｔ未満）１台を新規購入し消防力の強化を図った。

消防団の防災・広報活動については、平時における消火活動等に従事したほか、栃木市消防団の広報誌「火伏」第８号を発刊した。また、市内の小学校や高校で消防団のＰＲ活動を行った。

消防総務係

1　消防職員数

(1)　階級別職員数　　（4月1日現在・再任用職員除く　単位：人）

区分＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
定員	階級別定員なし								204
実員	1	9	30	48	45	21	43	3	200

(2)　所属別職員数　　（4月1日現在　単位：人）

所属＼階級		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計	摘要
消防本部	消防長	1	－	－	－	－	－	－	－	1	
	次長	－	1	－	－	－	－	－	－	1	
	消防総務課	－	2	4	1	3	2	－	3	15	栃木県消防防災航空隊派遣1
	予防課	－	1	4	1	4	1	－	－	11	
	警防課	－	1	3	1	－	1	－	－	6	
	通信指令課	－	1	2	4	5	1	－	－	13	
	計	1	6	13	7	12	5	－	3	47	
消防署	署長	－	1	－	－	－	－	－	－	1	
	消防第１課	－	1	3	9	6	2	10	－	31	
	消防第２課	－	1	3	7	6	3	11	－	31	
	大平分署	－	－	3	5	6	2	4	－	20	
	藤岡分署	－	－	2	6	6	2	4	－	20	
	都賀分署	－	－	2	4	3	2	3	－	14	
	西方分署	－	－	2	4	3	2	3	－	14	
	岩舟分署	－	－	2	6	3	3	4	－	18	
	計	－	3	17	41	33	16	39	－	149	
研修職員		－	－	－	－	－	－	4	－	4	栃木県消防学校入校4
合計		1	9	30	48	45	21	43	3	200	

(3)　消防職級別職員数　　（4月1日現在　単位：人）

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	小計
男	1	9	13	18	49	43	38	23	194
女	－	－	－	－	－	2	1	3	6
計	1	9	13	18	49	45	39	26	200

2　消防職員人事

(1)　職員の採用　　（単位：人）

職種	人員	男	女

消　防	4	4	0

(2)　職員の退職　　（単位：人）

職　種	人　員
消　防	2

(3)　消防職員採用試験の実施状況

ア　試験実施状況

実　施　日	内　　容
9月7日(日)	第一次試験（筆記試験）実施
10月16日(木)	第二次試験（体力測定）実施
10月22日(水)	第二次試験（面接試験）実施

イ　受験状況

職　種	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			実質倍率（倍）
			男	女	計	
消　防	59	46	3	0	3	15.3

3　消防職員研修

(1)　栃木県消防学校教育訓練

期　　間　（[]内は、実日数）	研　修　科　目	参加者数（人）
4月3日(木)～ 9月17日(木)［114日］	初任教育	4
7月29日(火)～ 8月7日(木)　［8日］	特別教育水難救助科	2
9月24日(水)～10月23日(木)　［21日］	専科教育救助科	3
10月27日(月)～12月24日(水)　［41日］	専科教育救急科	3
1月14日(水)～ 1月27日(火)　［10日］	専科教育警防科	3
1月15日(木)～ 1月23日(金)　［7日］	専科教育特殊災害科	2
1月28日(水)～ 2月10日(火)　［10日］	幹部教育初級幹部科	2
2月2日(月)～ 2月6日(金)　［5日］	幹部教育中級幹部科	2
2月12日(木)～ 2月26日(木)　［10日］	専科教育予防査察科	2
2月16日(月)～ 2月20日(金)　［5日］	専科教育危険物科	2

(2)　消防大学校教育訓練

期　　間　（[]内は、実日数）	研　修　科　目	参加者数（人）
10月2日(木)～10月8日(月)［7日］	査察業務マネジメントコース	1
10月30日(木)～12月2日(火)［34日］	危険物科	1

4　職員厚生

健康診断の実施状況

検　診　名	対　象　者	受診者数（人）
一般健康診断	全職員	136
胃がん検診	〃	87
肺がん検診（胸部X線撮影）	〃	117
大腸がん検診	〃	116
前立腺がん検診	50歳以上	11
人間（脳）ドック	30歳以上	58

5　広報関係

ホームページにおいて消防行政に関わる情報を市民に周知するため、消防本部の組織、各種統計、試験・講習会の案内及び応急手当等の掲載のほか、住宅用火災警報器の設置等の防災意識の普及啓発に努め、広報活動のより一層の充実図った。

6　消防施設の概要　（単位：㎡）

区　分	所　在　地	敷地面積	構　造	1階床面積	2階床面積	3階床面積	延面積
消防本部 栃木市消防署	平柳町 1-34-5	6,685	鉄筋コンクリート造 3階建	1,450	1,020	1,056	3,556
大平分署	大平町蔵井 2001-2	1,309	鉄筋コンクリート造 2階建	228	65		293
藤岡分署	藤岡町藤岡 81-2	1,312	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	266	104		370
都賀分署	都賀町大柿 1529	1,286	鉄筋コンクリート造 2階建	225	65		290
西方分署	西方町金井 293	1,371	鉄筋コンクリート造 2階建	226	63		289
岩舟分署	岩舟町静 5133-1	3,320	鉄骨造2階建	507	272		779

7　消防施設の整備状況

主な業務　（単位：円）

業　務　内　容	金　額
栃木市消防本部・栃木市消防署訓練塔副塔等新築工事	48,956,000
(仮称)栃木市消防署北部分署庁舎整備に伴う農業集落排水管布設工事	3,421,000
(仮称)栃木市消防署北部分署庁舎整備に伴う造成工事	64,867,000

消防団係

1　消防団員数等

消防団組織概要については【別図】組織概要図のとおり

(1)　階級別団員数　　(4月1日現在　単位：人)

階級／区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定　員	1	6	37	43	75	76	771	1,009
実　員	1	6	37	43	75	75	684	921

(2)　所属別団員数　　(4月1日現在　単位：人)

地域等＼階級		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団本部	定　員	1	6	－	－	－	－	－	7
	実　員	1	6	－	－	－	－	－	7
本部分団	定　員	－	－	6	12	18	－	－	36
	実　員	－	－	6	12	18	－	－	36
栃　木	定　員	－	－	12	12	23	32	322	401
	実　員	－	－	12	12	23	32	291	370
大　平	定　員	－	－	3	3	8	11	96	121
	実　員	－	－	3	3	8	11	89	114
藤　岡	定　員	－	－	4	4	8	8	112	136
	実　員	－	－	4	4	8	8	96	120
都　賀	定　員	－	－	4	4	6	7	68	89
	実　員	－	－	4	4	6	7	64	85
西　方	定　員	－	－	4	4	5	7	63	83
	実　員	－	－	4	4	5	7	51	71
岩　舟	定　員	－	－	3	3	6	9	95	116
	実　員	－	－	3	3	6	8	83	103
女性分団	定　員	－	－	1	1	1	2	15	20
	実　員	－	－	1	1	1	2	10	15
合　計	定　員	1	6	37	43	75	76	771	1,009
	実　員	1	6	37	43	75	75	684	921

2　消防車等の態勢　　(単位：台)

地域等＼区分	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	指揮連絡車	計

団本部	－	－	3	3
本部分団	－	－	6	6
栃木	17	6	－	23
大平	8	－	－	8
藤岡	4	4	－	8
都賀	4	2	－	6
西方	2	4	－	6
岩舟	6	－	－	6
女性分団	－	－	1	1
計	41	16	10	67

3　消防団の活動状況

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、可能な範囲で行事や訓練を実施した。

(1)　栃木市消防団の主な行事

ア　栃木市消防団入退団式

・実施日　4月6日(日)

・場　所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木市栃木文化会館）

・新入団員数　62名

イ　通常点検

・実施日　10月26日(日)

・場　所　マルワ・アリーナとちぎ（総合運動公園総合体育館）

(2)　訓練等

名　称	実施回数	参加者
新入団員研修	1回	新入団員
新入団員基礎教育訓練	1回	新入団員
栃木市消防団合同訓練	1回	全地域（女性分団除く）
栃木市総合防災訓練	1回	藤岡地域

(3)　栃木市消防団会議実施状況

名　称	開催日	場　所
第1回団本部・本部分団合同会議	5月23日(金)	消防本部3階会議室
第1回南北会議（北部） 第1回南北会議（南部）	5月26日(月) 5月27日(火)	消防本部3階会議室 静和地区公民館
第2回団本部・本部分団合同会議	8月22日(金)	消防本部3階会議室
第2回南北会議（南部） 第2回南北会議（北部）	8月25日(月)	静和地区公民館 消防本部3階会議室

第3回団本部・本部分団合同会議	1月19日(月)	消防本部３階会議室
第3回南北会議（南部） 第3回南北会議（北部）	1月21日(水)	静和地区公民館 消防本部３階会議室

4　消防施設の整備状況

(1)　主な資機材等の購入

品　名	数　量	金額（円）
ＣＤ－Ｉ型消防ポンプ車（３．５ｔ未満）	1台	21,499,870
防火衣	20着	1,771,000
活動服（上下セット）	50着	1,391,500

(2)　主な施設整備等

事　業　名	事業箇所	金額（円）
旧大平方面隊第2分団第4部機械器具置場等解体工事	大平町下高島地内	7,403,000

5　消防団サポート店登録状況

(1)　業種別　（単位：件）

登録数	うち飲食業	うち製造業	うち販売業	うちその他
90	34	2	17	37

※その他は建設業・自動車整備業・葬祭業・美容業等

(2)　地域別　（単位：件）

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域
41	14	11	8	4	12

6　消防団協力事業所認定状況

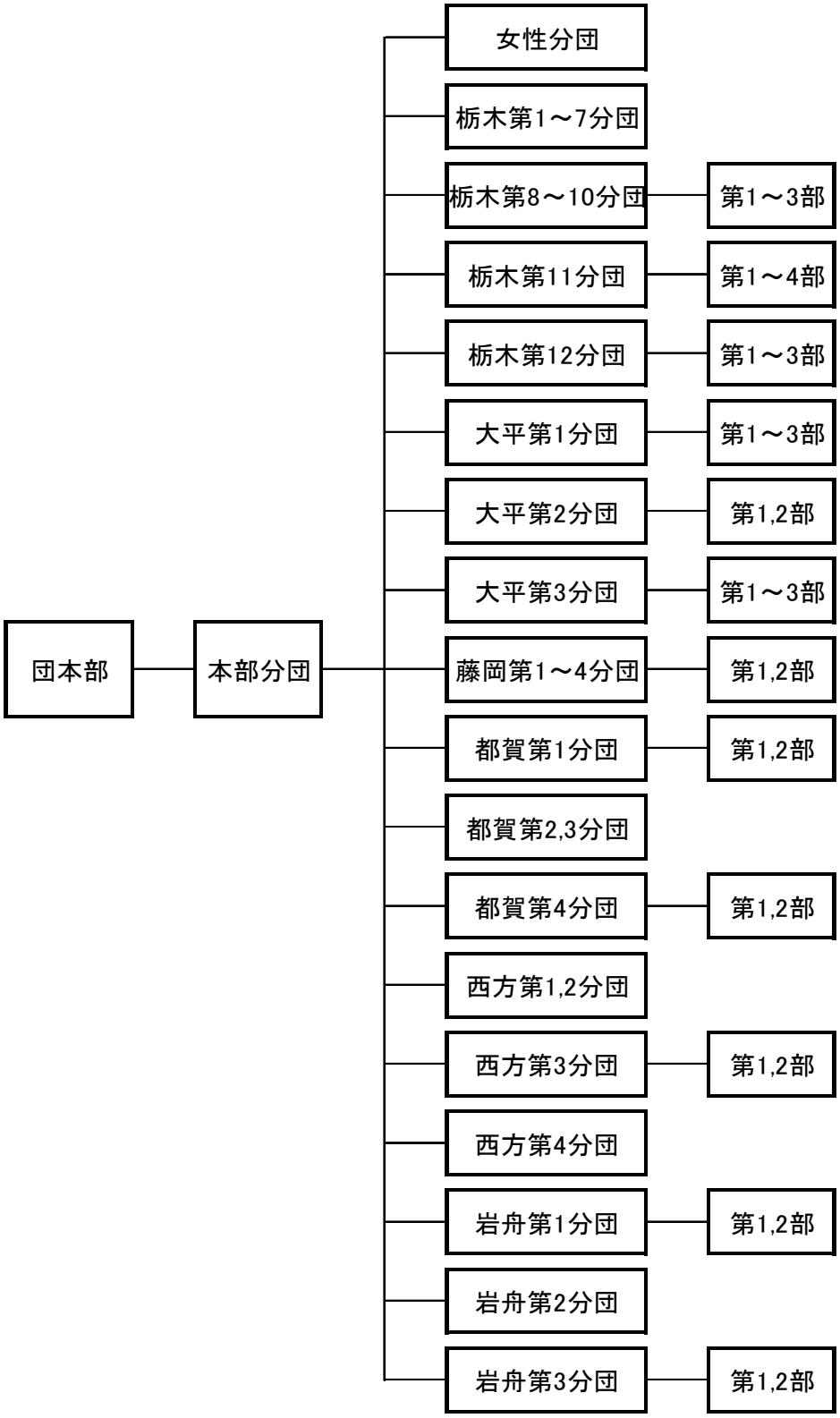
地域別　（単位：件）

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域
14	5	8	5	0	6

7　広報関係

消防団の存在と活動実績を市民に周知するため、広報とちぎへ記事を掲載したほか、消防団広報誌「火伏」第8号を発刊し、消防団を広くＰＲした。

【別図】組織概要図


団本部
本部分団
女性分団
栃木第1～7分団
栃木第8～10分団
第1～3部
栃木第11分団
第1～4部
栃木第12分団
第1～3部
大平第1分団
第1～3部
大平第2分団
第1,2部
大平第3分団
第1～3部
藤岡第1～4分団
第1,2部
都賀第1分団
第1,2部
都賀第2,3分団
都賀第4分団
第1,2部
西方第1,2分団
西方第3分団
第1,2部
西方第4分団
岩舟第1分団
第1,2部
岩舟第2分団
岩舟第3分団
第1,2部

第２節　予防課

〔総括概要〕

予防課の主な分掌事務は、火災予防、危険物規制、防火対象物指導事務である。

火災予防事務については、全国統一の火災予防運動、防火ポスターの展示及び住宅用火災警報器設置の推進により、市民の防災意識の高揚を図った。

危険物規制事務については、危険物取扱者保安講習会を実施し、危険物施設の保安管理の充実を図った。

防火対象物指導事務については、火災予防の徹底を図ることを目的とした立入検査の実施、防火管理及び消防用設備等の適正な維持管理を指導し、関係者に火災予防の周知を図った。

予防係

1　予防関係

区分／行事	実施日	内容
危険物安全週間	6月8日(日)～6月14日(土)	広報活動 製造所等の立入検査
危険物取扱者保安講習会	1月16日(金)	危険物取扱者対象の講習
秋季全国火災予防運動	11月9日(日)～11月15日(土)	広報活動 火災予防啓発用リーフレット、啓発品等の配付 防火対象物立入検査
春季全国火災予防運動	3月1日(日)～3月7日(土)	火災予防啓発用リーフレット、啓発品等の配付 防火対象物立入検査

2　火災原因及び件数　（単位：件）

原因	件数	原因	件数
たばこ	2	内燃機関	－
こんろ	－	配線器具	3
かまど	－	火あそび	－
風呂かまど	－	マッチ・ライター	2
炉	－	たき火	23
焼却炉	－	溶接機・溶断機	－

ス　ト　ー　ブ	－	灯　　火	1
こ　た　つ	－	衝　突　の　火　花	－
ボ　イ　ラ　ー	－	取　　灰	1
煙　突　・　煙　道	－	火　　入　　れ	6
排　　気　　管	4	放　　火	1
電　気　機　器	2	放　火　疑　い	－
電　気　装　置	1	そ　　の　　他	13
電灯電話等の配線	1	不　明　・　調　査　中	10
合　　計			70

3　災害関係

区分	件数（件）	焼損棟数（類焼含）		世帯数（類焼含）		焼損床面積	死傷者（人）		損害額（千円）	
							死亡	負傷		
建物火災	23	全焼	9	全損	1	769 ㎡	－	2	建物	48,287
		半焼	3	半損	1					
		部分焼	12	小損	10					
		ぼや	14							
林野火災	2					－	－	－		－
車両火災	11						－	－		5,178
その他の火災	34						－	－		3,810

4　消防同意処理状況

(1)　防火対象物（延面積 150 ㎡以上）　　（単位：件）

用途別			件数
1	イ	劇場等	1
	ロ	公会堂等	－
2	イ	キャバレー等	－
	ロ	遊技場等	－
	ハ	性風俗施設	－
	ニ	カラオケボックス等	－
3	イ	料理店等	－
	ロ	飲食店	－
4		物品販売店舗等	7
5	イ	旅館・ホテル等	－
	ロ	共同住宅	2
6	イ	病院等	3
	ロ	老人短期入所施設等	1

	ハ	老人デイサービスセンター等	4
	ニ	幼稚園等	1
7		学校	－
8		図書館等	－
9	イ	特殊浴場	－
	ロ	公衆浴場	－
10		停車場等	－
11		神社・寺院等	－
12	イ	工場・作業場	7
	ロ	スタジオ	－
13	イ	駐車場等	－
	ロ	航空機格納庫	－
14		倉庫	11
15		事務所等	8
16	イ	特定複合用途	3
	ロ	非特定複合用途	－
17		文化財	－
合　　計			48

(2)　(1)以外のもの　　（単位：件）

その他の消防同意	件数
住宅	9
その他	92
合　　計	101

危険物係

1　危険物施設設置状況

(1)　地域別危険物施設設置状況　　（単位：件）

区分＼地域別		栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	計
製造所		1	1	－	－	3	1	6
貯蔵所	屋内貯蔵所	21	13	11	5	5	7	62
	屋外タンク貯蔵所	17	8	－	－	12	7	44
	屋内タンク貯蔵所	2	1	－	1	－	1	5
	地下タンク貯蔵所	54	18	11	12	11	8	114
	簡易タンク貯蔵所	－	－	－	－	－	－	－
	移動タンク貯蔵所	45	24	12	3	15	23	122
	屋外貯蔵所	1	3	－	－	－	－	4

	計	140	67	34	21	43	46	351
取扱所	給油取扱所	62	13	20	9	6	22	132
	第1種販売取扱所	1	－	－	－	－	－	1
	第2種販売取扱所	－	－	－	－	－	－	－
	一般取扱所	39	25	10	8	11	18	111
	計	102	38	30	17	17	40	244
合計		243	106	64	38	63	87	601
事業所数		127	37	40	22	24	45	295

(2) 指定数量の倍数別危険物施設設置状況 (単位:件)

区分＼倍数別		5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超えるもの	計
製造所		2	1	1	－	2	－	－	6
貯蔵所	屋内貯蔵所	33	13	10	－	1	2	3	62
	屋外タンク貯蔵所	5	9	18	10	2	－	－	44
	屋内タンク貯蔵所	3	2	－	－	－	－	－	5
	地下タンク貯蔵所	39	40	25	5	4	－	1	114
	簡易タンク貯蔵所	－	－	－	－	－	－	－	－
	移動タンク貯蔵所	86	4	14	13	5	－	－	122
	屋外貯蔵所	1	2	1	－	－	－	－	4
	計	167	70	68	28	12	2	4	351
取扱所	給油取扱所	27	9	41	14	10	6	25	132
	第1種販売取扱所	1	－	－	－	－	－	－	1
	第2種販売取扱所	－	－	－	－	－	－	－	－
	一般取扱所	42	37	27	3	－	1	1	111
	計	70	46	68	17	10	7	26	244
合計		239	117	137	45	24	9	30	601

査察係

1 査察関係

(1) 防火対象物別立入検査実施状況 (単位:件)

用途別＼地域別			栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	計
1	イ	劇場等	－	－	－	－	－	3	3

	ロ	公会堂等	－	－	－	－	－	－	－
2	イ	キャバレー等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	遊技場等	－	－	－	－	－	－	－
	ハ	性風俗施設	－	－	－	－	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等	－	－	－	－	－	－	－
3	イ	料理店等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	飲食店	－	－	－	－	－	1	1
4		物品販売店舗等	1	－	－	－	－	2	3
5	イ	旅館・ホテル等	－	1	1	－	1	－	3
	ロ	共同住宅	－	－	－	－	－	－	－
6	イ	病院等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	老人短期入所施設等	2	－	－	－	－	－	2
	ハ	老人デイサービスセンター等	2	－	－	－	－	－	2
	ニ	幼稚園等	－	－	－	－	－	－	－
7		学校	－	－	－	－	－	－	－
8		図書館等	－	－	－	－	－	－	－
9	イ	特殊浴場	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	公衆浴場	－	－	－	－	－	－	－
10		停車場等	－	－	－	－	－	－	－
11		神社・寺院等	1	－	－	－	－	－	1
12	イ	工場・作業場	－	1	－	－	－	8	9
	ロ	スタジオ	－	－	－	－	－	－	－
13	イ	駐車場等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	航空機格納庫	－	－	－	－	－	－	－
14		倉庫	1	2	－	－	－	2	5
15		事務所等	1	－	－	－	－	3	4
16	イ	特定複合用途	1	1	－	－	－	2	4
	ロ	非特定複合用途	1	－	－	－	－	－	1
17		文化財	－	－	－	－	－	－	－
一人暮らし高齢者宅防火診断			－	－	－	－	－	－	－
合　　計			10	5	1	－	1	21	38

(2)　製造所等立入検査実施状況　　（単位：件）

区分＼地域別	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	計
立入検査実施件数	－	26	－	－	－	－	26

第３節　警防課

〔総括概要〕

警防課の主な分掌事務は、各種災害を警戒、鎮圧し排除するための警防対策、消防計画、他の消防機関との相互応援協定、緊急消防援助隊、消防車両及び消防資機材の整備・配置管理、安全運転管理、救急事務、救急医療情報に係る事務、救急救命士の養成や教育、メディカルコントロール（医師が医学的観点から救急隊員が行う応急処置等の質を保証する体制）に係る事務、救急車両及び救急資器材の整備・配置管理である。そのほか開発行為に係る消防水利の協議を行った。

警防業務では、大規模で複雑多様化する災害発生時において、市民の生命、身体及び財産を守るため、安全で迅速な消防活動が展開できるよう消防車両、消防資器材、消防水利の更新整備及び維持管理を行った。

救急管理業務では、年々増加する救急事案に対応するため、救急現場から医療機関までの搬送体制の強化や救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置の質の向上などを目的として、救急救命士の養成、医師による救急活動に対する事後検証の実施、派遣型ワークステーションの運用により、救急隊員のスキルアップ及び救命率の向上を図った。そのほか、高規格救急自動車、救急資器材の更新整備及び維持管理を行った。

なお、指揮支援としてドローンを運用し、災害現場の上空からの映像伝送による情報収集や被害状況等の空撮を行った。

警防係

1　消防車両現勢

所属	車名	メーカー	年式	備考
栃木市消防本部	庁用車	トヨタ	平成 24	
	総務連絡車	トヨタ	平成 10	
	査察広報車	トヨタ	平成 20	
	予防連絡車	スズキ	平成 20	
	警防連絡車	トヨタ	平成 10	
	火災調査車	トヨタ	令和 2	
栃木市消防署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 25	水槽 600 ℓ（ＣＡＦＳ装置付）
	水槽付ポンプ車	日野	令和 3	水槽 2,000 ℓ
	化学車	日野	平成 19	水槽 1,500 ℓ　薬液 500 ℓ
	はしご車	日野	平成 28	35m級(先端屈折、伸縮水管付)
	救助工作車	日野	平成 30	クレーン、ウインチ、照明装置付
	災害支援車	いすゞ	平成 25	
	指揮車	トヨタ	平成 27	
	救急１号車	トヨタ	令和 3	高規格

	救急2号車	トヨタ	令和 6	高規格
	救急3号車	トヨタ	令和 2	高規格
	栃木広報1号車	トヨタ	平成 15	
	栃木広報2号車	ニッサン	令和 2	
	防火号	ニッサン	平成 24	
	物資搬送車	マツダ	平成 21	
	消防連絡車	トヨタ	平成15	
大平分署	普通ポンプ車	日野	令和 3	水槽 600 ℓ（ＣＡＦＳ装置付）
	化学車	日野	平成 22	水槽 1,500 ℓ　薬液 300 ℓ
	救急車	トヨタ	令和元	高規格
	大平広報車	トヨタ	平成 21	
	ボートトレーラー	ソレックス	平成 28	最大積載量 400 kg
藤岡分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 20	
	水槽付ポンプ車	日野	令和 5	水槽 1,500 ℓ（ＣＡＦＳ装置付）
	救急車	トヨタ	令和 5	高規格
	藤岡広報車	トヨタ	平成 20	
	ボートトレーラー	ソレックス	平成 28	最大積載量 350 kg
都賀分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 11	
	水槽付ポンプ車	いすゞ	平成 25	水槽 1,500 ℓ（ＣＡＦＳ装置付）
	救急車	トヨタ	平成 29	高規格
	都賀広報車	トヨタ	平成 23	
西方分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 22	
	水槽付ポンプ車	いすゞ	平成 12	水槽 1,500 ℓ
	救急車	トヨタ	平成 30	高規格
	西方広報車	トヨタ	平成 24	
岩舟分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 27	水槽 600 ℓ（ＣＡＦＳ装置付）
	水槽付ポンプ車	いすゞ	平成 20	水槽 1,500 ℓ
	救急車	トヨタ	令和 7	高規格
	岩舟広報車	ニッサン	平成 20	
	ボートトレーラー	スペシャルトレーラーズ	平成 12	最大積載量 450 kg

2　地域別消防水利設置状況　（単位:基）

種別＼地域	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	計
消火栓	1,516	460	392	319	161	322	3,170
防火井戸	218	98	39	4	－	－	359
防火水槽	556	174	242	103	42	187	1,304
プール	21	6	6	4	2	4	43

計	2,311	738	679	430	205	513	4,876

3　消防資機材配備状況　　（単位:一式）

種別 ＼ 所属別		消防本部	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	合計
救助器具	救命索発射銃	－	2	－	－	－	－	－	2
	油圧式救助器具	－	4	1	1	1	－	1	8
	ワイヤーはしご	－	2	－	－	－	－	－	2
	可搬式ウインチ	－	3	1	1	－	－	2	7
	救助マット	－	1	－	－	－	－	－	1
	排煙機	－	4	1	2	－	－	－	7
	マット型空気ジャッキ	－	2	－	－	－	－	－	2
	耐熱防護服	－	2	－	－	－	－	－	2
	化学防護服（防毒衣）	－	95	8	8	2	－	－	113
	放射線防護服	－	2	－	－	－	－	－	2
	放射線測定器	－	5	－	－	－	－	－	5
	可燃・有毒ガス測定器	－	3	1	1	1	1	1	8
	耐電用防護服	－	6	－	－	－	－	－	6
	潜水器具一式	－	12	－	－	－	－	－	12
	救命ボート（※水上バイク含む）	－	3	1	2※	1	1	2	10
	船外機	－	1	1	－	－	－	1	3
	エアーテント	－	2	－	－	－	－	－	2
	熱画像直視装置	－	2	1	1	－	－	1	5
	画像探索装置	－	1	－	－	－	－	－	1
救急用器具	人工呼吸器	－	3	1	1	1	1	1	8
	陰圧式固定具	－	3	2	1	1	2	2	11
	バックボード一式	－	7	2	3	3	2	3	20
	血圧計	－	6	5	5	3	5	5	29
	血中酸素飽和濃度測定器	－	5	5	2	2	2	2	18
	血中酸素・一酸化炭素飽和濃度測定器	－	3	1	1	1	1	1	8
	吸引器	－	8	2	3	2	2	2	19
	喉頭鏡	－	8	7	3	4	3	5	30
	半自動体外式除細動器	－	2	1	1	1	1	－	6
	自動体外式除細動器（AED）	1	2	1	1	1	1	1	8
	ベッドサイドモニター	－	2	1	1	1	1	－	6

	モニタリング除細動器	－	1	－	－	－	－	1	2
破壊器具	エンジンカッター	－	3	2	2	2	2	1	12
	エアツール	－	2	－	－	－	－	－	2
	ガス熔断機	－	2	－	－	－	－	－	2
	チェーンソー	－	8	2	3	2	2	1	18
	削岩機	－	2	－	－	－	－	－	2
	万能斧	－	9	2	3	2	3	5	24
呼吸保護具	空気充填設備	－	1	－	－	－	－	－	1
	空気呼吸器	－	27	10	10	9	10	8	74
	空気ボンベ	－	87	26	26	23	23	22	207
	酸素呼吸器	－	3	－	－	－	－	－	3
	簡易呼吸器	－	2	－	－	－	－	－	2
作業用器具	ホースカー	－	3	1	2	2	2	3	13
	連梯子	－	6	2	2	2	2	2	16
	かぎ付梯子	－	4	－	1	1	－	1	7
	照明発電機	1	11	2	3	2	2	5	26
	拡声装置	3	12	3	6	4	3	5	36
放水・発泡器具	簡易発泡器	－	1	1	1	1	－	－	4
	エアフォームノズル	－	6	4	1	－	－	1	12
	ピックアップノズル	－	1	－	－	1	1	－	3
	ラインプロポーショナー	－	3	1	1	1	－	－	6
	消火栓用スタンドパイプ	－	4	2	2	2	2	2	14
	分岐金具	－	9	4	5	7	5	8	38
	ホースブリッジ	－	3	4	4	4	4	4	23
	ロータリー管鎗	－	1	－	1	－	－	－	2
	フォグガン	－	5	2	2	1	2	－	12
	山林火災用手動ポンプ	－	30	12	18	10	13	15	98
	山林火災用可搬式送水装置	－	2	1	1	1	1	1	7
	ウォーターチャージャー	－	1	2	2	1	1	2	9
	界面活性剤原液(ℓ)	－	1,680	320	200	360	60	380	3,000
その他の器具	超音波厚さ計	1	－	－	－	－	－	－	1
	ピンホール探知機	1	－	－	－	－	－	－	1
	膜厚計	1	－	－	－	－	－	－	1
	非接触温度計	－	3	1	1	1	1	1	8

4　消防相互応援協定関係

協定の名称	締結年月日	協定締結の相手	内容
東北自動車道消防相互応援協定	H27.9.30	佐野市 鹿沼市 宇都宮市 塩谷広域行政組合 那須地区消防組合	東北自動車道における火災、救急、その他の災害の発生時の相互応援
北関東自動車道消防相互応援協定	H26.1.20	足利市 佐野市 鹿沼市 石橋地区消防組合 宇都宮市 芳賀地区広域行政事務組合	北関東自動車道における火災、救急、その他の災害の発生時の相互応援
特殊災害消防対策相互応援協定	S55.4.30	小山市消防本部	危険物施設火災及び中高層建物火災等の特殊災害並びに多数の死傷者等が予測される災害発生時の相互応援
特殊災害消防相互応援協定	S56.5.20	県内消防本部	高層建築火災等の特殊災害及び多数の死傷者等が予測される災害発生時の相互応援
消防相互応援協定	S40.10.21 H元.3.28 H6.8.1 H2.1.29 H25.4.1 H26.4.1	小山市 館林地区消防組合 鹿沼市 石橋地区消防組合 埼玉東部消防組合 佐野市	災害を受報又は覚知した場合、消防隊、救急隊その他必要な人員を出場させ応援活動を実施するもの

救急管理係

1　救急救命士養成

救急救命士は「厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者を病院に搬送するまでの間、医師の指示の下に救急救命処置を行うことができる者」とされ、救急救命処置は、医師の具体的指示の下に行われており、現在58人が救急救命士として認定されている。

(1)　救急救命士の編成状況　　(単位:人)

消防本部	消　防　署						計
	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	
6	19	7	6	6	7	7	58

(2)　救急救命士の資格認定について

救急救命士の行える救急救命処置の範囲については必要に応じて拡大されており、その資格は気管挿管、薬剤投与、処置拡大であり、各資格とも一定の教育課程を修了し、認定を受けた救急救命士のみが医師の具体的な指示の下、認定された処置を行うことができる。

（単位：人）

救急救命士総数		58
資格内訳	気管挿管認定救命士 （医師の具体的な指示の下に必要な傷病者に気管挿管ができる）	48 （重複）
	薬剤投与認定救命士 （医師の具体的な指示の下に必要な傷病者に薬剤投与ができる）	57 （重複）
	処置拡大認定救命士 （医師の具体的な指示の下に重度傷病者に対して輸液、血糖測定、ブドウ糖投与ができる）	50 （重複）

(3)　指導救命士について

救急救命士のうち、所定の研修を受けた後、救急業務に携わる職員に救急業務全般について指導等を行う救急救命士で、現在 7 名が指導救命士として認定されている。

2　事後検証会

救急救命士は、心肺停止傷病者に対し救急救命処置を行った事案や、ドクターヘリを要請し傷病者をヘリに収容した事案等について、医師による事後検証を受け、救命処置を行うための手順等が遵守されているか確認している。

・事後検証会実施回数　18 回（事後検証事案 372 件）

第４節　通信指令課

〔総括概要〕

通信指令課は指令第１係と指令第２係で組織されており、24時間勤務の２交代制で業務を行っている。

通信指令課の主な分掌事務は、消防通信の管理及び運用、通信施設の整備及び維持管理、災害通報の受付及び出動指令、非常招集及び応援要請、気象観測及び気象通報に関すること等である。

消防通信の管理及び運用、通信施設の整備及び維持管理については、災害等で被災故障した通信指令装置等の復旧及び維持管理を実施し、正常運用を行った。

災害通報の受付及び出動指令については、高機能消防指令センターで119番を受信すると同時に、発信地表示装置に住所と付近地図が自動的に表示され、これらの情報を基に消防車両を出動させた。

非常招集及び応援要請については、災害規模状況等により部隊を編成し出動させると共に出動隊及び隊員の確保を行った。

気象観測及び気象通報に関することについては、気象観測装置の維持管理を行うと共にホームページで市民に対し気象観測データを周知した。

外国人の方からの119番通報及び消防・救急の現場活動において、日本語による対応が困難な場合に電話通訳センターを介した通訳サービスを利用し、言語の支障なく迅速かつ的確に対応するため多言語同時通訳を実施した。

また、聴覚・言語障がい者の方がチャット方式で119番通報ができるNet119緊急通報システムについても導入し対応している。

７月１日からLive119（映像通報システム）を導入し、市民からの緊急通報の内容をより正確に把握することで、迅速・的確な災害対策を図り、危機への備え・対応力を高めている。

指令第１係　指令第２係

1　119番通報受付回数　（単位：回）

種別／月	火災	救急・救助	その他の災害	通報訓練	問合せ	まちがいいたずら	同報通報	その他	合計
4月	3	643	20	58	52	42	14	11	843
	(3)	(341)	(4)	(－)	(33)	(32)	(12)	(2)	(427)
5月	3	604	20	86	58	49	8	6	834
	(1)	(290)	(11)	(9)	(45)	(42)	(7)	(1)	(406)
6月	3	683	26	83	65	57	35	20	972

	(2)	(331)	(3)	(4)	(35)	(44)	(20)	(-)	(439)
7月	4	718	30	56	66	59	23	17	973
	(4)	(388)	(12)	(5)	(40)	(52)	(10)	(5)	(513)
8月	4	716	15	48	83	52	23	10	951
	(2)	(394)	(3)	(1)	(55)	(45)	(16)	(2)	(518)
9月	6	668	30	101	92	49	27	7	980
	(5)	(350)	(12)	(2)	(65)	(43)	(21)	(2)	(499)
10月	5	634	19	113	52	54	17	10	904
	(4)	(333)	(6)	(5)	(41)	(40)	(14)	(4)	(447)
11月	2	707	19	105	75	51	18	13	990
	(2)	(381)	(7)	(2)	(50)	(42)	(10)	(5)	(499)
12月	5	765	33	100	82	64	31	19	1,099
	(1)	(397)	(13)	(4)	(55)	(53)	(22)	(2)	(547)
1月	14	721	26	43	101	55	35	12	1,007
	(10)	(385)	(15)	(1)	(79)	(41)	(26)	(5)	(562)
2月	11	634	31	95	53	45	27	21	917
	(8)	(339)	(9)	(3)	(40)	(40)	(23)	(4)	(466)
3月	12	668	11	128	64	60	34	36	1,013
	(5)	(361)	(4)	(2)	(50)	(36)	(26)	(6)	(490)
合計	72	8,161	280	1,016	843	637	292	182	11,483
	(47)	(4,290)	(96)	(38)	(588)	(510)	(207)	(37)	(5,813)

※下段（　）内は携帯電話からの受付で内数

2　システム主要機器

機　器　名		数量	概　略　仕　様
通信指令課	自動出動指定装置 地図検索装置 支援情報表示装置	4席	Ⅱ型　4席8扱い者
	音声合成装置	1式	
	指令電送装置	1式	
	指令制御装置・非常用指令設備	1式	
	車両運用表示盤	1式	75インチモニター
	支援情報表示盤	1式	75インチモニター
	多目的情報表示盤	4式	75インチモニター3式 43インチモニター1式
	災害情報表示盤	3式	43インチモニター
	無線統制台	7台	活動波2台・共通波5台
	気象情報収集装置	1式	栃木署・藤岡分署（藤岡分署は風向風速のみ）
	災害状況等自動案内装置	1式	
	順次指令装置	1式	
	統合型位置情報通知装置	1式	固定・携帯・IP位置情報の取得
	指揮支援システム	1式	車両型1式、ウェアラブル型8式 ドローン型2式
	防災情報システム	1式	防災情報サーバー1式 防災情報端末3台、プリンター3台
	長時間録音装置	1台	
	Live119映像通報システム	1式	
	聴覚障がい者用メール119	1式	
	聴覚障がい者用ＦＡＸ119	1式	
	Net119緊急通報システム	1式	
本部・署・分署等	署所端末装置	6式	署、各分署1式
	署所端末用受令機	5式	各分署1式
	指令情報出力装置	6式	署、各分署1式
	監視カメラ	18式	本部・署6式、各分署2式 晃石山無線基地局2式
	駆け付け通報装置	6式	署・各分署1式
	車両運用表示盤	6式	50インチモニター、各分署1式
	多目的情報表示盤	1式	50インチモニター、署1式

3　無線機台数

所　　属	種別	所有台数	周波数内訳		
			活動波	共通波	簡易多重
消防本部	基　地　局	1	2	－	－
	固　定　局	2	－	－	2
	陸上移動局	5	2	4	－
栃木市消防署	陸上移動局	40	2	4	－
大平分署	陸上移動局	13	2	4	－
藤岡分署	陸上移動局	13	2	4	－
都賀分署	陸上移動局	12	2	4	－
西方分署	陸上移動局	12	2	4	－
岩舟分署	陸上移動局	12	2	4	－

4　気象関係

月 / 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
平均気温（℃）	14.6	18.5	24.6	28.3	29.0	25.5	17.7	10.6	5.9	3.3	6.0	9.4
最高気温（℃）	28.7	30.7	36.0	37.5	39.4	37.4	29.4	23.2	17.5	15.7	22.8	22.4
最低気温（℃）	2.3	7.7	14.3	20.1	21.7	15.4	5.8	0.9	-3.1	-5.7	-5.0	-2.4
降水量（㎜）	113.0	191.0	169.0	108.5	53.0	178.0	65.0	5.0	22.0	4.5	23.5	59.5
1日最高降水量（㎜）	21.0	54.5	30.5	41.0	12.0	76.0	29.5	3.0	12.5	4.5	16.5	21.5
1時間最高降水量（㎜）	9.0	13.5	18.0	34.0	10.0	32.0	13.5	7.0	3.5	2.5	3.0	4.5
降水日数（日）	9	16	13	11	8	12	12	3	5	1	4	8
平均風速（m）	2.4	2.1	2.0	2.2	2.0	1.8	1.7	1.6	1.8	2.7	1.8	2.0
最大瞬間風速（m）	20.2	14.6	15.1	17.6	12.0	21.7	12.1	15.6	21.3	19.5	15.0	17.8

（観測地点：栃木市消防本部）

第５節　消防署

〔総括概要〕

消防署は、栃木市消防署、大平分署、藤岡分署、都賀分署、西方分署、岩舟分署の1署5分署が配置されており、主な分掌事務は、火災・救急・救助及びその他の災害の防ぎょ活動で、市民の安全安心な暮らしの確保のため、計151人の職員が2交替制で24時間365日の勤務にあたった。

災害出動件数については、火災出動 142 件、救急出動 8,367 件、救助出動 149 件、その他の災害出動 1,324 件であった。

災害以外では、消防訓練や応急手当講習会への職員派遣、小学生等を対象にした消防庁舎見学の受入れ、火災予防条例に基づく届出の受付、防火対象物の立入検査を実施した。更に、車両で市内を巡回し、火災予防及び熱中症予防の広報活動を実施した。

消防係

1　火災出動件数　（単位：件）

署別／種別	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	合　計
建　物	16	8	4	5	7	6	46
林　野	2	1	0	1	1	1	6
車　両	8	1	2	5	3	1	20
その他	25	10	12	3	3	17	70
合　計	51	20	18	14	14	25	142

2　その他の事故関係

(1)　その他の出動件数　（単位：件）

区　分	内　訳	活動内容	件数
危険排除	流　出	事故等により、危険物が流出し、緊急を要するもの	6
	倒　木	道路等への倒木の排除	5
	そ の 他	上記に掲げる以外の活動	59
特別危険排除	Ｎ 災 害	核臨界事故等の核汚染による災害	－
	Ｂ 災 害	炭そ菌等の生物汚染による災害	－
	Ｃ 災 害	サリン等の化学物質汚染による災害	－
	ガ ス 臭	明らかにＬＰＧ臭とわかるもの	－
	異　臭	その他の異臭	－
緊急確認	ベル鳴動	自火報、住警器の異常発報で出動したもの	123

	焚　　火	火災、怪煙等の通報で緊急出動したが焚火だったもの	22
	誤　　報	火災、怪煙等の通報で緊急出動し、事実が無かったもの	40
	そ の 他	上記に掲げる以外の活動	5
調　　査	焚　　火	緊急性を要しない焚火指導	52
	落　　雷	緊急性を要しない落雷調査	－
	電線のショート	送電線の火花	6
	異　　臭	種類の判らない異臭	－
	流　　出	河川への油膜等の浮遊による調査	4
	そ の 他	上記に掲げる以外の活動	21
水防活動	工　　法	水防工法活動を行ったもの	－
	巡　　回	河川増水等の巡回広報活動等を行ったもの	1
支　　援（ＰＡ連携等）	救急支援	主に救急活動の支援を行ったもの	542
	高速支援	高速道路に出動した救急支援活動	26
	搬出支援	主に傷病者の搬出活動を行ったもの	217
	航空支援	防災ヘリ、ドクターヘリ要請に伴う出動	66
	直近支援	直近救急隊出動時に消防隊が出動したもの	101
そ の 他	施　　錠	屋内、車両等の施錠	－
	捜　　索	行方不明者又は、救急現場等が不明確な場合の捜索活動	－
	動 物 等	人以外の救出活動等	－
	怪 煙 等	雲、水蒸気等を煙と錯覚したもの	－
	悪　　戯	事実がなく、明らかに通報が悪戯ととれるもの	－
	誤　　報	事実のないもの	23
	無人航空機	無人航空機（ドローンによる活動を行ったもの）	－
	そ の 他	上記に掲げる以外の活動	5
合　　計			1,324

(2)　署別その他の出動件数　　（単位：件）

区分	内　　訳	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	合　計
危険排除	流　　出	2	－	1	1	1	1	6
	倒　　木	2	2	－	1	－	－	5
	そ の 他	29	9	4	9	3	5	59
特別	Ｎ 災 害	－	－	－	－	－	－	－
危	Ｂ 災 害	－	－	－	－	－	－	－

険排除	C 災 害	－	－	－	－	－	－	－
	ガ ス 臭	－	－	－	－	－	－	－
	異　　臭	－	－	－	－	－	－	－
緊急確認	ベル鳴動	48	34	9	5	12	15	123
	焚　　火	6	4	5	－	2	5	22
	誤　　報	17	6	3	2	5	7	40
	そ の 他	1	1	3	－	－	－	5
調査	焚　　火	12	11	12	5	3	9	52
	落　　雷	－	－	－	－	－	－	－
	電線のショート	3	2	1	－	－	－	6
	異　　臭	－	－	－	－	－	－	－
	流　　出	2	1	－	－	1	－	4
	そ の 他	4	5	7	－	1	4	21
水防	工　　法	－	－	－	－	－	－	－
	巡　　回	－	1	－	－	－	－	1
支援（PA連携等）	救急支援	287	110	50	12	15	68	542
	高速支援	19	1	－	3	3	－	26
	搬出支援	162	18	10	－	6	21	217
	航空支援	30	16	9	－	－	11	66
	直近支援	63	16	10	2	－	10	101
その他	施　　錠	－	－	－	－	－	－	－
	捜　　索	－	－	－	－	－	－	－
	動 物 等	－	－	－	－	－	－	－
	怪 煙 等	－	－	－	－	－	－	－
	悪　　戯	－	－	－	－	－	－	－
	誤　　報	14	4	2	2	－	1	23
	無人航空機	－	－	－	－	－	－	－
	そ の 他	4	－	－	－	－	1	5
合　　計								1,324

(2)署別その他の出動件数は、1件の災害に複数の署所が出動したケースあり。

救助係

1　救助事故関係

(1)　事故種別救助出動、活動件数及び救助人員

種別／件数及び人員	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	破裂事故	その他	合計
出動件数(件)	24	47	6	－	4	38	1	－	29	149
活動件数(件)	－	23	5	－	2	28	1	－	21	80
救助人員(人)	－	26	5	－	2	24	－	－	20	77

(2)　地域別救助出動、活動件数　（単位：件）

地域／件数	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	管外	合計
出動件数	65	24	15	13	11	16	5	149
活動件数	39	13	7	6	4	7	4	80

活動件数とは、出動した件数の中で実際に救助活動を行った件数

指導係

1　火災予防条例に基づく届出の受付状況　（単位：件）

署別／条例別	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	合計
露店等の開設届出書	102	13	13	7	14	40	189
消防訓練実施計画書	569	153	85	82	77	140	1,106
火災とまぎらわしい煙または、火煙を発するおそれのある行為の届出書	36	32	22	11	8	42	151
煙火の届出書	21	1	6	18	－	36	82
催物開催届出書	3	2	－	3	2	－	10
水素ガスを充てんする気球の設置届	－	－	－	－	－	－	－
合計	731	201	126	121	101	258	1,538

2　予防査察の実施状況

防火対象物　　（単位：件）

用途別		署別	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	合計
1	イ	劇場等	－	－	1	－	－	－	1
	ロ	公会堂等	－	3	－	1	－	－	4
2	イ	キャバレー等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	遊技場等	－	－	－	－	－	－	－
	ハ	性風俗施設等	－	－	－	－	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等	－	－	－	－	－	－	－
3	イ	料理店等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	飲食店	6	2	－	1	1	－	10
4		物品販売店舗等	5	7	－	1	5	1	19
5	イ	旅館・ホテル等	－	－	－	－	－	30	30
	ロ	共同住宅等	－	－	－	－	－	4	4
6	イ	病院等	4	1	－	－	1	1	7
	ロ	老人短期入所施設等	3	3	2	1	1	1	11
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	5	－	1	－	－	9
	ニ	幼稚園・特別支援学校	－	－	－	－	－	－	－
7		学校	3	－	－	1	1	－	5
8		図書館等	－	1	－	－	－	－	1
9	イ	特殊浴場	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	公衆浴場	－	－	－	－	1	－	1
10		停車場等	－	－	－	－	－	－	－
11		神社・寺院等	－	－	1	－	－	－	1
12	イ	工場・作業場	－	－	7	－	2	14	23
	ロ	スタジオ	－	－	－	－	－	－	－
13	イ	駐車場等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	航空機格納庫	－	－	－	－	－	－	－
14		倉庫	－	1	－	1	2	15	19
15		事務所等	－	－	1	8	2	8	19
16	イ	特定複合用途	2	4	－	－	3	－	9
	ロ	非特定複合用途	－	－	－	－	－	－	－
17		文化財	－	－	－	－	1	1	2
合計			26	27	12	15	20	75	175

救急係

1　署別・月別救急活動状況

署別＼月別	栃木市消防署 出動件数（件）	栃木市消防署 搬送人員（人）	大平分署 出動件数（件）	大平分署 搬送人員（人）	藤岡分署 出動件数（件）	藤岡分署 搬送人員（人）	都賀分署 出動件数（件）	都賀分署 搬送人員（人）	西方分署 出動件数（件）	西方分署 搬送人員（人）	岩舟分署 出動件数（件）	岩舟分署 搬送人員（人）	合計 出動件数（件）	合計 搬送人員（人）
4月	300	266	127	103	54	46	38	36	52	51	89	78	660	580
5月	296	264	127	115	44	36	36	32	40	36	79	66	622	549
6月	330	299	137	116	59	52	43	40	42	42	88	75	699	624
7月	336	286	140	118	56	46	48	40	61	55	98	83	739	628
8月	340	293	145	134	52	46	61	52	54	49	80	74	732	648
9月	341	292	123	107	66	53	38	36	43	37	81	67	692	592
10月	293	260	131	115	52	46	37	35	45	38	88	73	646	567
11月	333	295	124	95	56	46	54	50	66	66	84	69	717	621
12月	355	301	145	125	59	48	57	53	61	55	109	91	786	673
1月	336	302	145	118	51	43	45	44	61	56	99	85	737	648
2月	277	243	139	112	62	48	36	35	44	41	88	72	646	551
3月	298	262	131	114	56	50	57	50	60	55	89	79	691	610
合計	3,835	3,363	1,614	1,372	667	560	550	503	629	581	1,072	912	8,367	7,291

2　地域別・事故種別救急活動状況

地域別＼事故種別	栃木地域 出動件数（件）	栃木地域 搬送人員（人）	大平地域 出動件数（件）	大平地域 搬送人員（人）	藤岡地域 出動件数（件）	藤岡地域 搬送人員（人）	都賀地域 出動件数（件）	都賀地域 搬送人員（人）	西方地域 出動件数（件）	西方地域 搬送人員（人）	岩舟地域 出動件数（件）	岩舟地域 搬送人員（人）	管外 出動件数（件）	管外 搬送人員（人）
火災	8	1	6	－	4	1	4	1	3	－	4	－	1	－
自然災害	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
水難	－	－	－	－	1	1	－	－	2	1	1	1	1	－
交通事故	270	261	79	72	37	35	46	40	23	20	59	56	11	4
労働災害	41	38	21	20	8	8	9	9	4	4	9	9	－	－
運動競技	25	24	2	2	4	4	3	2	1	1	6	6	－	－
一般負傷	586	539	160	137	102	91	99	92	44	43	115	101	－	－
加害	14	11	－	－	3	3	－	－	－	－	5	2	－	－

自損行為	37	28	13	11	7	4	9	5	3	3	8	2	－	－
急　　病	2,969	2,598	963	813	522	445	391	359	168	152	633	542	1	1
そ の 他	267	203	395	367	38	26	26	14	52	47	43	31	1	－
合　　計	4,217	3,703	1,639	1,422	726	618	587	522	300	271	883	750	15	5

3　事故種別・月別救急活動状況　　（単位：件）

区分 / 月別	出動件数	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
4月	660	2	－	1	45	7	4	80	－	14	446	61
5月	622	2	－	－	35	3	5	90	6	6	399	76
6月	699	－	－	1	38	10	1	86	－	3	494	66
7月	739	2	－	3	36	9	2	88	1	3	526	69
8月	732	1	－	－	53	6	6	97	1	9	490	69
9月	692	3	－	－	46	10	9	82	3	9	463	67
10月	646	1	－	－	54	7	2	95	3	6	411	67
11月	717	1	－	－	42	9	4	93	4	4	495	65
12月	786	3	－	－	48	10	2	119	1	7	526	70
1月	737	6	－	－	38	7	2	84	2	8	522	68
2月	646	2	－	－	33	7	1	105	1	4	432	61
3月	691	7	－	－	57	7	3	87	－	4	443	83
合計	8,367	30	－	5	525	92	41	1,106	22	77	5,647	822

4　事故種別・曜日別搬送人員状況　　（単位：人）

事故種別 / 曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
月	－	－	－	59	14	2	130	1	10	732	115	1,063
火	－	－	1	71	24	3	154	1	7	744	102	1,107
水	1	－	－	79	9	4	140	1	6	656	110	1,006
木	－	－	1	71	18	1	127	1	8	658	84	969

金	－	－	－	71	10	4	135	3	10	684	131	1,048
土	1	－	－	70	10	10	163	2	3	702	110	1,071
日	1	－	1	67	3	15	154	7	9	734	36	1,027
合計	3	－	3	488	88	39	1,003	16	53	4,910	688	7,291

5　月別高速道路救急活動状況

区分＼月別	東北縦貫自動車道						北関東自動車道						合　計	
	交通事故				その他		交通事故				その他			
	上　り		下　り				東行き		西行き					
	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）
4月	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－
5月	－	－	－	－	3	1	1	－	1	1	1	－	6	2
6月	－	－	－	－	1	1	－	－	1	1	－	－	2	2
7月	1	1	－	－	2	1	－	－	－	－	1	1	4	3
8月	4	2	1	1	3	3	－	－	2	1	－	－	10	7
9月	1	1	8	5	－	－	－	－	－	－	1	1	10	7
10月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
11月	2	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	4
12月	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1
1月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2月	2	2	－	－	－	－	－	－	1	－	1	1	4	3
3月	1	2	3	3	4	2	－	－	－	－	－	－	8	7
合計	12	13	12	9	14	8	1	－	5	3	4	3	48	36

6　事故種別・年齢別・程度別搬送人員状況　　（単位：人）

年齢＼事故種別		程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	生後28日未	死	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		重	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1
		中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	18	20
		軽	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	2	4
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

	満	計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	20	25
乳幼児	28日から6歳	死	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		重	－	－	－	2	－	－	－	－	－	4	－	6
		中	－	－	－	2	－	－	5	－	－	21	2	30
		軽	－	－	－	3	－	－	37	－	－	150	2	192
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	－	－	－	7	－	－	42	－	－	175	4	228
少年	7歳から17歳	死	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		重	－	－	－	1	－	－	1	－	－	1	－	3
		中	－	－	－	9	－	2	7	－	2	21	2	43
		軽	－	－	－	44	－	24	23	1	－	92	－	184
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	－	－	－	54	－	26	31	1	2	114	2	230
成人	18歳から64歳	死	－	－	－	－	1	－	1	－	4	15	－	21
		重	－	－	－	6	2	－	3	－	4	68	30	113
		中	－	－	－	63	27	2	46	1	17	445	127	728
		軽	－	－	－	200	39	8	121	8	13	647	13	1,049
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	－	－	－	269	69	10	171	9	38	1,175	170	1,911
老人	65歳以上	死	－	－	－	－	－	－	5	－	2	102	－	109
		重	－	－	－	11	1	－	30	－	6	289	112	449
		中	2	－	1	48	11	－	414	2	3	2,015	363	2,859
		軽	1	－	2	99	7	3	310	4	2	1,035	17	1,480
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	3	－	3	158	19	3	759	6	13	3,441	492	4,897

※程度（死・重・中・軽・他）について

略語の意味　　内容説明（初診医による重症度評価より）

① 「死」は死亡を示す　：初診時において、死亡が確認されたもの

② 「重」は重症を示す　：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

③ 「中」は中等症を示す：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの

④ 「軽」は軽症を示す　：傷病の程度が入院を必要としないもの

⑤ 「他」はその他を示す：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

第１３章　教育委員会事務局

第１節　教育総務課

〔総括概要〕

教育総務課の主な分掌事務は、教育委員会の総合的な企画調整、教育委員会の会議、奨学金制度の運用、教育計画の進行管理、小中学校の適正配置などである。

教育委員会の会議については、定例会及び臨時会を開催するとともに、学校訪問を実施し、市内小中学校の状況把握に努めた。また、教育委員会の活動を広く市民に周知することを目的に、「栃木市教育委員会だより」を年2回発行し全戸配布した。

奨学金制度については、貸与型の「ゆめ応援奨学金」及び定住促進を目的として要件を満たすことで返還を免除する「住まいる奨学金」のほか、給付型の「とちぎ吾一奨学金」を運用した。また、奨学金制度利用者の拡大を図るため、「ゆめ応援奨学金」における所得要件の撤廃を実施した。

学校適正配置については、将来の学校の在り方を見据えた「栃木市立小中学校適正配置基本構想」に基づき、本市の学校適正規模の基準に満たない小中学校において、統合の合意形成が図られた地域で統合を進めた。

令和４年度においては、皆川中学校・吹上中学校・寺尾中学校の合同地元代表協議会を設置し、統合を進めることの合意形成が為された。令和５年度には、統合準備会を設立し、統合の時期を令和８年４月１日とすることに決定した。また、教育委員会、庁議を経て、統合中学校名を栃木北中学校とし、学校設置条例の一部改正を行った。令和６年度には、統合準備会及び作業部会において、校章、制服、校歌制作者が決定し、令和７年度には、スクールバス運行経路及び校歌が決定した。

学校現場の業務適正化については、多忙化が進む学校現場において、教職員が子どもと向き合う時間を確保することを目的に策定した「栃木市版　先生の働き方改革ガイドライン」の具体的な取組として、留守番電話による時間外電話対応やタイムレコーダーによる出退勤管理を行った。

教育計画については、計画的かつ効果的な教育行政を推進するため、令和５年度からの第３期栃木市教育計画を策定し、教育計画の進行管理を行っている。

教育総務係

1　教育委員会規則等の制定、改廃件数　14件

2　教育委員会の開催状況

開催日	定例会 臨時会 の別	付議件数（件）			備　考
		議案	協議	報告	
4月24日(木)	定　例　会	5	－	－	

5月26日(月)	定　例　会	8	5	2	
6月27日(金)	定　例　会	2	－	－	
7月25日(金)	定　例　会	3	－	－	
8月　8日(金)	臨　時　会	1	－	－	
8月25日(月)	定　例　会	1	1	1	
9月26日(金)	定　例　会	1	－－	－	
10月24日(金)	定　例　会	2	3	－	
11月25日(火)	定　例　会	3	1	－	
12月23日(火)	定　例　会	4	－	－	
1月23日(金)	定　例　会	－	－	－	
2月24日(火)	定　例　会	6	－	－	
3月27日(金)	定　例　会	7	1	1	

3　教育委員会の構成

職名	氏名	性別	就任年月日 任期満了日	備考
教育長	青　木　千津子	女	平成30年6月11日 令和　9年6月10日	平成30年6月11日 教育長に就任
教育長職務代理者	後　藤　正　人	男	平成22年5月19日 令和　8年5月18日	平成30年6月11日 職務代理者に就任
委員	五十嵐　幸　男	男	令和　7年5月19日 令和11年5月18日	
〃	西　脇　はるみ	女	平成28年5月19日 令和10年5月18日	
〃	大　塚　裕　子	女	令和　5年5月19日 令和　9年5月18日	
〃	舘　野　知　美	女	令和元年11月25日 令和　9年11月24日	
〃	岩　崎　好　宏	男	令和　7年5月19日 令和11年5月18日	

4　要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。また、就学援助費目の新入学児童生徒学用品費については、入学する年度の開始前である3月に支給を行った。

	対象者 （人）	支給額 （円）
小学校	539	33,767,659

中学校	318	35,574,762
合計	857	69,342,421

5　特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

	対象者（人）	支給額（円）
小学校	152	4,735,116
中学校	91	4,514,397
合計	243	9,249,513

6　遠距離通学児童生徒援助事業

遠距離通学児童生徒通学費補助金の交付状況

小学校　4㎞以上　　中学校　6㎞以上

	対象者（人）	支給額（円）
都賀中	1	4,000
西方中	2	8,000
合計	3	12,000

7　栃木市奨学金の貸与・給付

経済的理由により修学が困難な方で、高等学校、高等専門学校、専修学校高等課程・専門課程、短期大学、大学の入学予定者及び在学者に対し、貸与型奨学金として「ゆめ応援奨学金」事業を実施した。

同様に、経済的理由により修学が困難な方で、高等専門学校（第4学年以上及び専攻科）、専修学校専門課程、短期大学、大学の入学予定者及び在学者に対し、卒業後1年以内に本市に居住し、引続き5年間居住した時点で奨学金の返還を免除する定住促進奨学金として「住まいる奨学金」事業を実施した。

また、経済的理由により就学が困難な方で、市内の高等学校・特別支援学校の校長の推薦を受けた学生に、給付型奨学金として「とちぎ吾一奨学金」を給付した。

(1)　奨学金月額

	区　分		月額（円）
貸与型奨学金（ゆめ応援奨学金）	高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程		12,000
	高等専門学校専攻科 専修学校専門課程 短期大学 大学	自宅通学	30,000
		自宅外通学	40,000

定住促進奨学金 （住まいる奨学金）	高等専門学校専攻科 専修学校専門課程 短期大学 大学		20,000
給付型奨学金 （とちぎ吾一奨学金）	高等専門学校専攻科 専修学校専門課程 短期大学 大学		30,000

(2)　奨学金の貸付状況　　（単位：人）

	区　分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
貸与型 奨学金	高等学校	－	－	－				－
	高専	－	－	－	－	－		－
	専門学校	－	－	－	－			－
	短期大学	－	－					－
	大学	－	1	－	－	－	－	1
	合計	－	1	－	－	－	－	1
定住促進 奨学金	高専	－	－	－	－	－		－
	専門学校	1	1	1	－			3
	短期大学	1	－					1
	大学	2	5	5	5	－	－	17
	合計	4	6	6	5	－	－	21
給付型 奨学金	高専	_	_	－	－	－		－
	専門学校	3	－	－	－			3
	短期大学	－	－					－
	大学	3	2	1	－	－	－	6
	合計	6	2	1	－	－	－	9

(3)　栃木市奨学基金の状況(単位：円)

基金額	130,888,868
貸付金額	67,405,000
現金額	63,483,868

(4)　栃木市篤志奨学基金の状況(単位：円)

基金額	61,018,612

8　叙位・叙勲の申請・伝達等

教育職員に関する叙位叙勲の申請、伝達等を行った。

・叙位　3件　・叙勲　5件

教育政策係

1　教育委員会点検評価の実施

本市名誉市民である山本有三の遺した言葉や精神を「生命尊重・人権尊重」や「絆」に繋がるものとして教育振興の中核に据え、本市教育の在り方を示す「第3期栃木市教育計画」に基づく令和6年度の各種事業の取組状況等について、学識経験者をはじめ各分野から選出された点検評価委員による助言や意見をもとに、教育委員会としての点検評価を実施し、8月29日の議会への報告を経て、ホームページ上で公開した。

2　栃木市教育委員会だよりの発行

教育委員会としての役割を明確にし、教育委員会の会議や活動内容等を広く市民に広報するため、「栃木市教育委員会だより」を2回発行し、全戸配布を行った。

	「栃木市教育委員会だより」
発行	広報とちぎ折込（9月、3月号）
形式	A4判
発行部数	各52,100部（全戸配布）

3　学校適正配置の推進

栃木市独自の学校適正規模の基準を定めた「栃木市立小中学校適正配置基本方針」に基づき、学区審議会の答申を基に、平成31年1月に「栃木市立小中学校適正配置基本構想」を策定した。

学校適正規模の基準に満たない小中学校について、統合の合意形成が図られた地域のうち、藤岡地域と岩舟地域（小野寺地区）を対象に統合準備会を設置し、統合校開校に向けて統合時期や校歌、制服等について協議した。協議結果を踏まえ、令和2年4月1日小野寺小学校が開校し、令和4年4月1日に藤岡中学校が開校した。

令和4年度においては、皆川中学校・吹上中学校・寺尾中学校の合同地元代表協議会を設置し、統合を進めることの合意形成が為された。令和5年5月には、統合準備会を設立し、統合の時期を令和8年4月1日とすることに決定した。7月には、中学校区ごとに保護者と地域への説明会を実施するとともに学校名の募集を行い、第2回の統合準備会において校名候補を2点に絞り、教育委員会、庁議を経て、統合中学校名を栃木北中学校とし、令和5年12月議会において、学校設置条例の一部改正を行った。令和6年度には、統合準備会及び作業部会において、校章、制服、校歌制作者が決定した。また、令和7年度には、スクールバス運行経路及び校歌が決定した。

小規模特認校については、大宮南小学校、国府南小学校の2校に制度を適用している。ただし、国府南小学校は毎年、小規模特認校制度の成果検証を行い、制度の継続及び統廃合について協議する。

4　学校運営協議会制度の推進

制度導入９年目となるが、保護者や地域住民の学校運営への参画が更に促され、各学校の特色を生かした‘地域とともにある学校づくり’が積極的に展開された。

また、市内の 10 地域で設置されている「とちぎ未来アシストネット地域教育協議会」と中学校区で行われる「合同学校運営協議会」の連携が図られ、‘地域ぐるみで支える義務教育９年間の学び’「小中一貫コミュニティ・スクール」の充実が図られた。

5　学校現場の業務適正化の推進

学校現場の業務適正化の推進については、これまでの取組や勤務実態・意識調査の結果を踏まえ、令和５年４月に改訂した「栃木市版 先生の働き方改革ガイドライン」に基づき取り組んでいる。

校長会、教頭会、教務主任会、学校事務研究会、学校運営協議会の代表者で構成する働き方改革プロジェクトチーム会議では、業務改善等の推進における PDCA サイクルの支援や学校、家庭、地域への広報・啓発の推進に取り組んでいる。

また、教職員の時間外勤務実態を客観的に把握する手段として、市内全小中学校にタイムレコーダーを設置している。更に、学校事務の標準化により安定した事務処理が行えるよう、共同学校事務室を市内７か所に設置している。

過労死ラインを超える教職員の割合については、令和７年度は 3.0%であり、前年度との比較において大きな変化が見られ、人数は、16 名も減少した。

6　運動部活動の地域移行の推進

適切なスポーツ環境の確保と教員の負担軽減を図ることを目的として、休日における部活動の地域移行については､地域や学校の実情に応じて段階的に推進することとした。

令和４年 12 月に設置した「栃木市運動部活動の地域移行検討会議」での協議により、令和５年度に中学校２校４部活において実証事業を実施する方向付けがなされた｡また、国の補助事業である「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」の指定を受け、令和５年度は、国指定の実証事業を実施することとなった。

実証事業については、新チームとなる９月から実践研究を実施した。２校４部活の休日における活動に、運営団体である２つの総合型地域スポーツクラブ所属の地域指導者を派遣した。指導に当たっては、平日と休日の一貫した指導体制の構築のため、顧問と指導者による指導方針や指導方法のすり合わせ等の連携を図った。また、クラブコーディネーターにより、顧問と指導者の円滑なコミュニケーションを支援した。

また、令和５年度は、本市「部活動の地域移行」の方向性や目標等を示した基本方針を３月に策定した。

令和６年度は、５校９部活に拡充した実践研究に取り組んだ。また、策定された基本方針のもと、中学校校長、スポーツ団体、保護者及び市職員の代表で構成される推進会議を計３回開催し、実証事業の検証・改善及び基本方針で課題となっていた教員等兼職兼業についての運用マニュアルの作成を行った。

令和７年度は、運営団体との連携のもと、人材確保に努めながら、10 校 22 部活とさらに拡充した実践研究に取り組んだ。

第２節　学校教育課

〔総括概要〕

栃木市総合計画「基本方針・3」に基づき、人生の礎となる「生きる力」を身に付けた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施し、未来を担う栃木市の子どもが「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を育むことを目指した。

まず、学力向上については、教員の授業力の向上に向けたリーフレット「とち介の学び」をもとに、訪問の要請を受けた小中学校に対して指導助言を行った。3学期には、市内全42小中学校に対して、指導主事による学力向上に係る学校訪問を実施し、校長と学習指導主任から各校の成果と課題を確認した。また、令和7・8年度の2か年、大平南ブロックを学力向上推進研究校に指定し、主体的に考え、学びに向かう子どもの育成を目指した研究を推進した。

更に、ＧＩＧＡスクール構想により、令和3年度に児童生徒一人につき一台のタブレット端末が市内全校に配備され、本年度においても、各校において、授業等での端末の活用が一層進んだ。

小中一貫教育については、「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、市内13の中学校ブロックで、小中合同研修会や推進委員会、合同学校運営協議会を開催し、地域ぐるみでの小中一貫教育を推進した。

人権教育については､栃木南ブロックの小中学校を人権教育実践研究校に指定し、2か年の研究の最終年度として､「認め合おう 自分と仲間の 輝く未来のために～差別を自分事として捉え、その解消を目指す児童生徒の育成～」を目指した研究を推進し、公開研究発表会を実施した。

グローバル教育については、小学校では、1つの学校に複数の外国語指導助手（ＡＬＴ）が一日訪問し、全児童が英語によるコミュニケーション活動を体験する「グローバルデー」を4校で実施、中学校では、市内の全生徒がＡＬＴと1対1でコミュニケーションを体験する「コミュニケーションチャレンジ」を実施した。更に、多面的・多角的な視点から物事を捉え、考えを伝え合う力の育成を目指した「グローバル教育プログラム」を市内全校で実施するなど､本市グローバル教育の基本理念「多様な他者と協働して課題を解決できる児童生徒の育成」の具現化に向けた実践と研究を推進した。

いじめ対策の取組としては、いじめ問題に対する児童生徒の主体的な行動を推進することを目的とし「“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラム」をオンラインで開催した。

ＩＣＴ教育環境の整備では、ＧＩＧＡスクール構想により導入したタブレット端末等の情報通信機器の保守管理、教育用コンピュータ賃貸借の更新等を行い、ＩＣＴ教育環境の向上に努めた。

学務係

1　学務に関する事業

(1)　児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況　（単位：人）

区　分	小学校		中学校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
令和6年5月1日	6,907	338	3,684	151
令和7年5月1日	6,821	337	3,531	148
比　較	-86	-1	-153	-3

(2)　教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務　（単位：冊）

区　分		冊　数
小学校	前期用	61,819
	前期転学用	227
	後期用	12,252
	後期転学用	311
中学校	前期用	34,626
	前期転学用	90
	後期用	-
	後期転学用	124
合　計		109,449

(3)　教師用教科書及び指導書等購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区　分	冊数（冊）	費用（円）
教師用教科書　前後期用	2,153	1,200,716
教師用指導書等（デジタル教材含む） 前後期用	1,030	32,786,820
合　計	3,183	33,987,536

(4)　臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて学校教育活動を行う、臨海自然教室を実施する事業である。令和7年度は市内28校で実施した。

（1校は隔年実施のため本年度未実施）

(5)　特色ある学校づくり奨励補助金事業

学校独自の「特色ある学校づくり」を推進することを目的として、学校が実施する特色ある教育活動に要する経費に対し、補助金を交付した。

・市内37の小中学校で実施、交付金額1,500,000円

教職員係

1　教職員に関する事業

(1)　教職員の人事事務（県費負担職員）

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

（のべ人数　単位：人）

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
132	63	191	44	36
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
17	8	0	28	52

(2)　教職員の服務・管理に関する事務（県費負担職員）

・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
・人事異動に伴う事務
・学級編制に関する事務
・学校事故に関する事務
・各種選考試験に関する事務
・教職員評価制度に関する事務
・表彰に関する事務
・公務災害に関する事務
・教員免許制度に関する事務
・教職員の履歴に関する事務

(3)　教職員の給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者の記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されている者はいないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4)　教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員団体に関する事務を行った。

指導係

1　指導に関する事業

(1)　学校訪問指導

学校運営、学習指導、児童生徒指導、人権教育等に関して指導した。

ア　共同訪問

栃木第三小、国府北小、大平中央小、西方小、真名子小、都賀中、西方中、岩舟中

イ　研究学校

(ｱ)　市指定人権教育実践校

・栃木第四小、南小、栃木南中

(ｲ)　市指定学力向上推進研究校

・大平南小、大平中央小、大平南中

ウ　学校訪問実施状況

No	学校名	教科等	期日		備考
1	栃木中央小	体育、国語	11月 6日	木	
2	栃木第三小	教科等（3授業）	10月 23日	木	共同訪問
3	栃木第四小	社会	11月 7日	金	人権教育実践校公開研
4	栃木第五小	国語、総合	11月 18日	火	
5	南小	道徳、総合	11月 7日	金	人権教育実践校公開研
6	大宮南小	講話	5月 21日	水	学校課題について
7	大宮南小	講話	6月 17日	火	グローバル教育プログラムについて
8	大宮北小	講話	6月 4日	水	評価について
9	大宮北小	国語、総合	11月 19日	水	
10	皆川城東小	講話	7月 29日	火	グローバル教育プログラムについて
11	吹上小	講話	5月 7日	水	グローバル教育プログラムについて
12	吹上小	講話	7月 31日	木	グローバル教育プログラムについて
13	吹上小	国語	10月 17日	金	
14	千塚小	社会	11月 19日	水	
15	寺尾小	講話	7月 2日	水	グローバル教育プログラムについて
16	寺尾小	総合	10月 29日	水	
17	国府南小	講話	6月 11日	水	算数科の授業づくりについて
18	国府南小	算数	11月 12日	水	
19	国府北小	教科等（3授業）	6月 18日	水	共同訪問
20	国府北小	自立活動	11月 5日	水	
21	大平東小	国語(模擬授業)	6月 4日	水	
22	大平東小	国語	10月 29日	水	
23	大平南小	国語	7月 3日	木	
24	大平南小	国語	12月 10日	水	
25	大平西小	講話	7月 25日	金	学校課題について
26	大平西小	国語	10月 1日	水	

27	大平西小	算数	10月22日	水	
28	大平中央小	教科等（5授業）	9月17日	水	共同訪問
29	藤岡小	生活科	5月28日	水	
30	藤岡小	総合	11月 5日	水	
31	部屋小	講話	6月23日	月	学校課題について
32	部屋小	算数	11月25日	火	
33	赤麻小	講話	6月27日	金	グローバル教育プログラムについて
34	赤麻小	社会	10月22日	水	
35	三鴨小	算数	12月22日	月	
36	合戦場小	講話	5月28日	水	国語科の授業づくりについて
37	合戦場小	国語	9月24日	水	
38	家中小	講話	6月 4日	水	グローバル教育プログラムについて
39	家中小	算数	11月12日	水	
40	赤津小	指導案検討（社会）	10月 8日	水	
41	赤津小	社会	11月26日	水	
42	西方小	教科等（2授業）	7月 9日	水	共同訪問
43	西方小	国語	11月12日	水	
44	真名子小	講話	6月11日	水	すくすくシートについて
45	真名子小	教科等（2授業）	10月 3日	金	共同訪問
46	岩舟小	算数、道徳	10月10日	金	
47	静和小	算数	10月29日	水	
48	小野寺小	社会	10月29日	水	
49	栃木東中	講話	4月30日	水	グローバル教育プログラムについて
50	栃木東中	道徳	12月 5日	金	
51	栃木西中	講話	5月28日	水	グローバル教育プログラムについて
52	栃木南中	道徳	11月10日	月	人権教育実践校公開研
53	東陽中	講話	7月30日	水	グローバル教育プログラムについて
54	皆川中	講話	7月31日	木	評価について
55	皆川中	社会	11月12日	水	
56	吹上中	指導案検討（保健体育）	9月 8日	月	

57	寺尾中	講話	8月 1日	金	グローバル教育プログラムについて
58	寺尾中	指導案検討（理科）	8月 1日	金	
59	寺尾中	理科	10月 9日	木	
60	大平中	数学	9月 5日	金	
61	大平中	社会	12月 10日	水	
62	藤岡中	社会	9月 16日	火	
63	藤岡中	道徳	12月 9日	火	
64	都賀中	教科等（3授業）	7月 2日	水	共同訪問
65	西方中	講話	8月 1日	金	グローバル教育プログラムについて
66	西方中	理科	9月 10日	水	
67	西方中	教科等（2授業）	11月 13日	木	共同訪問
68	岩舟中	教科等（3授業）	11月 26日	水	共同訪問

・学校課題　【別表】学校課題・研究主題等一覧参照

(2)　教育研究発表会

市内の保育園、認定こども園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員を対象に、学校や個人等で取り組んできた教育実践研究の成果を発表して共有し、教職員の資質及び指導力の向上並びに市内の園児・児童・生徒の健全な育成を図ることを目的に行った。

・発表方法　　録画による動画の限定配信（口頭発表）
　　市教育研究所ホームページへの文書データの掲載（紙上発表）
・配信日時　　1月23日（金）午前10時～2月27日（金）
・口頭発表　　12件（小学校5件、中学校2件、高等学校4件、人権教育実践校1件）
・紙上発表　　10件（小学校6件、中学校3件、高等学校1件）

(3)　人権教育研修

各人権課題に対する人権教育主任としての見識を高め、教職員としての資質向上を図るために小中学校の人権教育主任等を対象に人権教育研修会を開催した。

また、栃木南ブロックの小中学校を人権教育実践校に指定し、人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成を目指した実践的な研究を実施した。

ア　第1回人権教育研修会

・実施日　7月14日（月）～8月29日（金）
・方　法　オンデマンド配信
・内　容　栃木県の人権教育の推進について
　　下都賀教育事務所学校支援課　飯塚　寛　指導主事
・参加者　各小中学校の人権教育主任

イ　第2回人権教育研修会

・実施日　11月7日（金）、11月10日（月）

・内　容　市指定人権教育実践校の人権教育公開研究発表会への参加
・参加者　各小中学校から1名ずつ

ウ　研究指定校（栃木南ブロック：栃木南中、栃木第四小、南小）での取組

(ｱ)　公開研究発表会の実施

・実施日　11月 7日（金）栃木第四小、南小
11月10日（月）栃木南中

・内容　全体会
公開研究授業
栃木南中：道徳　栃木第四小：社会
南小：総合的な学習の時間、道徳
分科会

(ｲ)　研究推進委員会と研究企画部会の開催

・小中学校が連携した研究を推進するための会議の実施
研究推進委員会（校長、教頭、教務主任、研究担当者）
実施回数 2回　5月15日（木）、2月16日（月）
研究企画部会（教務主任、研究担当者）
実施回数 2回　4月24日（木）、9月19日（金）

(4)　特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法や校内支援体制の整備について学び、資質の向上を図るため、研修会等を開催した。

ア　特別支援教育コーディネーター連絡会議
・実施回数　1回
・対　象　特別支援教育コーディネーター　参加者42名

イ　児童生徒支援研修会
・実施回数　1回
・対　象　特別支援教育コーディネーター　児童生徒指導担当　参加者84名

ウ　通級指導教室担当者研修会
・実施回数　1回
・対　象　通級指導教室担当者　参加者15名

エ　通級指導教室担当者事務連絡会議
・実施回数　1回
・対　象　通級指導教室担当者　参加者18名

オ　学校支援員等研修会
・実施回数　2回
・対　象　学校支援員　学校支援員（医療的ケア）　個別指導通級教室支援員
参加者67名

カ　特別支援教育研修会
・実施回数　1回
・対　象　特別支援学級担当者　参加者89名

キ　臨床心理士や学校教育支援専門員による全校巡回訪問支援等

(5)　幼・保・小連絡協議会

栃木市内の保育園、認定こども園及び小学校の連携を図ることにより、幼児・児童の教育効果を一層高めるために、研修会等を計画した。

ア　代表者会議（年2回）

第1回は書面開催、第2回はオンラインにて実施

イ　研修会

実施回数　2回

参加者　保育園・認定こども園・小学校・特別支援学校教職員

第1回（都賀公民館）　計64名

第2回（都賀公民館）　計65名

ウ　幼保小教職員相互職場体験研修

保育園・認定こども園から小学校へ　27名

小学校から保育園・認定こども園へ　29名

(6)　地域ぐるみ児童生徒指導

児童生徒の健全育成を図るため、学校と家庭、地域が連携し、各中学校区での情報交換や教育講演会の開催、小・中・高の異校種間による合同研修会等を実施した。

ア　13中学校区児童生徒指導連絡協議会等

各中学校区で教育講演会や健全育成推進活動等を展開

・実施期間　6月～2月

イ　栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換や合同研究会を開催

・実施期間　4月～3月

ウ　児童生徒支援研修会

小学校児童指導主任、中学校生徒指導主事、特別支援教育コーディネーターによる合同研修会を開催

・実施日　8月8日（金）

エ　各部会

部会名	実施回数または実施日
中学校部会	毎月1回
中・高部会	11月11日（火）

(7)　教育支援センターに関する事務

教育支援相談員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校復帰を含む社会的自立に向けた指導及び支援を行ったほか、保護者に対する教育相談を行った。

・教育支援センター通級人数　35人（学校復帰人数34人）

（単位：件）

来所相談	1,767
電話相談	962

学校訪問	43
家庭訪問	1
合　　計	2,773

(8)　スクールソーシャルワーカー配置事業

社会福祉の専門的な知識技術を有するスクールソーシャルワーカーを2名配置し、学校内や家庭生活において問題を抱える児童生徒に対して、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、問題の解決を図った。

ア　実施状況

・対応件数　36件（うち終結した件数15件、他機関へ引き継いだ件数1件、引き続き対応している件数20件）

(9)　防災教育推進事業

児童生徒が災害発生時に、自ら危険を予測し回避するために、災害に関する知識に基づいて的確に判断し、迅速に行動する力や、自他の生命を尊重し、最善を尽くし「主体的に行動する」態度を育成するための防災教育の充実を図った。

ア　栃木市防災教育基本プログラムの活用

・各校の各教科等の年間指導計画上に防災教育との関連を明記、栃木市防災教育基本プログラムを活用した防災教育の系統的・計画的な実施（実施校数42校）

イ　実践的体験活動の充実

・緊急地震速報等を活用した実践的な避難訓練を実施（実施校数42校）

(10)　小中一貫教育推進

「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、平成29年度から市内全小中学校で実施している。

各中学校ブロックで設定した目指す子ども像の実現のために、重点目標を設定しブロックならではの義務教育9年間の一貫性のある教育を推進した。

ア　各ブロック重点目標

No	ブロック名	重点目標
1	栃木東ブロック	・学び合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりできる子どもの育成（振り返り活動の充実） ・目標に向かって主体的に行動したり協働したりできる子どもの育成（自己有用感を高める系統的な行事・生徒指導の積み重ね）
2	栃木西ブロック	・主体的に学びに向かう子どもの育成 ・自ら進んで「あいさつ」のできる子どもの育成 ・基本的な生活習慣を身に付けた子どもの育成
3	栃木南ブロック	・みずからよく考え、共に学び、自信をもって表現できる子どもの育成
4	東陽ブロック	・多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ・多様な人との交流を通して自他の存在を尊重し、共に成長

		する子どもの育成
5	皆川ブロック	・よりよい言語活動（話す・聞く）による他者との協働的な学びの充実 ・目的や相手を明確に意識して筋道を立てた表現力の向上
6	吹上ブロック	・ＩＣＴ活用や協働的学習を通して、意欲的に学ぶことができる児童生徒の育成 ・他者とのコミュニケーションを大切にし、積極的に学校生活を送ることのできる児童生徒の育成
7	寺尾ブロック	・令和4・5年度栃木市教育委員会指定「人権教育実践研究校」として取り組んできた成果を生かしながら明確となった課題を解決するために、『寺尾ブロックの小中一貫教育』グランドデザインに沿って、『目指す子ども像』の育成を図る ・目指す子ども像を小中の両校が同じく設定して、より一層小中教職員の同僚性を高め、主体的に学習に取り組み、生き生きと自己表現する児童生徒の育成を図る
8	大平ブロック	・主体的に学習に取り組み、自分の考えを相手に伝えられる子供の育成 ・互いに尊重し合い、豊かな人間関係を築ける子供の育成 ・食に関する正しい知識と、望ましい食習慣を身に付けられる子供の育成
9	大平南ブロック	・教育の効果や連続性を高める教職員・児童生徒の交流・協働の推進 ・発達段階に応じた規範意識の高揚と実践 ・自他尊重の精神の育成 ・自己有用感の育成
10	藤岡ブロック	・いろいろな人と一緒に学びながら、自分の目標を達成したり疑問を解決したりしていく ・みんなのいろいろな考えを大切にしながら、話し合って決め、力を合わせて実行する ・自分の心や体の健康と命を守るための行動や運動を続ける（習慣にする）
11	都賀ブロック	・主体的・協働的に課題解決できる子どもの育成 ・互いに尊重し合い、豊かな人間関係が築ける子どもの育成 ・運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上を目指す子どもの育成
12	西方ブロック	・友達の良いところや自分の意見との違いに気づき、自分の考えを表現することができる子どもの育成 ・基本的な生活習慣を身につけた子どもの育成

		・西方ブロック学力向上推進研究の推進と授業研究発表
13	岩舟ブロック	・表現力の向上と家庭学習の充実 ・「礼儀正しい岩舟中学区生」の育成 ・「子どもの自己有用感を高めるための方策」を考える ・正しい姿勢を身に付け、学習や健康の増進の意欲を高めようとする子ども

イ　各ブロック小中合同研修会

中学校ブロックの教員が合同で重点目標の達成に向けて研修会を実施した。

No	ブロック名	実施日
1	栃木東ブロック	① 5月21日（水）　② 7月31日（木）　③12月 5日（金） ④ 2月 4日（水）
2	栃木西ブロック	① 8月 5日（火）
3	栃木南ブロック	① 7月30日（水）
4	東陽ブロック	① 5月27日（火）　② 8月 1日（金）
5	皆川ブロック	① 5月 7日（水）　② 6月11日（水）　③ 7月29日（火） ④11月12日（水）　⑤ 1月23日（金）
6	吹上ブロック	① 5月28日（水）　② 7月31日（木）
7	寺尾ブロック	① 5月 7日（水）　② 8月 1日（金）　③ 1月14日（水）
8	大平ブロック	① 6月 5日（木）　② 7月29日（火）　③12月 5日（金） ④ 1月15日（木）　⑤ 1月23日（金）　⑥ 3月19日（木）
9	大平南ブロック	① 5月16日（金）　② 7月31日（木）　③ 1月21日（水）
10	藤岡ブロック	① 6月 4日（水）　② 7月29日（火）　③11月12日（水）
11	都賀ブロック	① 5月 7日（水）　② 7月31日（木）　③ 2月 4日（水）
12	西方ブロック	① 5月 9日（金）　② 7月31日（木）　③ 9月10日（水） ④11月12日（水）
13	岩舟ブロック	① 5月 9日（金）　② 8月 4日（月）　③ 8月 5日（火） ④ 9月22日（月）　⑤ 9月29日（月）　⑥12月 2日（火） ⑦ 1月29日（木）　⑧ 2月 5日（木）

【別表】学校課題・研究主題等一覧

学校名	学　校　課　題　・　研　究　主　題	教科等	備　考
栃木中央小	「主体的・対話的に学びを深める児童の育成」 ～表現力を高める指導法の工夫～	国語科を基盤とした各教科	
栃木第三小	思いやりの心をもち、互いに助け合い協力し合う児童の育成 ～「話したい」「知りたい」「語り合いたい」を育むための授業づくり～	全教科	

栃木第四小	「自らよく考え、分かりやすく表現し、共に学び合う児童の育成」 ～ユニバーサルデザインの視点を生かして～	全教科（全領域）	人権教育実践校
栃木第五小	思考力・判断力・表現力を育成する指導法	国語、総合的な学習の時間	
南小	互いのよさや可能性を認め合い、相手の気持ちを考えて行動できる子どもの育成	学級活動、道徳、総合的な学習の時間	人権教育実践校
大宮南小	主体的に学び、自分の考えを表現できる子どもの育成 ～根拠をもって自分の考えを伝え合う活動を通して～	国語、算数、理科、社会、総合	
大宮北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ～学習意欲を高め、児童が互いに学び合う授業をめざして～	教科を限定しない	
皆川城東小	「学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育の推進」 ～自他のよさを認め、共に学び高め合う児童生徒の育成～	よりよい言語活動（話す・聞く）	
吹上小	自分の考えをもち、学び合う子どもの育成 ～課題解決に向けて協働する授業を目指して～（2年次）	全教科	
千塚小	自分の思いや考えを、自分の言葉として話すことができる児童の育成	教科を限定しない	
寺尾小	対話を通して、自分の考えを深められる児童の育成 ～相手意識をもったきく（聴く、訊く）スキルの向上を目指して～	総合、学級活動	
国府南小	多様な考えや情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成～「できた」「わかった」喜びを実感できる算数科の授業づくり～	算数	
国府北小	「できた」「わかった」が実感できる児童主体の授業づくりと確かな学力の育成	教科を限定しない	

大平東小	主体的に学び、いきいきと表現する児童の育成 ～国語科の授業改善を通して～	国語	
大平南小	「主体的に課題に取り組み、自分の考えを表現できる子どもの育成」～読解力の育成を中心として～	国語科	学力向上推進研究校
大平西小	「児童が深く学んだことを生き生きと表現する姿を目指して」 ～思考力・判断力・表現力を育成するための授業改善～	全教科	
大平中央小	自ら考えをもち、主体的に表現できる児童の育成 ～読解力を生かして～	国語科	学力向上推進研究校
藤岡小	児童の話し合う力・表現する力を伸ばす研究 ～生活・総合と各教科とのつながりを通して～	生活科 総合的な学習の時間	
部屋小	粘り強く学習に取り組み、学び方をブラッシュアップできる児童の育成 ～主体的に学習に取り組む態度の育成に向けて～	全ての教科対象	
赤麻小	自ら考え、思いや考えを分かりやすく伝え合う力を高める指導の工夫 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学校課題の工夫・改善を通して～	全教科を通して研究を行う	
三鴨小	つながりのある学びの展開 ～数学的な見方・考え方を働かせ、考えを表現することのできる算数科授業づくり～	算数	
合戦場小	自分の思いや考えを深め、表現できる児童の育成 ～自分の思いや考えをもち、自信をもって発表するための指導の工夫～	国語	
家中小	自分の考えをもち、共に学び合う子供の育成 ～分かる喜びと学ぶ楽しさを感じさせる算数科の授業づくりを通して～	算数	
赤津小	児童の話し合う力を高める学習指導の在り方 ～深い学びの実現に向けて～	教科は問わない	

西方小	学び合う力を高める学習指導の在り方～文章全体を捉えて読み、自分の考えを広げ、学びを楽しむ指導の工夫・改善～	国語科	
真名子小	自分の考えを深め合う授業づくり ～考えを整理するための「書く」活動の工夫～	国語・算数	
岩舟小	自分の考えを表現できる児童の育成 ～教科に応じた手立ての在り方～	国語・算数・社会・理科・道徳	
静和小	算数科における基礎的・基本的な学力向上を目指した学習指導の工夫	算数科	
小野寺小	自分の思いや考えを表現する力を育む指導の工夫 ～ふるさとのよさを発信できる児童の育成をめざして～	社会科、生活科、総合的な学習の時間	ＮＩＥ推進事業活用
栃木東中	見方・考え方を働かせ、進んで学び合う生徒の育成 ～グローバル教育プログラムの充実を通して～	全ての教科等	
栃木西中	「主体的に学びに向かう生徒の育成」 ～多面的・多角的な見方や考え方を通して～	全教科・領域	
栃木南中	生徒が自ら課題を見つけ、自主的に学習に取り組むための学習支援の充実 ～多様な考えを認め合い、学び合いの中で自己の考えを深める生徒の育成～	全教科	人権教育実践校
東陽中	「主体的・対話的で深い学びに導く授業の創造」 ～できた・分かったが実感できる「振り返り」の実施による達成感の得られる授業づくり～	全教科	
皆川中	・学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育推進～自他のよさを認め、共に学び高めあう児童生徒の育成～ ・主体的に考え表現し、自ら学ぶ意欲を育てる生徒の育成～ＵＤ化、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善、9者の一体化	国語・社会・数学・理科・英語・音楽・保健体育・総合的な学習	
吹上中	主体性を伸ばすための指導の工夫	全教科	

寺尾中	「主体的に学習に取り組み、生き生きと自己表現する生徒の育成」 ー栃木市グローバル教育の実践を通してー	「各教科等」を中心とする。	
大平中	「できた」「わかった」を実感できる授業づくり（1年次）	国語・社会・数学・理科・英語 音楽・美術・保健体育・技術家庭	
大平南中	「主体的に学び、互いに高め合う生徒の育成」 ～自ら課題を設定し、自分の考えをきちんと発信できる生徒の育成～	全教科	学力向上推進研究校
藤岡中	教科横断的な視点に立った学習プログラムの開発と実践 ～互いの考えを練り合い、自信をもって伝え合うことができる生徒の育成～	全教科	
都賀中	「きく力」「つたえる力」「ねばり強く取り組む力」の育成～課題解決ができる生徒を目指して～	全ての教科・領域	
西方中	学び合う力を高める学業指導の在り方 ～学びを「つなげる」ことを通して主体的に学習に取り組む生徒の育成	各教科	
岩舟中	自分の考えをもち、自分らしい目標実現を目指して、いきいきと主体的に学びに向かう生徒の育成 ～思考力・判断力・表現力を高める授業づくり～	全教科	

＊表記については、各校から報告された文言で示している。

グローバル教育推進室　グローバル教育推進係

1　グローバル教育に関する事業

(1)　外国語指導助手（ＡＬＴ）学校派遣

小中学校の外国語教育の充実を図るため、外国語指導助手（ＡＬＴ）22名を各校に派遣し、外国語を通したコミュニケーション能力の育成に重点を置いた授業を展開した。

小中学校ごとに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金

曜日に訪問した。

訪問実績（各校各学級への年間訪問時数）

・小学1・2年生　　10時間

・小学3・4年生　　35時間

・小学5・6年生　　55時間

・中学1・2・3年生　33時間

※チーフＡＬＴ1名を除く21名のＡＬＴが、令和7年度の市内児童生徒の登校日数である200日間、それぞれの担当校に訪問した。（チーフＡＬＴは、週に1日程度、市教委での勤務日がある）

(2)　グローバルデー

複数の外国語指導助手（ＡＬＴ）が終日学校を訪問し、外国語の背景にある文化体験やＡＬＴとの直接的なコミュニケーション活動を実施した。

ア　実施校

・西方小学校　　10月17日（金）

・家中小学校　　11月　5日（水）

・部屋小学校　　11月28日（金）

・大宮北小学校　12月15日（月）、16日（火）

(3)　グローバルアワー

外国語指導助手（ＡＬＴ）の英語による自国の文化紹介の講座を開設し、参加生徒が受講を希望する国の講座を選択して実施した。

ア　実施校

・皆川中学校　10月10日（金）

・都賀中学校　11月20日（木）

(4)　コミュニケーションチャレンジ

市内全中学校において、生徒が外国語指導助手（ＡＬＴ）との1対1でのコミュニケーションの中で、自然な文脈で英語を使い、思いや考えを伝え合うことができる機会を提供した。

ア　実施期間

12月1日（月）～12月12日（金）

(5)　グローバル教育講演会

地元を離れ、様々な経験を積んだ方や専門的な分野で活躍している方などの話を聞く講演会をオンラインで開催した。

ア　実施校　栃木東中学校、栃木西中学校、皆川中学校、寺尾中学校、藤岡中学校、西方中学校

イ　実施日　2月13日（金）

ウ　講　師　中島　薫　氏

(6)　児童生徒会交流

ＩＣＴ機器を活用して、距離の離れた学校の児童生徒同士が、互いの地域の紹介や学校での取組について意見交換を行った。

ア　実施校　東陽中学校、滝川市立明苑中学校（友好親善都市）

イ　実施日　12月1日（月）、12月18日（木）

(7)　外国人児童生徒等への日本語指導

日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対して、市内拠点校の日本語教室においての日本語指導や、在籍校での日本語指導に対して支援者（日本語指導員、日本語指導サポーター）の派遣を実施した。

来日直後の外国人児童生徒等に対しては、在籍校に支援者（母語支援員）を派遣し、児童生徒の母語による支援を実施した。

ア　日本語指導児童生徒数（対応のべ人数）

	初期指導	教科指導	計
日本語教室での通級指導	34	37	71
在籍校への支援者の派遣	1	91	92
合計	35	128	163

2　ＩＣＴ教育環境の整備

(1)　主な情報通信機器の保守管理等の業務委託とその概要　（単位：円）

業　務　名	概　　要	委託費
ネットワーク機器 保守運用管理	校内ネットワーク機器の保守管理	小：13,139,500 中：　8,107,550
ＧＩＧＡスクール タブレット運用支援	児童生徒用タブレットの運用支援 （障害受付・調査、設定変更、各学校個別支援対応等）	小：20,661,300 中：11,055,000

(2)　小中学校への教育用コンピュータの整備

ア　小学校　（全学校共通）・教育用コンピュータの借上及び保守管理
（学校別実施）・機器の更新　新規契約　13校
・機器の再リース　3校

イ　中学校　（全学校共通）・教育用コンピュータの借上及び保守管理
（学校別実施）・機器の更新　新規契約　8校
・機器の再リース　3校

第３節　学校施設課

〔総括概要〕

「学校の適正な管理運営」、「安全安心な施設・設備づくり」に重点を置き、各種事業の推進を図った。

学校の適正な管理運営では、施設・設備の保守点検、樹木の剪定・伐採等を実施し、施設・設備の安全性の確保に努めた。

また、各学校の特色に応じた教材・備品等の整備ができるよう学校裁量制の予算編成を採用し、学校運営の円滑化を図った。

さらには、学校の統廃合に伴い通学経路が変更となった遠距離通学児童生徒の通学手段としてスクールバスを運行した。

安全安心な施設・設備づくりでは、各学校の校舎、屋内運動場、給排水設備等の改修工事及び設計業務を実施し、施設・設備の改善に努めた。

また、各学校の校舎の空調設備の更新及び照明器具のLED化を実施し、学校設備における省エネルギー化を推進するとともに、中学校の屋内運動場への空調設備の整備及び小学校屋内運動場空調設備整備計画の令和８年１月の策定を実施し、教育環境の向上を図った。

学校管理係

1　学校施設管理業務

学校施設・設備等の維持管理に必要な保守・法定点検等の各種業務委託を実施した。

小学校設備保守点検等委託料　　74,021,284円

中学校設備保守点検等委託料　　41,539,001円

主な学校施設管理業務とその概要　　（単位：円）

業　務　名	概　　要	委託費
地下タンク検査	灯油の貯蔵施設の漏えい検査	小：　110,000
水道貯水槽清掃	受水槽及び高架水槽の清掃	小：6,066,500 中：2,805,000
校舎警備	夜間休日の校舎機械警備	小：9,049,336 中：4,569,984
自家用電気工作物保安管理	高圧受変電設備（キュービクル）及び電気設備の保安管理	小：8,036,820 中：4,437,840
簡易専用水道管理検査	受水槽及び高架水槽を介して各階に給水する水道設備の管理状況に関する検査	小：　232,000 中：　96,000
プール循環浄化装置保守点検	学校水泳プール濾過装置の使用前･後の保守点検	小：1,391,500 中：　253,000
小荷物専用昇降機及び	乗用及び給食運搬用エレベーターの安全	小：5,705,700

エレベーター保守点検	性担保及び機能維持のための保守点検	中：3,014,000
浄化槽保守点検及び浄化槽11条検査	浄化槽の機能維持のための保守点検及び浄化槽法第11条に基づく年1回の水質検査	小：5,087,720 中：2,293,060
浄化槽清掃	浄化槽内汚泥の汲み取り（年2回）	小：5,085,845 中：2,148,502
消防設備点検	自動火災報知機、屋内消火栓、避難器具その他消防設備に係る消防法に基づく点検（年2回）	小：3,582,700 中：1,994,300
高木管理	倒木等危険な樹木の剪定及び伐採（クビアカツヤカミキリ対応を含む）	小：19,014,490 中：11,377,850
市有建築物定期点検	建築基準法第12条に基づく定期点検（年1回）	小：5,379,000 中：2,497,000
市有建築物防火設備定期点検	建築基準法第12条に基づく防火扉、防火シャッターの定期点検	小：4,450,160 中：3,010,040
フロン排出抑制法対象エアコン点検	一定規模以上のエアコンを対象とした定期点検（3年に1回）	中：1,078,000

2　義務教育施設整備基金の状況

義務教育施設の環境改善を推進するため、基金を積み立て、施設を整備する際の財源とした。　（単位：円）

摘　要	増額	減額	現在高	備　考
令和6年度末残高	－	－	40,245,141	
一般会計へ繰入	－	21,100,000	19,145,141	小・中学校施設整備事業費、小学校校舎改修事業費、小・中学校運営費、藤岡小学校運営費へ充当
寄附金等積立金	23,085,000	－	42,230,141	ふるさと応援寄附金、学校施設費寄附金
令和7年度末残高	－	－	42,230,141	

3　スクールバス運行事業

学校の統廃合により通学経路が変更になった児童生徒の輸送手段としてスクールバスを運行した。

(1)　運行状況

学校名	利用者数	運行形態	車両の種類
寺尾小	22人	行政直営	マイクロバス1台、コミューター1台

部屋小	27人	行政直営	マイクロバス1台
赤津小	5人	行政直営	コミューター1台
小野寺小	26人	行政直営（登校時）	マイクロバス2台（岩舟中と兼用）
		民間委託（下校時）	マイクロバス1台
藤岡中	39人	民間委託	中型バス1台、マイクロバス1台
岩舟中	4人	行政直営	マイクロバス2台（小野寺小と兼用）

(2)　民間委託の状況

学校名	委託先	委託費	委託期間
小野寺小 （下校時）	ＴＣＢ観光(株)	7,386,500円	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日
藤岡中	ＴＣＢ観光(株)	20,446,800円 （総額102,234,000円）	令和3年6月25日～ 令和9年3月31日

4　小中学校教育環境整備事業（理科教育設備整備等事業）

理科教育設備整備費等補助金を活用し、小学校14校、中学校7校の理科及び算数・数学教育に関する設備の整備を実施した。

（単位：円）

	整備額
小学校	828,089
中学校	369,545
合　計	1,197,634

施設営繕係

1　小中学校施設の維持補修状況

小学校29校、中学校13校の学校施設において、突発的に発生したトイレや手洗い場といった給排水設備の故障、窓ガラスやドア等の破損、照明器具や空調設備等の故障の修理を実施した。

小学校維持補修　　294件　　34,748,450円

中学校維持補修　　151件　　14,852,640円

2　小学校施設整備事業【繰越事業】

特別教室への空調設備を整備する業務委託と工事、期限内に処分する必要のある低濃度PCBを含有する受変電設備の更新を実施した。

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
空調設備整備再積算業務委託	静　和　小	278,300

(2)　設備改修等工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
空調設備整備工事	静　和　小	23,210,000

(3)　工作物整備工事　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
受変電設備更新工事	大宮北小外１校	4,785,000

3　小学校施設整備事業【現年事業】

校舎や屋内運動場といった建物、空調設備などの設備、遊具等の工作物について、危険性や必要性を考慮し、点検や調査、工事を実施した。

(1)　業務委託　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
バスケットゴール装置保守点検業務委託	大平中央小外６校	2,106,500
遊具点検業務委託（3件）	全小学校	1,048,300
空調設備整備設計業務委託	小野寺小	748,000
受水槽更新工事設計業務委託	部　屋　小	484,000
アスベスト含有分析業務委託（4件）	吹上小外３校	308,550
外壁庇モルタル剥離打診調査業務委託	皆川城東小	162,800
その他の業務委託（7件）		1,788,930
合　　計		6,647,080

(2)　施設整備工事　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
校舎棟内樋及び軒裏部分補修工事	国府北小	1,998,700
音楽室床カーペット改修工事	合戦場小	1,991,000
エレベーター棟外壁防水工事	栃木第五小	1,695,980
校舎・連絡通路部スロープ及び手摺設置工事	赤　津　小	1,091,200
その他の工事（13件）		6,123,865
合　　計		12,900,745

(3)　設備改修等工事　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
音楽室空調設備更新工事	千　塚　小	4,521,000
図書室空調設備更新工事	栃木第五小	3,322,000
小荷物専用昇降機修繕工事	藤　岡　小	1,672,000
高圧ケーブル更新工事	大平南小	1,276,000
図書室空調設備更新工事	赤　津　小	1,254,000
その他の工事（24件）		21,883,675

合　　計	33,928,675

(4)　工作物整備工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
プールろ過装置更新工事	岩　舟　小	4,345,000
4人用ブランコ2台修繕工事	合 戦 場 小	1,245,200
山型雲梯修繕工事	栃木中央小	1,227,600
花壇修繕工事	真 名 子 小	794,200
6連ブランコ修繕工事	大 平 東 小	671,000
その他の工事（9件）		5,338,080
合　　計		13,621,080

4　小学校屋内運動場改修事業【繰越事業】

屋根材の経年劣化が著しい屋内運動場について、強風による屋根材の飛散や雨漏りを防止する工事を実施した。

工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
屋内運動場屋根防水改修工事	真 名 子 小	21,252,000

5　小学校屋内運動場改修事業【現年事業】

老朽化の進んでいる屋内運動場について、環境改善のための業務委託及び工事を実施した。

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
屋内運動場屋根等改修設計業務委託	岩　舟　小	990,000
その他の業務委託（2件）		698,610
合　　計		1,688,610

(2)　工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
屋内運動場改修工事	大 宮 北 小	115,555,000

6　小学校校舎改修事業費

老朽化の進んでいる校舎について、環境改善のための工事を実施した。

工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
校舎屋上防水改修工事	三　鴨　小	23,375,000

教室等天井塗装改修工事	三　鴨　小	1,309,000
合　　計		24,684,000

7　小学校給排水設備整備事業

老朽化の進んでいる受水槽等について、環境改善のための業務委託及び工事を実施した。

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
受水槽等改修設計業務委託	栃木第三小	924,000
受水槽等改修再積算業務委託	栃木第四小	220,000
合　　計		1,144,000

(2)　工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
受水槽等改修工事	栃木第四小	26,609,000

8　小学校設備省エネ化推進事業

更新時期を迎える空調設備について、省エネルギー化を図るための業務委託を実施した。

業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
空調設備更新設計業務委託	南　　小	1,375,000
空調設備更新設計業務委託	吹　上　小	946,000
合　　計		2,321,000

9　中学校施設整備事業【繰越事業】

空調設備の必要な教室への整備と、更新時期を迎える空調設備の更新、期限内に処分する必要のある低濃度PCBを含有する受変電設備の更新を実施した。

(1)　設備改修等工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
空調設備整備工事	吹　上　中	40,128,000

(2)　工作物整備工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
受変電設備更新工事	栃 木 西 中	2,629,000

10　中学校施設整備事業【現年事業】

校舎や屋内運動場といった建物、空調設備などの設備、運動器具等の工作物につい

て、危険性や必要性を考慮し、点検や調査、工事を実施した。

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
空調設備整備設計業務委託	藤　岡　中	1,188,000
吹上中学校樹木管理業務委託	吹　上　中	968,000
アスベスト含有分析調査業務委託（6件）	藤岡中外5校	732,600
中学校運動器具点検業務委託（2件）	栃木東中外12校	578,600
その他の業務委託（5件）		761,200
合　　計		4,228,400

(2)　施設整備工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
弓道場床張替工事	岩　舟　中	8,052,000
第三理科室机・付属設備撤去工事	栃木西中	4,411,000
校舎軒天等劣化部補修工事	吹　上　中	1,980,000
管理教室棟雨漏り修繕工事	東　陽　中	1,078,000
その他の工事（6件）		3,205,213
合　　計		18,726,213

(3)　設備改修等工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
職員室外2室空調設備更新工事	東　陽　中	4,730,000
放送設備修繕	西　方　中	1,540,000
3階特別支援教室空調設備新設工事	大平南中	1,295,877
学習室B空調設備整備工事	岩　舟　中	1,133,935
その他の工事（12件）		19,290,007
合　　計		27,989,819

(4)　工作物整備工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
歩行者用通用部アスファルト舗装工事	栃木南中	4,807,000
北側中央部側溝敷設工事	東　陽　中	1,232,000
その他の工事（4件）		2,236,740
合　　計		8,275,740

11　中学校屋内運動場改修事業

老朽化の進んでいる屋内運動場について、環境改善のための業務委託及び工事を実施した。

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
屋内運動場改修工事再積算業務委託	栃 木 東 中	495,000

(2)　工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
屋内運動場改修工事	栃 木 東 中	104,522,000

12　中学校校舎改修事業

老朽化の進んでいる校舎について、環境改善のための屋根や外壁の工事及び補償補填を実施した。

(1)　工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
校舎外壁等改修工事（第２期）	栃 木 南 中	96,041,000
その他の工事（２件）		3,676,200
合　　計		99,717,200

(2) 補償補填　　（単位：円）

件　　名	学校名	補償費
太陽光パネル一時撤去復旧工事に伴う太陽光発電収入補償	栃 木 南 中	175,833

13　中学校給排水設備整備事業

老朽化の進んでいる受水槽等について、環境改善のための業務委託及び工事を実施した。

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
受水槽等改修再積算業務委託	栃 木 西 中	220,000

(2)　工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
受水槽等改修工事	栃 木 西 中	38,027,000

14　中学校設備省エネ化推進事業【繰越事業】

更新時期を迎える空調設備について、省エネルギー化を図るための業務委託と工事を実施した。

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
空調設備更新再積算業務委託	栃 木 東 中	176,000

(2)　工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
空調設備更新工事	栃 木 東 中	53,570,000

15　中学校設備省エネ化推進事業【現年事業】

更新時期を迎える空調設備について、省エネルギー化を図るための業務委託を実施した。

業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
空調設備更新設計業務委託	東　陽　中	1,265,000

16　中学校屋内運動場空調設備賃借事業

中学校の屋内運動場について、夏場における熱中症予防のため、賃貸借により空調設備を整備した。（賃貸借契約期間　令和7年9月1日から令和17年8月31日まで）

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
中学校屋内運動場空調設備保守点検（その１）業務委託	栃 木 東 中 栃 木 南 中 東　陽　中	1,036,970
中学校屋内運動場空調設備保守点検（その 2）業務委託	栃 木 西 中 大　平　中 大 平 南 中	1,109,900
中学校屋内運動場空調設備保守点検（その 3）業務委託	吹　上　中 都　賀　中 西　方　中	1,148,400
中学校屋内運動場空調設備保守点検（その 4）業務委託	藤　岡　中 岩　舟　中	1,180,300
合　　計		4,475,570

(2)　賃借　　（単位：円）

件　名	学校名	賃借料
中学校屋内運動場空調設備賃貸借(その 1)	栃 木 東 中 栃 木 南 中 東　陽　中	5,844,300
中学校屋内運動場空調設備賃貸借(その 2)	栃 木 西 中 大　平　中 大 平 南 中	6,770,610
中学校屋内運動場空調設備賃貸借(その 3)	吹　上　中	6,330,170

	都　賀　中 西　方　中	
中学校屋内運動場空調設備賃貸借(その 4)	藤　岡　中 岩　舟　中	5,880,490
合　　計		24,825,570

17　学校施設 LED 照明器具賃借事業

省エネルギー化を推進するとともに、学習環境の向上を図るため、賃貸借により LED 照明器具を整備した。（賃貸借契約期間　令和 8 年 3 月 1 日から令和 18 年 2 月 29 日まで）

賃借　　（単位：円）

件　名	学校名	賃借料
栃木市学校施設 LED 照明器具賃貸借(その 1)	栃木第五小 外 19 校	1,552,100
栃木市学校施設 LED 照明器具賃貸借(その 2)	栃木中央小 外 18 校	1,593,240
合　　計		3,145,340

第４節　保健給食課

〔総括概要〕

学校保健については、心身共に健康な児童生徒の育成を目指し、各種健康診断を実施した。

心臓検診、腎臓検診では検査の結果、有所見者に対して各専門医による判定を実施し、学校生活管理指導表により事後の管理指導を行った。

そのほか、結核健康診断、教職員の生活習慣病健康診断及びストレスチェック、就学時健康診断等の事業を実施した。

また、学校薬剤師による飲料水及びプールの水質、照度、一・二酸化炭素等の定期検査により学校の保健環境衛生の向上に努めた。

学校給食については、安全で安心な美味しい学校給食の提供に努めるとともに、食育を推進するため、栄養教諭等による食育研究会を開催し、正しい食習慣や健康の保持増進を図ったほか、食育教材の作成を行った。

また、地産地消の拡大やふるさと学習の推進を図るため、本市の特産品を活用した学校給食「とち介ランチ」や、栃木農業高等学校の食材を使用した学校給食を提供した。

更に、食物アレルギー対応の充実を図るため、学校給食食物アレルギー対応調整会議において、関係機関と連携した相談、協議を行うとともに、アクションカードを活用した緊急時の対応等、各機関との連携による研修会を開催した。

学校給食費（月額小学生 4,300 円、中学生 5,100 円）については、進学時における保護者の経済的負担軽減のため、令和 3 年度から小学校 6 年生及び中学校 3 年生を無料化とするとともに、物価高騰による学校給食への影響を軽減するため、昨年度に引き続き重点支援地方創生臨時交付金を活用し、食材費の高騰分を負担することで、保護者負担を増やすことなく学校給食を提供した。

栃木第三小学校給食共同調理場、大宮北小学校給食共同調理場及び国府北小学校給食共同調理場の 3 調理場を統合し、新しい学校給食センターを整備する(仮称)栃木東地域学校給食センター整備については、本年度は、建設工事、電気設備工事及び機械設備工事の入札を執行するとともに、工事を行い、令和 9 年度の開設を目指して事業を進めた。

学校保健係

1　学校保健管理

(1)　結核健康診断（学校保健安全法施行規則に基づき実施）

ア　小中学校　（単位：人）

区分	検診対象者数	受診者数	検討対象者数	精密検査不要者数	要精検者数	有所見者数
小学校	6,834	6,828	52	52	—	—
中学校	3,528	3,528	8	8	—	—
合　計	10,362	10,356	60	60	—	—

イ　教職員(全教職員　胸部レントゲン撮影)　（単位：人）

区分	教職員数	受診者数		未受診者数	未受診者理由	有所見者数
		定期健診	他の健診			
小学校	758	700	25	33	妊娠中・産休・育休 43	—
中学校	404	371	20	13	傷病休暇・休職・内留等 3	
合　計	1,162	1,071	45	46	46	—

(2)　学校腎臓検診

一次・二次検査結果及び三次検査対象者　（単位：人）

区分	検診対象者数	受診者数	一次検査	二次検査	三次検査
			有所見者数	要精検者数	最終判定者数
小学校	6,828	6,805	179	33	30
中学校	3,534	3,496	180	19	18
合　計	10,362	10,301	359	52	48

(3)　学校心臓検診　（単位：人）

区分	検　診 対象者数	一次検診		精密検査
		受診者数	有所見者数	精検受診者数
小学校一年生	1,054	1,054	65（6.2%）	47（4.5%）
中学校一年生	1,114	1,109	78（7.0%）	55（5.0%）
合　計	2,168	2,163	143（6.6%）	102（4.7%）
小学校四年生	1,166	1,163	82（7.1%）	47（4.0%）

※（　）は有所見率

(4)　定期健康診断（生活習慣病検診）

・実施時期　7～8月

・対　　象　学校教職員（県職）

	受診者数（人）	要精検者数（人）	要精検率（%）
小　学　校	334	48	14.4%
中　学　校	156	33	21.2%
合　計	490	81	16.5%

※身長、体重、血圧、尿検査、血液検査、心電図検査、視力検査及び聴力検査は全員対象、胃部Ｘ線検査・大腸がん検査（希望者）

(5)　教職員ストレスチェック

7月7日～7月20日の期間に公立学校共済組合のＷＥＢシステムで実施

対象者数	受検者数	受検率	高ストレス判定者数	高ストレス割合
863人	798人	92.5%	93人	11.7%

(6)　就学時健康診断

・実施時期　9月～10月

・対　　象　平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれの児童

・実施場所　市内小学校　26校（うち3校は2校合同実施）

・被検査者数　944人

(7)　出席停止

学校感染症による出席停止児童生徒　　（単位：人）※延べ人数

月／学校	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	計
小学校	150	48	64	38	112	125	909	535	354	1,256	166	3,757
中学校	22	19	31	21	60	64	476	200	263	621	45	1,822
合　計	172	67	95	59	172	189	1,385	735	617	1,877	211	5,579

(8)　日本スポーツ振興センター災害給付金給付状況

学校名	児童･生徒加入者数(人)	給付件数(件)	初回発生件数(件)	給付額(円)
小学校計	6,810	389	255	2,171,924
中学校計	3,525	443	234	2,891,197
合　　計	10,335	832	489	5,063,121

2　学校環境衛生管理

区　分	検査日	検査項目	備　　考
飲料水水質検査	4月21日（月）	理化学・細菌検査10項目	水道水
プール水水質検査	6月16日（月）	水質6項目　第1回	2点測定
プール施設調査	7月7日（月）	水質5項目　第2回	〃
照度検査	10月～12月	照度測定	
一･二酸化炭素検査	1月～ 2月	一・二酸化炭素検査	

学校給食係

1　学校給食実施状況

(1)　栃木地域

ア　学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積（㎡）
1	栃木中央小学校給食共同調理場	栃木中央小	508	21	栄養教諭1	委託	鉄筋コンクリート造	405
		南　　小	250	13				
2	栃木第三小学校給食共同調理場	栃木第三小	373	14	栄養職員1	委託	〃	195
		栃木東中	267	11				
3	栃木第四小学校給食共同調理場	栃木第四小	195	8	栄養教諭1	委託	〃	331
		大宮南小	79	6				
		栃木南中	215	9				
4	栃木第五小学校給食共同調理場	栃木第五小	467	21	栄養教諭1	委託	〃	348
		栃木西中	421	16				
5	大宮北小学校給食共同調理場	大宮北小	595	22	栄養教諭1	委託	鉄骨造	175
		国府南小	57	6				
6	吹上小学校給食共同調理場	吹　上　小	285	15	栄養職員1	委託	〃	904
		吹　上　中	230	11				
7	千塚小学校給食共同調理場	千　塚　小	125	8	栄養教諭1	委託	鉄筋コンクリート造	310
		皆川城東小	105	7				
		皆　川　中	44	3				
8	寺尾小学校給食共同調理場	寺　尾　小	62	7	栄養職員1	委託	〃	252
		寺　尾　中	27	3				
9	国府北小学校給食共同調理場	国府北小	305	14	栄養教諭1	委託	〃	194
		東　陽　中	523	20				
計	9調理場	20校	5,133	235	9			

イ　各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施人員（人）	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数　（食）
栃木中央小	548	70	37,587	79	41,896	48	25,608	197	105,091
栃木第三小	399	69	27,200	78	30,585	48	18,802	195	76,587
栃木第四小	214	69	14,678	79	16,592	48	9,710	196	40,980
栃木第五小	501	70	34,497	76	37,516	48	23,853	194	95,866
南　　小	273	70	19,016	78	21,027	48	12,819	196	52,862

大宮南小	93	68	5,983	78	6,803	48	4,262	194	17,048
大宮北小	634	69	42,570	76	46,661	47	29,289	192	118,520
皆川城東小	121	69	8,279	77	9,058	48	5,797	194	23,134
吹上小	312	69	21,713	78	24,246	48	15,051	195	61,010
千塚小	143	69	9,760	77	10,785	48	6,670	194	27,215
寺尾小	78	69	5,538	78	6,218	48	3,878	195	15,634
国府南小	71	67	4,650	74	5,166	47	3,334	188	13,150
国府北小	332	69	22,586	72	23,449	47	15,301	188	61,336
栃木東中	292	69	19,183	77	21,475	48	12,442	194	53,100
栃木西中	456	69	30,667	79	35,424	48	20,398	196	86,489
栃木南中	238	69	16,225	79	18,802	48	10,477	196	45,504
東陽中	565	69	37,163	77	41,505	47	23,504	193	102,172
皆川中	59	69	3,961	79	4,587	49	2,683	197	11,231
吹上中	255	68	16,711	79	18,998	48	11,173	195	46,882
寺尾中	41	67	2,604	78	3,001	48	1,697	193	7,302
合計	5,625	1,377	380,571	1,548	423,794	957	256,748	3,882	1,061,113

(2) 大平地域

ア 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数(人)	学級数(学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積(㎡)
1	大平学校給食センター	大平東小	186	9	栄養教諭1 栄養職員2 (1)	委託	鉄骨造	1,902
		大平南小	299	14				
		大平西小	418	16				
		大平中央小	525	21				
		大平中	301	12				
		大平南中	438	18				
計	1調理場	6校	2,167	90	3(1)			

※（ ）内の数字は市費の会計年度任用職員の内数

イ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施人員(人)	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数(回)	食数(食)	回数(回)	食数(食)	回数(回)	食数(食)	回数(回)	食数(食)
大平東小	204	70	14,204	79	15,504	49	9,630	198	39,338
大平南小	323	70	22,442	76	24,104	49	15,779	195	62,325
大平西小	446	70	30,554	79	34,449	49	20,693	198	85,696
大平中央小	563	70	38,110	79	42,425	49	26,041	198	106,576
大平中	330	68	21,988	79	25,296	49	14,146	196	61,430

大平南中	474	69	32,394	79	37,000	49	20,223	197	89,617
センター	4	70	352	79	427	49	261	198	1,040
合　　計	2,344	487	160,044	550	179,205	343	106,773	1,380	446,022

(3)　藤岡地域

ア　学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積(㎡)
1	藤岡学校給食センター	藤岡小	180	8	栄養教諭1 栄養職員1 (1)	委託	鉄骨造	961
		部屋小	68	7				
		赤麻小	134	8				
		三鴨小	127	9				
		藤岡中	305	12				
計	1調理場	5校	814	44	2 (1)			

※（　）内の数字は市費の会計年度任用職員の内数

イ　各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施人員（人）	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）
藤岡小	198	69	13,505	77	14,669	47	9,219	193	37,393
部屋小	83	69	5,621	77	6,171	47	3,817	193	15,609
赤麻小	151	69	10,212	76	11,112	47	6,824	192	28,148
三鴨小	145	68	9,672	77	10,730	47	6,540	192	26,942
藤岡中	333	67	21,406	77	24,424	47	13,903	191	59,733
センター	3	70	297	77	328	48	192	195	817
合　　計	913	412	60,713	461	67,434	283	40,495	1,156	168,642

(4)　都賀地域

ア　学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積(㎡)
1	都賀学校給食センター	合戦場小	356	15	栄養職員2 (1)	委託	鉄骨造	1,067
		家中小	142	7				
		赤津小	115	8				
		都賀中	303	12				
計	1調理場	4校	916	42	2(1)			

※（　）内の数字は市費の会計年度任用職員の内数

イ　各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施人員（人）	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）
合戦場小	383	70	26,726	79	29,790	48	18,225	197	74,741
家中小	158	70	11,004	79	12,301	48	7,470	197	30,775
赤津小	132	70	9,123	78	10,200	48	6,224	196	25,547
都賀中	330	70	22,036	79	25,250	48	14,462	197	61,748
センター	4	70	352	79	400	49	245	198	997
合計	1,007	350	69,241	394	77,941	241	46,626	985	193,808

(5) 西方地域

ア 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積(㎡)
1	西方小学校給食共同調理場	西方小	199	10	栄養職員 1	委託	鉄骨造	569
		真名子小	36	6				
		西方中	105	5				
計	1調理場	3校	340	21	1			

イ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施人員（人）	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）
西方小	219	67	14,390	77	15,881	47	9,770	191	40,041
真名子小	49	68	3,156	76	3,695	47	2,260	191	9,111
西方中	121	68	8,025	77	9,176	47	5,105	192	22,306
合計	389	203	25,571	230	28,752	141	17,135	574	71,458

(6) 岩舟地域

ア 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積(㎡)
1	岩舟小学校給食調理場	岩舟小	321	16	栄養職員 1 (1)	委託	鉄骨造	269
2	静和小学校給食調理場	静和小	230	13	栄養職員 1 (1)	委託	〃	205
3	小野寺小学校給食調理場	小野寺小	79	8	栄養職員 1 (1)	委託	〃	88

4	岩舟中学校給食調理場	岩　舟　中	352	16	栄養職員1	委託	〃	247
計	4調理場	4校	982	53	4(3)			

※（　）内の数字は市費の会計年度任用職員の内数

イ　各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施人員（人）	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）
岩　舟　小	350	69	23,828	78	26,083	47	15,719	194	65,630
静　和　小	253	70	17,630	77	19,029	47	11,728	194	48,387
小野寺小	95	69	6,690	78	7,418	47	4,611	194	18,719
岩　舟　中	387	70	25,578	78	29,029	47	16,563	195	71,170
合　　計	1,085	278	73,726	311	81,559	188	48,621	777	203,906

(7)　共同調理場等運営協議会の開催

栃木市立学校給食共同調理場等運営協議会

NO	期　　日	事　業　名	場　　所	参加者
1	6月26日(木)	第1回栃木市立学校給食共同調理場等運営協議会	正庁B	14人
2	12月22日(月)	第2回栃木市立学校給食共同調理場等運営協議会	正庁B	10人

(8)　食育研究会の開催

栃木市食育研究会（献立作成会議）

・開　催　日　　4月18日（金）、6月17日（火）、8月4日（月）、10月6日（月）、2月19日（木）計5回

・場　　所　　オンライン、市役所又は教育研究室

・参　加　者　　栄養教諭、学校栄養職員等

(9)　学校給食関係職員研修事業

NO	期　　日	事　業　名	場　　所	参加者
1	4月10日(木)	新任・新赴任教職員対象学校給食運営説明会	オンライン	16人
2	5月16日(金)	第1回給食主任・栄養教諭等研修会	オンライン	47人
3	8月26日(火)	第2回給食主任・栄養教諭等研修会	オンライン	51人
4	8月28日(木)	学校給食調理従事者等研修会	正庁	47人

(10)　学校給食一部無償化の実施

・対　象　者　　市立小学校の6年生児童　1,209人（5月1日現在）

市立中学校の3年生生徒　1,221人（5月1日現在）

・無償化に伴う市負担額　　市立小学校の6年生児童　57,185,700円

市立中学校の3年生生徒　68,498,100円

(11)　食物アレルギー等対応食補助金の交付

・対 象 者　　給食費を無料化としている児童生徒のうち、食物アレルギー等のため学校給食の提供を受ける代わりに対応食を持参している児童生徒の保護者

・交付実績　12名　314,426円

(12)　(仮称)栃木東地域学校給食センターの整備

・工事請負費【令和7年度・令和8年度継続費】

工 事 概 要	工事費(円)
(仮称)栃木東地域学校給食センター新築工事	702,900,000
(仮称)栃木東地域学校給食センター新築電気設備工事	339,197,100
(仮称)栃木東地域学校給食センター新築機械設備工事	1,199,000,000

・業務委託費【令和7年度・令和8年度継続費】

委 託　概 要	工事費(円)
(仮称)栃木東地域学校給食センター工事監理業務委託	16,390,000円

(13)　調理場等設備の更新

・藤岡学校給食センターボイラー缶体更新工事　6,512,000円

・岩舟小学校給食調理場給湯設備交換工事　2,911,700円

・栃木第四小学校給食共同調理場真空冷却機　6,215,000円

・栃木第四小学校給食共同調理場食器食缶洗浄機及び食器ブラシ槽　6,259,000円

・栃木第五小学校給食共同調理場ワンタッチスライサー及びワンタッチスライサー用シンク　1,540,000円

・栃木第五小学校給食共同調理場丸型フライヤー　1,980,000円

・千塚小学校給食共同調理場スチームコンベクションオーブン　4,103,000円

・藤岡学校給食センター丸型フライヤー　2,150,500円

第５節　生涯学習課

〔総括概要〕

市民一人ひとりが自発的意思に基づき、自己に適した手段・方法を選んで、生涯を通じて行う「生涯学習」は、自分自身の生活を豊かにし、学んだことを生かして活力ある地域や社会をつくるなど、個人・社会にとって大切なものである。

本市は、生涯学習振興計画の基本施策である「生涯にわたる学びの環境の充実」「生涯にわたる学びの機会の充実」を核として、生涯学習の推進に係る施策を実施した。

市民への学習機会の提供としては、「栃木市民大学」のほか、市職員による「市民出前講座」、市民講師主催の「自主講座」を実施した。

とちぎ未来アシストネット事業では、学校、家庭、地域の連携・協力により、地域ぐるみで未来を担う子供たちの「生きる力」を育てることを目指して、地域の特色を生かした学校支援ボランティア活動を展開するとともに、市内小中学校の学校コーディネーター、地域コーディネーター及び公民館担当者合同研修会を開催し、事業への理解促進と資質の向上に努めた。また、本事業の一層の推進のため、各地域の地域コーディネーターが協力し、ボランティア交流会を開催した。

人権教育推進に係る取組としては、市内小中学校を会場に教職員及び保護者を対象とした人権教育指導者研修を開催し、人権意識の高揚と理解促進を図った。

図書館事業としては、指定管理者による管理運営の下、栃木、大平、藤岡、都賀、西方、岩舟各館の特色を生かしつつ、市立図書館として均質かつ一体的なサービスの展開に努めたほか、２月からは電子図書館サービスを開始し、場所や時間、身体的特性などによらず読書を楽しむことができる環境と利便性の向上を図った。また、読書活動の推進に向けて、子どもがより多くの本に親しみ、読書習慣を身につけることができる環境づくりに努めた。

青少年行政関係としては、青少年の健全育成と社会参画促進を目的として、講演会の開催、模範児童・生徒の表彰等を行った。

また、高校生の視点による栃木市のにぎわいの創出に寄与することを目的とした「とちぎ高校生蔵部」の活動を支援し、栃木市高校生合同文化祭の開催、栃木の街散策マップの作成、FMくらら857「Tochigi high school radio」の偶数月のパーソナリティなどを行い、若者がふるさとへの愛着を高めるとともに、自分の存在意義や居場所を見出し、自己肯定感を育む活動を推進した。

青少年育成センターとしては、街頭補導活動、少年相談業務等を重点事業として、学校、警察、青少年問題協議会等の関係機関等と連携し青少年の健全育成に努めた。

そのほか、地域における生活文化の振興や社会福祉の増進に資する活動を行う社会教育関係団体等の育成・支援に努めた。

家庭教育学級開設事業としては、家庭の教育力の向上を目指して、認定こども園・保育園・小学校において、保護者が互いの子育てについて語り合える参加型の講座を実施した。また、各講座後に相談コーナーを設け、参加者から子育てについての

質問や悩みを受け付けた。

生涯学習係

1　生涯学習推進事業

(1)　生涯学習人材バンク

ア　市民からの学びの要望に応えてもらうため、様々な分野で活動し知識や技能を広めたり教えたりする意欲のある市民を生涯学習ボランティアとして登録した。

・登録件数　43件(個人41件、団体2件)

イ　市民に対する学習の機会を提供するとともに、市民が自由に学び合う身近な学習環境づくりのため、自主講座や出前講座を開催した。

区　　分	開催数	受講者数	募集時期
自主講座	53講座	550人	6・12月 (広報とちぎ)
出前講座	6講座(57件)	628人	随時

(2)　生涯学習情報提供

栃木市における生涯学習情報の周知のため、次のとおりホームページへの掲載及び広報とちぎへの折り込みをした。

項　　目	掲載日	内　　容	備　　考
栃木市講座情報	随時更新	市及び市教育委員会が主催する講座	ホームページ
栃木市出前講座の案内	広報とちぎ 5月号	市職員出前講座の紹介、申込方法	ホームページ 広報とちぎ折込

(3)　市職員出前講座

市民に対し市の仕事や仕組み・制度などを理解していただく機会を提供するとともに、市民と職員のパートナーシップを築くことを目指して、市職員を講師として派遣する市職員出前講座を各課において実施した。

区　　分	メニュー数	開催件数	受講者数
市職員出前講座	78講座	148件(36講座)	3,470人

(4)　学校開放　特別教室

青少年の健全育成や地域住民の文化の向上の場として栃木南中学校の特別教室を開放し、グループ活動を支援した。

利用団体数(団体)	利用回数(回)	利用人数(人)
2	95	977

(5)　栃木市民大学

市民の多様化・高度化する学習ニーズに対応した多様な学習機会と出会い・交流・仲間づくりの場を提供するとともに、地域活動への参加・参画のきっかけづくりを目的として開講した。

令和7年度は、「郷土」、「まちづくり」、「現代社会」、「健康・医療」の4つの

分野からテーマを選定し、講座形式で学ぶ「教養コース（全10回）」と、特定のテーマについてより深く学び、地域課題の解決に向けた実践的な内容で構成する「実践コース（全4回）」を開催した。

・受講者数延べ1,521名（教養コース：1,439名／実践コース：82名）

ア　教養コースプログラム　（敬称略）

開催日	内　　容	講　　師
7月 8日(火)	細胞の中に薬を届けるシステム開発 ～細胞内ドラッグデリバリーシステムについて～	日本工業大学　基幹工学部 環境生命化学科 教授　佐野 健一
7月 31日(木)	データのお話	日本工業大学　先進工学部 データサイエンス学科 教授　大宮　望
8月 12日(火)	ロボット支援手術が変えるこれからの大腸癌治療	獨協医科大学　外科学 教授　水島 恒和
9月 2日(火)	梶井基次郎の文学世界 ～「檸檬」を書いた梶井ってどんな人だろう？～	國學院大學栃木短期大学 日本文化学科 日本文学フィールド 講師　岩渕 真未
10月 7日(火)	情報に振り回されない為の「４つのハテナ」	白鷗大学　経営学部 教授　下村 健一
10月 23日(木)	快適に暮らしたい ～住環境の大切さ～	足利大学　工学部　建築・土木分野　建築学コース 教授　室　恵子
11月 11日(火)	千葉県人が語る栃木の伝統食 ～激熱！しもつかれ～	國學院大學栃木短期大学 人間教育学科 生活健康フィールド 准教授　真田 知惠子
12月 2日(火)	ｅスポーツで楽しく健康に ～デジタルゲームの効果～	白鷗大学　教育学部 教授　玉宮 義之
1月 20日(火)	ストレスを味方にして生きる ～しなやかな心の健康法～	足利大学 看護学部 看護学科 准教授　富山 美佳子
2月 3日(火)	人の起源をめぐる神話と宗教	國學院大學栃木短期大学 日本文化学科 日本史フィールド 准教授　渡辺 瑞穂子

イ　実践コースプログラム　（敬称略）

開催日	内　　容	講　　師
11月 5日(水)	「子育てカフェ」ってなに	子育て心理学協会インストラクター　佐藤 陽子

11 月 26 日(水)	「認知症カフェ」ってどんなところ	「えぽっくカフェ」代表 古田土 広樹
12 月 10 日(水)	「子ども食堂」ってどんなところ	栃木市子ども食堂ネットワーク代表　佐藤 祐樹
12 月 24 日(水)	「ヤングケアラー」の実態は	「ばななば」代表 牧子 晃那

2　社会教育委員会議

昨年度に引き続き、「本市の生涯学習のあり方について」を議題として、本市の生涯学習分野における課題とその解決方法などについて検討を行い、提言書に取りまとめた。

開　催　日	議題・テーマ等
5月16日(金)	・本市の生涯学習のあり方について （課題の解決･状況の改善に向けて必要なこと･取り組むこと）
8月8日(金)	・本市の生涯学習のあり方について （前回出された意見･アイデアの検討について）
10月22日(水)	・本市の生涯学習のあり方について （意見・アイデアの磨き上げと共有、重要度・優先度の検討）
12月25日(木)	・本市の生涯学習のあり方について （提言内容の確認･練り上げ、連携･相互協力に向けた意見交換）
3月 6日(金)	・教育委員会への提言書提出

3　とちぎ未来アシストネット

学校・家庭及び地域住民が連携・協力し、地域ぐるみで子どもたちの「生きる力」を育むため、次の事柄を実施・推進した。

(1)　会議・研修会・交流会

学校と地域のコーディネーター及び地域本部を担う公民館職員を対象として合同研修会を開催し、事業に対する理解促進と連携能力の向上を図った。また、コーディネーターが円滑に活動できるよう、年度当初には、学校・地域それぞれの新任コーディネーターを対象とした研修会を実施したほか、1月には、第10回ボランティア交流会を実施した。

実施日	会　　場	研修名等	出席者数(人)
4月24日(木)	皆川公民館	新任学校コーディネーター研修会	11
		新任地域コーディネーター研修会	2
5月8日(木) ～5月12日(月)	皆川公民館他	地域・学校コーディネーター・ 公民館担当者合同会議及び研修会Ⅰ	109
8月25日(月)	とちぎ岩下の 新生姜ホール	地域・学校コーディネーター・ 公民館担当者合同研修会Ⅱ	81

10月15日(水)	国府公民館	1・2年目地域コーディネーター研修会	6
1月25日(日)	サンプラザ栃木	第10回ボランティア交流会	141

(2) 地域教育協議会及び推進委員会

市内10のエリア(栃木中央、東陽、皆川、吹上、寺尾、大平、藤岡、都賀、西方、岩舟)のボランティアやコーディネーターの交流・連絡調整の場として、各地域の公民館が運営する地域教育協議会と市内全体のアシストネットの方針を協議する推進委員会を各2回開催した。

4 社会教育関係団体育成

社会教育関係団体の運営に要する経費を支援し、育成を図った。

(単位：円)

団体名	補助金額
栃木市ＰＴＡ連合会	350,000
栃木市特別支援教育「手をつなぐ親の会」連絡協議会	117,000
「小さな親切」運動栃木支部	50,000
栃木市地域女性会連絡協議会	400,000

5 人権教育

(1) 研修・講話

地域における人権教育の推進・啓発のため、学校や公民館に社会教育主事を派遣し、人権に関するワークショップ型の研修を実施した。

講座・講話(各種学級) (敬称略)

場所	実施日	参加人数(人)	講師
國學院栃木短期大學	6月11日(水)	88	大類　竜矢
大宮公民館	6月25日(水)	16	大類　竜矢
寺尾公民館	7月23日(水)	46	大類　竜矢
皆川城東小	9月16日(火)	42	大類　竜矢
部屋小	11月26日(水)	11	大類　竜矢
大宮南小	11月28日(金)	10	大類　竜矢
計		213	

(2) 人権教育推進事業

学校・家庭・地域社会の連携を通して人権に関する地域の教育力の向上を図るとともに、人権に関する正しい知識と理解を深めるため、令和3年度より「社会にある部落差別問題をはじめとした様々な差別問題」を研修テーマとして、教職員を中心に人権教育に携わる指導者向けの研修事業を実施した。

また、ＰＴＡ関係者や地域住民にも研修会への参加を呼びかけ、人権教育の啓発にも努めた。

人権教育指導者の育成

実施日	内　　容	対　象　校	参加者(人)
7月28日(月)	人権教育推進事業に関わる校内研修会 講師：部落解放同盟 戸田　眞　氏	都賀中学校	28
7月29日(火)		大平東小学校	20
8月　1日(金)		大平南小・大平中央小学校合同開催	49
8月　5日(火)		栃木第五小学校	30
8月29日(金)		南小・栃木南中学校合同開催	50
12月　3日(水)		栃木西中学校	29
12月10日(水)		吹上中・寺尾中学校合同開催	35
計			241

6　図書館関係

(1)　管理運営

栃木市図書館全6館の管理運営を一括して指定管理者に委託し、民間の発想とノウハウを生かして管理運営にあたった。

指定管理者：山本有三記念会＝ヴィアックス共同事業体

指定管理期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

指定管理料：1,179,040,000円　うち令和7年度235,100,000円

(2)　図書館協議会

図書館法に基づく図書館協議会を開催し、図書館運営に本市の実情や利用者及び住民のニーズを伺うよう努めた。

また、令和6年8月29日に栃木市図書館長より諮問のあった「栃木市の図書館の在り方」について、昨年度に引き続いて協議し、答申を取りまとめた。

回	開催日	協　議　内　容
第1回	6月24日(火)	・図書館協議会及び読書活動推進計画の概要について ・図書館の管理運営について（実績・事業計画） ・栃木市の図書館の在り方について（前回までの結果の確認）
第2回	9月25日(木)	・子どもの読書活動推進計画【第２期】の進捗状況について ・栃木市の図書館の在り方について （図書館サービスに求めるもの及び理想の図書館の姿）
第3回	11月27日(木)	・栃木市の図書館の在り方について （これまでの意見の整理と答申書に盛り込む意見について） ・図書館の複合化について（先行事例と機能・考え方について）
第４回	１月 22 日(木)	・栃木市の図書館の在り方について （これまでの意見の確認と答申書の骨子について） ・来年度の図書館協議会について
－	３月 18 日(水)	・答申「栃木市の図書館のありかた」 ～図書館の役割や機能を正しく・広く伝え、 利用者の理解と信頼を深めるために～

(3)　自主事業

ア　幼児・児童向け事業

読書の重要性の理解促進と継続した読書習慣の形成を目指して、家族で読書を楽しむ事業を実施し、子どもたちが本に親しむ機会の充実・拡大に努めた。

（上段：実績値、下段：主な実施内容）

	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
読み聞かせ会	36回 308人	53回 654人	36回 59人	17回 173人	25回 125人	19回 100人
	ボランティアによる絵本の読み聞かせ、スタッフおはなし会　等					
上映会	5回 70人	1回 32人	－	1回 7人	－	－
	子ども映画会　等					
工作教室・展示ほか	8件 294人	22件 161人	25件 200人	17件 147人	4件 28人	4件 6人
	風鈴の絵付け体験、ダンボールで恐竜ヘッドを作ろう、敬老の日フラワーギフト作製、幼児読書感想画展　等					
夏休み企画	10回 204人	8回 398人	4回 583人	4回 225人	8回 163人	1回 30人
	読書感想文教室、書道教室、夜の図書館ツアー、読書スタンプカード配付　等					
その他	あかちゃんタイム（毎週定時実施）、年中行事に合わせた児童書展示、児童用読書ノート配布　等					

イ　一般向け事業

読書を通じた生涯にわたる学びの推進を目的として、利用者のニーズを踏まえた読書機会の創出と読書体験の充実を図った。

（上段：実績値、下段：主な実施内容）

	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
朗読会	7回 266人	1回 18人	－	－	1回 21人	－
	図書館朗読サロン、戦争と平和「戦争について考える朗読会」　等					
上映会	2回 39人	2回 36人	1回 36人	－	－	－
	映画会＆ミニ歴史講座「映画「掘る女」と藤岡の遺跡」　等					
講座・展示ほか	9件 148人	19件 166人	15件 77人	1件 16人	3件 73人	3件 62人
	歴史講座「蔦屋重三郎と栃木」「西方氏と地元の地名」、江戸学講座、中根八幡遺跡パネル展　等					
プレゼント企画	－	1回	－	1回	1回	1回
	ミニツリー　等					
リサイクル市	4回	1回	3回	3回	1回	2回
	開催･出展場所：各図書館、蚤の市、高校生合同文化祭、まるつがまつ					

	り　　等
その他	大平図書館読書バリアフリー週間、点字体験　等

ウ　読書週間関係事業

読書週間の、読書を通じて豊かな人間性を育み、読書習慣の定着を図るという趣旨に沿って、本との出会いや読書習慣の促進に資する取組を実施した。

(ｱ)　こどもの読書週間（4月23日～5月12日）

内容・開催館	参加者（人）
・季節の本の展示（「入園入学」など館毎にテーマを設定。） ・資料を5冊以上借りた幼児・児童へプレゼントを配る等、読書の動機付けを行った。缶バッチ、しおりほかノベルティ配布（全６館）	延 1,100

(ｲ)　読書週間（10月27日～11月9日）

内容・開催館	参加者（人）
・期間中「クロスワードを解く」または「貸出スタンプを３つ集める」のいずれかを達成すると、「小江戸風しおり」をプレゼントする（栃木）等、読書の動機付けを行った。ノベルティは読書関連アイテム（しおり、ブックカバー、雑誌付録等）（全６館実施）	1,911
・小学生のおすすめ本ブックツリー（大平）	193

エ　栃木市図書館市民フェスタ（図書館まつり）

市民の読書活動推進事業の一環として、図書館への来館を促すため、図書館まつりで講座・イベントを開催した。（全６館）

開催館	開催日	内容	参加者（人）
栃木	11月8日（土）	映画会＆ワークショップ、陶芸教室、とちぎアレルギーの会タイアップ物品販売、本と雑誌のリサイクル市	51
	11月9日（日）	煙体験ハウスからの脱出、二胡リサイタル、とちぎアレルギーの会タイアップ物品販売、本と雑誌のリサイクル市	141
大平	10月25日(土)	金融経済教育推進機構（J-FLEC）によるお金の講座、ウクレレコンサート、工作教室	46
	10月26日(日)	工作教室、市民ギャラリーデコレーション	162
藤岡	11月1日（土）	人形劇、歴史講座、アロマクラフト、本の福袋雑誌リサイクル市	63
都賀	11月1日（土）	合成写真撮影(本の世界に入ってみよう)、映画会、移動図書館車展示、雑誌リサイクル市	60
西方	10月18日(土) 10月19日(日)	ぬいぐるみのおとまり会、にしかたスーパーくじ、雑誌と本のリサイクル市	50
岩舟	10月26日(土) 10月27日(日)	雑誌付録くじ、おはなし会、一般書・雑誌リサイクル市	63

オ　その他企画　　（単位：回）

	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
展示企画	73	77	55	41	62	53
配布型企画	－	1	1	2	2	1
参加型企画	8	8	24	10	15	11

※展 示 企 画　テーマ毎に資料を展示し、来館者が自由に閲覧・貸出できる形式の企画
※配付型企画　図書館がノベルティやオリジナルグッズ等を来館者に配る形式の企画
※参加型企画　図書館スタンプラリー等利用者が参加できる企画

(4) その他の事業

ア　広報活動

・栃木市図書館通信「あじさい」の発行（６館共通、毎月）
・「小・中学生向け図書館だより」の発行（６館共通、夏冬年２回）
・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」（６館共通、通年）
・ホームページによる広報活動（６館、通年）
・ＦＭくらら 857「出前図書館」出演（６館、年３６回）
・イベントに合わせた広報活動（６館、随時）
・SNS による情報発信（藤岡・都賀、随時）
・児童対象「としょかんだより」発行（栃木ほか４館、全２８回）
・ＹＡ・シニア世代・移動図書館利用者向けフリーペーパー発行（栃木、全９回）
・幼児・児童の保護者世代向けフリーペーパー発行（都賀、６回）

イ　施設見学等（人数は引率者を含む）

・施設見学：33 件　966 人
・職場体験学習・インターンシップ：17 件　45 人

ウ　その他

a　「あかちゃんタイム」実施（６館）
b　読書ノートの配布 367 冊（６館）
c　スタッフが選んだ「こどもたちにおすすめの本」配布（６館）
・4,5 歳児/6,7 歳児（低学年）編、中高学年編
d　「夢いっぱい」事業（来館が楽しくなる館内装飾やコーナーの設置）（６館）
e　「動く図書館」事業
・地域の保育園・認定こども園、小・中学校へ図書の配達・回収　訪問 231 回
・地域の子ども食堂開催時に図書の配達・回収（大平・藤岡）
f　夏季休業期間の小中学生を対象に学習スペース設置（栃木・大平・藤岡）
g　図書室出張展示（地域内の小・中学校で図書館蔵書の展示）訪問 241 回
h　学校や施設等で行うアウトリーチおはなし会（栃木ほか４館）
i　【新規】電子図書館の運用（2026.2 開始）
・電子書籍蔵書数 12,289 点
・利用 190 人、645 冊
j　移動図書館車（あじさい号）：巡回 20 か所、学校 10 校（臨時運行含）（栃木）
k　絵本・児童書配本事業：巡回施設 4 か所（栃木）
l　訪問（出前）授業：市内小学校 1 校（吹上小学校）（栃木）

m　乳幼児健診時（ブックスタート）事業への協力（栃木・大平）

n　読書バリアフリー事業(大平)

・障がい者支援、サピエ図書館、大平図書館読書バリアフリー週間の開催

(5)　資料の所蔵状況

ア　図書・視聴覚資料　（単位：冊・点）

	栃　木	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
図書	319,550	167,933	64,774	54,911	25,997	41,167	674,332
視聴覚	17,759	18,293	4,486	2,762	25	12	43,337
合　計	337,309	186,226	69,260	57,673	26,022	41,179	717,669

イ　逐次刊行物　（単位：種）

	栃　木	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
新聞	28	15	6	6	5	4	64
雑誌	224	126	53	51	26	28	508
合　計	252	141	59	57	31	32	572

(6)　貸出状況

	栃　木	移動図書館	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
開館日数(日)	308	174	314	314	314	316	316	2,056
巡回回数(回)	－	588	－	－	－	－	－	588
貸出人数(人)	83,243	5,032	37,343	11,962	15,419	5,672	7,186	165,857
貸出点数(点)	421,392	14,333	184,623	75,865	87,958	30,966	35,022	850,159

(7)　利用者登録状況

利用者登録状況　（単位：人）

区分	栃　木	移動図書館	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
個人	74,148	2,518	25,313	9,183	6,667	1,403	2,279	121,511
(内新規)	(657)	(6)	(306)	(117)	(217)	(63)	(127)	(1,493)
団体	190	－	65	76	24	7	15	377
(内新規)			(1)		(1)			(2)
合計	74,338	2,518	25,378	9,259	6,691	1,410	2,294	121,888

(8)　各種利用状況

ア　予約・リクエスト件数　（インターネットでは予約のみの受付）　（単位：件）

	栃　木 (移動図書館含む)	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	合　計
予約	14,093	5,489	1,804	2,242	1,033	1,433	87,900	113,994
リクエスト	2,711	250	132	187	119	97	－	3,496
合計	16,804	5,739	1,936	2,429	1,152	1,530	87,900	117,490

イ　レファレンス件数(レファレンス＝利用者からの相談や、調査の支援)　（単位：件）

	栃　木	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
来館	12,280	4,391	1,333	2,594	882	486	21,966
電話・文書	837	169	45	146	203	52	1,452

合計	13,117	4,560	1,378	2,740	1,085	538	23,418

ウ　読書室・キャレルデスク利用件数　（単位：件）

栃　木		大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
読書室	ｷｬﾚﾙﾃﾞｽｸ	ﾚﾌｧﾚﾝｽ室	学習室	学習スペース	学習室	学習・読書ｺｰﾅｰ	
10,653	5,927	10,250	3,337	3,061	400	2,467	36,095

※キャレルデスク＝調査研究用個人机

エ　コピー利用件数　（単位：件）

	栃　木	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
件数(件)	796	190	47	60	13	40	1,146
枚数(枚)	4,981	1,193	154	165	49	138	6,680

7　視聴覚ライブラリー

下都賀地区の３市２町が共同設置する下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会を栃木図書館内に置き、団体用の視聴覚教材の購入・管理や学校教育及び社会教育団体等への無料貸出を行い、視聴覚教育の推進を図った。

(1)　視聴覚教材保有状況　（単位：本）

分野	16ミリフィルム	ビデオテープ	ＤＶＤ	計
学校教育	88	330	37	455
家庭教育	48	24	0	72
人権教育	79	89	93	261
郷土教材	14	22	72	108
劇映画・アニメ	185	50	32	267
ほか(生活文化等)	69	230	35	334
計	483	745	269	1,497

(2)　視聴覚教材利用状況

ア　利用（視聴）人数　（単位：人）

対象	16ミリフィルム	ビデオテープ	ＤＶＤ	計
成人・高齢者	184	0	1,467	1,651
青年・高校生	0	0	36	36
小中学生	104	0	3,407	3,511
その他（幼児等）	186	0	234	420
計	474	0	5,144	5,618

イ　貸出本数　（単位：本）

対象	16ミリフィルム	ビデオテープ	ＤＶＤ	計
小中学校	0	0	133	133
その他教育施設	3	0	12	15
社会教育団体等	7	0	27	34
その他	7	0	98	105

計	17	0	270	287

(3)　その他

視聴覚教育の普及活動を担う16ミリ映写機技術者養成講習会を開催した。

実施日	会　場	修了者数(人)
8月3日(日)	栃木図書館	9

青少年・家庭教育係

1　青少年育成関係

(1)　科学する心を育む推進事業（サイエンススクール）

子どもたちが身近な科学に接することで、その原理を理解しようと自ら考える力を養い、科学技術に対する関心を喚起することを目的として、サイエンススクールを実施した。学校の授業ではなかなか体験できない、日常生活における不思議を科学し、観察や体験活動を通して、子どもたちの知的好奇心や探求心を育むため、小学4年生から6年生を対象(一部親子・一般市民対象)として、下記の事業を実施した。

実　施　日	事　業　名	会　　場	参加人数(人)
7月28日(月)	サイエンススクール in LRT&栃木県警察本部	交通未来都市うつのみやオープンスクエア 栃木県警察本部	19
8月 2日(土)	サイエンススクール in エイジェック	エイジェック スポーツ科学総合センター	18
8月20日(水)	サイエンススクール in 栃工	栃木工業高等学校	中止
8月26日(火)	サイエンススクール in 日立栃木理科クラブ	吹上公民館	19
9月 6日(土)	サイエンススクール in 栃農	栃木農業高等学校	15
10月25日(土)	サイエンススクール in 日本工業大学	日本工業大学	40
1月17日(土)	エコロジー＆科学実験 スペシャルサイエンススクール	大平文化会館･公民館	186

(2)　青少年問題協議会

・理事幹事会、総会の開催
・青少年健全育成講演会の開催(各中学校)
・「家庭の日」推進事業
・青少年対策(心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動の一環として、青少年の被害・非行防止全国強調月間、子ども・若者育成支援強調月間の推進、とちぎの子ども育成憲章の普及・啓発)
・児童生徒対策(模範児童・生徒の表彰)

(3)　青少年育成市民会議

次代を担う心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とする栃木市青少年育成市民会議及び栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部の活動を支援した。

ア　栃木市青少年育成市民会議

実施日	会　　場	内　　容	参加人数(人)
2月14日(土)	市民交流センター	合同研修会(市子ども会育成会連絡協議会) 講話　「人権が尊重される社会づくり」 講師　栃木県教育委員会事務局　教育政策課 人権教育室　指導主事　森　麻耶　氏	25

イ　栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部　　(敬称略)

実施日	会　　場	内　　容	参加人数(人)
5月16日(金)	東陽中学校	講師派遣事業 講話　「ネット時代の歩き方を考えよう」 講師　合同会社ロジカルキット　下田　太一	530
5月28日(水)	栃木西中学校		450
6月26日(木)	皆川中学校		44

(4)　青少年育成支援事業（とちぎ高校生蔵部）

若者が、様々な体験活動を通してふるさと栃木市への愛着心と社会性を育み、社会参画を推進するため、高校生によるまちづくりボランティアサークル「とちぎ高校生蔵部」の活動支援を行った。

ア　会議

・定例会議　月 2～3 回

イ　イベント等

・栃木市高校生合同文化祭の開催

・栃木散策ガイドマップ の作成

・偶数月第 4 日曜日に「ＦＭくらら 857」にて、「Tochigi high school radio」のパーソナリティーを担当

・各種イベント等の協力

2　青少年育成センター

青少年育成センター活動状況

少年の非行防止と健全育成を期するための街頭補導活動、少年相談業務、啓発広報、有害環境浄化活動等事業の推進に努めた。

(1)　街頭補導の実施

青少年育成センターの街頭補導勤務計画に従い、年間270回、延べ849人の少年補導員等が街頭補導に従事し、318人の少年を不良行為等により補導、青少年の非行防止と健全育成に努めた。

・街頭補導実施状況(栃木市全体)

区　分	回数(回)	少年補導員等(人)
午　前	0	0
午　後	187	541
夜　間	83	308

合　計	270	849

・街頭補導実施結果(栃木市全体)

区　分	現場指導(人)	声掛け(人)	愛の声掛け(人)
午　前	0	0	0
午　後	107	99	10,265
夜　間	39	73	8,517
合　計	146	172	18,782

※現場指導：法令に触れる違反行為

※声掛け：法令違反ではないがマナーに反する行為

※愛の声掛け：非行予防のために行う声掛け活動

(2)　少年相談

青少年育成センターでは随時、少年相談業務を行い、5件の相談を受理し問題解決を図った。

平成19年2月19日より開設した「いじめ相談電話」は、青少年相談員が担当しており、令和7年度の相談件数は1件であった。

少年相談状況(いじめ相談含む)

・相談者別内訳　　(単位：件)

区　分	相談者						
	少年本人	保護者	その他親族	教師	雇主	その他	計
教育相談	0	1	0	1	0	0	2
児童福祉相談	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	1	0	1	3
合　計	0	1	1	2	0	1	5
上記のうち電話	0	1	1	2	0	0	4

・相談対象者別内訳　　(単位：件)

内訳／内容	対象少年								
	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	各種学生	有職者	無職者	計
教育相談	0	0	0	1	0	1	0	0	2
児童福祉相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	1	0	0	0	1	3
合　計	0	0	1	2	0	1	0	1	5
上記のうち電話	0	0	1	2	0	1	0	0	4

(3)　有害環境浄化活動

書店等の立入調査を実施し、成人向け雑誌の店内陳列等について指導を行った。また、青少年が利用するスマートフォン等へのフィルタリングの定着を図るため、携帯電話販売店への立入調査を実施し、指導を行った。

・栃木県青少年健全育成条例に基づく立入調査

立入調査対象区分	調査箇所数(件)
図書類取扱業者(書店、コンビニエンスストア等)	4
がん具類取扱業者(がん具店、銃砲店等)	0
自動販売機(雑誌、ＤＶＤ等)	1
深夜立入制限施設(カラオケ、ボウリング場等)	1
複合カフェ(マンガ喫茶、インターネットカフェ)	0
携帯電話等販売店	2
合　　計	8

(4)　広報、啓発等

7月に「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月に「子ども・若者育成支援強調月間」の広報啓発のため、立看板を栃木駅等12か所に掲出し、周知を図った。

また、市ＨＰ及び広報とちぎへの掲載による広報啓発を行った。

(5)　少年補導員研修会

少年補導員の補導技術及び知識の向上を図るため、研修会を開催した。

実施日	会　　場	内　　容
5月19日(月)	栃木市役所	内容　少年非行の現状について 講師　栃木警察署　生活安全課長　中村 純一
9月～10月	栃木市役所	補導班ごとに薬物のオーバードーズに関するＤＶＤ視聴
10月6日(月)	水府学院	視察研修 内容　少年院における矯正教育について

(6)　青少年育成センター運営協議会の開催

青少年育成センターの運営について審議するために運営協議会を開催した。

・開 催 日　6月2日(月)
・会　　場　栃木市役所
・内　　容　会長・副会長の選任について
　　令和6年度青少年育成センター運営報告
　　令和7年度青少年育成センター運営計画
・出席人数　6人

3　家庭教育

(1)　家庭教育学級

県教育委員会主催の家庭教育オピニオンリーダー研修修了者や家庭教育支援の専門家が講師を務めるハッピー子育て講座では、参加者が互いの子育てについて語り合える参加型の講座を意識し、多くの認定こども園・保育園・小学校で講座を実施した。

また、就学時健診や一日入学時に子育て講座を担当するオピニオンリーダーを対象とした市独自の研修会を開催し、講座の立案と各支部の情報共有を図った。

ア　保育園における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話

（対象：保育園児保護者・祖父母）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
4月25日(金)	親の役割について	かるがも	けやき保育園	33
5月23日(金)	子どもの生活リズム考えていますか？	ほほえみ	大平南第一保育園	20
5月31日(土)	「しなやかで強いメンタルを支える」家庭での関わり法	佐藤 陽子	フォレストキッズ	30
6月20日(金)	自分らしい子育て★～あなたらしさを見つけて子育てに活かそう～	すずき あすか	大平西保育園	20
11月18日(火)	もうすぐ１年生！うちの子大丈夫？～入学前の子どもとの関わり方～	佐藤 陽子	くらのまち保育園	19
1月30日(金)	あなたの笑顔 子どもの笑顔‼＝発見やる気スイッチ‼	野口 郁子	ひかり保育園	60
1月30日(金)	準備はできてる？～親がわが子へ伝えるべき性教育への心構え～	すずき あすか	藤岡はーとらんど保育園	29
3月4日(水)	もうすぐ一年生！うちの子大丈夫？～入学前の子どもとの関わり方～	佐藤 陽子	フォレストキッズ	16

◎実施：8講座、中止：1講座

イ　子育て支援センターにおける親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話　（対象：子育て支援センター園児保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
12月17日(水)	「根拠のない自信」を育てよう！～6歳までの子育て基礎知識	佐藤 陽子	ファミリーサポートセンター	15
1月21日(水)	己書～親子の絆を育む 自由に描く心の書～	上岡 太	地域子育て支援センターいわふね	7

◎実施：2講座、中止：0講座

ウ　認定こども園における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話　（対象：認定こども園児保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
6月 3日(火)	これからの時代に必要な「自分で考える力」	氏家 実菜子	認定西方なかよしこども園	26
6月19日(木)	親子ではぐくむ子どもの心～心が育つために大切なこと～	星野 美幸	國學院大學 栃木二杉幼稚園	10
7月11日(金)	乳幼児の食について	篠﨑 久美子	バンビ幼稚園	18
10月22日(水)	困った！こんなときどうする～子どもの気持ちを受け止める方法～	すずき あすか	おおみや幼児教育センター	43
10月29日(水)	「根拠のない自信」を育てよう！～6歳までの子育て基礎知識	佐藤 陽子	栃木・若葉幼稚園	19

11月 5日(水)	食育について考えよう～脳が育つこどものごはん～	青木 恵美子	ひらかわ幼稚園	20
1月 22日(木)	自分らしい子育て☆～あなたらしさを見つけて子育てに活かそう～	すずき あすか	岩舟幼稚園	31
2月 17日(火)	自己肯定感を育む親子のコミュニケーション	氏家 実菜子	しずわでら幼稚園	20

◎実施：8講座、中止：0講座

エ　小規模保育施設における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話　（対象：小規模保育施設児保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
10月 10日(金)	乳幼児の食について	篠﨑 久美子	うずま保育園	26

◎実施：1講座、中止：0講座

オ　就学時健康診断・一日入学時における親学習プログラムを活用した親学習会　（対象者：就学時健康診断対象児童の保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
4月 22日(火)	ホッとおしゃべり	カルパ	国府北小学校	7
4月 23日(水)	ホッとおしゃべり	どーなつ	三鴨小学校	26
4月 23日(水)	仲間づくり、つながりづくり	かるがも	岩舟小学校	22
6月 9日(月)	ホッとおしゃべり	カルパ	国府南小学校	12
6月 11日(水)	ホッとおしゃべり	カルパ	吹上小学校	8
9月 9日(火)	保護者のおしゃべり会	らっこっこ	赤津小学校	12
9月 11日(木)	ホッとおしゃべり	カルパ	大宮南小学校	12
9月 11日(木)	ホッとおしゃべり	カルパ	吹上小学校	39
9月 17日(水)	子育て仲間でほっとタイム	どーなつ	藤岡小学校	32
9月 17日(水)	ホッとおしゃべり	カルパ	栃木第三小学校	19
9月 24日(水)	子育て仲間でほっとタイム	どーなつ	赤麻小学校	11
9月 26日(金)	ホッとおしゃべり	カルパ	千塚小学校	22
9月 26日(金)	つながりづくり	こーらす	西方小学校	19
9月 26日(金)	つながりづくり	こーらす	真名子小学校	2
10月 16日(木)	ホッとおしゃべり	カルパ	寺尾小学校	9
11月 26日(水)	もうすぐ我が子も一年生　トークしよう	ほほえみ	大平西小学校	54

1月20日(火)	保護者のおしゃべり会	らっこっこ	合戦場小学校	62
1月21日(水)	ホッとおしゃべり	カルパ	皆川城東小学校	7
1月21日(水)	ホッとおしゃべり	カルパ	国府北小学校	39
1月21日(水)	保護者のおしゃべり会	らっこっこ	家中小学校	22
1月23日(金)	ホッとおしゃべり	カルパ	栃木中央小学校	77
1月27日(火)	仲間づくり、つながりづくり	かるがも	岩舟小学校	55
1月28日(水)	もうすぐ我が子も一年生　トークしよう	ほほえみ	大平東小学校	32
1月28日(水)	もうすぐ我が子も一年生　トークしよう	ほほえみ	大平中央小学校	58
1月28日(水)	仲間づくり、つながりづくり	かるがも	小野寺小学校	7
1月30日(金)	ホッとおしゃべり	カルパ	栃木第四小学校	29
1月30日(金)	ホッとおしゃべり	カルパ	栃木第五小学校	86
1月30日(金)	ホッとおしゃべり	カルパ	大宮北小学校	89
1月30日(金)	仲間づくり、つながりづくり	かるがも	静和小学校	27
2月 3日(火)	もうすぐ我が子も一年生　トークしよう	ほほえみ	大平南小学校	41
2月 4日(水)	子育て仲間でほっとタイム	どーなつ	部屋小学校	9
2月10日(火)	ホッとおしゃべり	カルパ	南小学校	33

◎実施：32講座、次年度での実施：3講座

カ　小学校における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話

（各校で1回又は複数回開催　対象：小学校児童保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
5月 2日(金)	子どもの生活リズムを考えていますか？	かるがも	赤麻小学校	70
5月14日(水)	これからの時代に必要な「自分で考える力」	氏家 実菜子	国府北小学校	40
5月21日(水)	子育てのイライラとうまく付き合うには	かるがも	静和小学校	35
5月22日(木)	子どもの自己肯定感を高める「ココロ貯金」３つの方法	佐藤 陽子	合戦場小学校	28
6月 3日(火)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	南小学校	70
6月 4日(火)	己書～親子の絆を育む自由に描く心の書～	上岡 太	千塚小学校	51

6月17日(火)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	大平東小学校	52
6月20日(金)	子どもの自己肯定感を高める「ココロ貯金」３つの方法	佐藤 陽子	大平西小学校	48
6月20日(金)	自己肯定感を育む親子のコミュニケーション	氏家 実菜子	赤津小学校	9
6月25日(水)	親の役割～子どもの「気になる行動」への関わり方	佐藤 陽子	岩舟小学校	23
6月26日(木)	自己肯定感を育む親子のコミュニケーション	氏家 実菜子	大平南小学校	18
6月27日(金)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	皆川城東小学校	44
7月 7日(月)	親子のココロ貯金が貯まる！おしゃべりワークショップ	佐藤 陽子	皆川城東小学校	26
7月 9日(水)	あなたの笑顔 子どもの笑顔‼＝発見やる気スイッチ‼	野口 郁子	部屋小学校	13
9月30日(火)	親子のココロ貯金が貯まる！おしゃべりワークショップ	佐藤 陽子	大平西小学校	113
10月16日(木)	「しなやかで強いメンタルを支える」家庭での関わり法	佐藤 陽子	国府南小学校	31
10月17日(金)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	栃木第四小学校	22
10月17日(金)	「子どもの目線」で考える	大塚 幸一	小野寺小学校	13
10月18日(土)	「しなやかで強いメンタルを支える」家庭での関わり法	佐藤 陽子	寺尾小学校	29
11月 5日(水)	「しなやかで強いメンタルを支える」家庭での関わり法	佐藤 陽子	三鴨小学校	50
11月7日（金）	ゲーム機やスマホの使用にあたってのルール作りや危険性について	大房 剛樹	栃木第三小学校	127
11月 8日(土)	「自分らしい子育て」～あなたらしさを見つけて子育てに生かそう～	すずき あすか	吹上小学校	26
11月12日(水)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	大平中央小学校	193
11月12日(水)	家庭で読書をすすめてみませんか	らっこっこ	真名子小学校	28
11月13日(木)	「学校に行きたくない」と言われた日から～子育て革命体験談～	佐藤 陽子	栃木中央小学校	104
11月14日(金)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	藤岡小学校	48

11月19日(水)	親子のココロ貯金が貯まる！おしゃべりワークショップ	佐藤 陽子	大平中央小学校	149
11月26日(水)	「しなやかで強いメンタルを支える」家庭での関わり法	佐藤 陽子	小野寺小学校	62
11月27日(木)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	家中小学校	47
12月3日(水)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	大宮南小学校	24
12月5日(金)	家庭で読書をすすめてみませんか	らっこっこ	皆川城東小学校	20
12月5日(金)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	千塚小学校	14
2月4日(水)	これからの時代に必要な「自分で考える力」	氏家 実菜子	西方小学校	39
2月5日(木)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	栃木第五小学校	11
2月18日(水)	子育てはスモールステップ♪～1歩進んで2歩下がるくらいが丁度よい～	すずき あすか	大宮北小学校	25
2月18日(水)	自己肯定感を育む親子のコミュニケーション	佐藤 陽子	小野寺小学校	19

◎実施：36講座、中止：0講座

キ　中学校における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話

（各校希望制　対象：中学校生徒保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
5月1日(木)	親子のココロ貯金が貯まる！おしゃべりワークショップ	佐藤 陽子	西方中学校	206
7月8日(火)	「しなやかで強いメンタルを支える」家庭での関わり法	佐藤 陽子	大平南中学校	180
9月5日(金)	「しなやかで強いメンタルを支える」家庭での関わり法	佐藤 陽子	大平南中学校	164
9月10日(水)	思春期の親子のコミュニケーション術	佐藤 陽子	大平中学校	35
9月12日(金)	思春期の親子のコミュニケーション術	佐藤 陽子	藤岡中学校	184
11月21日(金)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	藤岡中学校	154
12月4日(木)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	栃木東中学校	125
12月12日(金)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	寺尾中学校	32

1月19日(月)	子どもの自己肯定感を高める「ココロ貯金」3つの方法	佐藤 陽子	栃木西中学校	75
2月20日(金)	ゲーム機やスマホの使用にあたってのルール作りや危険性について	大房 剛樹	皆川中学校	13

◎実施：10講座、中止：0講座

※カルパ　→ 栃木市栃木家庭教育オピニオンリーダー会「ＣＡＲＰＡ(カルパ)」

※ほほえみ → 栃木市大平町家庭教育オピニオンリーダー「ほほえみの会」

※らっこっこ → 栃木市都賀家庭教育オピニオンリーダー会「らっこっこくらぶ」

※かるがも → 家庭教育オピニオンリーダー「かるがも岩舟」

(2)　家庭教育講演会

子育て世代の親や教職員、家庭教育支援に携わる関係者等を対象とした家庭教育講演会は、栃木市とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）小ホールにて、下都賀地区ＰＴＡ連絡会、栃木市ＰＴＡ連合会との共催で以下のとおり開催した。

演　題	実施予定日	対象者	講師(敬称略)	参加人数(人)
不登校の人が一歩を踏み出すきっかけは？	6月21日(土)	保護者及び教職員(保育園・認定こども園・小中学校等)、家庭教育支援関係者、一般市民	石井 しこう	228

第６節　文化課

〔総括概要〕

文化課の主な分掌事務は、文化振興関係事業及び文化財関係事業である。

文化振興関係では、本市の文化芸術の基本的な考えを示し、体系的な施策の展開を図るため策定した栃木市文化振興計画に基づき、市民及び学識経験者による推進懇談会を組織し推進を図るとともに、文化振興推進制度における施策を実施した。また、俳句を通して小中学生の豊かな心を育むとともに、本市出身の文豪・山本有三の業績を顕彰し、生きる力を身につけてもらうことを目的に、第35回山本有三記念「路傍の石」俳句大会を実施した。更に、各種文化団体が開催する展覧会・演奏会等の後援等を行い、その活動を支援した。文化会館については、指定管理者による参加型・鑑賞型事業や市内小中学校への派遣事業の実施により文化芸術の振興に努めるとともに、効率的な会館運営を行った。また、栃木文化会館を今後、中長期的に使用するための施設改修については、令和６年度に実施した基本設計に基づき大規模改修実施設計を行った。

文化財関係では、近年増加傾向にある埋蔵文化財包蔵地における開発行為に対し随時工事立会や確認調査を実施し、開発者に対し適切な指導を行うことで埋蔵文化財の保全に努めた。また、地域の貴重な文化遺産の保存活用のため、文化財保護審議会委員の立会のもと、指定文化財等の修繕に係る現地指導等を行い、文化財の適切な修繕を実施した。令和6年10月11日に国の史跡に指定された西方城跡について、その普及・啓発のため、西方城跡国史跡指定記念シンポジウムを開催した。また、令和6年度から実施している栃木市文化財保存活用地域計画の作成については、市民の意見を反映するためパブリックコメントを実施し、計画案を作成した。資料館等の施設に関しては、収蔵品や資料を整理するとともに管理運営を適切に行った。

文化振興係

1　文化振興関係

(1)　栃木市文化振興計画の推進

本市が目指すべき文化芸術等の方向性を明らかにし、豊かな心を育む文化の継承・発展のために策定した「第2期栃木市文化振興計画」の推進を図った。

ア　文化振興計画推進懇談会

栃木市文化振興計画を市民協働により計画的かつ継続的に推進するに当たり、学識経験者、文化芸術関係団体や社会教育団体の代表者、公募委員等により構成する推進懇談会を設置し、計画に掲げる施策の取組状況を検証し、改善策や今後の在り方、方向性などに関する意見を求めた。

・開催回数　1回

(2)　文化振興推進制度

地域に根ざした個性豊かな文化を継承するとともに、それを更に発展させ、市民協働による「文教・文化都市」を目指すための制度を推進した。

ア　栃木市文化大使（委嘱者数8人）

本市の文人若しくは墨客又は歴史、文化遺産等について造詣が深く専門的な助言や講話ができる、本市と縁のある方を文化大使として委嘱し、本市の文化面の魅力を情報発信するとともに、文化的遺産や文化活動に対して助言、指導をいただくことにより本市における文化振興を図った。

・市事業等への支援状況

特別職非常勤職員（市立美術館長）　1人

審議会委員等　5人、講演会講師等　3人

イ　栃木市文化マイスター（認定数：39団体、個人28人）

本市の文化面の各分野で調査研究・活動を重ねている団体や個人に申請していただき、文化マイスターの称号を授与し、自身の活動の励みとしてもらうとともに市や地域の各種事業等へ支援、協力をいただくことにより、本市の文化を伝え広め文化振興を図った。

・活動状況　　公民館等事業　29回、文化課受付分事業　3回

ウ　とちぎ文化講座の実施

本市における文化振興を図るため、本市の歴史や文化を様々な角度から学ぶ機会を創設し、地域への理解と愛着を深めることを目的として文化講座を開催した。

講座名	講師	実施日	参加者数(人)
海なし県の貝塚！ ～藤岡地域周辺の貝塚を中心に～	塚本　師也	9月30日（火）	51
七廻り鏡塚古墳から見る 栃木の古墳時代	内山　敏行	10月7日（火）	46
下野国を支えた窯業生産 ～三毳山麓窯跡群を中心に～	津野　仁	10月14日(火)	47
都賀地域の中世城郭	小川　英世	10月21日(火)	41
栃木地域の中近世 ～皆川氏と皆川城・栃木城～	江田　郁夫	10月28日(火)	46
西方地域の中近世 ～西方城と城下町～	高見　哲士	11月4日（火）	42
【特別講座】西方城跡国史跡指定シンポジウム なんで西方城なるほど西方城Ⅱ	浅野晴樹、大澤伸啓、初山孝行、福田和成、中村良一	12月21日(日)	400

(3)　栃木市ふるさと文化振興基金

本市の多くの優れた文化遺産を守り、豊かな芸術文化を育むため、栃木市ふるさと文化振興基金を設置し、寄附金等を積み立て、文化振興関係事業費に充てている。

栃木市ふるさと文化振興基金状況

・寄附件数　　549件

内訳　栃木市ふるさと応援寄附金　　548件

栃木市ふるさと文化振興基金寄附金　　1件

（単位：円）

栃木市ふるさと応援寄附金	10,322,000
栃木市ふるさと文化振興基金寄附金	108,000
基金利子	25,900
計（A）	10,455,900
繰出金 ※	△14,200,000
計（B）	△14,200,000
小計（A＋B）	△3,744,100
前年度基金額（C）	55,816,996
基金合計（A＋B＋C）	52,072,896

※繰出先：栃木文化会館施設整備事業費

文化会館施設改修事業費

美術館作品収集事業費

ふるさとの城郭群再発見事業費

(4)　第35回山本有三記念「路傍の石」俳句大会

俳句を通して小中学生の豊かな心を育むとともに、本市出身の文豪山本有三の業績を顕彰し、生きる力を身につけてもらうことを目的として、小中学校の児童生徒を対象に実施した。

・栃木市、栃木市教育委員会、栃木市俳句協会及び特定非営利活動法人山本有三記念会の共催

・応募総数　5,544句

期　日	場　所	内　容
6月中旬～9月5日（金）	－	作品募集
9月上旬～10月上旬	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	20人の審査員による審査（第1次、第2次、本選、最終）
11月30日（日）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	表彰式・子ども俳句教室

(5)　その他の芸術・文化振興関係事業

ア　後援関係

各種文化団体の開催する展覧会、演奏会、発表会等を後援した。

イ　県立博物館等の宣伝等

県立博物館やその他の施設からの催物パンフレット・ポスター等の配布・掲示及び広報紙への掲載を行った。

ウ　栃木市文化活動協議会

加盟する文化活動団体及び個人を支援し、相互の連携強化と親睦融和を図るとともに、市民文化の振興を図った。

実　施　日	事　　業　　名	会　　場	参加者数 (参加団体数)
4月30日（水）	第1回理事会	市役所正庁	28人
6月30日（月）	総会	市役所正庁	49人
9月17日（水）	第2回理事会	大平公民館	29人
9月21日（土） ～12月7日（日）	各支部文化祭	各文化会館 及び各公民館等	269団体
3月7日（土）～8日（日）	とちぎ文化のつどい	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	37団体
3月27日（金）	第3回理事会	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	28人

エ　第49回栃木県文化振興大会

・実施日　2月13日（金）

・場　所　那須野が原ハーモニーホール

・内　容　「地域文化の振興を目指して」のテーマのもと、県文化協会や県とともに担当市町教育委員会及び文化協会等が主催者の一員となり、記念式典、アトラクション、作品展等を行った。栃木市文化活動協議会各支部からは計58人が参加した。

2　文化会館関係

(1)　栃木市文化会館運営委員会会議

実　施　日	審　　議　　事　　項
6月20日（金）	・令和6年度実績報告について ・令和7年度事業計画について ・栃木市文化振興計画推進懇談会参加者の推薦について ・大平文化会館の休館日の変更について
10月21日（火）	・栃木市文化会館への要望・質問について ・栃木文化会館大規模改修について （栃木市文化会館利用者懇談会全体会と合同開催）
3月23日（月）	・令和7年度利用・修繕状況について ・令和7年度主催事業開催状況について ・令和8年度主催事業計画（案）について

	・令和7年度文化会館アンケート結果について ・岩舟文化会館のネーミングライツについて ・栃木文化会館の大規模改修について

(2)　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）

ア　主催事業関係

事　業　名	実　施　日　等	入　場　料	入場者数(人)
参加型事業 ピアノ開放デー「わくわく！ピアノ！」（ベーゼンドルファー）	5月18日(日) 午前の部：午前10時開演 午後の部：午後1時開演 会場：小ホール	無料	参加54 観覧148
鑑賞事業 石川さゆりコンサート ～極上のアンサンブル～	6月1日(日) 1回目　午後1時開演 2回目　午後5時開演 会場：大ホール	7,000円 ※未就学児童 入場不可	①　942 ②　760
鑑賞事業 でんじろう先生のドキドキわくわくサイエンスショ―Part2	7月21日（月・祝） 1回目　午後1時開演 2回目　午後3時30分開演 会場：大ホール	3,300円	①　881 ②　618
鑑賞事業 林家たい平独演会	8月21日（木）午後1時開演 会場：大ホール	3,800円 ※未就学児童 入場不可	558
鑑賞事業 THEカルテットの昭和歌謡コンサート	10月6日（月）午後2時開演 会場：小ホール	2,500円 ※未就学児童 入場不可	384
鑑賞型事業 スガシカオ Hitori Suger Tour「Road to 30th Anniversary」	11月1日（土）午後5時開演 会場：大ホール	7,700円 ※小学生以下 入場不可	1,009
地域振興事業 ゆかりのアーティストシリーズ ～世代を超えて楽しもう！フルートとピアノで奏でる音楽の世界～	12月14日（日） 午後2時開演 会場：小ホール	一般 1,000円 高校生以下 500円	214
創造事業 とちぎ演劇ワークショップ 「リーディングの時間」	11月29日（土）、30日（日）、 12月20日（土）、21日（日）、 1月12日（月・祝） 会場：諸室 11月29日、30日、12月20日は岩舟	参加費 一般5,000円 高校生以下 500円	21

鑑賞型事業 CRAZY KEN BAND 華麗なるツアー 2025-2026	2月8日（日）17時開演 会場：大ホール	9,900円 ※年齢制限なし	633
参加型事業 ピアノ開放デー「わくわく！ピアノ！」（スタインウェイ）	2月23日（月・祝） 第一部：午前10時開演 第二部：午後1時開演 第三部：午後3時開演 会場：大ホール	無料	参加61 観覧162
地域振興事業 古楽器レクチャーコンサート ～バッハはコーヒーに酔い、羊は新生姜をはむ～	3月7日（土） 午後3時開演 会場：小ホール	一般 2,000円 高校生以下 500円	103
鑑賞事業 とちぎシネマ倶楽部 「35年目のラブレター」	3月21日（土） 1回目：午前10時30分開演 2回目：午後2時開演 会場：大ホール	500円	① 406 ② 277
地域振興事業 小学校アウトリーチ	11月5日（水） 会場：合戦場小学校 Bamboo Brass Quartetto 原進(トランペット)、金子敦則(トランペット)、堀恭子(トロンボーン)、秋裕一郎(バストロンボーン)	無料	395
	12月4日（木） 会場：家中小学校 創作太鼓保存会 西方ふるさと太鼓		171
	12月17日（水） 会場：赤津小学校 「音楽の贈り物」 板垣聡子(ヴァイオリン)、伊藤裕美(ソプラノ)、飯塚美由記(クラリネット)、管野由加里(ピアノ)		150
	10月7日（火） 会場：大平東小学校 創作太鼓保存会 西方ふるさと太鼓		41

地域振興事業 小学校アウトリーチ	10月10日（金） 会場：大平西小学校 さかはし矢波（フルート）、 福田素子（ピアノ）	無料	449
	11月5日（水） 会場：大平南小学校 「音楽の贈り物」 板垣聡子(ヴァイオリン)、伊 藤裕美(ソプラノ)、飯塚美由 記(クラリネット)、管野由加 里(ピアノ)		330
	11月7日（金） 会場：大平中央小学校 Bamboo Brass Quartetto 原進（トランペット）、金子 敦則（トランペット） 堀恭子（トロンボーン）、秋 裕一郎（バストロンボーン）		588
	10月16日（木） 会場：藤岡小学校 Bamboo Brass Quartetto 原進（トランペット）、金子 敦則（トランペット） 堀恭子（トロンボーン）、秋 裕一郎（バストロンボーン）		229
	10月29日（水） 会場：三鴨小学校 渡辺美輪子サクソフォン四 重奏団(清水容子(アルト)、 渡辺美輪（アルト)，各川芽 （テナー)、宮崎真一(バス)) 渡辺美輪子サックス四重奏		158
	11月4日（火） 会場：部屋小学校 前田みねり(ヴァイオリン) ＆高際悦子(ピアノ)		471

地域振興事業 小学校アウトリーチ	10月24日（金） 会場：小野寺小学校 トリオ・カンタービレ 川上真知子(ソプラノ)、田中結子(ソプラノ)、荒井庸子(ピアノ)	無料	112

イ　貸館事業関係　　（単位：人）

月	大ホール	小ホール	展示室	大会議室	会議室	和室	応接室	第一練習室	第二練習室	合計
4	2,929	2,410	817	817	162	59	50	403	74	7,721
5	4,041	3,063	1,670	827	402	278	112	339	117	10,849
6	7,283	2,265	2,731	724	280	69	33	360	162	13,907
7	7,565	3,147	363	1,113	294	164	92	394	123	13,255
8	3,391	2,154	1,546	526	261	32	21	339	63	8,333
9	8,693	4,172	1,982	909	296	56	52	281	229	16,670
10	7,528	2,710	2,228	1,524	555	502	66	298	123	15,534
11	9,553	3,110	1,283	1,702	330	775	53	741	655	18,202
12	5,460	1,621	717	556	227	114	30	289	100	9,114
1	4,228	2,199	933	831	249	155	52	499	111	9,257
2	7,599	2,603	1,841	1,393	213	119	19	404	141	14,332
3	8,143	2,223	2,871	1,383	367	405	95	458	267	16,212
合計	76,413	31,677	18,982	12,305	3,636	2,728	675	4,805	2,165	153,386
月平均	6,368	2,640	1,582	1,025	303	227	56	400	180	12,782

(3)　大平文化会館

ア　主催事業関係

事　業　名	実　施　日　等	入　場　料	入場者数(人)
参加型事業 ホールたんけんツアーin 大平文化会館	8月24日（日） 午前10時～11時30分 会場：中ホール他	無料	18
鑑賞事業 Maseki Geinin Collection in 栃木	9月23日（火・祝） 午後2時45分開演 会場：中ホール	4,000円	489
参加型事業 ピアノ開放デー「わくわく！ピアノ！」(ベーゼンドルファー)	9月28日（日） 第一部：午前10時開演 第二部：午後1時開演 第三部：午後3時開演 会場：中ホール	無料	参加41 観覧55

鑑賞事業 ティータイムコンサート	① 11月20日（木） 午後3時開演 会場：ロビー 長雅大（ピアノ） ② 3月24日（火） 午後3時開演 会場：ロビー 澤田奏恵（マリンバ）	無料	① 82 ② 81
地域振興 市内連携プロジェクトワークショップ 「とちぎアートコネクト」vol.2 ～合唱でつながるこころの絆・世代間交流プログラム～	11月3日(月・祝)、16日(日)、30日（日）、12月6日（土） 全4回 11月3日、16日は栃木	参加費 4,000円	参加者28
地域振興 市内連携プロジェクトワークショップ 「とちぎアートコネクト」vol.2 ～合唱でつながるこころの絆・世代間交流プログラム～ 成果発表会	12月7日（日） 午後2時開演 会場：中ホール	無料	154
参加型事業 ロビーコンサート	3月1日（日） 午後2時開演 会場：ロビー	無料	参加7組13 観覧25
鑑賞事業 渡辺真知子コンサート2026 ～唇よ、熱く君を語れ～	3月15日（日） 午後4時開演 会場：中ホール	7,000円 ※未就学児童入場不可	461

イ　貸館事業関係　　（単位：人）

月	中ホール	リハーサル室	展示室	合計
4	929	41	0	970
5	628	138	0	766
6	1,672	129	0	1,801
7	3,811	62	0	3,873
8	1,827	50	0	1,877
9	1,236	28	0	1,264
10	2,833	76	62	2,971
11	3,306	107	797	4,210
12	3,064	76	60	3,200

1	1,356	19	60	1,435
2	3,347	261	2	3,610
3	3,221	340	170	3,731
合計	27,230	1,327	1,151	29,708
月平均	2,269	111	96	2,476

(4)　藤岡文化会館

ア　主催事業関係

事　業　名	実　施　日　等	入　場　料	入場者数(人)
参加型事業 ピアノ開放デー「わくわく！ピアノ！」（カワイコンサートグランドピアノ）	6月28日(土)、29日(日) 午前10時～午後5時 会場：中ホール	無料	参加 28日25 29日28
参加型事業 アートワークショップ 「ゆらゆら光るモビールをつくろう！」 ＆展示会	8月2日(土) ワークショップ 午前10時～午後12時 8月3日(日)作品展示 午前10時～午後4時 会場：多目的ホール	参加費：500円 観　覧：無料	ワークショップ 参加36 観覧28
鑑賞事業 柳谷さん喬･喬太郎 親子会＋柳谷小春（江戸粋曲）	9月14日（日） 午後2時開演 会場：中ホール	4,000円 ※未就学児童入場不可	241
鑑賞事業 藤岡文化会館スペシャルプレゼンツ「陸上自衛隊第12音楽隊コンサート」	1月31日（土） 午後2時開演 会場：中ホール	無料（要事前申込） ※未就学児童入場不可	786

イ　貸館事業関係　　（単位：人）

月	中ホール	多目的ホール	第1リハーサル室	第2リハーサル室	計
4	210	85	0	0	295
5	270	0	0	0	270
6	719	70	0	70	859
7	2,970	0	0	0	2,970
8	221	45	0	0	266
9	367	0	0	0	367
10	2,463	969	0	0	3,432
11	5,082	1,007	0	0	6,089
12	654	746	0	0	1,400
1	2,856	745	0	20	3,621
2	2,891	0	0	0	2,891

3	1,235	0	40	40	1,315
合計	19,938	3,667	40	130	23,775
月平均	1,662	306	3	11	1,981

(5)　岩舟文化会館

ア　自主事業関係

事　業　名	実　施　日　等	入　場　料	入場者数(人)
鑑賞事業 ダニエル・ハリトーノフ ピアノ・リサイタル	11月23日（日・祝） 午後2時開演 会場：中ホール	4,000円 ※未就学児童 入場不可	260
創造事業 とちぎ演劇ワークショップ 「リーディングの時間」 成果発表会	1月18日（日） 午後1時開演 会場：中ホール	無料	100

イ　貸館事業関係　　（単位：人）

月	ホール	多目的ホール	合計
4	0	0	0
5	0	0	0
6	0	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
9	0	0	0
10	5,808	390	6,198
11	3,571	1,024	4,595
12	3,682	426	4,108
1	753	193	946
2	1,205	639	1,844
3	2,806	613	3,419
合計	17,825	3,285	21,110
月平均	2,971	548	3,518

(6)　栃木文化会館施設整備事業

令和6年度に委託した大規模改修基本設計及び実施設計業務について、令和7年度は実施設計を行った。

文化財係

1　文化財関係

(1)　市文化財保護審議会関係

開催日	場　　所	内　容

8月5日（火）	市役所本庁舎	第1回栃木市文化財保護審議会
12月22日（月）	とちぎ山車会館	県指定有形民俗文化財「とちぎの山車」（万町三丁目の山車）の修理に係る現地指導
3月3日（火）～4日（水）	岩舟町古江	「古江・花神窯跡」の所在調査に係る現地指導
3月6日（金）	市役所本庁舎	第2回栃木市文化財保護審議会

(2)　文化財保護関係

ア　埋蔵文化財

文化財保護法及び栃木県の指導に基づき、公共及び民間団体による土地開発に際し、埋蔵文化財包蔵地の工事立会や確認調査を行った。

・照会件数　　2,409件

・発掘届出件数　　178件（内訳：92条関係 0件、93条関係 159件、94条関係 9件、96条関係 0件、97条関係 1件、99条関係 9件）

・現地立会件数　　53件

・確認調査　　13件

・本調査　　0件

イ　指定文化財

市指定文化財（有形文化財）の修理に対する補助金の交付を行った。

・市指定文化財（有形文化財）大中寺山門修理　1,039,000円

(3)　資料館関係

ア　下野国庁跡資料館

発掘された実物の瓦、下野国印（推定）、木簡のレプリカ、下野国庁復元模型のほか、槍鉋（やりがんな）等の古代の大工道具等を展示している。

・開館日数　249日

・入館者数　1,012人

イ　栃木市郷土参考館

郷土の産業・教育・日常生活資料、文化財等を展示している。

・開館日数　298日

・入館者数　2,550人

ウ　星野遺跡地層たんけん館・星野遺跡憩の森

星野遺跡のＥトレンチの地層のほか、出土した石器等を展示している。

・開館日数　301日

・イベント開催

石器づくり体験教室

日時：11月3日（月）10時から12時

場所：星野遺跡憩の森

講師：岩宿博物館 小菅将夫氏 及び 岩宿博物館友の会

参加者数：10人

エ　藤岡歴史民俗資料館

篠山貝塚、藤岡神社遺跡、山王寺大桝塚古墳出土遺物、田中正造、旧谷中村等の

資料を展示している。施設の老朽化に伴う設備点検および修繕工事実施のため、令和6年8月28日から令和8年3月20日まで臨時休館し、令和8年3月21日より再開している。

・開館日数　　7日

・入館者数　23人

オ　西方民俗資料室

西方地域の歴史民俗資料を収蔵している。

カ　おおひら歴史民俗資料館・おおひら郷土資料館「白石家戸長屋敷」

国指定重要文化財の下野七廻り鏡塚古墳出土品を中心に大平地域からの出土遺物等をおおひら歴史民俗資料館にて展示しており、また、江戸時代の大庄屋だった白石家戸長屋敷をおおひら郷土資料館として公開している。

・開館日数　303日(おおひら歴史民俗資料館)、304日(おおひら郷土資料館)

・入館者数　6,594人（内、有料入館者　5,486人）

・工事等

おおひら郷土資料館「白石家戸長屋敷」母屋隅棟等修繕工事 4,543,000円

事業名	実施日
戸長屋敷の端午の節句飾り	4月19日（土）～5月25日（日）
戸長屋敷の七夕飾り	6月21日（土）～7月13日（日）
戸長屋敷のお月見飾り	9月6日（土）～10月13日（月）
戸長屋敷のお正月飾り	12月20日（土）～1月18日（日）
戸長屋敷のひな祭り	1月31日（土）～3月8日（日）
体験型イベント	8月23日（土）

キ　星野遺跡記念館

星野遺跡発見の歴史や市内における旧石器・縄文時代に関する資料等を展示している。

・開館日数　116日

・入館者数　1,868人

(4)　ふるさとの城郭群再発見事業

西方城跡について､令和6年10月11日に国の史跡に指定されたことを広く周知発信するため、西方城跡国史跡指定記念シンポジウムを開催した。また、市外の報告会にて西方城跡の魅力やこれまでの調査成果を発信し、市内外への普及・啓発を行った。

実施日	場所	内容
12月21日（日）	関東ホーチキにしかた体育館	西方城跡国史跡指定記念シンポジウム 『なんで西方城　なるほど西方城Ⅱ』 参加者数：400人
2月28日（土）	那珂川町風土	巡回展『栃木の遺跡』遺跡報告会

	記の丘資料館 （那珂川町）	参加者数：64人

(5) 文化財保存活用地域計画策定事業

文化財の保存・活用に関するマスタープラン兼アクションプランとなる、栃木市文化財保存活用地域計画を作成するため、栃木市文化財保存活用地域計画協議会や庁内ワーキンググループを開催した。そのほか、市民の意見を反映するため、パブリックコメントを実施した。

・文化財保存活用地域計画作成支援業務委託　5,478,000円

・パブリックコメント

期間：令和7年12月25日（木）～令和8年1月23日（金）

結果：36件（12名）

実施日	場所	内容
7月8日（火）	嘉右衛門町伝建地区拠点施設「交流館」	第3回栃木市文化財保存活用地域計画協議会
10月15日（水）	市役所　正庁	庁内ワーキンググループ
10月20日（月）	嘉右衛門町伝建地区拠点施設「交流館」	第4回栃木市文化財保存活用地域計画協議会
12月25日（木）～1月23日（金）		パブリックコメント
2月17日（火）	市役所 201会議室	第5回栃木市文化財保存活用地域計画協議会

(6)　その他

・文化財等の維持管理

荒宿B古墳群、山王寺大枡塚古墳、赤麻古墳、西方城跡、下野国庁跡、星野遺跡憩の森、星野遺跡地層たんけん館、星野遺跡記念館の除草・清掃

・資料保存管理関係

市教委所蔵写真等デジタル化業務委託、収蔵品目録作成業務委託

第７節　美術・文学館課

〔総括概要〕

美術・文学館課の主な分掌事務は、栃木市立美術館及び栃木市立文学館の管理運営及び展示、美術作品・文学作品等の調査・研究等、教育普及活動などである。

栃木市立美術館は、企画展（「大広重展―東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界―」「アートリンクとちぎ2025　壱からわかる！浮世絵超入門+オドロキの超応用編」「喜多川歌麿と栃木の狂歌」「鈴木賢二と徹」）、及び、収蔵品展Ⅰ～Ⅱ、特集展「もっと詳しく雪月花」を開催した。そのほか、展覧会に関連した講演会、ギャラリートーク、ワークショップや、親子での来館者を対象としたこどもの日のイベント「ミュージアムであそぼう！」等や、市内の飲食店と連携した事業等を実施し、美術館を楽しむ機会を提供した。なお、年間を通じて、市内小中学校の教員を対象に、美術館並びに文学館への理解を深め、児童生徒の校外学習での活用を促進するため、「先生のための見学会」を開催した。

栃木市立文学館は、2回の企画展（「くじけないで～柴田トヨのことば～」「「歴程」と逸見猶吉、岡安恒武」）を開催した。また、年間を通じて栃木出身の作家である山本有三、吉屋信子、詩人の柴田トヨの各氏を中心に、市ゆかりの文学に関する常設展示（随時展示替えあり）を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、市民等の文学への興味関心の喚起に努めた。

総務係

1　栃木市立美術館・文学館等の入館者数

(1)　栃木市立美術館

ア　展覧会別入館状況

(ｱ)　企画展

展覧会名	開館日数(日)	観覧者数(人)	大人			中学生以下
			有料	無料	計	
大広重展―東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界― 4月12日～6月15日	55	8,139	4,316	3,302	7,618	521
アートリンクとちぎ2025 壱からわかる！浮世絵超入門+オドロキの超応用編 7月5日～9月23日	67	3,718	2,677	825	3,502	216

喜多川歌麿と栃木の狂歌 10月10日～12月14日	55	10,579	8,112	2,166	10,278	301
鈴木賢二と徹 1月10日～3月22日	61	1,831	1,199	581	1,780	51
合計	238	24,267	16,304	6,874	23,178	1,089

(ｲ) 収蔵品展

展覧会名	開館日数(日)	観覧者数(人)	大人			中学生以下
			有料	無料	計	
収蔵品展Ⅰ 7月5日～9月23日 収蔵品展Ⅱ 1月10日～3月22日	128	5,627	3,951	1,408	5,359	268
うち収蔵品展のみ観覧	128	78	75	2	77	1

(ｳ) 特集展

展覧会名	開館日数(日)	観覧者数(人)	大人			中学生以下
			有料	無料	計	
もっと詳しく雪月花 4月12日～6月15日	55	8,139	4,316	3,302	7,618	521

イ 月別観覧者内訳

月	開館日数(日)	観覧者総数(人)	大人(人)			中学生以下(人)
			有料	無料	計	
4	16	1,417	1,132	217	1,349	68
5	27	3,085	2,241	652	2,893	192
6	12	3,637	943	2,433	3,376	261
7	23	1,069	747	248	995	74
8	25	1,420	992	326	1,318	102
9	19	1,282	988	253	1,241	41
10	19	3,791	3,159	467	3,626	165
11	24	4,697	3,247	1,349	4,596	101
12	12	2,091	1,706	350	2,056	35
1	19	573	378	180	558	15
2	23	568	383	169	552	16
3	19	715	463	232	695	20

合計	238	24,345	16,379	6,876	23,255	1,090

(2)　栃木市立文学館

ア　展覧会別入館状況

(ｱ)　企画展

展覧会名	開館日数(日)	観覧者数（人）	大人			中学生以下
			有料	無料	計	
くじけないで ～柴田トヨのことば～ 4月19日～9月28日	139	4,226	2,191	1,647	3,838	388
「歴程」と 逸見猶吉、岡安恒武 10月11日～3月22日	141	3,149	2,440	600	3,040	109
合計	280	7,375	4,631	2,247	6,878	497

(ｲ)　常設展

展覧会名		開館日数(日)	観覧者数（人）	大人			中学生以下
				有料	無料	計	
常設展		305	7,629	4,833	2,292	7,125	504
	うち常設展のみ観覧	305	254	202	45	247	7

イ　月別観覧者内訳

月	開館日数（日）	観覧者総数（人）	大人（人）			中学生以下（人）
			有料	無料	計	
4	25	1,161	275	797	1,072	89
5	27	2,497	676	1,582	2,258	239
6	25	2,358	333	1,813	2,146	212
7	27	818	258	512	770	48
8	27	1,260	340	834	1,174	86
9	24	1,134	416	674	1,090	44
10	27	2,027	752	1,207	1,959	68
11	26	3,072	847	2,113	2,960	112
12	24	1,454	443	978	1,421	33
1	24	630	153	455	608	22
2	23	749	149	574	723	26
3	26	945	191	709	900	45
合計	305	18,105	4,833	12,248	17,081	1,024

2　栃木市立美術館・文学館運営協議会

美術館・文学館の運営を円滑に行うための運営協議会を開催した。

・委員数　10名（うち公募委員2名）

・任期　　令和7年7月1日から2年間

開　催　日	内　容
8月5日（火）	・栃木市立美術館・文学館運営協議会正副会長の選出について ・令和7年度事業の状況について ・令和8年度事業計画（案）について
2月20日（金）	・令和7年度事業の状況について ・令和8年度事業計画（案）について

3　栃木市立美術館・文学館サポーター（運営ボランティア）

運営ボランティアとして、栃木市立美術館・文学館サポーターに受付補助、イベント補助等の活動に参加いただいた。

・登録人数　53人

活　動　内　容	活　動　人　数
美術館受付補助業務	延べ214人（4月12日～3月22日）
イベント・講演会等補助業務	延べ93人
チラシ等発送業務	延べ40人
ギャラリートーク補助業務	延べ15人
サポーターによるギャラリートーク	延べ20人

4　栃木市立美術館・文学館賛助制度（企業等サポーター）

財源を確保するとともに、官民連携による美術館・文学館の活性化を図るため、美術館・文学館の事業の趣旨に賛同し、賛助する企業・団体等を募集した。

・企業等サポーター（※1口50,000円）

株式会社呉光製作所（1口）、滝沢ハム株式会社（2口）、トヨタホーム株式会社栃木事業所（1口）、栃木信用金庫（2口）、株式会社ホンダカーズ栃木中央（2口）、ケーブルテレビ株式会社（1口）

5　とちぎMuséeフェスの開催

市内外に美術館及び文学館の魅力をＰＲし、新たなファンの獲得と、まちなかの賑わいの創出を図るため、「とちぎMuséeフェス2025」を開催した。

・開 催 日　11月3日（月・祝）

・会　　場　栃木市立美術館・文学館ひろば

きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

・内　　容　サックスコンサート、保育園児による太鼓演奏、書道パフォーマンス、

文学館講座「有三、信子、そして鏡花－日本近代文学における位相－」、アートに飛び込む！浮世絵ヨガ～狂歌篇～

学芸係

1　栃木市立美術館・文学館展示関係

(1)　栃木市立美術館

企画展「大広重展―東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界―」をはじめ、4回の企画展及び2回の収蔵品展、1回の特集展「もっとくわしく雪月花」を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、美術館を楽しむ機会を提供した。また、市内小中学校の教員向けに「先生のための見学会」を開催した。

ア　開館期間　4月12日（土）～3月22日（日）

イ　講演会

(ｱ)　「喜多川歌麿と栃木」

・実 施 日　11月1日（土）
・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
・講　　師　浅野秀剛氏(大和文華館館長・あべのハルカス美術館館長)
・聴講者数　80名

(ｲ)　「天明狂歌の大流行と栃木の狂歌」

・実 施 日　11月23日（日・祝）
・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
・講　　師　小林ふみ子氏（法政大学教授）
・聴講者数　45名

ウ　イベント等

(ｱ)　学芸員によるギャラリートーク

・実 施 日　4月12日（土）、5月25日（日）、7月5日（土）、10月18日（土）、11月30日（日）、1月10日（土）
・会　　場　栃木市立美術館
・参加者数　累計201名

(ｲ)　学芸員によるキッズギャラリートーク

・実 施 日　4月20日（日）、5月5日（月・祝）、8月17日（日）、10月19日（日）、1月18日（日）
・会　　場　栃木市立美術館
・参加者数　累計12名

(ｳ)　美術館・文学館サポーターによる雪月花ギャラリートーク

・実 施 日　4月29日（火・祝）、5月11日（日）、6月7日（土）、9月7日(日)、9月21日（日）、10月13日（月・祝）、11月9日（日）
・会　　場　栃木市立美術館
・参加者数　累計180名

(ｴ) ワークショップ「浮世絵摺り体験！」
・実 施 日 4月27日（日）、5月18日（日）、5月25日（日）、8月3日（日）、9月20日（土）、11月2日（日）、11月30日（日）、12月6日（土）
・会　　場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・参加者数 累計20名

(ｵ) ワークショップ「コラージュ！“広重ブルー”でつくる「蔵の街」」
・実 施 日 6月1日（日）
・会　　場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・参加者数 13名

(ｶ) ワークショップ「藍で染めよう」
・実 施 日 7月19日（土）
・会　　場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・参加者数 10名

(ｷ) 美術館・文学館でミッションに挑戦！
・実 施 日 8月17日（日）
・会　　場 栃木市立美術館、栃木市立文学館
・講　　師 美術館・文学館サポーター
・参加者数 7名

(ｸ) ミニ講座 「浮世絵超入門！浮世絵のミカタ」
・実 施 日 8月24日（日）
・会　　場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・参加者数 22名

(ｹ) オリジナル消しゴムはんこづくり
・実 施 日 10月25日（土）
・会　　場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・講　　師 消しゴムはんこやおさと氏
・参加者数 11名

(ｺ) 座談会「思い出すままに：賢二と徹との暮らし」
・実 施 日 1月24日（土）
・会　　場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
・講　　師 鈴木解子氏（語り手・鈴木賢二四女、鈴木賢二作品室如輪房）、根本夏代氏（語り手・鈴木徹長女）、杉村浩哉（聞き手・栃木市立美術館館長）
・聴講者数 65名

(ｻ) オシラサマ伝説の世界を訪ねる
・実 施 日 2月1日（日）
・会　　場 栃木市立美術館展示室、多目的室（つなてみち）
・講　　師 根本夏代氏（朗読・鈴木徹長女）、安藤喜代氏（ダンス）、杉村浩哉（展示案内・栃木市立美術館館長）
・参加者数 30名

(ｼ) 絵を見て話そ！学芸員と一緒にトーク（対話型鑑賞）
・実 施 日 2月15日（日）
・会　　場 栃木市立美術館
・参加者数 3名
(ｽ) ワークショップ「鈴木賢二の缶バッジをつくろう」
・実 施 日 2月15日（日）
・会　　場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・参加者数 1名
(ｾ) 朗読と音楽と映像による賢二ヒストリア
・実 施 日 2月23日（月・祝）
・会　　場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
・講　　師 安藤喜代氏（演出）、茂呂久美子氏（朗読）、鈴木解子氏（朗読）、白神心音氏（朗読）、稲葉美和氏（音楽・箏演奏）
・参加者数 96名
(ｿ) ワークショップ「ワクワク缶バッジづくり」
・実 施 日 3月15日（日）
・会　　場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・参加者数 15名

エ 教員見学会
・実 施 日 7月31日（木）、8月5日（火）、8月6日（水）
・会　　場 栃木市立美術館・文学館
・参加者数 累計37名

オ 出前講座
(ｱ) 市民向け出前講座
・実 施 日 9月2日（火）、1月21日（水）、2月13日（金）
・会　　場 大宮公民館、都賀公民館、大平隣保館
・参加者数 累計90名
(ｲ) 市内小中学校等への出前授業
・実 施 日 10月18日（土）、10月30日（木）、2月26日（木）
・会　　場 栃木第三小学校、合戦場小学校（2回）
・参加者数 累計143名

カ 市内飲食店等との連携イベント
(ｱ) 佐野市立吉澤記念美術館特別企画展「江戸から明治、本と浮世絵のオドロキ」コラボ（スタンプラリー）
・実 施 日 7月5日（土）～10月19日（日）
・参 加 館 佐野市立吉澤記念美術館、栃木市立美術館
・景品配布数 124点（佐野市立吉澤記念美術館：クリアファイル、栃木市立美術館：北斎缶バッジ）
(ｲ) 歌麿展×市内「雪月花」ブランドコラボ
・実 施 日 10月10日（金）～12月14日（日）

・参加店舗数　市内飲食店 4 店舗

・景品配布数　41 点（アクリルキーホルダー）、407 枚（藤沢市提供ポストカード）

(2)　栃木市立文学館

企画展を 2 回開催、また、年間を通じて市ゆかりの文学に関する常設展示（随時展示替えあり）を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、市民等の文学への興味関心の喚起に努めた。

ア　開館期間　4 月 1 日（火）～3 月 31 日（火）

イ　イベント等

(ｱ)　学芸員によるギャラリートーク

・実 施 日　4 月 26 日（土）、6 月 22 日（日）、8 月 23 日（土）、10 月 25 日（土）、12 月 14 日（日）、3 月 7 日（土）

・参加者数　累計 26 名

(ｲ)　路地裏散歩「詩人　柴田トヨの住んだ町」

・実 施 日　6 月 7 日（土）

・案　　内　100 歳の詩人柴田トヨとあゆむ会

・行　　程　新栃木駅～第二公園～幸来橋～文学館

・参加者数　15 名

(ｳ)　座談会「トヨさんの思い出」

・実 施 日　6 月 28 日（土）

・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室

・講　　師　柴田健一氏（登壇者・柴田トヨ長男）、五十嵐麻子氏（登壇者・元飛鳥新社編集者）、押田雅治氏（登壇者・元産経新聞社編集企画委員）、村上正子氏（司会・100 歳の詩人柴田トヨとあゆむ会会長）

・聴講者数　37 名

(ｴ)　ワークショップ「ミニよしずづくり」

・実 施 日　7 月 27 日（日）

・会　　場　栃木市立文学館　とちぎサロン

・講　　師　渡良瀬ヨシ愛好会

・参加者数　4 名

(ｵ)　映画上映会「くじけないで」

・実 施 日　8 月 24 日（日）

・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室

・参加者数　50 名

(ｶ)　朗読会「詩の朗読とハーモニカ演奏でつむぐ柴田トヨの世界」

・実 施 日　9 月 7 日（日）

・出　　演　とちぎ蔵の街トヨさん一座（石原恵子氏、板橋千代子氏、熊倉常雄氏、柴田健一氏、鈴木重子氏、茂呂久美子氏）

・会　　場　栃木市立文学館　とちぎサロン

・参加者数　54 名

(ｷ)　ワークショップ「ミニヨシ灯りづくり」

・実 施 日　12月7日（日）
・会　　場　栃木市立文学館　とちぎサロン
・講　　師　渡良瀬ヨシ愛好会
・参加者数　9名

(ｸ)　クリスマスミニコンサート
・実 施 日　12月14日（日）
・出　　演　県立栃木女子高等学校コーラス部
・会　　場　栃木市立文学館　とちぎサロン
・参加者数　54名

(ｹ)　文学散歩「逸見猶吉ゆかりの地めぐり」
・実 施 日　2月14日（土）
・案　　内　渡良瀬遊水地ガイドクラブ
・場　　所　渡良瀬遊水地内（谷中村史跡保全ゾーン等）
・参加者数　4名

(3)　栃木市立美術館及び文学館のPR

専用ホームページ及びSNS公式アカウント（X、Facebook、Instagram）を運用し、積極的に情報発信を行った。そのほか、FMくらら857や広報とちぎにおいて美術館・文学館の収蔵品と展覧会の紹介を行い、美術館・文学館の活動をアピールした。また、美術館・文学館施設案内リーフレット及び美術館・文学館展覧会スケジュールを作成し配布した。また、「鈴木賢二と徹」の開催に合わせ、市ゆかりの作家である鈴木賢二と鈴木徹に親しみをもってもらうことを目的として、市内小学校5,6年生の児童に「栃木市ゆかりの作家を知ろう！」を配付した。

2　第1回栃木市立美術館美術品収集専門者会議の開催

美術作品の購入及び寄附等の受入れに当たり専門者会議を開催した。

・開催日　7月31日（木）
・場　所　栃木市立美術館
・内　容

購入作品　田中一村《池亭聞蛙》大正11（1922）年7月　紙本墨画淡彩、掛軸
田中一村《山水図》大正15（1926）年2月　絹本着色、掛軸

受贈作品　清水登之《教会のある風景》1910年代　鉛筆・水彩、紙
清水登之《水辺の風景》昭和12（1937）～昭和13（1938）年頃　墨・水彩・紙
越天庵雪人、鹿津部真顔、歌麿他「長岡関連資料」江戸時代（19世紀）　短冊96点
飯塚琅玕齋《虚心『画帖』》昭和22（1947）年秋　紙本墨画

第１４章　選挙管理委員会事務局

〔総括概要〕

選挙管理委員会事務局の主な分掌事務は、選挙管理委員会の会議に関すること、各種選挙の執行管理、直接請求及び選挙の啓発に関することである。

選挙は、国民が政治に参加する最も基本的な機会であって、積極的な投票への参加は、民主主義の発展のために欠かすことのできないものである。また、明るく適正な選挙の推進のためには、国民一人一人が政治の基本となる選挙に関心を持ち、有権者としての自覚を持つことが必要である。

この趣旨を踏まえ、小・中・高等学校の児童生徒を対象に明るい選挙啓発ポスターの募集・入選作品展を行い、新有権者に対し選挙啓発資料を配布する等、選挙の常時啓発を推進した。また、選挙権の持つ意味や意義を説明する主権者教育として、選挙の出前講座を市内小・高等学校で実施した。

本年度は参議院議員通常選挙及び衆議院議員総選挙を執行した。

選挙係

1　選挙管理委員会の状況

(1)　委員及び補充員

職　　名	氏　　名	就任年月日
委　員　長	小保方　　昭　洋	令和4年6月4日
職務代理者	天　海　　俊　充	〃
委　　員	大阿久　　功　子	平成30年6月4日
〃	小　林　　眞智子	令和4年6月4日
補　充　員	木　村　　正　明	〃
〃	黒　野　　篤　代	〃
〃	安　生　　幸　二	〃
〃	出　井　　裕　子	〃

(2)　委員会開催状況

開催日	種別	付議件数（件）				開催場所
		議案	報告	選挙	指定	
6月　2日（月）	定時	8	1	－	－	市役所402会議室
7月　2日（水）	選挙	23	－	－	－	市役所議会委員会室
7月　3日（木）	選挙	1	－	－	－	市役所議会委員会室
7月 17日（木）	選挙	2	－	－	－	市役所議会委員会室
7月 20日（日）	選挙	2	－	－	－	マルワ・アリーナとちぎ （総合運動公園総合体育館）
9月　1日（月）	定時	6	－	－	－	市役所401会議室

9月 12日（金）	臨時	2	－	－	－	市役所正庁
11月 6日（木）	臨時	1	－	－	－	市役所庁議室
12月 1日（月）	定時	7	－	－	－	市役所401会議室
1月 26日（月）	選挙	25	－	－	－	市役所402会議室
1月 27日（火）	選挙	1	－	－	－	市役所議会委員会室
2月 5日（木）	選挙	2	－	－	－	市役所議会委員会室
2月 8日（木）	選挙	3	－	－	－	マルワ・アリーナとちぎ （総合運動公園総合体育館）
3月 2日（月）	定時	4	－	－	－	市役所401会議室

(3) 議案件数　　87件

議案番号	提出日	議案名
6	6月 2日	選挙人名簿の抹消について
7	6月 2日	選挙人名簿の定時登録について
8	6月 2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
9	6月 2日	在外選挙人名簿の抹消について
10	6月 2日	在外選挙人名簿の登録について
11	6月 2日	選挙人名簿抄本閲覧者の公表について
12	6月 2日	在外選挙人名簿抄本閲覧者の公表について
13	6月 2日	栃木市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
14	7月 2日	選挙人名簿の抹消について
15	7月 2日	選挙人名簿の選挙時登録について
16	7月 2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
17	7月 2日	在外選挙人名簿の抹消について
18	7月 2日	投票所の場所について
19	7月 2日	期日前投票所の場所及び期間について
20	7月 2日	指定期日前投票所の場所について
21	7月 2日	投票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（選挙区）
22	7月 2日	投票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（比例代表）
23	7月 2日	期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について（選挙区）
24	7月 2日	期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について（比例代表）
25	7月 2日	不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所について
26	7月 2日	開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（選挙区）
27	7月 2日	開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（比例代表）
28	7月 2日	開票の場所及び日時について
29	7月 2日	開票立会人のくじを行う場所及び日時について

30	7月 2日	ポスター掲示場を設置する場所について
31	7月 2日	投票所内の候補者の氏名等の掲示の掲載の順序のくじを行う場所及び日時について
32	7月 2日	投票立会人の選任について（選挙区）
33	7月 2日	投票立会人の選任について（比例代表）
34	7月 2日	期日前投票所の投票立会人の選任について（選挙区）
35	7月 2日	期日前投票所の投票立会人の選任について（比例代表）
36	7月 2日	参議院栃木県選出議員選挙及び参議院比例代表選出議員選挙における投票所の閉鎖時刻を繰り上げることについて
37	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙における投票所内の候補者の氏名等の掲示の掲載順序について
38	7月 17日	参議院栃木県選出議員選挙における開票立会人の決定について
39	7月 17日	参議院比例代表選出議員選挙における開票立会人の決定について
40	7月 20日	選挙人名簿の抹消について
41	7月 20日	当日有権者数について
42	9月 1日	選挙人名簿の抹消について
43	9月 1日	選挙人名簿の定時登録について
44	9月 1日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
45	9月 1日	在外選挙人名簿の抹消について
46	9月 1日	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
47	9月 1日	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する規程の一部を改正する規程の制定について
48	9月 12日	選挙運動従事者及び労務者に対する実費弁償の最高額及び報酬の最高額の制定について
49	9月 12日	栃木市長及び栃木市議会議員選挙の期日等について
50	11月 6日	在外選挙人名簿の登録について
51	12月 1日	選挙人名簿の抹消について
52	12月 1日	選挙人名簿の定時登録について
53	12月 1日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
54	12月 1日	在外選挙人名簿の登録について
55	12月 1日	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する規程の一部を改正する規程について
56	12月 1日	政治活動のために使用する事務所に係る立札及び看板の類の証票の有効期限について
57	12月 1日	選挙人名簿の登録日について
1	1月 26日	選挙人名簿の抹消について
2	1月 26日	選挙人名簿の選挙時登録について
3	1月 26日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について

4	1月 26 日	在外選挙人名簿の抹消について
5	1月 26 日	在外選挙人名簿の登録について
6	1月 26 日	在外選挙人名簿の登録の移転について
7	1月 26 日	投票所の場所について
8	1月 26 日	期日前投票所の場所及び期間について
9	1月 26 日	指定期日前投票所の場所について
10	1月 26 日	投票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（小選挙区）
11	1月 26 日	投票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（比例代表）
12	1月 26 日	期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について（小選挙区）
13	1月 26 日	期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について（比例代表）
14	1月 26 日	不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所について
15	1月 26 日	開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（小選挙区）
16	1月 26 日	開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（比例代表）
17	1月 26 日	開票の場所及び日時について
18	1月 26 日	開票立会人のくじを行う場所及び日時について
19	1月 26 日	ポスター掲示場を設置する場所について
20	1月 26 日	投票所内の候補者の氏名等の掲示の掲載の順序のくじを行う場所及び日時について（小選挙区）
21	1月 26 日	投票立会人の選任について（小選挙区）
22	1月 26 日	投票立会人の選任について（比例代表）
23	1月 26 日	期日前投票所の投票立会人の選任について（小選挙区）
24	1月 26 日	期日前投票所の投票立会人の選任について（比例代表）
25	1月 26 日	衆議院小選挙区選出議員選挙及び衆議院比例代表選出議員選挙における投票所の閉鎖時刻を繰り上げることについて
26	1月 27 日	衆議院小選挙区選出議員選挙における投票所内の候補者の氏名等の掲示の掲載順序について
27	2月 5日	衆議院小選挙区選出議員選挙における開票立会人の決定について
28	2月 5日	衆議院比例代表選出議員選挙における開票立会人の決定について
29	2月 8日	選挙人名簿の抹消について
30	2月 8日	選挙人名簿の補正登録について
31	2月 8日	当日有権者数について
32	3月 2日	選挙人名簿の抹消について
33	3月 2日	選挙人名簿の定時登録について
34	3月 2日	選挙権を有する者の 50 分の 1、6 分の 1 及び 3 分の 1 の数について
35	3月 2日	在外選挙人名簿の登録について

(4)　告示件数　　43件

告示番号	告示日	告示名
3	6月 2日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
4	6月 2日	選挙人名簿の抄本の閲覧状況の公表
5	6月 2日	在外選挙人名簿の抄本の閲覧状況の公表
6	7月 2日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
7	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙及び参議院比例代表選出議員選挙における投票所の場所
8	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙及び参議院比例代表選出議員選挙における期日前投票所の場所及び期間
9	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙及び参議院比例代表選出議員選挙における指定期日前投票所の指定
10	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙の投票管理者及び職務代理者の選任
11	7月 3日	参議院比例代表選出議員選挙の投票管理者及び職務代理者の選任
12	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙の期日前投票所の投票管理者及び職務代理者の選任
13	7月 3日	参議院比例代表選出議員選挙の期日前投票所の投票管理者及び職務代理者の選任
14	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙及び参議院比例代表選出議員選挙における不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所
15	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙の開票管理者及び職務代理者の選任
16	7月 3日	参議院比例代表選出議員選挙の開票管理者及び職務代理者の選任
17	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙及び参議院比例代表選出議員選挙における開票の場所及び日時
18	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙及び参議院比例代表選出議員選挙における開票立会人のくじを行う場所及び日時
19	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙におけるポスター掲示場の設置場所
20	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙における氏名等の掲示の掲載順序を定めるくじを行う場所及び日時
21	7月 3日	参議院栃木県選出議員選挙及び参議院比例代表選出議員選挙における投票所の閉鎖時間の繰上げ
22	9月 1日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
23	9月 12日	選挙運動従事者及び労務者に対する実費弁償の最高額及び報酬の最高額
24	9月 29日	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する規程の一部改正
25	12月 1日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
26	12月 1日	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙におけるポスター掲示場の設置

		に関する規程の一部改正
27	12月 1日	選挙人名簿の登録日
1	1月 26日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
2	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙及び衆議院比例代表選出議員選挙における投票所の場所
3	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙及び衆議院比例代表選出議員選挙における期日前投票所の場所及び期間
4	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙及び衆議院比例代表選出議員選挙における指定期日前投票所の指定
5	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙の投票管理者及び職務代理者の選任
6	1月 27日	衆議院比例代表選出議員選挙の投票管理者及び職務代理者の選任
7	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙の期日前投票所の投票管理者及び職務代理者の選任
8	1月 27日	衆議院比例代表選出議員選挙の期日前投票所の投票管理者及び職務代理者の選任
9	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙及び衆議院比例代表選出議員選挙における不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所
10	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙の開票管理者及び職務代理者の選任
11	1月 27日	衆議院比例代表選出議員選挙の開票管理者及び職務代理者の選任
12	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙及び衆議院比例代表選出議員選挙における開票の場所及び日時
13	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙及び衆議院比例代表選出議員選挙における開票立会人のくじを行う場所及び日時
14	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙のポスター掲示場の設置場所
15	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙の氏名等の掲示の掲載順序を定めるくじを行う場所及び日時
16	1月 27日	衆議院小選挙区選出議員選挙及び衆議院比例代表選出議員選挙における投票所の閉鎖時間の繰上げ
17	2月 8日	選挙人名簿の補正登録
18	3月 2日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数

(5) 報告件数　　1件

報告番号	提出日	報告件名
1	6月 2日	選挙管理委員会事務局職員の任免について

2 選挙人名簿登録者数（3月1日現在）　　（単位：人）

投票区名	男	女	計
栃木第1投票区	655	752	1,407
栃木第2投票区	871	916	1,787

栃木第 3 投票区	772	837	1,609
栃木第 4 投票区	1,735	1,849	3,584
栃木第 5 投票区	1,163	1,214	2,377
栃木第 6 投票区	1,202	1,275	2,477
栃木第 7 投票区	1,913	1,949	3,862
栃木第 8 投票区	931	994	1,925
栃木第 9 投票区	1,580	1,601	3,181
栃木第 10 投票区	2,225	2,338	4,563
栃木第 11 投票区	2,207	2,258	4,465
栃木第 12 投票区	1,304	1,356	2,660
栃木第 13 投票区	1,391	1,522	2,913
栃木第 14 投票区	1,424	1,437	2,861
栃木第 15 投票区	679	764	1,443
栃木第 16 投票区	1,261	1,319	2,580
栃木第 17 投票区	605	580	1,185
栃木第 18 投票区	697	696	1,393
栃木第 19 投票区	894	867	1,761
栃木第 20 投票区	1,562	1,656	3,218
栃木第 21 投票区	1,143	1,149	2,292
栃木第 22 投票区	1,039	1,023	2,062
栃木第 23 投票区	325	335	660
栃木第 24 投票区	294	331	625
栃木第 25 投票区	354	373	727
栃木第 26 投票区	38	29	67
栃木第 27 投票区	710	797	1,507
栃木第 28 投票区	571	578	1,149
栃木第 29 投票区	1,151	1,161	2,312
合　　計	30,696	31,956	62,652
大平第 1 投票区	1,753	1,695	3,448
大平第 2 投票区	422	400	822
大平第 3 投票区	1,414	1,476	2,890
大平第 4 投票区	1,272	1,344	2,616
大平第 5 投票区	628	604	1,232
大平第 6 投票区	772	835	1,607
大平第 7 投票区	1,892	1,821	3,713
大平第 8 投票区	1,330	1,283	2,613
大平第 9 投票区	2,094	2,001	4,095
大平第 10 投票区	410	303	713

合　　計	11,987	11,762	23,749
藤岡第１投票区	509	499	1,008
藤岡第２投票区	615	630	1,245
藤岡第３投票区	1,223	1,257	2,480
藤岡第４投票区	997	1,030	2,027
藤岡第５投票区	1,351	1,347	2,698
藤岡第６投票区	970	977	1,947
藤岡第７投票区	359	351	710
合　　計	6,024	6,091	12,115
都賀第１投票区	2,169	2,268	4,437
都賀第２投票区	1,157	1,116	2,273
都賀第３投票区	480	468	948
都賀第４投票区	443	428	871
都賀第５投票区	667	654	1,321
都賀第６投票区	257	275	532
合　　計	5,173	5,209	10,382
西方第１投票区	633	647	1,280
西方第２投票区	565	558	1,123
西方第３投票区	800	783	1,583
西方第４投票区	422	428	850
西方第５投票区	15	14	29
合　　計	2,435	2,430	4,865
岩舟第１投票区	850	837	1,687
岩舟第２投票区	1,425	1,383	2,808
岩舟第３投票区	624	642	1,266
岩舟第４投票区	1,352	1,374	2,726
岩舟第５投票区	1,435	1,351	2,786
岩舟第６投票区	672	644	1,316
岩舟第７投票区	440	441	881
合　　計	6,798	6,672	13,470
総　合　計	63,113	64,120	127,233

３　3月1日現在選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分1の数

(1)　市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の50分の1　　2,545人

(2)　市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の6分の1　　21,206人

(3)　市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の3分の1　　42,411人

4　在外選挙人名簿登録者数（3月1日現在）　　（単位：人）

指定在外選挙投票区名	男	女	計
栃木第1投票区	16	37	53

5　啓発事業

(1)　明るい選挙啓発ポスター募集

小学生　　出品総数　　190点　　うち市入選　　22点

中学生　　出品総数　　49点　　うち市入選　　6点

高校生　　出品総数　　0点　　うち市入選　　0点

市入選作品28点を県に出品し、優秀賞に1点、入選に6点、佳作に10点が選ばれた。また､令和7年度から栃木市明るい選挙推進協議会会長賞及び栃木市選挙管理委員会委員長賞を新設し、市入選作品の中から各1点が選ばれた。

(2)　明るい選挙啓発ポスター入選作品展

・展示期間　2月4日(水)～2月15日(日)

・展示場所　市役所1階　市民スペース

・展示方法　市入選作品　小学生22点、中学生6点、計28点を展示

(3)　栃木市制１５周年記念事業明るい選挙啓発ポスター教室の開催

・開 催 日　8月9日(土)

・開催場所　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

・講 師　　文星芸術大学生3人、助手1人

・参加者数　小学3年～6年生 20人

(4)　新有権者あて啓発資料配布

新有権者　　1,349人

(5)　主権者教育（出前講座）の実施

選挙の出前講座を皆川城東小学校、学悠館高等学校（2回）、栃木高校で実施した。

6　選挙結果

(1)　7月20日執行　参議院議員通常選挙

ア　参議院栃木県選出議員選挙

候補者氏名	党派	市得票数	県得票数	当落の別
大森　紀明	参政党	14,315.000	181,620.000	落
板津　ゆか	立憲民主党	20,651.000	266,042.000	落
高橋　かつのり	自由民主党	23,888.032	301,373.925	当
福田　みちお	日本共産党	3,280.000	38,102.000	落
高橋　真佐子	ＮＨＫ党	1,289.967	16,071.050	落
笠間　愼一郎	無所属	1,802.000	18,715.000	落

イ　参議院比例代表選出議員選挙

政党名等	市得票数			当選人数
	政党等	個人	合計	
日本共産党	2,021.000	106.150	2,127.150	2
日本維新の会	1,941.000	112.916	2,053.916	4
無所属連合	243.000	81.000	324.000	－
日本保守党	1,472.000	1,022.000	2,494.000	2
立憲民主党	8,494.877	1,185.548	9,680.425	7
参政党	8,179.000	634.532	8,813.532	7
国民民主党	5,855.122	1,709.522	7,564.644	7
チームみらい	633.000	95.000	728.000	1
日本誠真党	135.000	143.000	278.000	－
社会民主党	1,127.000	317.000	1,444.000	1
れいわ新選組	5,054.000	283.272	5,337.272	3
日本改革党	43.000	10.000	53.0000	－
自由民主党	13,656.000	4,284.155	17,940.155	12
再生の道	382.000	53.000	435.000	－
公明党	2,816.000	3,260.896	6,076.896	4
ＮＨＫ党	375.000	302.000	677.000	－

(2)　２月８日執行　衆議院議員総選挙

ア　衆議院小選挙区選出議員選挙栃木県第５区

候補者氏名	党派	市得票数	区得票数	当落の別
茂木　としみつ	自由民主党	41,790	110,743	当
寺田　たかふみ	国民民主党	8,077	19,626	落
岡村　けい子	日本共産党	5,094	15,315	落
宮本　陽介	参政党	6,306	16,713	落

イ　衆議院比例代表選出議員選挙

（北関東選挙区）

政党名等	市 得票数	北関東 得票数	当選人数 （人）	当選者名
中道改革連合	10,774	1,174,717	4	石　井　啓　一
				輿　水　恵　一
				福　重　隆　浩
				大　島　あつし
日本保守党	1,372	150,809	0	－
チームみらい	3,526	467,561	1	武　藤　かず子

自由民主党	26,276	2,256,845	8	やな和生
				ながおか桂子
				鈴木たくみ
				中根かずゆき
				西條昌良
				石川昭政
				尾身朝子
				前川恵
日本維新の会	2,608	326,128	1	柏倉ゆうじ
れいわ新選組	2,184	182,261	0	－
社会民主党	981	77,406	0	－
日本共産党	2,006	254,497	1	塩川鉄也
参政党	5,597	506,071	2	豊田真由子
				青木ひとみ
国民民主党	6,686	626,695	2	橋本みきひこ
				鈴木よしひろ
減税日本・ゆうこく連合	757	73,101	0	－

第１５章　監査委員事務局

〔総括概要〕

監査等については、令和7年度監査実施方針及び年間監査計画に基づいて、定例監査、例月出納検査、決算審査・基金運用状況審査・健全化判断比率等審査、工事監査及び財政援助団体等監査を実施した。

監査に当たっては、栃木市監査基準第3条に基づき、市の事務の管理、執行等について、合規性、正確性、経済性、効率性及び有効性の視点を掲げ実施した。

また、監査の結果に関する報告等については、市議会及び市長等に提出するとともに公表し、適宜措置状況の報告を求めることにより、民主的かつ効率的な行財政の執行に資し、もって市民福祉の増進と地方自治の本旨の実現の寄与に努めた。

監査係

1　監査委員の状況

・識見を有する者　福地　武司　　令和4年5月18日就任

・議 会 選 出 者　浅野　貴之　　令和6年5月31日就任

2　監査等の実施状況

令和7年度監査実施方針及び年間監査計画により、次のとおり実施した。

(1)　定例監査（財務監査及び行政監査）

監査結果の報告については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会、市長及び関係執行機関に提出し、かつ、これを公表した。

対象部局等	対 象 課 等	実　施　日
総合政策部	総合政策課、秘書課、広報課、 行財政改革推進課、デジタル推進課、 危機管理課、カーボンニュートラル推進課	5月28日（水）
地域振興部 選挙管理委員会事務局	地域政策課、 大平地域づくり推進課、 藤岡地域づくり推進課、 都賀地域づくり推進課、 西方地域づくり推進課、 岩舟地域づくり推進課、 蔵の街課、スポーツ課、渡良瀬遊水地課 選挙管理委員会事務局	5月29日（木）
生活環境部	市民生活課、交通防犯課、 保険年金課、環境課、 クリーン推進課、人権・男女共同参画課	6月26日（木）

消防本部 消防署	消防総務課、予防課、警防課、通信指令課、 消防第1課、消防第2課	6月27日（金）
会計管理者 議会事務局	会計課 議事課	8月25日（月）
経営管理部 寺尾財産区	総務人事課、契約検査課、管財課、財政課、 税務課、収税課 管財課	9月26日（金）
保健福祉部 こども未来部	福祉総務課、障がい福祉課、高齢介護課、 地域包括ケア推進課、健康増進課 子育て総務課、こども家庭センター、保育課	10月28日（火）
小中学校	大宮南小学校、大宮北小学校、岩舟小学校、 静和小学校、小野寺小学校、東陽中学校、 岩舟中学校	11月 6日（木） 11月 7日（金）
教育委員会事務局	教育総務課、 学校教育課（グローバル教育推進室）、 学校施設課、保健給食課、生涯学習課、 文化課、美術・文学館課	11月26日（水）
都市建設部	道路河川整備課（治水対策室）、 道路河川維持課、都市計画課、 公園緑地課、建築住宅課、建築指導課	12月23日（火）
上下水道局	上下水道総務課、水道建設課、下水道建設課	1月27日（火）
産業振興部 農業委員会事務局	商工振興課、観光振興課、農業振興課 農林整備課、産業基盤整備課 農業委員会事務局	1月28日（水）

(2) 例月出納検査

検査結果の報告については、地方自治法第235条の2第3項の規定により、市議会及び市長に提出した。

対　　象	実　施　日	対　　象	実　施　日
令和6年度 3月分	4月28日（月）	令和7年度 8月分	9月26日（金）
令和6年度 4月分 令和7年度 4月分	5月28日（水）	〃 9月分	10月28日（火）
		〃 10月分	11月26日（水）
令和6年度 5月分 令和7年度 5月分	6月27日（金）	〃 11月分	12月23日（火）
		〃 12月分	1月27日（火）
令和7年度 6月分	7月28日（月）	〃 1月分	2月24日（火）
〃 7月分	8月25日（月）	〃 2月分	3月23日（月）

(3) 決算審査・基金運用状況審査

市長から審査依頼のあった令和6年度の決算及び基金運用状況について審査を行い、意見書を提出した。

対　　象	実 施 日

水道事業会計 下水道事業会計	6月27日(金)～8月20日(水)
寺尾財産区特別会計	6月27日(金)～8月20日(水)
一般会計 国民健康保険特別会計 後期高齢者医療特別会計 介護保険特別会計(保険事業勘定) 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定) 栃木インター西産業団地特別会計 平川産業団地特別会計	6月27日(金)～8月20日(水)
印紙等購買基金 保護費即時払基金 奨学基金	6月27日(金)～8月20日(水)

(4)　健全化判断比率等審査

市長から審査依頼のあった令和6年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について審査を行い、意見書を提出した。

対　　象	実 施 日
健全化判断比率 資金不足比率	6月27日(金)～8月20日(水)

(5)　工事監査

工事監査は、公益社団法人大阪技術振興協会に委託をして実施した。

なお、監査結果の報告については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会及び市長に提出し、かつ、これを公表した。

対　　象（抽出）	実 施 日
公共下水道雨水渠調整池整備工事（永野川左岸第1排水区）その2	12月16日（火）

(6)　財政援助団体等監査

財政援助団体等監査を次のとおり実施し、監査結果の報告については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会及び市長に提出し、かつ、これを公表した。

ア　補助金等交付団体

対 象（抽出）	補助金名称	実 施 日
社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会	栃木市社会福祉協議会補助金	2月12日（木）

イ　指定管理者

対 象（抽出）	施設名称	実 施 日
社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会	栃木市栃木第六地区コミュニティセンター	2月12日（木）
	栃木市老人福祉センター長寿園	

	栃木市老人福祉センター福寿園	
	栃木市そのべ児童館	

(7)　市長の要求に基づく監査

令和7年度は対象となる案件がなかったため、実施していない。

(8)　議会の請求に基づく監査

議会の請求に基づく監査を次のとおり実施し、監査結果の報告については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会及び市長に提出し、かつ、これを公表した。

請求日	監査を求める事項	監査対象部局及び対象者	監査の期間
9月29日（月）	栃木市コミュニティバス（大平線、藤岡線及び岩舟線）にかかる運行実態について	・生活環境部交通防犯課 ・栃木市コミュニティバスの路線のうち、大平線、藤岡線及び岩舟線の運行事業者	9月29日（月）～11月27日（木）

(9)　住民監査請求による監査

令和7年度は対象となる案件がなかったため、実施していない。

第１６章　公平委員会

〔総括概要〕

公平委員会は、職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分の審査請求を審査し、必要な措置を講じている。また、公平・適正な審査を期するため独立した中立的な機関であり、委員定数3名、任期4年により運営している。

1　公平委員の状況

委員長　佐山　隆　　平成26年5月18日就任
委　員　髙岩　初枝　　平成30年5月18日就任
委　員　増子　孝徳　　令和 5年6月 9日就任

2　公平委員会

期　　日	内　　容	備　考
6月 4日（水）	・委員長の専決処分の報告について ・職員団体登録事項の変更について ・栃木市職員の苦情の処理に関する規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則の制定について	
12月 4日（木）	・職員団体登録事項の変更について	

3　職員団体の登録・抹消

受　　付	届　　出　　者	内　　容	登録・抹消年月日
5月 7日（水）	栃木市教職員協議会会長	役員の変更	6月4日登録
11月28日（金）	栃木市職員労働組合執行委員長	役員の変更	12月4日登録

4　会議、研修会等（委員）

開催日	会議、研修会等	開催地	参加者数（人）
5月12日（月）	令和7年度栃木県公平委員会連合会総会	日光市	2
5月14日（水）	令和7年度全国公平委員会連合会関東支部総会・第1回研究会	茨城県	－
10月22日（水）	令和7年度全国公平委員会連合会関東支部第2回研究会	茨城県	－
10月31日（金）	令和7年度全国公平委員会連合会通常総会	東京都	－

第１７章　固定資産評価審査委員会

〔総括概要〕

固定資産の価格等は、毎年3月末日までに決定され、固定資産課税台帳に登録され、その後一定期間閲覧・縦覧に供される。

固定資産評価審査委員会は、納税義務者からの審査申出に基づき、固定資産課税台帳に登録されている価格について審査決定している。また、公平・適正な審査を期するため独立した中立的な機関であり、委員定数6名、任期3年により運営している。

固定資産評価審査委員会においては、委員長の選任、評価の概要等の報告及び審査申出に対する審査を行った。

1　固定資産評価審査委員の状況

委員長　諏訪　晃　　平成22年 5月18日就任
委　員　高際　悦子　　令和元年 5月18日就任
委　員　綾部　一成　　令和 7年 5月18日就任
委　員　松島　誠　　令和 4年 5月18日就任
委　員　青木　利男　　平成29年11月25日就任
委　員　大島　秀介　　平成29年 5月15日就任

2　委員会開催状況

開　催　日	内　　容	備　考
5月22日（木）	・委員長の選出について ・令和7年度固定資産評価の概要について ・令和7年度固定資産課税台帳の縦覧・閲覧状況について	諏訪委員を委員長として選出

１８章　農業委員会事務局

〔総括概要〕

農業委員会は、農業者の利益代表機関として、「優良農地の確保と有効利用」、「農地利用の最適化」、「担い手の確保と育成」、「地域の課題解決」を大きな活動の柱として、様々な活動に取り組んできた。

主な取組として、優良農地の確保と有効利用については、農地の権利移動に対する許可や農地転用許可など、効率的な農地利用を進めるため農地法に基づき公正な審査事務を行った。

農地利用の最適化については、遊休農地の発生を防止するために、農地利用状況調査（農地パトロール）を実施した。その結果を受けて、遊休農地所有者等へ利用意向調査を行い、担い手への集積集約化、遊休農地の解消に努めた。

担い手の確保と育成については、担い手農家への利用集積の促進や新規就農者に対して適正助言及び指導を行った。農業者年金へ加入促進、各地域での農業青色申告会簿記記帳会の開催、家族経営協定の啓発推進を行うなど、地域農業振興の推進を図った。

地域の課題解決については、農業者等から意見を聴取し、その結果を農地等利用最適化推進施策に関する意見書にまとめ市に提出した。

令和８年１月に、市内の各地域で「地域の田畑を今後どうするか考える座談会」を実施し、地域の中心的な担い手や農業委員・農地利用最適化推進委員等による話し合いを行った。その結果を踏まえ、令和７年３月に市が策定した「地域計画」のうち農業委員会が策定した10年後の農地利用を示す「目標地図」の見直しを行った。

令和７年７月､任期満了に伴い農業委員及び農地利用最適化推進委員が改選され、農業委員21名、農地利用最適化推進委員35名が選出された。

農委総務係

1　農業委員会の構成

(1)　農業委員（令和７年７月20日任命）

・定数　21人

・現員　21人

議席番号	氏　　名	地　　域	議席番号	氏　　名	地　　域
1	若色昭松	栃　　木	12	野尻真悟	栃　　木
2	五十畑節子	岩舟（中立）	13	生澤良一	大　　平
3	石塚一彦	藤　　岡	14	鈴木美智子	西　　方
4	泉田裕美	栃　　木	15	巻島陽一	栃　　木

5	小林真理子	大　平	16	大谷　朗	藤　岡
6	大塚幸八	都　賀	17	早乙女とみ	都　賀
7	糸井世志江	藤　岡	18	渡邉昭男	都　賀
8	毛塚　登	大　平	19	中田秀雄	岩　舟
9	青木則夫	岩　舟	20	田中健一	栃　木
10	田谷安久	西　方	21	縫村啓子	栃　木
11	田中　徹	藤　岡			

(2)　農地利用最適化推進委員（令和7年7月20日委嘱）

・定数　40人以内

・現員　35人

地域名	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
人数(人)	10	6	7	4	3	5	35

(3)　委員会の設置

農業委員会の適正かつ円滑な運営のために運営委員会を設置している。また、活発な活動を展開するため、3つの専門委員会を設けている。

ア　運営委員会

農業委員会全体の運営

・農地利用最適化に関する意見書の提出

・農業者との意見交換会

イ　専門委員会

(ｱ)　農地委員会

・担い手への農地利用の集積、集約化

・遊休農地の発生防止、解消

・新規参入の促進

(ｲ)　農業委員会だより編集委員会

農業委員会の活動を周知するための広報誌を発行

・7月1日号発行

・2月1日号発行

(ｳ)　なでしこ委員会

女性農業委員で組織し、女性の視点を活かした農業振興

・小学生への食育活動

・女性農業委員研修会への参加（国・県・下都賀）

2　総会開催状況

(1)　定例総会

開　催　日	場　所	付議事件数(件)
4月23日(水)	市役所正庁	5

5月23日(金)	市役所正庁	8
6月23日(月)	市役所正庁	6
7月25日(金)	市役所正庁	6
8月22日(金)	市役所501会議室	7
9月24日(水)	市役所正庁	9
10月22日(水)	市役所正庁	5
11月21日(金)	市役所正庁	5
12月23日(火)	市役所正庁	7
1月23日(金)	市役所 501 会議室	7
2月24日(火)	市役所 501 会議室	5
3月23日(月)	市役所 501 会議室	10

(2) 臨時総会

開催日	場所	付議事件数(件)	特記
7 月 20 日(日)	市役所正庁	3	第 1 回総会

3 農地利用最適化推進事業

農業委員と農地利用最適化推進委員が協力して農地利用の最適化を推進した。

実施時期	内容	場所
4月～3月	認定農業者や農地所有適格法人を定期的に訪問し、農地の出し手とのマッチング活動	各担当区域
8月～9月	農地利用状況調査（農地パトロール）	各担当区域

4 証明書等の発行状況

種別	件数（件）
耕作面積証明書	286
農家証明書	61
諸証明等	216
合計	563

5 委員研修・視察等

県農業会議等が主催する研修会に参加するとともに、事務局主催の研修会も積極的に行い、委員の資質の向上に努めた。

・実施状況

実施日	研修内容	開催場所
7月25日(金)	農業委員・農地利用最適化推進委員研修会	市役所正庁

8月8日(金)	地域の農地利用の最適化を進めるための研修会	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）
8月19日(火)	農業者年金加入特別研修会	栃木県ＪＡビル
8月22日(金)	農業委員タブレット操作研修会	市役所501会議室
9月2日(火)	農業委員・農地利用最適化推進委員研修会	栃木県教育会館
10月16日(木)	とちぎ女性農業委員の会研修会	栃木県総合文化センター
10月23日(木)	関東ブロック女性農業委員等研修会	千葉県教育会館
11月21日(金)	農業者年金加入促進研修会	市役所正庁
2月4日(水)	農地利用最適化についての研修会	千葉県香取市

6　農地等利用最適化推進施策等に関する意見書の提出

農地利用の最適化の効果的な実施の取組として、農業者や農業関係団体から意見・要望を汲み上げ、県や市の施策に反映するため、「農地等利用最適化推進施策等に関する意見書」を提出している。本年度もこれらの意見・要望を文書で取りまとめ、7月10日(木)に農業委員会会長から市長及び議長に意見書を提出した。

7　農業青色申告簿記記帳指導会等

栃木市農業青色申告会を組織し、合併前の旧市・町単位を支部として活動している。自立経営農家を志向する経営主に対し、企業的農業経営の確立と簿記記帳による適正納税が図られるよう、簿記記帳指導会を開催した。また、農業経営の改善、合理化を図るため、農業簿記のパソコン研修会を開催した。

(1)　農業青色申告会加入者　　（単位：人）

区　分	令和6年度末	令和7年度中増減	現加入者数
栃木支部	105	▲1	104
大平支部	97	▲1	96
藤岡支部	49	0	49
都賀支部	62	0	62
西方支部	78	▲2	76
岩舟支部	35	0	35
合　計	426	▲4	422

(2)　簿記記帳指導会開催状況

区　分	回数(回)	受講者延べ人数(人)	講　　師

栃木支部	7	156	県農業会議指導協力員 長幸雄、久保弘、大阿久善之、島田和己、野尻真悟
大平支部	4	199	県農業会議指導協力員 富田裕貴、堀江裕之、新村享宏、篠原朝陽 大山幸夫、大豆生田全毅
藤岡支部	7	117	県農業会議指導協力員 上岡正則、田沼正能、飯塚豊
都賀支部	4	120	県農業会議指導協力員 石川明、茅嶋美季、渡辺繁 青色申告指導員補助 根本壽一
西方支部	5	97	県農業会議指導協力員 高山一郎、中田全紀
岩舟支部	4	34	県農業会議指導協力員 三柴茂、島田共一
合　計	31	723	県農業会議指導協力員21人　青色申告指導員補助1人

(3)　パソコン簿記研修会開催状況

区　分	回数(回)	受講者延べ人数(人)	講　　師
栃木支部	9	73	根本壽一、大阿久善之、野尻真悟
大平支部	10	83	堀江裕之、新村享宏、大豆生田全毅 篠原朝陽
藤岡支部	9	60	田沼正能、上岡正則
都賀支部	39	251	根本壽一、石川明、茅嶋美季
西方支部	4	35	長嶋電算（ソリマチ農業用ソフト支援） 長嶋修一
岩舟支部	2	13	根本壽一
合　計	73	515	

8　標準農作業料金の設定

兼業農家における、専業農家や農業協同組合等への農作業の部分又は全面委託等受委託関係が、適正かつ円滑に推進されるよう、農作業の目安となるべき標準料金を設定し、参考に示している。

(1)　水稲作業

作　業　区　分		単　位	料金　(円)
トラクター作業	ロータリー耕起	10a当たり	3,700～5,250
	ロータリー代かき	〃	8,200～14,000

施肥（堆肥代別途）	〃	1,050～1,600
稚苗費（種子代別途）	〃	12,800～17,500
田植（機械植、補植別）	〃	6,500～8,000
除草剤散布（薬剤費別）	〃	1,500～2,500
防除（空散別途）	〃	1,500
刈取・脱穀	〃	15,000～18,000
乾燥・調整（袋代別途）	60kg当たり	1,400～1,785
畦畔つくり	1m当たり	50～70

(2) 麦作業

作業区分		単位	料金（円）
ドリル播	トラクター作業（耕起･施肥･播種･鎮圧）	10a当たり	4,200～6,500
除草		〃	800
麦踏		〃	600～1,600
刈取・脱穀		〃	12,800～18,000
乾燥・調整（袋代別途）	小麦	60kg当たり	1,500～1,955
	ビール麦	50kg当たり	1,300～1,955

(3) 労務費 (1時間あたり)

作業名	料金（円）
一般農作業	1,068

9 農業者年金事業

農業者の老後生活の安定及び福祉の向上並びに農業者の確保に資することを目的として、農業者年金事業の推進を図った。

(1) 農業者年金加入推進担当者研修会

県農業会議から講師を招き、農業者年金についての講義を受け、農業者年金加入推進について理解を深めた。

実施日	場所	参加者（人）
11月21日(金)	市役所正庁	27

・参加者内訳 農業委員21人、事務局職員6人

(2) 加入状況 （単位：人）

通常加入	政策支援加入
74（内新規加入者1）	12（内新規加入者0）

(3) 年金受給者数

595人

10　家族経営協定の啓発推進

意欲ある担い手を育成するとともに、農業経営の体質強化を進める取組の一つとして、農業委員による家族経営協定の普及推進に取り組んでいる。今年度は7月20日の改選後の委員全員の協定締結に努めるとともに、過去に協定を結んだ家族に対し見直しを勧める等、積極的に啓発を推進した。

・家族経営協定数　（単位：件）

地　区　名	令和5年度末	令和6年度末	令和7年度末
栃木地区	129	134	136
大平地区	72	75	77
藤岡地区	49	50	51
都賀地区	40	40	41
西方地区	65	65	65
岩舟地区	69	74	75
合　　計	424	438	445

11　相続税・贈与税の納税猶予に関する適格者証明

件数	田　（㎡）	畑　（㎡）	計　（㎡）
0	－	－	－

12　農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく事務処理状況

農地中間管理事業に係る農用地利用集積等促進計画を総会で審議し、市に回答した。

(1)　利用権の設定関係

月区分	件数	田　（㎡）	畑　（㎡）	計　（㎡）
4	123	502,573.70	15,161.00	517,734.70
5	70	213,508.24	40,333.00	253,841.24
6	51	216,308.24	5,348.00	221,656.24
7	25	109,814.61	9,949.00	119,763.61
8	25	110,372.00	8,430.00	118,802.00
9	137	591,863.96	49,478.91	641,342.87
10	120	465,891.00	14,503.00	480,394.00
11	229	1,097,974.00	48,087.95	1,146,061.95
12	148	553,497.00	33,356.61	586,853.61
1	156	643,343.29	20,970.00	664,313.29
2	133	502,728.82	12,446.00	515,174.82
3	145	558,441.00	26,074.00	584,515.00
計	1,362	5,566,315.86	283,147.47	5,850,453.33

(2)　所有権の移転関係

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	0	−	−	−
5	4	3,612.00	6,048.00	9,660.00
6	8	32,355.00	−	32,355.00
7	5	9,491.00	7,050.00	16,541.00
8	0	−	−	−
9	4	32,402.00	−	32,402.00
10	0	−	−	−
11	1	900.00	−	900.00
12	4	12,484.00	7,346.00	19,830.00
1	2	6,128.00	−	6,128.00
2	0	−	−	−
3	0	−	−	−
計	28	97,372.00	20,444.00	117,816.00

13　国有農地の管理事務

国有農地の管理、処分、対価の徴収及び登記事務を行った。

区　　分	筆数(筆)	面積（㎡）
農耕貸付	11	4,677
転用貸付	9	2,739
未 貸 付	32	7,936
合　　計	52	15,352

農地調整係

1　農地法関係処理状況

(1)　農地法第3条関係

ア　法第3条許可（農地の耕作権の設定・所有権の移転）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	12	26,508.37	2,992.00	29,500.37
5	13	16,783.09	4,171.00	20,954.09
6	5	2,567.54	702.00	3,269.54
7	5	2,391.00	201.00	2,592.00
8	11	21,947.00	2,755.91	24,702.91
9	7	12,732.00	4,901.00	17,633.00
10	1	692.00	−	692.00

11	15	54,049.00	8,995.00	63,044.00
12	8	51,964.00	13,819.73	65,783.73
1	9	34,799.00	5,594.00	40,393.00
2	11	32,602.00	7,209.00	39,811.00
3	6	46,554.00	5,922.00	52,476.00
計	103	303,589.00	57,262.64	360,851.64

(2)　農地法第4・5条許可

ア　法第4条許可（市街化区域外の自己農地転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	1	-	387.00	387.00
5	1	-	1.32	1.32
6	1	370.74	-	370.74
7	1	484.00	-	484.00
8	2	-	753.00	753.00
9	1	1,138.62	-	1,138.62
10	1	-	1,761.00	1,761.00
1	2	471.00	128.00	599.00
3	2	-	1,008.00	1,008.00
計	12	2,464.36	3,651.32	6,115.68

イ　法第5条許可（市街化区域外の権利の設定・移転を伴う農地転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	8	3,158.00	3,583.00	6,741.00
5	6	13,040.00	2,178.00	15,218.00
6	4	4,844.00	39.00	4,883.00
7	8	1,795.00	19,082.00	20,877.00
8	8	4,055.00	5,570.00	9,625.00
9	9	13,010.00	1,886.00	14,896.00
10	14	18,734.35	16,696.89	35,431.24
11	7	7,359.00	1,011.00	8,370.00
12	7	5,050.00	7,238.00	12,288.00
1	4	59.00	3,289.00	3,348.00
2	7	6,380.47	2,156.62	8,537.09
3	13	26,343.68	2,834.00	29,177.68
計	95	103,828.50	65,563.51	169,392.01

(3)　農地法第4・5条届出

ア　法第4条届出（市街化区域内の自己農地転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	2	2,958.91	2,002.00	4,960.91

5	2	1,573.00	−	1,573.00
6	4	1,671.85	1,267.13	2,938.98
7	2	1,895.00	338.00	2,233.00
8	1	1,096.00	−	1,096.00
9	3	1,300.00	357.00	1,657.00
11	2	−	8,358.00	8,358.00
12	4	1,062.75	786.00	1,848.75
1	3	1,254.00	−	1,254.00
2	2	1,314.00	1,448.53	2,762.53
3	2	83.00	291.00	374.00
計	27	14,208.50	14,847.70	29,056.20

イ　法第5条届出（市街化区域内の権利の設定・移転を伴う農地転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	21	9,331.00	3,634.00	12,965.00
5	13	7,228.57	3,566.00	10,794.57
6	15	6,685.00	1,979.00	8,664.00
7	8	3,506.47	2,077.00	5,583.47
8	15	5,426.00	430.00	5,856.00
9	13	2,863.83	2,900.49	5,769.32
10	20	7,834.00	4,050.00	11,884.00
11	23	13,820.00	2,879.89	16,699.89
12	18	5,967.95	5,936.99	11,904.94
1	22	4,466.88	7,529.29	11,996.17
2	19	10,790.00	3,987.00	14,777.00
3	19	3,742.13	5,283.53	9,025.66
計	206	81,661.83	44,253.19	125,920.02

(4)　農地法第18条関係（合意解約通知）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	14	62,019.00	584.00	62,603.00
5	12	38,428.00	991.00	39,419.00
6	9	28,397.00	−	28,397.00
7	15	40,662.00	9,018.00	49,680.00
8	24	63,020.00	2,437.00	65,457.00
9	17	51,420.00	−	51,420.00
10	29	88,636.30	1,387.00	90,023.30
11	36	134,300.00	5,592.00	139,892.00
12	36	190,490.22	4,669.00	195,159.22
1	29	157,277,57	22,231.00	179,508.57

2	16	50,032.00	1,824.00	51,856.00
3	18	50,772.00	2,369.00	53,141.00
計	255	798,176.52	51,102.00	1,006,556.09

(5)　非農地証明

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
5	6	225.00	2,973.00	3,198.00
7	1	-	126.00	126.00
8	7	489.00	1,710.00	2,199.00
9	2	-	248.49	248.49
10	4	578.00	1,285.00	1,863.00
1	5	1,630.00	482.00	2,112.00
2	3	934.28	888.26	1,822.54
3	3	1,265.00	-	1,265.00
計	31	5,121.28	7,712.75	12,834.03

(6)　農業振興地域整備計画の変更協議

件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
18	204,968.92	17,291.56	222,260.48

(7)　空き家に付属した農地

件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
2	-	679.00	679.00

2　耕作放棄地解消対策事業

耕作放棄地解消対策のため、耕作放棄地の実態把握と解消促進に努めた。

(1)　栃木市耕作放棄地対策協議会総会

・実施日　1月30日（金）

・場　所　書面表決により実施

(2)　農地利用状況調査

農地利用最適化推進委員の担当区域ごとに現地調査を実施。

・実施時期　8月～9月

・耕作放棄地面積　105.1ha